

あ い の 保 育 園 改 築 工 事

意匠図				外構図		構造図		電気設備図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
Aー 01	特記仕様書（建築工事編）（1）	Aー 51	展開図(11)	Gー 01	外構図（横断図）	Sー 01	構造設計特記仕様1	Eー 01	特記仕様書
Aー 02	特記仕様書（建築工事編）（2）	Aー 52	展開図(12)	Gー 02	外構図（フェンス）	Sー 02	構造設計特記仕様2	Eー 02	電気設備機材指定表
Aー 03	特記仕様書（建築工事編）（3）	Aー 53	展開図(13)	Gー 03	外構図（舗装）	Sー 03	木質工事特記仕様書 1	Eー 03	配置図（第2期）
Aー 04	特記仕様書（建築工事編）（4）	Aー 54	展開図(14)	Gー 04	外構図（側溝）	Sー 04	木質工事特記仕様書 2	Eー 04	受変電設備図
Aー 05	特記仕様書（建築工事編）（5）	Aー 55	展開図(15)	Gー 05	外構詳細図（1）	Sー 05	木質工事特記仕様書 3	Eー 05	盤結線図ー1
Aー 06	特記仕様書（建築工事編）（6）	Aー 56	展開図(16)	Gー 06	外構詳細図（2）	Sー 06	木質工事特記仕様書 4	Eー 06	盤結線図ー2
Aー 07	特記仕様書（建築工事編）（7）	Aー 57	展開図(17)	Gー 07	外構詳細図（3）	Sー 07	木造軸組接合部標準図（3）	Eー 07	盤結線図ー3
Aー 08	特記仕様書（建築工事編）（8）	Aー 58	展開図(18)	Gー 08	外構詳細図（4）	Sー 08	木造軸組接合部標準図（3A）	Eー 08	空調・換気電源設備図
Aー 09	特記仕様書（建築工事編）（9）	Aー 59	展開図(19)	Gー 09	外構詳細図（5）	Sー 09	木造軸組接合部標準図（3B）	Eー 09	厨房電源設備図
Aー 10	特記仕様書（建築工事編）（10）	Aー 60	天井伏図	Gー 10	外構詳細図（6）	Sー 10	木造軸組接合部標準図（4）	Eー 10	照明器具姿図
Aー 11	特記仕様書（建築工事編）（11）	Aー 61	建具配置図	Gー 11	外構詳細図（7）	Sー 11	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	Eー 11	電灯設備図
Aー 12	工事概要書・付近見取図	Aー 62	金属製建具表（1）	Gー 12	外構詳細図（8）	Sー 12	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	Eー 12	コンセント設備図
Aー 13	平均地盤面算定図	Aー 63	金属製建具表（2）	Gー 13	外構詳細図（9）	Sー 13	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	Eー 13	床暖房・リモコンスイッチ電源設備図
Aー 14	床面積・建築面積算定図	Aー 64	金属製建具表（3）	Gー 14	解体撤去配置図	Sー 14	園舎棟 基礎伏図	Eー 14	床暖房設備機器表
Aー 15	配置図・敷地面積求積図	Aー 65	木製建具表（1）	Gー 15	解体撤去図（1）	Sー 15	園舎棟 基礎断面リスト	Eー 15	床暖房設備図
Aー 16	仕上表	Aー 66	木製建具表（2）	Gー 16	解体撤去図（2）	Sー 16	園舎棟 基礎断面リスト	Eー 16	総合盤姿図・弱電機器姿図ー1
Aー 17	平面図	Aー 67	ﾌﾙｼｰﾙﾊﾞｰｰ・X1-500詳細図	Gー 17	解体撤去図（3）	Sー 17	園舎棟 基礎断面リスト	Eー 17	弱電設備図
Aー 18	屋根伏図	Aー 68	家具・サイン配置図	Gー 18	解体撤去図（4）	Sー 18	園舎棟 土台伏図	Eー 18	全館放送設備系統図
Aー 19	立面図(1)	Aー 69	家具図(1)	Gー 19	解体撤去図（5）	Sー 19	園舎棟 柱壁伏図 柱頭柱脚金物図	Eー 19	全館放送設備姿図ー1
Aー 20	立面図(2)	Aー 70	家具図(2)	Gー 20	解体撤去図（6）	Sー 20	園舎棟 小屋梁伏図(高さ-700・-100)	Eー 20	全館放送設備姿図ー2
Aー 21	立面図(3)	Aー 71	家具図(3)	Gー 21	解体撤去図（7）	Sー 21	園舎棟 小屋梁伏図(基準高さ・+500)	Eー 21	全館放送設備図
Aー 22	立面図(4)	Aー 72	家具図(4)	Gー 22	解体撤去図（8）	Sー 22	園舎棟 小屋梁伏図(+600・+1200)	Eー 22	専用放送設備姿図ー1
Aー 23	断面図(1)	Aー 73	サイン図	Gー 23	解体撤去図（9）	Sー 23	園舎棟 小屋梁伏図	Eー 23	専用放送設備姿図ー2
Aー 24	断面図(2)	Aー 74	厨房機器配置図・厨房機器リスト			Sー 24	園舎棟 母屋伏図	Eー 24	防災照明器具姿図
Aー 25	矩計図(1)	Aー 75	部分詳細図(1)			Sー 25	園舎棟 軸組図1	Eー 25	非常照明・誘導灯設備図
Aー 26	矩計図(2)	Aー 76	部分詳細図(2)			Sー 26	園舎棟 軸組図2	Eー 26	自動火災報知設備系統図
Aー 27	矩計図(3)	Aー 77	部分詳細図(3)			Sー 27	園舎棟 軸組図3	Eー 27	自動火災報知設備図
Aー 28	矩計図(4)	Aー 78	法チェック図（防火上主要な間仕切壁）			Sー 28	園舎棟 軸組図4		
Aー 29	矩計図(5)	Aー 79	法チェック図（防煙区画図）			Sー 29	園舎棟 軸組図5		
Aー 30	断面詳細図(1)	Aー 80	仮設計画図			Sー 30	園舎棟 軸組図6		
Aー 31	断面詳細図(2)					Sー 31	園舎棟 軸組図7	機械設備図	
Aー 32	断面詳細図(3)					Sー 32	遊戯室棟 基礎伏図・断面リスト	図面番号	図面名称
Aー 33	断面詳細図(4)					Sー 33	遊戯室棟 土台伏図 柱壁伏図	Mー 01	特記仕様書（1）
Aー 34	断面詳細図(5)					Sー 34	遊戯室棟 小屋梁伏図 小屋伏図	Mー 02	特記仕様書（2）
Aー 35	平面詳細図(1)					Sー 35	遊戯室棟 軸組図	Mー 03	特記仕様書（3）
Aー 36	平面詳細図(2)					Sー 36	木造軸組接合部標準図 金物工法TEC-ONE	Mー 04	特記仕様書（4）
Aー 37	平面詳細図(3)					Sー 37	木造軸組接合部標準図 金物工法TEC-ONE	Mー 05	衛生器具・機器リスト
Aー 38	平面詳細図(4)					Sー 38	木造軸組接合部標準図 金物工法TEC-ONE	Mー 06	厨房機器リスト（参考）
Aー 39	平面詳細図(5)							Mー 07	配置図・樹リスト
Aー 40	平面詳細図(6)							Mー 08	平面図
Aー 41	展開図(1)							Mー 09	詳細図（1）
Aー 42	展開図(2)							Mー 10	詳細図（2）
Aー 43	展開図(3)							Mー 11	詳細図（3）
Aー 44	展開図(4)							Mー 12	空調機器リスト
Aー 45	展開図(5)							Mー 13	空調平面図
Aー 46	展開図(6)							Mー 14	換気機器リスト
Aー 47	展開図(7)							Mー 15	24時間換気計算
Aー 48	展開図(8)							Mー 16	換気平面図
Aー 49	展開図(9)								
Aー 50	展開図(10)								

鉄筋工事	⑤	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑥	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑦	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑧	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑨	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑩	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑪	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑫	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑬	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
	⑭	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手
⑮	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置	・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による	・図示	○構造特記仕様書による	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(2) による	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a)(3) による	・図示	○構造特記仕様書による	鉄筋の定着長さ(5.3.4)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による	・図示	○構造特記仕様書による	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)(5.3.5)	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による	・図示	○構造特記仕様書による	柱及び梁の主筋にD29以上の使用	・あり 使用箇所()	主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)	・適用箇所()	・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ ()mm	・()	○各部配筋(5.3.7)	各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による	・図示	・()	○構造特記仕様書による	○圧接完了後の試験(5.4.10)(5.4.11)	外観試験	※行う (全数)	抜取試験	※超音波探傷試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。	試験の箇所数：1ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。	・引張試験	試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えときは200箇所ごととする	試験の箇所数：1ロットに対して(※3本・)とする	適用箇所(5.5.2)	・図示による()・	H12建告第1463号に適合する性能(5.5.2)	・A級・	機械式継手の種類(5.5.2)	・図示による()・	鉄筋相互のあき(5.3.5)(5.5.2)	・図示による()・	施工完了後の継手部の試験(5.5.2)	・図示による()	不合格となった継手部への措置(5.5.2)	・図示による()	・機械式継手	
⑯	○鉄筋	鉄筋の種類等(5.2.1)	種類の種類	呼び径 (mm)	備考	・溶接金網	鉄線の形状等(5.2.2)	種類	種類の種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)	部位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接・機械式継手・溶接継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋	※重ね継手	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手・ガス圧接	上記以外 ()	※重ね継手	継手位置																																																					

・図示による () ・

H12建告第1463号に適合する性能(5.6.3)

・A級 ・

溶接継手の工法(5.6.3)

・図示による () ・

鉄筋相互のあき(5.6.3)

・図示による () ・

溶接完了後の継手部の試験(5.6.3)

・図示による ()

不合格となった継手部への措置(5.6.3)

・図示による ()

鉄骨工事	○型枠	せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm・ <table><tr><td>G</td></tr></table> ・ <table><tr><td>(</td></tr></table>) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・ <table><tr><td>(</td></tr></table>) ・M C R工法用シート 適用箇所・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・ <table><tr><td>(</td></tr></table>) 打増し厚さ・20mm・ <table><tr><td>(</td></tr></table>) 打増し範囲・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・ <table><tr><td>(</td></tr></table>) スリーブの材種・規格等 ・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・ <table><tr><td>(</td></tr></table>)	G	(((((((((((6.8.2)
	G													
(
(
(
(
(
(
(
(
(
(
○コンクリートの単位水量測定	実施要領 構造関係共通図(構造関係共通事項) 構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による													
7鉄骨工事	○鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※(<table><tr><td>R</td></tr></table>)グレード・ <table><tr><td>(</td></tr></table> グレードの指定はしない	R	((7.1.3)									
	R													
	(
	○鉄骨製作工場における施工管理技術者	※配置する	(7.1.3、4)											
	○鋼材	種類等 種類の記号適用箇所(主要な部分)規 格 図示・JIS規格による・ ・JIS規格による・ ・JIS規格による・ ・JIS規格による・ ・JIS規格による・	(7.2.1)											
	・高力ボルト	高力ボルトの種類 ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・ ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔) ・ 摩擦面の処理方法等 溶融亜鉛めっき面以外 ※標準仕様書7.4.2(1)による ・ 溶融亜鉛めっき面 ・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・ ・ ・すべり試験 ※すべり係数試験・すべり耐力試験 試験の方法等 ・図示による(<table><tr><td>(</td></tr></table>)・	(((7.2.2) 									
	(
	(

・ALCパネル

ALCパネルの区分等

(8.4.2～5)

区分			単位荷重 (N/㎡)		厚さ (mm)	幅 及び 長さ	耐火性能 (時間)	構法の 種別
	正 荷重	負 荷重						
・ 外壁用	・ 一般 ・ コーナー	・ 平 ・ 意匠	・	・	・	図示に よる	・ なし ・ 1	・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 間仕切 壁用	・ 一般 ・ コーナー	・ 平 ・ 意匠	—	—	・	図示に よる	・ なし ・ 1	・ D種 ・ E種
・ 屋根用	—	—	・	・	・	図示に よる	・ 0.5	
・ 床用	—	—	・	—	・	図示に よる	・ 1 ・ 2	※F種

パネルの相互の接合部に挿入する目地材

外壁、屋根パネルの構法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した構法

耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

・ 図示による

目地幅 (mm)

(パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部)

※10～20

外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない

・ 押出成形セメント板 (E C P)

ECPの種類等

(8.5.2～5)

パネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	
・ 外壁パネル	・ F (フラットパネル)	・ 50 ・ 60		・ A 種		
	・ D (デザインパネル)	・ 50 ・ 60	600			・ B 種
	・ T (タイルペーストパネル)	60				
・ 間仕切壁パネル	・ F (フラットパネル)	・ 50 ・ 60		・ B 種		
	・ D (デザインパネル)	・ 50 ・ 60	600			・ C 種
	・ T (タイルペーストパネル)	60				

外壁パネルの工法

1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

・ 図示による

パネル相互の目地幅 (mm) ※ 長辺10、短辺15以上

出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※ 15程度

耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅	
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示

耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による

・ アスファルト防水

屋根保護防水

(9.2.2～5) (表 9.2.3～9)

種別	施工箇所	絶縁用シート	立上り部の保護
・ A－1		※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤンクロス70g/㎡程度	・ 乾式保護材
・ A－2			
・ A－3			
・ B－1			
・ B－2			
・ B－3			
・ A I－1		※ フラットヤンクロス70g/㎡程度	・ コンクリート
・ A I－2			
・ A I－3			
・ B I－1			
・ B I－2			
・ B I－3			・ れんが (JIS R 1250)

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※ 水下 80mm以上

床タイル張り ※ 水下 60mm以上

断熱材 [G] (A I－1、A I－2、A I－3、B I－1、B I－2、B I－3の場合)

厚さ ※ 25mm ・ 50mm

乾式保護材 (品質・性能・試験方法) 別表による

窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

分類・規格		・ 窯業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	・ 窯業系パネルⅠ類 (一般地仕様)	・ 金属複合板
寸法 (mm)	厚さ (mm)	・ 15	・ 15	・ 15
	幅 (mm)	・ 303	・ 303	・ 303

・ 改質アスファルト防水

改質アスファルトシート

(9.3.2～3) (表9.3.1～3)

種 別	施工箇所	改質アスファルトシート	断熱材 [G]	防湿層
・ A S－T 1		下層用 ・ ※非露出複層防水用R種		
		上層用 ・ ※露出複層防水用R種		
・ A S－T 2		※露出単層防水用R種	※2.5以上	
・ A S－T 3		下層用 ・ ※非露出複層防水用R種		
		上層用 ・ ※露出複層防水用R種		
・ A S－T 4		※露出単層防水用R種	※3.0以上	
・ A S－J 1		下層用 ・ ※非露出複層防水用R種		
		上層用 ・ ※露出複層防水用R種		
・ A S I－T 1		下層用 ・ ※非露出複層防水用R種	※1.5以上	種類 ・ ・ 設ける
		上層用 ・ ※露出複層防水用R種	※3.0以上	
・ A S I－J 1		下層用 ・ ※非露出複層防水用R種	厚さ ・ 25mm ・ 50mm	
		上層用 ・ ※露出複層防水用R種		

・ 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類

(9.4.2～4) (表9.4.1～3)

種 別	施工箇所	ルーフィングシートの厚さ (mm)	断熱材 [G]	仕上塗料	防湿層
・ S－F 1		※1.2		・ カラー ・ シルバー	
・ S－F 2		※2.0			
・ S－M 1		※1.5			
・ S－M 2		※1.5		・ カラー ・ シルバー	
・ S I－F 1		※1.2	種類 ・	・ カラー ・ シルバー	・ 設ける
・ S I－F 2		※2.0			
・ S I－M 1		※1.5	厚さ ・ 25 ・ 50	・ カラー ・ シルバー	
・ S I－M 2		※1.5			
・ S－C 1		※1.0			

S－F 1、S I－F 1の場合

プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ () ・ 図示

プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ・ () ・ 図示

S－C 1の保護層

平場 ・ モルタル塗り 塗り厚 (・ 30mm) ・ 保護コンクリート 厚さ () mm

立上り部の保護モルタルの塗厚 ※7mm以下 ・ ()

・ 塗膜防水

防水層の種類

(9.5.3) (表9.5.1～2)

種 別	施工箇所	備 考
・ X－1		仕上げ塗料塗り
・ X－2	ブレイデッキ リムスプレー	・ カラー ・ シルバー
・ Y－1	※地下外壁防水	
・ Y－2	※屋内防水	Y－2の保護層 ・ 設ける

防水層の種類 (9.6.3) (表9.6.1)

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
※C－U I		・ C－U P	

防水層の種類

種 別	施工箇所	備 考

・ ケイ酸質系塗布防水

防水層の種類

(9.6.3) (表9.6.1)

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
※C－U I		・ C－U P	

防水層の種類

種 別	施工箇所	備 考

・ 脱気装置

防水層の種類

(9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3)

防水種別	種 類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1 S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による ・ () 個／㎡
X-1	※主材料の製造所の仕様による	※主材料の製造所の仕様による ・ () 個／㎡

・ シーリング

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。耐火シール 20*15図示

(9.7.2、3、5) (表9.7.1)

施工箇所		シーリング材の種類 (記号)			
外部取合いシーリング		MS-2	10*10		
サッシ廻りシーリング (衛生器具等)		MS-2	10*10	・ 20×10	
内部雑シーリング (衛生器具等)		SR-1	10*10		

シーリング面への仕上塗料仕上げ等 ・ 行う ・ 行わない

接着性試験 ※簡易接着性試験

・ 引張接着性試験 (部位)

保証期間は (10) 年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

・ 防水保証期間

保証期間は (10) 年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。

・ 施工

石材の割付け (取合い部以外) ・ () ・ 図示

(10.1.3)

・ 石材

天然石

(10.2.1～3) (表10.2.1～2)

施工箇所	岩石の種類	等 級	形 状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備 考
		・ 1等品 ・ 2等品					

・ テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	大きさ	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ
	※大理石 ・ 花こう岩		・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面			

・ 特記仕様書 (建築工事編) (5)

株式会社若竹まちづくり研究所

A－05

令和7年3月

令和5年7月改正

・ 令和4年度版

高知県土木部建築課

・ 株式会社若竹まちづくり研究所

A－05

令和7年3月

令和5年7月改正

・ 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

あいの保育園改築工事

令和5年7月改正

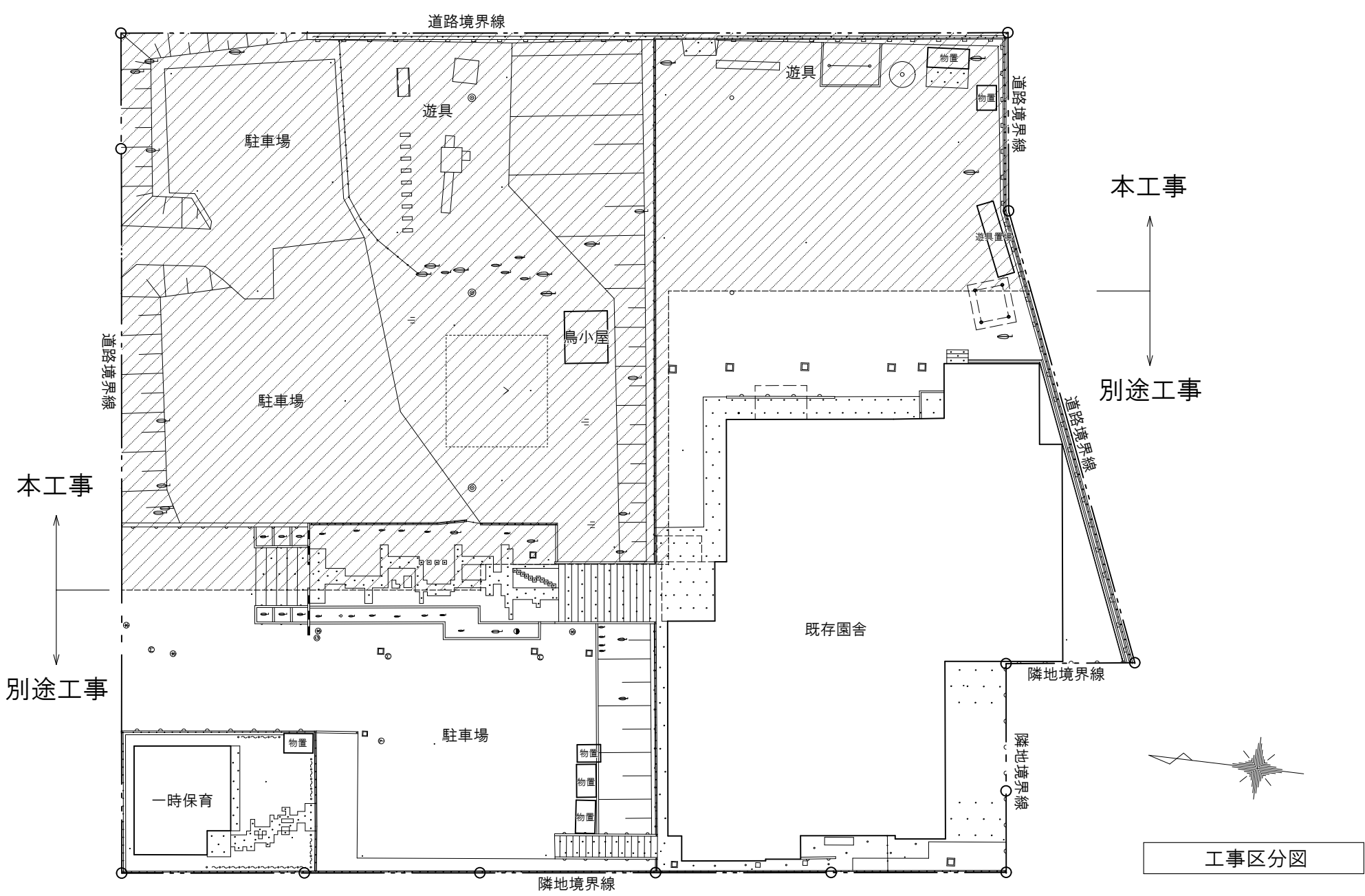
タイル工事	・テラゾタイル					
	施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ
		※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型		
	乾式工法的方式による金物の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等 ・ () ・図示 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 ・ () ・図示 石裏面処理及び裏打ち処理 (10.3.2) (10.5.2) (10.6.2、3) ・適用する ・適用しない					
	・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置 ・ () ・図示 (11.1.3) (表11.1.1)				
	・タイル	タイルの形状、寸法等 (11.2.2、4、6)				
	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の 適用 [G]	吸水率による区分 Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう無ゆう有無標準特注	役物 色 耐凍害性 耐滑り性 備 考
			・	・	・	・
			・	・	・	・
	役物使用箇所	※各部の形状は図示による				
内 装	出隅、天端					
外 装	出隅、窓台、マグサ（標準一体成型品以外は接着成型品とする）					
見本焼き	・行う	・行わない				
試験張り	・行う	・行わない				
壁タイル張りの工法	(11.2.2、6)					
内外装タイル	・密着張り ・改良圧着張り					
内装タイル以外のユニットタイル	・マスク張り ・モザイクタイル張り					
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理	※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）					
壁タイル張りの工法	(11.3.2～5)					
内装タイル	・内装タイル接着剤張り					
外装タイル	・外装タイル接着剤張り					
内装タイル以外のユニットタイル	・外装タイル接着剤張り					
下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理	※MCR工法又は目荒し工法（高圧水洗処理）					
接着剤のホルムアルデヒド放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。					
・セメント系によるタイル張り						
・有機系接着剤によるタイル張り						

木工工事	○表面仕上げ	機械加工 ○A種 ※B種 ・C種 (12.1.4) 適用箇所（ 造作材 ） 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 適用箇所（ ）				
	○木材 [G]	本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものと する。但し、これにより難しいものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっ ていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所()				
		間伐材等の適用 ・使用する（使用箇所） 木材の含水率 ※A種 ・B種 （以降の表に記載のある場合はその数値を優先する） ○木材の断面を表示する寸法は、引出し線で部材断面(横寸法×縦寸法)が示されている場合は、 引き立て寸法とし、寸法線で部材寸法が記入されている場合は仕上がり寸法とする。				
		ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。 ・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)				
	○製材 [G]	施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率
			※2級 ・		※A種 ・B種 ・	・
			※2級 ・		※A種 ・B種 ・	・
			※2級 ・		※A種 ・B種 ・	・
	・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材					
	施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種 ・	・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種 ・	・	
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材						
施工箇所	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・	・	
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種 ・	・	
・JAS 1083（製材）以外の製材						
施工箇所	寸法 (mm)	造作材の材面の 品質	防虫処理	防腐・ 防蟻処理	含水率	
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	

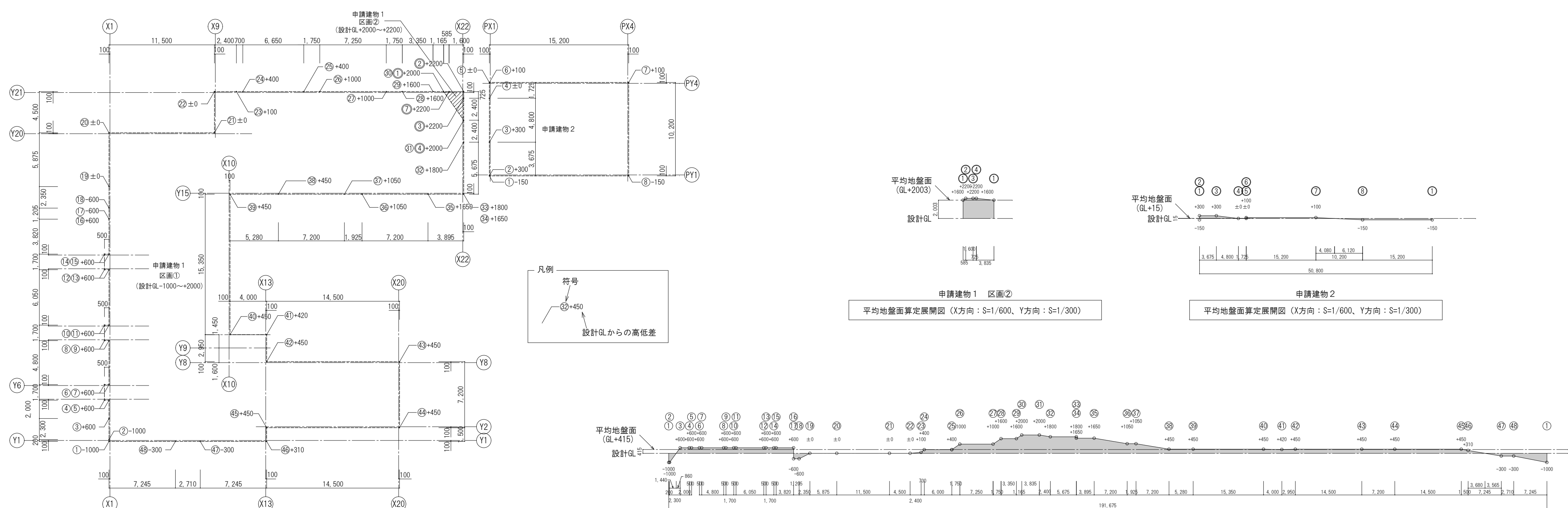
造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)				
	施工箇所	品 名	樹 種	寸 法 (mm)	見付け材面 の品質
	枠、額縁類 カーテンボックス		桧 桧	図示 図示	※1等 ・2等 ※1等 ・2等
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材				
	施工箇所	品 名	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸 法 (mm)
					化粧薄板の 厚さ (mm)
					見付け材面 の品質
					※1等 ・2等 ※1等 ・2等
	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材				
	施工箇所	樹 種	寸 法 (mm)	含水率	見付け材面の品質
			※15%以下		
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材					
施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸 法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	
				※15%以下	
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材					
施工箇所	品 名	寸 法 (mm)	表面の品質		
			・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）		
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)					
施工箇所	品 名	寸 法 (mm)	表面の品質		
			・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）		
・JAS 0701以外の造作用単板積層材					
施工箇所	寸 法 (mm)	含水率	表面の品質		
		※14%以下	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）		
・JAS 3079に基づく直交集成板 (12.2.1)					
施工箇所	品 名	曲げ強度 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	
				樹 種	
				寸 法 (mm)	
○「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)					
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	
壁・天井	※5.5 ・9.0	※1類 ・2類	シナ	広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ・	
○「合板の日本農林規格」による構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	
	※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上		
				板面の品質	
				※C-D以上 ・	
床、壁、屋根	12.0,24.0	1類	2級	C-D ○する	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名		
		・特類 ・1類	防虫処理		
			・する ・しない		
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板					
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理	
		・1類 ・2類		・する ・しない	
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板					
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法	単板の樹種名	
		・1類 ・2類		防虫処理	
				・する ・しない	
・パーティクルボード					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	
	※15		※13タイプ	※P又はM	
・JAS 0360に基づく構造用パネル					
施工箇所	厚さ(mm)		品 名		
・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板					
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	
				難燃性	

工 事	金 属	14	○とい	といの材種	・配管用鋼管	・表面処理鋼板	(13.5.2、3) (表13.5.1、4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</
-----	-----	----	-----	-------	--------	---------	------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

計画概要					
工 事 概 要	工 事 名 称	令和7年度 あいの保育園改築工事			
	建 築 主	社会福祉法人はってん福祉会 あいの保育園 理事長 清水 教堯			
	工 事 種 別	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替			
	工 期 予 定	8.5ヶ月			
	建 物 用 途	保育園			
	工 事 区 分	■本工事に含む（電気設備工事、機械設備工事、屋外付帯工事） ■本工事外（解体工事、一部外構工事）			
敷 地	工 事 場 所	高知県吾川郡いの町天王南1丁目1-1、1-7、1-8			
	区 域 ・ 地 域	■市街化区域 □市街化調整区域 □非線引き区域 □都市計画区域外			
	用 途 地 域	■住居系（第1種低層住居専用地域） □商業系（ ） □工業系（ ） □指定なし			
	防 火 地 域	□防火地域 □準防火地域 □法22条地域 ■指定なし			
道 路	そ の 他	宅地造成等工事規制区域、土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）			
	道 路 種 別	42条1項1号道路			
面 積	道 路 幅 員	北側 6.700m			
	敷 地 面 積		4,576.96 ㎡		
			申請部分	申請以外の部分	
		建 築 面 積	1,115.18 ㎡	㎡	
		延 べ 面 積	1,032.51 ㎡	㎡	
		建 蔽 率	24.37 %	（法定建蔽率）	60+10 % （角地緩和適用）
容 積 率	22.56 %	（法定容積率）	100 %		
形 態 規 制	斜 線 制 限	■道路斜線（斜線勾配1.25） ■隣地斜線（ ） ■北側斜線（5m+斜線勾配1.25）			
	そ の 他				
建築物概要（棟別）					
概 要	棟 名	棟1：園舎棟	棟2：遊戯室棟	棟3：物置	
	建 物 用 途	保育園	保育園	倉庫	
	工 事 種 別	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替	
	法 定 構 造	その他	その他	その他	
構 造	構 造 種 別	■木造 □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □混構造（ + ）	■木造 □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □混構造（ + ）	□木造 □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 ■軽量鉄骨造	
	地 業 種 別	■直接基礎 □ラップルコンクリート □地盤改良 □杭	■直接基礎 □ラップルコンクリート □地盤改良 □杭	■直接基礎 □ラップルコンクリート □地盤改良 □杭	
高 さ	最 高 高 さ	5.413 m	5.290 m	2.375 m	
	軒 高	3.658 m	3.385 m	2.375 m	
	1 階 床 高	0.60 m	0.30 m	0.10 m	
設 備	建 築 設 備	■給排水 ■換気 ■ガス ■電気 ■消火 □避雷針 □昇降機 ■非常用照明	□給排水 ■換気 □ガス ■電気 ■消火 □避雷針 □昇降機 ■非常用照明	□給排水 □換気 □ガス □電気 □消火 □避雷針 □昇降機 □非常用照明	
	消 防 設 備	■誘導灯 ■自動火災報知設備 ■ﾊﾞｯｹｰｼﾞ型屋内消火栓			
概 要	棟 名	棟4：物置	棟5：物置		
	建 物 用 途	倉庫	倉庫		
	工 事 種 別	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替	■新築 □改築 □増築 □移転 □用途変更 □大規模の修繕 □大規模の模様替		
	法 定 構 造	その他	その他		
構 造	構 造 種 別	□木造 □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 ■軽量鉄骨造	□木造 □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 ■軽量鉄骨造		
	地 業 種 別	■直接基礎 □ラップルコンクリート □地盤改良 □杭	■直接基礎 □ラップルコンクリート □地盤改良 □杭		
高 さ	最 高 高 さ	2.270 m	2.450 m		
	軒 高	2.270 m	2.450 m		
	1 階 床 高	0.10 m	0.10 m		
設 備	建 築 設 備	□給排水 □換気 □ガス □電気 □消火 □避雷針 □昇降機 □非常用照明	□給排水 □換気 □ガス □電気 □消火 □避雷針 □昇降機 □非常用照明		
	消 防 設 備				



工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-12
	図面名称 工事概要書・付近見取図					



平均地盤面算定図 S=1/300

平均地盤面算定表 (申請建物1：区画①)

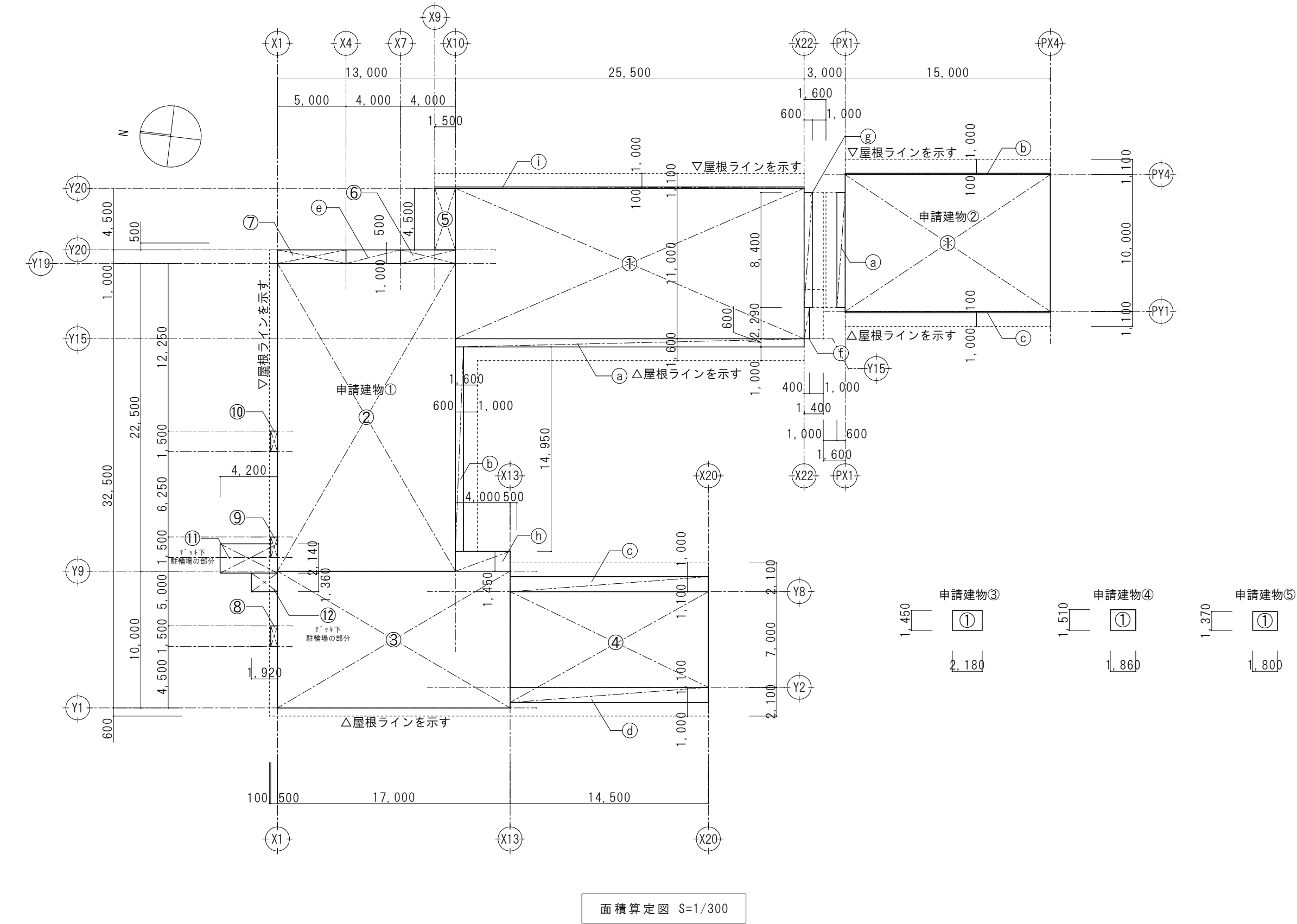
区間	長さ(m)	高さ(m)	係数	面積(㎡)	区間	長さ(m)	高さ(m)	係数	面積(㎡)
1 → 2	0.200	-1.000	1.0	-0.20000	25 → 26	1.750	1.400	0.5	1.22500
2 → 3	1.440	-1.000	0.5	-0.72000	26 → 27	7.250	1.000	1.0	7.25000
	0.860	0.600	0.5	0.25800	27 → 28	1.750	2.600	0.5	2.27500
3 → 4	2.000	0.600	1.0	1.20000	28 → 29	3.350	1.600	1.0	5.36000
4 → 5	0.500	0.600	1.0	0.30000	29 → 30	1.165	3.600	0.5	2.09700
5 → 6	1.700	0.600	1.0	1.02000	30 → 31	3.835	2.000	1.0	7.67000
6 → 7	0.500	0.600	1.0	0.30000	31 → 32	2.400	3.800	0.5	4.56000
7 → 8	4.800	0.600	1.0	2.88000	32 → 33	5.675	1.800	1.0	10.21500
8 → 9	0.500	0.600	1.0	0.30000	33 → 34	0.000	3.450	0.5	0.00000
9 → 10	1.700	0.600	1.0	1.02000	34 → 35	3.895	1.650	1.0	6.42675
10 → 11	0.500	0.600	1.0	0.30000	35 → 36	7.200	2.700	0.5	9.72000
11 → 12	6.050	0.600	1.0	3.63000	36 → 37	1.925	1.050	1.0	2.02125
12 → 13	0.500	0.600	1.0	0.30000	37 → 38	7.200	1.500	0.5	5.40000
13 → 14	1.700	0.600	1.0	1.02000	38 → 39	5.280	0.450	1.0	2.37600
14 → 15	0.500	0.600	1.0	0.30000	39 → 40	15.350	0.450	1.0	6.90750
15 → 16	3.820	0.600	1.0	2.29200	40 → 41	4.000	0.870	0.5	1.74000
16 → 17	0.000	0.600	1.0	0.00000	41 → 42	2.950	0.870	0.5	1.28325
	0.000	-0.600	1.0	0.00000	42 → 43	14.500	0.450	1.0	6.52500
17 → 18	1.205	-0.600	1.0	-0.72300	43 → 44	7.200	0.450	1.0	3.24000
18 → 19	2.350	-0.600	0.5	-0.70500	44 → 45	14.500	0.450	1.0	6.52500
19 → 20	5.875	0.000	1.0	0.00000	45 → 46	1.500	0.760	0.5	0.57000
20 → 21	11.500	0.000	1.0	0.00000	46 → 47	3.680	0.360	0.5	0.66240
21 → 22	4.500	0.000	1.0	0.00000		3.565	-0.300	0.5	-0.53475
22 → 23	2.400	0.100	0.5	0.12000	47 → 48	2.710	-0.300	1.0	-0.81300
23 → 24	0.700	0.500	0.5	0.17500	48 → 1	7.245	-1.300	0.5	-4.70925
24 → 25	6.000	0.400	1.0	2.40000		191.675			79.68700
平均地盤面① (m)79.687÷191.675 = 0.4157402 → 0.415 (設計GLより)									

平均地盤面算定表 (申請建物1：区画②)

区間	長さ(m)	高さ(m)	係数	面積(㎡)
1 → 2	0.585	3.800	0.5	1.11150
2 → 3	1.600	2.200	1.0	3.52000
3 → 4	0.725	2.200	1.0	1.59500
4 → 1	3.835	3.800	0.5	7.28650
	6.745			13.51300
平均地盤面② (m)13.513÷6.745 = 2.0034099 → 2.003 (設計GLより)				

平均地盤面算定表 (申請建物2)

区間	長さ(m)	高さ(m)	係数	面積(㎡)
1 → 2	0.000	-0.150	0.5	0.00000
	0.000	0.300	0.5	0.00000
2 → 3	3.675	0.300	1.0	1.10250
3 → 4	4.800	0.300	0.5	0.72000
4 → 5	1.725	0.000	1.0	0.00000
5 → 6	0.000	0.100	0.5	0.00000
6 → 7	15.200	0.100	1.0	1.52000
7 → 8	4.080	0.100	0.5	0.20400
	6.120	-0.150	0.5	-0.45900
8 → 1	15.200	-0.150	1.0	-2.28000
	50.800			0.80750
平均地盤面② (m)0.8075÷50.8 = 0.0158957 → 0.015 (設計GLより)				



■申請建物①						
符号	面積 (㎡)	算定式				
①	280.5000	25.5000	x	11.0000	=	280.5000
②	292.5000	13.0000	x	22.5000	=	292.5000
③	170.0000	17.0000	x	10.0000	=	170.0000
④	101.5000	14.5000	x	7.0000	=	101.5000
⑤	6.7500	4.5000	x	1.5000	=	6.7500
⑥	4.0000	4.0000	x	1.0000	=	4.0000
⑦	5.0000	5.0000	x	1.0000	=	5.0000
⑧	0.7500	1.5000	x	0.5000	=	0.7500
⑨	0.7500	1.5000	x	0.5000	=	0.7500
⑩	0.7500	1.5000	x	0.5000	=	0.7500
⑪	8.9880	4.2000	x	2.1400	=	8.9880
⑫	2.6110	1.9200	x	1.3600	=	2.6110
延べ面積	874.0990					
a	15.3000	0.6000	x	25.5000	=	15.3000
b	8.9700	0.6000	x	14.9500	=	8.9700
c	15.9500	14.5000	x	1.1000	=	15.9500
d	15.9500	14.5000	x	1.1000	=	15.9500
e	4.0000	4.0000	x	1.0000	=	4.0000
f	0.9160	0.4000	x	2.2900	=	0.9160
g	5.0400	0.6000	x	8.4000	=	5.0400
h	5.8000	4.0000	x	1.4500	=	5.8000
i	2.7000	27.0000	x	0.1000	=	2.7000
建築面積	948.7250					

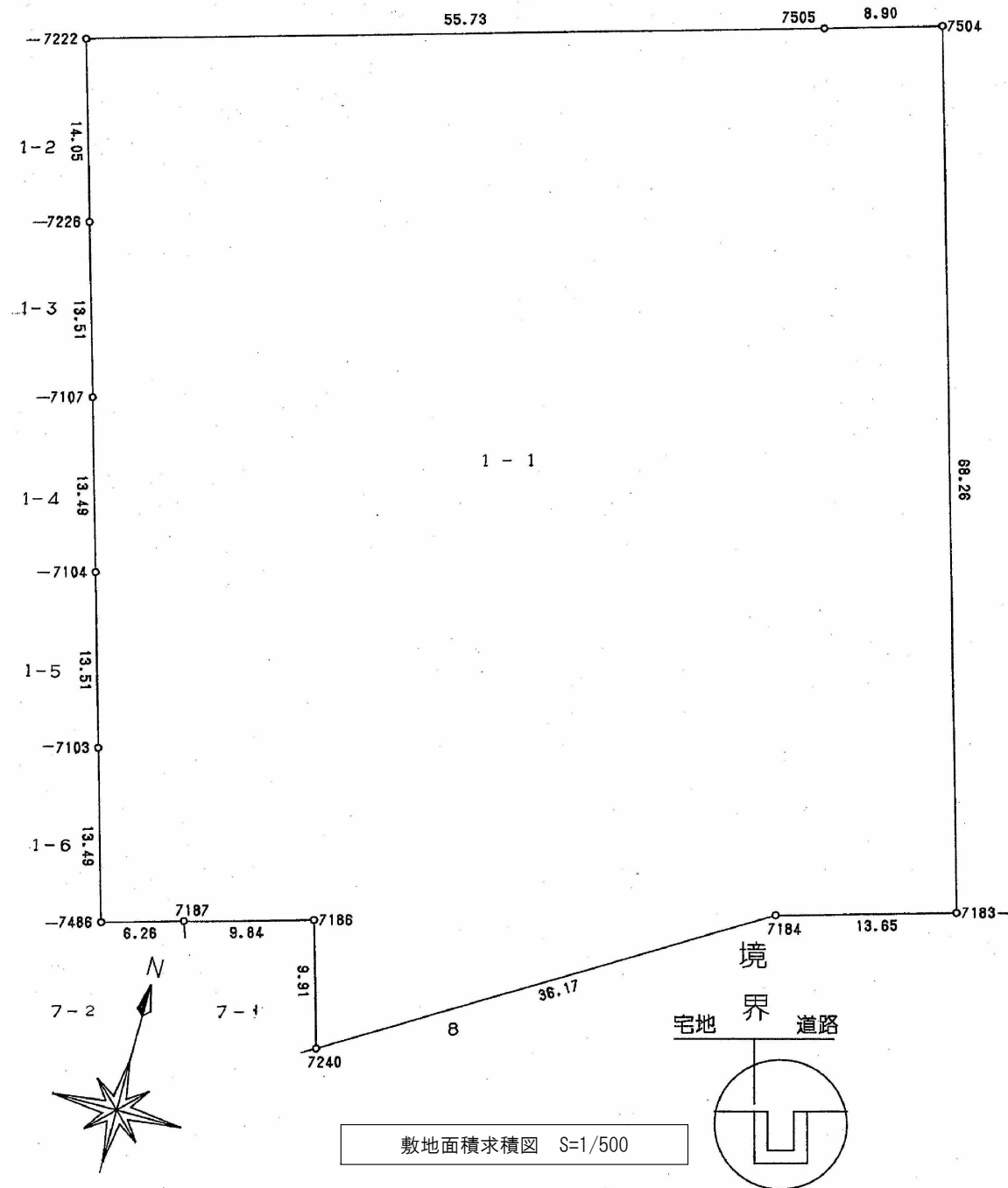
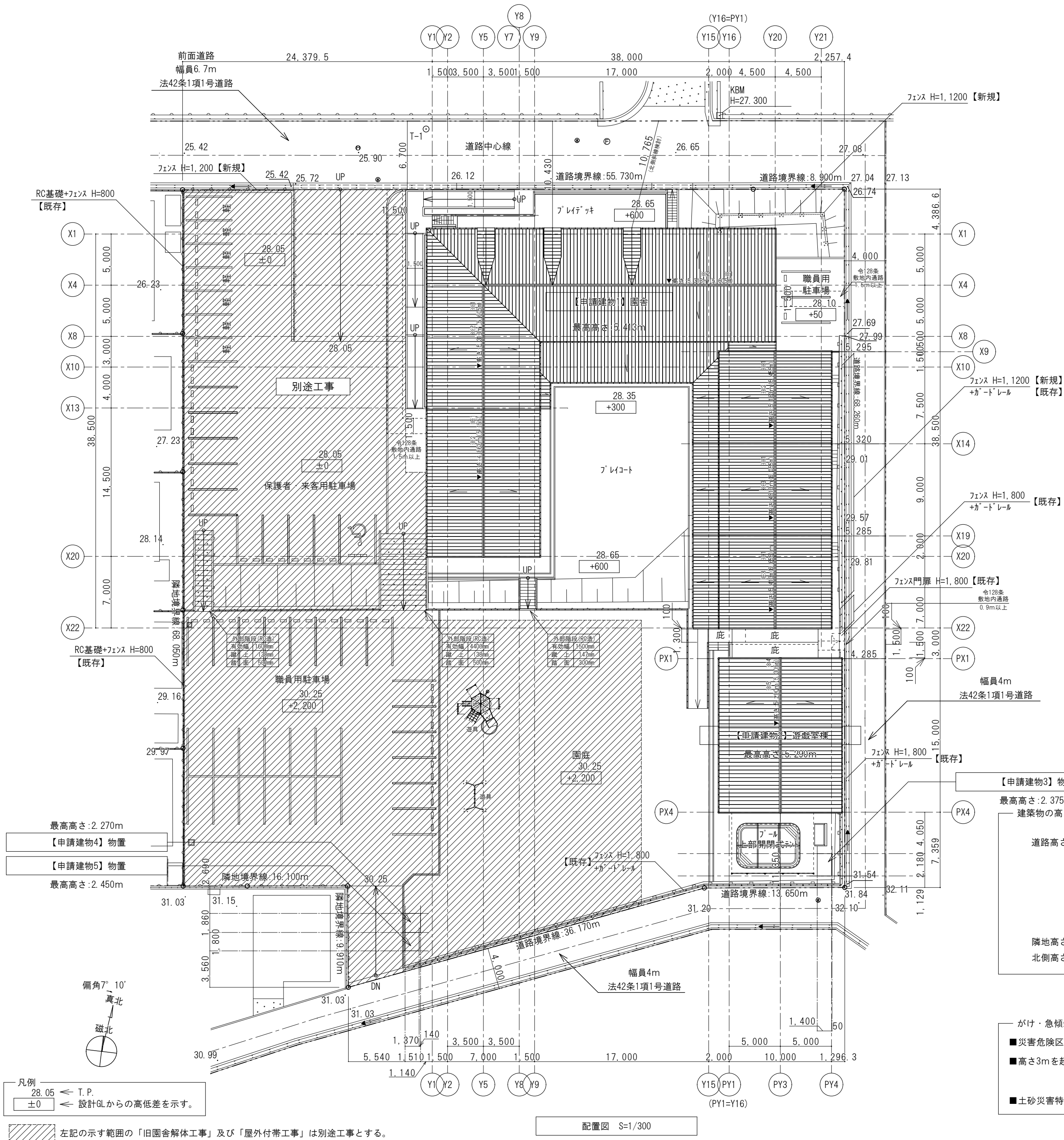
■申請建物②						
符号	面積 (㎡)	算定式				
①	150. 0000	15. 0000	x	10. 0000	=	150. 0000
延べ面積	150. 0000					
a	5. 0400	0. 6000	x	8. 4000	=	5. 0400
b	1. 5000	15. 0000	x	0. 1000	=	1. 5000
c	1. 5000	15. 0000	x	0. 1000	=	1. 5000
建築面積	158. 0400					

■申請建物③						
符号	面積 (㎡)	算定式				
①	3.1610	2.1800	x	1.4500	=	3.1610
延べ面積	3.1610					
建築面積	3.1610					

■申請建物④						
符号	面積 (㎡)	算定式				
①	2.8080	1.8600	x	1.5100	=	2.8080
延べ面積	2.8080					
建築面積	2.8080					

■申請建物⑤						
符号	面積 (㎡)	算定式				
①	2.4660	1.8000	x	1.3700	=	2.4660
延べ面積	2.4660					
建築面積	2.4660					

■面積表						
	申請建物①	申請建物②	申請建物③	申請建物④	申請建物⑤	合計
延べ面積	874.09	150.00	3.16	2.80	2.46	1,032.51
建築面積	948.72	158.04	3.16	2.80	2.46	1,115.18



座標法面積計算					
地番 ()	1-1				
NO	標	X	Y	辺長	測線
7504	金属標	58264.519	-4909.550	68.267	7504-7183
7183	金属標	58198.852	-4890.889	13.654	7183-7184
7184	金属標	58195.087	-4904.014	36.177	7184-7240
7240	金属標	58176.228	-4934.886	9.911	7240-7186
7186	金属標	58185.760	-4937.601	9.842	7186-7187
7187	金属標	58183.073	-4947.069	6.267	7187-7486
7486	金属標	58181.362	-4953.098	13.491	7486-7103
7103	金属標	58194.338	-4956.789	13.513	7103-7104
7104	金属標	58207.337	-4960.480	13.492	7104-7107
7107	金属標	58220.316	-4964.164	13.511	7107-7226
7226	金属標	58233.310	-4967.866	14.051	7226-7222
7222	金属標	58246.822	-4971.719	55.732	7222-7505
7505	金属標	58262.039	-4918.105	8.907	7505-7504
倍面積		9153.933816	坪	1384.53	
面積		4576.9669080	地積	4576.96m2	

公式 $S = \frac{1}{2} \sum X_i (Y_{i+1} - Y_{i-1})$
使用機種 SHARP MZ-6500 MODEL 2

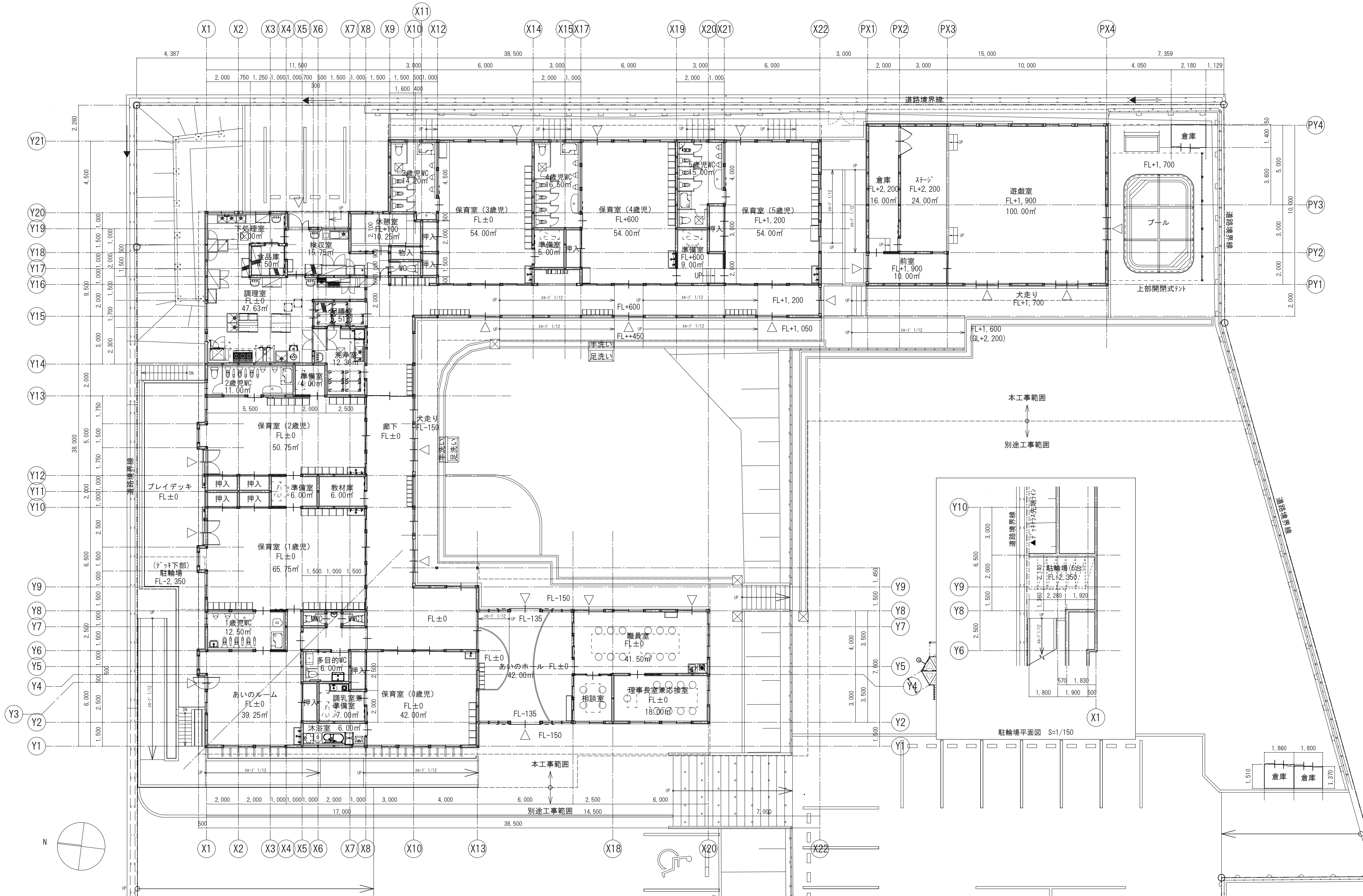
【申請建物3】物置	
最高高さ: 2.375m	
建築物の高さ制限の検討	
道路高さ制限	北側 (10.430m × 1.25) + 2.07m = 15.1075m > 5.605m OK
西側①	(5.295m × 1.25) - 0.05m = 6.5687m > 3.740m OK
西側②	(5.320m × 1.25) + 0.95m = 7.6000m > 4.340m OK
西側③	(5.285m × 1.25) + 1.52m = 8.1262m > 4.940m OK
西側④	(4.285m × 1.25) + 0.00m = 5.3562m > 3.450m OK
南側	(11.350m × 1.25) + 1.75m = 15.9375m > 5.305m OK
隣地高さ制限	(法55条) 10m > 5.413m OK
北側高さ制限	北側 5m + (10.765m × 1.25) = 18.456m > 5.413m OK

- がけ・急傾斜地・土砂災害のおそれのある区域の制限
- 災害危険区域：指定なし
 - 高さ3mを超える崖付近（高知県が条例）：申請建物周囲に3mを超え、且つ勾配が30°を超える崖はない。
 - 土砂災害特別警戒区域：範囲外

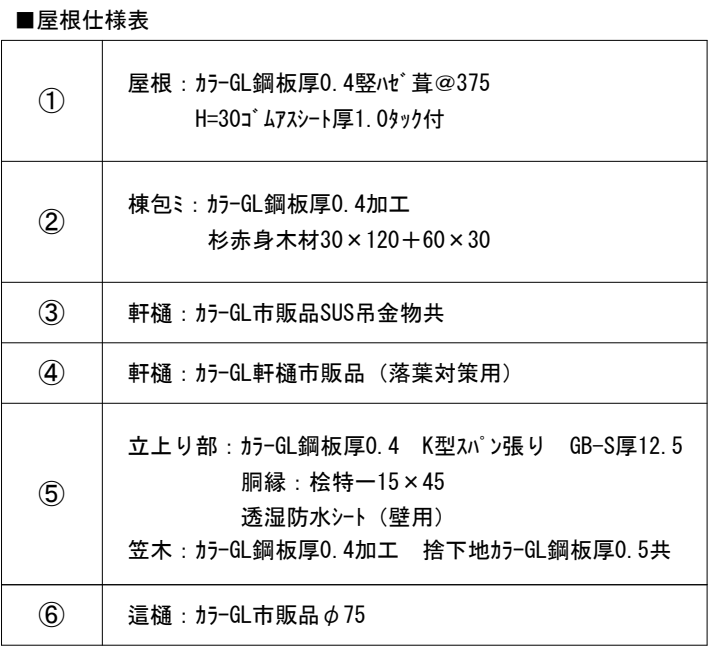


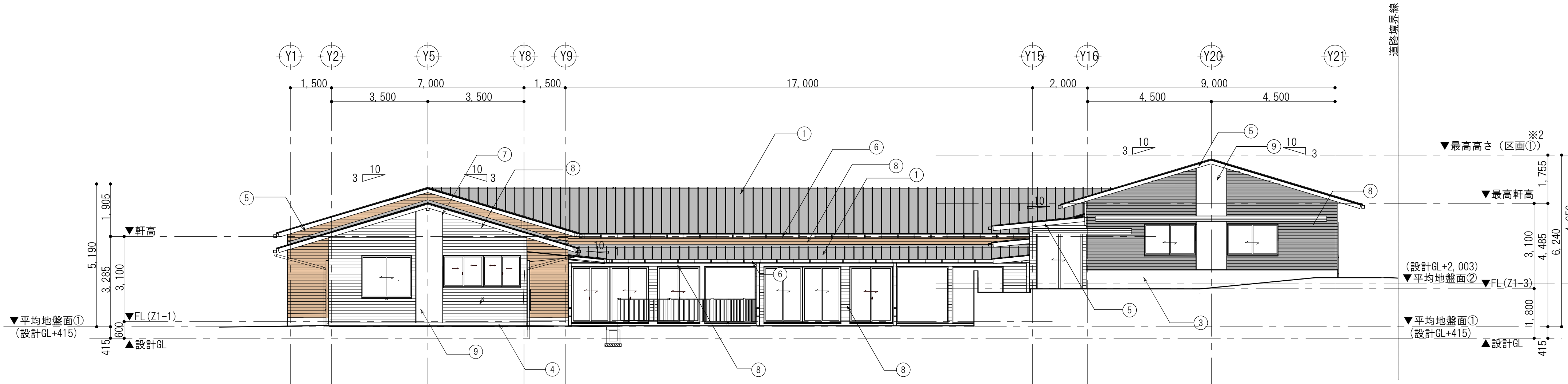
付近見取図 (土砂災害警戒区域) S=1/5000

※開発許可を必要とする造成工事は行わない。 ※「園舎」と「遊戯室棟」間の底は777mm (500mm以上) を確保する。	建築物の高さ関係		工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-15
	※1 (園舎) 設計GL (TP=28.05) からの高さ	※4 (遊戯室棟) 設計GL (TP=30.25) からの高さ						
	※2 (園舎) 平均地盤面 (区画①) からの高さ	※5 (遊戯室棟) 平均地盤面からの高さ	図面名称 配置図・敷地面積求積表			縮尺 図示	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	

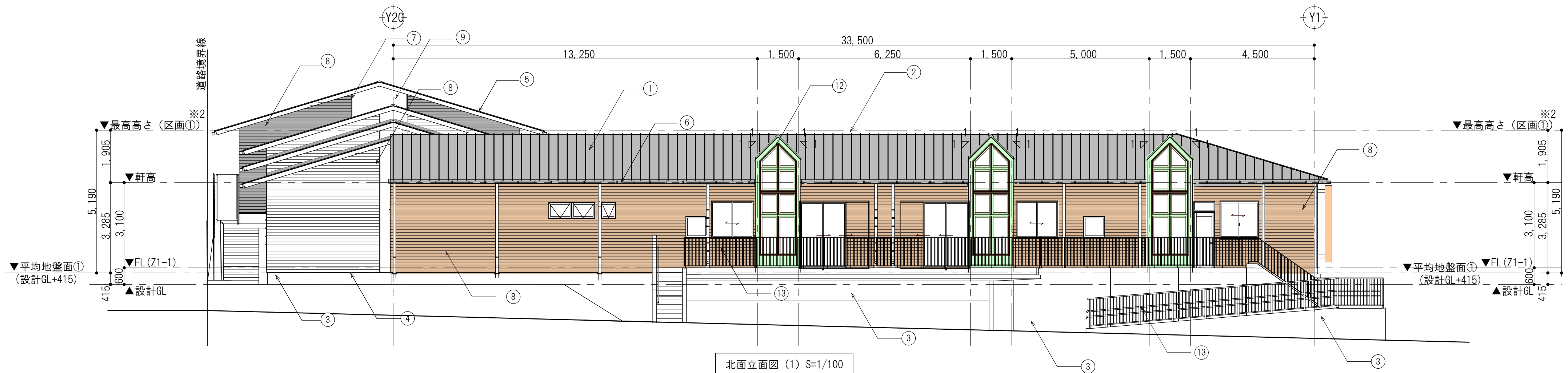


----- 屋根ラインを示す。 △ 出入口を示す。	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-17
	図面名称	平面図				縮尺		



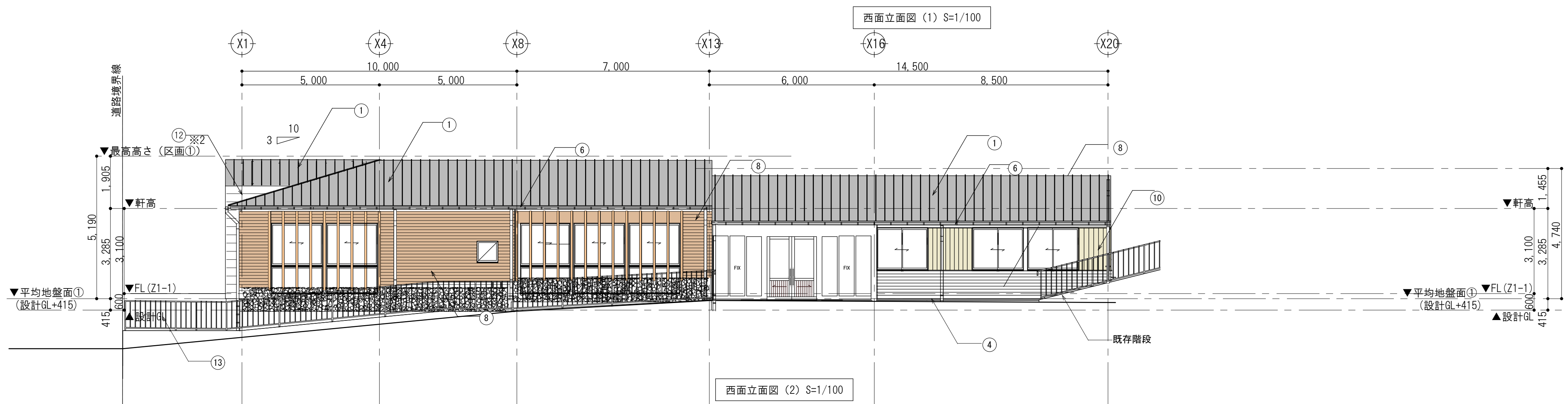
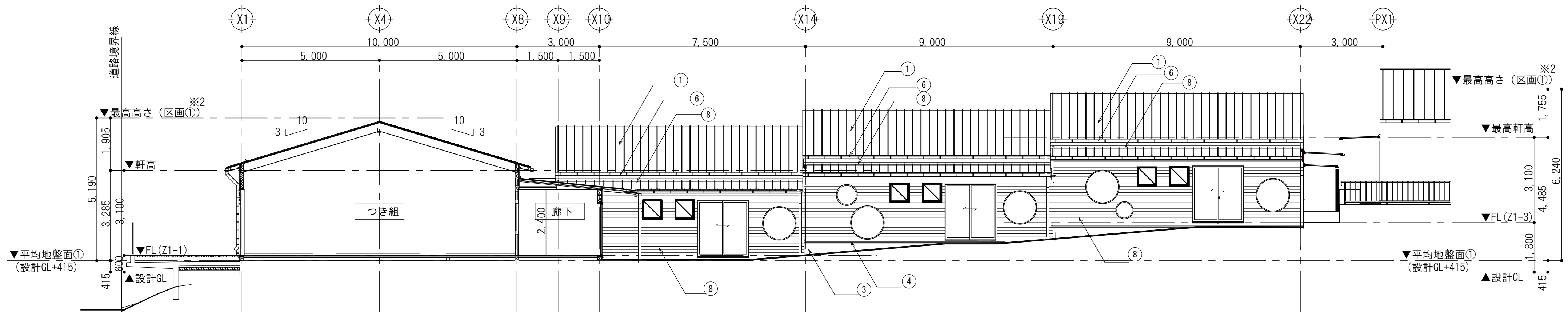


南面立面図 (1) S=1/100



北面立面図 (1) S=1/100

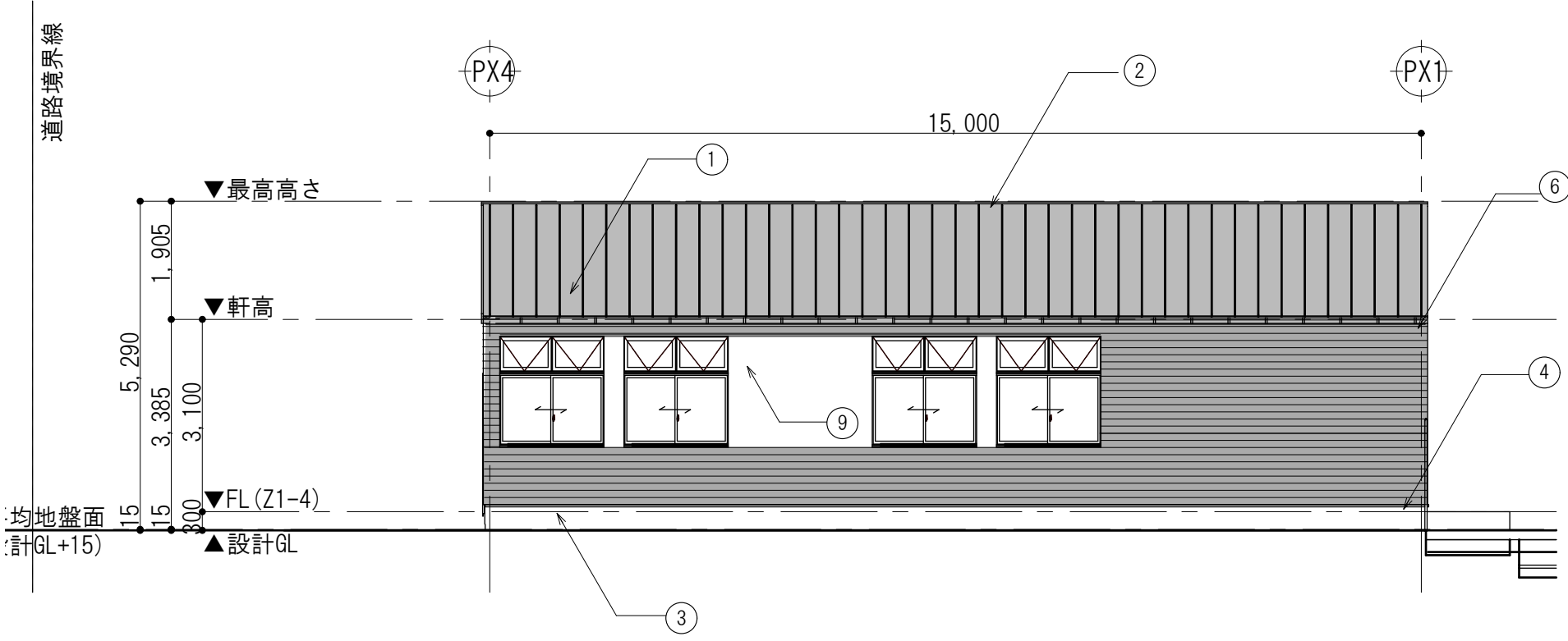
①	屋根：カラー鋼板厚0.4堅 ^ハ 葺 ^キ @375 ゴムシート厚1.0 ^タ 付	②	棟包ミ：カラー鋼板厚0.4加工 杉赤身木材30×120+60×30	③	コンクリート打放シA種	④	土台水切：カラー鋼板厚0.4加工 杉防腐木材60×85	⑤	鼻隠 ^シ ・ケラバ ^{包ミ} ：カラー鋼板厚0.4加工包ミ 桧35×155	⑥	軒樋：塩ビ製市販品角型(前高型)150 吊金具共 堅樋：カラーVP管φ75担ミ金物共	⑦	化粧押縁：杉防腐 (AAC) 注入材
⑧	外壁：窯業系サイディング ^コ (貼) 厚16 金具止工法・アクリルコート 同等品	⑨	外壁：窯業系サイディング ^コ 塗装品 (貼) 厚16 金具止工法・新フラット16同等品	⑩	外壁：窯業系サイディング ^好 (貼) 厚16 金具止工法・キャストスライ ^フ 同等品	⑪	コンクリート金ゴ ^テ 押目地切仕上 (桧目地15×15)	⑫	外壁：カラー鋼板厚0.4横葺(ケラバ、軒先共) 桧板 カラー鋼板厚0.4加工	⑬	手摺：支柱@858・手摺子受：StFB-50×12 手摺子：St角 ^{パイプ} 47.25×25×2.0@126 (菱形取付) 垂鉛パイプ処理の上DP1級塗装	⑭	
※1 園舎 設計GL=TP28.050 ※2 平均地盤面算定図による。園舎の最高高さは6,240(区画①)<4,652(区画②)より、6,240(区画①)とする。						工事名称 あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所		図面番号
						図面名称 立面図 (1)				縮 尺 S=1/100	開 設 者 管理建築士	一級建築士 佐藤八尋 一級建築士 小松道就	第 1 1 5 4 1 0 号 第 2 2 3 5 3 0 号



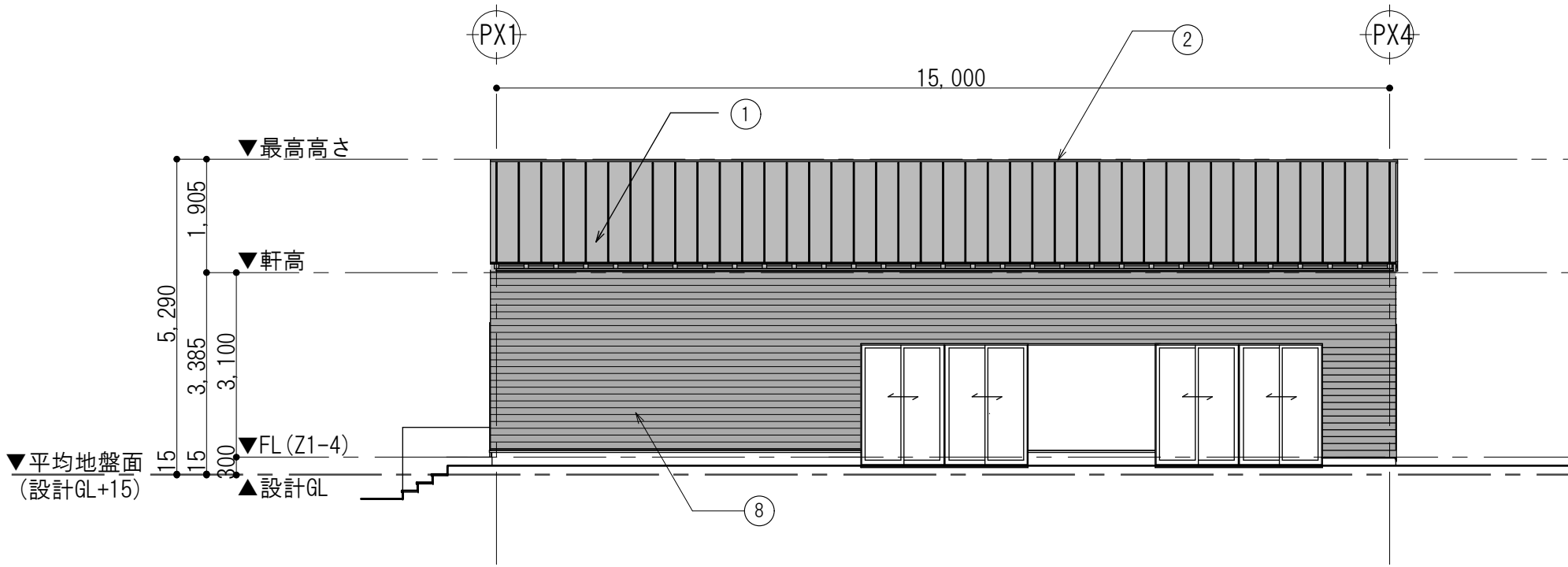
①	屋根：ｶｰｰﾙ鋼板厚0.4堅ﾊﾟｰ 葺@375 ｺﾞﾑｱｼｰﾄ厚1.0ﾀｯｸ付	②	棟包ﾐ：ｶｰｰﾙ鋼板厚0.4加工 杉赤身木材30×120+60×30	③	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼA種	④	土台水切：ｶｰｰﾙ鋼板厚0.4加工 杉防腐木材60×85	⑤	鼻隠ｼ・ｸﾞﾗﾊﾞｰ包ﾐ：ｶｰｰﾙ鋼板厚0.4加工包ﾐ 桧35×155	⑥	軒樋：塩ビ製市販品角型(前高型)150 吊金具共 堅樋：ｶｰｰVP管φ75組ﾐ金物共	⑦	化粧押縁：杉防腐 (AAC) 注入材
⑧	外壁：窯業系ｼｻﾞｲﾝｸﾞ (ｺ貼) 厚16 金具止工法・ﾌﾞﾗｰｰﾙｰﾄ 同等品	⑨	外壁：窯業系ｼｻﾞｲﾝｸﾞ (ｺ貼) 厚16 金具止工法・新ﾌﾗｯﾄ16同等品	⑩	外壁：窯業系ｼｻﾞｲﾝｸﾞ (好貼) 厚16 金具止工法・ｷｬｽﾄﾀｲﾌﾟ 同等品	⑪	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押目地切仕上 (桧目地15×15)	⑫	外壁：カラー鋼板厚0.4横葺(ケラバ、軒先共) 捨板 カラー鋼板厚0.4加工	⑬	手摺：支柱@858・手摺子受：StFB-50×12 手摺子：St角 47.25×25×2.0@126 (菱形取付) 垂鉛付処理の上DP1級塗装	⑭	
※1 園舎 設計GL=TP28.050 ※2 平均地盤面算定図による。園舎の最高高さは6,240(区画①)<4,652(区画②)より、6,240(区画①)とする。						工事名称 あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号		図面番号 A-20
						図面名称 立面図 (2)				縮尺 S=1/100			



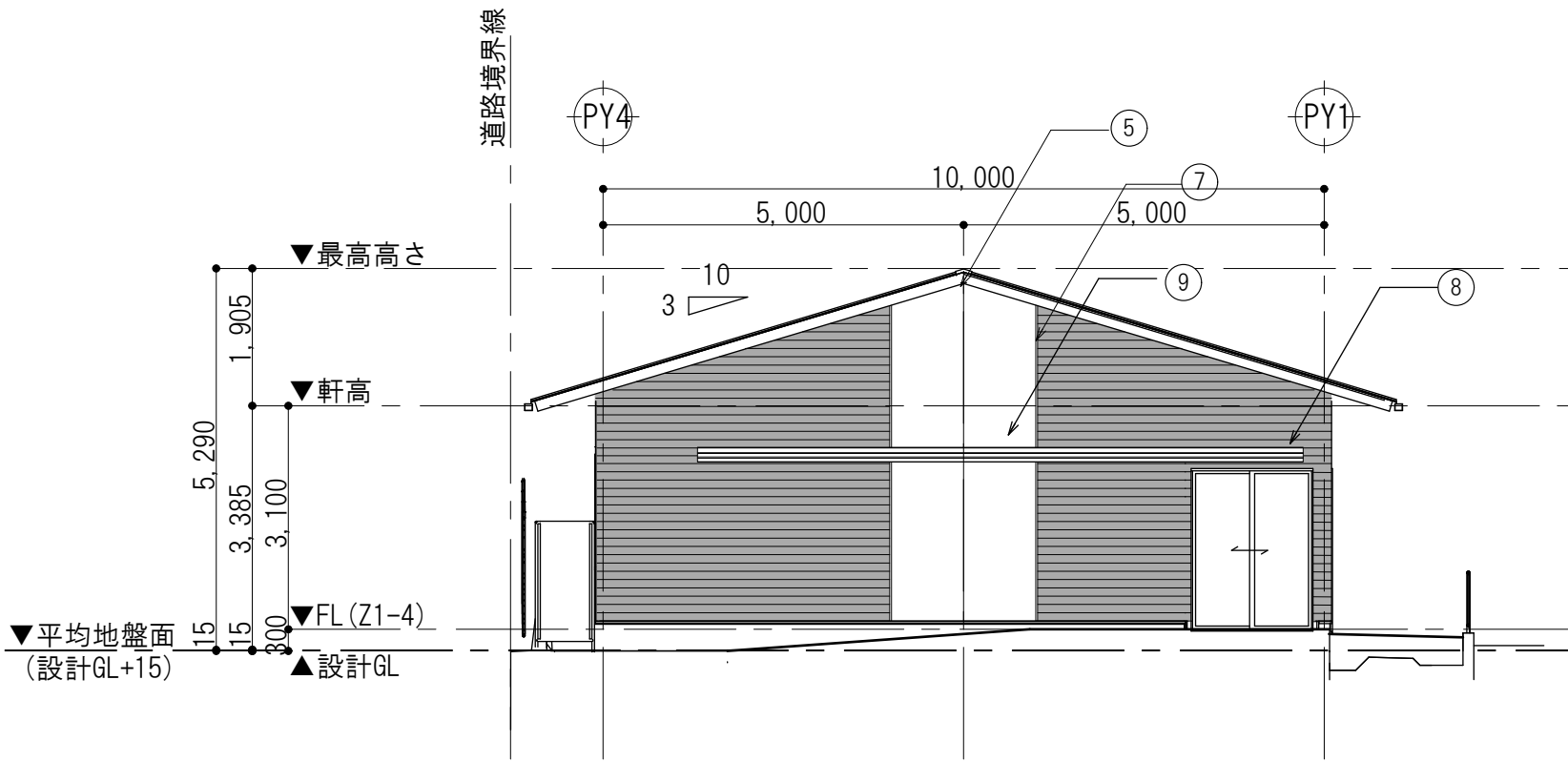
①	屋根：ｶｰｸﾞﾙ鋼板厚0.4堅ﾊﾈ葺 @375 ｺﾞﾑｼｰﾄ厚1.0ﾀｯﾁ付	②	棟包ミ：ｶｰｸﾞﾙ鋼板厚0.4加工 杉赤身木材30×120+60×30	③	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼA種	④	土台水切：ｶｰｸﾞﾙ鋼板厚0.4加工 杉防腐木材60×85	⑤	鼻隠ｼ・ｸﾞﾗﾊﾞ包ミ：ｶｰｸﾞﾙ鋼板厚0.4加工包ミ 桧35×155	⑥	軒樋：塩ビ製市販品角型(前高型)150 吊金具共 堅樋：ｶｰｸﾞﾙVP管φ75樋ミ金物共	⑦	化粧押縁：杉防腐 (AAC) 注入材	
⑧	外壁：窯業系サイディング (ｺ貼) 厚16 金具止工法・ﾌｯｸﾒｯﾄ 同等品	⑨	外壁：窯業系サイディング 塗装品 (ｺ貼) 厚16 金具止工法・新ﾌｯｸﾒｯﾄ同等品	⑩	外壁：窯業系サイディング (好貼) 厚16 金具止工法・ｷｬｽﾄｽﾀｲﾌﾟ 同等品	⑪	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾂ押目地切仕上 (桧目地15×15)	⑫	外壁：カラー鋼板厚0.4横葺(ｸﾞﾗﾊﾞ、軒先共) 捨板 カラー鋼板厚0.4加工	⑬	手摺：支柱φ858・手摺子受：StFB-50×12 手摺子：St角ﾊﾟｲﾌﾟ 25×25×2.0@126 (菱形取付) 垂鉛ﾊﾟｲﾌﾟ処理の上DP1級塗装	⑭		
※1 園舎 設計GL=TP28.050 ※2 平均地盤面算定図による。園舎の最高高さは6,240(区画①)<4,652(区画②)より、6,240(区画①)とする。						工事名称 あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所		図面番号	
						図面名称 立面図 (3)				縮尺 S=1/100	開設者 管理建築士	一級建築士 佐藤八尋 一級建築士 小松道就	第115410号 第223530号	A-21



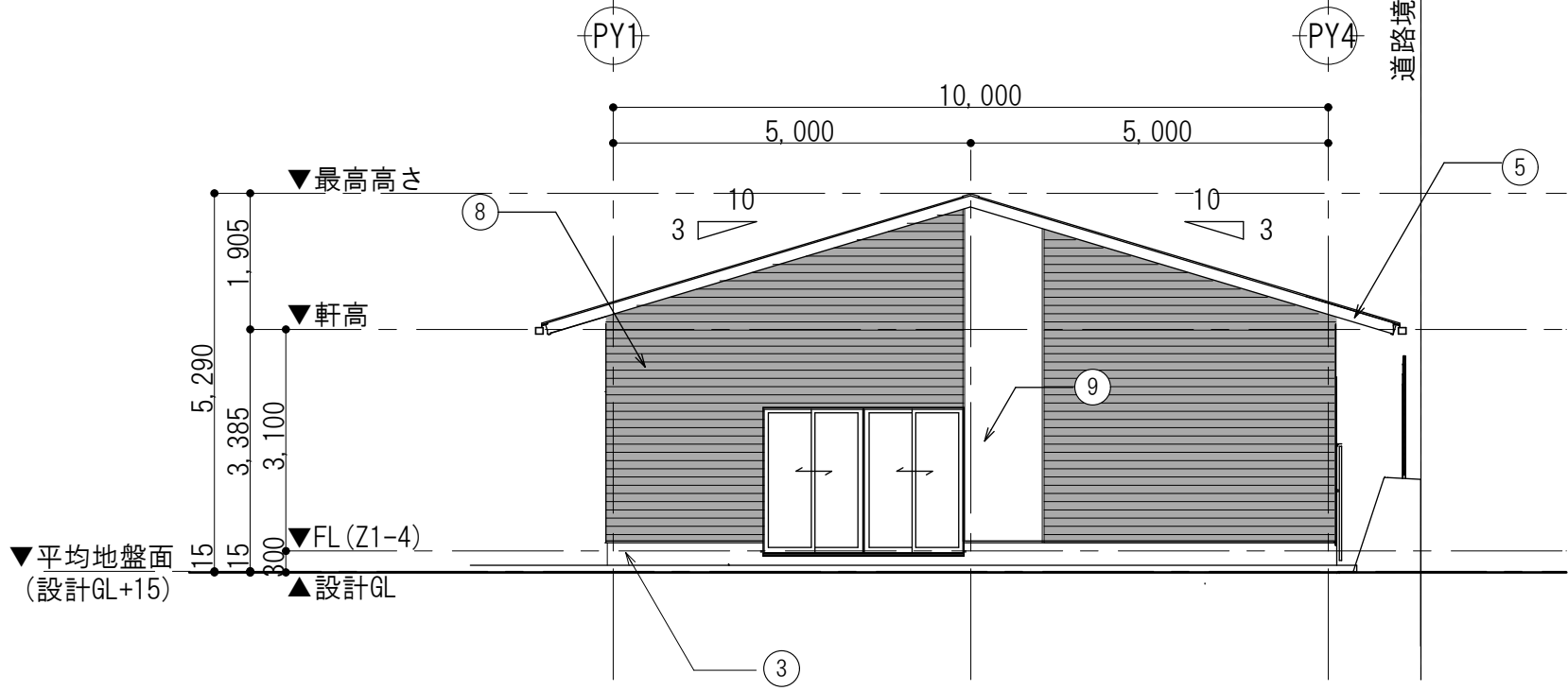
遊戯室棟 東面立面図 S=1/100



遊戯室棟 西面立面図 S=1/100

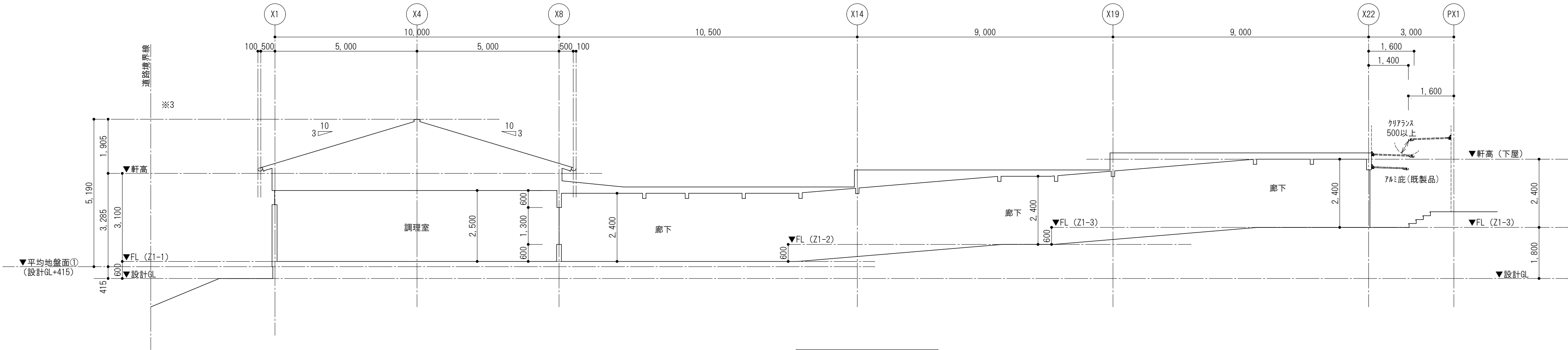


遊戯室棟 北面立面図 S=1/100

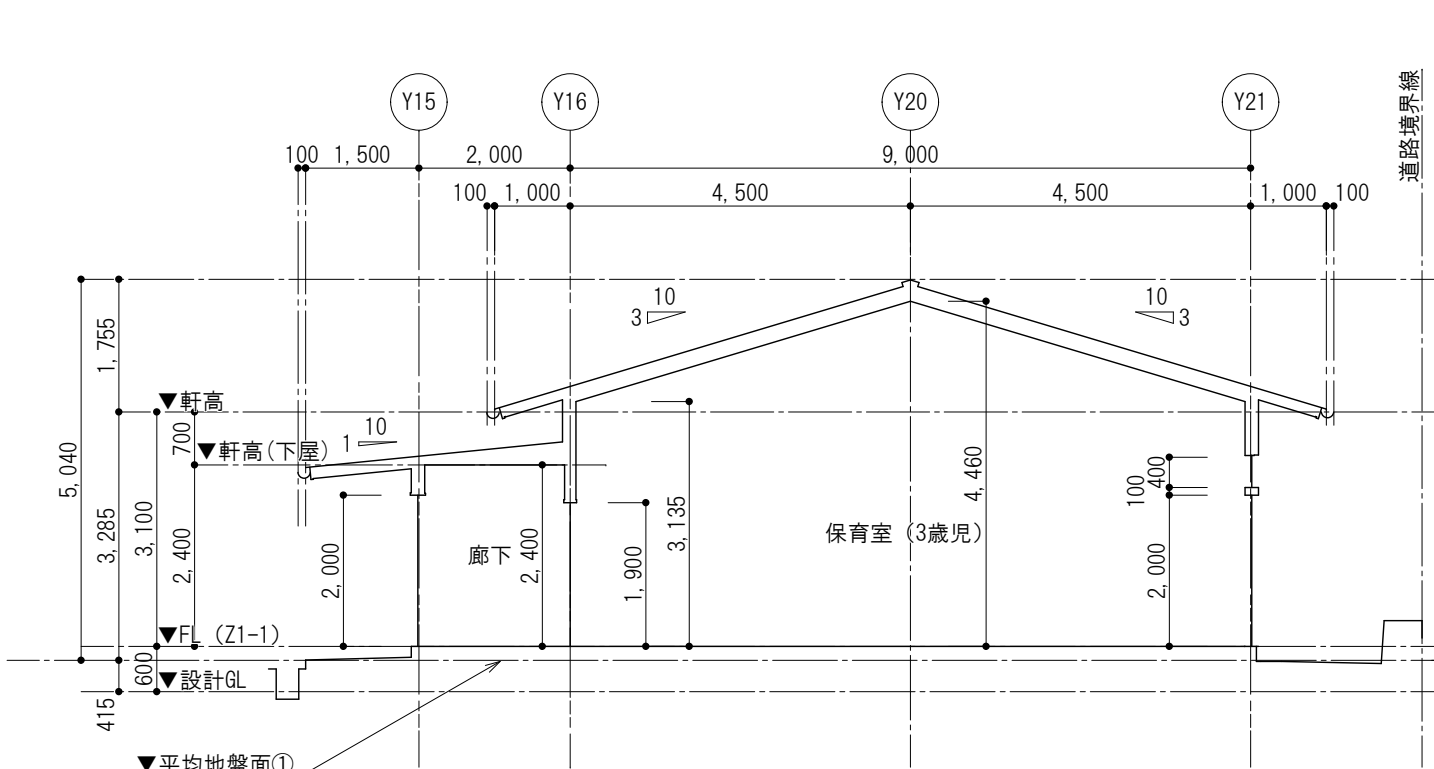


遊戯室棟 南面立面図 S=1/100

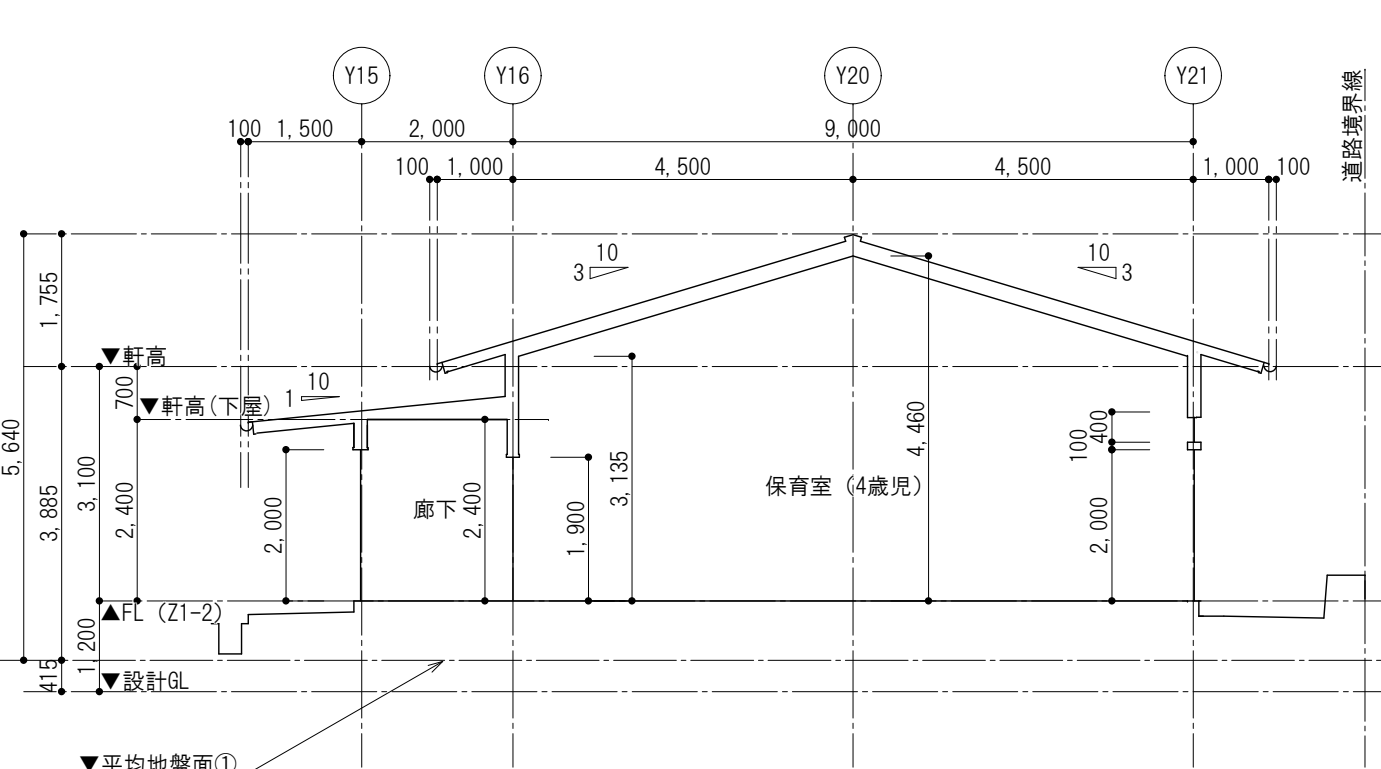
①	屋根：カラー鋼板厚0.4堅ハセ 葺@375 ゴムシート厚1.0タック付	②	棟包ミ：カラー鋼板厚0.4加工 杉赤身木材30×120+60×30	③	コンクリート打放シA種	④	土台水切：カラー鋼板厚0.4加工 杉防腐木材60×85	⑤	鼻隠シ・ケラバ 包ミ：カラー鋼板厚0.4加工包ミ 桧35×155	⑥	軒樋：塩ビ製市販品角型(前高型)150 吊金具共 堅樋：カラーVP管φ75担ミ金物共	⑦	化粧押縁：杉防腐 (AAC) 注入材
⑧	外壁：窯業系サイディング (30貼) 厚16 金具止工法・アクリルコート 同等品	⑨	外壁：窯業系サイディング 塗装品 (30貼) 厚16 金具止工法・新ファット16同等品	⑩	外壁：窯業系サイディング (好貼) 厚16 金具止工法・キャストタイプ 同等品	⑪	コンクリート金ゴテ押し目地切仕上 (桧目地15×15)	⑫	外壁：カラー鋼板厚0.4横葺(ケラバ、軒先共) 桧板 カラー鋼板厚0.4加工	⑬	手摺：支柱@858・手摺子受：StFB-50×12 手摺子：St角パイプ25×25×2.0@126 (菱形取付) 垂鉛パイプ処理の上DP1級塗装	⑭	
※遊戯室棟 設計GL=TP29.950						工事名称 あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所		図面番号
						図面名称 立面図 (4)				縮尺 S=1/100	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号		A-22



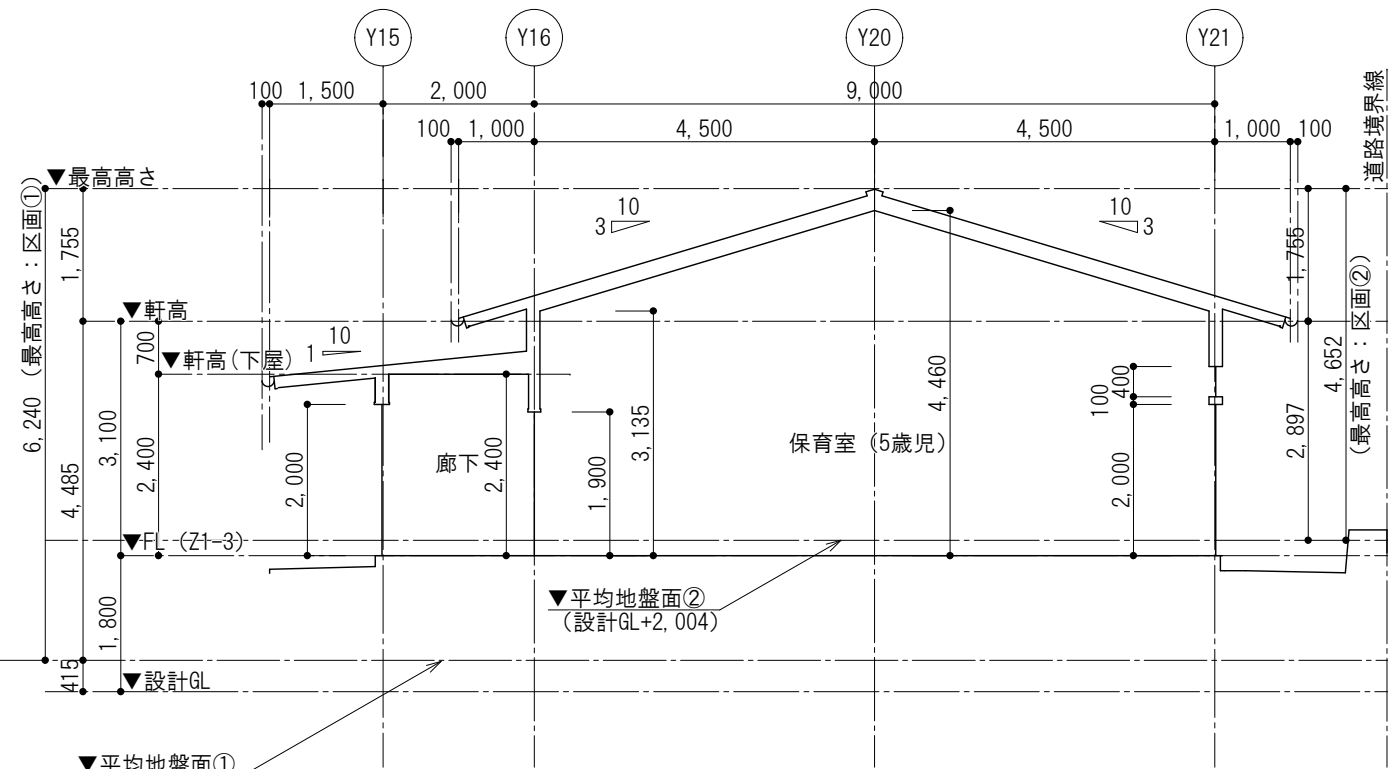
A-A' 断面図 S=1/100



B-B' 断面図 S=1/100

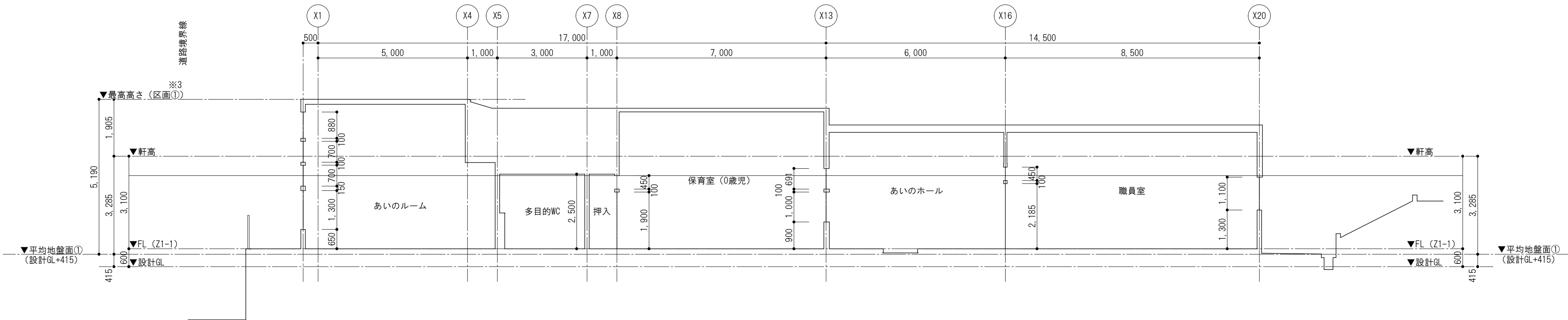


C-C' 断面図 S=1/100

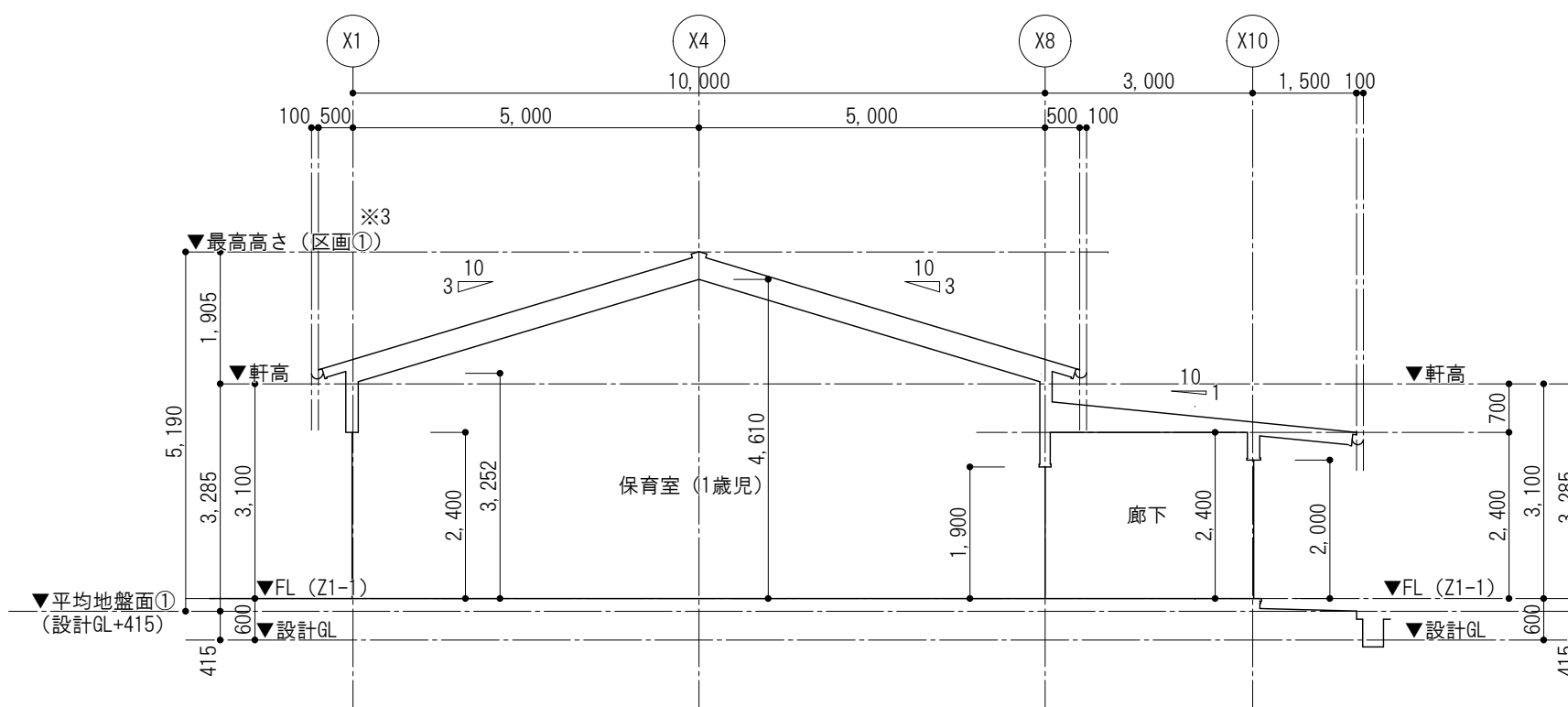


D-D' 断面図 S=1/100

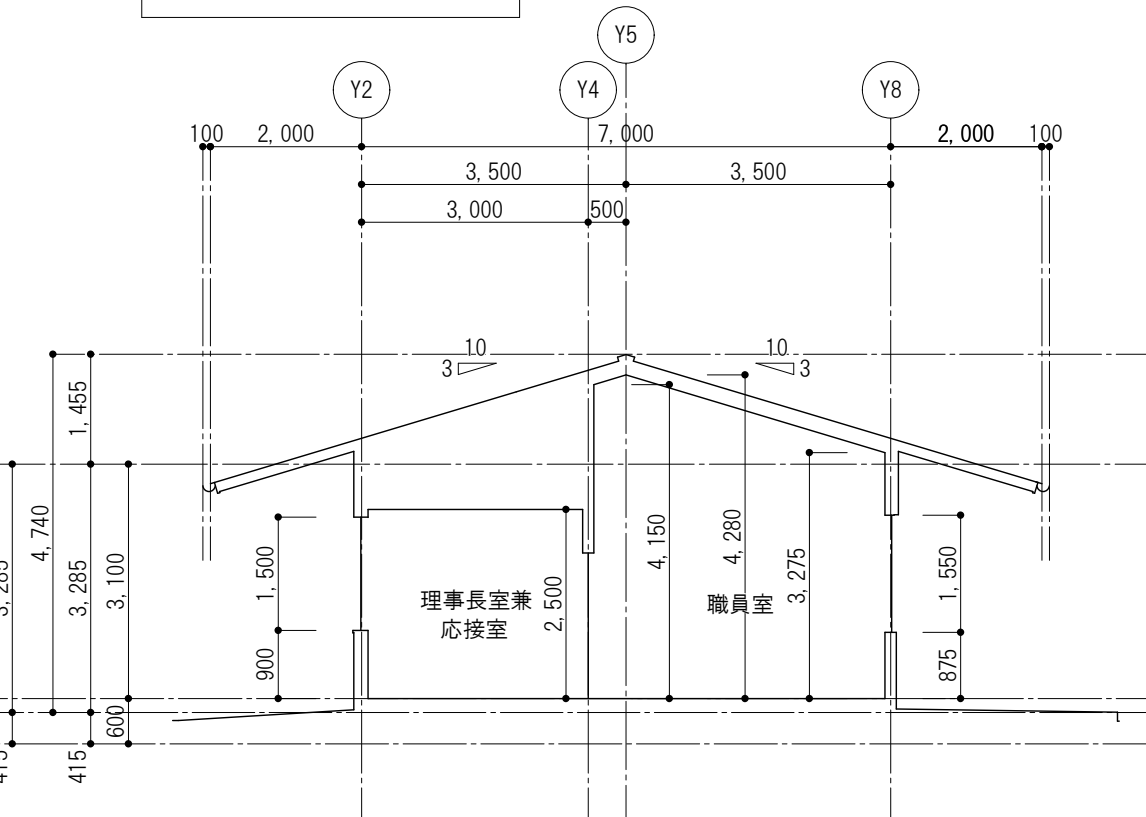
※1 園舎 設計GL=TP28.050 ※2 遊戯室棟 設計GL=TP29.950 ※3 平均地盤面算定図による。園舎の最高高さは6,240(区画①)<4,652(区画②)より、6,240(区画②)とする。	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-23
	図面名称	断面図 (1)				縮尺 S=1/100		



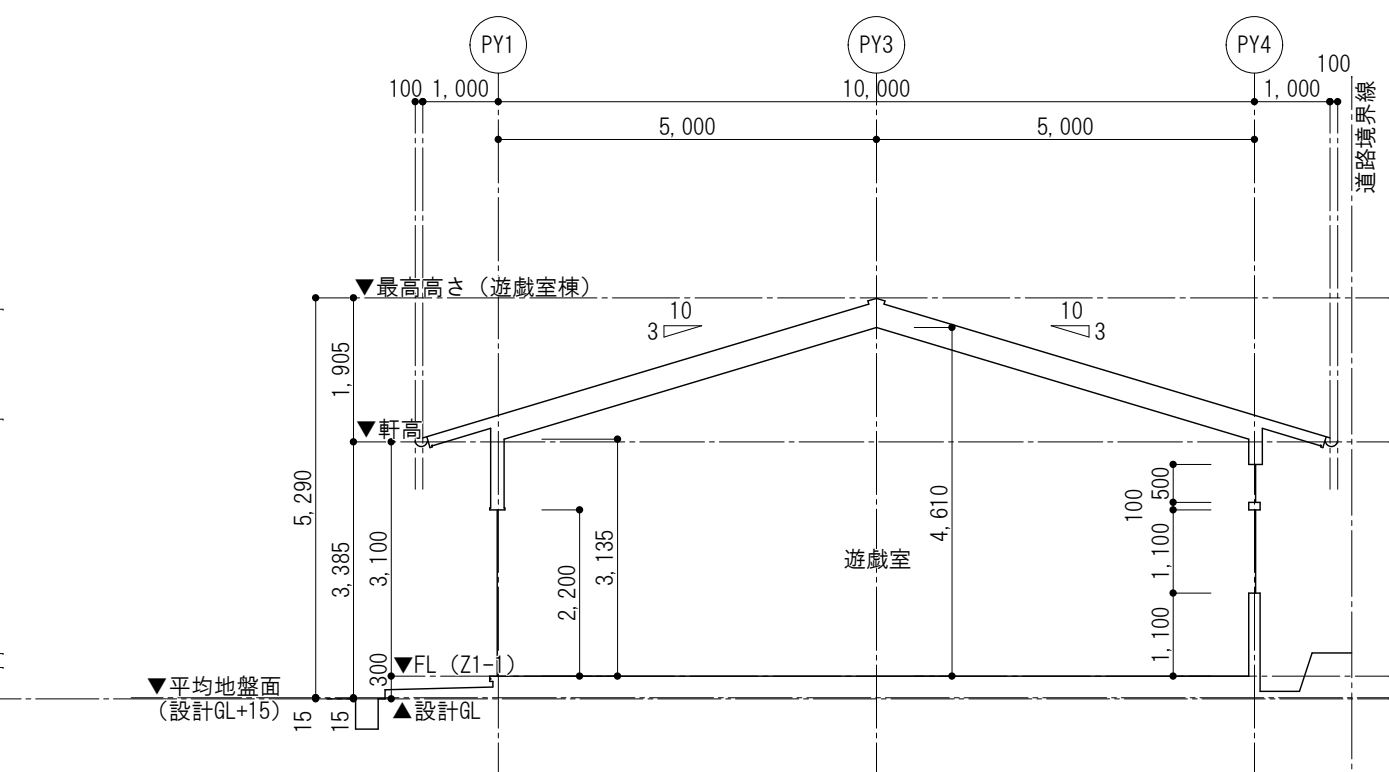
E-E' 断面図 S=1/100



F-F' 断面図 S=1/100



G-G' 断面図 S=1/100



H-H' 断面図 S=1/100

※1 園舎 設計GL=TP28.050
※2 遊戯室棟 設計GL=TP29.950
※3 平均地盤面算定図による。園舎の最高高さは6,240(区画①)<4,652(区画②)より、6,240(区画②)とする。

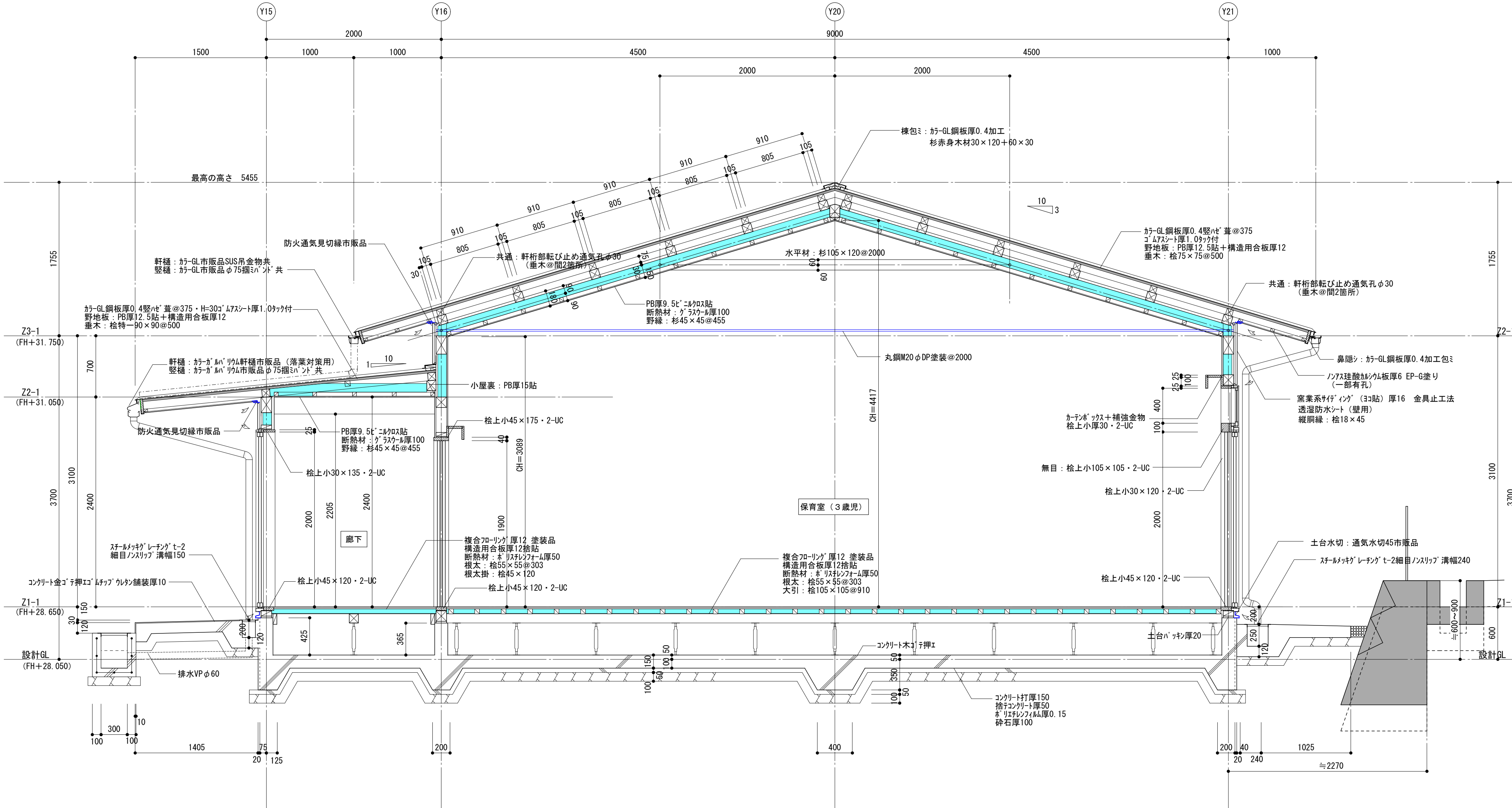
工事名称
あいの保育園改築工事

図面名称
断面図 (2)

Draw
Check
作成年月日
縮尺
S=1/100

株式会社 若竹まちづくり研究所
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号
A-24



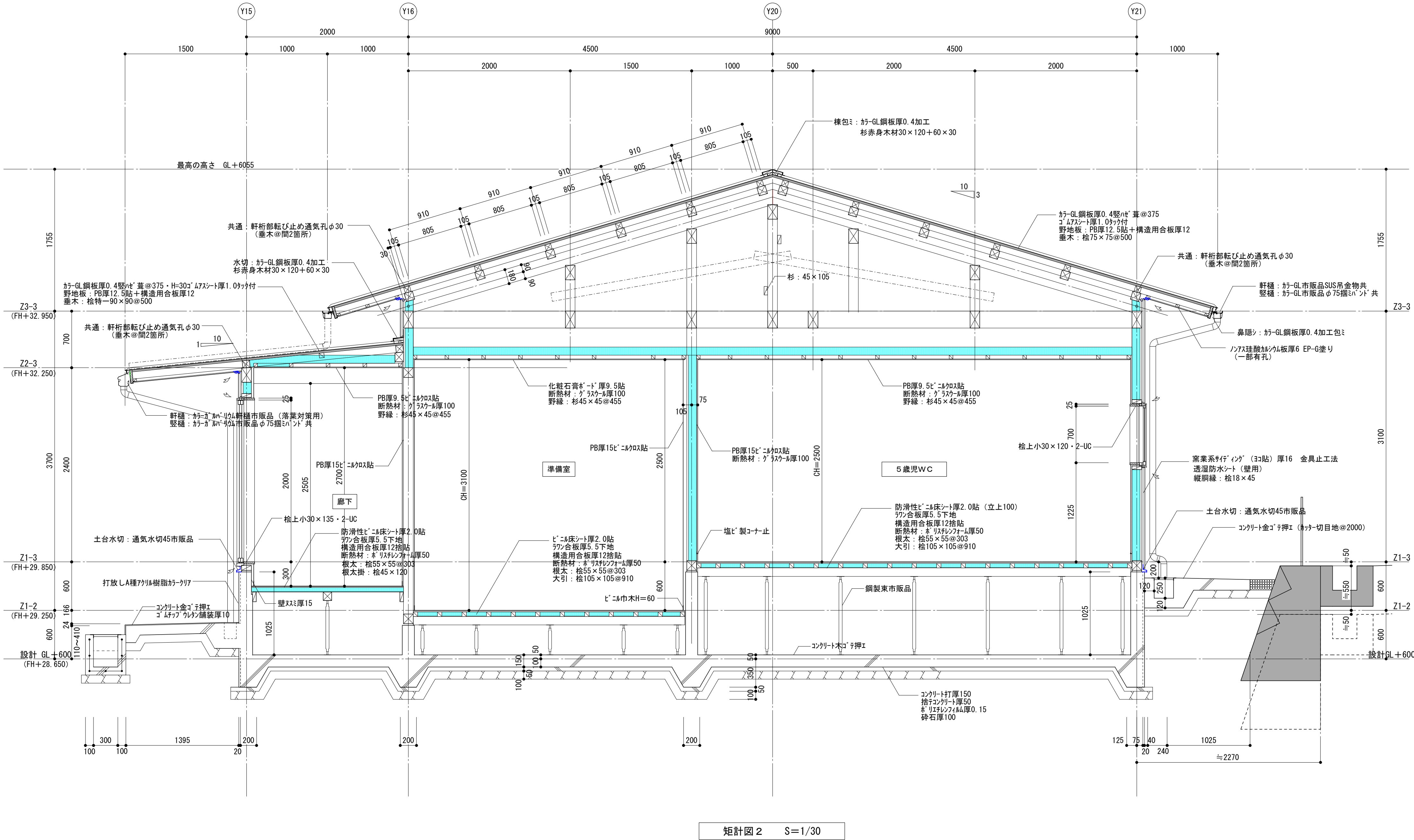
矩計図 1 S=1/30

※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- ｶｰ-GL鋼板は、ｺﾞﾄ HyperGLｶｰ-同等品とする。
- 床 断熱材 ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ 厚50 受材：標準金物共（ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ同等）
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 ｸﾞﾗｽｸｰﾙ 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にｶｰ-GL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁下葺（透湿防水ｼｰﾄ、ﾌﾞﾚｰｸｰﾌﾞ など）を施すこと。
- 天井 ｸﾞﾗｽｸｰﾙ 厚100 24kg/m3

工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>印</div> 株式会社 若竹まちづくり研究所	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 A-25
図面名称	矩計図（1）			縮 尺 S=1/30			

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- カ-GL鋼板は、3D HyperGLカ-同等品とする。

■ 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。

■ 防腐木材にカ-GL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁用下葺（透湿防水シート、フタル樹脂など）を施すこと。
- 床 断熱材 ポリスチレンフォーム 厚50 受材：標準金物共（スタイロフォーム同等）

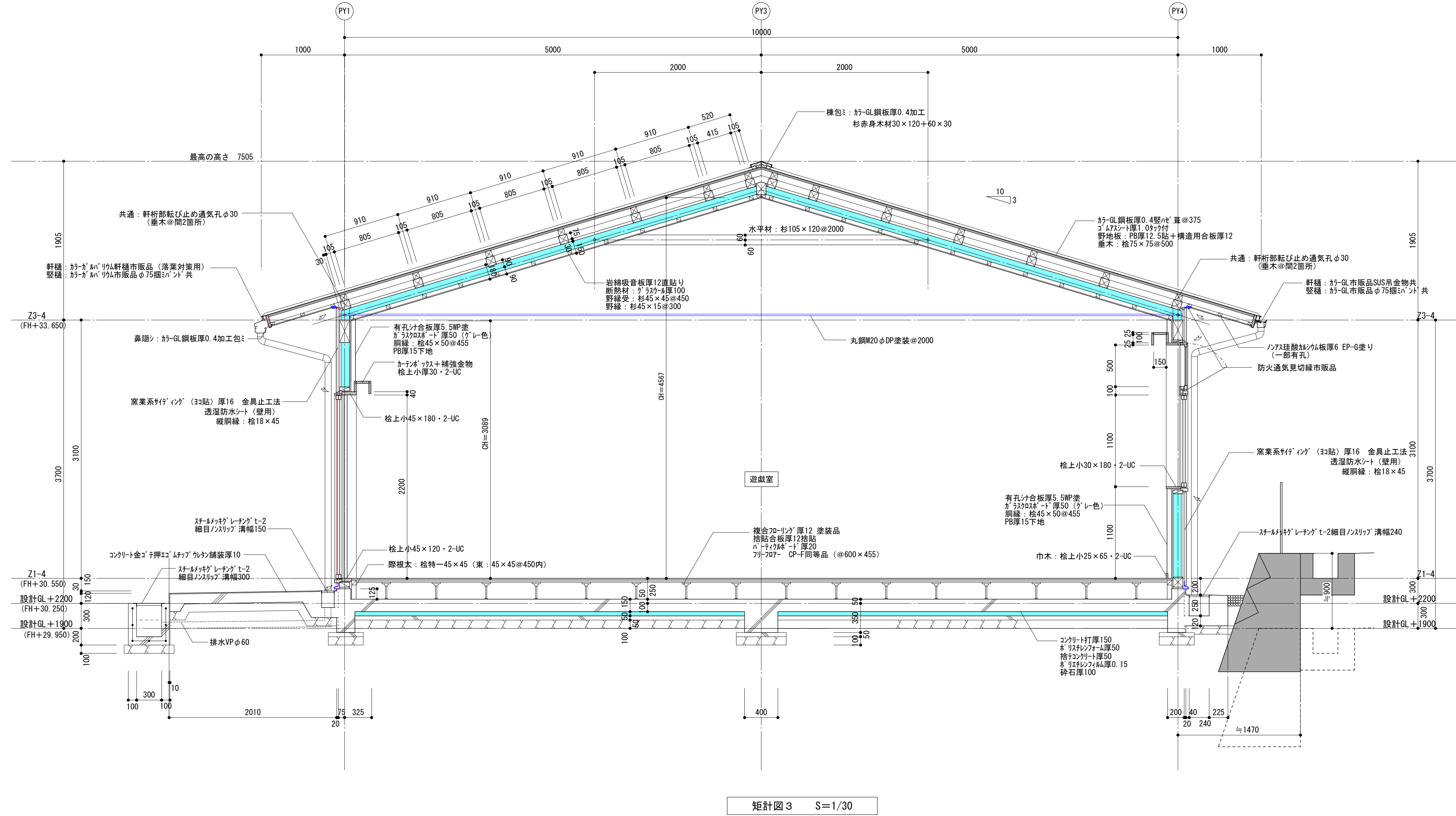
■ 壁 グラスウール 厚100 24kg/m3

■ 天井 グラスウール 厚100 24kg/m3

工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>印</div> 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
図面名称	矩計図 (2)			縮 尺 S=1/30		
					開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	

A-26

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



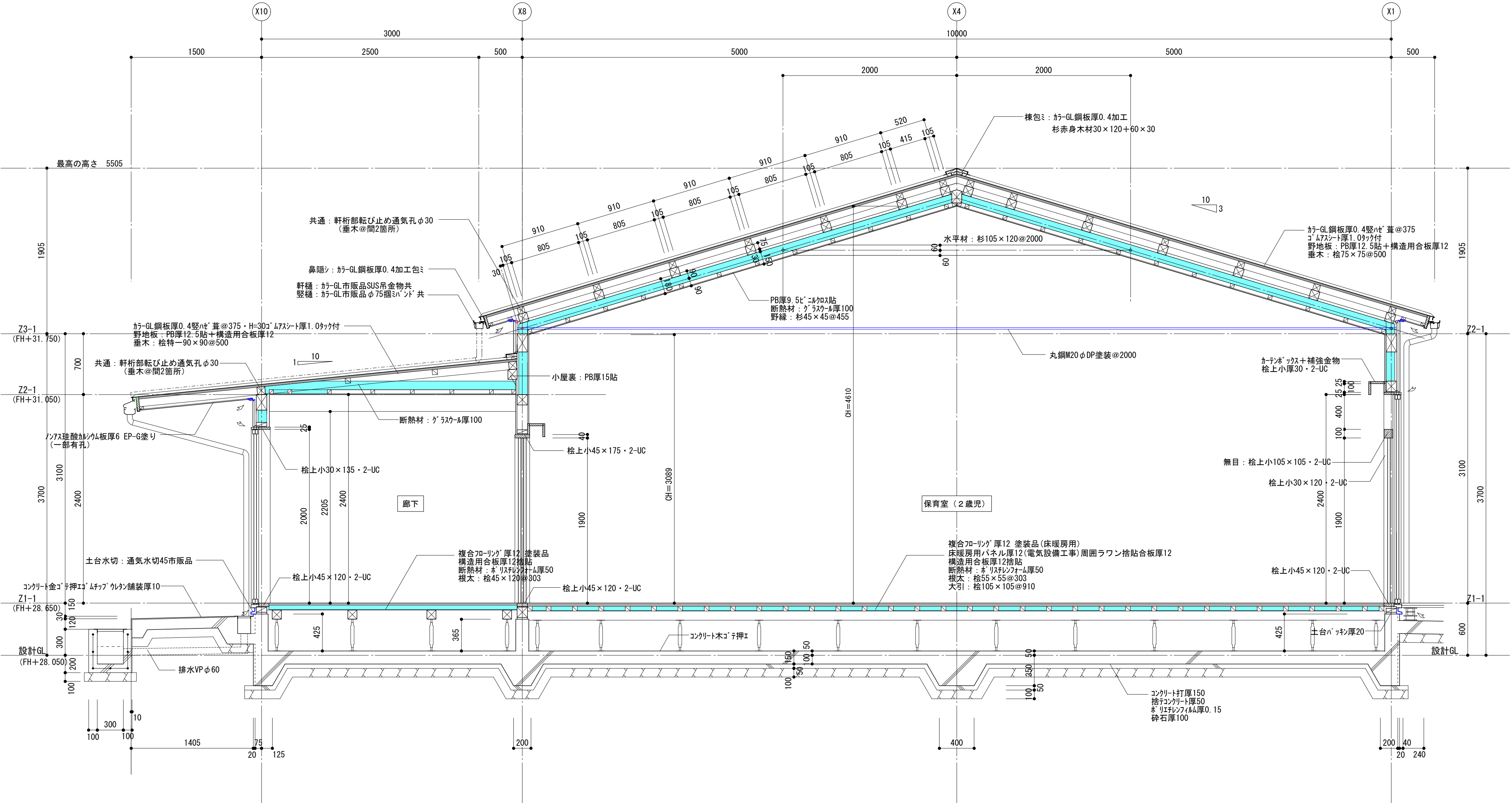
※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- ｶｰｸﾞﾙ鋼板は、ｼﾞｯ HyperGLが同等品とする。
- 床 断熱材 ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ 厚50 受材：標準金物共 (ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ同等)
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 ｸﾞﾗｽｸｰﾙ 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にｶｰｸﾞﾙ鋼板0.4を被せる場合は、絶縁用下葺(透湿防水ｼｰﾄ、ﾌﾞﾙﾎﾞｰﾌﾞなど)を施すこと。
- 天井 ｸﾞﾗｽｸｰﾙ 厚100 24kg/m3

工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号
図面名称	矩計図 (3)			縮 尺 S=1/30		
					開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	

A-27

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



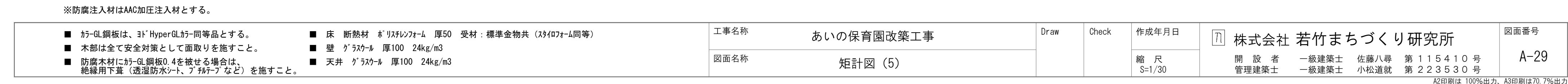
矩計図 4 S=1/30

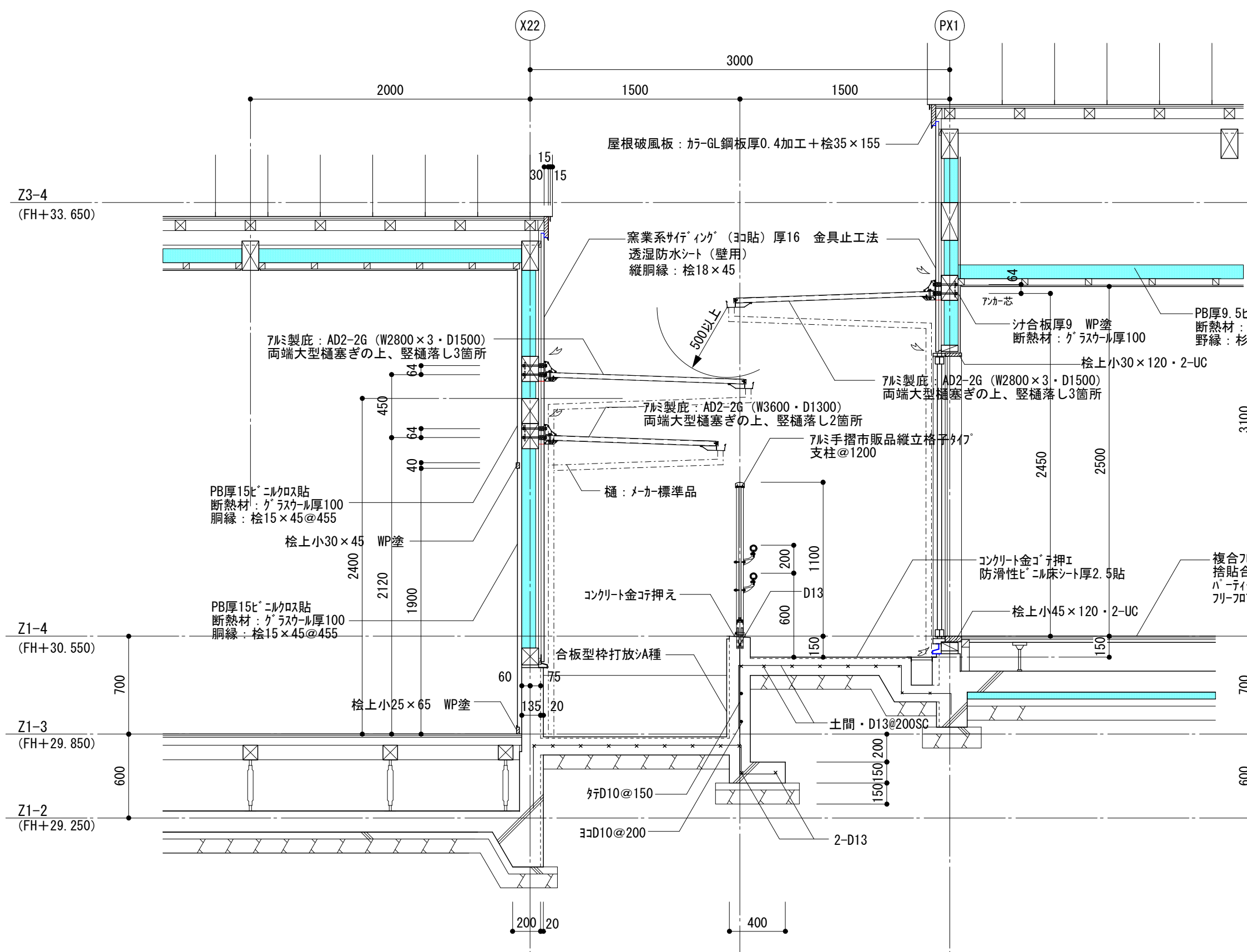
※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- カ-GL鋼板は、3D HyperGLが-同等品とする。
- 床 断熱材 ポリスチレンフォーム 厚50 受材：標準金物共（スタイロフォーム同等）
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 グラスウール 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にカ-GL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁用下葺（透湿防水シート、ブアルテ-フ など）を施すこと。
- 天井 グラスウール 厚100 24kg/m3

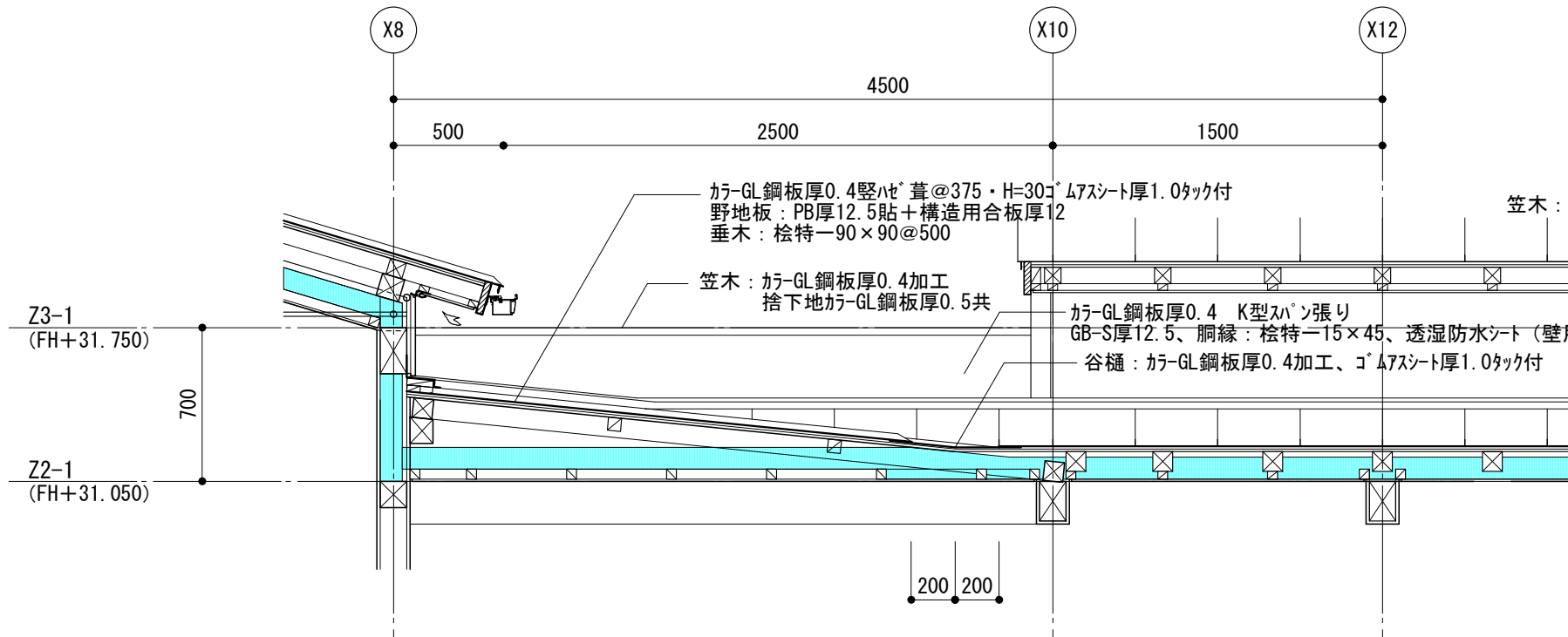
工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号 A-28
図面名称	矩計図 (4)			縮 尺 S=1/30		
					開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力

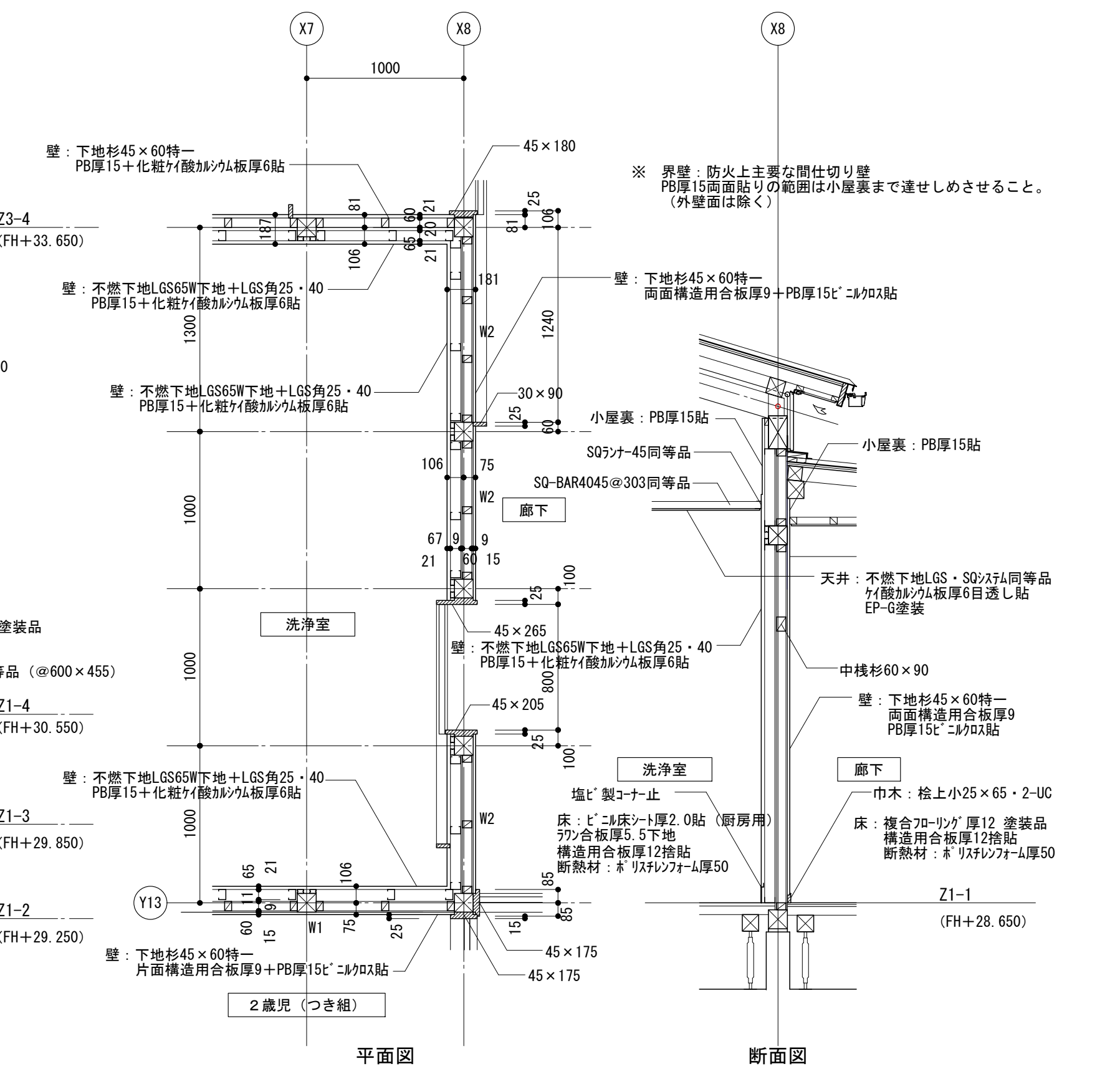




遊戯室ローフ 断面図2 S=1/30



Y16、X8～X10間断面図1 S=1/30

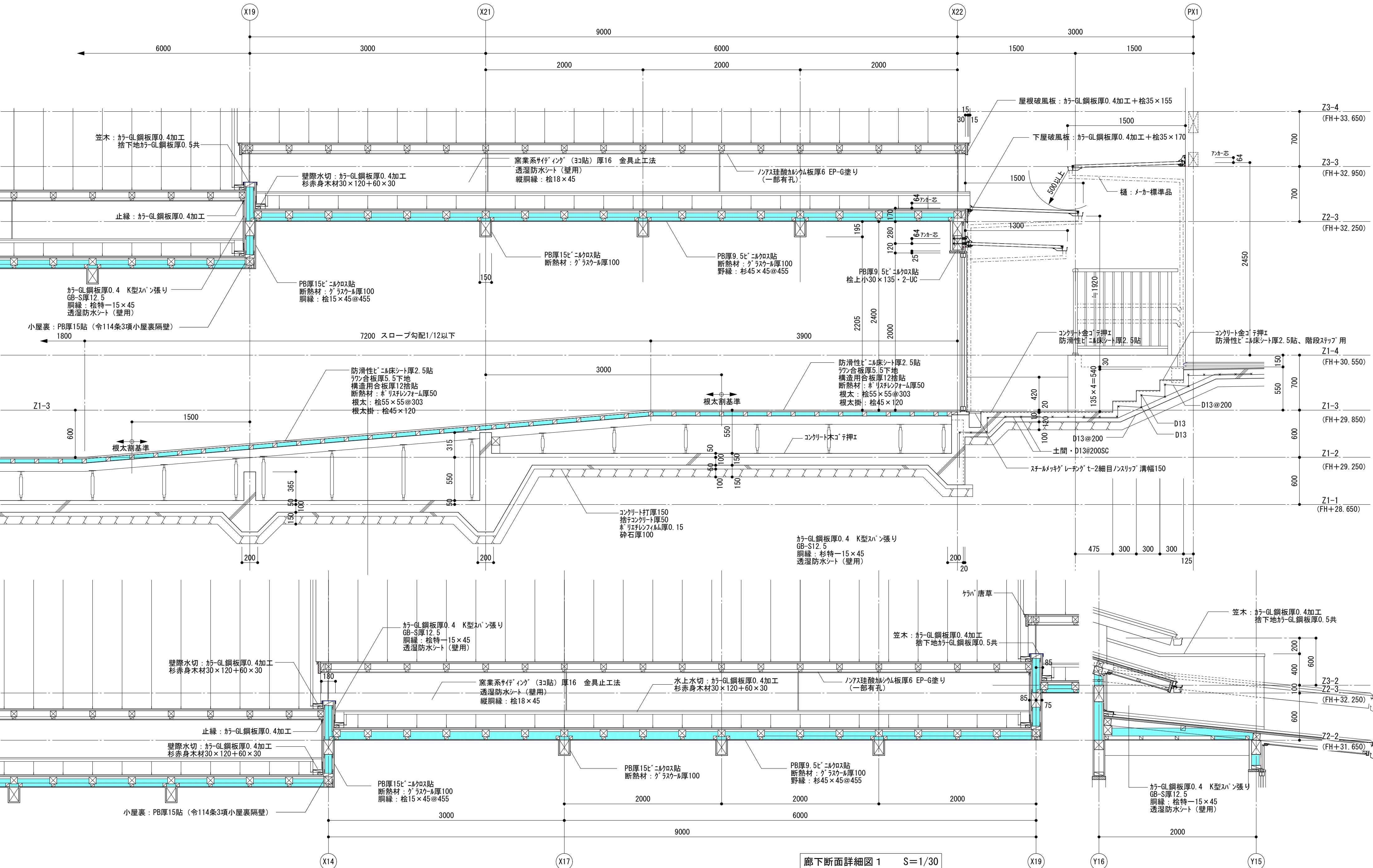


洗浄室廻り1436号第4号へ(5)による壁詳細 S=1/30

※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- GAL-GL鋼板は、3D HyperGLが同一品とする。
- 床 断熱材 ポリスチレンフォーム 厚50 受材：標準金物共 (スタイフォーム同等)
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 グラスカル 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にGAL-GL鋼板0.4を被せる場合は、断熱材 ポリスチレンフォーム 厚50 受材：標準金物共 (スタイフォーム同等)
- 天井 グラスカル 厚100 24kg/m3

工事名称	あいの保育園改築工事			Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-30
図面名称	断面詳細図 (1)					縮尺 S=1/30		



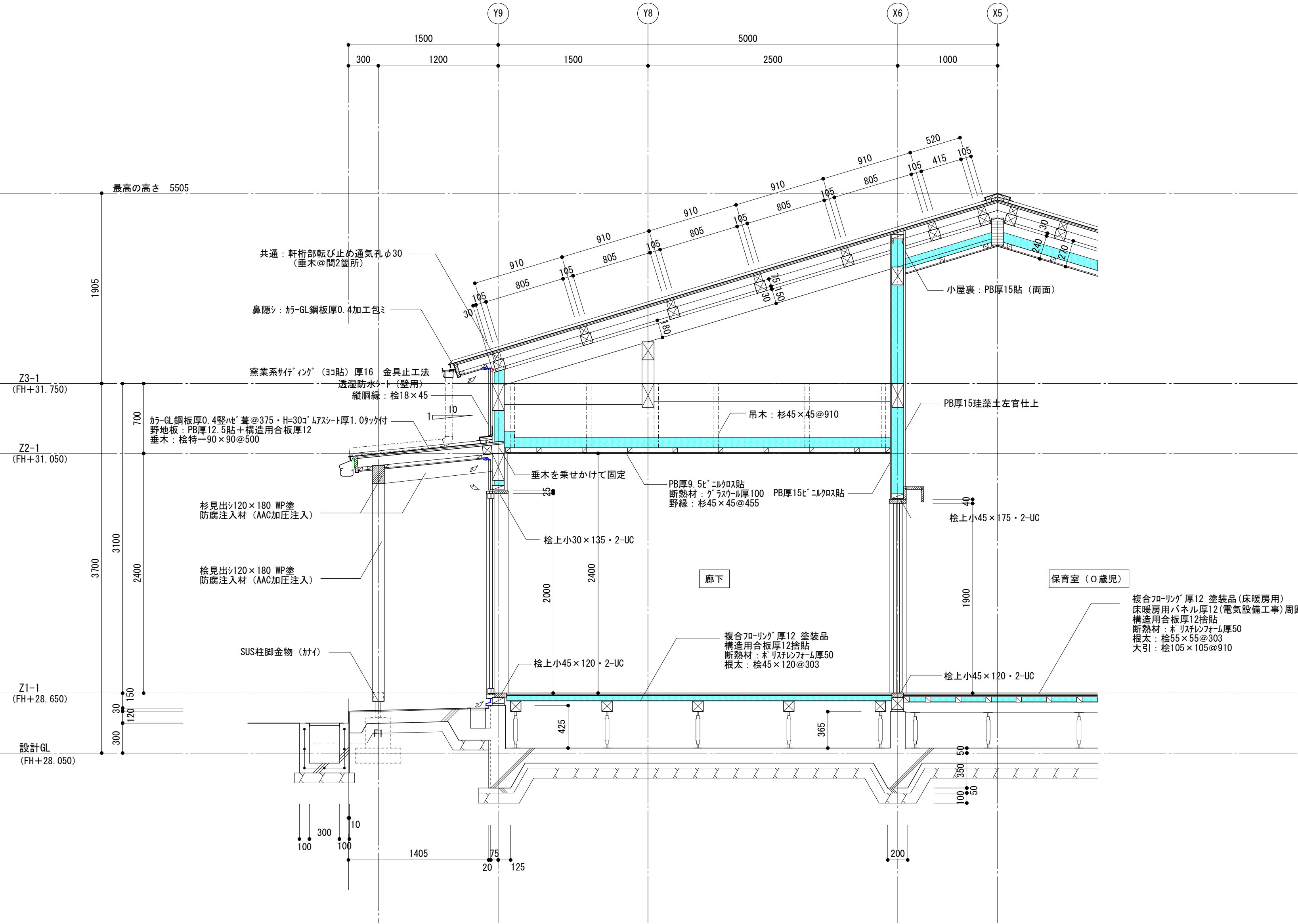
廊下断面詳細図 1 S=1/30

※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- ｶﾞｰGL鋼板は、ｼﾌ HyperGLｶﾞｰ同等品とする。
- 床 断熱材 ｵｰﾘｽﾌﾟﾚﾝﾌｫｰﾑ 厚50 受材：標準金物共 (ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ同等)
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 ｸﾞﾗｽｶｰﾙ 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にｶﾞｰGL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁下葺 (透湿防水ｼｰﾄ、ﾌﾞﾚｰｸｰﾌﾞ など) を施すこと。
- 天井 ｸﾞﾗｽｶｰﾙ 厚100 24kg/m3

工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
図面名称	断面詳細図 (2)			縮 尺 S=1/30		
				開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号		

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



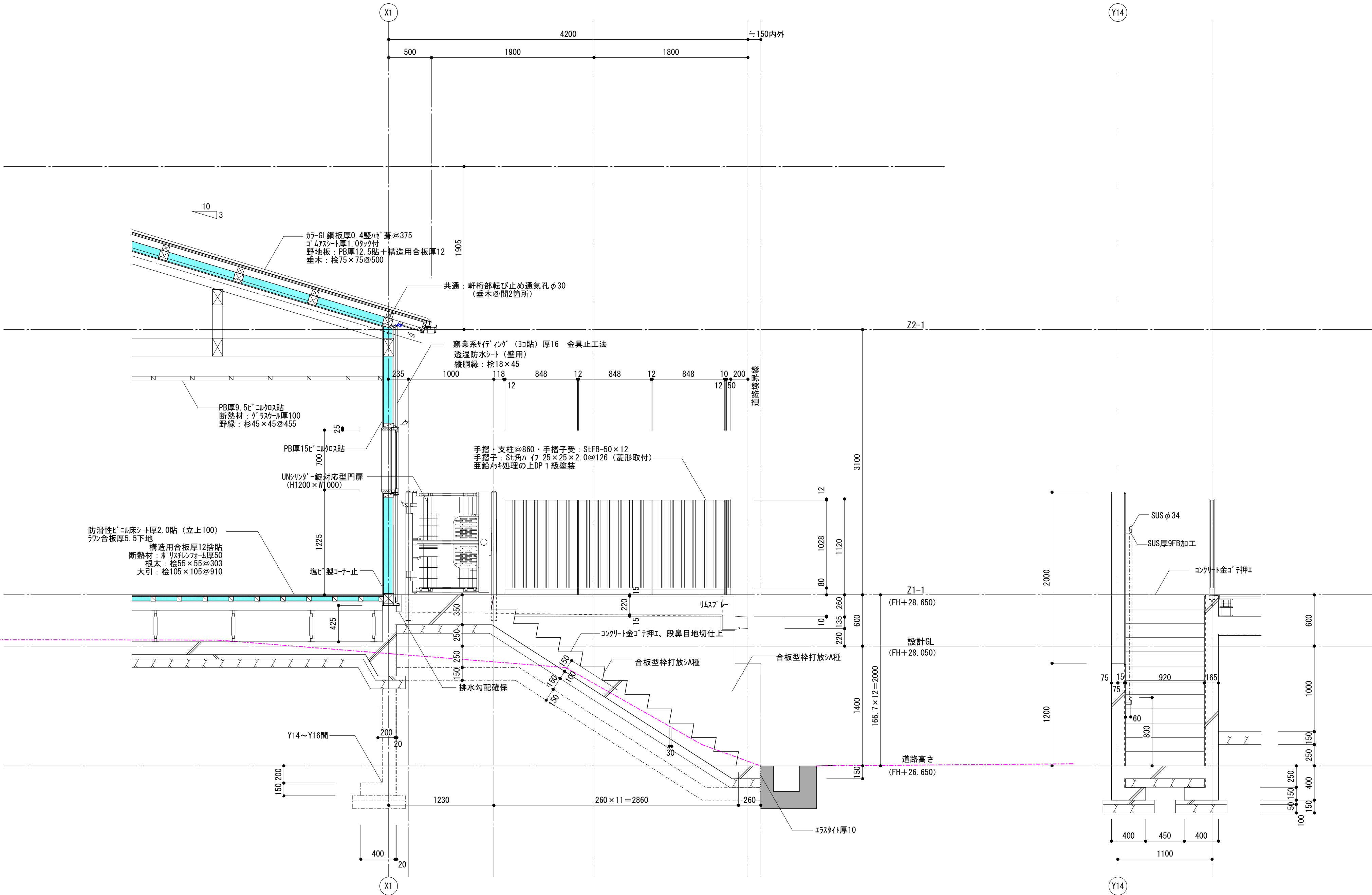
断面図 1 S=1/30

※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

- カ-GL鋼板は、30 HyperGLが-同等品とする。
- 床 断熱材 ホ-リスレンフォーム 厚50 受材：標準金物共 (スチロフォーム同等)
- 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。
- 壁 グラスウール 厚100 24kg/m3
- 防腐木材にカ-GL鋼板0.4を被せる場合は、断熱材:ホ-リスレンフォーム厚50
- 天井 グラスウール 厚100 24kg/m3
- 絶縁用下葺 (透湿防水シート、フ-ルテープ など) を施すこと。

工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>📄</div> 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-32
図面名称	断面詳細図 (3)			縮 尺 S=1/30		
					開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



プレイデッキ階段図 S=1/30

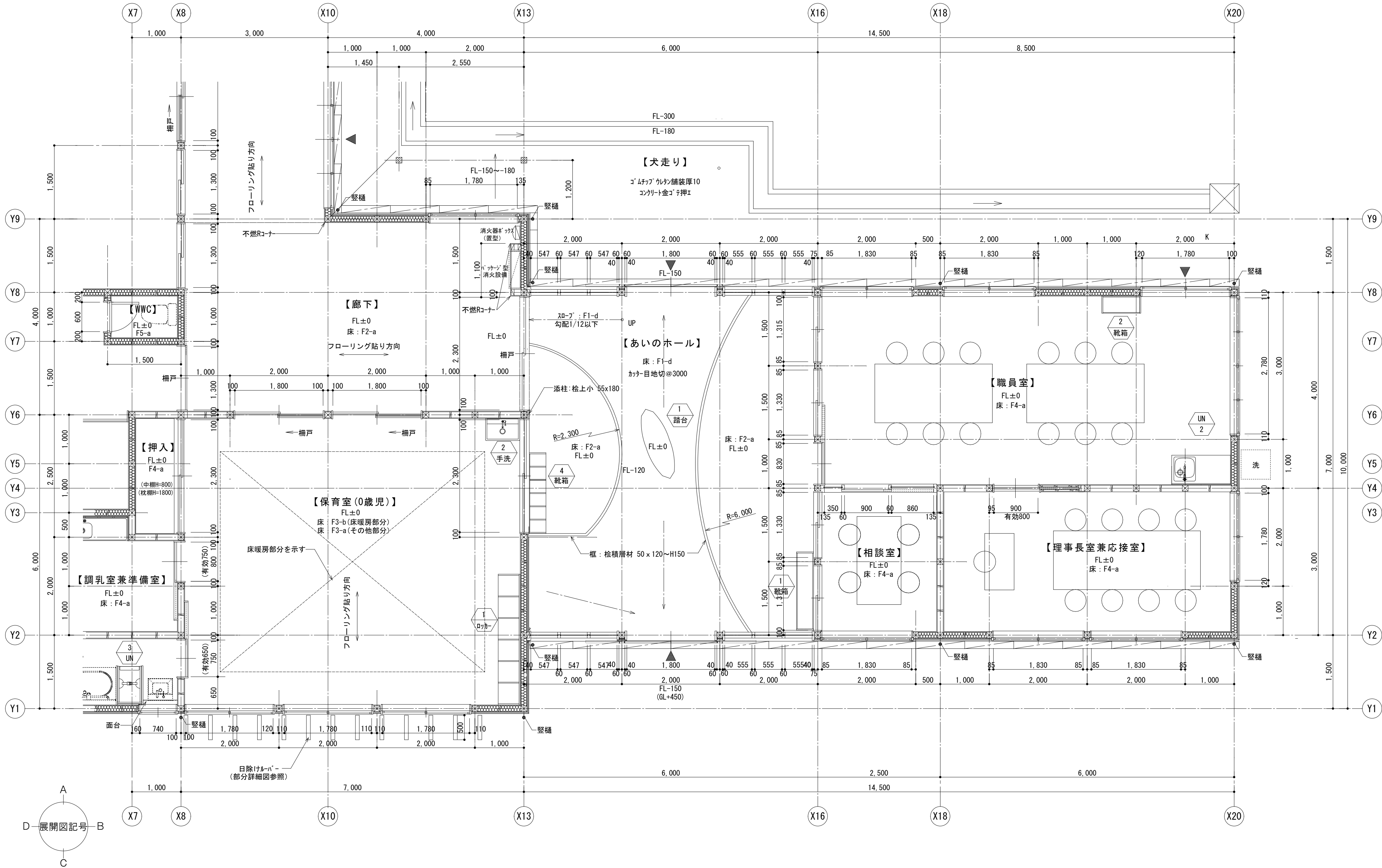
※防腐注入材はAAC加圧注入材とする。

外壁：（壁）窯業系サイディング（30貼）厚16金具止工法・同等品（好胴縁18×45）

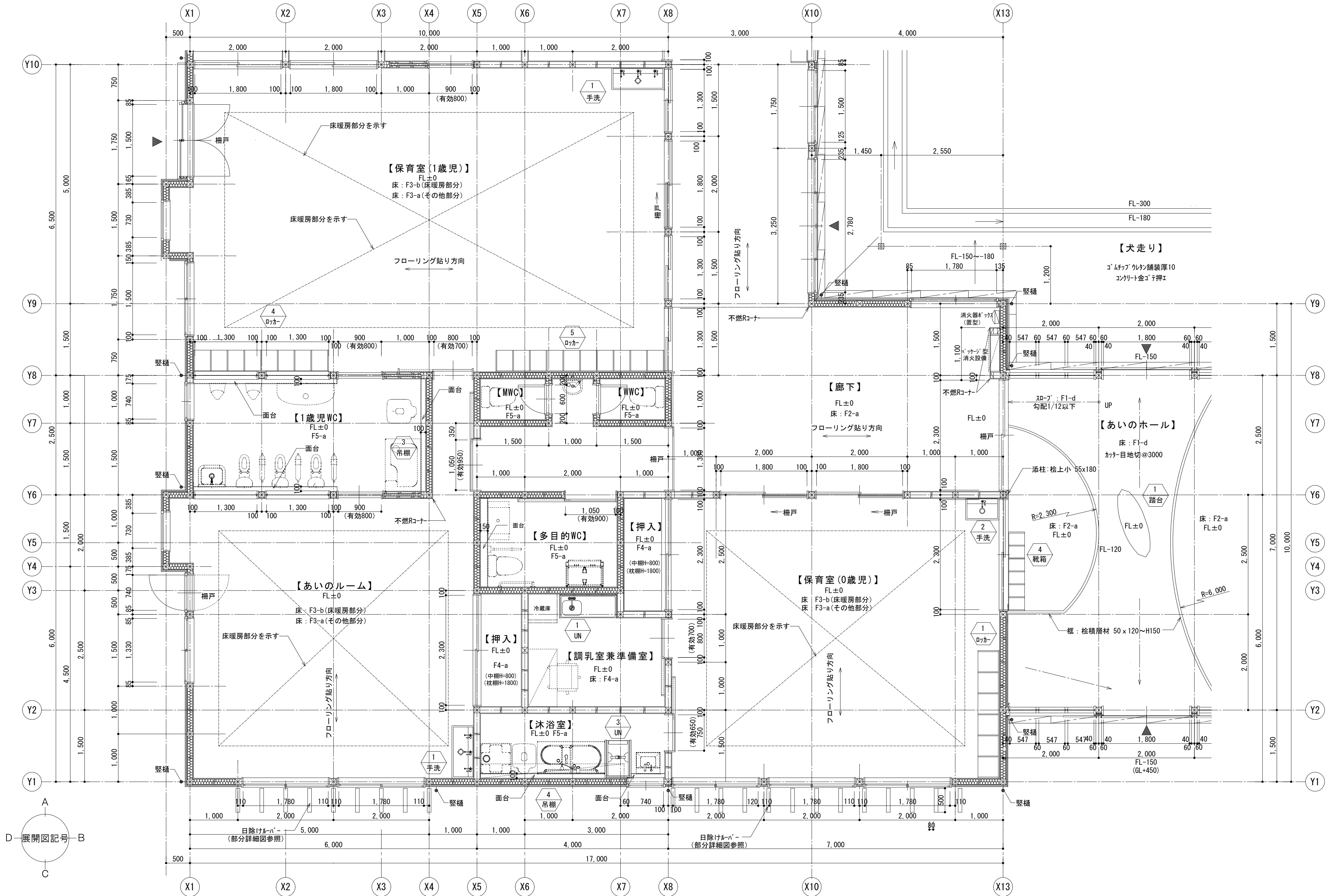
外壁：（壁）窯業系サイディング（好貼）厚16金具止工法・同等品（好胴縁18×45）

外壁：（腰壁一部）窯業系サイディング塗装品（30貼）厚16金具止工法、16同等品（好胴縁18×45）

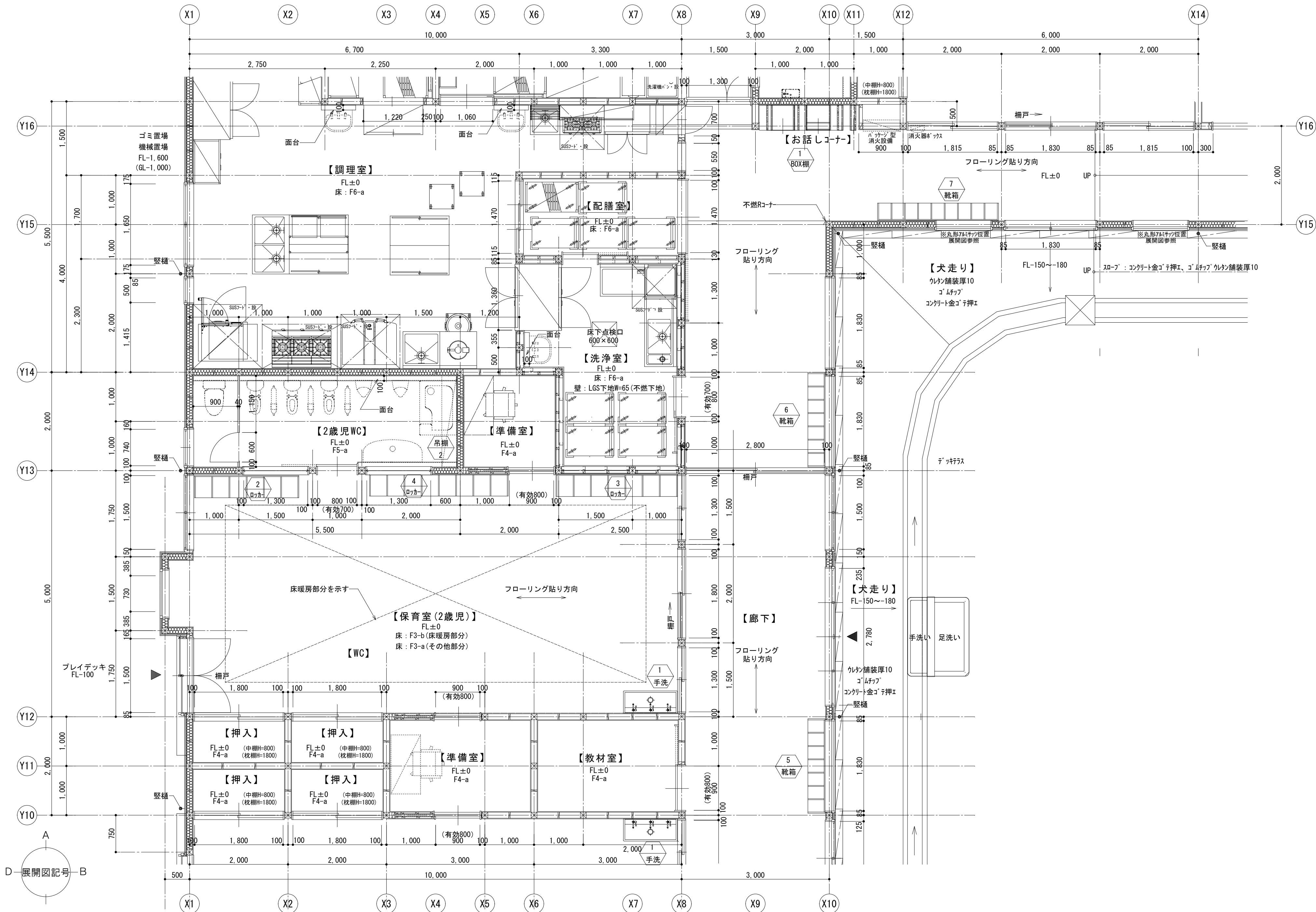
<div>■ カ-GL鋼板は、30 HyperGLカ-同等品とする。</div> <div>■ 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。</div> <div>■ 防腐木材にカ-GL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁下葎（透湿防水シート、フアルーフなど）を施すこと。</div>	<div>■ 床 断熱材 ホリスレンフォーム 厚50 受材：標準金物共（スタイロフォーム同等）</div> <div>■ 壁 グラスカル 厚100 24kg/m3</div> <div>■ 天井 グラスカル 厚100 24kg/m3</div>	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号</div> <div>管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号
		図面名称	断面詳細図 (5)				縮尺 S=1/30		



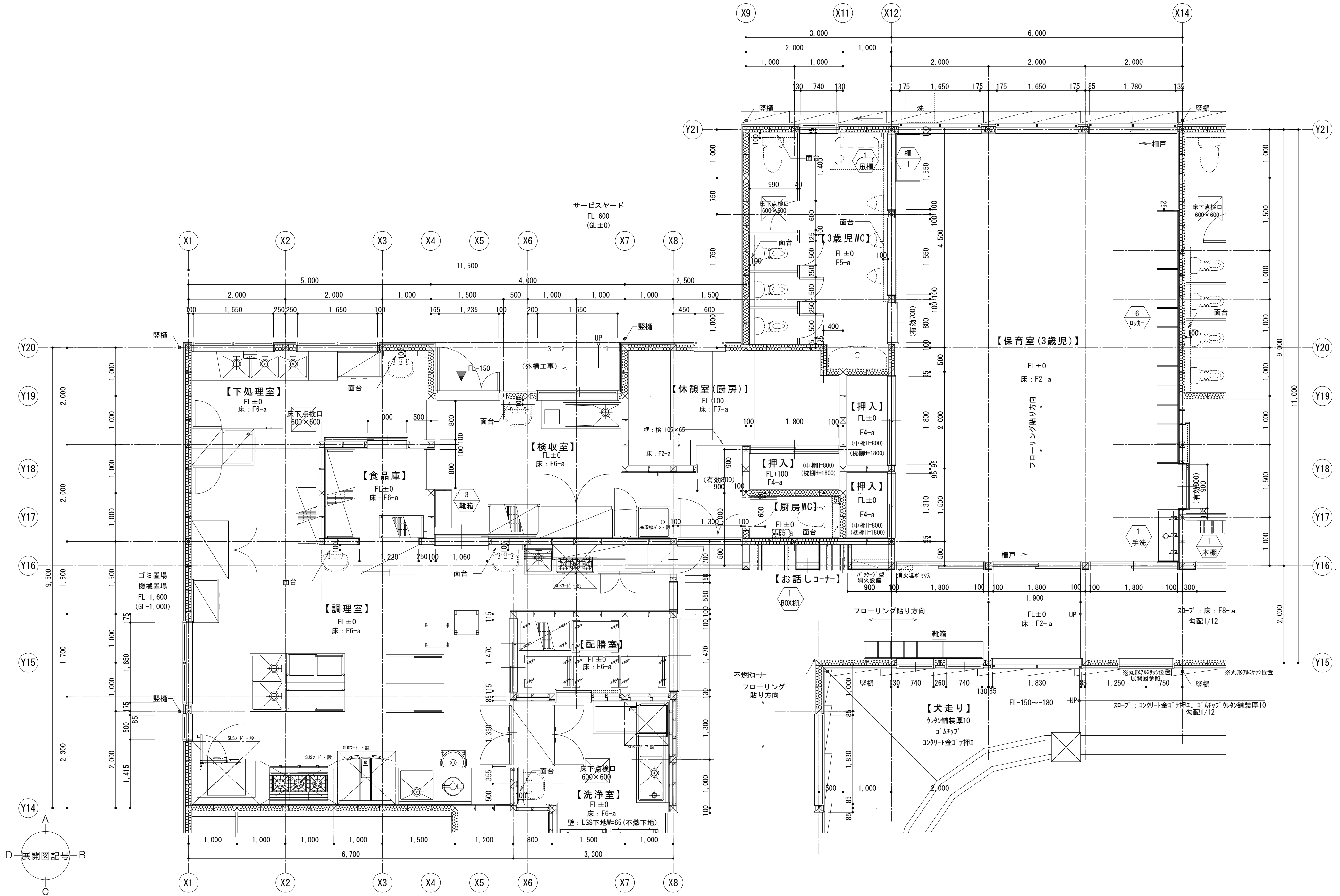
縦樋：カーVP管φ75押込金物共 ：建物廻り スチールメッキレチンクT-2 細目ノスリッ溝巾150（外構工事） WC廻り：タラスク-ルt=100 24kg/m3（天井迄）	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-35
	図面名称	平面詳細図（1）				縮尺 S=1/50		



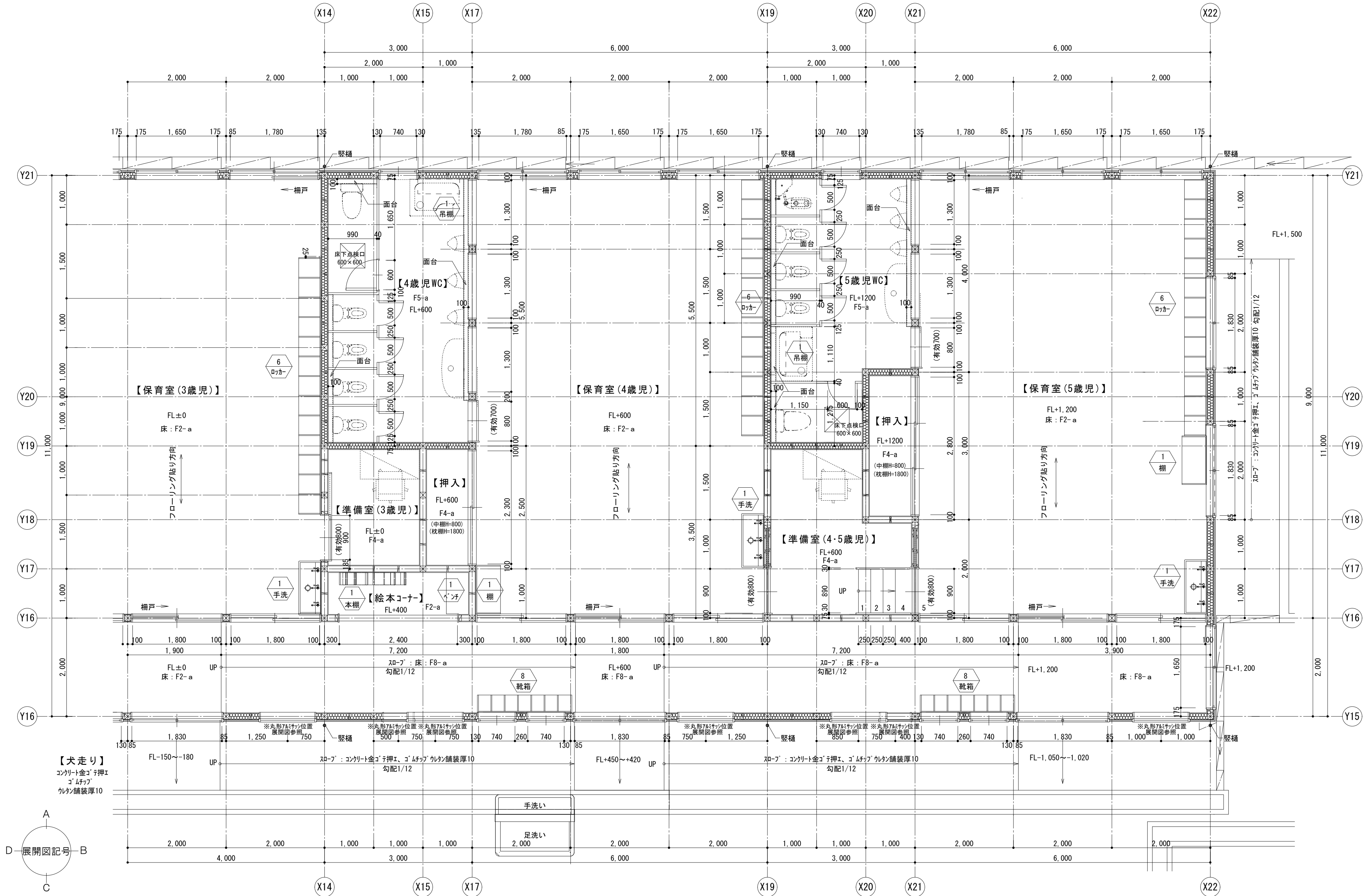
<div>縦樋：カーVP管φ75押込金物共</div> <div><div></div>：建物廻り スチールメッキレチングT-2 細目ノスリッ溝巾150（外構工事）</div> <div>WC廻り：ガラスウレタン100 24kg/m3（天井迄）</div>	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号</div> <div>管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号	A-36
	図面名称	平面詳細図（2）				縮尺 S=1/50			



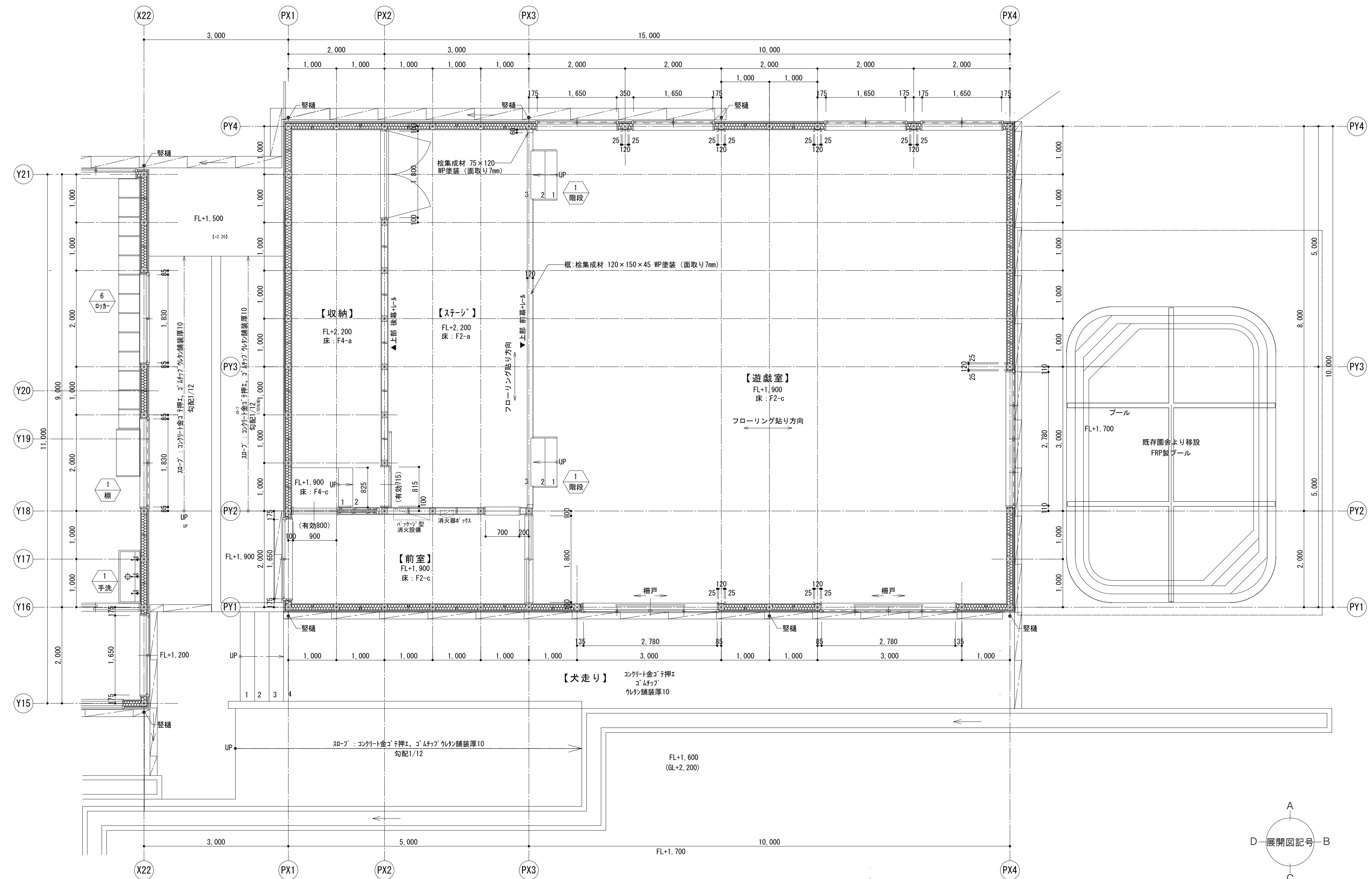
縦樋：カーVP管φ75押込金物共 ：建物廻り スチールメッキレチンクT-2 細目ノスリッ溝巾150（外構工事） WC廻り：クラスターt=100 24kg/m3（天井迄）	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-37
	図面名称	平面詳細図 (3)				縮尺 S=1/50		



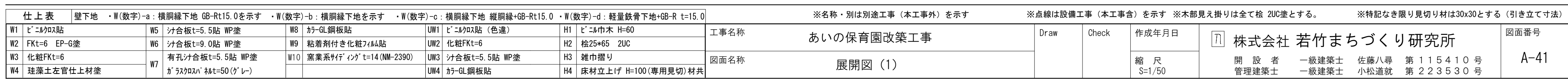
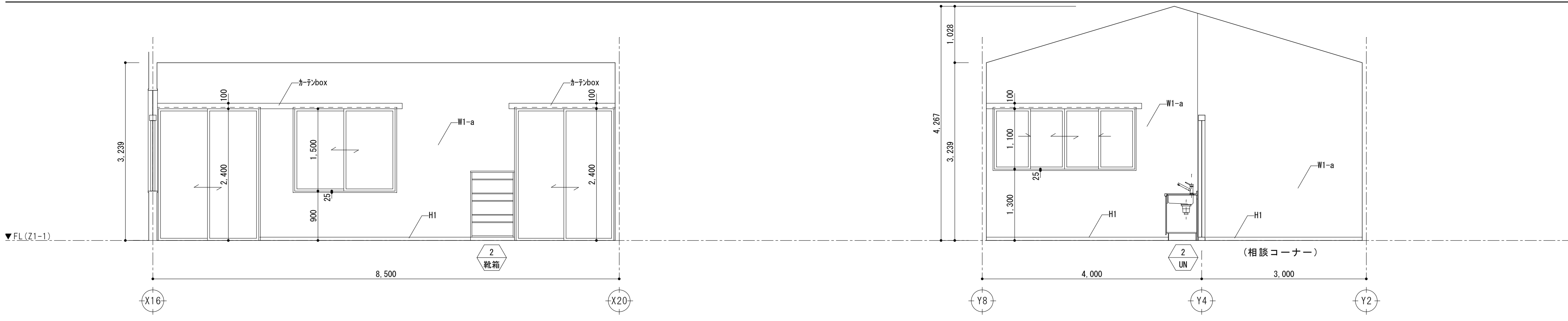
縦樋：カーVP管φ75押込金物共 ：建物廻り スチールメッキレチンクT-2 細目ノスリッ溝巾150（外構工事） WC廻り：ガラスウレタン100 24kg/m3（天井迄）	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-38
	図面名称	平面詳細図（4）				縮尺 S=1/50		



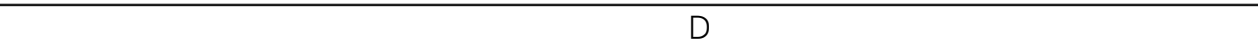
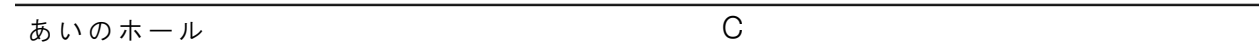
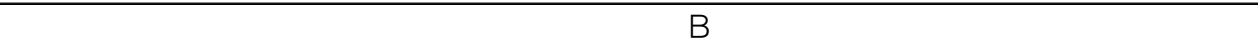
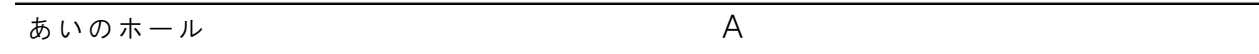
<div>縦樋：カーVP管φ75挿し金物共</div> <div><div></div>：建物廻り スチールメッキ*レチンカ*T-2 細目ノスリッパ*溝巾150（外構工事）</div> <div>WC廻り：ガラスウレタンt=100 24kg/m3（天井迄）</div>	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div><div></div> 株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号</div> <div>管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号
	図面名称	平面詳細図（5）				縮尺 S=1/50		



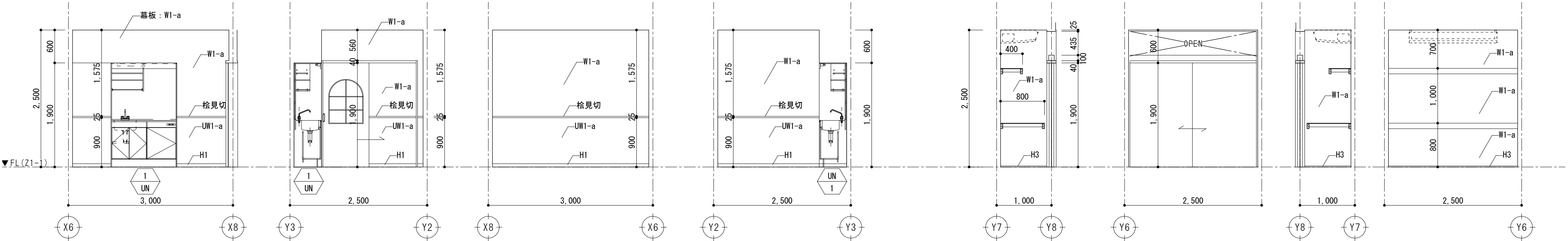
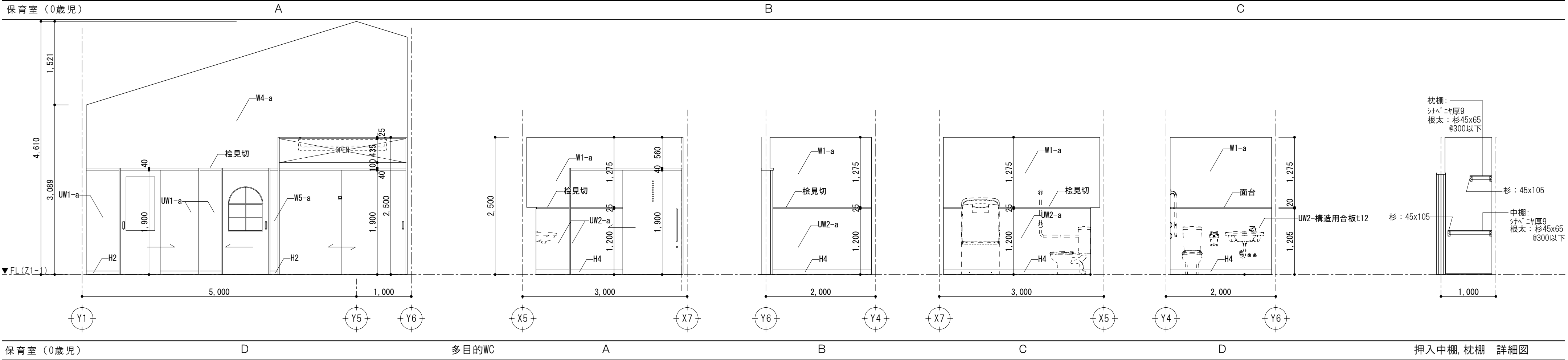
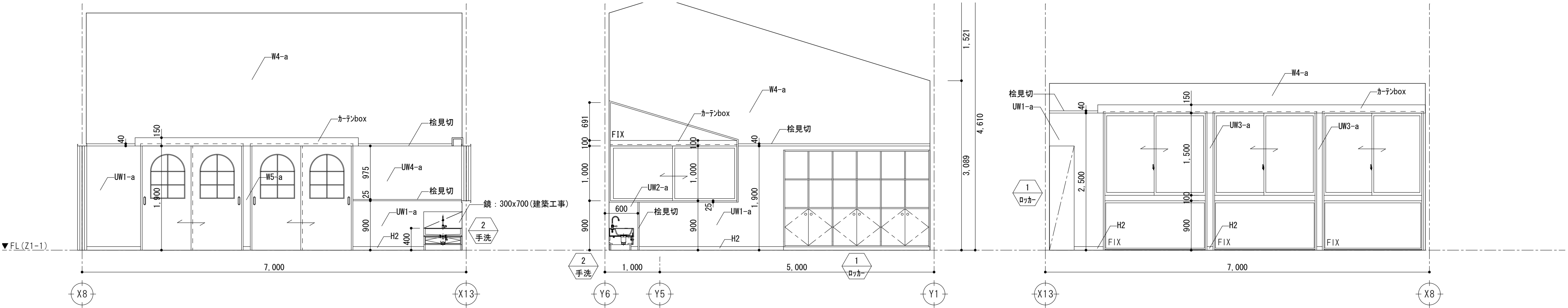
縦樋：カーP管φ75掘ミ金物共 建物廻り スチールメッキレチンクT-2 細目ノスリッ溝巾150（外構工事） WC廻り：タラスケルト=100 24kg/m3（天井迄）	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-40
	図面名称	平面詳細図（6）				縮尺 S=1/50		



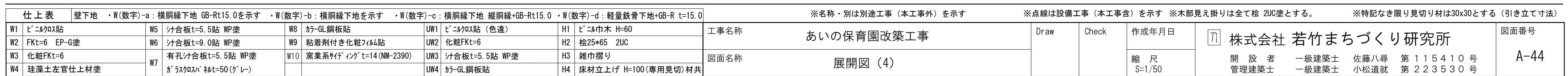
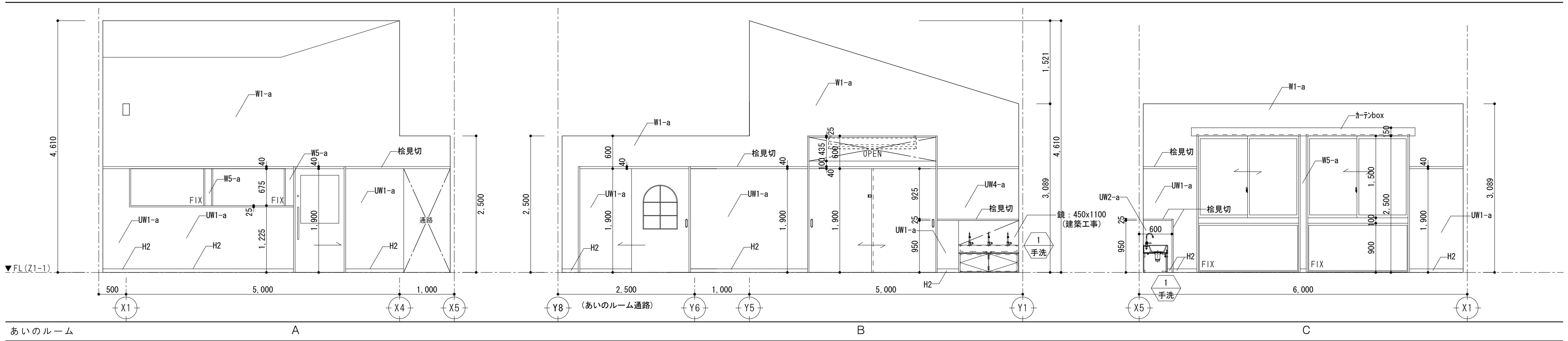
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て検 20Cとします。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																													
壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																											
W1	ビニルクロス貼	W5	3合板t=5.5貼 WP塗	W8	ｶﾞｰﾈﾙ鋼板貼	UW1	ビニルクロス貼（色違）	H1	ビニル巾木 H=60	工事名称	あいの保育園改築工事										Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号																																		
W2	FKt=6 EP-G塗	W6	3合板t=9.0貼 WP塗	W9	粘着剤付き化粧フィルム貼	UW2	化粧FKt=6	H2	桧25x65 20C																																																		
W3	化粧FKt=6	W7	有孔3合板t=5.5貼 WP塗	W10	窯業系サイディング t=14(NM-2390)	UW3	3合板t=5.5貼 WP塗	H3	雄巾摺り																																																		
W4	珪藻土官仕上材塗		ｶﾞﾗｽｸﾛｽﾞ ﾍﾙﾄﾞ=50(ｸﾞﾚｰ)			UW4	ｶﾞｰﾈﾙ鋼板貼	H4	床材上上げ H=100(専用見切) 材共																																																		
										図面名称										展開図 (1)																																							
																														縮尺 S=1/50										開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号										A-41									

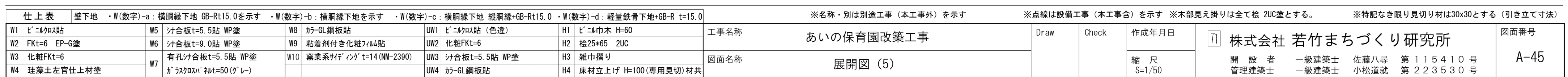
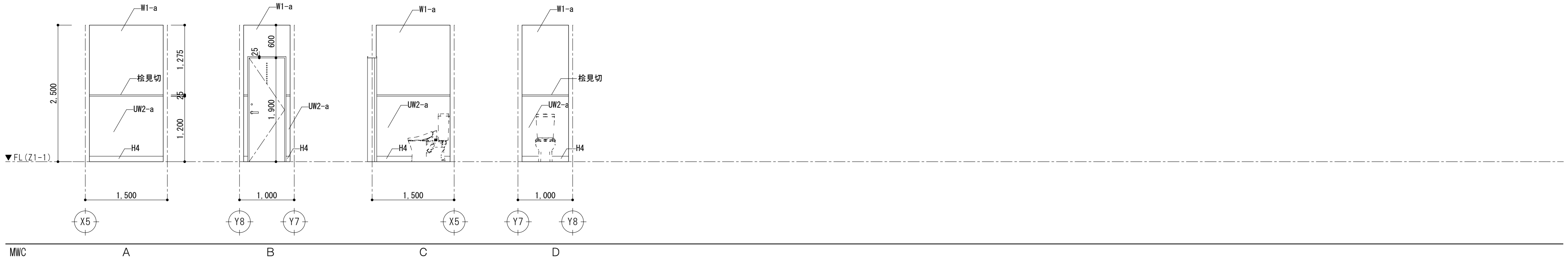


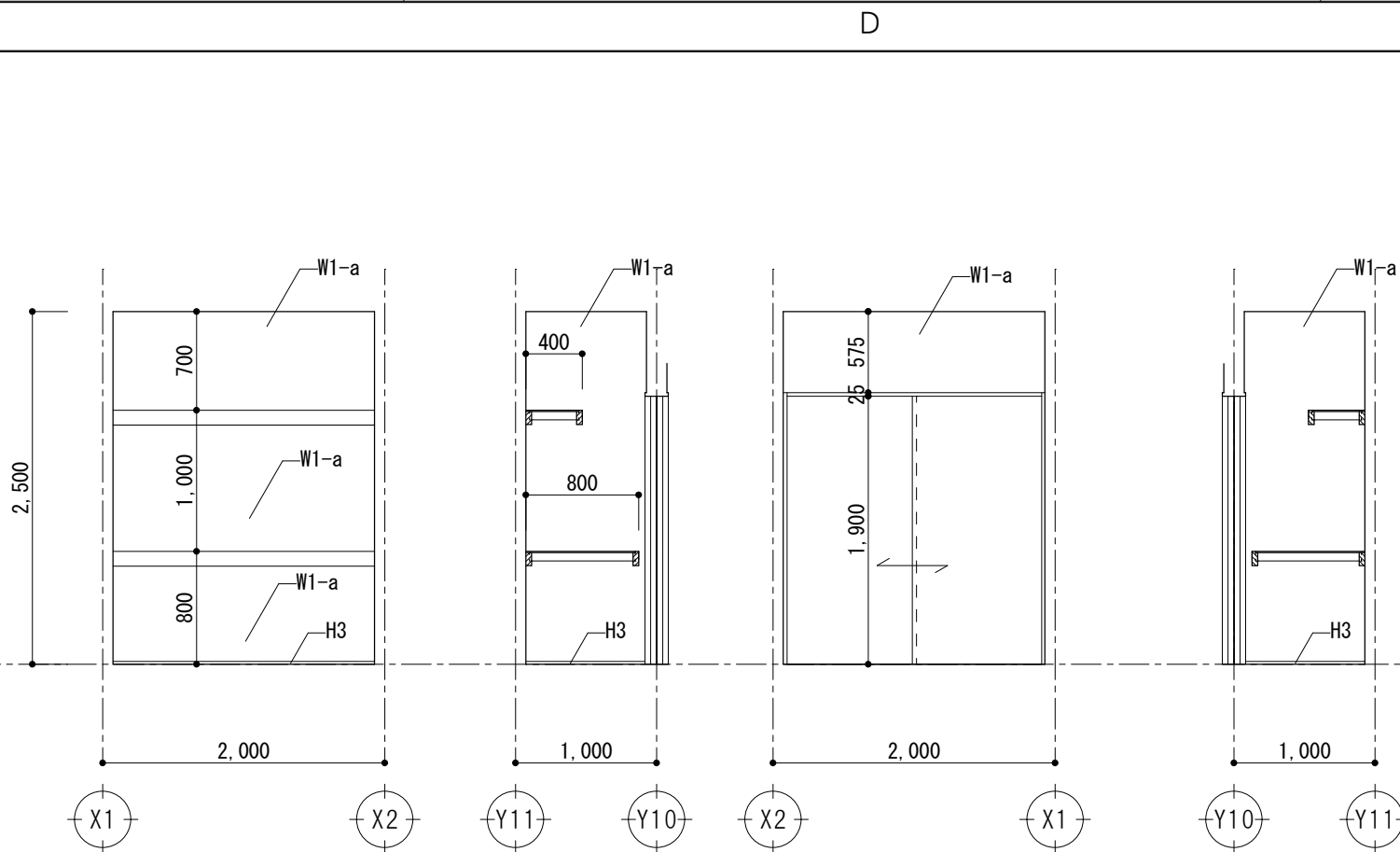
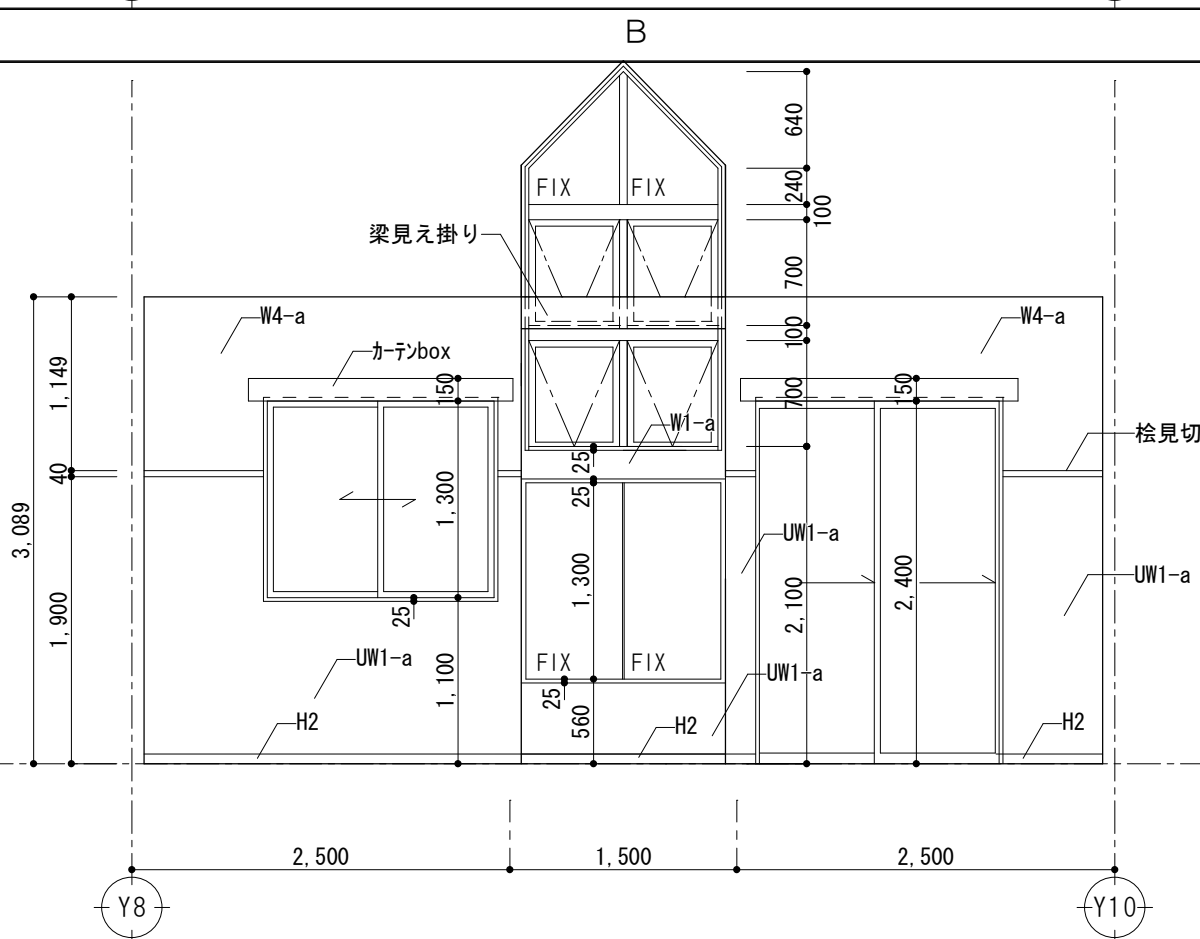
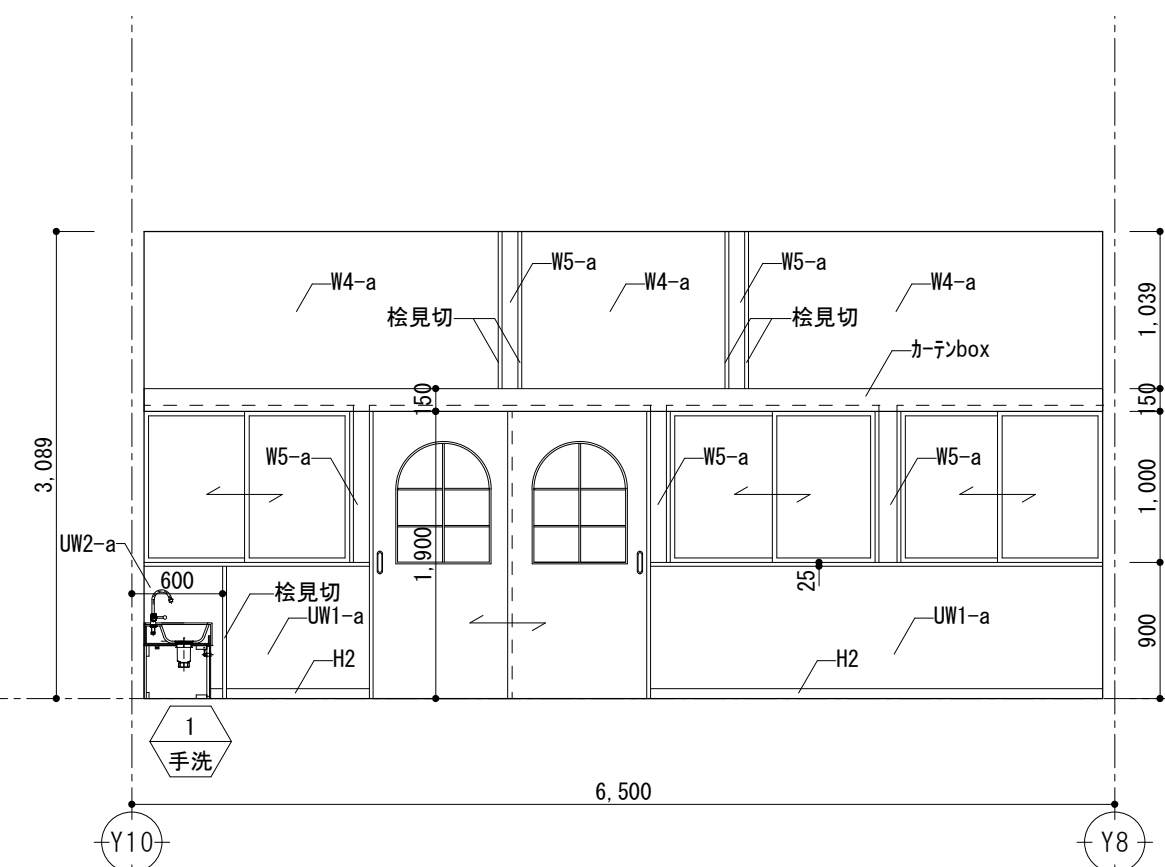
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 20Cとする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
壁下地		・W(数字)-a：横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す										・W(数字)-b：横胴縁下地を示す										・W(数字)-c：横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0										・W(数字)-d：軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			



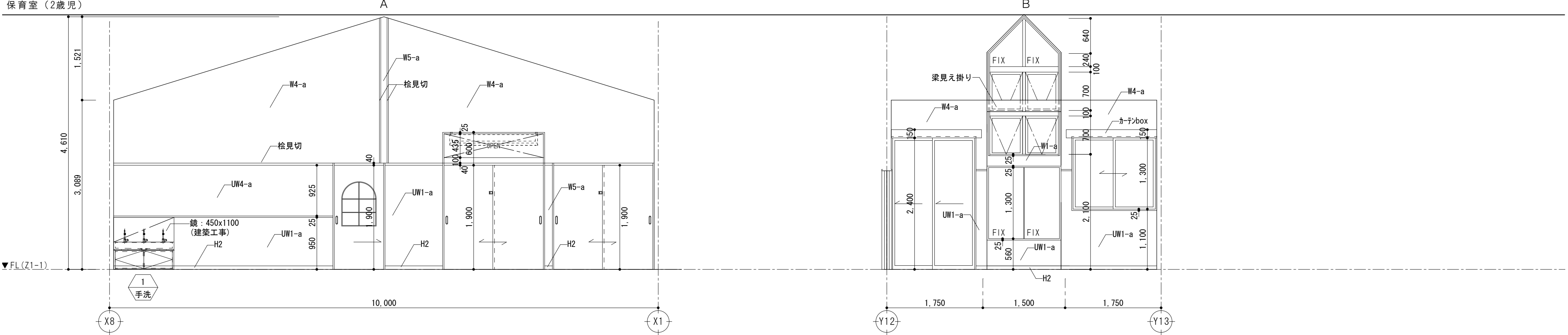
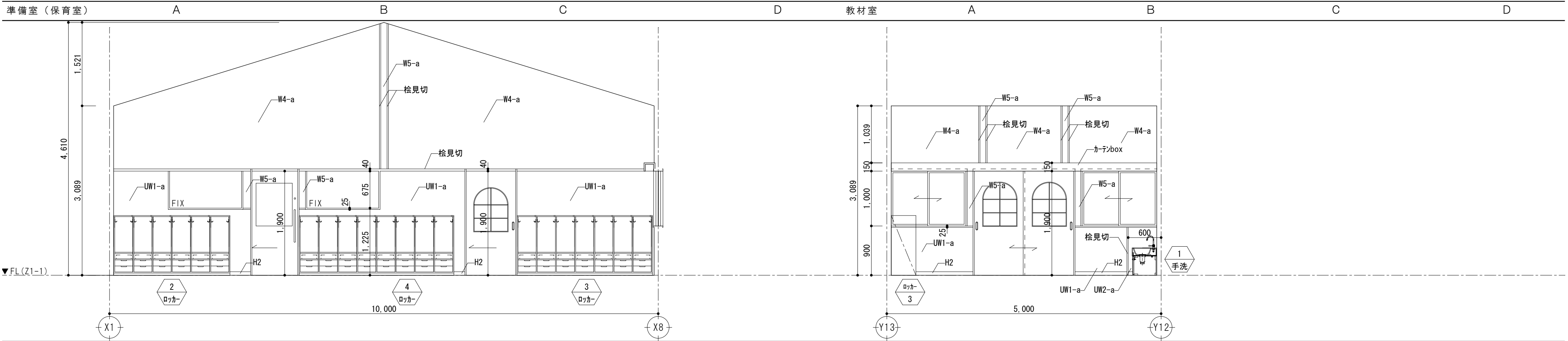
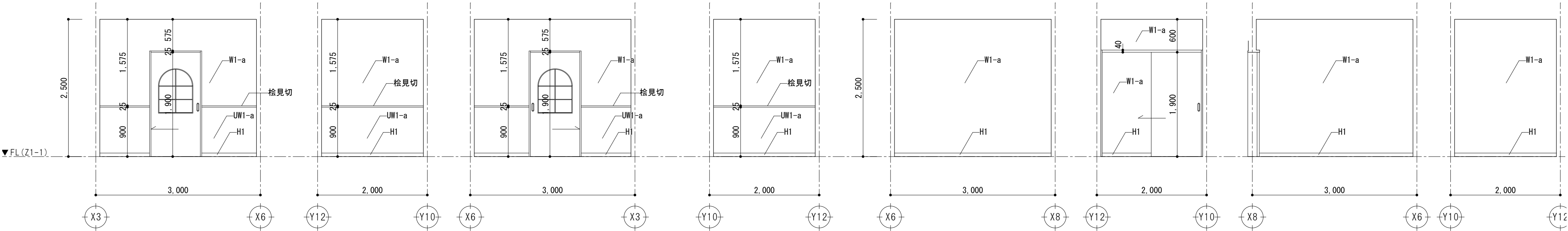
調乳室兼準備室				A				B				C				D				押入（0歳児室）				A				B				C				D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
仕上表		壁下地 ・ W(数字)-a：横綱線下地 GB-Rt15.0を示す ・ W(数字)-b：横綱線下地を示す ・ W(数字)-c：横綱線下地 縦綱線+GB-Rt15.0 ・ W(数字)-d：軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0		W5		W6		W7		W8		W9		W10		W11		W12		W13		W14		W15		W16		W17		W18		W19		W20		W21		W22		W23		W24		W25		W26		W27		W28		W29		W30		W31		W32		W33		W34		W35		W36		W37		W38		W39		W40		W41		W42		W43		W44		W45		W46		W47		W48		W49		W50		W51		W52		W53		W54		W55		W56		W57		W58		W59		W60		W61		W62		W63		W64		W65		W66		W67		W68		W69		W70		W71		W72		W73		W74		W75		W76		W77		W78		W79		W80		W81		W82		W83		W84		W85		W86		W87		W88		W89		W90		W91		W92		W93		W94		W95		W96		W97		W98		W99		W100		W101		W102		W103		W104		W105		W106		W107		W108		W109		W110		W111		W112		W113		W114		W115		W116		W117		W118		W119		W120		W121		W122		W123		W124		W125		W126		W127		W128		W129		W130		W131		W132		W133		W134		W135		W136		W137		W138		W139		W140		W141		W142		W143		W144		W145		W146		W147		W148		W149		W150		W151		W152		W153		W154		W155		W156		W157		W158		W159		W160		W161		W162		W163		W164		W165		W166		W167		W168		W169		W170		W171		W172		W173		W174		W175		W176		W177		W178		W179		W180		W181		W182		W183		W184		W185		W186		W187		W188		W189		W190		W191		W192		W193		W194		W195		W196		W197		W198		W199		W200		W201		W202		W203		W204		W205		W206		W207		W208		W209		W210		W211		W212		W213		W214		W215		W216		W217		W218		W219		W220		W221		W222		W223		W224		W225		W226		W227		W228		W229		W230		W231		W232		W233		W234		W235		W236		W237		W238		W239		W240		W241		W242		W243		W244		W245		W246		W247		W248		W249		W250		W251		W252		W253		W254		W255		W256		W257		W258		W259		W260		W261		W262		W263		W264		W265		W266		W267		W268		W269		W270		W271		W272		W273		W274		W275		W276		W277		W278		W279		W280		W281		W282		W283		W284		W285		W286		W287		W288		W289		W290		W291		W292		W293		W294		W295		W296		W297		W298		W299		W300		W301		W302		W303		W304		W305		W306		W307		W308		W309		W310		W311		W312		W313		W314		W315		W316		W317		W318		W319		W320		W321		W322		W323		W324		W325		W326		W327		W328		W329		W330		W331		W332		W333		W334		W335		W336		W337		W338		W339		W340		W341		W342		W343		W344		W345		W346		W347		W348		W349		W350		W351		W352		W353		W354		W355		W356		W357		W358		W359		W360		W361		W362		W363		W364		W365		W366		W367		W368		W369		W370		W371		W372		W373		W374		W375		W376		W377		W378		W379		W380		W381		W382		W383		W384		W385		W386		W387		W388		W389		W390		W391		W392		W393		W394		W395		W396		W397		W398		W399		W400		W401		W402		W403		W404		W405		W406		W407		W408		W409		W410		W411		W412		W413		W414		W415		W416		W417		W418		W419		W420		W421		W422		W423		W424		W425		W426		W427		W428		W429		W430		W431		W432		W433		W434		W435		W436		W437		W438		W439		W440		W441		W442		W443		W444		W445		W446		W447		W448		W449		W450		W451		W452		W453		W454		W455		W456		W457		W458		W459		W460		W461		W462		W463		W464		W465		W466		W467		W468		W469		W470		W471		W472		W473		W474		W475		W476		W477		W478		W479		W480		W481		W482		W483		W484		W485		W486		W487		W488		W489		W490		W491		W492		W493		W494		W495		W496		W497		W498		W499		W500		W501		W502		W503		W504		W505		W506		W507		W508		W509		W510		W511		W512		W513		W514		W515		W516		W517		W518		W519		W520		W521		W522		W523		W524		W525		W526		W527		W528		W529		W530		W531		W532		W533		W534		W535		W536		W537		W538		W539		W540		W541		W542		W543		W544		W545		W546		W547		W548		W549		W550		W551		W552		W553		W554		W555		W556		W557		W558		W559		W560		W561		W562		W563		W564		W565		W566		W567		W568		W569		W570		W571		W572		W573		W574		W575		W576		W577		W578		W579		W580		W581		W582		W583		W584		W585		W586		W587		W588		W589		W590		W591		W592		W593		W594		W595		W596		W597		W598		W599		W600		W601		W602		W603		W604		W605		W606		W607		W608		W609		W610		W611		W612		W613		W614		W615		W616		W617		W618		W619		W620		W621		W622		W623		W624		W625		W626		W627		W628		W629		W630		W631		W632		W633		W634		W635		W636		W637		W638		W639		W640		W641		W642		W643		W644		W645		W646		W647		W648		W649		W650		W651		W652		W653		W654		W655		W656		W657		W658		W659		W660		W661		W662		W663		W664		W665		W666		W667		W668		W669		W670		W671		W672		W673		W674		W675		W676		W677		W678		W679		W680		W681		W682		W683		W684		W685		W686		W687		W688		W689		W690		W691		W692		W693		W694		W695		W696		W697		W698		W699		W700		W701		W702		W703		W704		W705		W706		W707		W708		W709		W710		W711		W712		W713		W714		W715		W716		W717		W718		W719		W720		W721		W722		W723		W724		W725		W726		W727		W728		W729		W730		W731		W732		W733		W734		W735		W736		W737		W738		W739		W740		W741		W742		W743		W744		W745		W746		W747		W748		W749		W750		W751		W752		W753		W754		W755		W756		W757		W758		W759		W760		W761		W762		W763		W764		W765		W766		W767		W768		W769		W770		W771		W772		W773		W774		W775		W776		W777		W778		W779		W780		W781		W782		W783		W784		W785		W786		W787		W788		W789		W790		W791		W792		W793		W794		W795		W796		W797		W798		W799		W800		W801		W802		W803		W804		W805		W806		W807		W808		W809		W810		W811		W812		W813		W814		W815		W816		W817		W818		W819		W820		W821		W822		W823		W824		W825		W826		W827		W828		W829		W830		W831		W832		W833		W834		W835		W836		W837		W838		W839		W840		W841		W842		W843		W844		W845		W846		W847		W848		W849		W850		W851		W852		W853		W854		W855		W856		W857		W858		W859		W860		W861		W862		W863		W864		W865		W866		W867		W868		W869		W870		W871		W872		W873		W874		W875		W876		W877		W878		W879		W880		W881		W882		W883		W884		W885		W886		W887		W888		W889		W890		W891		W892		W893		W894		W895		W896		W897		W898		W899		W900		W901		W902		W903		W904		W905		W906		W907		W908		W909		W910		W911		W912		W913		W914		W915		W916		W917		W918		W919		W920		W921		W922		W923		W924		W925		W926		W927		W928		W929		W930		W931		W932		W933		W934		W935		W936		W937		W938		W939		W940		W941		W942		W943		W944		W945		W946		W947		W948		W949		W950		W951		W952		W953		W954		W955		W956		W957		W958		W959		W960		W961		W962		W963		W964		W965		W966		W967		W968		W969		W970		W971		W972		W973		W974		W975		W976		W977		W978		W979		W980		W981		W982		W983		W984		W985		W986		W987		W988		W989		W990		W991		W992		W993		W994		W995		W996		W997		W998		W999		W1000		W1001		W1002		W1003		W1004		W1005		W1006		W1007		W1008		W1009		W1010		W1011		W1012		W1013		W1014		W1015		W1016		W1017		W1018		W1019		W1020		W1021		W1022		W1023		W1024		W	



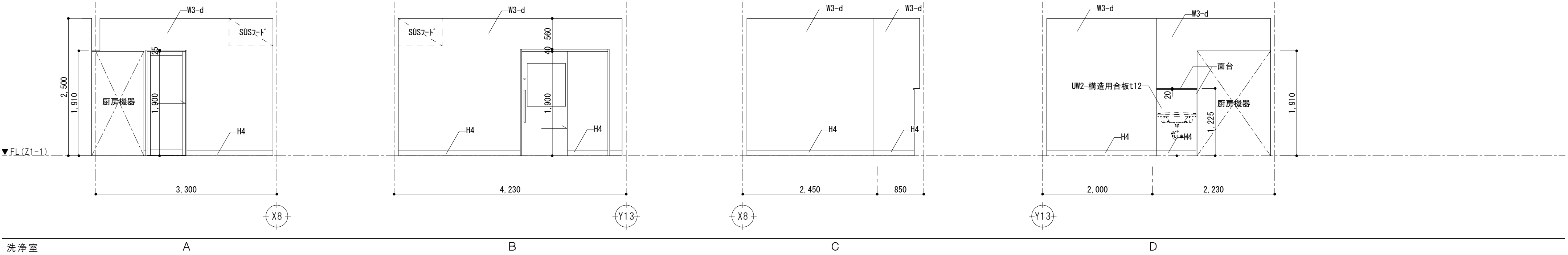
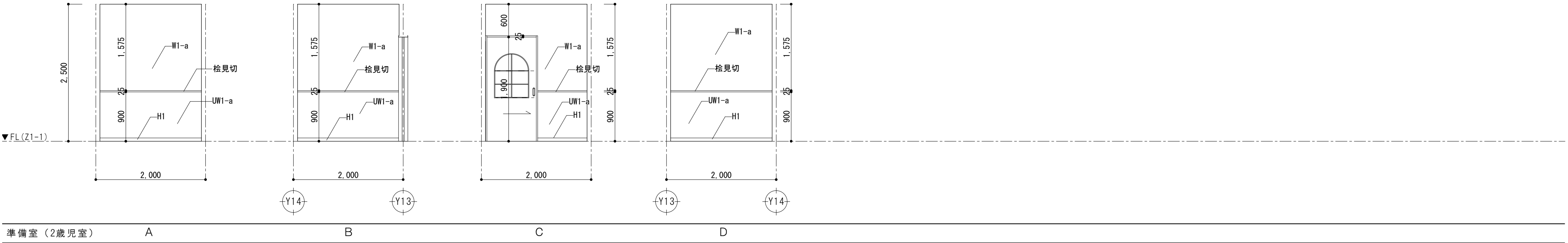
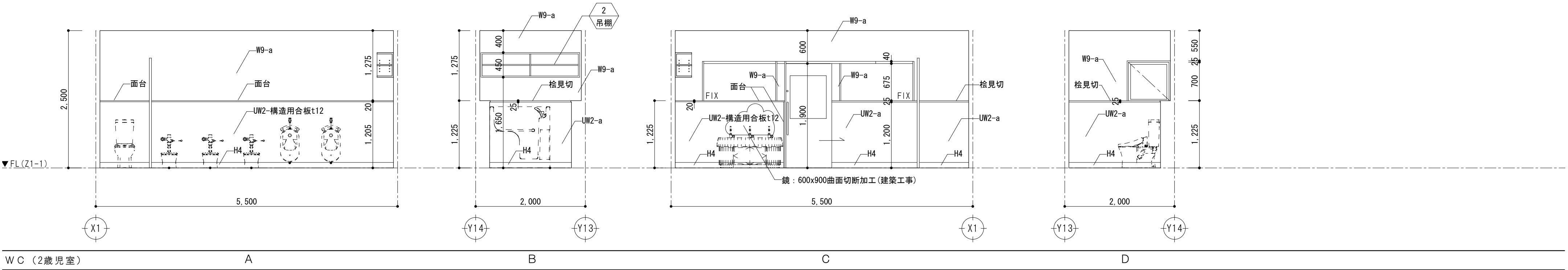




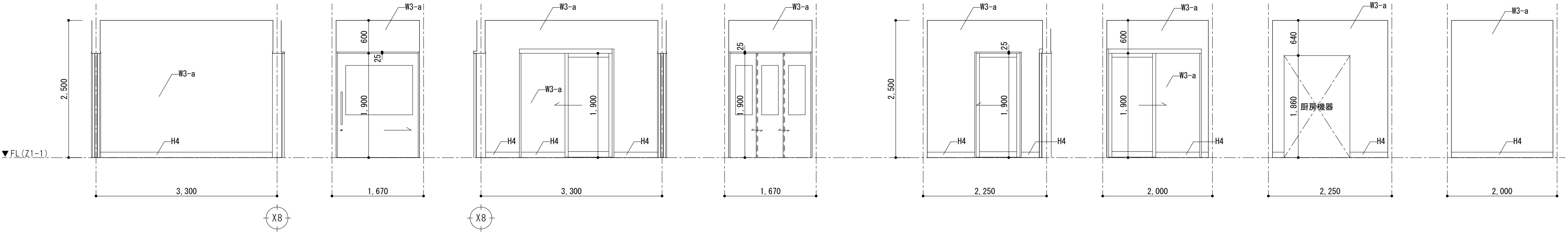
押入（1歳児室）				A		B		C		D		押入（1歳児室）				A		B		C		D	
仕上表		※名称・別は別途工事（本工事外）を示す ※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て検 2UC塗とする。 ※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																					
W1	ビニルクロス貼	W5	合板t=5.5貼 WP塗	W8	カーGL鋼板貼	UW1	ビニルクロス貼（色違）	H1	ビニル巾木 H=60	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>株</div> 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 A-46								
W2	FKt=6 EP-G塗	W6	合板t=9.0貼 WP塗	W9	粘着剤付き化粧フィルム貼	UW2	化粧FKt=6	H2	桧25*65 2UC														
W3	化粧FKt=6	W7	有孔合板t=5.5貼 WP塗 カラスクハ 枠t=50(グレー)	W10	窯業系サイディング t=14(NM-2390)	UW3	合板t=5.5貼 WP塗	H3	雑巾摺り	図面名称 展開図 (6)				縮 尺 S=1/50	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号								
W4	珪藻土左官仕上材塗					UW4	カーGL鋼板貼	H4	床材上げ H=100(専用見切) 材共														



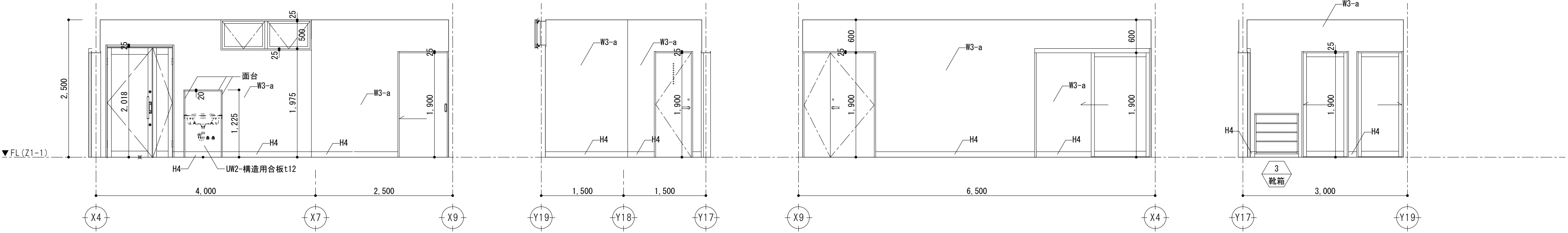
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
壁下地 ・W(数字)-a: 横綱線下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横綱線下地を示す ・W(数字)-c: 横綱線下地 縦綱線+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
W1	ビニルクロス貼				W5	シ合板t=5.5貼 WP塗				W8	ｶﾞｰﾙ鋼板貼				UW1	ビニルクロス貼（色違）				H1	ビニル巾木 H=60				工事名称	あいの保育園改築工事										Draw	Check	作成年月日	<div>㊦</div> 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	シ合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付き化粧フィルム貼				UW2	化粧FKt=6				H2	桧25×65 2UC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
W3	化粧FKt=6				W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗				W10	窯業系サイディング t=14 (NM-2390)				UW3	シ合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
W4	珪藻土左官仕上材塗					ｸﾞﾗｽｸﾛｽ貼 t=50(ｸﾞﾚｰ)									UW4	ｶﾞｰﾙ鋼板貼				H4	床材立上げ H=100(専用見切) 材共																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																



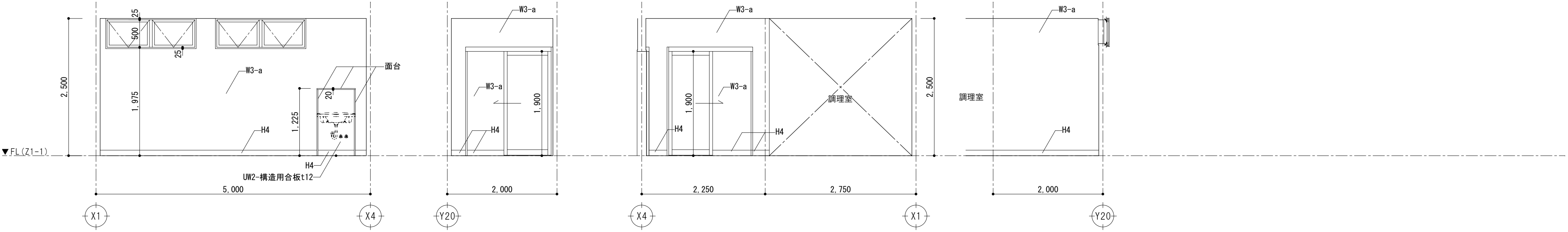
仕上表										壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て検 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）														
W1 ビニルクロス貼					W5 合板t=5.5貼 WP塗					W8 ｶﾞｰｰL鋼板貼					UW1 ビニルクロス貼（色違）					H1 ビニル巾木 H=60					工事名称 あいの保育園改築工事					Draw					Check					作成年月日					㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所					図面番号 A-48				
W2 FKt=6 EP-G塗					W6 合板t=9.0貼 WP塗					W9 粘着剤付き化粧ﾌｲﾙﾑ貼					UW2 化粧FKt=6					H2 桧25×65 2UC																																		
W3 化粧FKt=6					W7 有孔合板t=5.5貼 WP塗 ｶﾞﾗｽｸﾛｽﾊﾞｰﾙt=50(ｸﾞｰｰ)					W10 窯業系ｼｬｰﾐﾝｸﾞ t=14 (NM-2390)					UW3 合板t=5.5貼 WP塗					H3 雑巾摺り																																		
W4 珪藻土左官仕上材塗															UW4 ｶﾞｰｰL鋼板貼					H4 床材立上げ H=100(専用見切)材共																																		
展開図 (8)																																																						



配膳室	A	B	C	D	食品庫	A	B	C	D
-----	---	---	---	---	-----	---	---	---	---

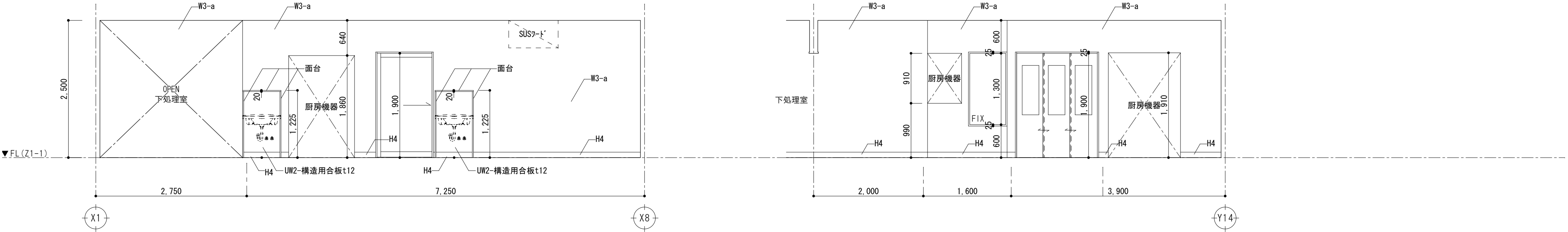


検収室	A	B	C	D
-----	---	---	---	---

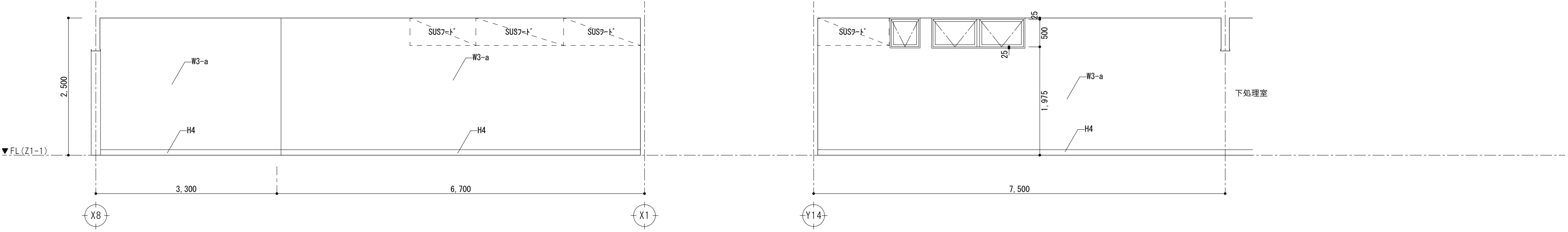


下処理室	A	B	C	D
------	---	---	---	---

仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す			※点線は設備工事（本工事含）を示す			※木部見え掛りは全て桧 20C塗とする。			※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）		
壁下地		-W(数字)-a: 横鋼線下地 GB-Rt15.0を示す		-W(数字)-b: 横鋼線下地を示す		-W(数字)-c: 横鋼線下地 縦鋼線+GB-Rt15.0		-W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0		工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号					
W1	ビニルクロス貼	W5	シ合板t=5.5貼 WP塗	W8	カーGL鋼板貼	UW1	ビニルクロス貼（色違）	H1	ビニル巾木 H=60												
W2	FKt=6 EP-G塗	W6	シ合板t=9.0貼 WP塗	W9	粘着剤付き化粧フィルム貼	UW2	化粧FKt=6	H2	桧25×65 2UC												
W3	化粧FKt=6	W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗	W10	窯業系サイディング t=14(NM-2390)	UW3	シ合板t=5.5貼 WP塗	H3	雑巾摺り												
W4	珪藻土左官仕上材塗					ガラスクロス 貼t=50(グレー)	UW4	カーGL鋼板貼	H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共											
										図面名称	展開図 (9)			縮尺 S=1/50	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	A-49					




調理室 A B

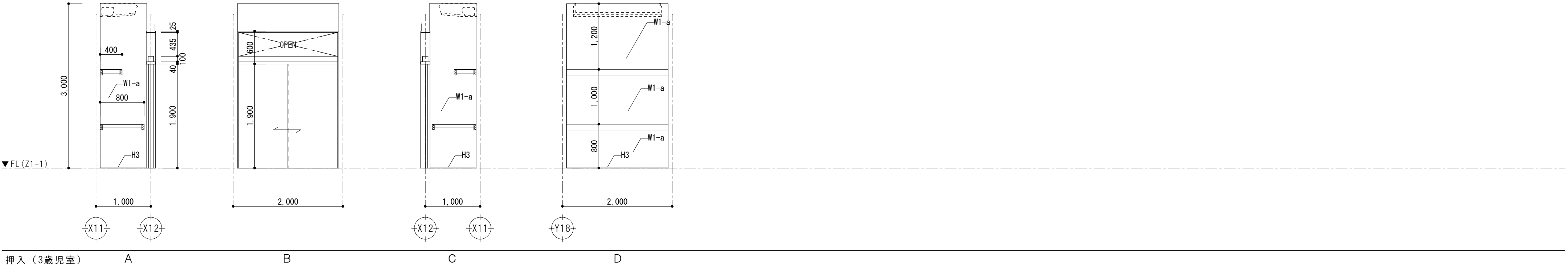
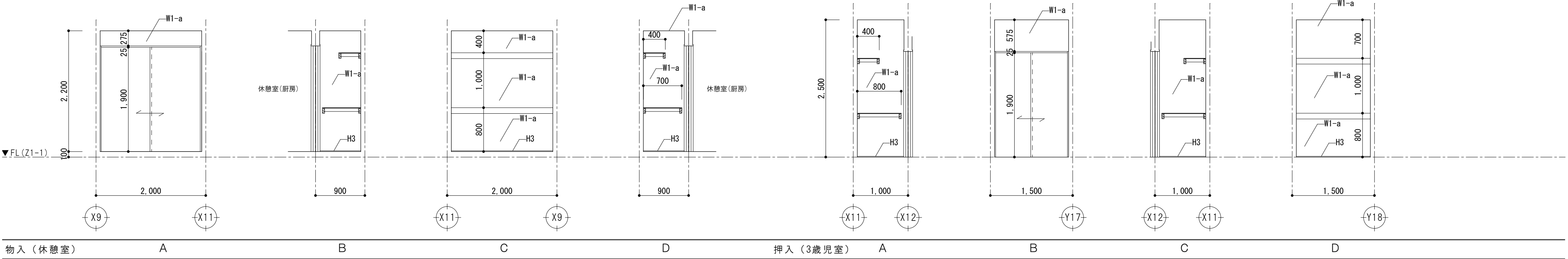
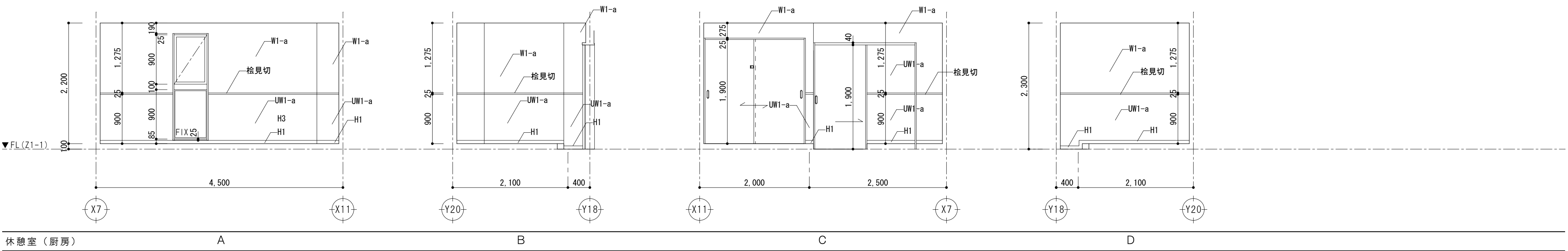


調理室 C B

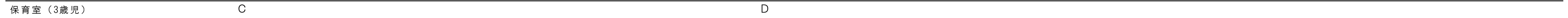
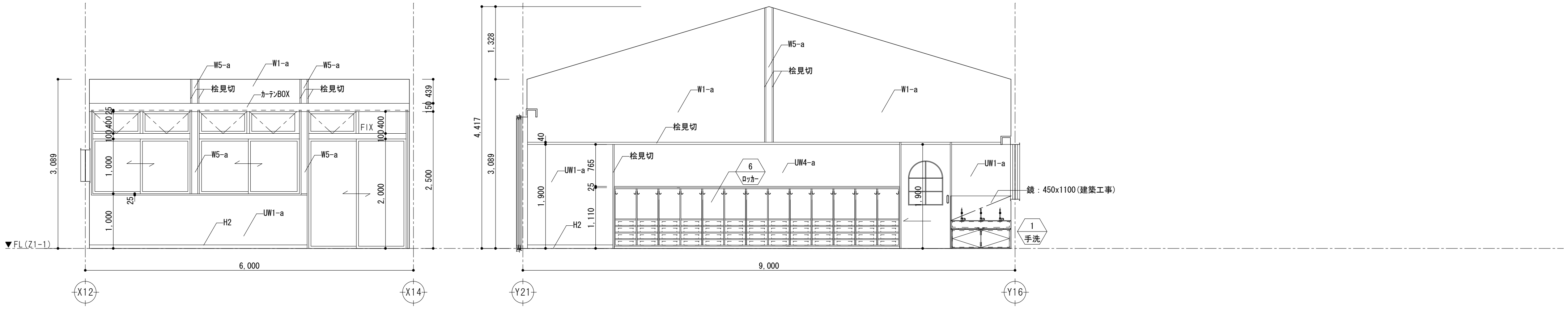



WC (厨房) A B C D

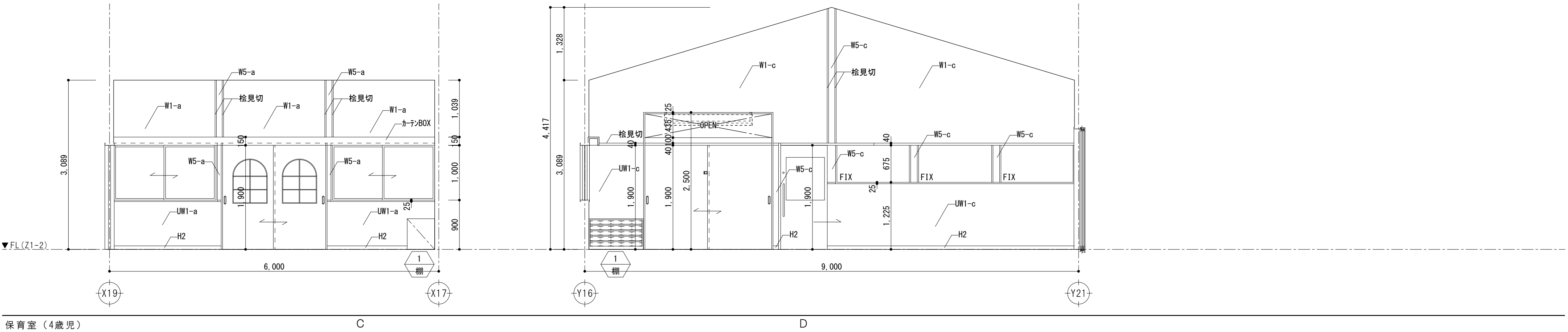
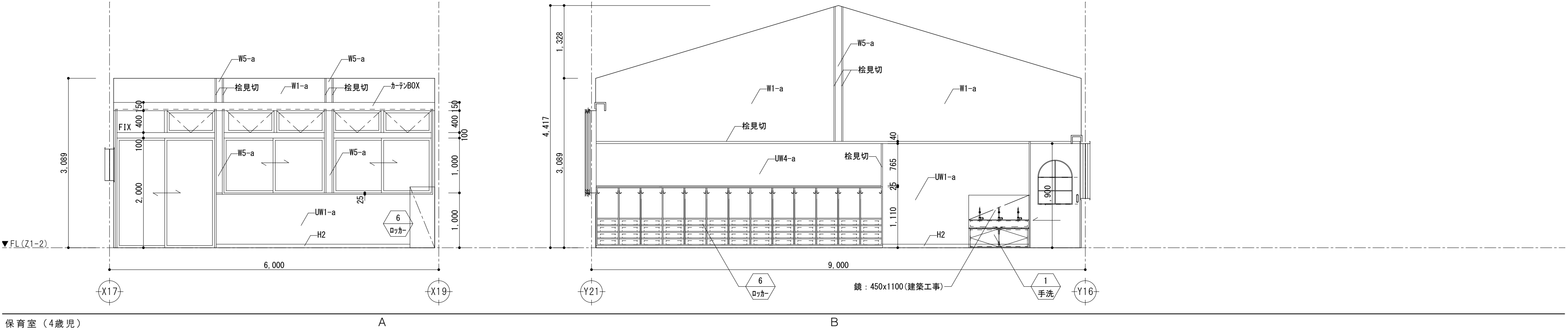
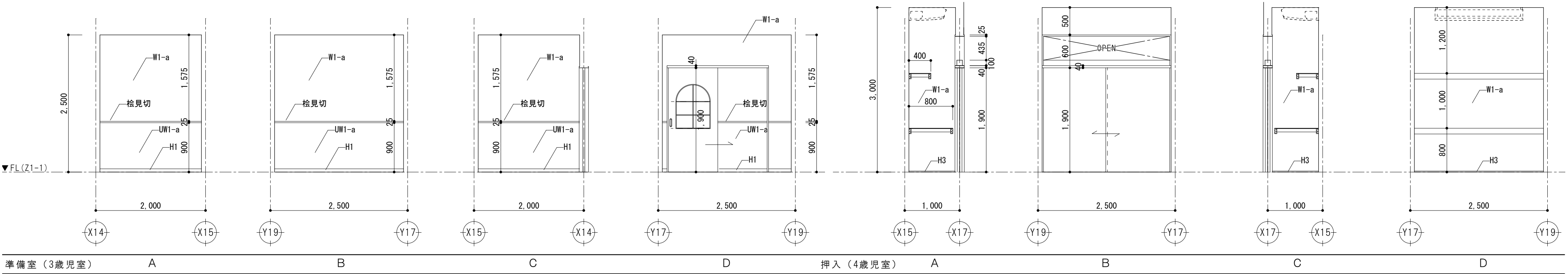
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て検 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
W1	ビニルクロス貼				W5	シ合板t=5.5貼 WP塗				W8	ｶﾞｰｰGL鋼板貼				UW1	ビニルクロス貼（色違）				H1	ビニル巾木 H=60				工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	シ合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付き化粧ﾌｲﾙﾑ貼				UW2	化粧FKt=6				H2	桧25×65 2UC																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
W3	化粧FKt=6				W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗				W10	窯業系サイディング t=14 (NM-2390)				UW3	シ合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
W4	珪藻土左官仕上材塗					ｸﾞﾗｽｸﾛｽﾞｰﾊﾞﾙﾄ=50(ｸﾞｰｰ)									UW4	ｶﾞｰｰGL鋼板貼				H4	床材立上げ H=100(専用見切) 材共																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																



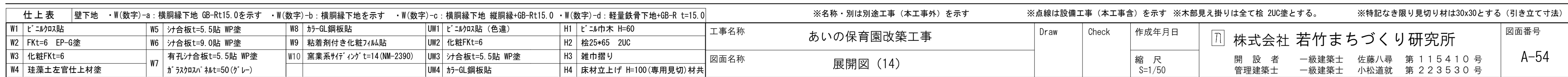
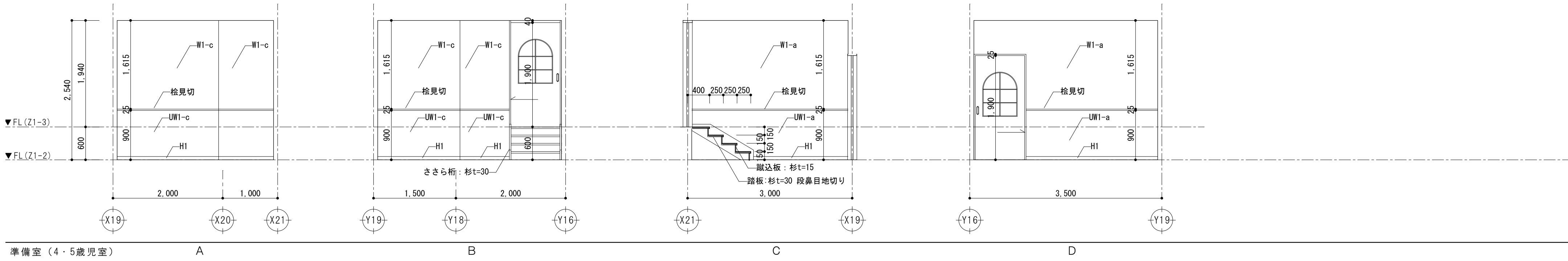
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 20C塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																																							
壁下地 -a: 横鋼線下地 GB-Rt15.0を示す -W(数字)-b: 横鋼線下地を示す -W(数字)-c: 横鋼線下地 縦鋼線+GB-Rt15.0 -W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																																					
W1	ビニルクロス貼				W5	シ合板t=5.5貼 WP塗				W8	ｶﾞｰｰGL鋼板貼				UW1	ビニルクロス貼（色違）				H1	ビニル巾木 H=60				工事名称	あいの保育園改築工事										Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号																													
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	シ合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付き化粧フィルム貼				UW2	化粧FKt=6				H2	桧25x65 2UC																																																
W3	化粧FKt=6				W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗				W10	窯業系サイディング t=14 (NM-2390)				UW3	シ合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り																																																
W4	珪藻土左官仕上材塗					ｸﾞﾗｽｸﾛｽﾊﾞｰﾙt=50(ｸﾞﾚｰ)									UW4	ｶﾞｰｰGL鋼板貼				H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共																																																
押入（3歳児室）																				図面名称										展開図（11）										縮尺 S=1/50										開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号										A-51									

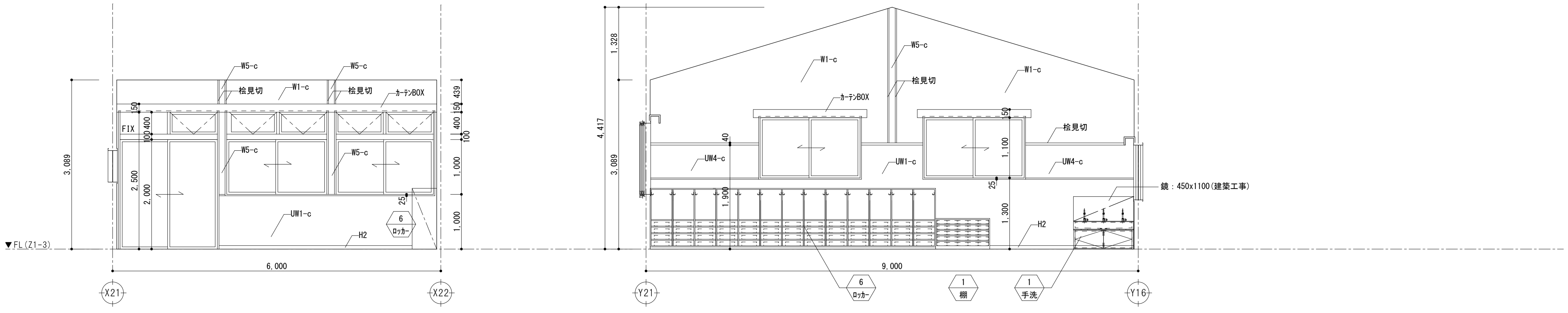


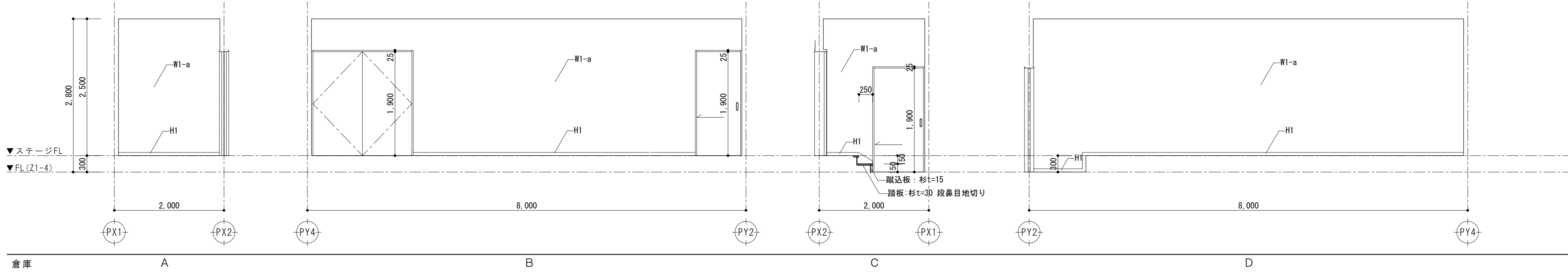
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て栓 20C塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）										
壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																								
W1	ビニル貼貼				W5	シ合板t=5.5貼 WP塗				W8	カー-鋼板貼				W11	ビニル貼（色違）				H1	ビニル巾木 H=60				工事名称 あいの保育園改築工事										Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 A-52
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	シ合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付化粧繊維貼				W12	化粧FKt=6				H2	桧25x65 2UC																			
W3	化粧FKt=6				W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗				W10	窯業系サイディングt=14(NM-2390)				W13	シ合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り				図面名称 展開図（12）												縮 尺 S=1/50			
W4	珪藻土左官仕上材塗					ガラスクロス 裨t=50(グレー)				W14	鋼板貼				W17	床材立上げ H=100(専用見切)材共				H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共																			



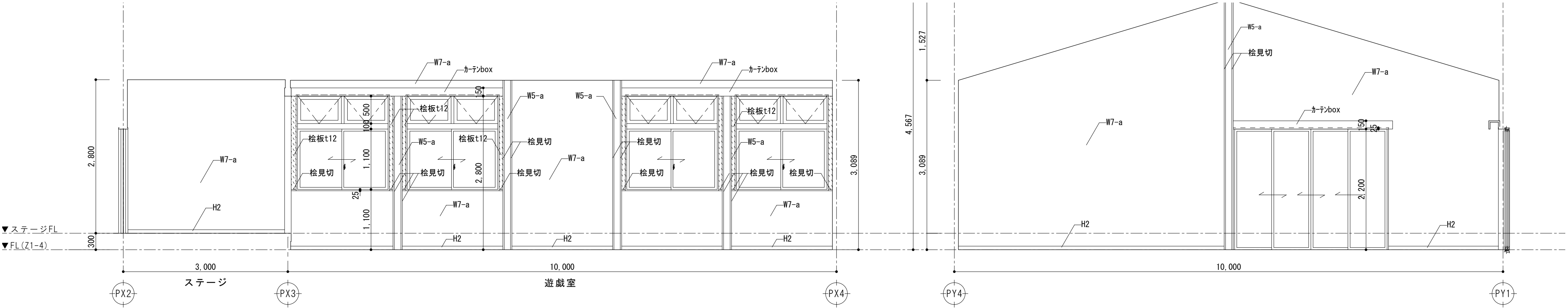
仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す			※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 2UC塗とする。			※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）					
W1		ビニルクロス貼		W5	シ合板t=5.5貼 WP塗		W8	ｶﾞｰﾙ鋼板貼		UW1	ビニルクロス貼（色違）		H1	ビニル巾木 H=60		工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-53
W2		FKt=6 EP-G塗		W6	シ合板t=9.0貼 WP塗		W9	粘着剤付き化粧ﾌｲﾙﾑ貼		UW2	化粧FKt=6		H2	桧25×65 2UC							
W3		化粧FKt=6		W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗		W10	窯業系ｼｬｲﾝｸﾞ t=14 (NM-2390)		UW3	ｼ合板t=5.5貼 WP塗		H3	雑巾摺り							
W4		珪藻土左官仕上材塗			ｸﾞﾗｽｸﾛｽﾞ 裨t=50(ｸﾞﾚｰ)					UW4	ｶﾞｰﾙ鋼板貼		H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共							
壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0										展開図 (13)			縮尺 S=1/50		開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号						



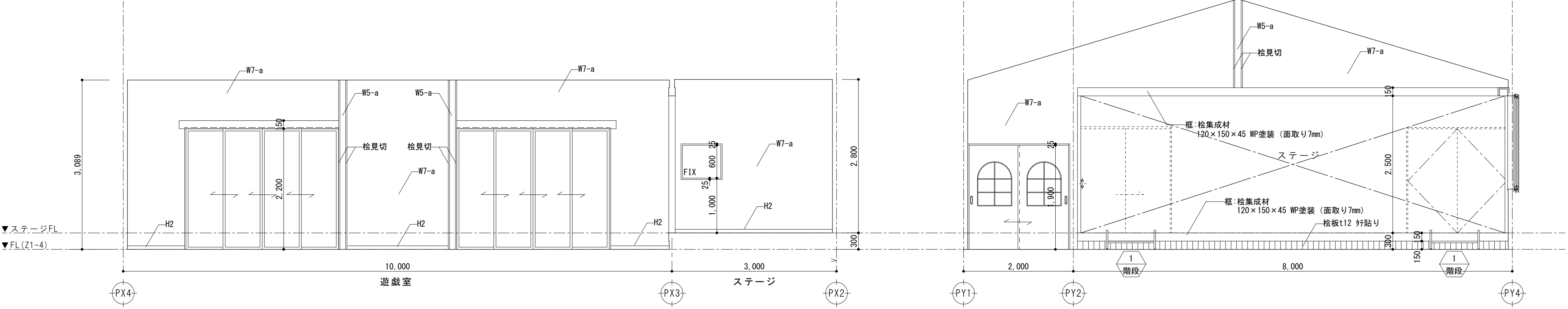




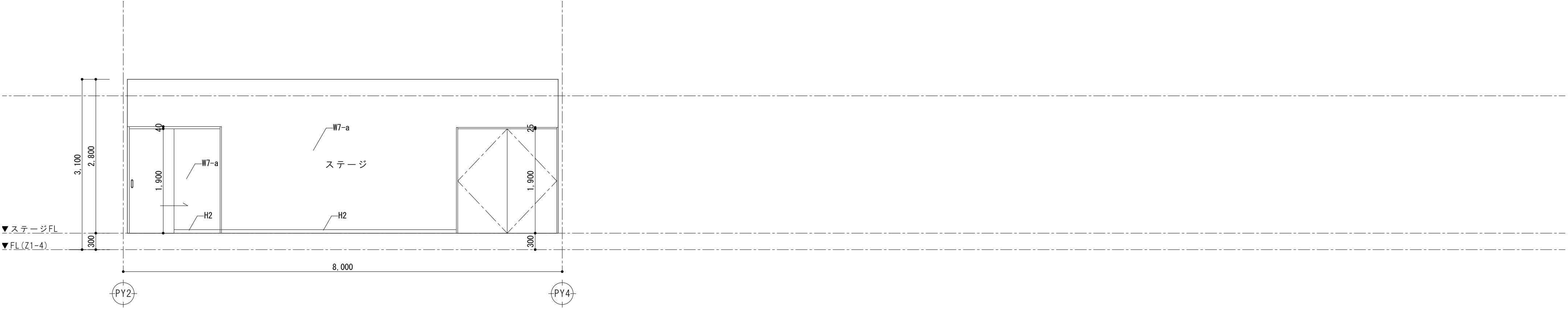
仕上表										壁下地 ・ W(数字)-a: 横筋緑下地 GB-Rt15.0 を示す ・ W(数字)-b: 横筋緑下地を示す ・ W(数字)-c: 横筋緑下地 縦筋緑+GB-Rt15.0 ・ W(数字)-d: 重量鉄骨下地+GB-R t=15.0										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て検 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）									
W1	ビニル貼貼				W5	汁合板t=5.5貼 WP塗				W8	ｶﾞｰﾈｰﾙ鋼板貼				UW1	ビニル貼貼（色塗）				H1	ﾋﾞﾆﾙ巾巾 H=60				工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号																		
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	汁合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付き化粧ﾌｲﾙﾏ貼				UW2	化粧FKt=6				H2	検25*65 2UC																												
W3	化粧FKt=6				W7	有孔汁合板t=5.5貼 WP塗				W10	窯業系ｼｰﾁﾝｸﾞ t=14(NM-2390)				UW3	汁合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り																												
W4	珪藻土左官仕上材塗					ｶﾞｰｽｸﾚｰﾌﾞ ｽﾏｰﾄ=50(ｸﾞﾚｰ)				UW4	ｶﾞｰﾈｰﾙ鋼板貼				H4	床材上げ H=100(専用見切) 材共																																	
図面名称										展開図 (16)										縮 尺 S=1/50										開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号										A-56									



遊戯室・ステージ A B

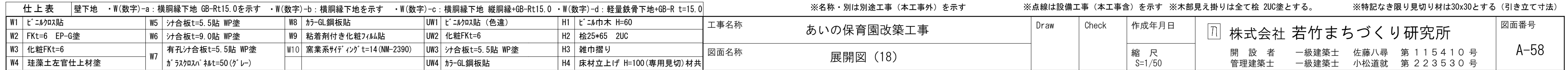
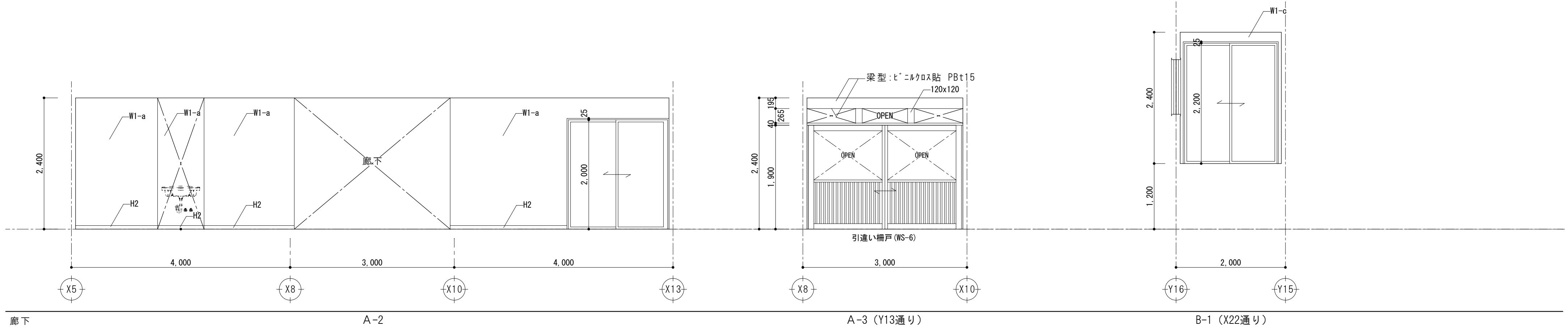


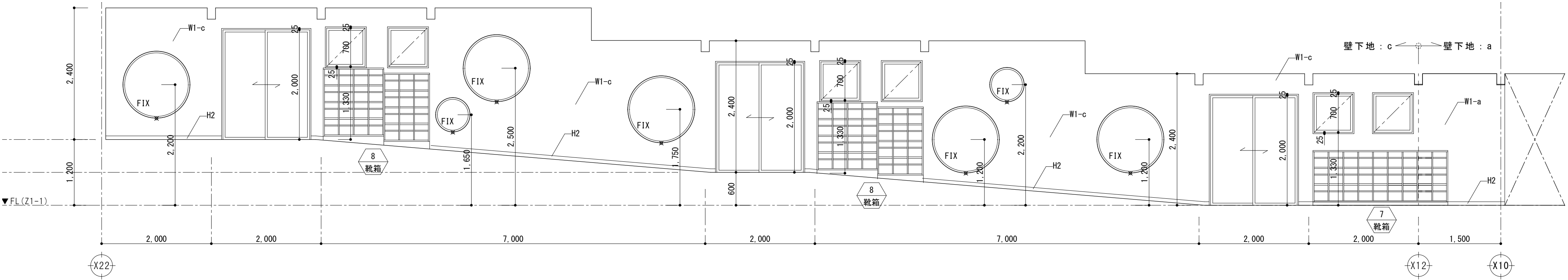
遊戯室・ステージ C D-1



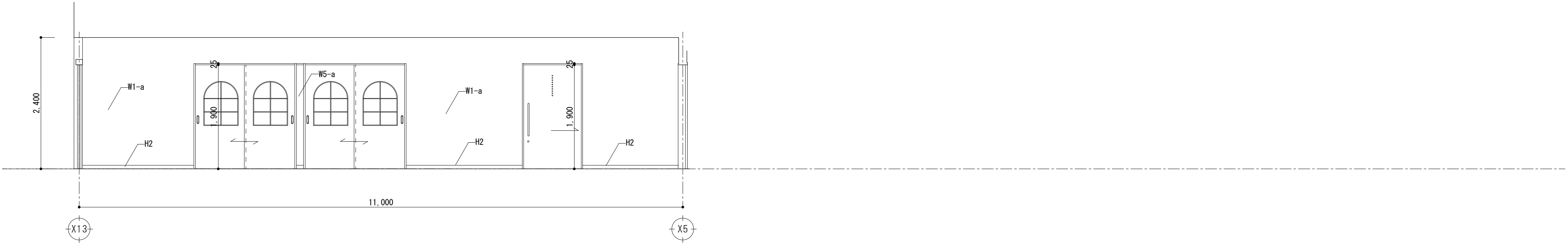
遊戯室・ステージ D-2

仕上表										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																			
壁下地 ・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す ・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す ・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0 ・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0																																																	
W1	ビニルクロス貼				W5	桧合板t=5.5貼 WP塗				W8	カー-GL鋼板貼				UW1	ビニルクロス貼（色違）				H1	ビニル巾木 H=60				工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号 A-57																			
W2	FKt=6 EP-G塗				W6	桧合板t=9.0貼 WP塗				W9	粘着剤付き化粧フィルム貼				UW2	化粧FKt=6				H2	桧25*65 2UC																												
W3	化粧FKt=6				W7	有孔桧合板t=5.5貼 WP塗 ガラスクロス貼t=50(グレー)				W10	窯業系サイディング t=14(NM-2390)				UW3	桧合板t=5.5貼 WP塗				H3	雑巾摺り																												
W4	珪藻土左官仕上材塗									UW4	カー-GL鋼板貼				H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共																																	
展開図（17）																																																	

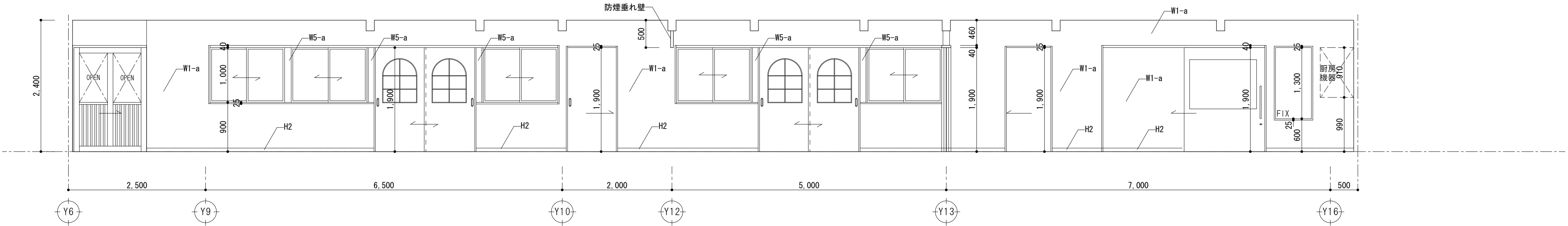




廊下（スロープ部）C-1

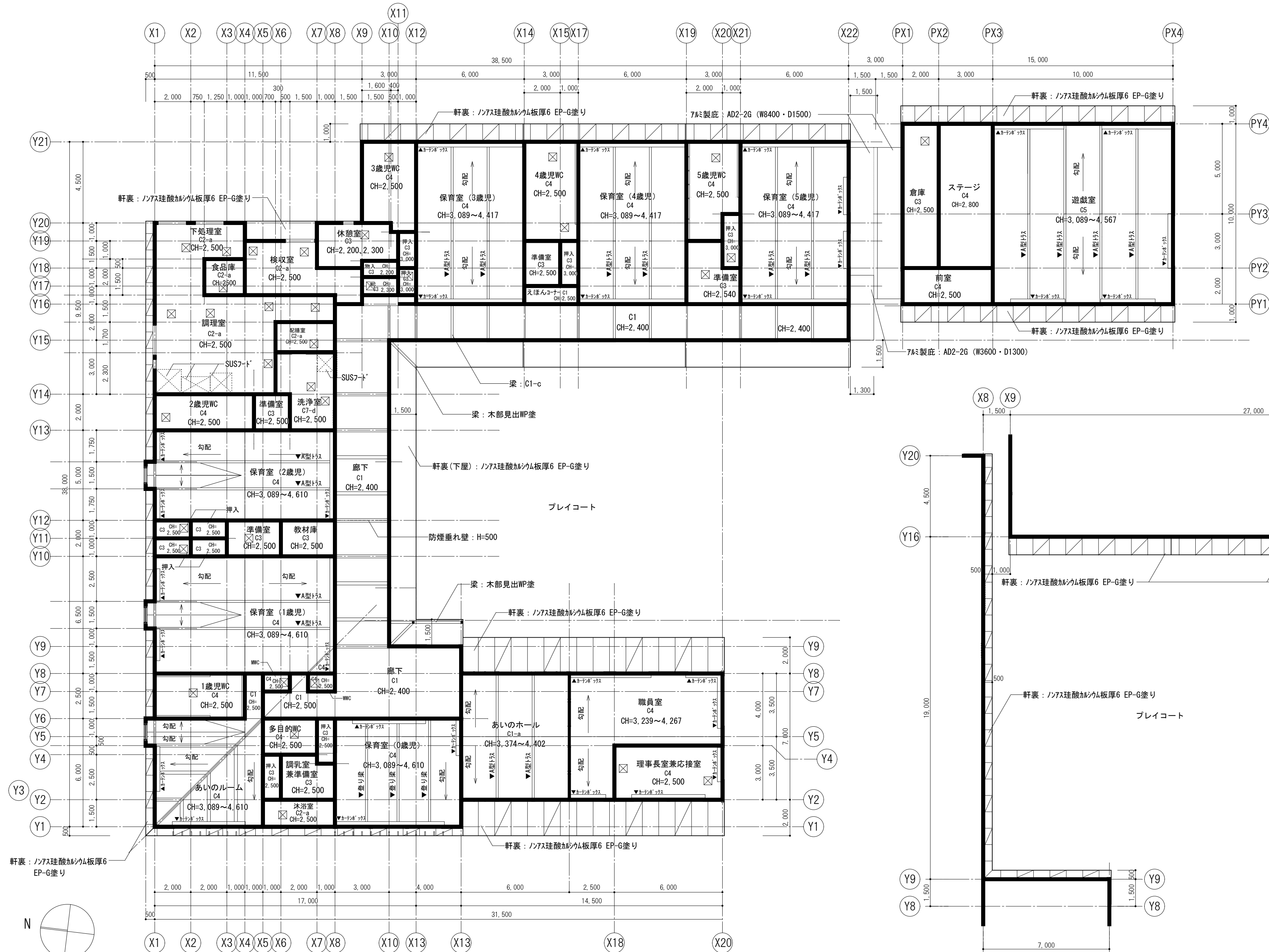


廊下 C-2



廊下 D

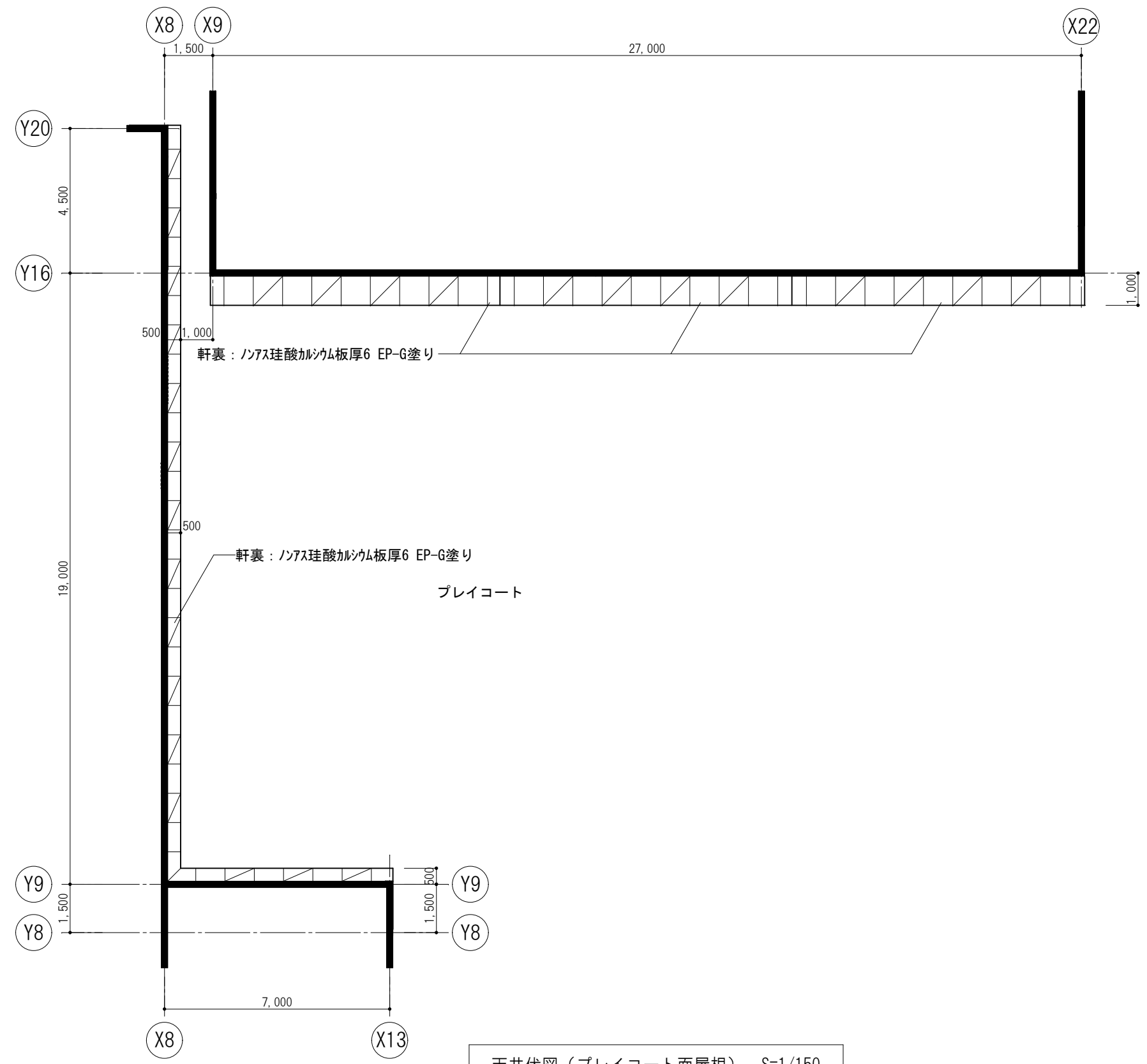
仕上表										壁下地										・W(数字)-a: 横胴縁下地 GB-Rt15.0を示す										・W(数字)-b: 横胴縁下地を示す										・W(数字)-c: 横胴縁下地 縦胴縁+GB-Rt15.0										・W(数字)-d: 軽量鉄骨下地+GB-R t=15.0										※名称・別は別途工事（本工事外）を示す										※点線は設備工事（本工事含）を示す ※木部見え掛りは全て桧 2UC塗とする。										※特記なき限り見切り材は30x30とする（引き立て寸法）																			
W1	ビニルクロス貼					W5	シ合板t=5.5貼 WP塗					W8	ｶﾞｰGL鋼板貼					UW1	ビニルクロス貼（色違）					H1	ビニル巾木 H=60					工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号																																																															
W2	FKt=6 EP-G塗					W6	シ合板t=9.0貼 WP塗					W9	粘着剤付き化粧ﾌｲﾙﾑ貼					UW2	化粧FKt=6					H2	桧25×65 2UC																																																																										
W3	化粧FKt=6					W7	有孔シ合板t=5.5貼 WP塗					W10	窯業系ｼｬｲﾅﾝｸﾞ t=14(NM-2390)					UW3	ｼ合板t=5.5貼 WP塗					H3	雑巾摺り																																																																										
W4	珪藻土左官仕上材塗						ｸﾞﾗｽｸﾛｽ貼 t=50(ｸﾞﾚｰ)											UW4	ｶﾞｰGL鋼板貼					H4	床材立上げ H=100(専用見切)材共																																																																										
																																																												展開図（19）										縮尺 S=1/50										開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号										A-59									



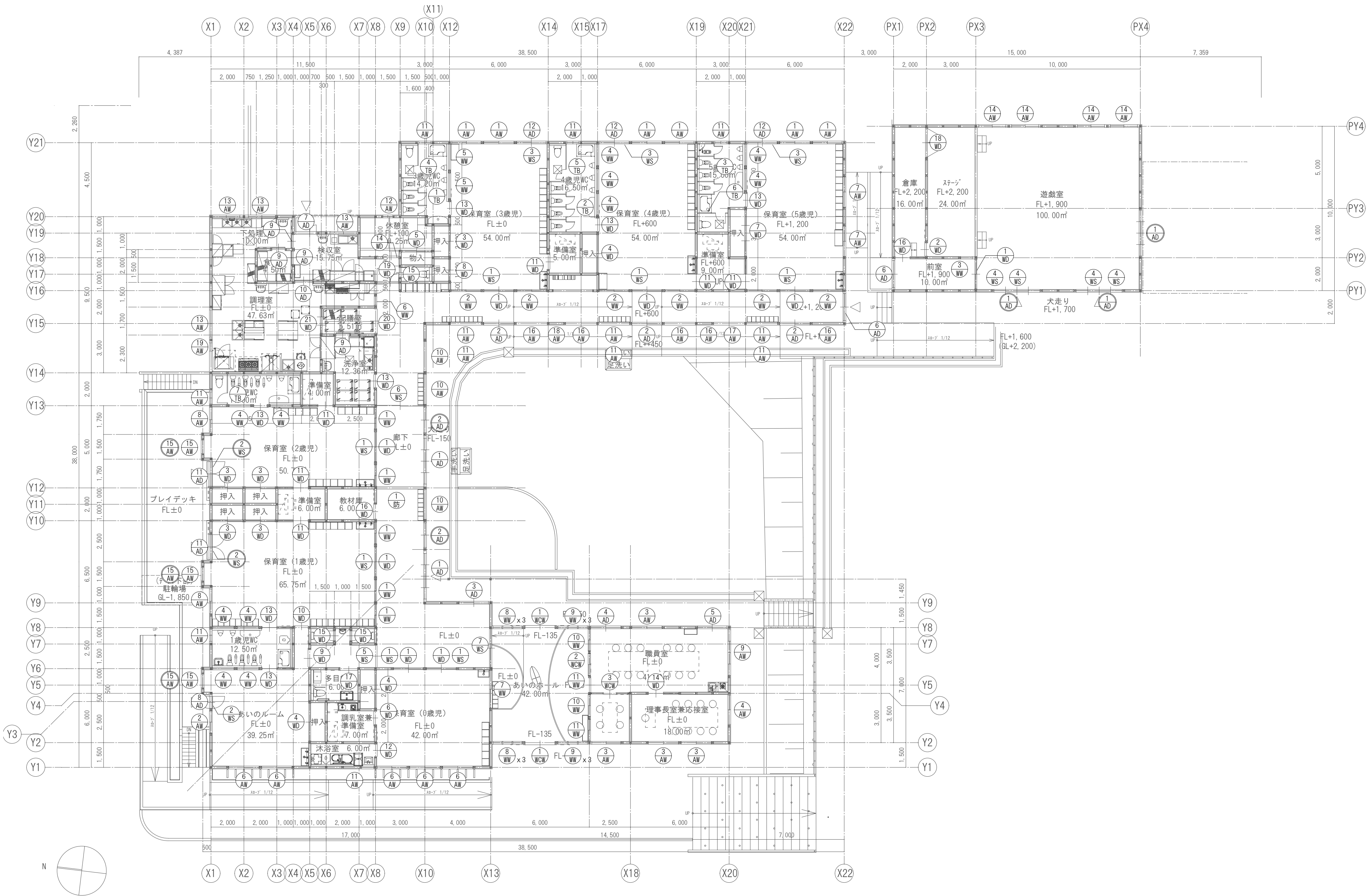
天井伏図（プレイコート面下屋） S=1/150

■天井仕上記号表		
仕上	C1	ビニルクロス貼り
	C2	FKt=6 EP-G塗り
	C3	化粧石膏ボードt=9.5
	C4	化粧石膏ボード(a)t=9.5
	C5	岩綿吸音板(直貼り工法)t=12貼
	C6	コンクリート打放し
	C7	ケイカル板t=6張り EP-G塗り
	C8	
	C9	その他
下地	a	W下地 GB-R t=9.5
	b	W下地
	c	W下地 GB-R t=15
	d	軽量天井下地

- ☒ : 天井点検口 (7#製) 450×450 計34箇所
- ▼A型トラス : A型トラス見出し部分を示す。
- ▼登り梁 : 登り梁見出し部分を示す。
- ※特記なき限り、天井下地は、
- 天井仕上 C1 → a
- 天井仕上 C2～C5 → b とする。
- : カテナゴックス 桧上小厚30・2-UC
- ▨ : ノアス珪酸カルシウム板（有孔）を示す。



天井伏図（プレイコート面屋根） S=1/150



工事名称 図面名称	あいの保育園改築工事 建具配置図	Draw	Check	作成年月日	<div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 A-61
				縮尺 S=1/150		

記号	場所	1	廊下	引違い窓(フラスタイプ)	1	遊戯室	引違い窓(フラスタイプ)	2	廊下	引違い窓(フラスタイプ)	2	廊下	引違い窓(フラスタイプ)	3	廊下	引違い窓(フラスタイプ)	4	職員室	引違い窓(フラスタイプ)	5	職員室	引違い窓(フラスタイプ)	建具符号		
数量	見込	AD	2	86	AD	3	86	AD	3	86	AD	2	86	AD	1	86	AD	1	86	AD	1	86	S D 鋼製戸 L S D 鋼製軽量戸 A D アルミ戸 W D 木製戸 F ふすま 障子 T B トイレブース P T パーティション S S シャッター O S オートスライダース		
形状	寸法																								
		材質				7㎜樹脂複合サッシ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ			
		塗装				標準色				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ			
		金物				クレセント、指はさみ防止用ストップ、PP網戸中枝有、換気框、付属金物一式				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ			
		硝子				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ			
備考				E1グレードⅡNEO 同等品				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ				AD-1と同じ					
記号	場所	6	廊下、前室(遊戯室)	引違い窓(フラスタイプ)	7	検収室	親子開き戸	8	あいのルーム	片開き戸+FIX	9	下処理室・食品庫・配膳室	引込み戸	10	検収室	引込み戸	11	保育室(1,2歳児)	全開放引込み戸	12	保育室(3,4,5歳児)	段窓(引違い+外倒し)			
数量	見込	AD	2	86	AD	1	77	AD	1	86	AD	4	70	AD	1	70	AD	2	202	AD	3	86			
形状	寸法																								
		材質				7㎜樹脂複合サッシ				7㎜ミニウムサッシ				7㎜ミニウム				7㎜樹脂複合サッシ				7㎜樹脂複合サッシ			
		塗装				標準色				標準色				標準色				標準色				標準色			
		金物				引違いシングル錠、指はさみ防止用ストップ、引手、召合せ錠、スリルス下枠、PP網戸中枝有、換気框、付属金物一式				ブッシュ錠(パタタイプ)、ドアクローザー、丁番、シングル・サムターンユニット、本締り錠、レバーハンドル、丁番				引手、付属金物一式				戸先隠し錠、下枠フラット形状				PP網戸、付属金物一式			
		硝子				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。衝突防止用シールド40×40			
備考				E1グレードⅡNEO 土間引戸 同等品				店舗用 7TD 同等品				E1グレードⅡNEO 同等品				鉄骨外付用				ライドスライディング 同等品					
記号	場所	1	保育室(3,4,5歳児)	段窓(引違い+外倒し)	2	あいのルーム	引違い窓	3	理事長室兼応接室、職員室	引違い窓	4	理事長室兼応接室	引違い窓	5	あいのルーム、保育室(0歳児)段窓(引違い+FIX)	6	保育室(0歳児)、あいのルーム	段窓(引違い+FIX)	7	保育室(5歳児)	引違い窓				
数量	見込	AW	6	86	AW	1	86	AW	4	86	AW	1	86	AW	4	86	AW	5	86	AW	2	86			
形状	寸法																								
		材質				7㎜樹脂複合サッシ				7㎜樹脂サッシ				AW-2と同じ				AW-2と同じ				AW-2と同じ			
		塗装				標準色				標準色				AW-2と同じ				AW-2と同じ				AW-2と同じ			
		金物				クレセント、指はさみ防止用ストップ、スライドシャワー、開閉、復帰用引手、PP網戸、換気框、付属金物一式				クレセント、指はさみ防止用ストップ、PP網戸、換気框、付属金物一式				AW-2と同じ				AW-2と同じ				AW-2と同じ			
		硝子				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。				複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。				AW-2と同じ				AW-2と同じ				AW-2と同じ			
備考				E1グレードⅡNEO 同等品				E1グレードⅡNEO 同等品				AW-2と同じ				AW-2と同じ				AW-2と同じ					

ガラス略号

FL	フロートガラス	T	強化ガラス(学校用)
F	型板ガラス	TF	型板強化ガラス
NF	網入り型板ガラス	HFL	熱線吸収フロート板ガラス
NP	網入り磨き板ガラス	HPW	熱線吸収網入り磨き板ガラス
L	合わせガラス	AP	アクリル板
W	網入り透明		

金属製建具工事特記

- ・強度S-5、気密性A-4、水密性W-5
- キララについては、施工図作成時に協議とする。
- ・抗震樹脂製ハンドルL=475：ユニオン2102-53-081同等品
- レバーハンドル：MILWAUKEEハンドルⅡ57型 同等品
- クレセント、埋込ハンドルガラスの取付高さはFL+800～1500とする。
- 排煙窓(外倒し、突出し)はすべて45°以上の開放とする。
- 電気錠・自動ドアは、停電時手動開放できる構造とする。
- 掃出し窓に網戸を設ける場合は、中枝ありとする。

木製建具工事特記

- 使用木材は県内産材とし、小節程度とする
- 使用板材は県内産材とし、小節程度とする
- ・フェブラー錠錠 H=1400取付位置とする
- 特記なき限り内部片開き戸は770カットとする。
- 引手：UNION TH-2002-301 L=120 同等品

詳細については、施工図にて係員の承認を得ることとする

- 合板、集成材、造作用ボンド、塗装、及び表面仕上材はF★★★★認定品もしくは同等品以上とする。

・フラッシュ詳細

化粧線：検

ガラス工事特記

- 硝子は(Low-e以外)全て学校用強化硝子とする。
- ・Low-eは外側部とする。

記号	場所	8	保育室(1,2歳児室)	引違い窓	9	職員室	引違い窓(4枚建て)	10	廊下	FIX窓	11	WC(1,2,3,4,5歳児)、沐浴室、廊下	すべり出し窓	12	休憩室	段窓(すべり出し+FIX)	13	調理室、下処理室、検収室	外倒し窓	14	遊戲室	段窓(引違い+外倒し窓)	建具符号		
数量	見込	8	2	86	9	1	86	10	3	86	11	12	86	12	1	86	13	4	86	14	4	86	S D 鋼製戸 L S D 鋼製軽量戸 A D アルミ戸 W D 木製戸 F ふすま S 障子 T B トレブース P T パーティション S S シャッター O S オープンシェイダー	SW 鋼製窓 7A窓 WW 木製窓	
形状	寸法																						ガラス略号 FL フローラスタ T 強化ガラス(学校用) F 型板ガラス T F 型板強化ガラス NF 網入り型板ガラス H F L 熱線吸収フロー板ガラス NP 網入り磨き板ガラス H P W熱線吸収網入り磨きガラス L 合わせガラス A P 7Aガラス W 網入り透明		
		金属製建具工事特記 ・ 強度S-5、気密性A-4、水密性W-5 ○ トーゲラについては、施工図作成時に協議とする。 ・ 抗菌樹脂製ハンドルL=475：エボH2102-53-081同等品 ○ レバーハンドル：MILWAUKEEハンドル 57型 同等品 ○ クレット、埋込ハンドルガラスの取付高さはFL+800～1500とする。 ○ 排煙窓(外倒し、突出し)はすべて45°以上の開放とする。 ○ 電気錠・自動ドアは、停電時自動開放できる構造とする。 ○ 提出し窓に網戸を設ける場合は、中枝ありとする。																							
		木製建具工事特記 ○ 使用木材は県内産材とし、小節程度とする ○ 使用板材は県内産材とし、上小節程度とする ・ ユーアラ線錠 H=1400取付位置とする ○ 特記なき限り内部片開き戸は7インチカットとする。 ○ 引手：UNION TH-2002-301 L=120 同等品																							
		ガラス工事特記 ○ 硝子は(Low-e以外)全て学校用強化硝子とする。 ・ Low-eは外部側とする。																							
		ガラス詳細 ・ フラッシュ詳細 																							
材質	7A樹脂複合サッシ	7A樹脂複合サッシ																							
塗装	標準色	標準色																							
金物	クレット、指はさみ防止用スリッパ、PP網戸、換気框、付属金物一式	(引違い部)クレット、指はさみ防止用スリッパ、PP網戸、換気框																							
硝子	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t) ※学校用強化ガラスとする。	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t)																							
備考	イトーソー II NEO 同等品	イトーソー II NEO 同等品																							
記号	場所	15	あいのふ、保育室(1,2歳児)	連窓(台形FIX1)、連窓(外倒し窓2)		15	あいのふ、保育室(1,2歳児)	連窓(FIX)		16	廊下	FIX窓		17	廊下	FIX窓		18	廊下	FIX窓		19	調理室	外倒し窓	
数量	見込	3	86	3	86	5	86	1	86	1	86	1	86	1	86	1	86	1	86	1	86				
形状	寸法																						ガラス外部取合い 水切：7A×t1.0加工 糸110、L=1345x1 外額縁：7A×t1.0加工 糸150+156L=8700 幕板：7A×t1.0加工糸907ソケット共 L=1300x3		
		7A樹脂複合サッシ																							
		標準色																							
		ワンタッチオペレーター(隠ぺい)x2、ハンドルガラスx2																							
		付属金物一式																							
硝子	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t)	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t)																							
備考	イトーソー II NEO 同等品	イトーソー II NEO 同等品																							
記号	場所	1	3歳児WC	トレブース		2	4歳児WC	トレブース		3	5歳児WC	トレブース		4	3歳児WC	トレブース									
数量	見込	1	40	1	40	1	40	1	40	1	40	1	40												
形状	寸法																						ガラス詳細 ・ フラッシュ詳細 		
		7A樹脂複合サッシ																							
		標準色																							
		7A7-6E、ニューグレイティビシ、表示付ハンドル、オープンストライク、ステンレス巾木、付属金物一式																							
		7A樹脂複合サッシ																							
硝子	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t)	複層ガラス (FL4.0t+Air6.0t+FL4.0t)																							
備考	小松クォーラサニティ TB-YP同等品	小松クォーラ TB-GPR同等品																							

	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 A-63
	図面名称	金属製建具表（2）			縮 尺 S=1/50		

記号	場所	1	保育室(0, 1, 2, 3, 4, 5歳児室)	片引き柵戸	2	あいのM-/保育室(1, 2歳児室)	片開き柵戸/両開き柵戸	3	保育室(3, 4, 5歳児)	片引き柵戸	4	遊戯室	片引き柵戸	5	廊下	片引き柵戸	6	廊下	引違い柵戸	7	あいのホール	引違い柵戸							
数量	見込	WS	7	30	WS		30	WS	3	30	WS	4	30	WS	1	30	WS	1	30	WS	1	30							
形状	寸法																												
		955				600 1,500				940				有効幅 1,150 1,325 75				1,450 2,800				1,200 2,300							
		1,900				1,900				1,900				1,900				1,900				1,900							
		900				900				900				900				900				900							
材質		桧				桧				WS-1と同じ				WS-1と同じ				WS-1と同じ				桧				WS-6と同じ			
塗装		WP塗				WP塗				WS-1と同じ				WS-1と同じ				WS-1と同じ				WP塗				WS-6と同じ			
金物		ステン引手、ワッパ-レ-ル、金物、ガイドレ-ル、ガイド戸車				ステン取手、ステンス丁番吊				WS-1と同じ				WS-1と同じ				WS-1と同じ				ステン引手、ワッパ-レ-ル、金物、ガイドレ-ル、ガイド戸車				WS-6と同じ			
		フェ-ブラ鍍銀、材ブレ-ンツァ-ド-ム、付属金物一式				フェ-ブラ鍍銀、フランス落し、付属金物一式																フェ-ブラ鍍銀、材ブレ-ンツァ-ド-ム、付属金物一式				WS-6と同じ			
硝子																													
備考																													
記号	場所	1	保育室(1, 2歳児室)	引違い窓	2	保育室(3, 4, 5歳児室)	引違い窓	3	ステージ	FIX窓	4	1, 2, 4, 5歳児WC	FIX窓	5	3歳児WC	FIX窓	6	調理室	FIX窓	7	保育室(0歳児)	段窓(引違い+FIX)							
数量	見込	WW	5	30	WW	6	30	WW	1		WW	11		WW	2	30	WW	1	30	WW	1	30							
形状	寸法																												
		1,300				1,800				700				1,300				1,550				550				2,300			
		1,900				1,900				1,900				1,900				1,900				1,900				1,900			
		900				900				900				900				900				900				900			
材質		桧				桧																				桧			
塗装		WP塗				WP塗																				WP塗			
金物		ステン引手、フッパ-レ-ル、戸車				ステン引手、フッパ-レ-ル、戸車、クレ-ト																				ステン引手、フッパ-レ-ル、戸車			
		指詰め防止金物、引戸用ストップ-、クレ-ト、付属金物一式				指詰め防止金具、引戸用ストップ-、付属金物一式																				指詰め防止金物、引戸用ストップ-、クレ-ト、付属金物一式			
硝子		T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)			
備考																													
記号	場所	8	あいのホール	FIX窓	9	あいのホール	FIX窓	10	あいのホール	段窓(引違い+FIX)	11	あいのホール	段窓(引違い+FIX)	1	あいのホール	両引き戸	2	あいのホール	段窓(片引き戸+FIX)	3	職員室	連窓(片引き戸+FIX)							
数量	見込	WW	6	30	WW	6	30	WW	2	30	WW	2	30	WCW	2	30	WCW	1	30	WCW	1	30							
形状	寸法																												
		546				555				1,315				1,330				1,800				830				350 1,020 860 2,350			
		2,320				2,320				2,320				2,320				2,320				2,320				2,320			
		900				900				900				900				900				900				900			
材質										桧				WW-10と同じ				桧：桧板12t(框板防腐木材透明)				桧				シ-合板フラッシュ戸			
塗装										WP塗				WW-10と同じ				WP塗				WP塗				WP塗			
金物		衝突防止シ-ル				衝突防止シ-ル				ステン引手、フッパ-レ-ル、戸車				WW-10と同じ				ステン握棒、シリ-ル-錠、ワッパ-レ-ル、金物(重量式)				ステン引手、ワッパ-レ-ル、金物、ガイドレ-ル、ガイド戸車				衝突防止シ-ル、付属金物一式			
										指詰め防止金物、引戸用ストップ-、クレ-ト、付属金物一式				WW-10と同じ				ガイドレ-ル、ガイド戸車、付属金物一式				衝突防止シ-ル、付属金物一式				衝突防止シ-ル、付属金物一式			
硝子		T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				WW-10と同じ				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)				T 4. 0t (飛散防止フィルム貼)			
備考																													

建具符号		
S D	鋼製戸	SW 鋼製窓
L S D	鋼製軽量戸	
A D	アルミ戸	A W 7&窓
W D	木製戸	W W 木製窓
F	ふすま	
S	障子	
T B	トイレ-ス	
P T	パ-ティション	
S S	シャ-ター	
O S	オー-スライダ-	

ガラス略号

F L	フロ-ト-ラス	T	強化-ラス(学校用)
F	型板-ラス	T F	型板強化-ラス
N F	網入り型板-ラス	H F L	熱線吸収フロ-ト板-ラス
N P	網入り磨き板-ラス	H P W	熱線吸収網入り磨き板-ラス
L	合わせ-ラス	A P	7&パ-レ-ル
W	網入り透明		

金属製建具工事特記
・ 強度S-5、気密性A-4、水密性W-5
○ 十-フ-ラについては、施工図作成時に協議とする。
・ 抗菌樹脂製パ-ド L=475：ユニ-ハ2102-53-081同等品
○ レ-ハンド-ル：M I W Aレ-ハンド-ル 57型 同等品
○ クレ-ト、埋込パ-ド、-ラスの取付高さはFL+800～1500とする。
○ 排煙窓(外側し、突出し)はすべて45°以上の開放とする。
○ 電気錠・自動ドアは、停電時手動開放できる構造とする。
○ 押出し窓に網戸を設ける場合は、中棧ありとする。

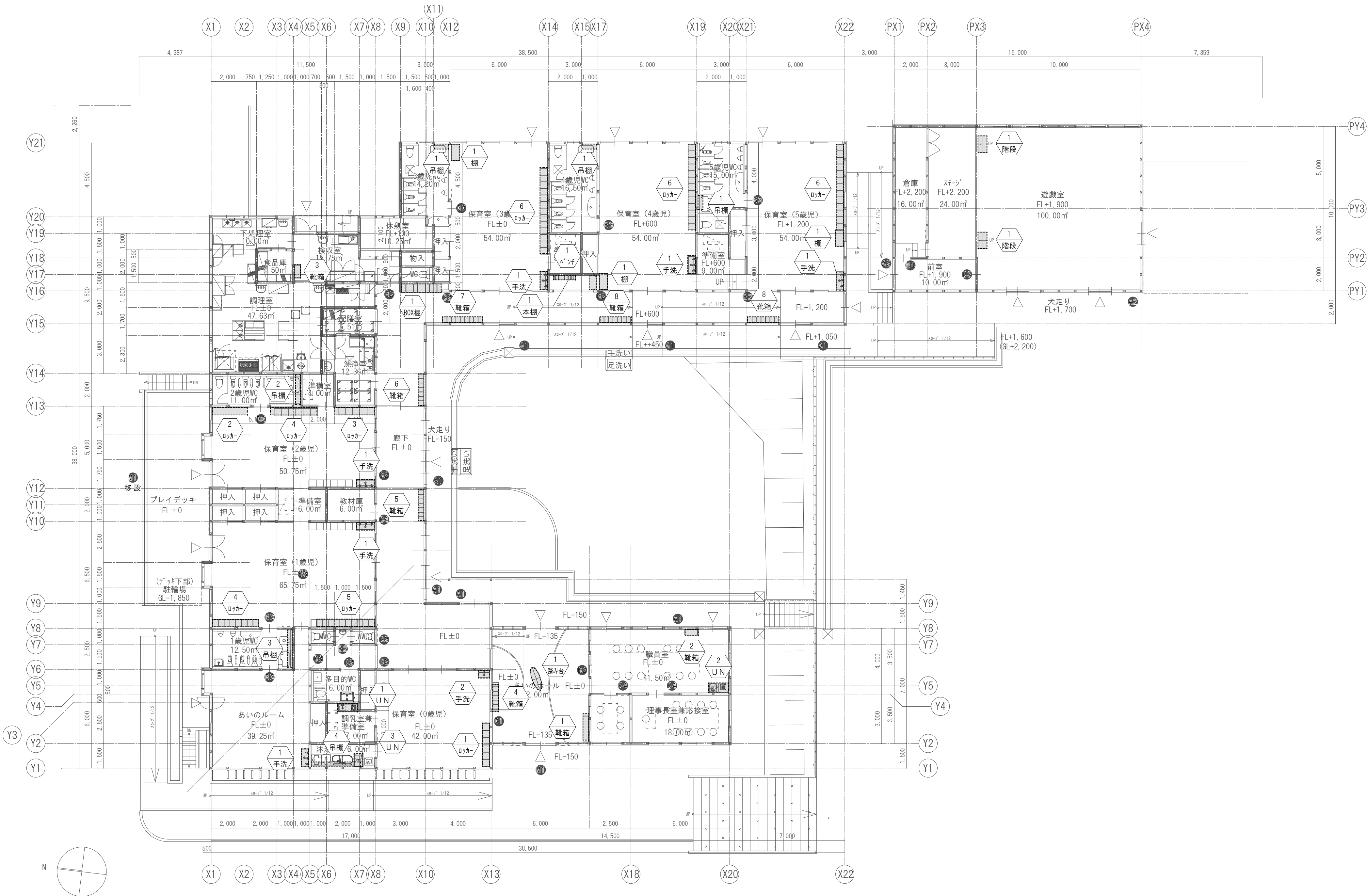
木製建具工事特記
○ 使用木材は県内産材とし、小節程度とする
○ 使用板材は県内産材とし、上小節程度とする
・ フェ-ブラ-鍍銀 H=1400取付位置とする
○ 特記なき限り内部片開き戸は77-カ-ットとする。
○ 引手：UNION TH-2002-301 L=120 同等品

○ 詳細については、施工図にて係員の承認を得ることとする
○ 合板、集成材、造作用ボ-ド、塗装、及び表面仕上材はF★★★★認定品もしくは同等品以上とする。

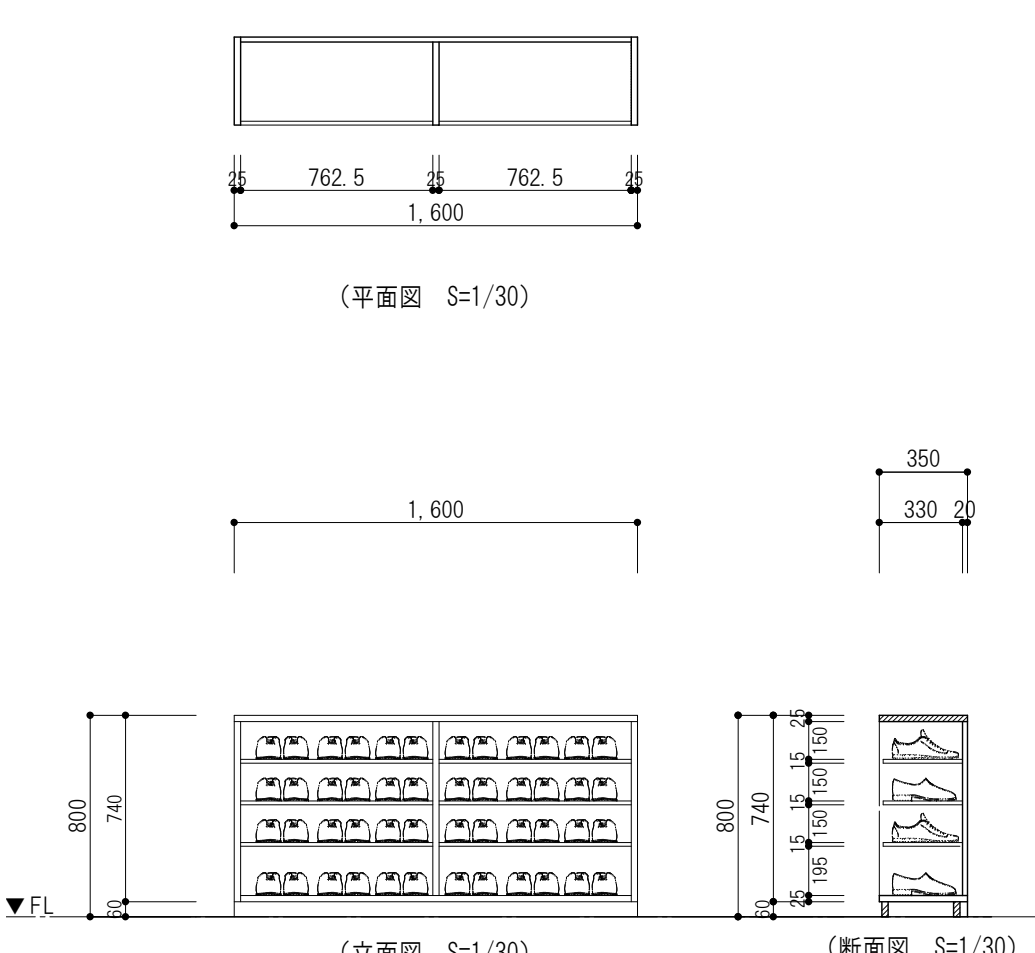
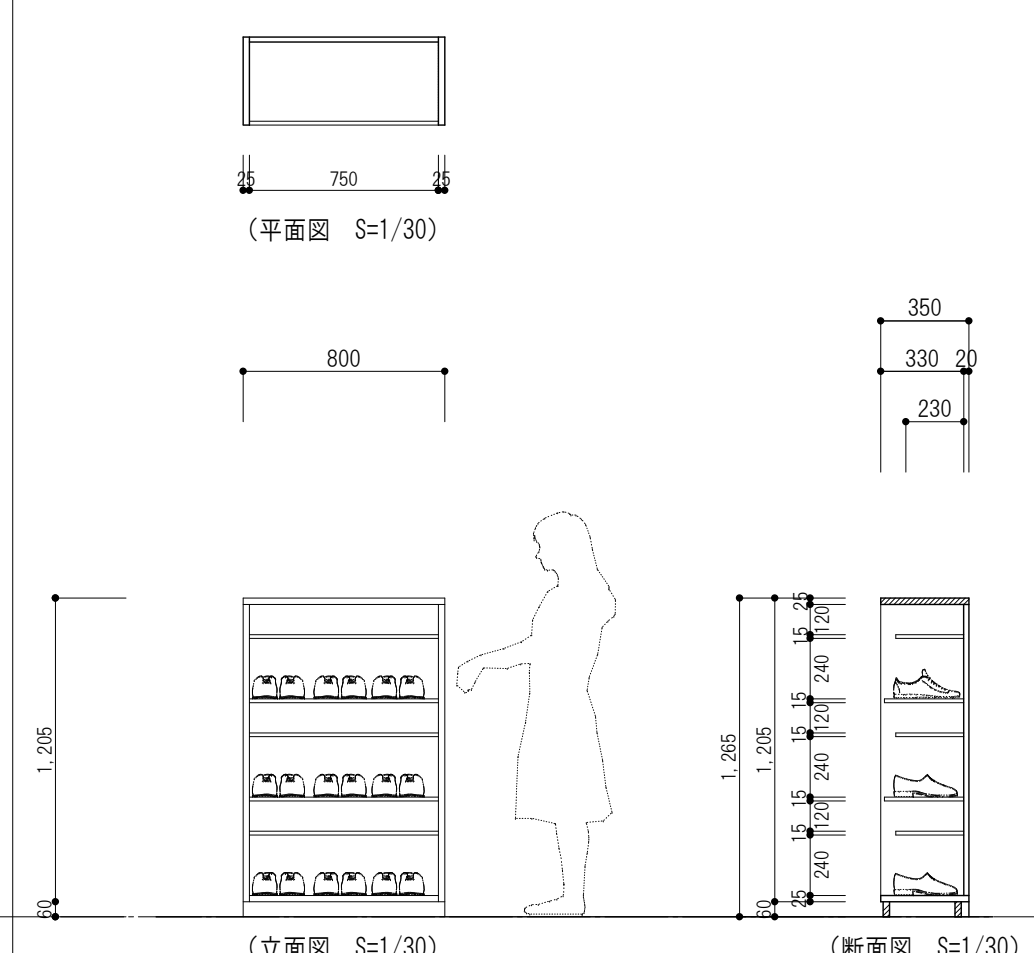
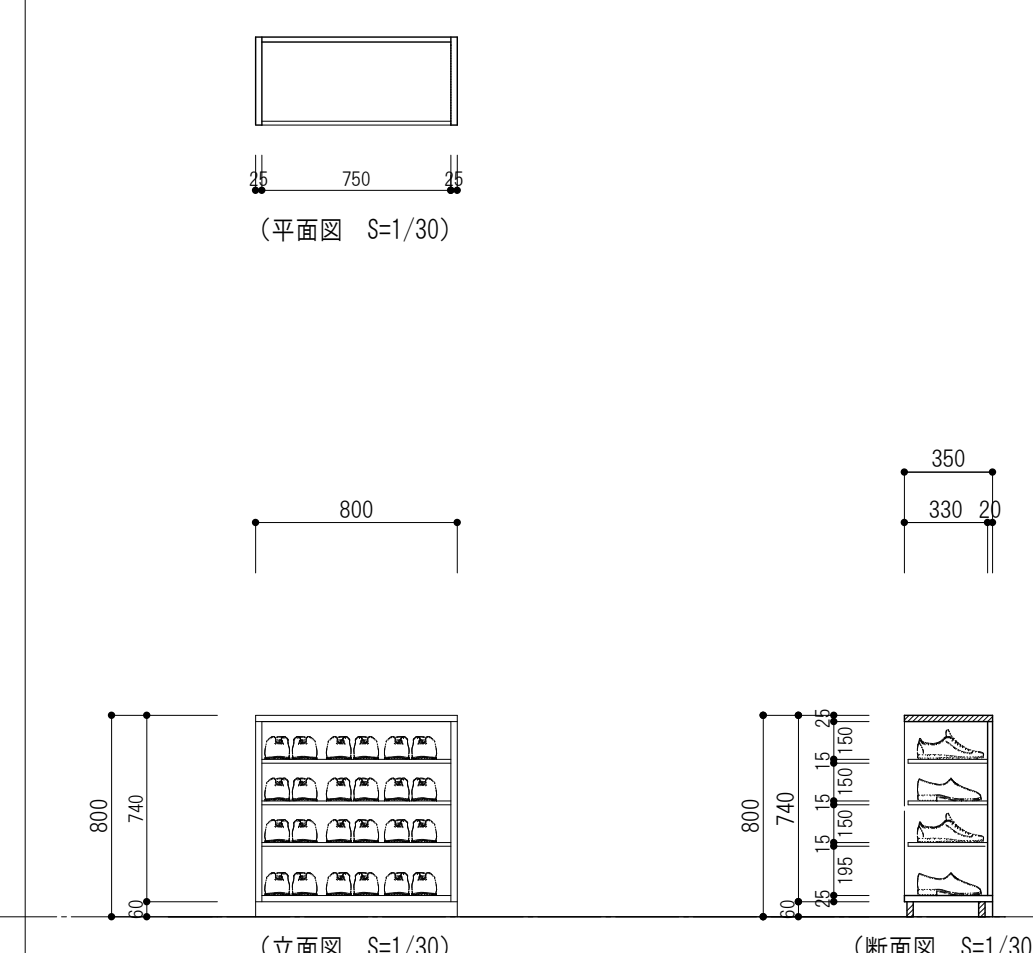
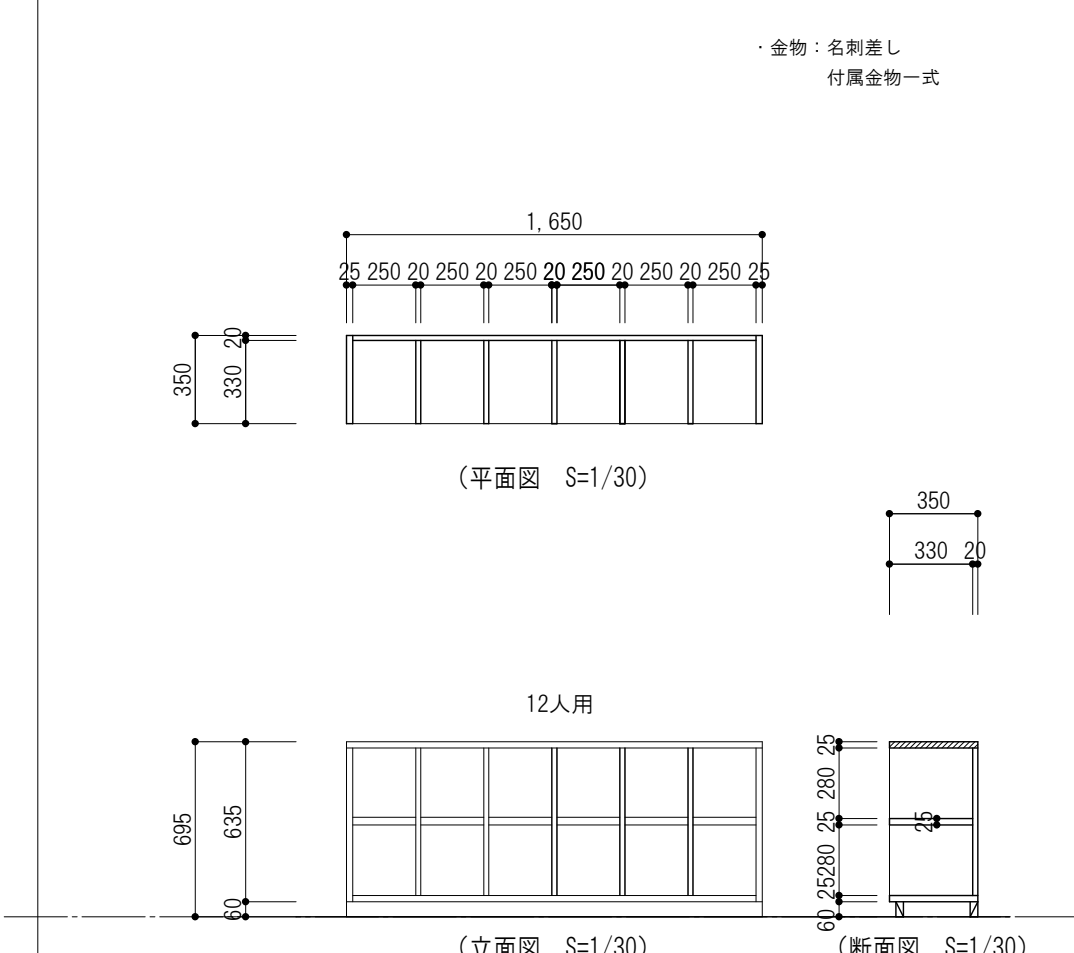
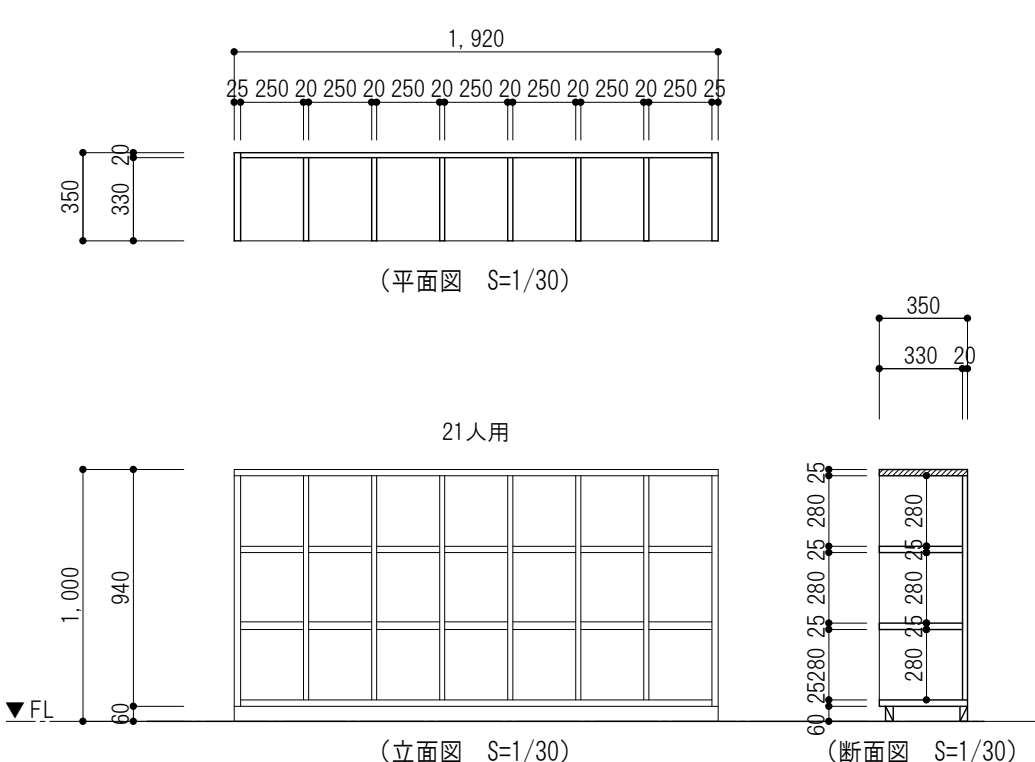
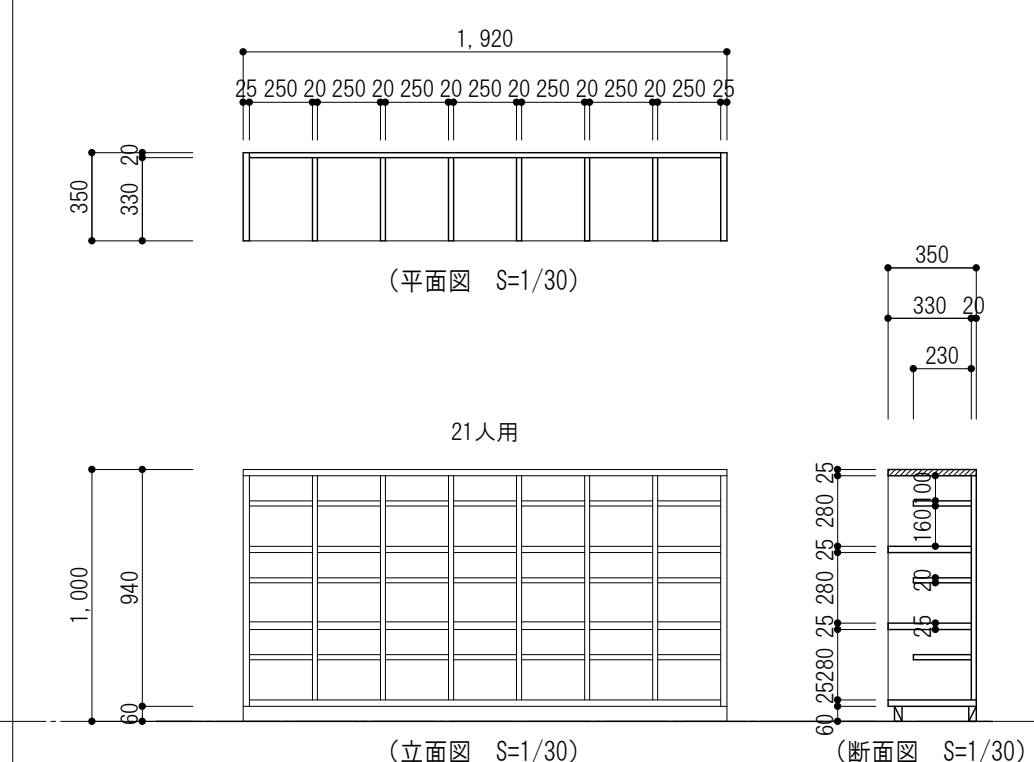
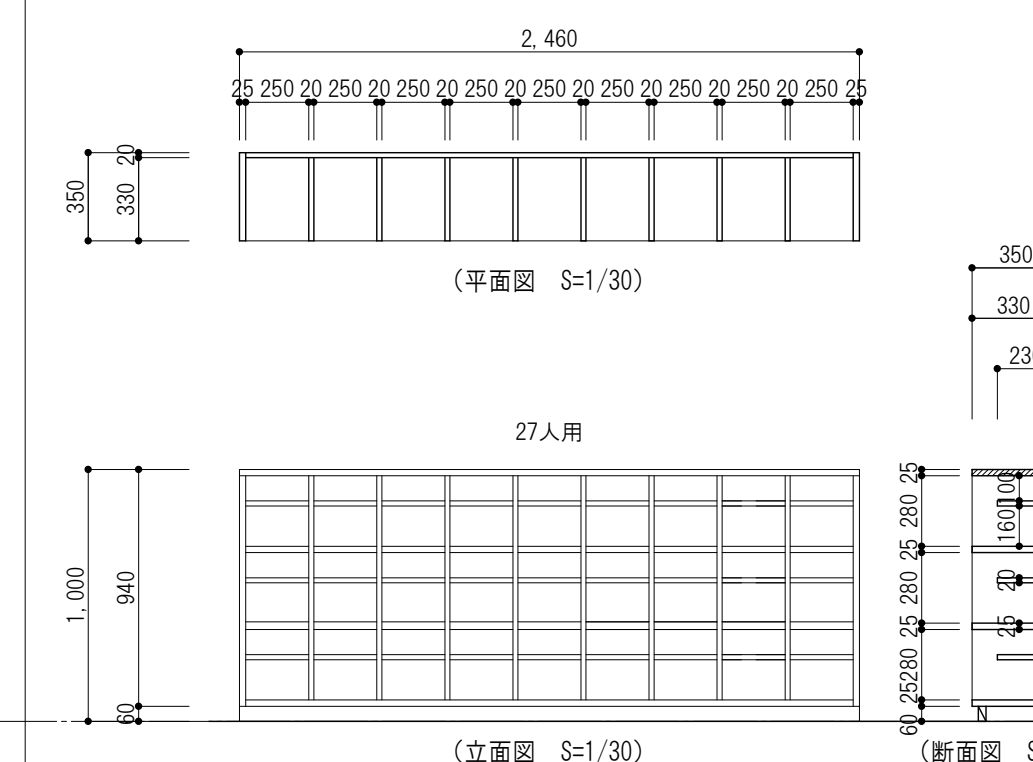
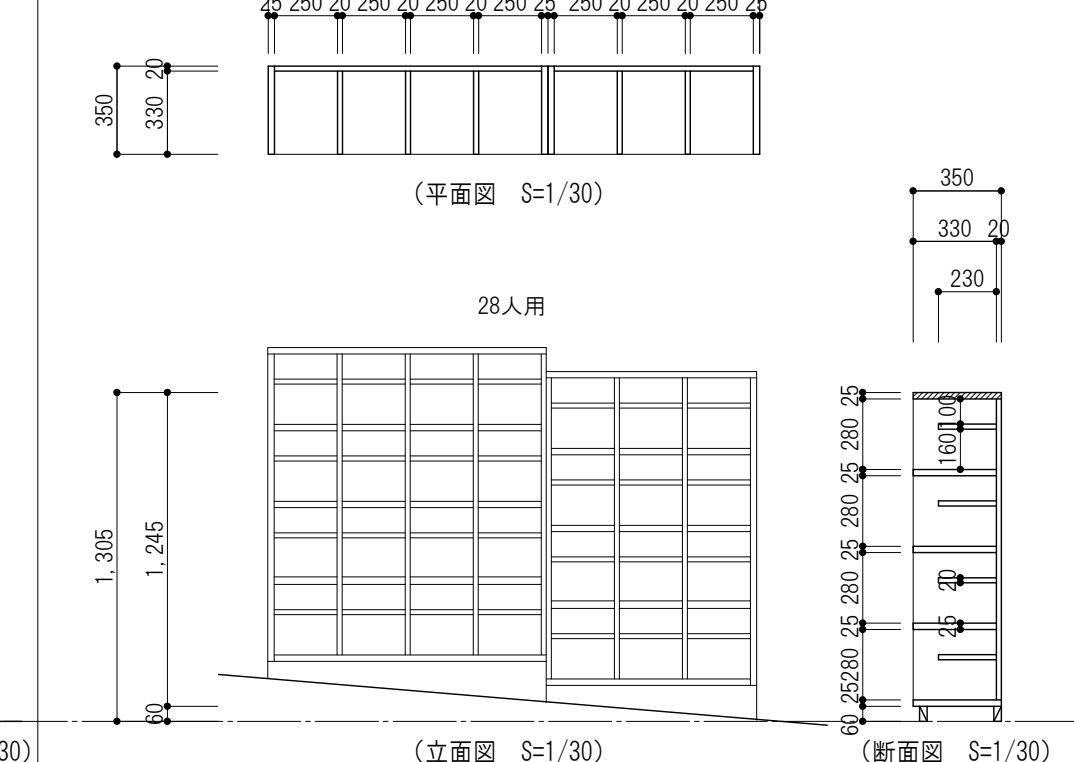
・ フラッシュ戸詳細
化-能線：桧
80 80 80

ガラス工事特記
○ 硝子は(Low-e以外)全て学校用強化硝子とする。
・ Low-eは外部側とする。

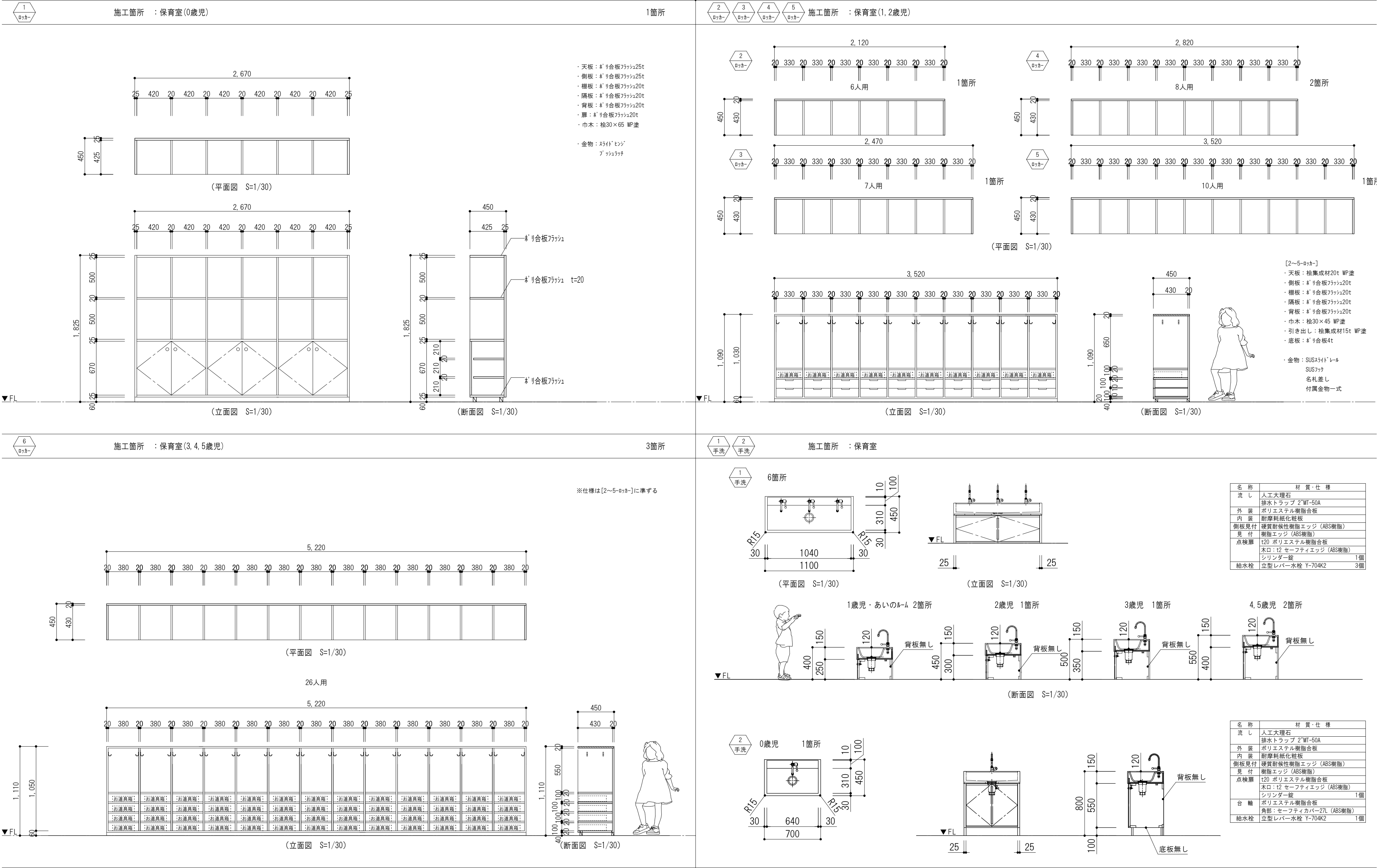
	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦</div> 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称	木製建具表 (2)			縮 尺 S=1/50		




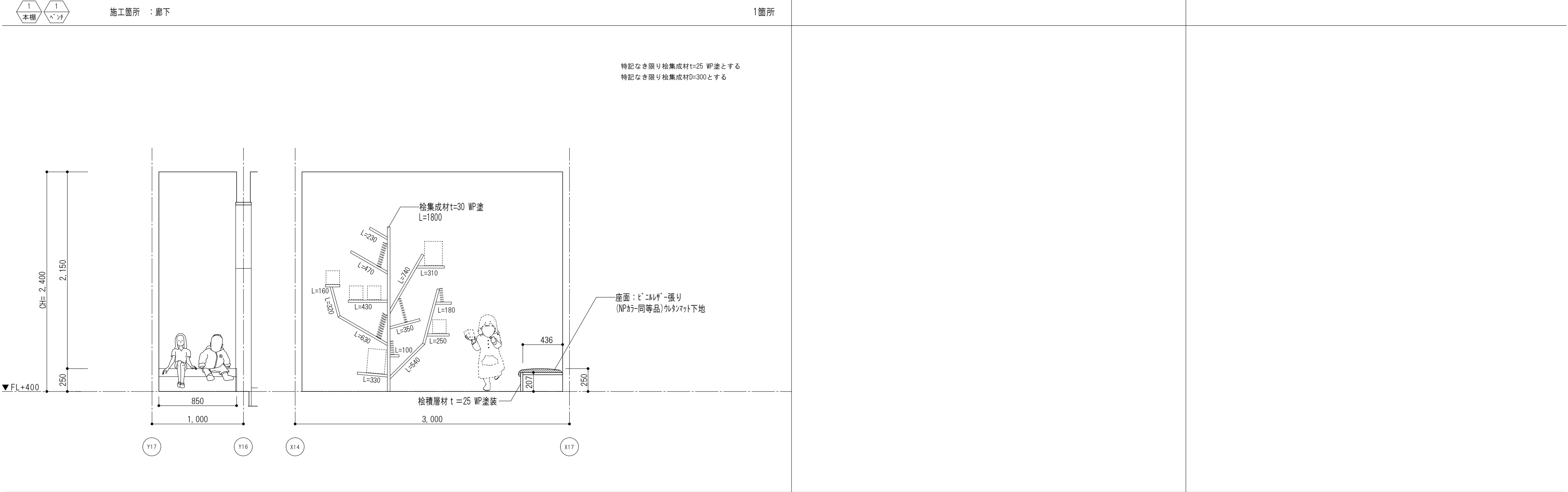
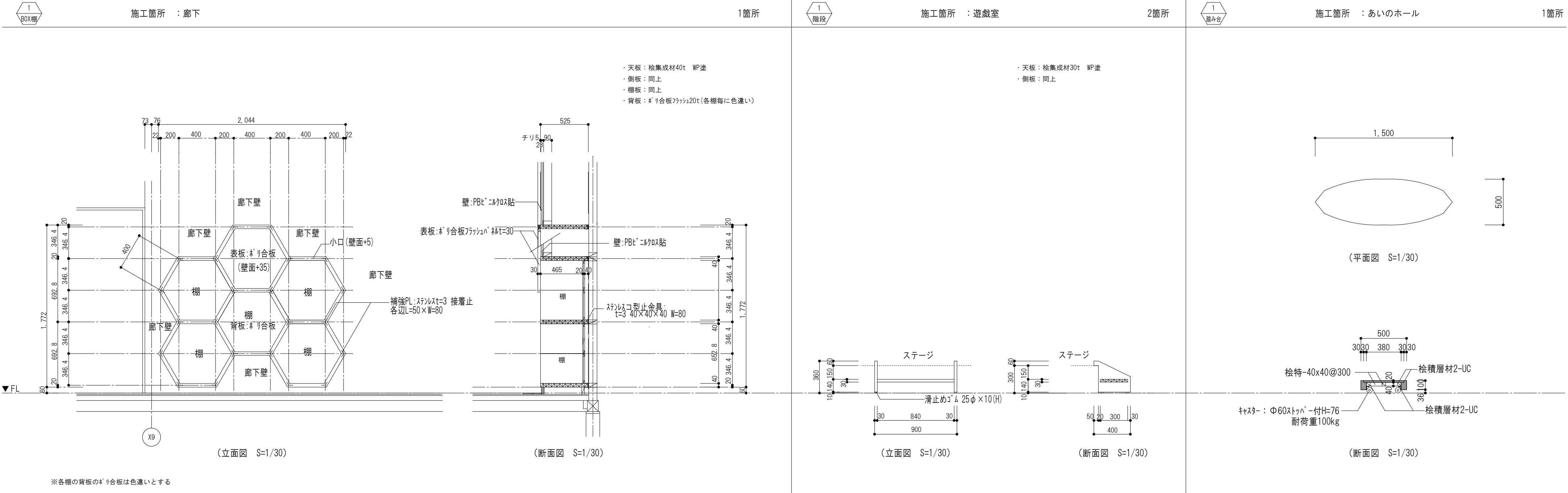
工事名称 あいの保育園改築工事	図面名称 家具・サイン配置図	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-68
				縮尺 S=1/150		

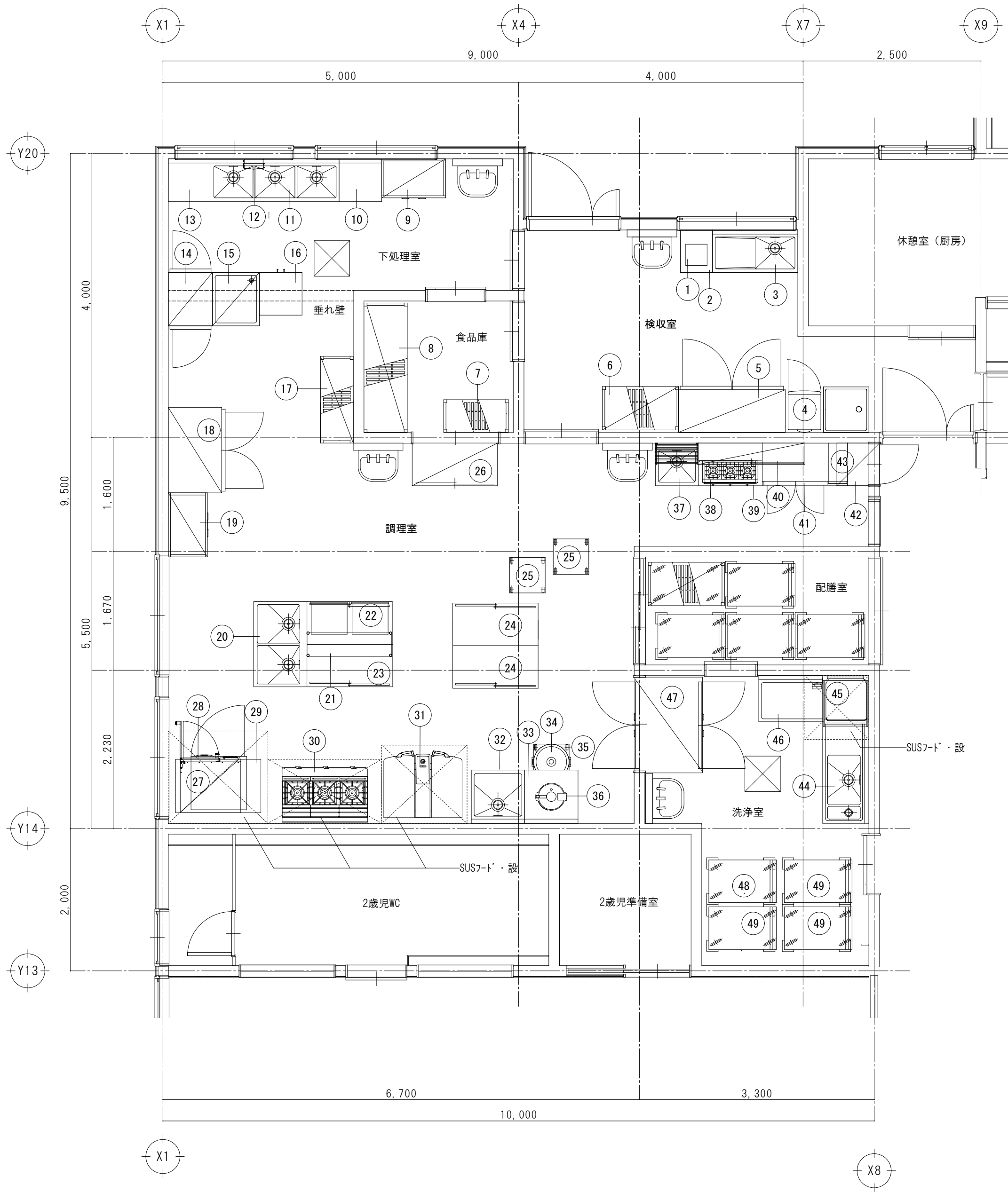
<div>1靴箱</div>	施工箇所　：あいのホール	1箇所	<div>[1-靴箱]</div> <div>・天板：桧集成材25t　WP塗</div> <div>・側板：♯リ合板フッ素25t</div> <div>・棚板：メラミン化粧合板フッ素15t</div> <div>・背板：♯リ合板フッ素20t</div> <div>・巾木：桧30×65　WP塗</div>	※仕様は[1-靴箱]に準ずる	<div>3靴箱</div>	施工箇所　：検収室	1箇所	※仕様は[1-靴箱]に準ずる	<div>4靴箱</div>	施工箇所　：あいのホール	1箇所	<div>[4-靴箱]</div> <div>・天板：桧集成材25t　WP塗</div> <div>・側板：♯リ合板フッ素25t・20t</div> <div>・棚板：メラミン化粧合板フッ素20t</div> <div>・背板：♯リ合板フッ素20t</div> <div>・巾木：桧30×65　WP塗</div> <div>・金物：名刺差し 付属金物一式</div>
 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>									
<div>5靴箱</div>	施工箇所　：廊下(1歳児)	1箇所	※仕様は[4-靴箱]に準ずる	<div>6靴箱</div>	施工箇所　：廊下(2歳児)	1箇所	<div>[6-靴箱]</div> <div>・天板：桧集成材25t　WP塗</div> <div>・側板：♯リ合板フッ素25t・20t</div> <div>・棚板：♯リ合板フッ素25t・20t</div> <div>・背板：♯リ合板フッ素20t</div> <div>・巾木：桧30×65　WP塗</div> <div>・金物：名刺差し 付属金物一式</div>	※仕様は[6-靴箱]に準ずる	<div>7靴箱</div>	施工箇所　：廊下(3歳児)	1箇所	※仕様は[6-靴箱]に準ずる
 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>	 <div>(平面図　S=1/30)</div> <div>(立面図　S=1/30)</div> <div>(断面図　S=1/30)</div>									

	工事名称	あいの保育園改築工事			Draw	Check	作成年月日	<div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者　一級建築士　佐藤八尋　第115410号</div> <div>管理建築士　一級建築士　小松道就　第223530号</div>	図面番号	A-69
	図面名称	家具図 (1)					縮尺 S=1/30			



<div>1 吊棚</div> <div>施工箇所：WC(3歳児, 4歳児, 5歳児保育室)</div> <div>3箇所</div> <div><div><div><div>850</div><div>25</div><div>800</div><div>25</div></div><div><div>300</div><div>280</div><div>20</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>450</div><div>2,100</div><div>1,650</div></div><div><div>▼FL</div></div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>53</div><div>400</div><div>53</div></div><div>(断面図 S=1/30)</div></div><div><div>[1-吊棚]</div><div>・天板：♯リ合板フッジュ25t</div><div>・側板：♯リ合板フッジュ25t・20t</div><div>・棚板：♯リ合板フッジュ20t</div><div>・背板：♯リ合板フッジュ20t</div><div>・金物：SUS♯♯、付属金物一式</div></div></div>	<div>2 吊棚</div> <div>施工箇所：WC(2歳児保育室)</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>1,800</div><div>25</div><div>865</div><div>20</div><div>865</div><div>25</div></div><div><div>300</div><div>280</div><div>20</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>450</div><div>2,100</div><div>1,650</div></div><div><div>▼FL</div></div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div>※仕様は[1-吊棚]に準ずる</div></div></div>	<div>3 吊棚</div> <div>施工箇所：WC(1歳児保育室)</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>2,300</div><div>25</div><div>736.66</div><div>20</div><div>736.66</div><div>20</div><div>736.66</div><div>25</div></div><div><div>300</div><div>280</div><div>20</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>450</div><div>2,100</div><div>1,650</div></div><div><div>▼FL</div></div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div>※仕様は[1-吊棚]に準ずる</div></div></div>	<div>4 吊棚</div> <div>施工箇所：沐浴室</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>3,000</div><div>25</div><div>970</div><div>20</div><div>970</div><div>20</div><div>970</div><div>25</div></div><div><div>300</div><div>280</div><div>20</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>450</div><div>2,100</div><div>1,650</div></div><div><div>▼FL</div></div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div>※仕様は[1-吊棚]に準ずる</div></div></div>
<div>1 棚</div> <div>施工箇所：保育室(3, 4, 5歳児)</div> <div>3箇所</div> <div><div><div><div>990</div><div>20</div><div>950</div><div>20</div></div><div><div>500</div><div>480</div><div>20</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>990</div><div>20</div><div>950</div><div>20</div></div><div><div>560</div><div>540</div><div>20</div></div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>500</div><div>480</div><div>20</div></div><div><div>560</div><div>480</div><div>80</div><div>80</div><div>80</div><div>80</div><div>20</div><div>20</div><div>20</div><div>20</div><div>20</div><div>20</div></div><div>(断面図 S=1/30)</div></div><div><div>・天板：桧集成材20t WP塗</div><div>・側板：♯リ合板フッジュ20t</div><div>・棚板：♯リ合板フッジュ20t</div><div>・背板：♯リ合板フッジュ20t</div><div>・巾木：桧30×45 WP塗</div></div></div>	<div>1 UN</div> <div>施工箇所：調乳室</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>1,200</div></div><div><div>500</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>1,900</div><div>▼FL</div></div><div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div>(断面図 S=1/30)</div></div><div><div>[UN-1] ミニキッチン</div><div>・LIXIL DMK12PEW1NWL 同等品</div></div></div></div>	<div>2 UN</div> <div>施工箇所：休憩室(職員室)</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>1,200</div><div>600</div></div><div>(平面図 S=1/30)</div></div><div><div><div>1,200</div><div>1,200</div><div>製品寸法</div></div><div><div>(立面図 S=1/30)</div></div><div><div>[UN-2] コンパクトキッチン</div><div>・サイズ：1200×600×850H</div><div>・水栓：シングルレバー混合水栓</div><div>・LIXIL ティオ同等品</div></div></div></div>	<div>3 UN</div> <div>施工箇所：沐浴室</div> <div>1箇所</div> <div><div><div><div>おむつ交換台</div><div>・サイズ：W550×D800×H922</div><div>・本体/繊維板(MDF)、クッション材/ウレタンフォーム張り材/合成皮革</div><div>・色：標準色</div><div>・参考品番：エンジエ&Kおむつ交換台単体／C</div></div><div></div></div></div>

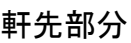




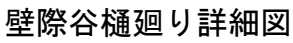
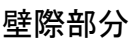
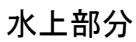
厨房機器配置図 S=1/50

No	器具名	品番	数	寸法				給水径 (A)	給湯径 (A)	排水径 (A)	ガス (LPG)		電 気 (60Hz)			フード	備考
				W (mm)	D (mm)	H (mm)	ﾊﾞｯｸﾞｼｰﾄﾞ D/H				径 (A)	消費量 (KW)	1φ100V (KW)	1φ200V (KW)	3φ200V (KW)		
<検収室>																	
1	作業台		1	450	600	650											
2	デジタル台はかり	ITM-30	1	300	549	511							0.015			表示5g (15kgまで) ～10g (30kg)	
3	一槽水切付シンク		1	1200	600	850	60/150	15	15	50							
4	検食用冷凍庫	VF-K120W	1	460	585	1110							0.13			306×186×94バスケット7個	
5	冷凍冷蔵庫		1	1500	650	1910				40					0.645	定格内容量冷蔵500L・冷凍499L	
6	カムシェリングシェルフ	CPU244272V4N	1	1070	610	1830										4段棚	
<食品庫>																	
7	カムシェリングシェルフ	CPU183672V4N	1	910	460	1830										4段棚	
8	カムシェリングシェルフ	CPU247272V4N	1	1820	610	1830										4段棚	
<下処理室>																	
9	器具消毒保管庫		1	900	550	1900				40					4.6		
10	作業台	SUS304	1	600	600	850	60/150										
11	三槽シンク	SUS304	1	1800	600	850	60/150	15×3	15×3	50×3							
12	電解水生成装置 (壁掛式)	WOX-50WB-R	1	285	145	335		15		40			0.17			リモート仕様	
13	作業台	SUS304	1	600	600	850	60/150										
14	バススルー冷蔵庫		1	625	850	1910				40			0.331				
15	水切キャビネット台		1	660	750	850				40							
⑩	包丁まな板殺菌庫	TNS-60SF	1	600	500	1150				40			0.28			既存品	
<調理室>																	
17	カムシェリングシェルフ	CPU184872V4N	1	1220	460	1830										4段棚	
18	冷凍冷蔵庫		1	1200	800	1910				40			0.639		4.6	冷凍2室492L・冷凍2室492L	
19	器具消毒保管庫		1	900	550	1900				40							
20	二槽シンク		1	1200	750	850		15×2	15×2	50×2							
21	上棚 (1段棚)		1	1200	350	500										自立式	
22	台下戸棚 (引出付)		1	1200	600	850										引出2個、下部引違戸 (中棚なし)	
23	台下戸棚		1	1200	600	850										下部引違戸 (中棚1段)	
24	台下戸棚		2	1200	600	850										下部引違戸 (中棚1段)	
25	移動台		2	500	500	700										下部引違戸 (中棚1段)	
26	戸棚		1	1200	600	1850										上下引違戸 (各中棚1段)	
27	電気スチームコンベクションオープン	ICP61E	1	850	842	808		20		HT50					10.1	要	
28	ラビッドチラー		1	780	750	850				40			0.305			自動調理・自動洗浄機能、湿度調整・6点芯温センサー	
29	スチコン架台		1	1200	780	890										粗熱取用・1/1ホテルパン5段	
30	ガステーブル		1	1200	750	850	25/200				20	46.1				下部ラビッドチラー収納	
31	アイバリオプロ (専用脚部付き架台セット)	iVario Pro2-S	1	1100	938	1080		20		HT50					19.2	要	
32	一槽シンク		1	750	750	850	60/150	15	15	50						大バーナー3口・自動点火式	
33	炊飯台		1	750	750	800	60/150									25L釜×2基 圧力調理機能付き	
34	ガスマイコン炊飯器 (5升用)	RR-S500G2-H	1	566	506	460					9.5	10.20	0.018			最大5升、保温機能付き	
35	炊飯キャスター		1	500	500	300											
36	IHジャー炊飯器	SR-PGC36	1	502	429	410									4.57	最大3升、炊き込み・おかゆモード、保温機能付き	
<アレルギー食>																	
37	一槽シンク		1	600	600	850 (1350)	70/150	15	15	50						上部自立式パイプ棚付き	
38	卓上コンロ	M-823E	1	780	350	164					9.5	10.5				3口	
39	コンロ台		1	900	600	700 (850)											
40	吊戸棚 (壁付)		1	1200	300	900										中棚2段	
41	台下冷蔵庫		1	1200	600	850				40			0.215			定格内容量243L 右機械室	
42	作業台		1	300	600	850											
43	バスボックス (両面式)		1	600	600	900										※開口寸法協議	
<洗浄室>																	
44	ソイルドテーブル		1	1400	650	850	70/150	15×2	15	50×2						ダストシンク付	
45	食器洗浄機	JWE-580UC	1	640	655	1432			15	50×2					5.4	要	
46	クリーンテーブル		1	900	650	850	70/150									処理能力58ラック/時	
47	食器消毒保管庫 (バススルー)		1	1340	950	1900				40					10.5	30kg両面式※開口寸法協議	
<カートプール>																	
48	配膳ワゴン		1	1000	660	700											
④9	配膳ワゴン		3	1000	660	700										既存品	
50	コンテナカート	CPMJ243675V4N	1	910	460	1920										4段棚・移動式	

※㊟は既存品移設を示す。
※SUSﾌｰﾄﾞは設備工事とする。



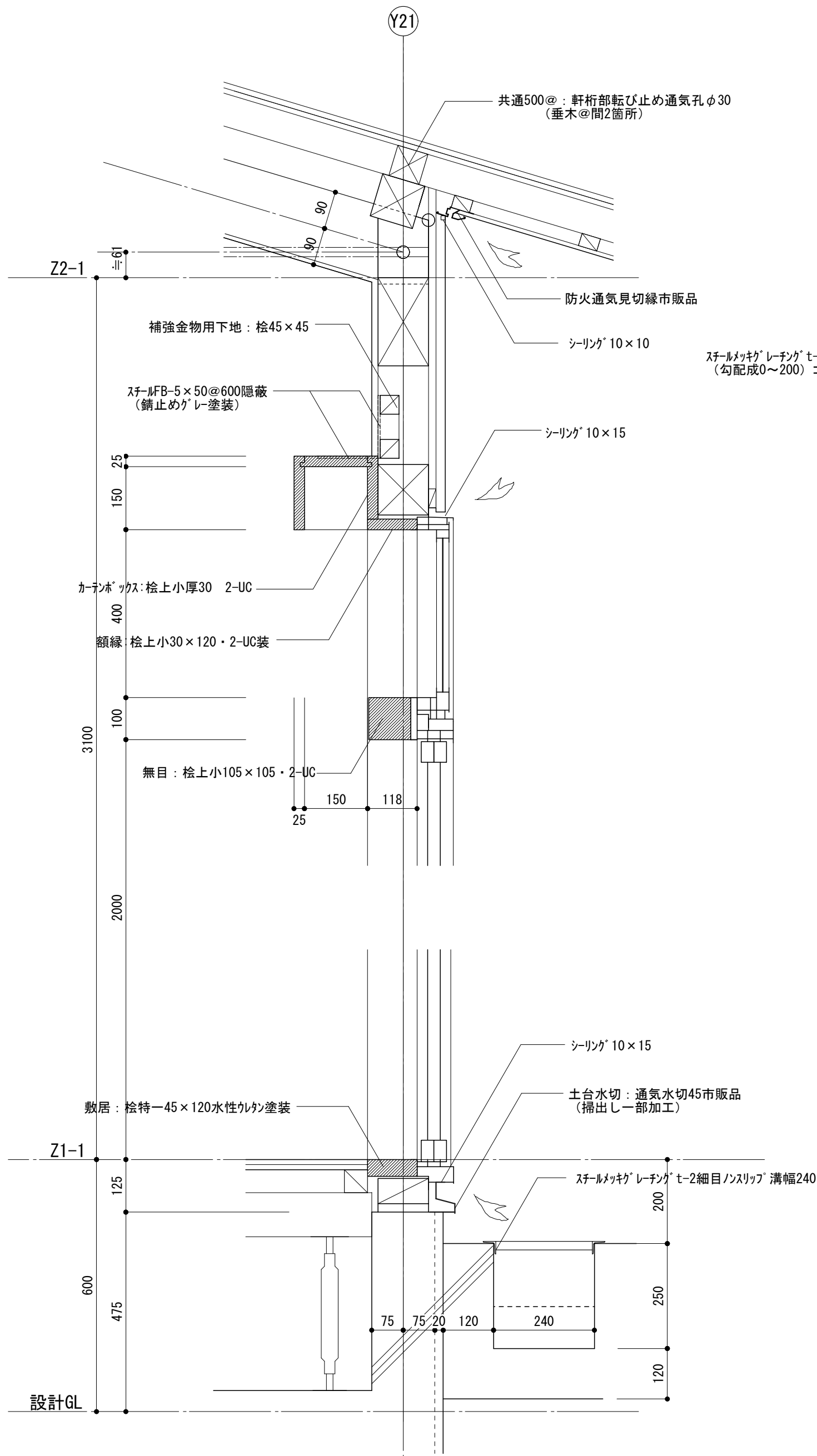
$S=1 : 5$



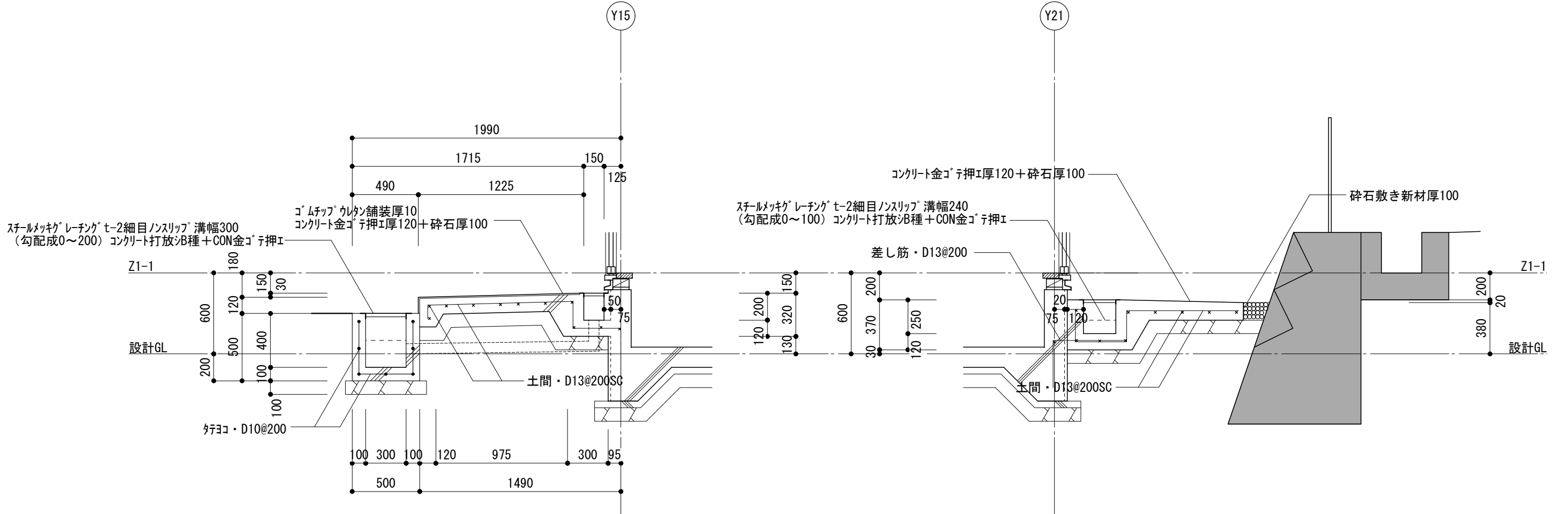
$S=1 : 5$

$$S=1 : 5$$

<div>■ｶｰﾌﾞﾙ鋼板は、3ﾄﾞHyperGﾙｰﾙ同等品とする。</div> <div>■木部は全て安全対策として面取りを施すこと。</div> <div>■防腐木材にｶｰﾌﾞﾙ鋼板0.4を被せる場合は、絶縁下葺（透湿防水ｼｰﾄ、ﾌﾞﾙｰﾍﾞｰﾙなど）を施すこと。</div>	<div>■床 断熱材 ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ 厚50 受材：標準金物共（ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ同等）</div> <div>■壁 ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ 厚100 24kg/m3</div> <div>■天井 ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ 厚100 24kg/m3</div>	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号</div> <div>管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号
		図面名称						

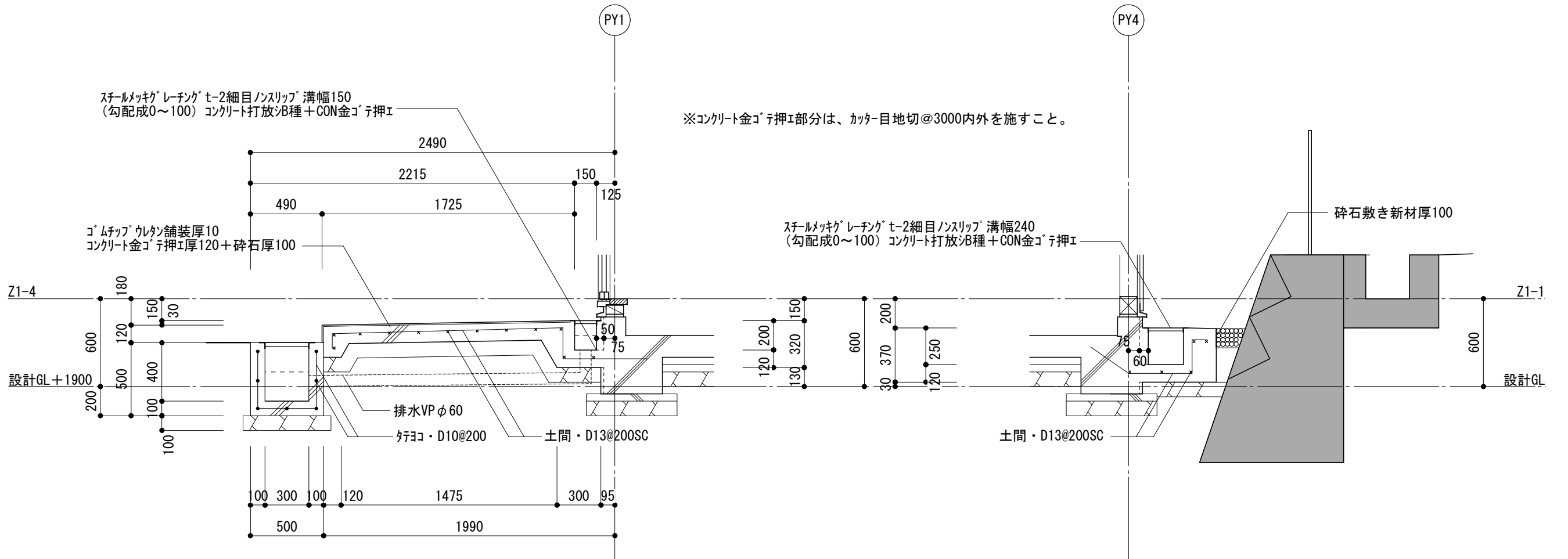


建具廻り詳細図 S=1/10



犬走廻り断面図（保育室廻り） S=1/30

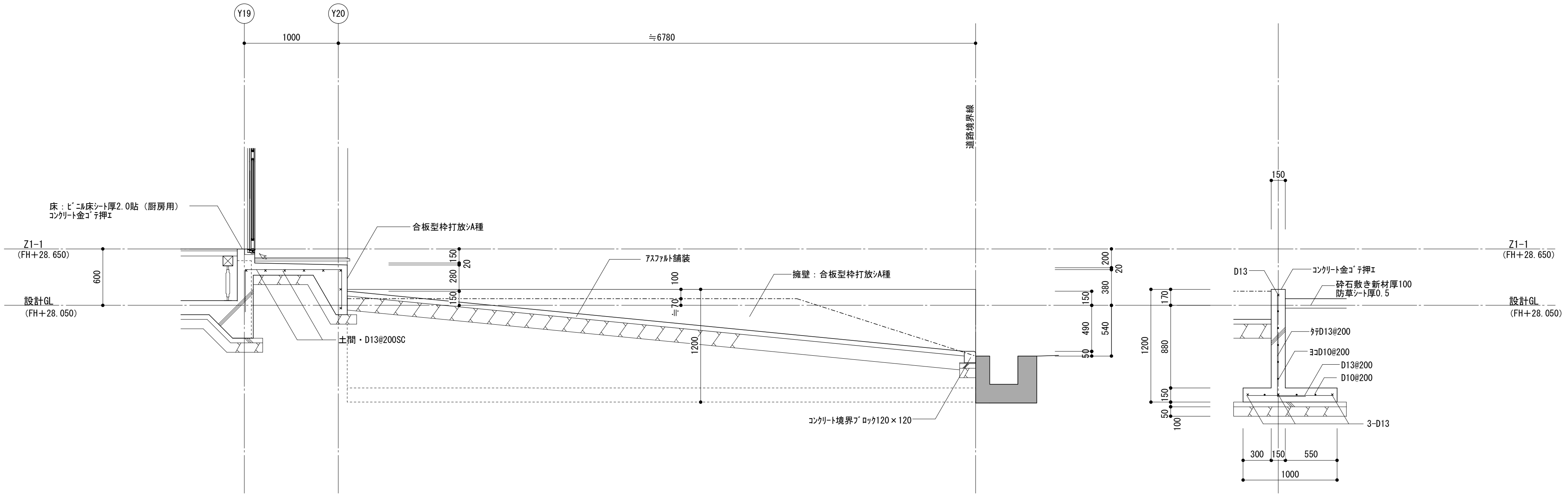
犬走廻り断面図（保育室廻り） S=1/30



犬走廻り断面図（遊戯室廻り） S=1/30

犬走廻り断面図（遊戯室廻り） S=1/30

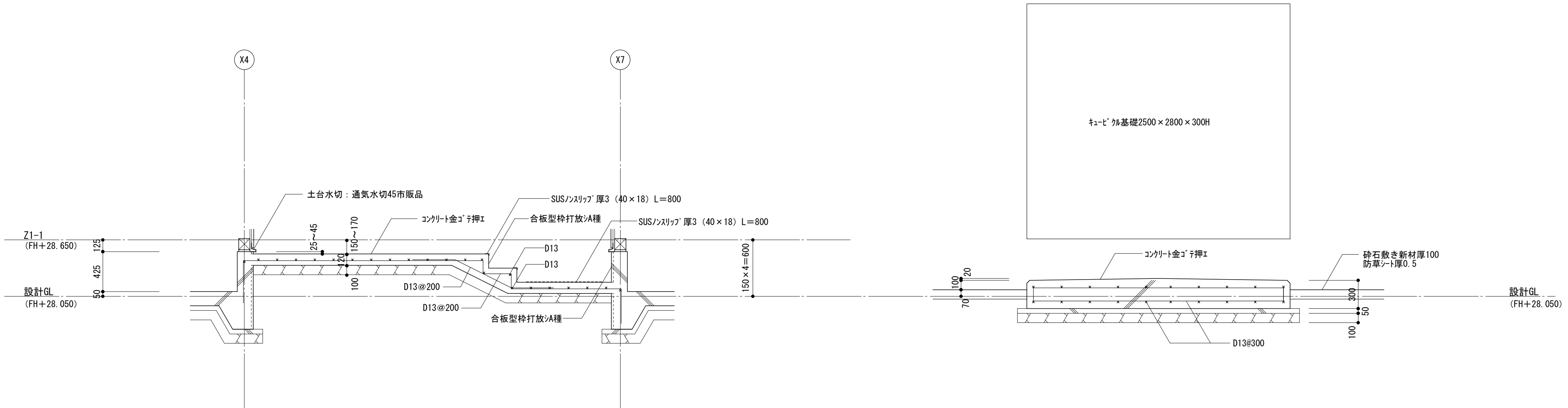
■ 外部廻り防腐注入材は全てAAC（モカボ）無色透明とする	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号	
	図面名称	部分詳細図（2）							縮 尺 S=1/10、30
			開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号						
								A-76	



調理室出入口 S=1/30

駐車場断面図 S=1/30

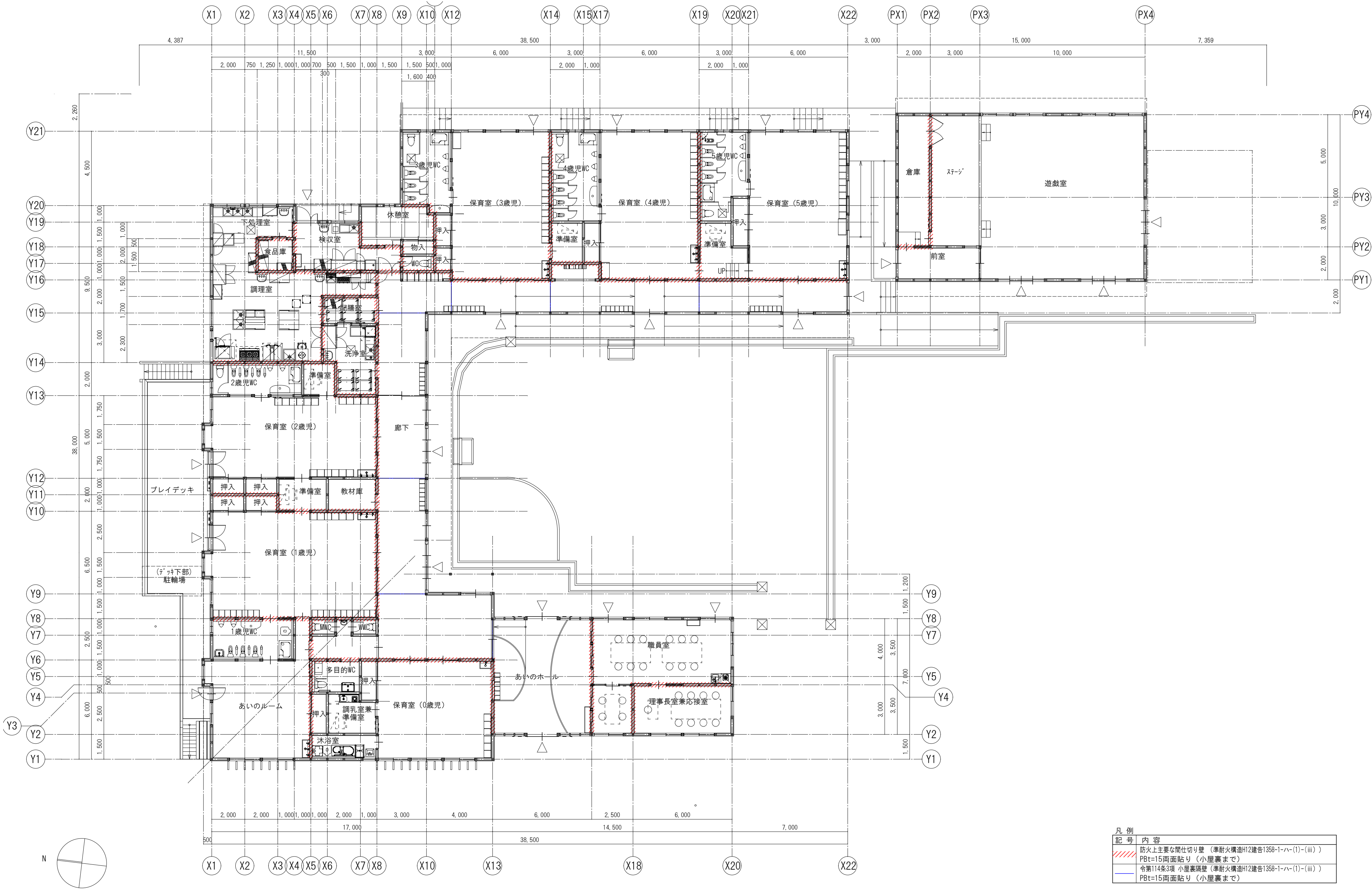
擁壁断面図 S=1/30



調理室出入口 S=1/30

砕石敷き新材厚100 S=1/30

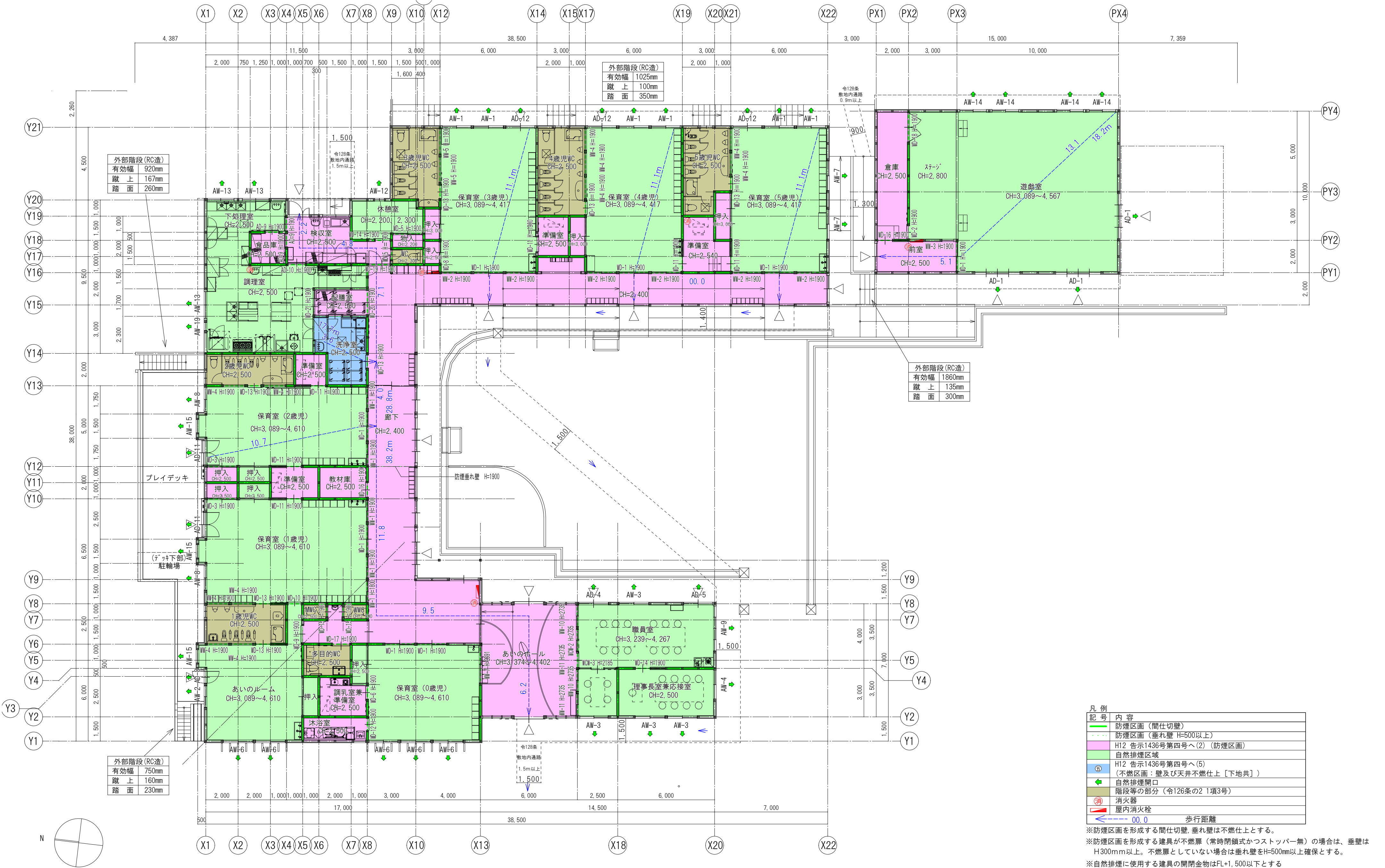
工事名称 あいの保育園改築工事	図面名称 部分詳細図 (3)	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-77
				縮尺 S=1/30		



凡例	記号	内容
	////	防火上主要な間仕切り壁 (準耐火構造H12建告1358-I-ハ-(1)-(iii)) PBT=15両面貼り (小屋裏まで)
	—	令第114条3項 小屋裏隔壁 (準耐火構造H12建告1358-I-ハ-(1)-(iii)) PBT=15両面貼り (小屋裏まで)

※給排水管、配電管その他の配管が防火区画を貫通する場合は、令112条20項及び令129条の2の4 1項7号に適合したものとする。

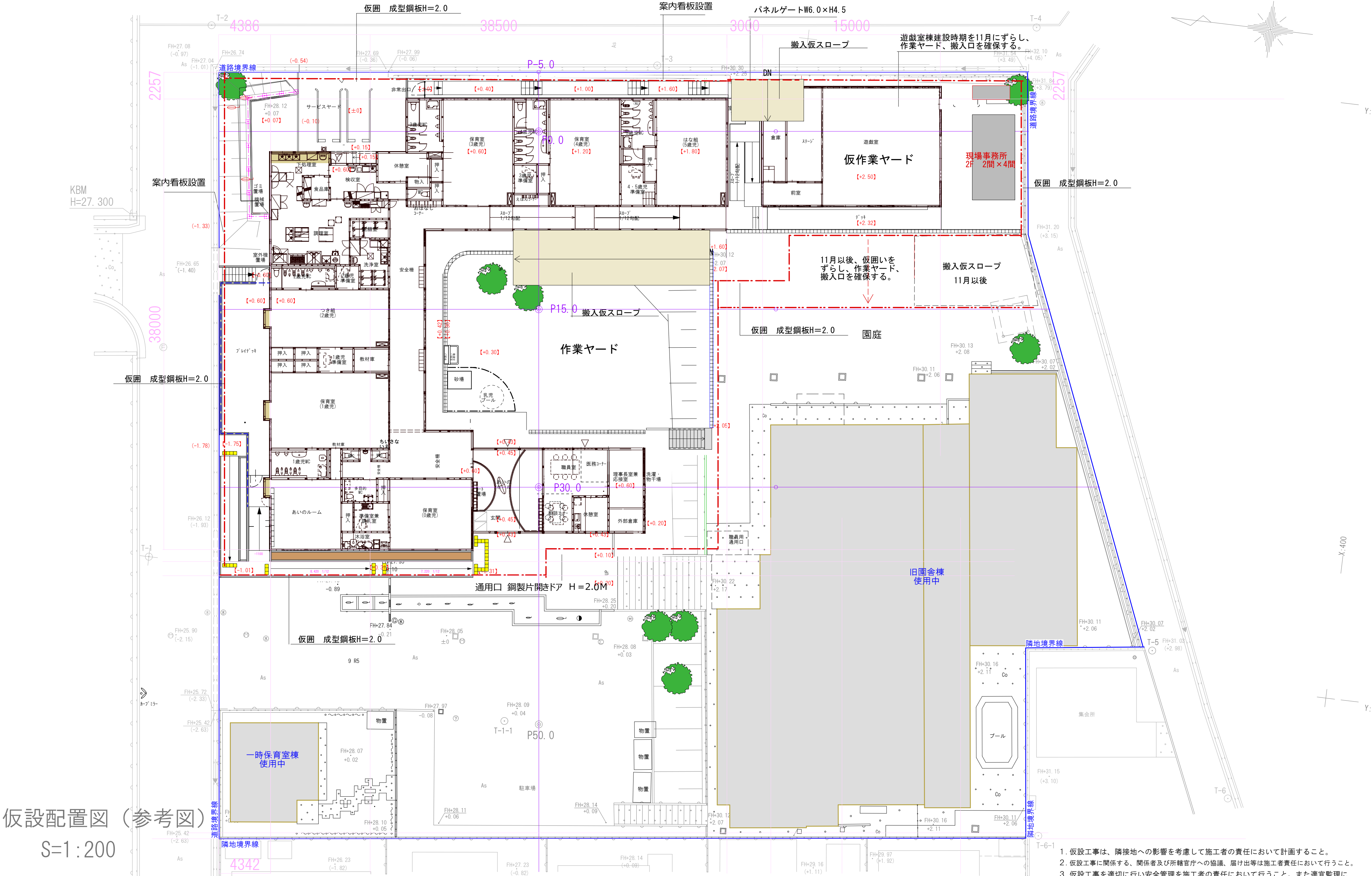
工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-78
図面名称 法チェック図 (防火上主要な間仕切壁)			縮尺 S=1/150		



凡 例	
記 号	内 容
—	防煙区画 (間仕切壁)
---	防煙区画 (垂れ壁 H=500以上)
■	H12 告示1436号第四号へ(2) (防煙区画)
■	自然排煙区域
■	H12 告示1436号第四号へ(5)
■	(不燃区画：壁及び天井不燃仕上 [下地共])
▲	自然排煙開口
■	階段等の部分 (令126条の2 1項3号)
消	消火器
■	屋内消火栓
00.0	歩行距離

※防煙区画を形成する間仕切壁、垂れ壁は不燃仕上とする。
※防煙区画を形成する建具が不燃扉（常時閉鎖式かつストッパー無）の場合は、垂壁はH300mm以上。不燃扉としていない場合は垂れ壁をH=500mm以上確保とする。
※自然排煙に使用する建具の開閉金物はFL+1,500以下とする
※[建具番号]と表記された開口部は、H12告示1436号(三)を適用(排煙口位置の緩和)。
※給排水管、配電管その他の配管が防火区画を貫通する場合は、令112条20項及び令129条の2の4 1項7号に適合したものとする。

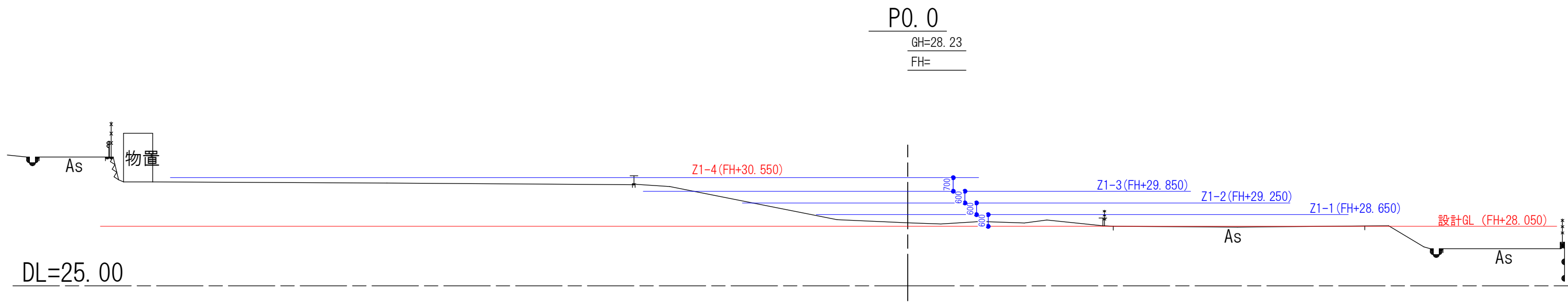
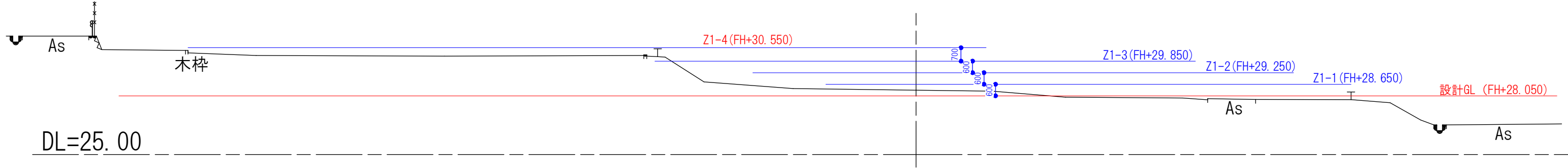
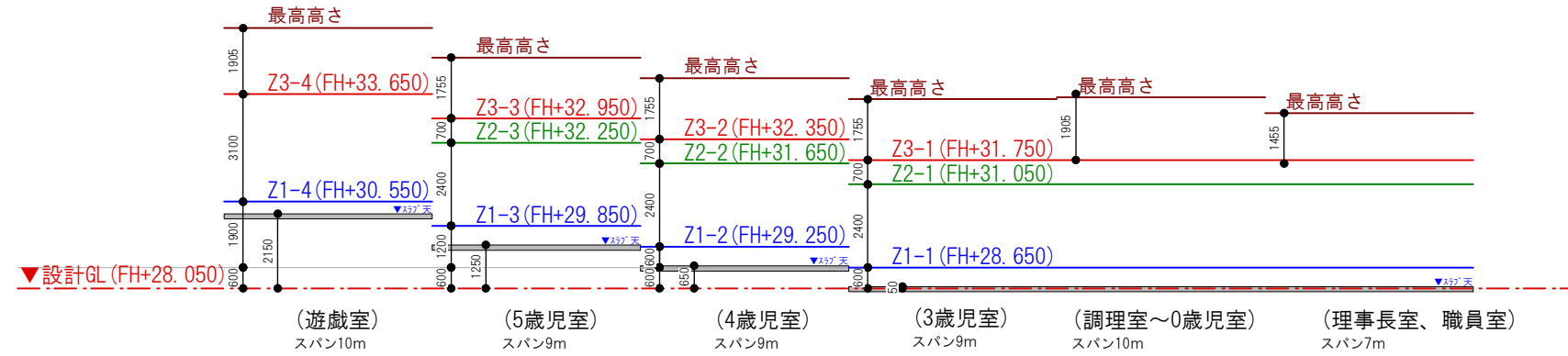
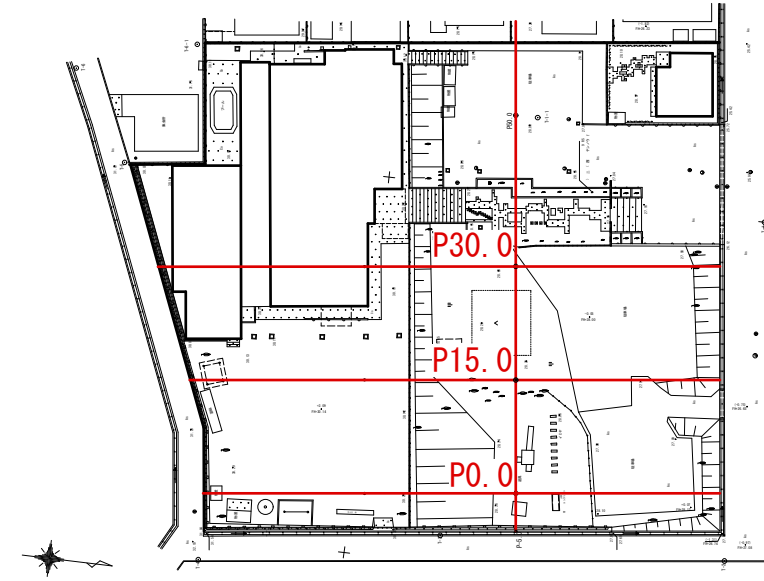
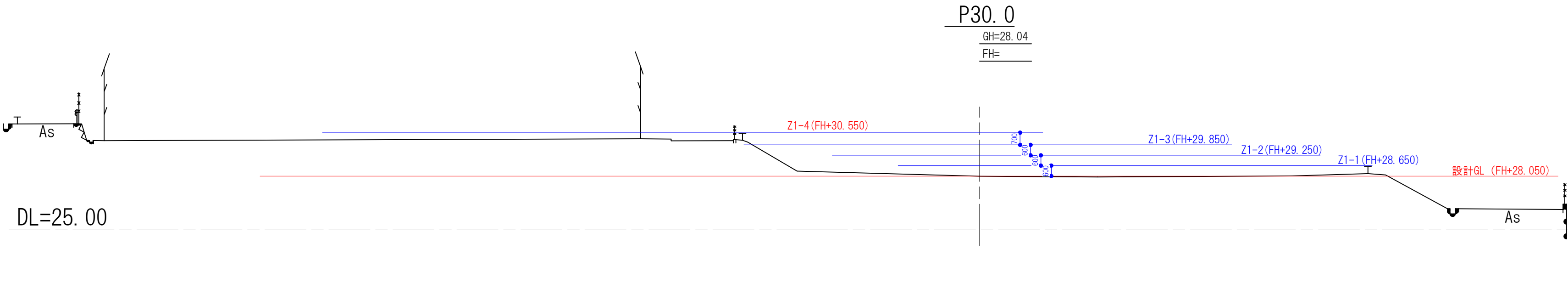
工事名称 あいの保育園改築工事	Draw Check	作成年月日 縮 尺 S=1/150	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 A-79
図面名称 法チェック図（防煙区画図）				




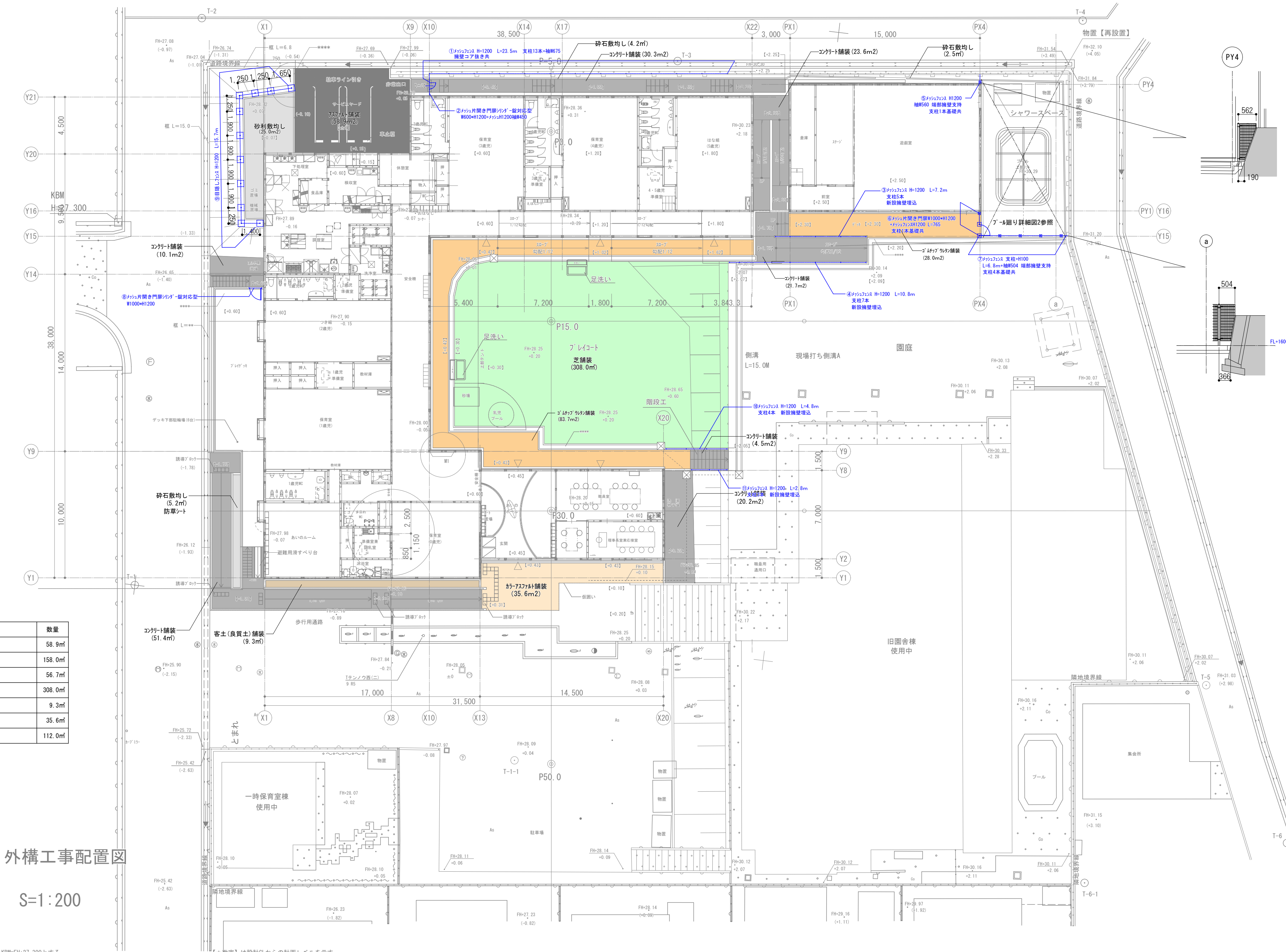
仮設配置図 (参考図)
S=1:200

- 仮設工事は、隣接地への影響を考慮して施工者の責任において計画すること。
- 仮設工事に係る、関係者及び所轄官庁への協議、届け出等は施工者責任において行うこと。
- 仮設工事を適切に行い安全管理を施工者の責任において行うこと。また適宜監理に報告を行うこと。

KBM=FH+27.300とする。 設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)	【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。 (±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。 ±数字は設計GLからの既存レベルを示す。		工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 A-80
			図面名称	仮設計画図				縮尺 S=1/200		



	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称	外構図（現況横断図）			縮 尺 S=1/200	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	



外構工事配置図

S=1:200

凡例	名称	数量
	アスファルト舗装 (A-5-15)	58.9㎡
	コンクリート舗装	158.0㎡
	砕石敷均し	56.7㎡
	芝舗装	308.0㎡
	客土(良質土)舗装	9.3㎡
	カラーアスファルト舗装	35.6㎡
	ゴムチップウレタン舗装	112.0㎡

KBM: FH+27.300とする。

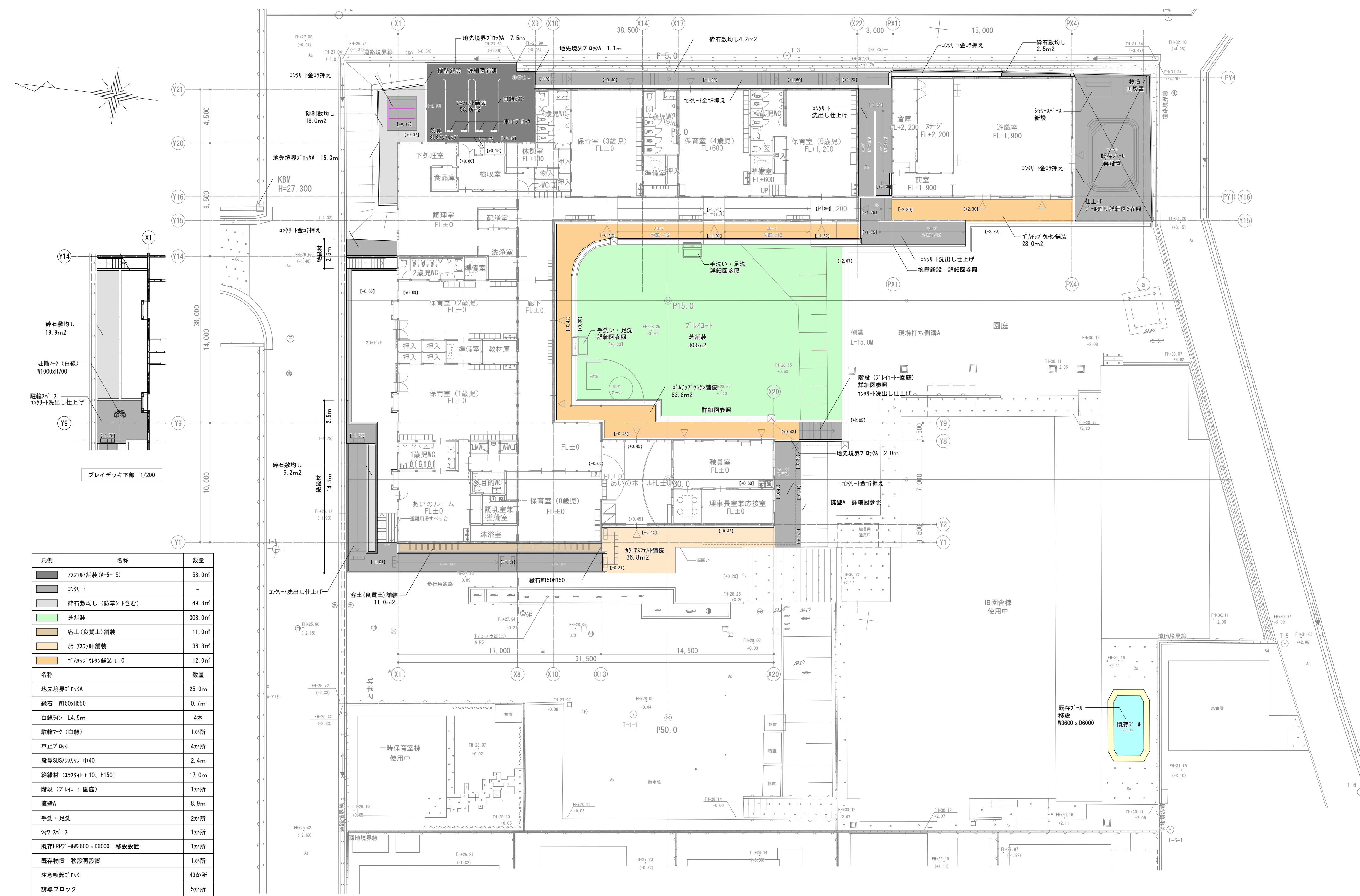
設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)

【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。

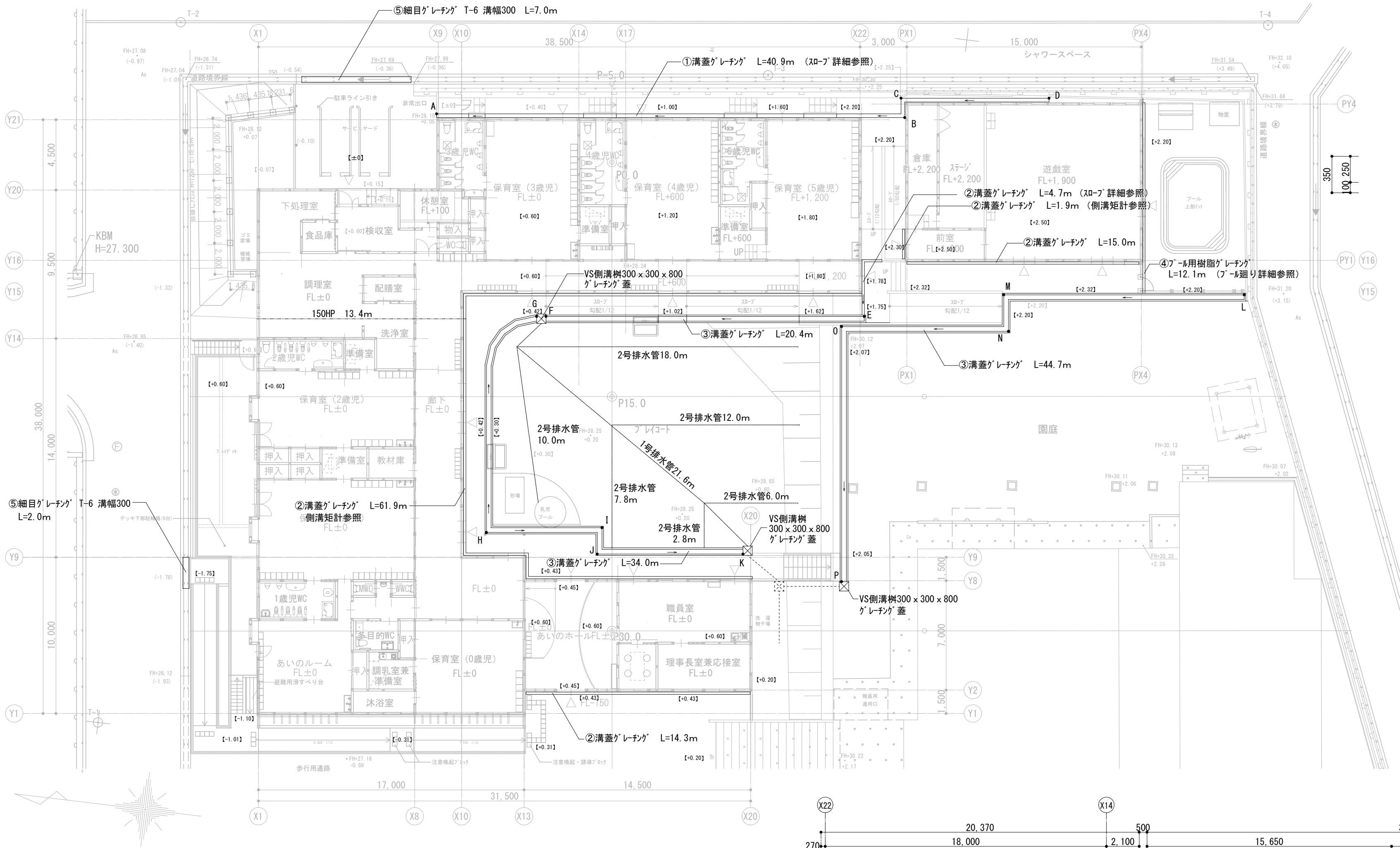
(±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。

±数字 は設計GLからの既存レベルを示す。

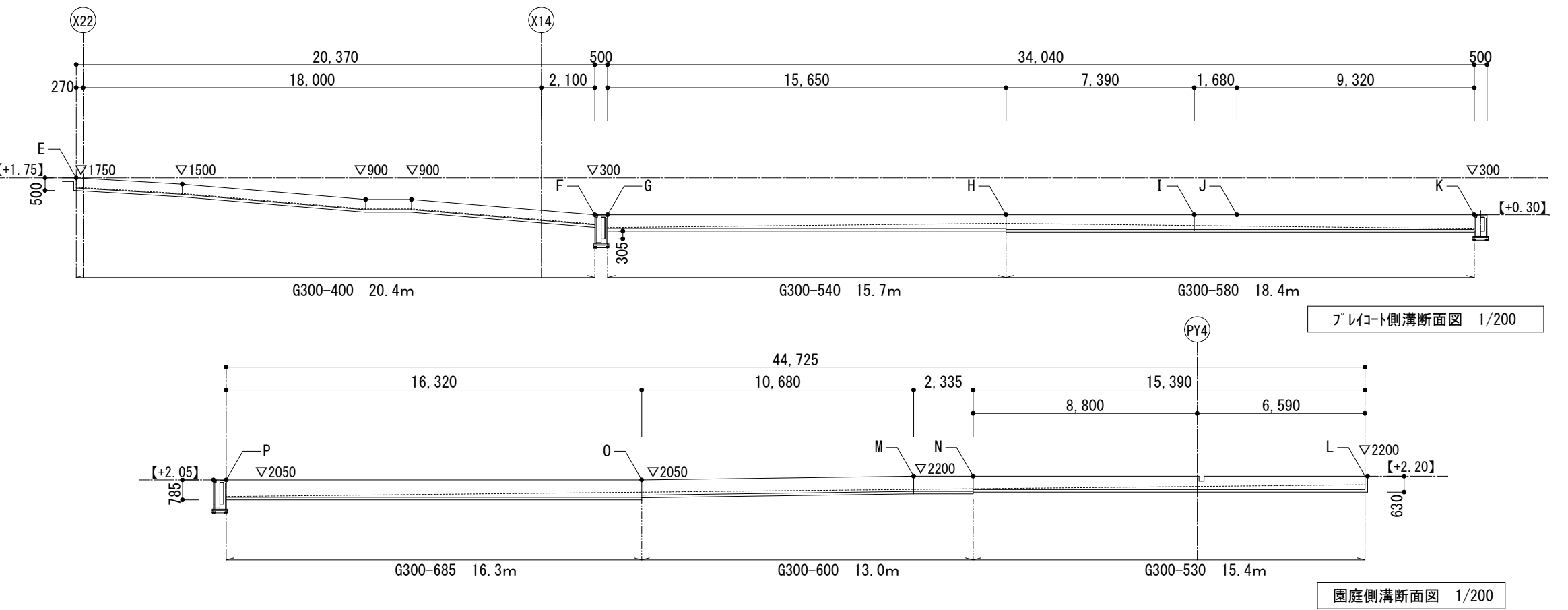
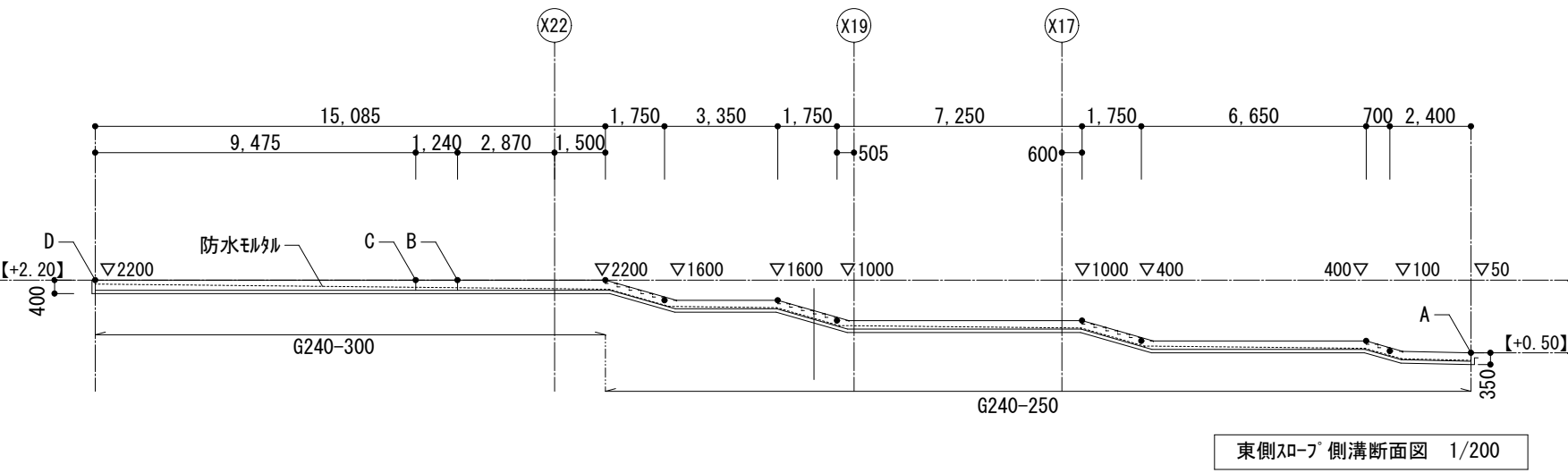
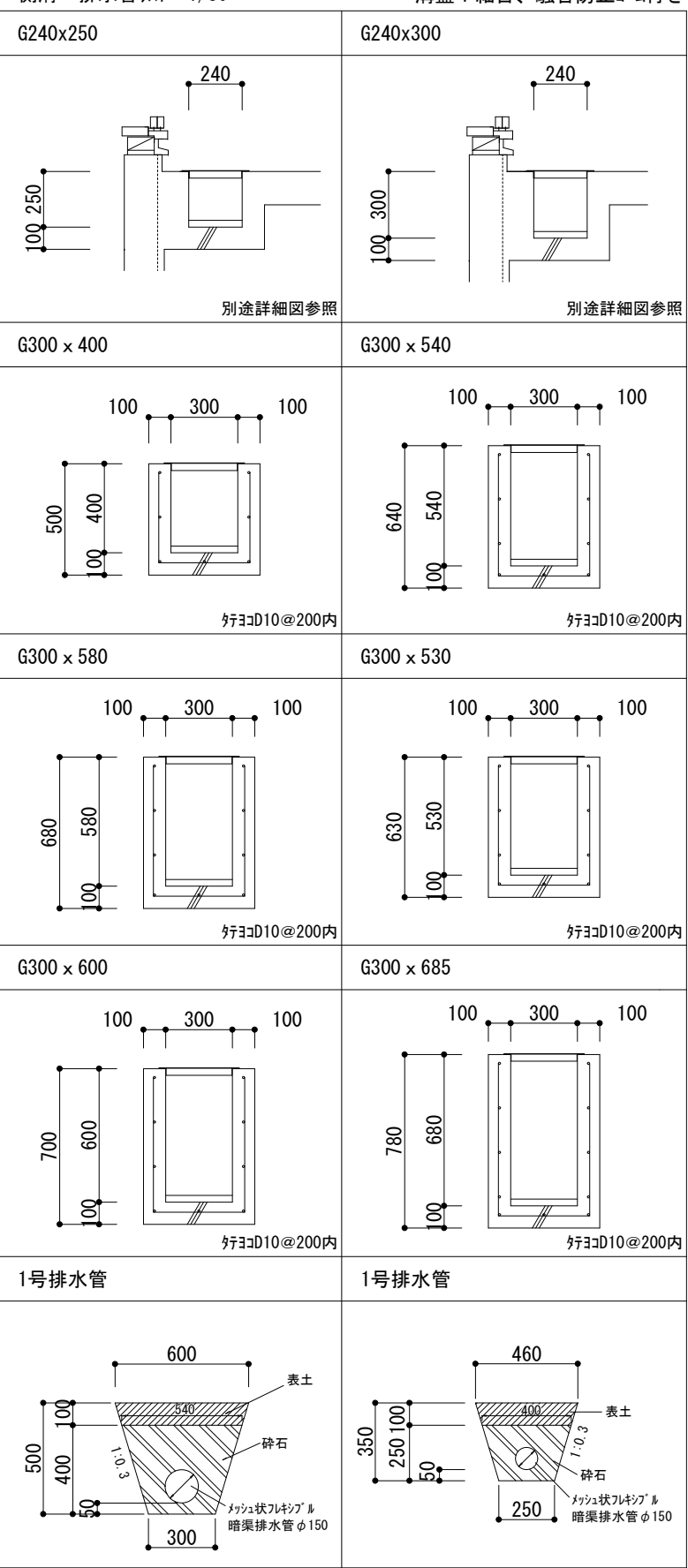
工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号
図面名称	外構図 (フェンス)			縮 尺 S=1/200		



凡例	名称	数量
	アスファルト舗装 (A-5-15)	58.0㎡
	コンクリート	-
	砕石敷均し (防草シート含む)	49.8㎡
	芝舗装	308.0㎡
	客土 (良質土) 舗装	11.0㎡
	カーアスファルト舗装	36.8㎡
	ゴムチップウレタン舗装 t 10	112.0㎡
名称		数量
地先境界ブロックA		25.9m
緑石 W150xH550		0.7m
白線サイン L4.5m		4本
駐輪マーク (白線)		1か所
車止ブロック		4か所
段鼻SUS/ノリツブ 巾40		2.4m
絶縁材 (エラストイト t 10、H150)		17.0m
階段 (ブレイコート園庭)		1か所
擁壁A		8.9m
手洗・足洗		2か所
シャワースペース		1か所
既存FRPプールW3600 x D6000 移設設置		1か所
既存物置 移設再設置		1か所
注意喚起ブロック		43か所
誘導ブロック		5か所

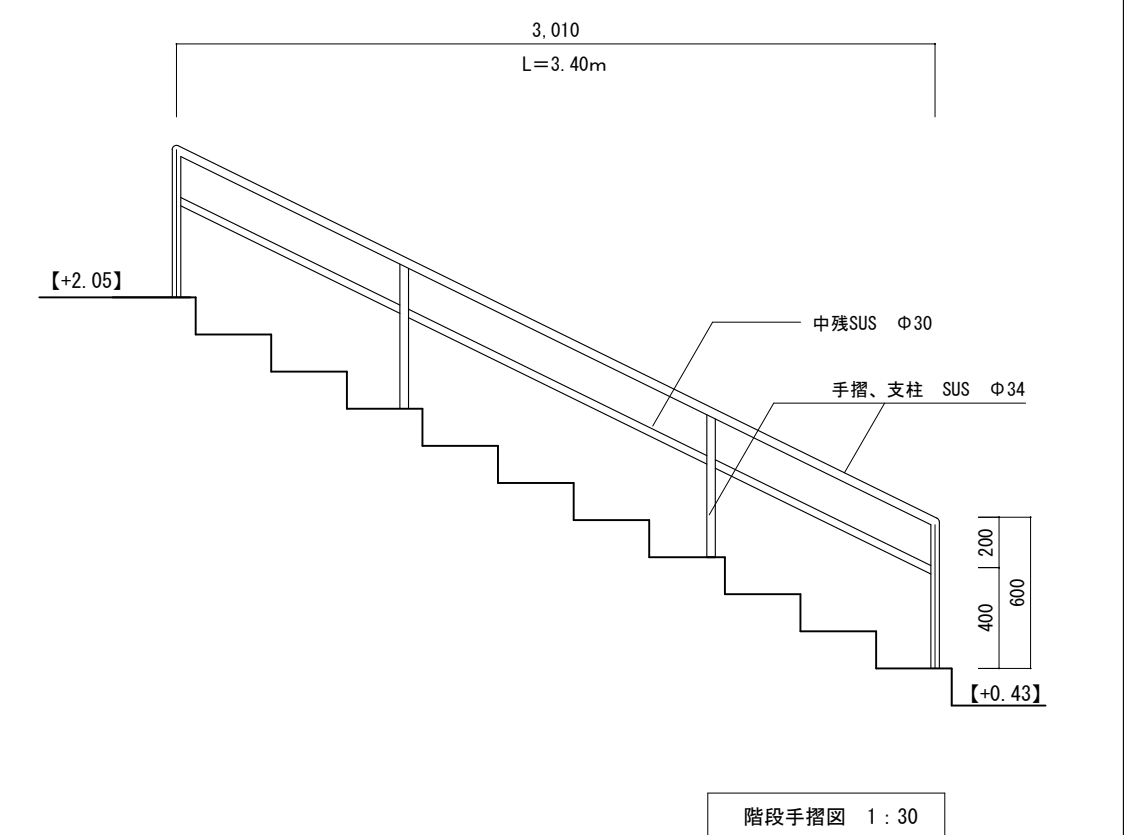
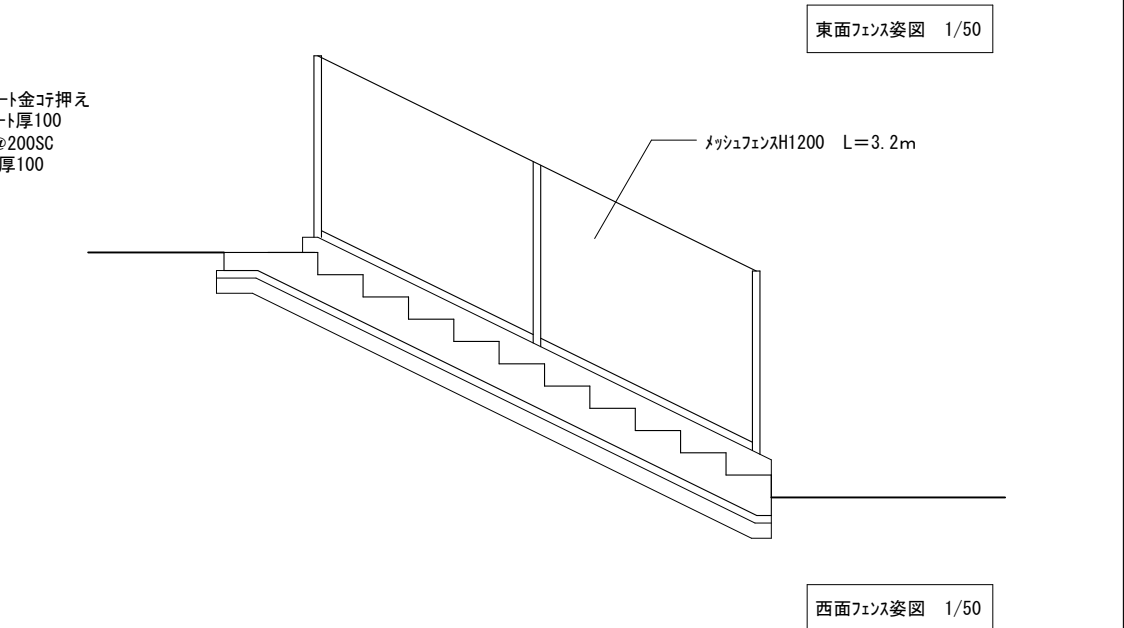
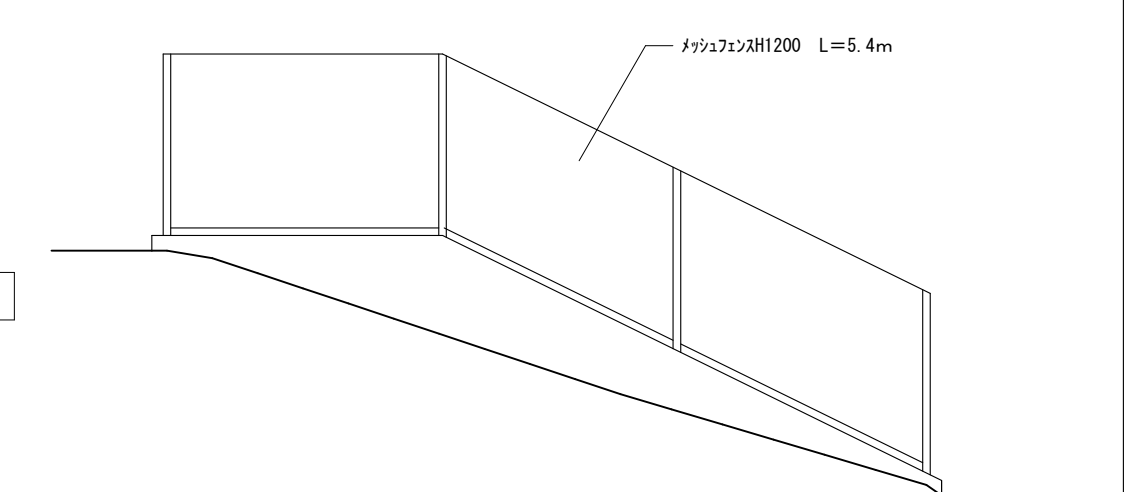
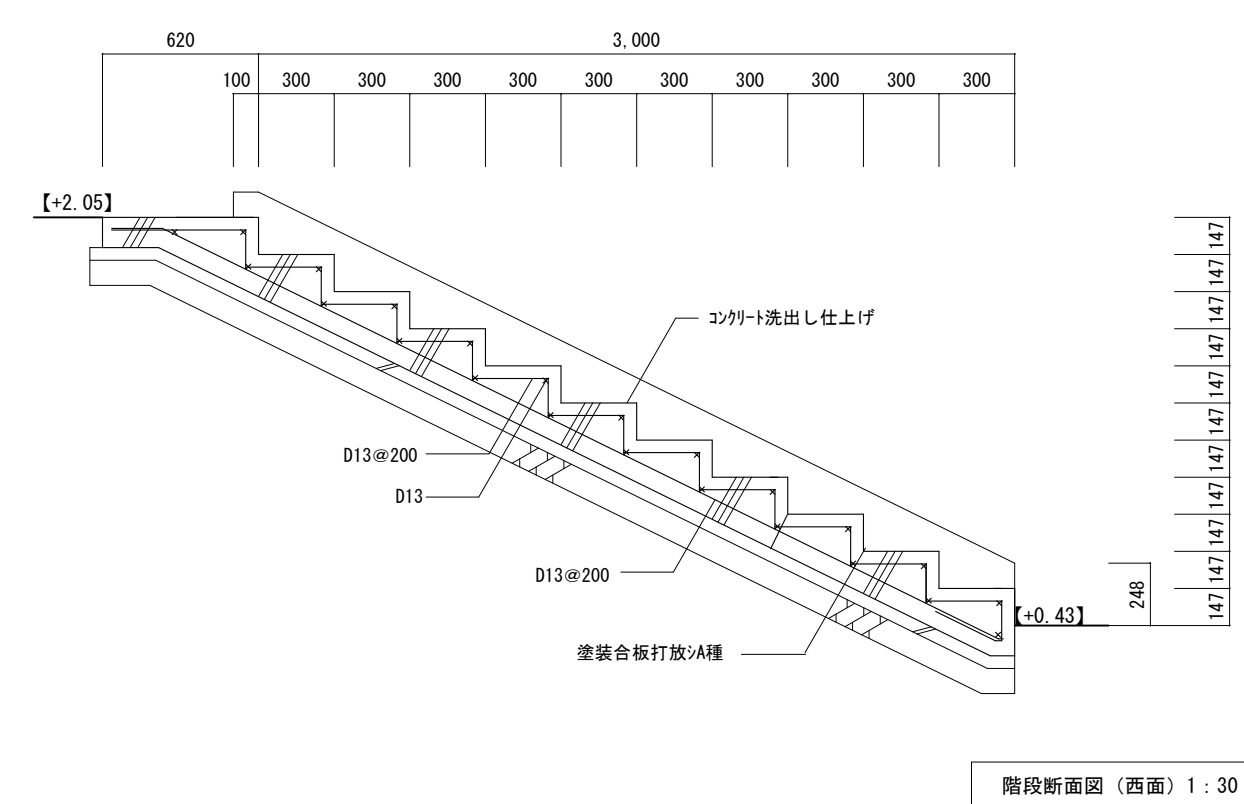
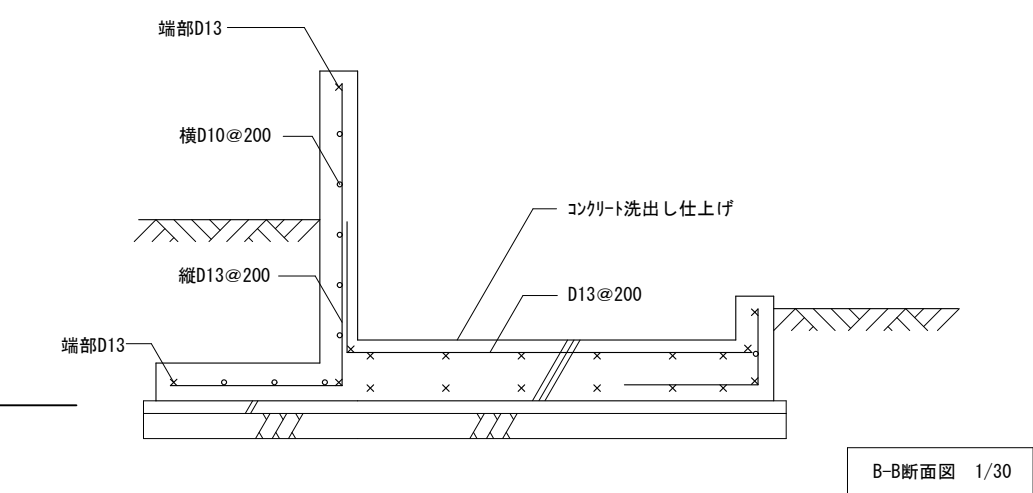
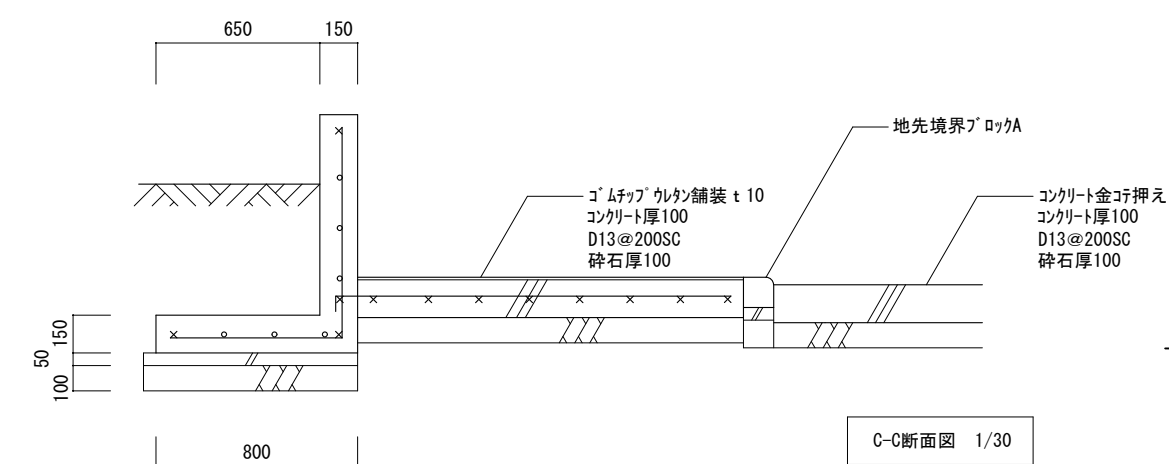
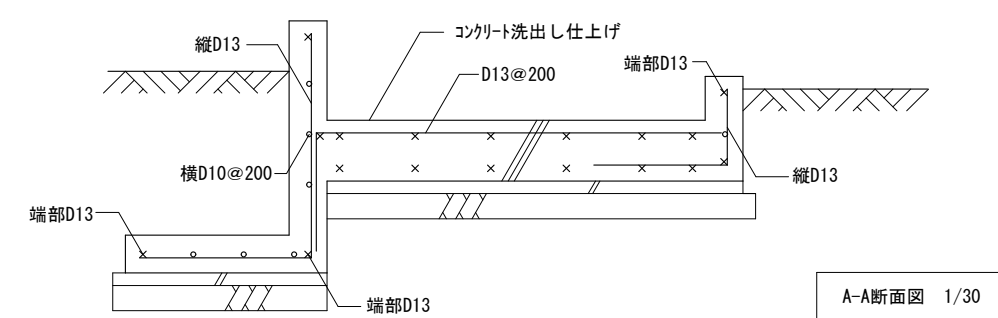
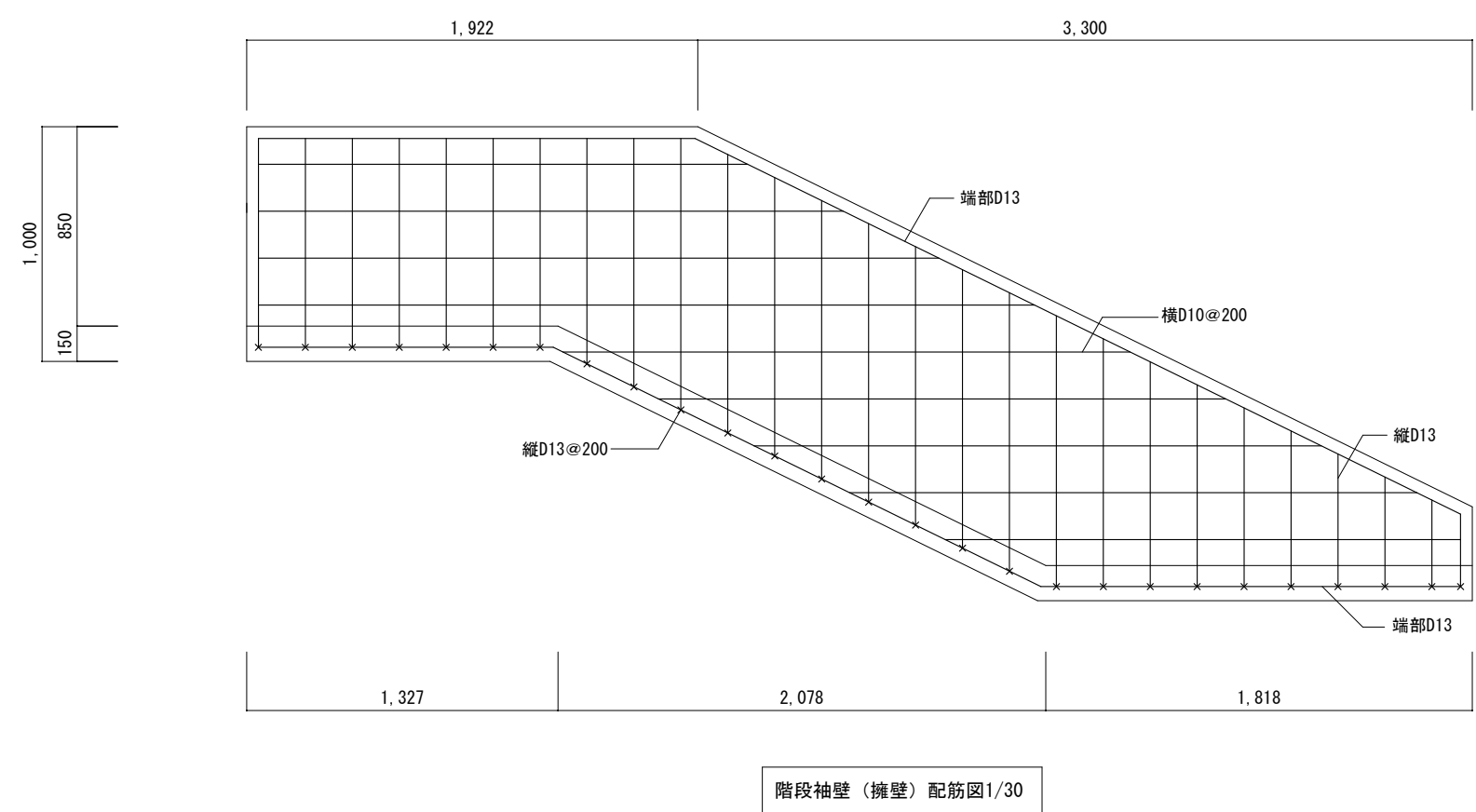
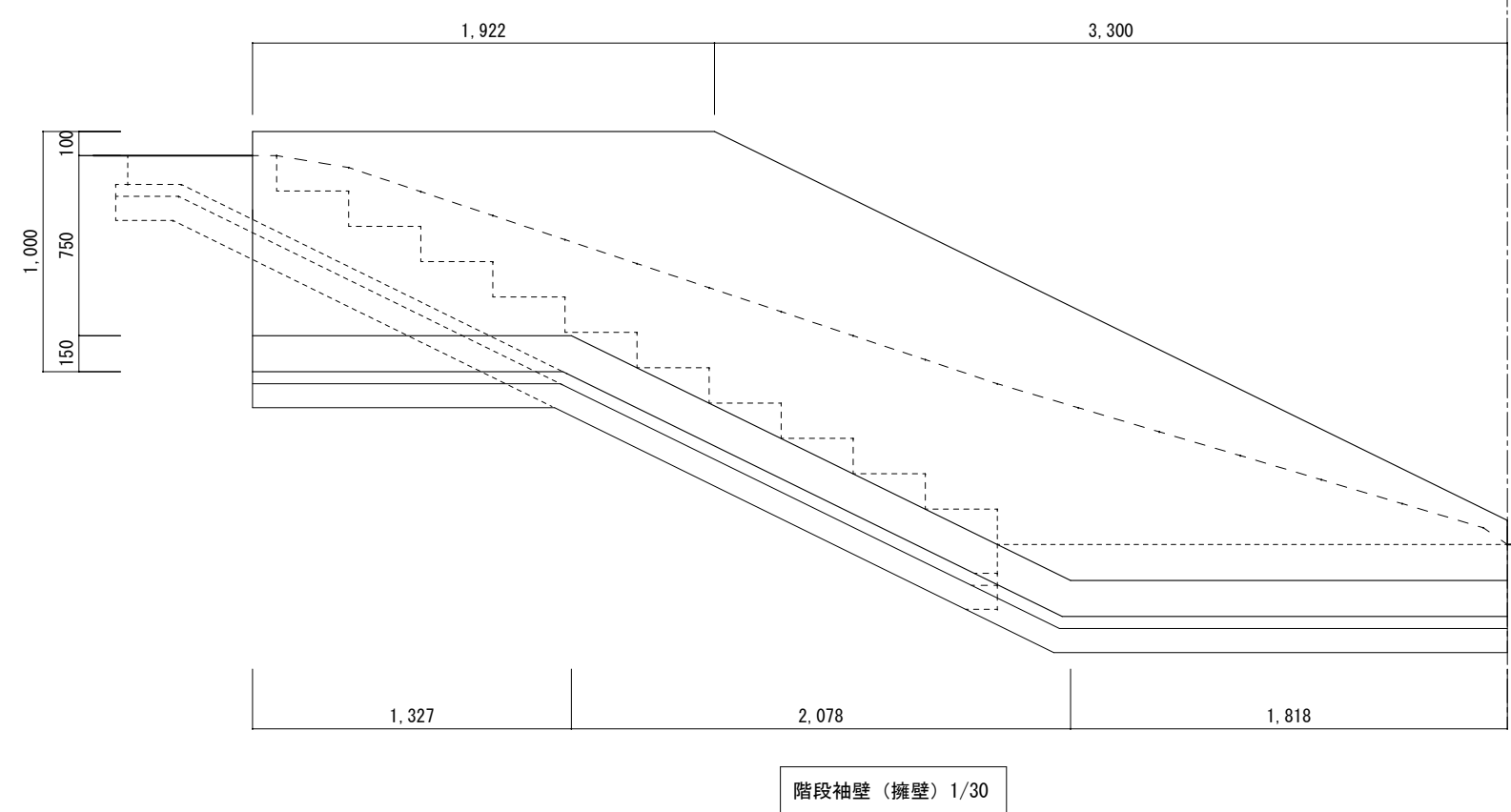
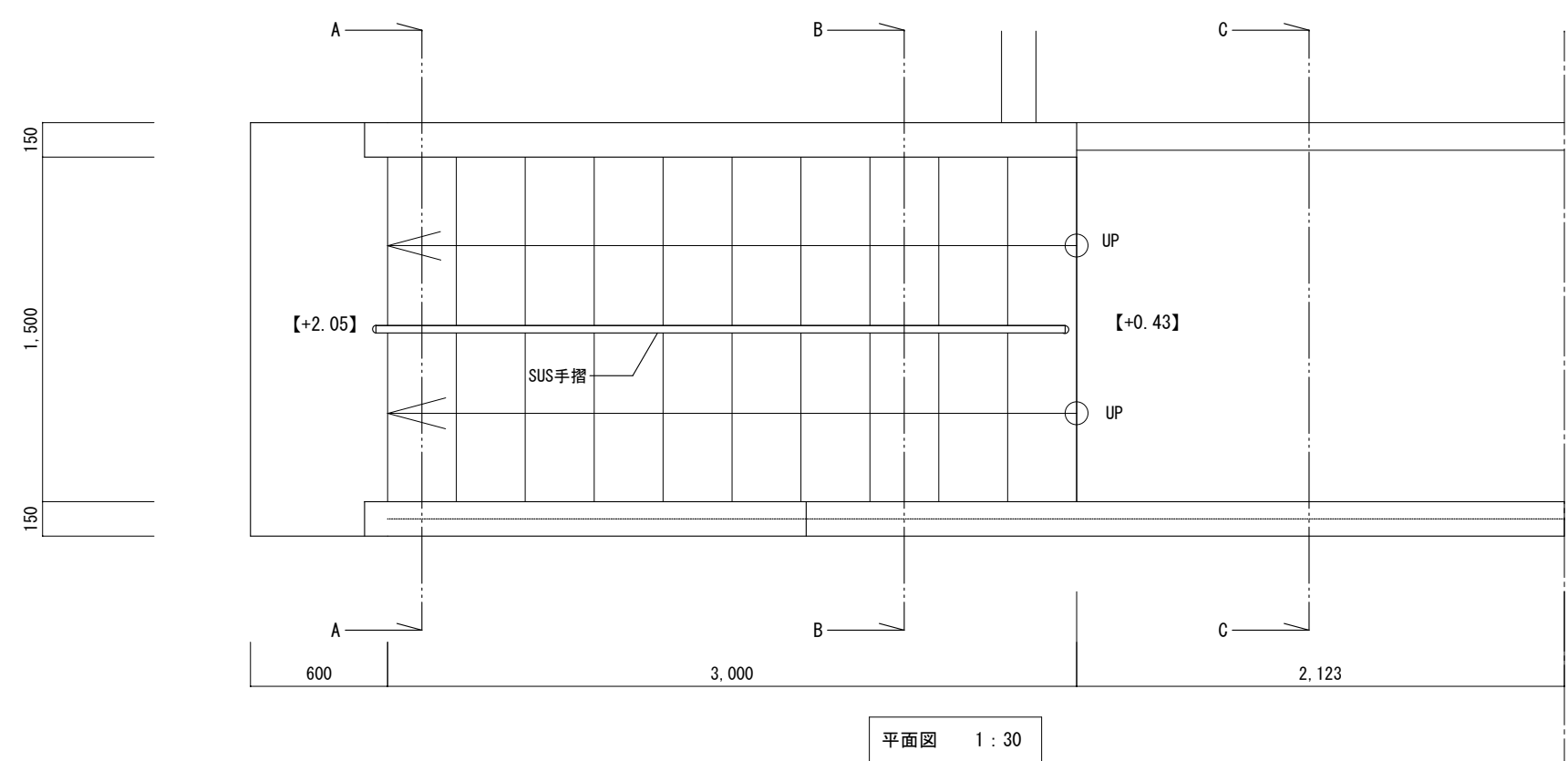


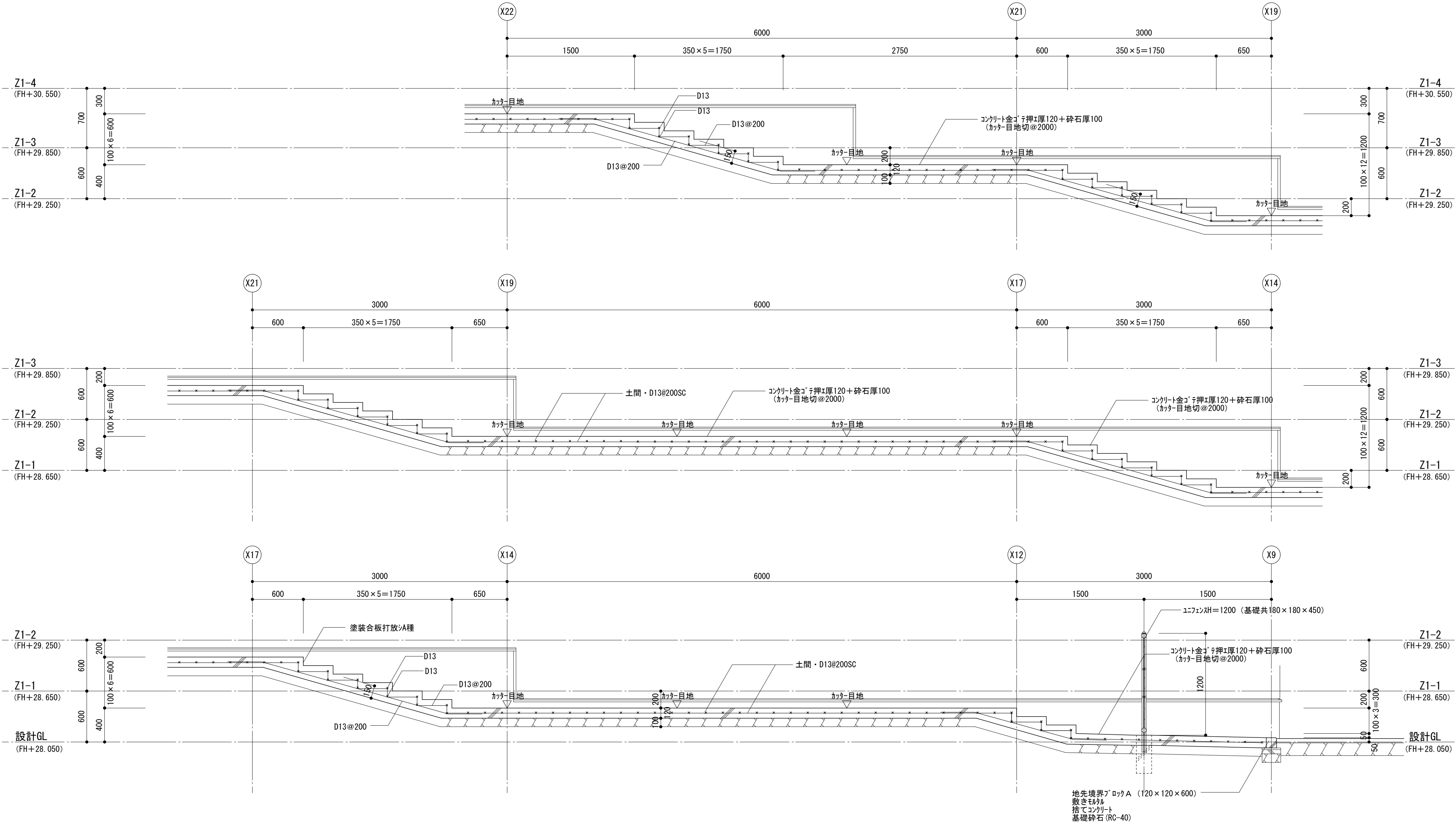
側溝・排水管リスト 1/30
共通：F_c21-18捨てコン厚50、砕石厚100
溝蓋：細目、騒音防止ゴム付き



KBM=FH+27.300とする。 設計GLはFH+28.050とする。 【 】：設計GL基準	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-04
	図面名称	外構図（側溝）				縮尺 S=1/200		

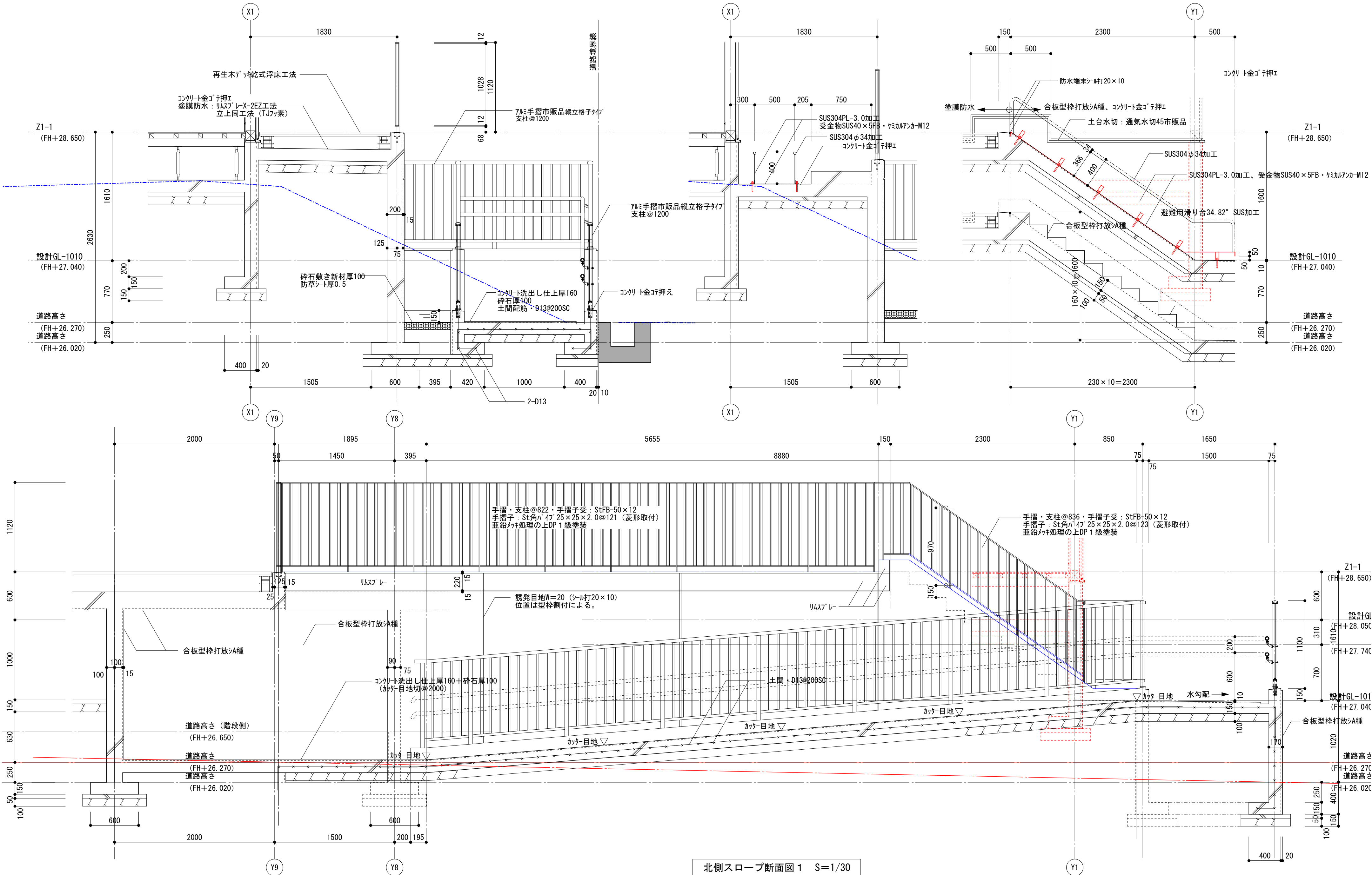
7x7x10舗装	芝舗装	客土舗装	標示ブロック	縁石 W150xH550	駐車ライン引き
砕石舗装	コンクリート土間	7x7x10舗装	ゴムチップウレタン舗装	車止框	
手洗い・足洗			シャワースペース		





外構断面図 1 S=1/30

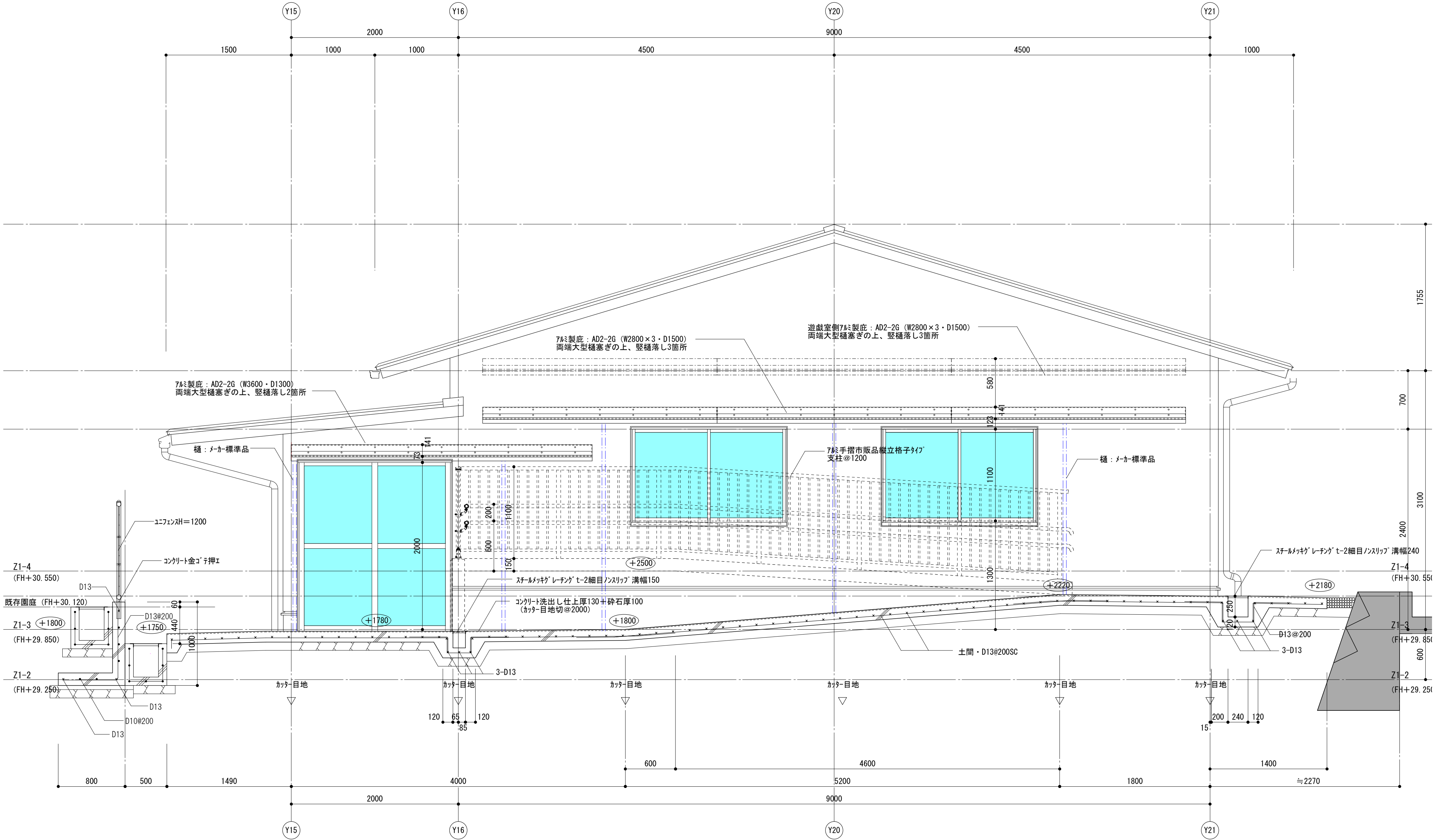
	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号
	図面名称	外構詳細図 (3)				縮 尺 S=1/30		
						開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号		G-07



<div>■ カ-GL鋼板は、3D HyperGLが同等品とする。</div> <div>■ 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。</div> <div>■ 防腐木材にカ-GL鋼板0.4を被せる場合は、絶縁用下葺（透湿防水シート、ブアルーフなど）を施すこと。</div> <div>■ 床 断熱材 ポリスチレンフォーム 厚50 受材：標準金物共（スタイロフォーム同等）</div> <div>■ 壁 グラスウール 厚100 24kg/m3</div> <div>■ 天井 グラスウール 厚100 24kg/m3</div>	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div>株式会社 若竹まちづくり研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号</div> <div>管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号	G-08
	図面名称	外構詳細図（4）				縮尺 S=1/30			



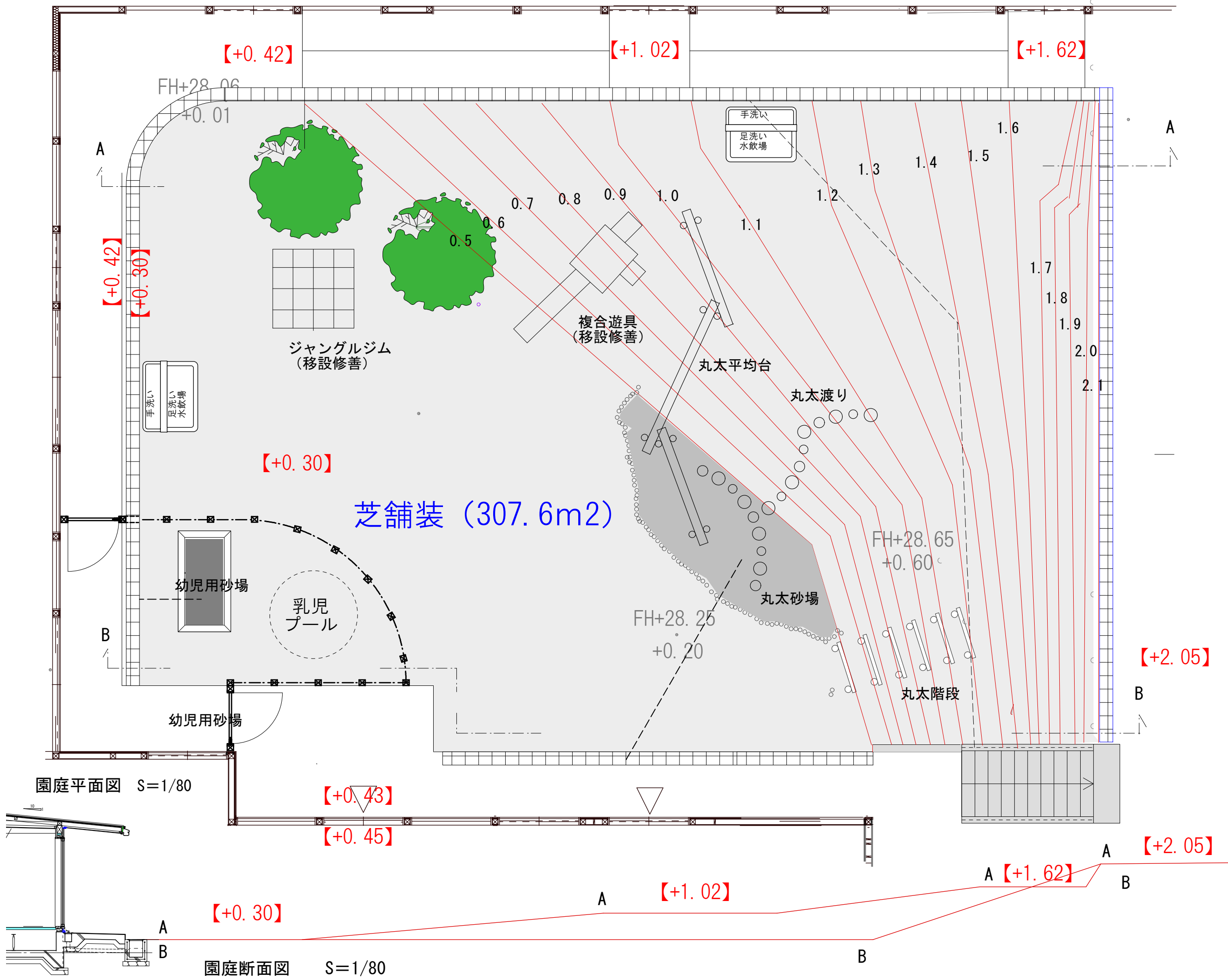
<ul style="list-style-type: none"> ■ ｶｰﾑ鋼板は、ｽﾃｰﾑHyperGﾙｰ同等品とする。 ■ 木部は全て安全対策として面取りを施すこと。 ■ 防腐木材にｶｰﾑ鋼板0.4を被せる場合は、絶縁下葺（透湿防水ｼｰﾄ、ﾌﾟﾘﾝﾍﾞｰなど）を施すこと。 ■ 床 断熱材 ﾎﾟﾘｽﾃﾚﾝﾌｫｰﾑ 厚50 受材：標準金物共（ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ同等） ■ 壁 ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ 厚100 24kg/m3 ■ 天井 ｸﾞﾗｽﾜｰﾙ 厚100 24kg/m3 	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 G-09
	図面名称	外構詳細図（5）				縮 尺 S=1/30		



○+1750 内寸法は設計GLからの高さを示す。

遊戯室Roof断面図 1 S=1/30

	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称	外構詳細図 (6)			縮 尺 S=1/30		
G-10							



名称	摘要	数量	単位	備考
丸太渡り		1	箇所	
丸太平均台		1	箇所	
丸太階段		6	段	
丸太砂場		1	箇所	
幼児用砂場	16.2㎡	1	箇所	
ジャングルジム	移設修繕	1	箇所	
複合遊具	移設修繕	1	箇所	
幼稚園安全柵		13.0	M	
幼稚園安全柵(門扉)		2	箇所	

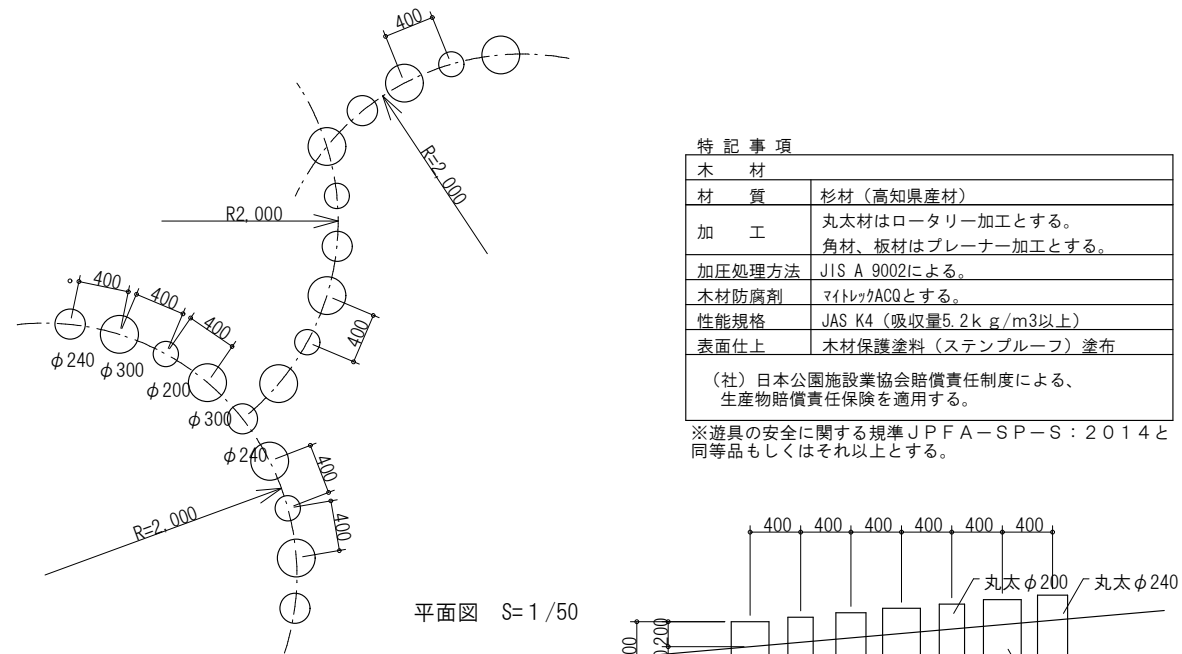


ジャングルジム【移設修繕】



複合遊具【移設修繕】

丸太渡り

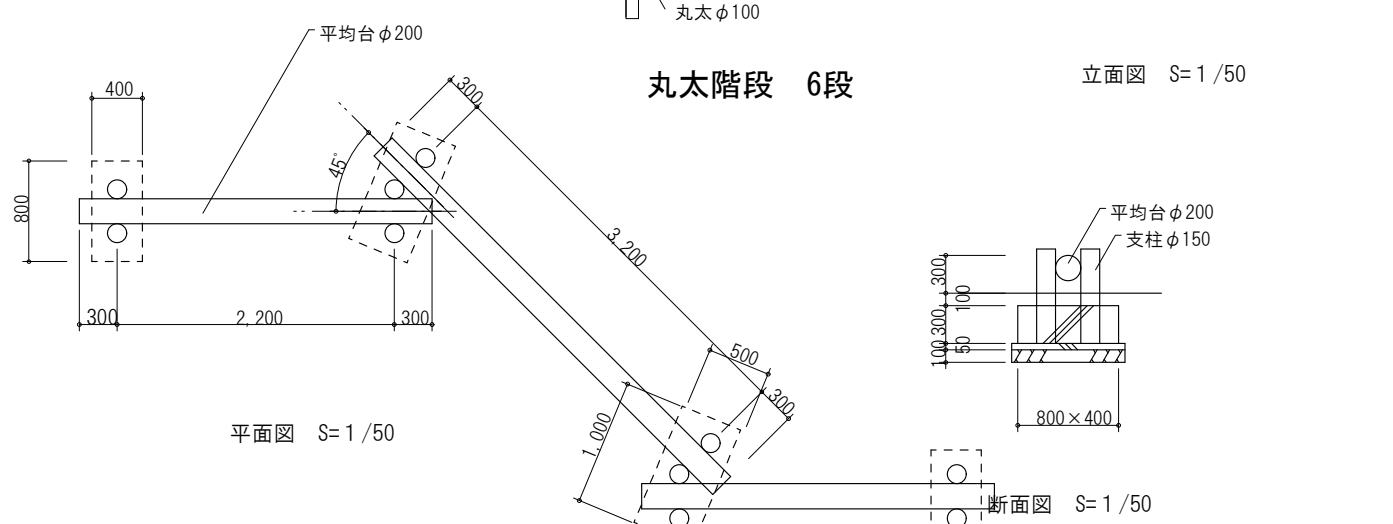


特記事項	
木材	杉材(高知県産材)
加工	丸太材はロータリー加工とする。 角材、板材はプレーナー加工とする。
加圧処理方法	JIS A 9002による。
木材防腐剤	タイラックACQとする。
性能規格	JAS K4(吸収量5.2kg/m3以上)
表面仕上	木材保護塗料(ステンプルーフ)塗布

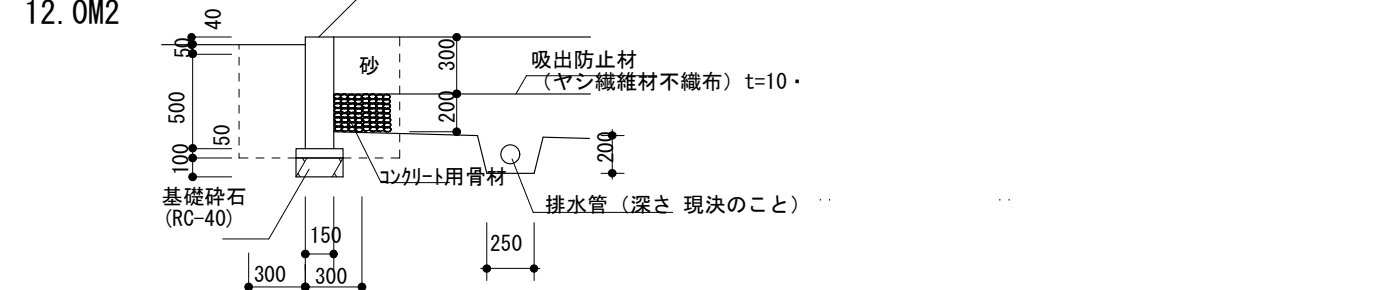
(社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、
生産物賠償責任保険を適用する。

※遊具の安全に関する規程J P F A - S P - S : 2 0 1 4 と
同等品もしくはそれ以上とする。

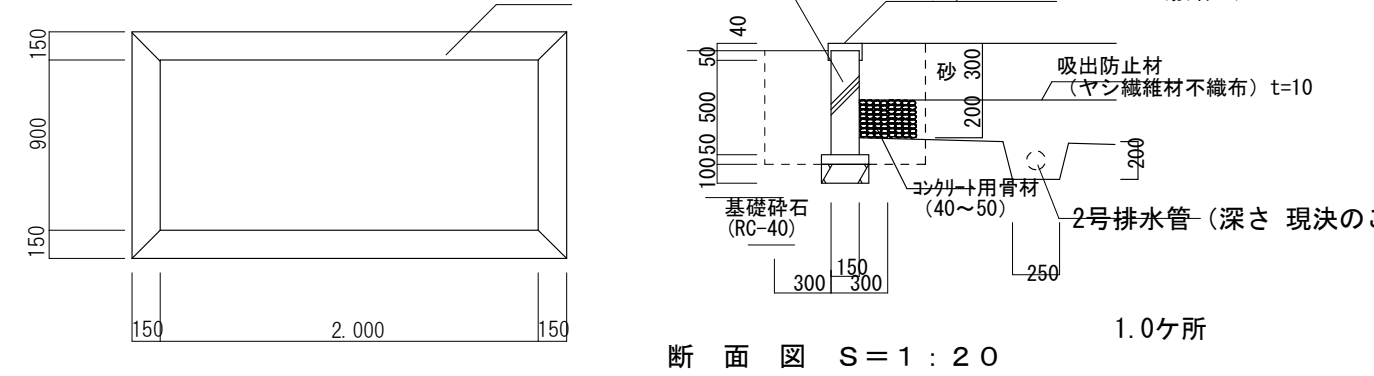
丸太平均台



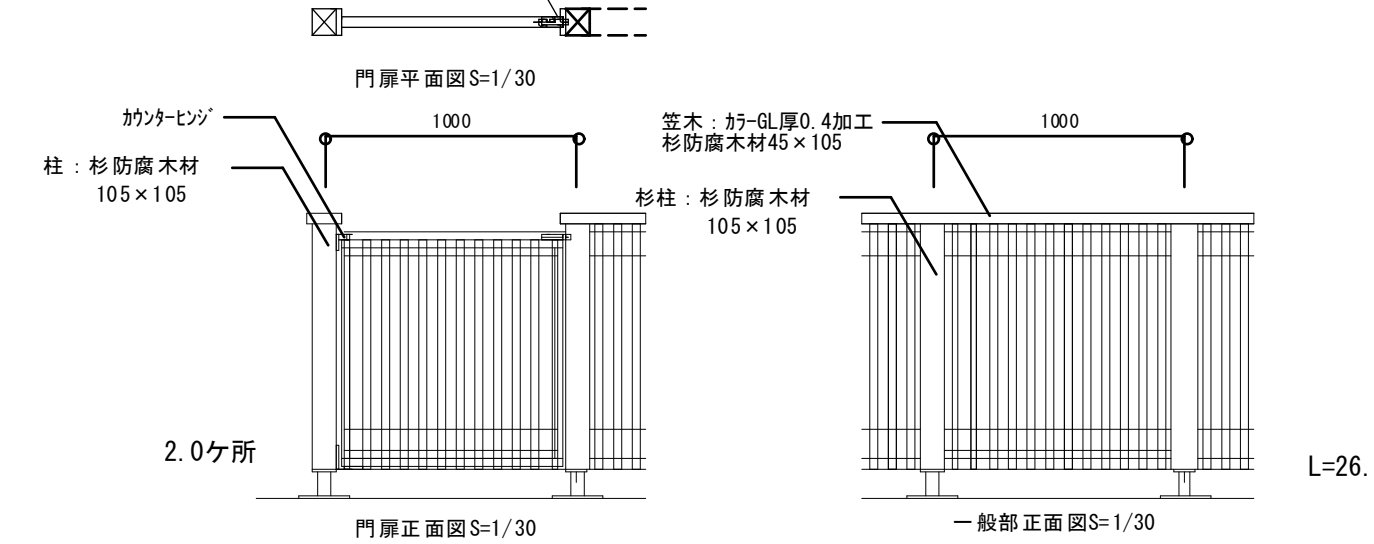
丸太砂場



幼児用砂場



幼稚園安全柵

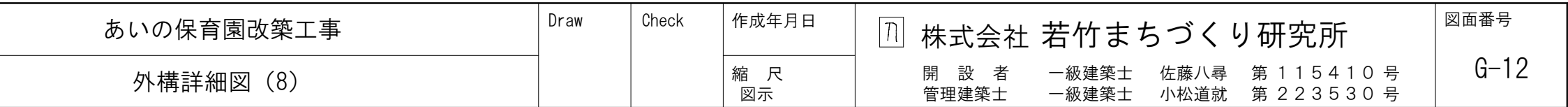


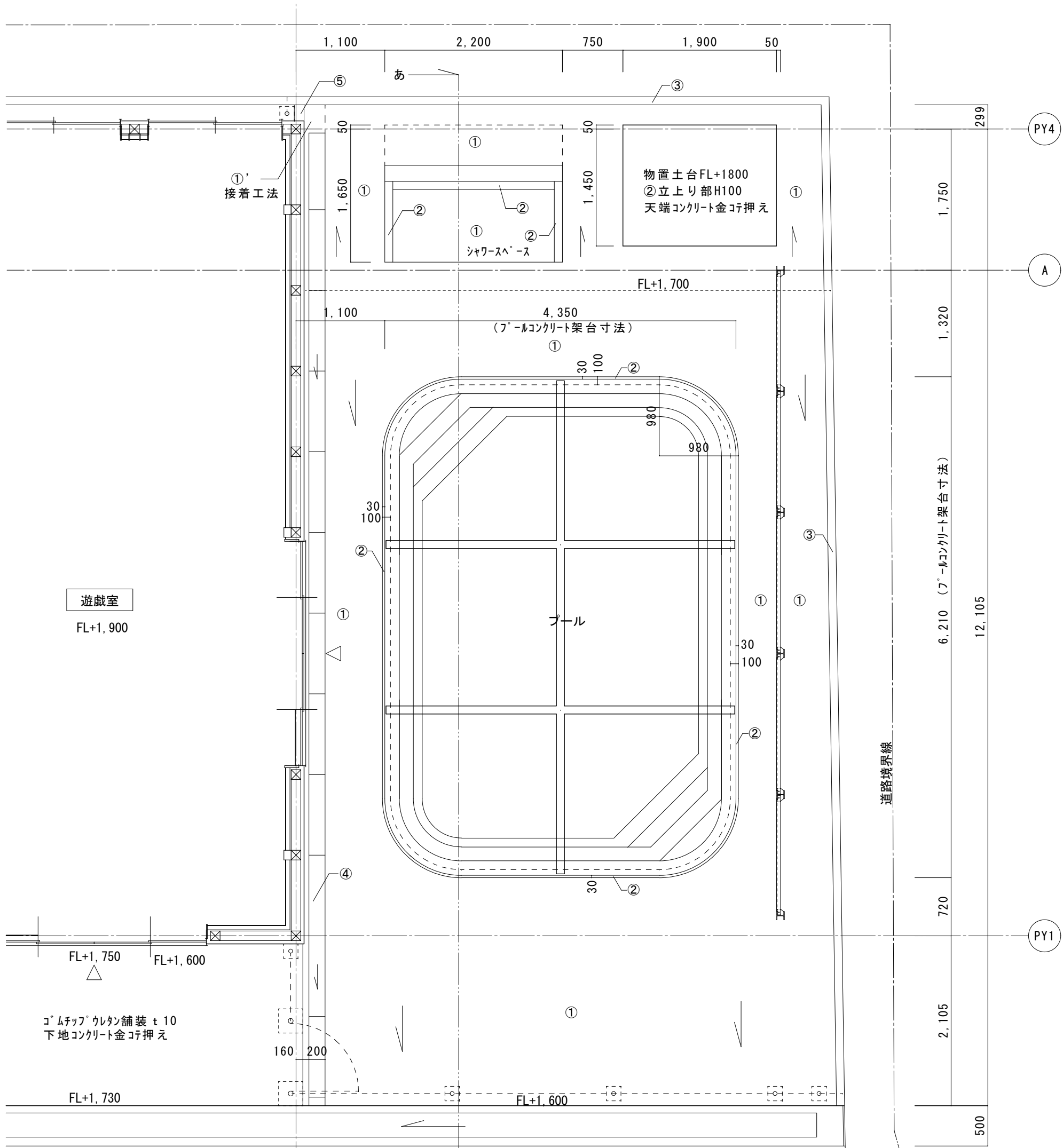
KBM=FH+27.300とする。
設計GLはFH+28.050とする。(設計GL±0=FH28.050)

【±数字】は設計GLからの計画レベルを示す。
(±数字)は設計GLからの隣地レベルを示す。
±数字は設計GLからの既存レベルを示す。

工事名称
あいの保育園改築工事
図面名称
外構詳細図(7)

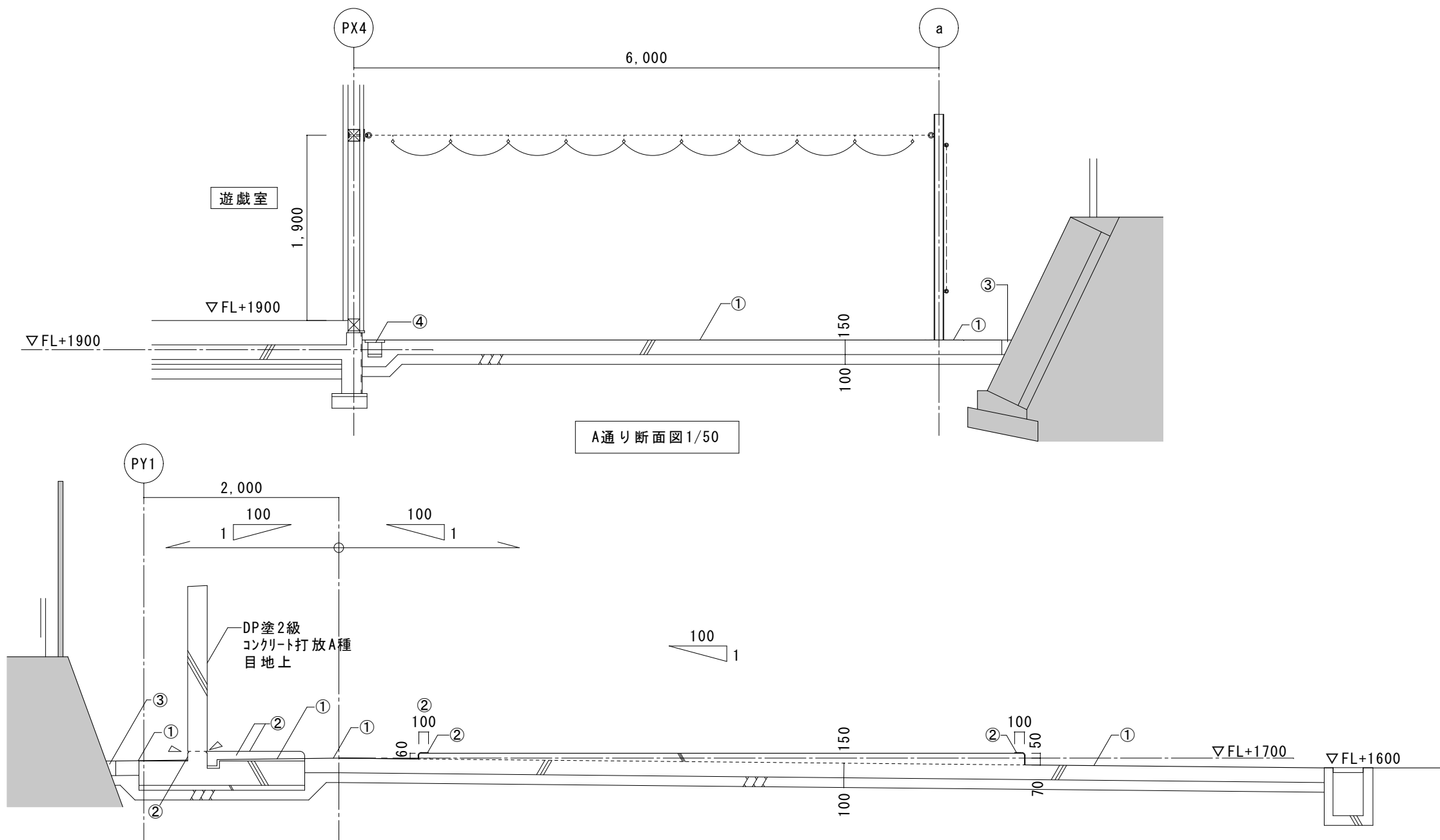
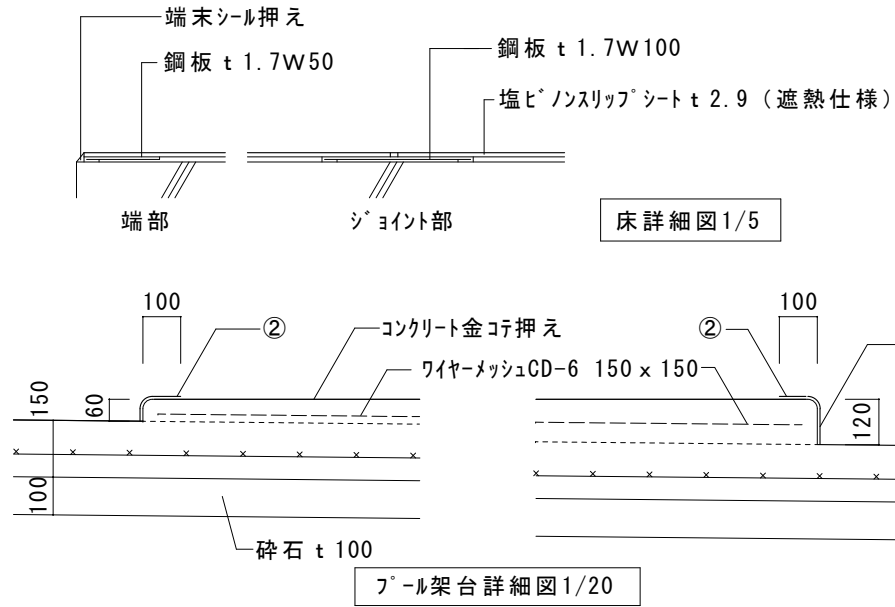
Draw
Check
作成年月日
株式会社 若竹まちづくり研究所
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号
図面番号
G-11



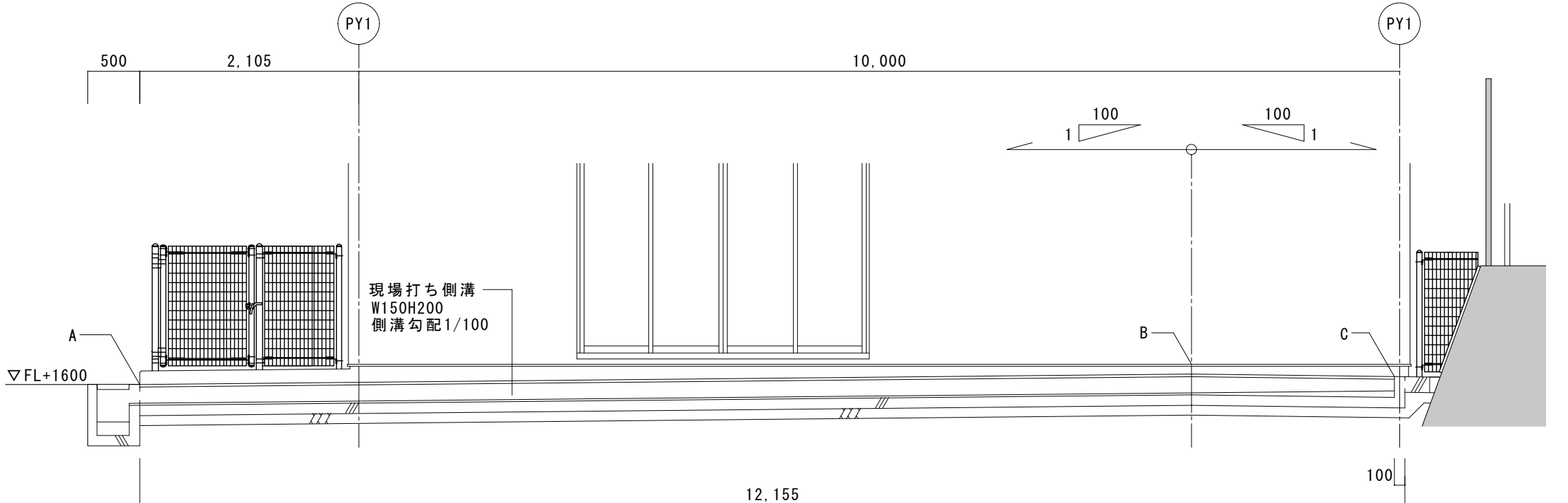


平面図 1/50

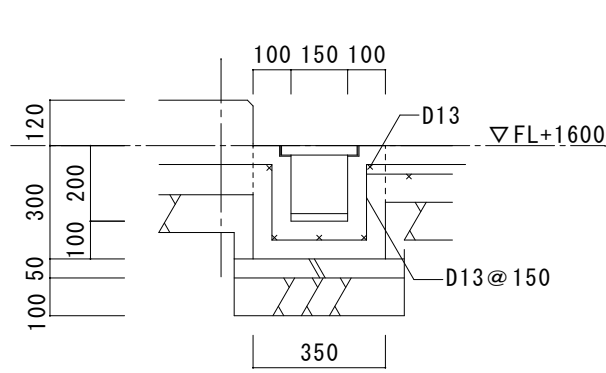
仕上表 番号	仕様	数量
①	塩ビノンスリップシート t 2.9 (遮熱仕様)	47.20 m ²
①'	塩ビノンスリップシート t 2.9 (遮熱仕様) 接着工法	0.90 m ²
②	プール用塗装... クッション遮熱防滑工法... W100程度 プールエースクッション同等品... t=10	54.7 m
③	玉砂利敷き W100 t 100	1.9 m ²
④	プール用樹脂グレーチング W200	12.1 m
⑤	地先境界ブロックA	0.20 m



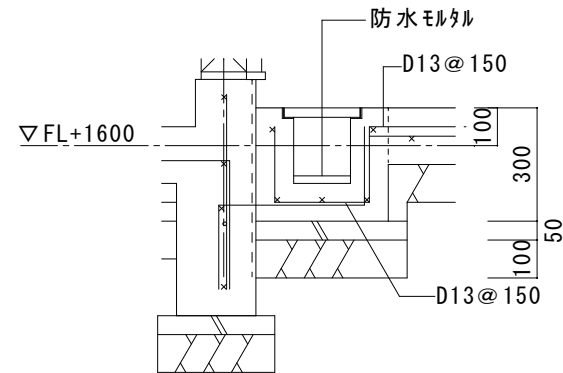
あ-あ断面図 1/50



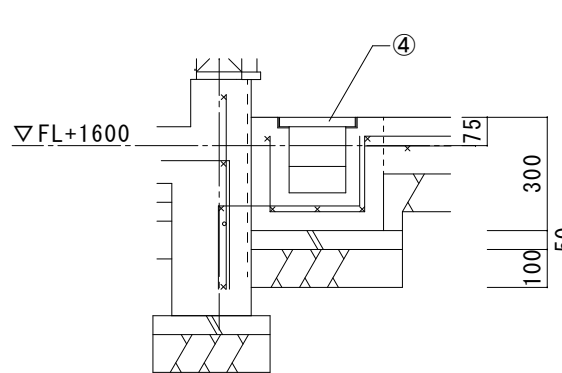
側溝断面図 1/50



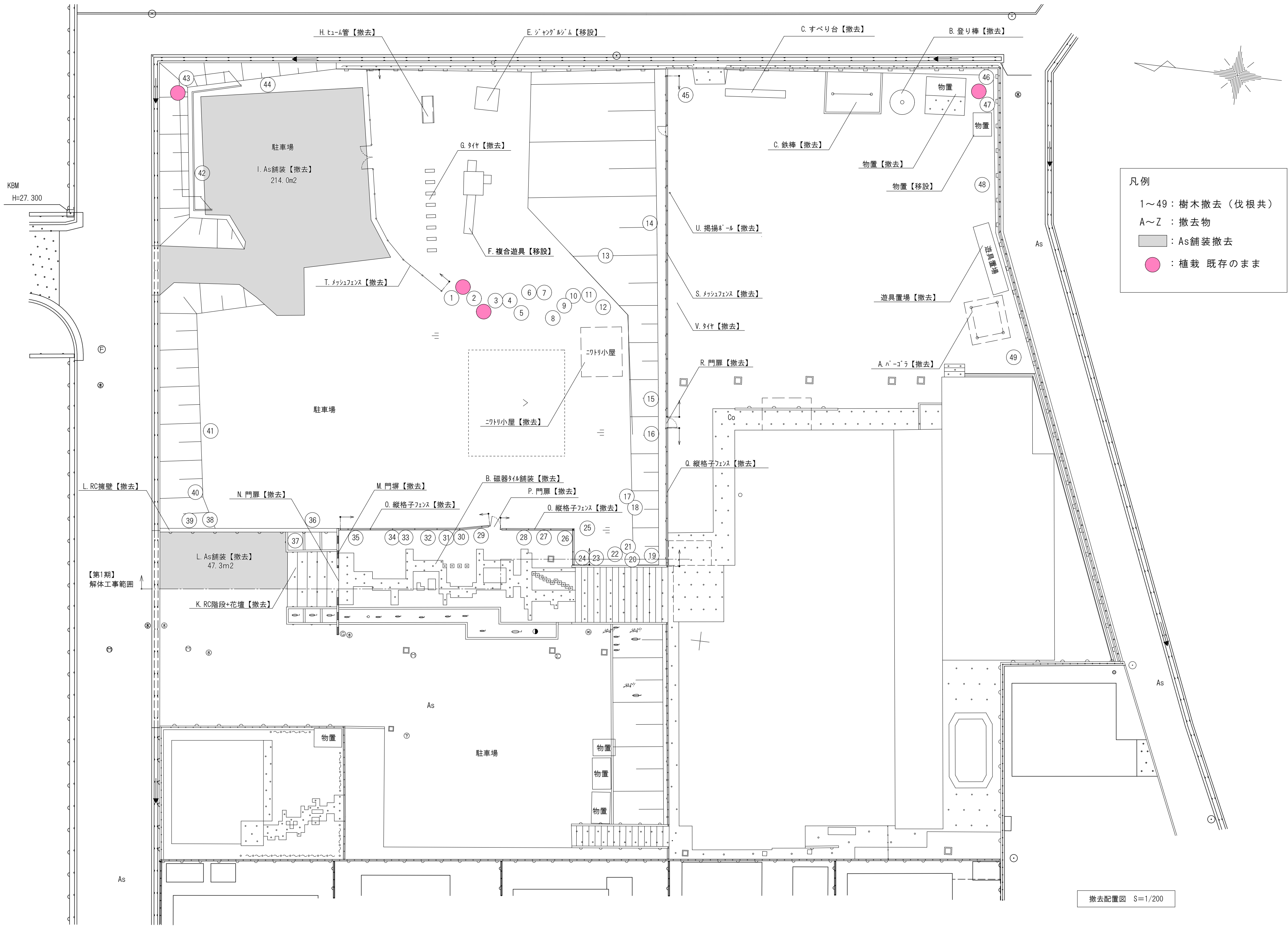
側溝A詳細図 1/20



側溝B詳細図 1/20

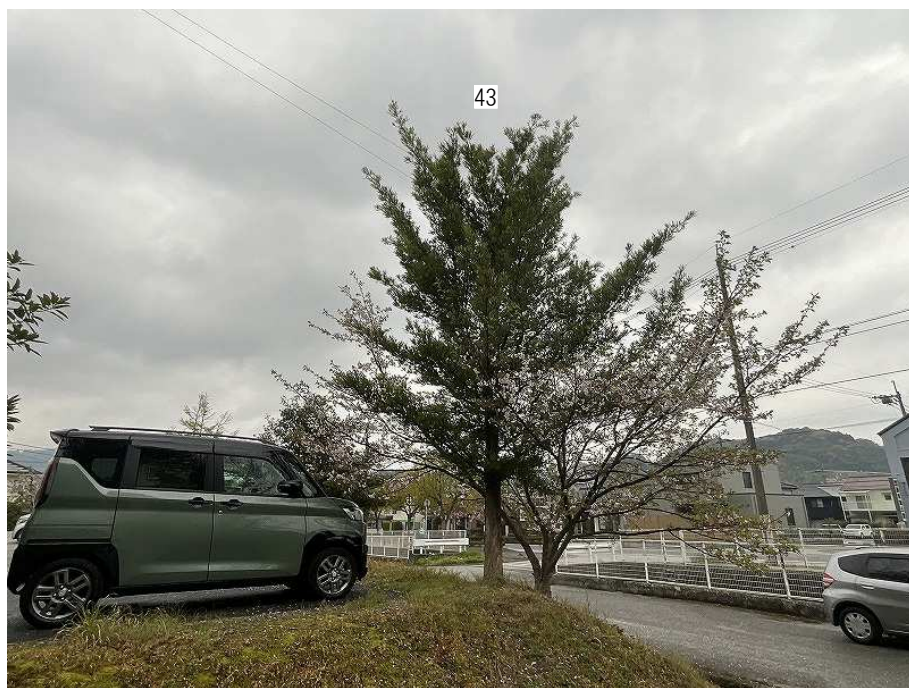


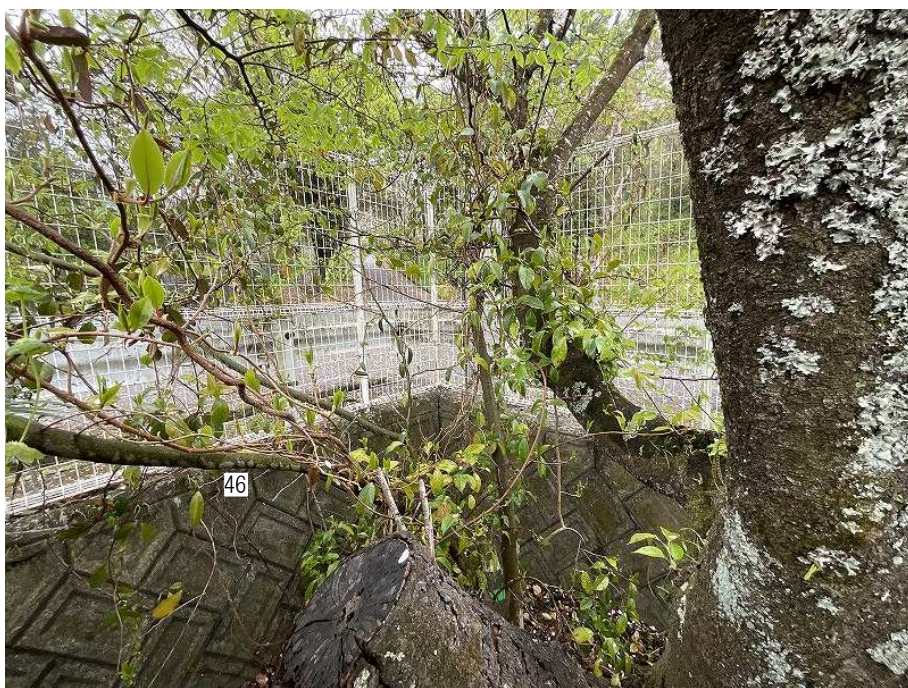


側溝C詳細図 1/20



工事名称 あいの保育園改築工事	図面名称 解体撤去配置図	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-14
				縮尺 S=1/200		





																							
記号	1～8	名称	樹木	数量	8本	記号	9～12	名称	樹木	数量	4本	記号	13	名称	樹木	数量	1本	記号	14	名称	樹木	数量	1本
備考 1 : H=6.0 C=0.72 W=4.0 2 : H=5.5 C=0.3 W=2.1						備考 9 : H=3.5 C=0.26 W=1.7 10 : H=4.5 C=0.54 W=1.8						備考 H=12.0 C=1.56 W=7.8						備考 H=6.5 C=0.33 W=3.5					
3 : H=4.5 C=0.3 W=2.0 4 : H=5.0 C=0.35 W=3.3 5 : H=4.0 C=0.74 W=3.5						11 : H=2.7 C=0.3 W=2.0 12 : H=4.0 C=0.38 W=2.8																	
6 : H=5.5 C=0.7 W=4.2 7 : H=7.5 C=1.41 W=5.4 8 : H=8.5 C=1.5 W=8.3																							
																							
記号	15、16	名称	樹木	数量	2本	記号	17、18	名称	樹木	数量	2本	記号	19	名称	樹木	数量	1本	記号	20、21	名称	樹木	数量	2株
備考 15 : H=2.8 C=0.79 W=2.8						備考 17 : H=3.5 C=0.22 W=1.2						備考 H=6.0 C=0.6 W=3.9						備考 H=1.1 W=0.8					
16 : H=2.5 C=0.61 W=1.8						18 : H=6.0 C=2.27 W=4.5																	
																							
記号	22	名称	樹木	数量	1株	記号	23、24	名称	樹木	数量	2本	記号	25	名称	樹木	数量	1株	記号	26	名称	樹木	数量	1本
備考 H=1.9 W=1.8						備考 23 : H=2.3 C=0.3 W=1.5						備考 H=2.8 W=2.8						備考 H=6.5 C=1.15 W=8.0					
						24 : H=3.0 C=0.45 W=2.2																	
※樹木撤去については伐根共										工事名称		あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日		株式会社 若竹まちづくり研究所				図面番号	
										図面名称		解体撤去図（1）				縮 尺		開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号				G-15	

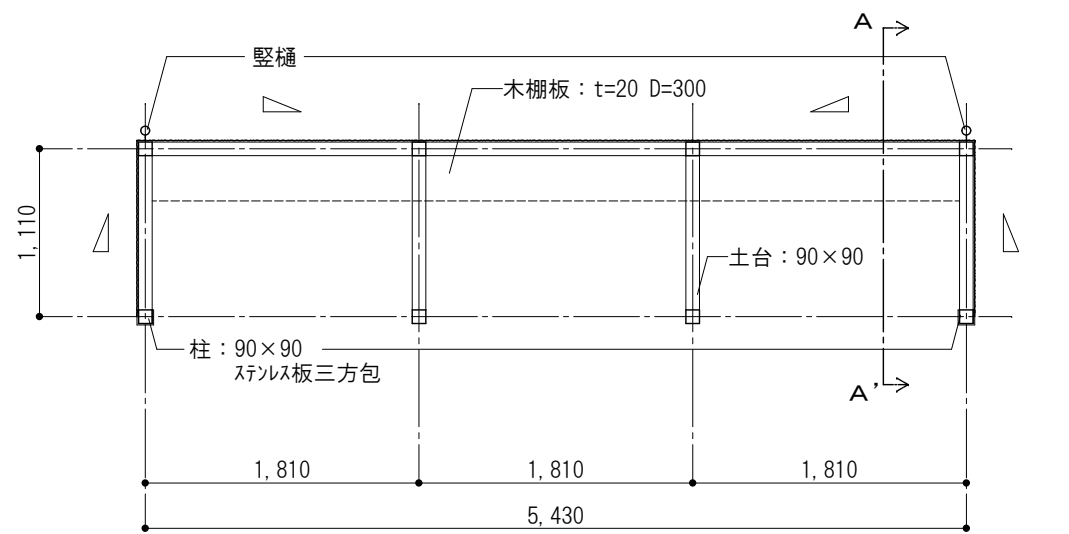
																							
記号	43	名称	樹木	数量	1本	記号	44	名称	樹木	数量	1本	記号	45	名称	樹木	数量	1本	記号	46	名称	樹木	数量	1本
備考 H=5.0 C=0.68 W=2.7						備考 H=4.0 C=1.23 W=3.8						備考 H=11.0 C=1.35 W=10.9						備考 H=3.0 C=0.35 W=2.8					

																							
記号	A	名称	パーゴラ・砂場	数量	1か所	記号	B	名称	登り棒	数量	1か所	記号	C	名称	鉄棒・砂場	数量	1か所	記号	D	名称	すべり台	数量	1か所
(パｰｺﾞﾗ) 柱：ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ ｵ100 H=2,200×4本						支柱：ｽﾃｰﾙｵ100 H=2650						(鉄棒) 支柱：ｽﾃｰﾙｵ60 H=1,000×2本、H=660×1本						W=4,900 D=800 H=2,450					
梁：ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ100×100 L=3,500×2本						枝管：ｽﾃｰﾙｵ50 L=1,000×8本						握り棒：ｽﾃｰﾙｵ25 L=1,550+1,550						支柱・ﾌﾚｰﾑ：ｽﾃｰﾙ					
母屋：ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ100×50 L=3,500×9本						振れ止め：ｽﾃｰﾙｵ30 L=240×8本						(砂場) 三方框：木100角 L=11,200						すべり板：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ					
(砂場) 四方框：木製100角 L=14,860						登り棒：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ H=3,250×8本						ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎立上り：W=100 H=120 L=11,200						階段踏面：ｺﾞﾑ					
ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎立上り：W=100 H=120 L=14,860						ﾀｲﾔ：外径630 幅190 ×2本、外径530 幅150 ×6本						ﾌﾟﾙｰｰﾄ：4,300×3,300											
樹木共						人工芝： ｵ1400						人工芝：900×1,800×1枚、1,050×1800×1枚、1,230×1,800×1枚											
												ﾀｲﾔ：外径530 幅150 ×1本											
																							
記号	E	名称	ジャングルジム	数量	1か所	記号	F	名称	複合遊具	数量	1か所	記号	G	名称	タイヤ	数量	1か所	記号	H	名称	ヒューム管	数量	1か所
W=1,830 D=1,830 H=2,500、ｽﾃｰﾙﾊﾞｲﾌﾞ32角						W=6,000 D=2,200 H=2,850						外径700 幅250 ×8本、ｺﾞﾑ製						外径1,100 内径800 L=1,000×2本、ｺﾝｸﾘｰﾄ製					
						支柱・手摺・ﾌﾚｰﾑ：ｽﾃｰﾙ												保護ｶﾊﾞｰ共					
						屋根・壁面ｶﾊﾞｰ：ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ																	
						ﾃﾞｯｷ床：ｽﾃｰﾙ表面樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ																	
						ﾛｯｸｸﾗｲﾑ：複合板、保護ﾏｯﾄ：730×490 t=3 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製																	
						すべり台ﾛｰﾗｰ：ｽﾃｰﾙ芯+ｱﾙﾐ、保護ﾏｯﾄ：980角 t=30 ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製																	
						階段踏面：ｺﾞﾑ																	



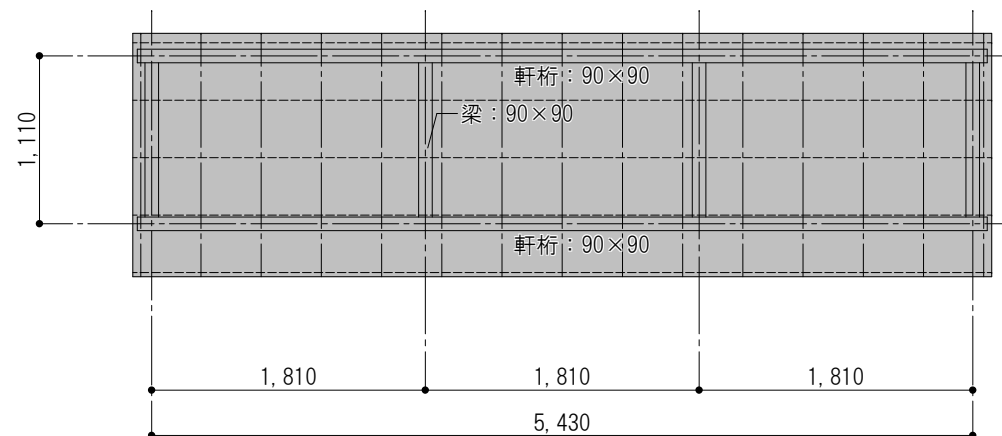
記号	I	名称	As舗装	数量	214.0m2	記号	J	名称	磁器タイル舗装	数量	18.4m2	記号	K	名称	RC階段+花壇（化粧ブロック）	数量	1か所	記号	L	名称	RC擁壁、As舗装	数量	1か所
						300×300 t=30						(RC階段) 13.7m2 蹴上140×5段 (花壇) 化粧ブロック 150×200×400 上段 2段積み L=2,950 中・下段：3段積み L=6,600 カット切：4.8m						RC擁壁：W=300 H=1850 L=14,300 As舗装：47.3m2					
																							
記号	M	名称	門塼（化粧ブロック）	数量	4.5m2	記号	N	名称	門扉	数量	1か所	記号	O	名称	縦格子フェンス	数量	20.8m	記号	P	名称	門扉	数量	1か所
(壁) 化粧ブロック 150×200×400 L=3,200 H=1,250						材質：アルミ W=1,810 H=1,100						材質：アルミ H=840						材質：アルミ W=840 H=1,050					
(門灯) 本体：ダイキャスト・ガラス・プラスチック W=485 D=120 H=120						支柱：70角 H=1,160×2本						支柱：25×35 @1,800						支柱：70角 H=1,110×2本					
台座：スチール W=230 D=70 H=40						縦・上棧：110×33 L=3,780						上棧・下棧：35×25						縦棧：40×33 H=1,000×2本					
蛍光灯：15形×1本						縦・下棧：48×33 L=3,360						格子：18×20 L=675 @125						横棧：45×20 L=730×2本					
						中棧：48×20 L=7,730						化粧ブロック基礎：150×200×400 2段積み						格子：13×16 H=970×15本					
																		独立基礎：200角×2か所					

																							
記号	Q	名称	縦格子フェンス	数量	11. 2m	記号	R	名称	門扉	数量	1か所	記号	S	名称	メッシュフェンス	数量	27. 7m	記号	T	名称	メッシュフェンス	数量	20. 0m
材質：7㍓ H=840						材質：7㍓ W=840 H=1, 050						材質：スチール H=830						材質：スチール H=800					
支柱：25×35 @1, 800						支柱：70角 H=1, 110×2本						支柱@2, 000						支柱@2, 000					
上横・下横：35×25 L=3, 600						縦横：40×33 H=1, 000×2本						スチール製片開き門扉 W=950×1か所を含む						スチール製両開き門扉 W=2, 000×1か所を含む					
格子：18×20 L=675 @125						横横：45×20 L=730×2本						化粧ブロック基礎：150×200×400 2段積み						独立基礎：180角×11か所					
化粧ブロック基礎：150×200×400 2段積み						格子：13×16 H=970×17本																	
						コンクリート基礎：150×1, 000																	
																							
記号	U	名称	掲揚ポール	数量	1か所	記号	V	名称	タイヤ	数量	11本												
ポール：スチールφ50 H=10. 0m						外径630 幅190																	
添え柱：木製100角 H=3, 200																							



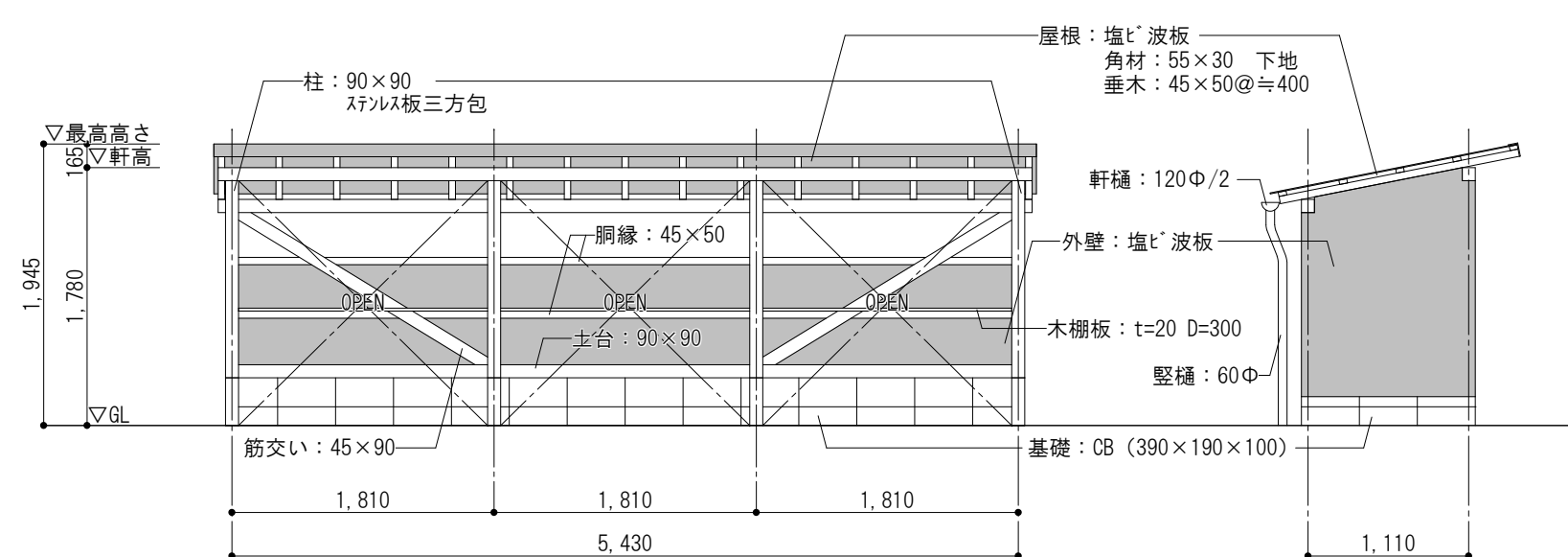
平面図 S=1/50

筋交い: 45x90

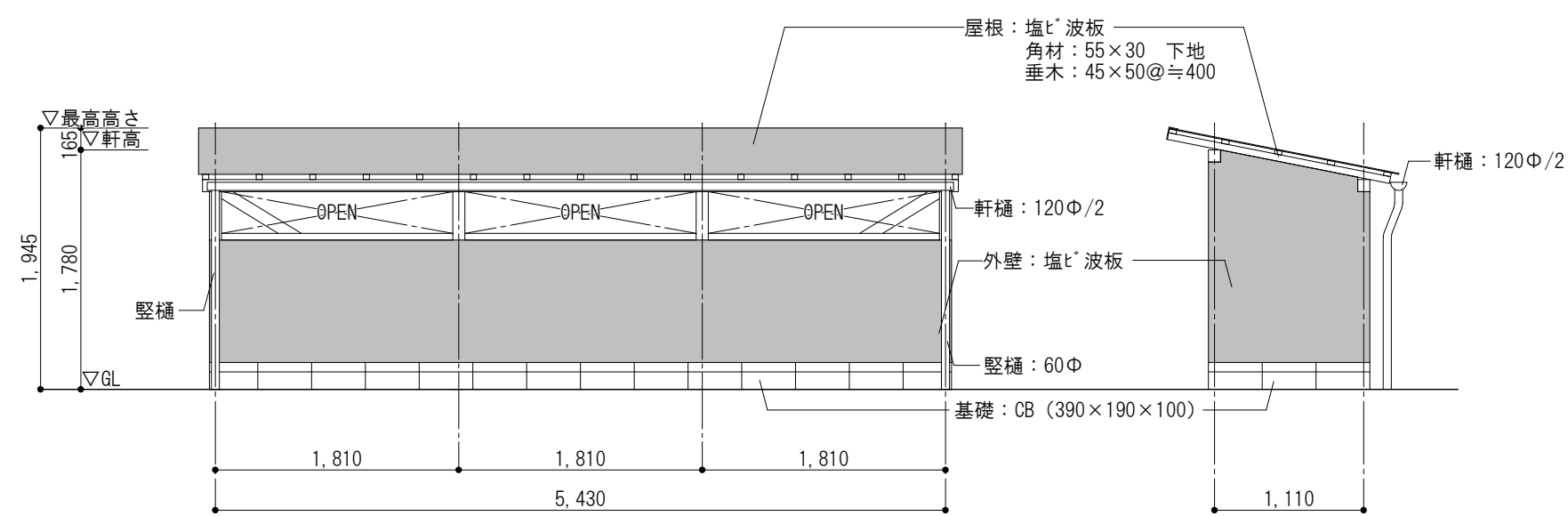


小屋伏図 S=1/50

--- 垂木: 45x50
--- 屋根下地: 55x30
■ : 塩ビ波板を示す

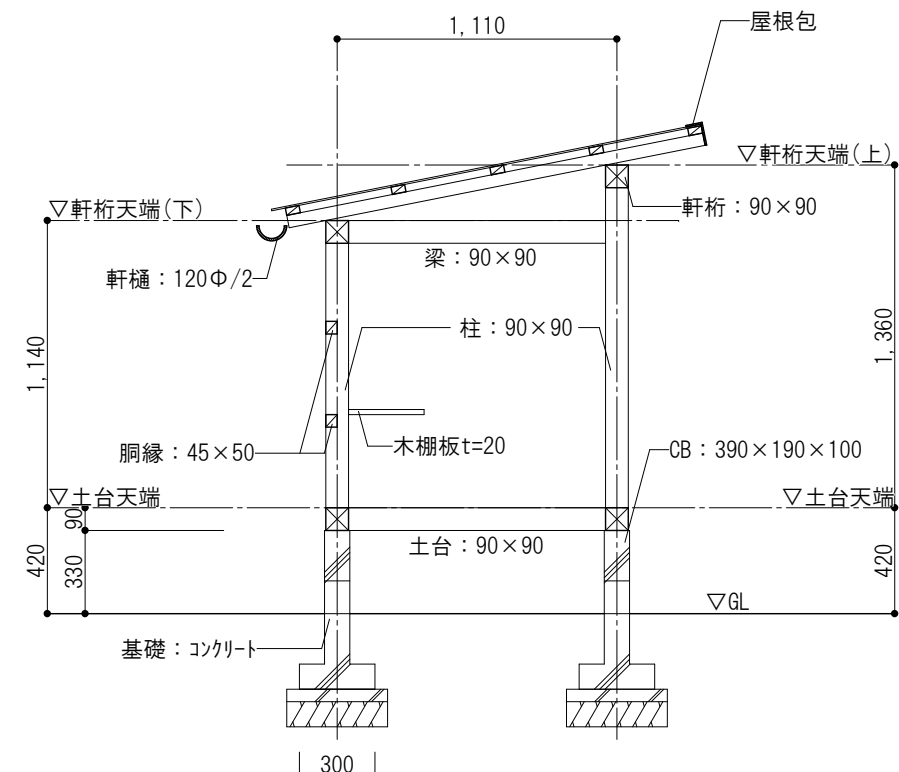


北立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50

東立面図 S=1/50



A-A' 断面図 S=1/30



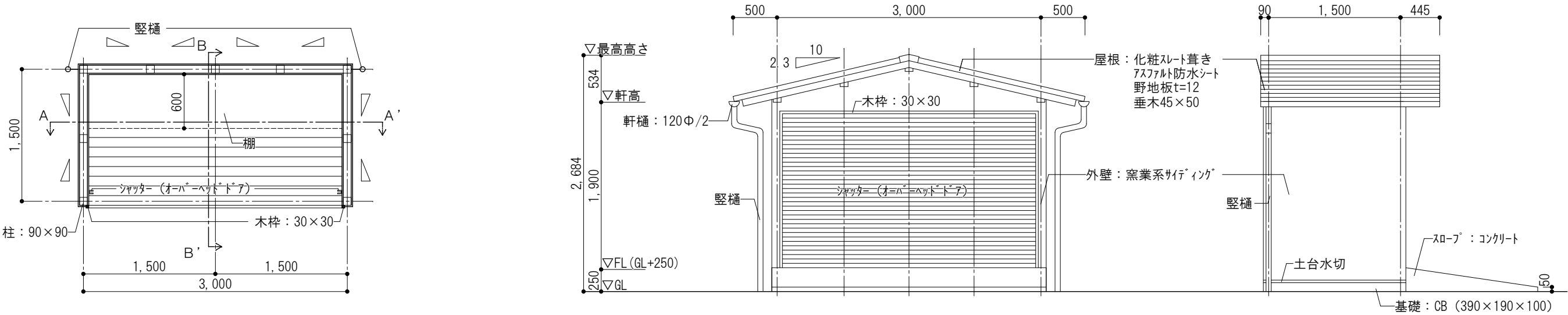
図 1 現況写真(1) 北面



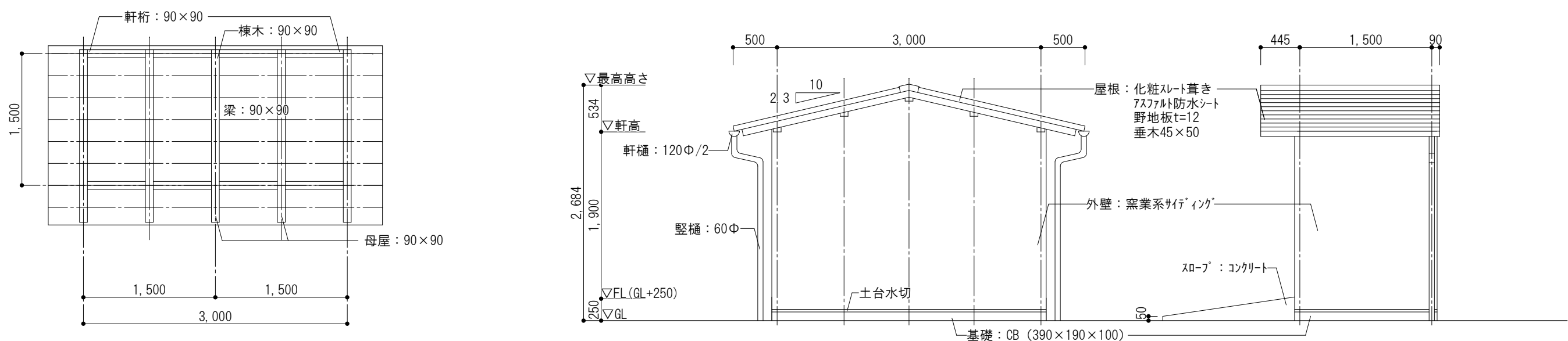
図 2 現況写真(2) 東面

【遊具置場】

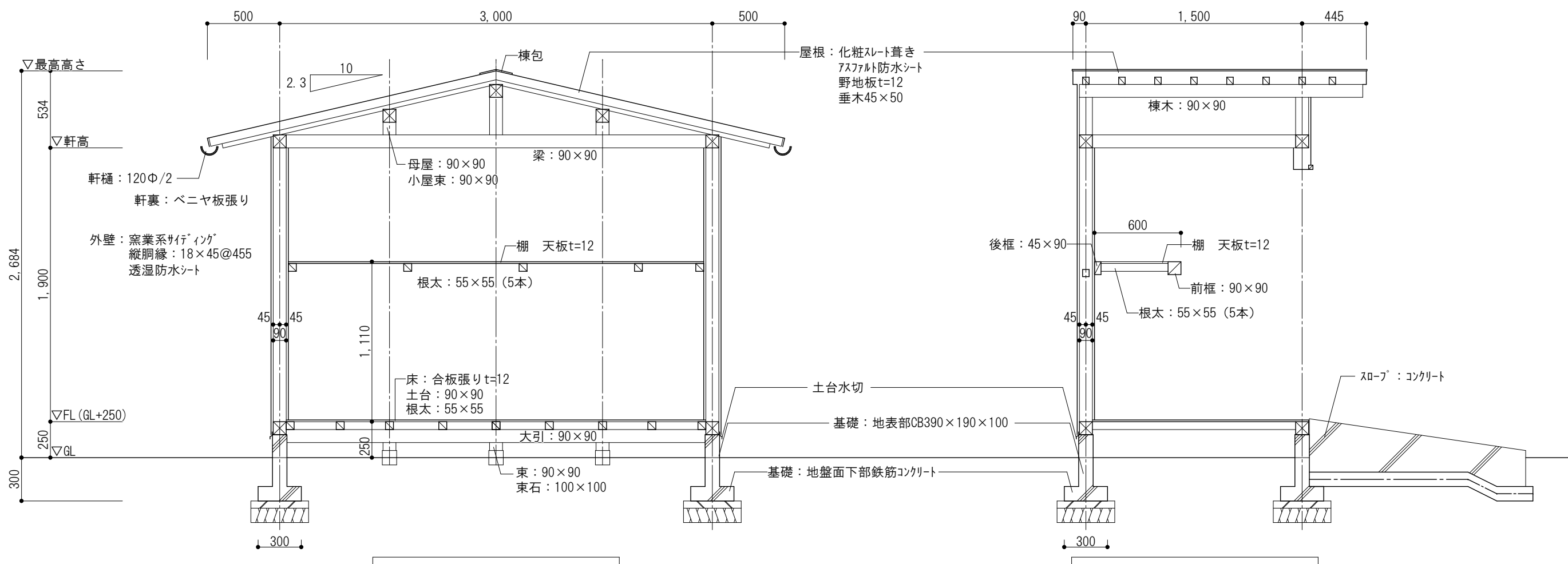
工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称					
解体撤去図 (7)				縮尺 図示	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	G-21



平面図 S=1/50 筋交い：45×90 西立面図 S=1/50 北立面図 S=1/50



小屋伏図 S=1/50 垂木：45×50 東立面図 S=1/50 南立面図 S=1/50



A-A'断面図 S=1/30 B-B'断面図 S=1/30



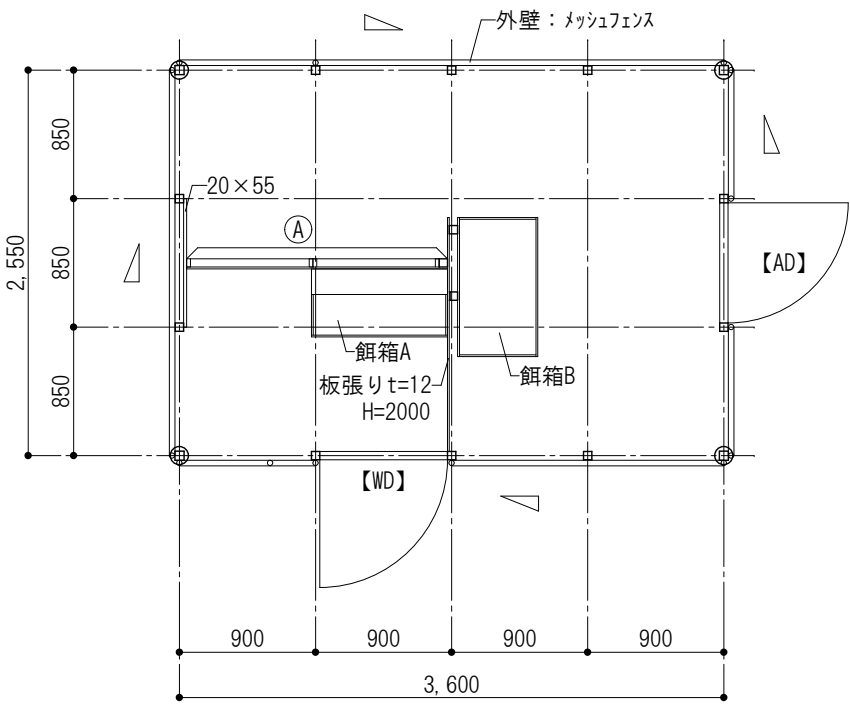
図 1 現況写真(1) 西面



図 2 現況写真(2) 北面

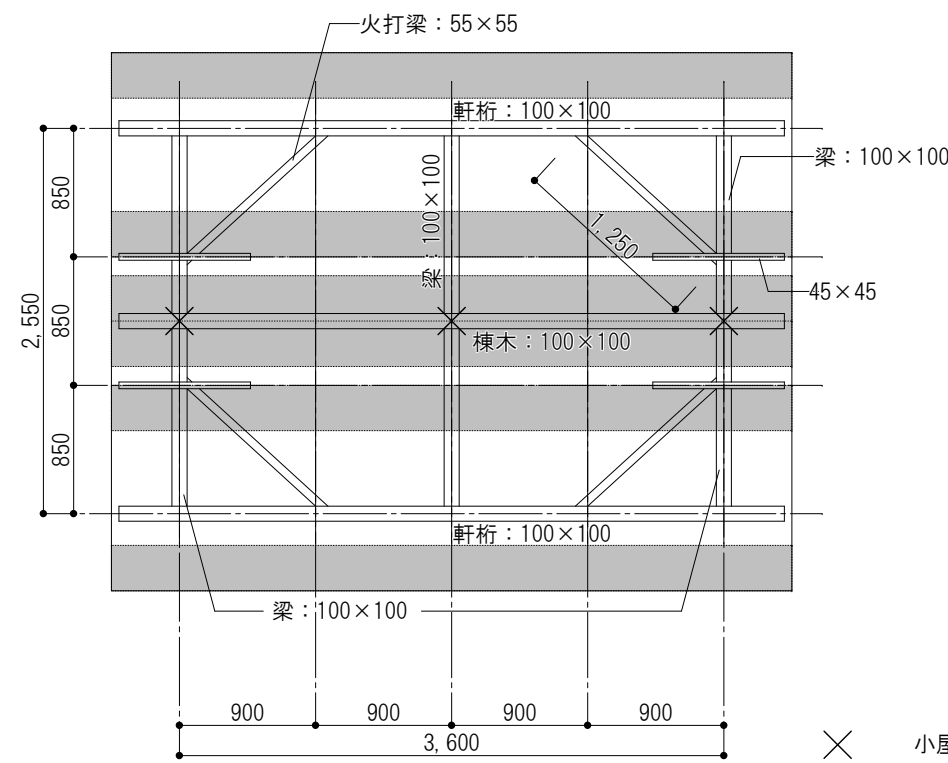
【物 置】

工事名称 あいの保育園改築工事	図面名称 解体撤去図 (8)	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-22
				縮尺 図示		



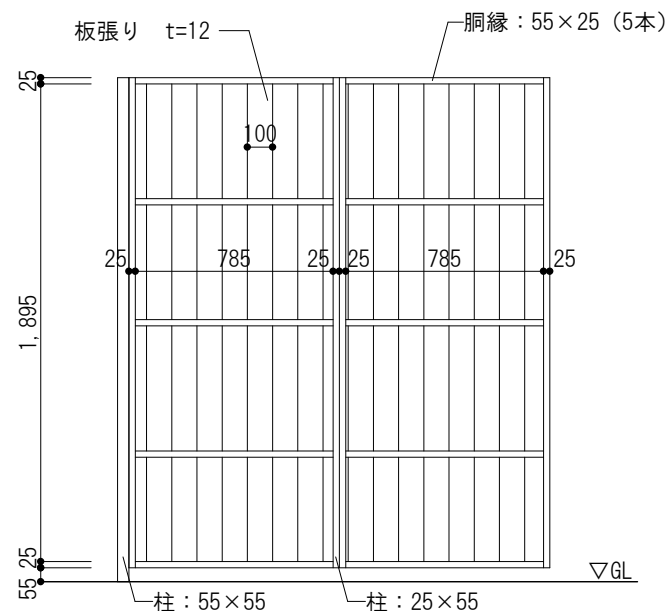
平面図 S=1/50

筋交い：45×90
隅柱：スチールコラム 60×60
その他：木柱 55×55

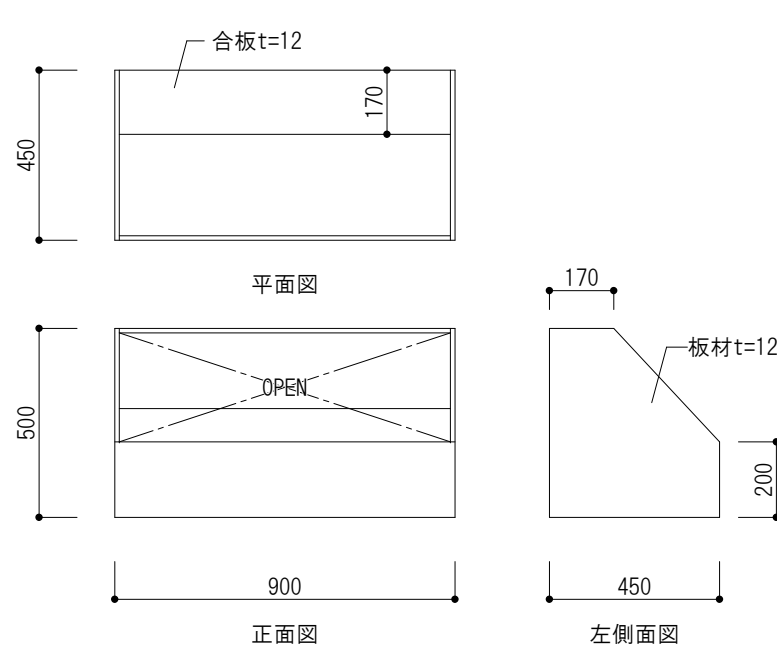


小屋伏図 S=1/50

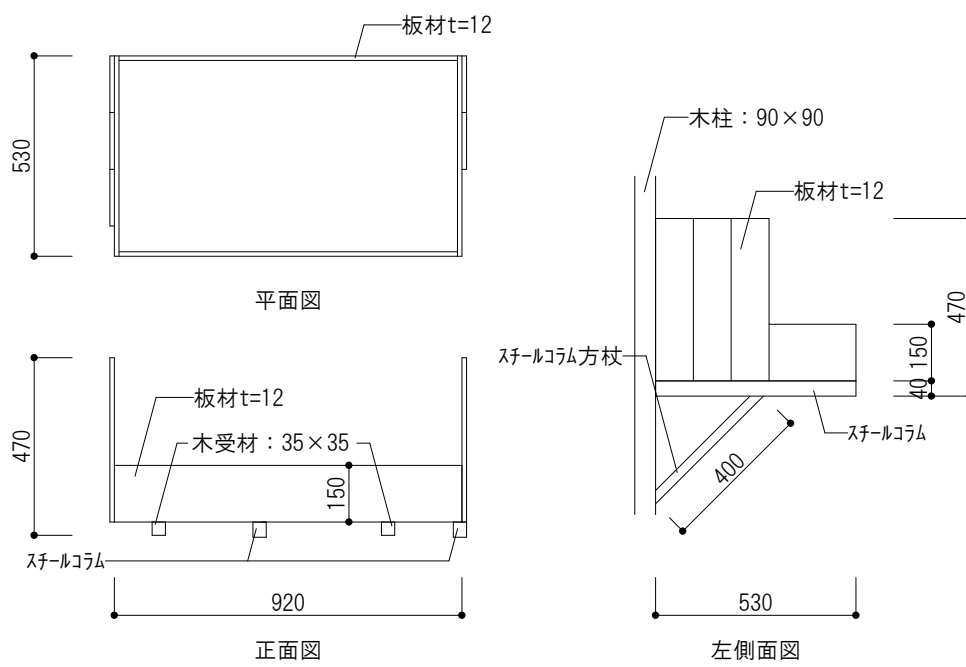
小屋束：100×100
垂木：45×45
野地板：t=12 W=300



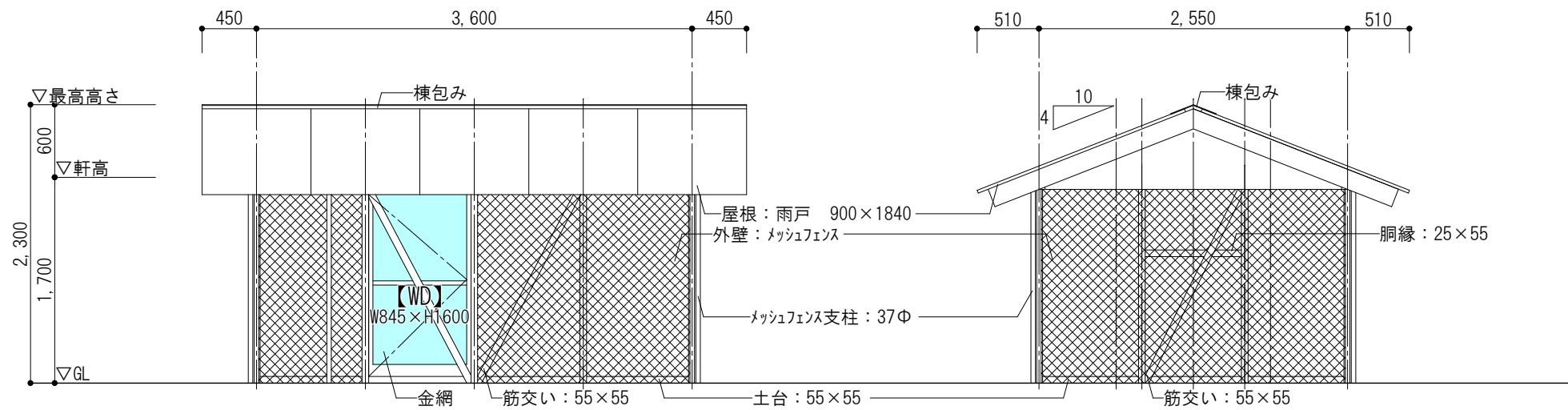
①部間仕切壁 S=1/30



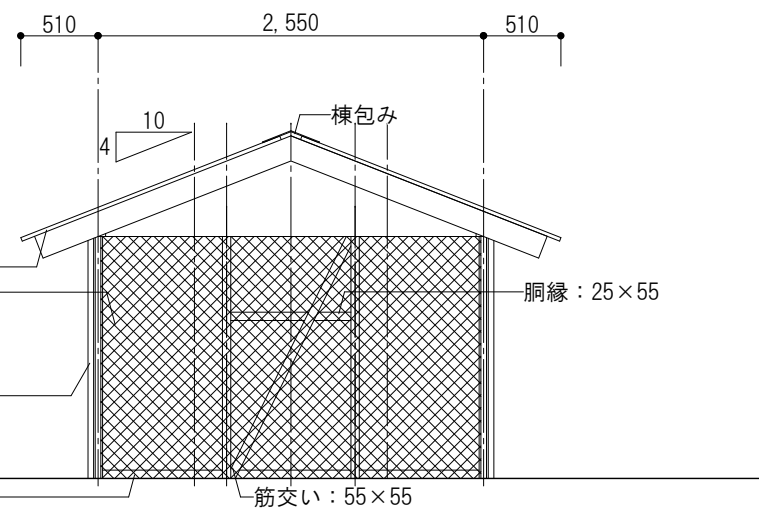
餌箱A S=1/20



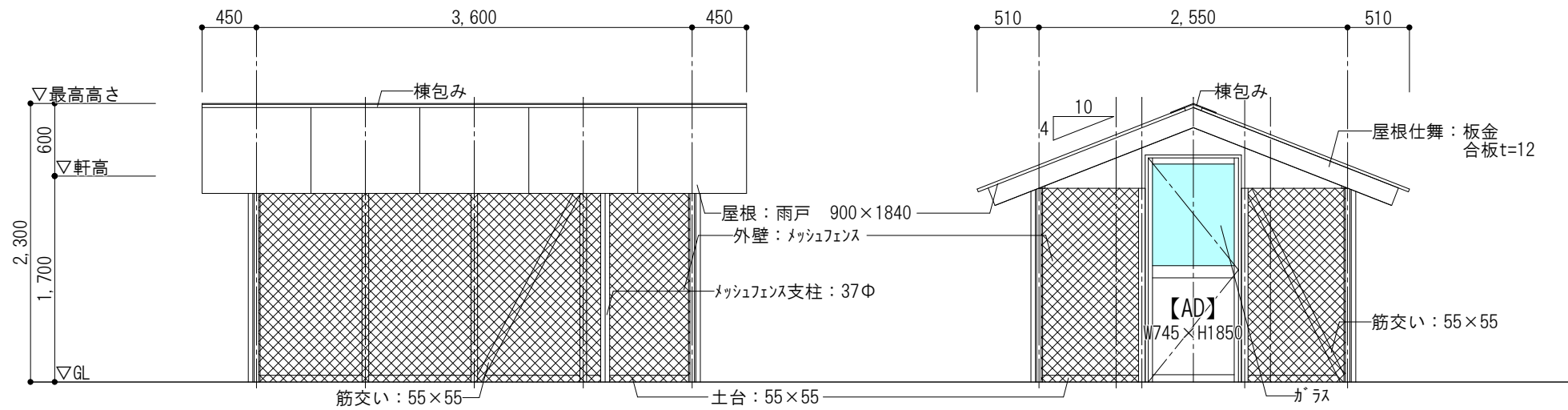
餌箱B S=1/20



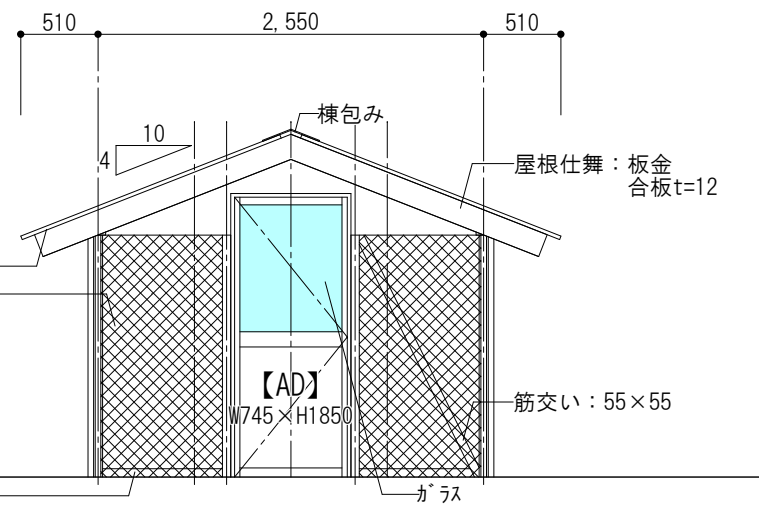
北立面図 S=1/50



東立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50



図1 現況写真(1) 屋内



図2 現況写真(2) 西面



図3 現況写真(3) 南面

工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 G-23
図面名称 解体撤去図 (9)			縮尺 図示		

新 構造設計特記仕様 その1

・修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

1. 本仕様の適用範囲

(1) 本仕様の適用範囲

本特記仕様および配筋標準図は、設計基準強度が^a 18 N/mm²以上 60 N/mm²以下のコンクリートと、JIS G 3112に規定するSD295A、SD295B、SD345、SD390およびSD490の鉄筋コンクリート用棒鋼を用いる高さが^a 60 m 以下の鉄筋コンクリート造、鉄骨造等建築物の設計及び工事に適用する。

(2) 仕様書等の優先順位

- 設計図書および仕様書の優先順位は以下による。
- ①特記仕様
 - ②設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）
 - ③標準図（鉄筋コンクリート構造配筋標準図など）
 - ④建築工事標準仕様書・同解説（日本建築学会）等

2. 建築物の構造内容

(1) 建築場所

(2) 工事種別

■新築 □増築 □改築 □ □

(3) 構造設計一級建築士の関与

- 必要 ■必要としない
- 法第20条第二号（□RC造高さ 20 m超 □S造 4 階建以上 □木造高さ 13 m超 □その他）
□

(4) 階数

地下	階	地上	1 階	塔屋	階
地下	階	地上	階	塔屋	階
地下	階	地上	階	塔屋	階

(5) 構造種別

構造種別	該当階等	架構特徴等
<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 (RC)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 免震建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 制震建物
<input type="checkbox"/> 鉄骨造 (S)	階～ 階	<input type="checkbox"/> 塔状建物
<input checked="" type="checkbox"/> 木造	1階	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(6) 主要用途

□事務所 □共同住宅 □病院 □店舗 □倉庫 ■児童福祉施設

(7) 屋上付属物

□キュービクル kN □高架水槽 kN □広告塔 kN □煙突 m
□太陽光発電設備 □ □

(8) 設計荷重

(a) 主な積載荷重 (N/m²)

室 名	床 用	架 構 用	地 震 用

(b) 1次設計用地震力

C_o = 0.2 Z = 0.9 R_t = 1.0 K (地下) =

(c) 風荷重

地表面粗度区分 III 基準風速 V₀ = 38 m/sec

(d) 雪荷重

■垂直積雪量 10 cm □設計用雪荷重 kN/m² □

(e) 特殊の荷重及び仕上材

□エレベーター kN 基 □受水槽 kN □エスカレーター
□ □ □

(9) 構造計算ルート

X方向ルート - () Y方向ルート - ()

(10) 一次設計時用層間変形角

X方向 1/ rad Y方向 1/ rad

(11) 付帯工事

□門塀 □擁壁 □駐輪場 □機械式駐車場 □

(12) 特定天井

□有 □無

(13) 屋根、床、壁

材 種	型式	厚	その他	使用箇所	仕様・構法
ALC (JIS A 5416)					
押出し成形セメント版	厚			□壁 □床版	□スライド □ポルト止め
□ハーフPca版 □Pca版	厚			□壁 □床版	□ロッキング □
折 版	H=	厚		□屋根 □	□
特殊デッキプレート 大臣認定()	型式	厚		□屋根 □床版	□

3. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

階	適用箇所 部 位	設計基準強度 F _c = N/mm ²	品質基準強度 F _q = N/mm ²	スランプ cm (スランプフロー)	比 重 γ = kN/m ³	備 考
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/> 柱 <input type="checkbox"/> 梁 <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 <input type="checkbox"/>					
1	■床版 □ ■基礎 ■地中梁	24		18		
	<input type="checkbox"/>					
	<input type="checkbox"/>					
	土間コンクリート □					※本仕様適用外
	捨てコンクリート □					※本仕様適用外
	セメントの種類	■普通ポルトランドセメント □中層ポルトランドセメント □低熱ポルトランドセメント □				
	細骨材の種類	■砂 □山砂 □砕砂 □				
	粗骨材の種類	■砂利 □砕石 □ □				
	水の区分	□水道水 □地下水 □工業用水 □				
	構造体コンクリート強度を保証する材齢	材齢 (■28日 □56日 □91日 □) 養生 (■標準 □現場水中 □現場封かん □)				
	単位水量	■ 185 kg/m ³ 以下 □ 175 kg/m ³ 以下 □				
	単位セメント量	■ 270 kg/m ³ 以上 □				
	混和剤	□ AE減水剤 □ 高性能減水剤 □ □ □ □ □				
	空気量	■ 4.5 % 以下 □ 3.0 % 以下 □				
	塩化物量	■ 0.3 kg/m ³ 以下 □ □				
	水セメント比	■ 65 % 以下 □ 50 % 以下 □				

(2) コンクリートブロック (□ JIS A 5406)

□ A種 □ B種 □ C種 厚 □ 100 □ 120 □ 150 □ 190 使用箇所 (□ □)

(3) 鉄 筋

鉄 筋	種 類	使用径 mm	使用箇所	備 考
異 形 鉄 筋 (JIS G 3112)	■ SD295 A	D10～D16		■重ね継手
	□ SD295 B			■ガス圧継手
	■ SD345	D19		□溶接継手
	□ SD390			□機械式継手
	□ SD490			□
	□			□機械式定着工法
高強度せん断補強筋	□ 685			□大臣認定番号 MSRB-
	□ 785			
	□ 1275			
	□			
溶 接 金 網 (JIS G 3551)	□			
	□			

注1) SD490をガス圧接する場合は施工前に試験を行うこと。

注2) 各継手の使用詳細については本仕様その2の9. (2)鉄筋の項の鉄筋継手の項に■にて表示すること。

(4) 鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□SN400A □SN400B □SN400C		□有 □無	JIS G 3136
□SN490B □SN490C □		□有 □無	JIS G 3136
□SS400 □SS490 □		□有 □無	JIS G 3101
□SM400A □SM490A □		□有 □無	JIS G 3106
□BCR295 □BCP235 □BCP325		□有 □無	大臣認定品 認定番号 MSTL-
□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	JIS G 3466
□SSC400 □ □		□有 □無	JIS G 3350
□ □ □			
□ □ □			
□ □ □			
溶接材料 □ □			JIS Z
□ □ □			

(5) ポルト等

□高力ボルト
□F10T (JIS B1186) □S10T 大臣認定番号 () (□M16、□M20、□M22、□M24、□)
□溶融亜鉛めっき高力ボルト F8T 大臣認定番号 () (□M16、□M20、□M22、□M24、□)
□
□ポルト (JIS B1180) M M □ 4.8(4T) □ □
■アンカーボルト (構造用アンカーボルト)
□SS400 M L= mm ナット (□シングル、□ダブル)
■ABR400 M L= mm ナット (□シングル、□ダブル) (JIS B 1220)
□ M L= mm ナット (□シングル、□ダブル)

□頭付スタッド (JIS B1198)

φ = L= mm 使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)
φ = L= mm 使用箇所 (□柱 □大梁 □小梁)

4. 地 盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験掘 (支持層の確認)			平板載荷試験			液化化判定		
スウェーデン式サウンディング	■		現場透水試験			PS検層		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

深度	土 質	N 値	標準貫入試験						○調査地番				
			1 0	2 0	3 0	4 0	5 0	6 0					
GL ▽									○位置図				
										○支持地盤、地層及び深さに についてのコメント			
											○孔内水位 GL — m		
												○近隣データの調査地番と 設計地番とは約 mの距離がある	
													○備考（土質試験の内容等） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

新 構造設計特記仕様 その2

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

9. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

鉄筋コンクリート工事の施工に関しては記載無きは、JASS 5 2015 による。

(a) コンクリートの仕様

本仕様書では、JASS 5に規定する普通骨材を用いた一般仕様のコンクリートを「普通コンクリート」と定義し、表9.1に示す様に設計基準強度が36N/mm²以下のコンクリートについてはJASS5の3節～11節を適用し、36N/mm²を超えるコンクリートについてはJASS5の17節（高強度コンクリート）を適用する。また、設計基準強度もしくは品質基準強度と構造体強度補正値から定める調合管理強度以上とし、発注するレディーミクストコンクリートの呼び強度が表9.2に示すJIS規格外となる場合は、法第37条の大匠認定を受けた製品を用いる必要がある。軽量コンクリートについてはJASS 5の14節によること。

表9.1 コンクリート圧縮強度(N/mm²)に応じた仕様書の使い分け

設計基準強度 F _c	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60
JASS 5での区分	普通コンクリート							高強度コンクリート							

表9.2 レディーミクストコンクリートのJIS規格品

調合管理強度(N/mm ²)	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	60超
----------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

呼び強度〔JIS規格品〕	21	24	27	30	33	36	40	42	45	50	55	55	60	60	※
--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

※印は規格外

(b) 品質と施工

- 構造体の計画供用期間の級は特記による。特記が無い場合は標準とする。
 - 標準
 - 長期
 - 超長期
- コンクリートは JIS A 5308（レディーミクストコンクリート） に適合するJIS認証工場の製品とする。
- 設計基準強度が 36 N/mm²を超えるコンクリートを扱うレディーミクストコンクリート工場は、「高強度コンクリート」の製品認証を受けているか、建築基準法第37条第二号によって国土交通大臣が指定建築材料として認定した高強度コンクリートの製造工場とする。
- レディーミクストコンクリート工場および高強度コンクリートを打設する施工現場には、コンクリート主任技士またはコンクリート技士、あるいはこれらと同等以上の知識経験を有すると認められる技術者が常駐していなければならない。
- 施工者は、工事に先立ち、コンクリートの調合・製造計画、施工計画、品質管理計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの流動性は、スランプまたはスランプフローで表し、設計基準強度が 36 N/mm² 以下 33 N/mm² 以上の場合スランプ21cm以下、33 N/mm²未満の場合スランプ18cm以下とし設計基準強度が36 N/mm²超 45 N/mm²未満の場合はスランプ 21 cm以下またはスランプフロー 50 cm以下、設計基準強度が 45 N/mm² 以上の場合スランプ 23 cm以下またはスランプフロー 60 cm以下とし、特記による。
- コンクリートに含まれる塩化物質は、塩化物イオン量として 0.3 kg/m³以下とする。
- コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、原則として120分を限度とする。
- コンクリート打込み時の自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- 打継ぎ部は構造的に影響の少ない位置を選び打継ぎ処理を行い、打込み前に十分な水湿しを行う。
- 打込み後の湿潤養生の期間は、セメントの種類および設計基準強度に応じて3日以上とする。

(c) 調合および構造体コンクリート強度

i) 高強度コンクリート

- 調合強度を定めるための基準とする材齢は、特記による。特記のない場合は 28日とする。
- 構造体コンクリート強度を保証する材齢は、特記による。特記のない場合は 91日とする。
- 構造体コンクリート強度は、次の①または②を満足するものとする。
 - ① 標準養生した供試体による場合、調合強度を定めるための基準とする材齢において調合管理強度以上とする。
 - ② 構造体温度養生した供試体による場合、構造体コンクリート強度を保証する材齢において設計基準強度に 3 N/mm² 加えた値以上とする。
- 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。
$$F_m = F_c + \alpha_s n \quad (N/mm^2)$$
$$F_m : \text{高強度コンクリートの調合管理強度} \quad (N/mm^2)$$
$$F_c : \text{コンクリートの設計基準強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\alpha_s n : \text{高強度コンクリートの構造体強度補正値で JASS 5 による。}$$
- 調合強度は標準養生供試体の圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。
$$F \geq F_m + 1.73 \sigma_H \quad (N/mm^2)$$
$$F \geq 0.85 F_m + 3 \sigma_H \quad (N/mm^2)$$
$$F : \text{高強度コンクリートの調合強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\sigma_H : \text{高強度コンクリートの圧縮強度の標準偏差} \quad (N/mm^2) \text{ で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績がない場合は、} 0.1 (F_c + \alpha_s n) \text{ とする。}$$

ii) 普通コンクリート

- 調合を定めるための基準とする材齢は、原則として 28日とする。
- 構造体コンクリート強度は表9.3を満足すれば合格とする。

表9.3 構造体コンクリートの圧縮強度の判定基準

供試体の養生方法	試験材齢 ⁽¹⁾	判定基準
標準養生 ⁽²⁾	28 日	$X \geq F_m$
コ ア	91 日	$X \geq F_q$

ただし、X：1回の試験における3個の供試体の圧縮強度の平均値 (N/mm²)

F_m: コンクリートの調合管理強度 (N/mm²)

F_q: コンクリートの品質基準強度 (N/mm²)

[注] (1) 早い材齢において試験を行い、合否判定基準を満たした場合は、合格とする。

(2) 工事監理者の承認を得て、供試体成型後、翌日までは20±10℃の日光および風が直接当たらない箇所で、乾燥しないように養生して保管することができる。

- * 標準養生供試体の代わりにあらかじめ準備した現場水中養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日までの平均気温が20℃以上の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上であり、平均気温が20℃未満の場合は、3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm² を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。
- * コア供試体の代わりにあらかじめ準備した現場封かん養生供試体によることができる。その場合の判定基準は材齢28日を超え91日以内のn日において3個の供試体の圧縮強度の平均値から 3 N/mm² を減じた値が品質基準強度以上であれば合格とする。

- 調合管理強度は、以下による。
$$F_m = F_c + \alpha_s n \quad (N/mm^2)$$
$$F_m : \text{コンクリートの調合管理強度} \quad (N/mm^2)$$
$$F_q : \text{コンクリートの品質基準強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\alpha_s n : \text{標準養生した供試体の材齢} m \text{ 日における圧縮強度と構造体コンクリートの} n \text{ 日における圧縮強度の差による構造体強度補正値} \quad (N/mm^2)$$
- 調合強度は標準養生した供試体の材齢 m 日における圧縮強度で表すものとし、下記の両式を満足するように定める。調合強度を定める材齢 m 日は、原則として 28 日とする。
$$F \geq F_m + 1.73 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F \geq 0.85 F_m + 3 \sigma \quad (N/mm^2)$$
$$F : \text{コンクリートの調合強度} \quad (N/mm^2)$$
$$\sigma : \text{使用するコンクリートの圧縮強度の標準偏差} \quad (N/mm^2) \text{ で、レディーミクストコンクリート工場の実績による。実績のない場合は} 2.5N/mm^2 \text{、または} 0.1F_m \text{ の大きい方の値とする。}$$

(d) 検査

- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し、工事監理者の承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合 1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
- スランプの許容差は普通コンクリートの場合、スランプが 8cm以上18cm以下の場合±2.5cm、21cmの場合±1.5cm（呼び強度27以上で高性能AE減水剤を使用する場合は±2cm）とする。高強度コンクリートの場合は、スランプが 18cm以下の場合±2.5cm、21cm以上の場合±2cmとし、スランプフローの許容差は、目標スランプフローが 50cm以下の時は±7.5cm、50cmを超える時は±10cmとする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度試験は、普通コンクリートでは標準養生を行った供試体を用いて材齢 28日で行い、1回の試験は、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 3個の供試体を用いて行う。3回の試験で 1検査ロットを構成する。高強度コンクリートでは、打込み日かつ 300m³ごとに検査ロットを構成して行う。1検査ロットにおける試験回数は 3回とする。検査は適当な間隔をあげた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体による試験結果を用いて行う。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生とする。
- 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は普通コンクリートでは、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ 150m³またはその端数ごとに 1回行う。1回の試験には適当な間隔をおいた 3台の運搬車から 1個ずつ採取した合計 3個の供試体を用いる。高強度コンクリートでは打込み日、打込み工区かつ 300m³ごとに行う。検査には適当な間隔をあげた任意の 3台のトラックアジテータから採取した合計 9個の供試体を用いる。検査に用いる供試体の養生方法は標準養生または構造体温度養生とする。
- 使用するコンクリートの圧縮強度の判定は、JASS5による。構造体コンクリートの圧縮強度の判定は、(c) 調合および構造体コンクリート強度による。
- コンクリートの試験は、「建築物の工事における試験および検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。

試験・検査機関名	(都知事登録	号)
代行業者名	(登録番号	号)
代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。		

(2) 鉄 筋

(a) 施工

- 鉄筋はJIS 8 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合するものを用いる。溶接金網および鉄筋格子は、JIS 8 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合するものを用いる。
- 高強度せん断補強筋は、技術評価を取得し、建築基準法第37条の材料認定を受けたものを用いる。
- 鉄筋の加工寸法、形状、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)～(3)」による。
- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手、機械式継手または溶接継手によることとし、鉄筋径と使用箇所を定め特記による。

表9.4 鉄筋の継手

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径	使用箇所
	(1) 引張力最小部位	(2) (1) 以外の部位 (注)				
		A 級	B 級	SA級		
■ 重ね継手	標準図による				□ D () 以下	
■ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□ D () 以上	
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D () 以上	
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D () 以上	

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）』によって換算した部材の条件・仕様によること。

- 機械式継手および圧接継手および溶接継手は（公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」による他、所要の品質が得られるように工事計画および工事管理計画を定めて、工事監理者の承認を受ける。
- ガス圧接の施工は、強風時または降雨時には原則として作業を行わない。ただし、風除け・覆いなどの設備をした場合には、工事監理者の承認を得て作業を行うことができる。
- 圧接技量資格者は、（公社）日本鉄筋継手協会によって認証された技量適格性証明書を工事監理者に提出し、承認を受ける。
- 機械式鉄筋定着工法に用いる定着板には信頼できる機関による性能証明書等を取得した定着金物を用いる。

(b) 検査

継手部の検査方法

- 各継手工法ごとの検査は平12建造1463号による他、具体的な検査方法は、（公社）日本鉄筋継手協会の仕様書を参照のこと。

表9.5 継手の検査

	継手方法	外観検査	引 張 試 験	超音波探傷試験
1	ガス圧接	■有 %	□有 □無 %	個 □有 □無 % 個
2	溶 接	■有 %	□有 □無 %	個 □有 □無 % 個
3	機 械 式	■有 %		個 □有 □無 % 個

ガス圧接部分の検査を超音波探傷検査によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の引張試験は 5本以上とする。（1ロットは同一作業班が同一日中に作業した圧接箇所 で 200箇所程度とする。）

- 鉄筋の継手の試験・検査は、「要綱」第4条の試験機関、又は第8条の検査機関で行うこと。

試験・検査機関名 (都知事登録 号)

(3) かぶり厚さ

- 最小かぶり厚さは、表9.6に規定する設計かぶり厚さを10mm減じた値とする。
- 設計かぶり厚さは、コンクリート打込み時の変形・移動などを考慮して、最小かぶり厚さが確保されるように、部位・部材ごとに定めるものとし、表9.6以上の値とする。

表9.6 設計かぶり厚さ (単位:mm)

構造体の計画供用期間の級		標準・長期		超長期	
部材の種類		屋 内	屋 外 ⁽²⁾	屋 内	屋 外 ⁽²⁾
構造部材	柱・梁・耐力壁	40	50	40	50
	床スラブ・屋根スラブ	30	40	40	50
非構造部材	構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30	40	40	50
	計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽¹⁾	30	40	(30)	(40)

直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部分、擁壁の壁部分	50
基礎、擁壁の基礎・底盤	70

注) (1) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じて定める。
(2) 計画供用期間の級が標準、長期および超長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では設計かぶり厚さを 10mm減じることができる。

- 完成した構造体の各部位における最外側鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- コンクリート構造体に誘発目地・施工目地などを設ける場合は、建築基準法施行令第79条に規定する数値を満足し、構造耐力上必要な断面寸法を確保し、防水上および耐久性上有効な措置を講じれば上記によらなくても良い。

(4) 型 枠

- 型枠および支保工の存置期間は、昭63年建造第1655号に基づき下表による。

表9.7 型枠存置日数 昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）

種 類 部 位	せ き 板			支 柱			
	基礎、梁側、柱、壁	スラブ下、梁下		スラブ下	梁下		
セメントの 種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
	高研セメントA種	高研セメントA種	高研セメントA種	高研セメントA種	高研セメントA種	高研セメントA種	高研セメントA種
	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種

コンクリートの材令 (日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28

コンクリートの圧縮強度	※ 5.0 N/mm ²	設計基準強度の50%	設計基準強度の	85%	100%
-------------	-------------------------	------------	---------	-----	------

※ JASS 5では普通コンクリートの場合計画供用期間の級が標準にあつては 5 N/mm²以上、長期及び超長期の場合は 10 N/mm²以上、また高強度コンクリートの場合は 10 N/mm²以上。

注) 1 片持ち梁、庇、スパン 9.0m以上の梁下は、工事監理者の承認による。
注) 2 大梁の支柱の盛替えは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛替えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛替え後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛替えは、小梁が終ってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛替えをしてはならない。
注) 6 直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注) 7 支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動または衝撃を与えないように行うこと。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 S-02
	図面名称	構造設計特記仕様2			縮 尺 S=1/120		

開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第 223530号

木質工事特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
- ※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書
- 設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 準拠する図書
- 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）
- 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
- 「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」（日本住宅・木材技術センター）
- 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）
- 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
- 設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）

2. 設計図

3. 特記仕様書

4. 標準図
- (5) 疑義
- 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
- 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出
- 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾
- 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出
- 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

☒は適用項目を示すものとする。

2.1 木質材料

屋根ふき材、外装材は令第39条に適合させること。

(1) 構造用製材

本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

☒【構造用製材】（意匠図による）

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
土台	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		
大引	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		
柱	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		
梁	スギ	無等級	含水率20%以下		
小屋束	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		
垂木	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		
母屋	ヒノキ	無等級	含水率20%以下		

- ☐ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 背割りを行う部材の有無
- ☒ 有（背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。）
- ☐ 無
- ☐ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように注意する。
- ☒ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

☒【構造用集成材・LVL】

ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。

部 位	樹種名	品 名 (LVLの場合は区分)	強度等級 (LVLの場合は曲げ性能)	材面の品質	使用環境	ホルムアルデヒド 放 散 量
大屋根隅木	ヒノキ		E95-F270			
小屋束	ヒノキ		E95-F270			

(3) 構造用合板、構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等

本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。

☒【構造用合板・構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等】

単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。

部 位	強度等級 (OSBの場合は曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸 法	ホルムアルデヒド 放 散 量
耐力壁	構造用合板			9mm	F☆☆☆☆
床	構造用合板			12mm	F☆☆☆☆

- 注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は1級がB-C、2級がC-D
OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること。
- 注2. 特注品の場合は納期に注意すること (2ヶ月以上)

(4) 丸太・そま角

☐【丸太・そま角】

本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級

2.2 接合具

接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。

接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27 (JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

(1) くぎ、木ネジ

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所	頭部／胴部形状
<input checked="" type="checkbox"/> N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N		耐力壁、床板、屋根 血頭網目付き / スムース
<input checked="" type="checkbox"/> C N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	75mm	耐力壁、床板、屋根 平頭フラット
<input type="checkbox"/> Z N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N		補強金物 平頭 フラットノバープ
<input type="checkbox"/> S 釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304		耐力壁、床板、屋根 網目付き / スムース
<input type="checkbox"/> G N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N		石膏ボード用 平頭フラット
<input type="checkbox"/>					

(2) 木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

(3) ボルト、ナット、座金

ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505	SS400 SWRM8～10	構造図記載 構造図記載
<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	
<input type="checkbox"/> 全ネジボルト				生地
<input type="checkbox"/>				
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505	SS400 SNR400B、490B SWRM8～10	構造図記載 構造図記載
<input type="checkbox"/>	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	
				生地
<input checked="" type="checkbox"/> 角座金	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400	構造図記載 構造図記載
<input checked="" type="checkbox"/> 丸座金	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	
<input type="checkbox"/>				生地
<input type="checkbox"/>				

- ・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途と（引張、せん断）に下表により使い分ける。
- 尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様準ずる。（単位：mm）

座金の大きさ	ボルト径	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68

(4) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
<input type="checkbox"/> ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tiに適合する炭素鋼	<input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ラグスクリュー（コーチボルト）	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tiに適合する炭素鋼	<input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> 木 栓	堅木（樹種：)			

- ・ドリフトピンの先端テープー部の長さ：10mm以下
- ・木栓はナラ・ケヤキ・カン等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3～5mm程度面取りすること。

(5) 接合金物、鋼材

種 類	品 名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> 筋かい耐力壁の接合部	構造図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部	構造図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 横架材接合部	構造図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input type="checkbox"/> 鋼材				<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()				<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()				<input type="checkbox"/> ()
<input type="checkbox"/> ()				<input type="checkbox"/> ()

(6) 接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備 考
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

3. 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

(1) 木材の防腐・防蟻処理

木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。

○高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする）

・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる）

保存処理材（性能区分）： K5 K4 K3 K2 K1

AQ認証保存処理材： 1種 2種 3種

○現場処理： 塗布、吹付、浸漬（特記無き場合は、処理量： 300 ml/m²、処理回数：2回）

（注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。）

処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。）

使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	<input checked="" type="checkbox"/> (ヒノキ)	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()
外周筋か以下部1m	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()
外周木質系面材耐力壁下部1m	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()
水周り	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()
その他	<input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()

(2) 土壌処理

☐防蟻薬剤による処理：薬剤（)

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。

☒防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎)

○土壌処理省略 口北海道 口東北 口北陸 口 ()

注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

(3) 耐候処理（塗装）：劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部位	製品名（会社名）	塗り回数

4. 材料品質の検査方法

☒は適用項目を示すものとする。

(1) 構造用製材

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜き取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜き取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

検査項目

- ☒含水率測定☐抜き取り（部位：)☐全数
- ☐ヤング率測定☐抜き取り（部位：)☐全数
- ☒材種・等級の確認☐抜き取り（部位：)☐全数
- ☒外観検査☐抜き取り（部位：)☐全数
- ☒寸法検査☐抜き取り（部位：)☐全数

- ☒日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。
- ☐含水率測定の時期は、監理者の指示による。
- ☐ ()

- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的ヤング係数試験は1荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。
- ・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
- ・特記無き場合は、動的試験は製材後（継手などの工場加工前）に行う。

- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用合板、構造用パネル等
- 搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格 (JAS) ーMDF等の場合は日本工業規格 (JIS) ーの表示ラベルまたは出荷証明書で確認すること。

(3) 接合具

- 現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
- 同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。
- ☐木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

(4) 接合金物

- 現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
- 同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

5. 木材の加工

- (1) 刻み時の注意
- 製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度
- 図面表示は仕上がり寸法である。
- 下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。
- 材種：口 () 口 ()
- 構造用製材、構造用集成材、LVLの材長
- ☐軸組み工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.0mm以下
- ☐調整代をとったボルト接合法の場合（大断面集成材、LVL）：材長の±0.04%以下
- せん断用ボルト穴径（dはボルト径）
- 集成材：d+1.0mm（d≦M12）、d+2.0mm（d≧M16）
- 接合金物等：d+1.0mm（d≦M12）、d+1.5mm（d≧M16）
- ドリフトピン・木栓の木材の穴径：d±0mm（dはドリフトピン・木栓径）
- ドリフトピンの接合金物等の穴径：d+1.0mm (d≦M12)、d+1.5mm (d≧M16) (dはドリフトピン径)
- (3) 表面仕上げ
- 口製材 () 口集成材・LVL () 口その他 ()
- (4) 面取り
- 口柱： () mm 口梁： () mm
- (5) 加工状況の検査
- 口立ち会い検査
- 口外観検査 口加工寸法検査
- 口施工者自主検査記録の提出 []

6. 運搬・建方

- (1) 輸送計画
- 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
- ☐輸送計画書の提出 []
- (2) 集積・保管
- 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
- ☐集積場の確認 []
- (3) 建方計画
- ☒建方計画書の提出
- アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
- 建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
- ☒施工時の安全性に対する検討書の提出 ☐施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
- 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
- アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
- ・アンカーボルトはダブルナットとする。 ☐適用除外 []
- 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
- (6) 建方精度
- ・建方の精度基準は下記による。
- ☐建物の倒れ： ☐e≦H／2500+10mm かつ e≦50mm
- ☐ []
- ☐梁の水平度： ☐e≦L／700+ 5mm かつ e≦15mm
- ☐（節点間のレベル差） ☐ []
- ☐建物のわん曲： ☐e≦L／2500mm かつ e≦25mm
- ☐ []
- ☐柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置
- 柱据え付け面の基準高さからの誤差： ☐±3mm以下 ☐ []
- 通り芯からの誤差： ☐±3mm以下 ☐ []
- 階高： ☐0ー5mm≦ΔH≦+5mm
- ☐ []
- ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

(7) 施工状況の検査

- ☒アンカーボルト施工時の立会い検査
- ☐施工者自主検査記録の提出 []
- ☐地組み時の立会い検査
- ☐施工者自主検査記録の提出 []
- ☒建方時の立会い検査
- ☐施工者自主検査記録の提出 []
- ☒建方後の施工状況の検査
- ☐施工者自主検査記録の提出 []
- ☒最終確認
- 工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等注意到意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
- ☐施工者自主検査記録の提出 []

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第 2 2 3 5 3 0 号</div>	図面番号 S-03
	図面名称	木質工事特記仕様書1			縮 尺 S=1/120		

7. 集成材等木質工事

(1) 共通事項

1-1 適用範囲

本仕様書は、木質部材を主要構造体に用いた木工事に適用する

1-2 準拠基準

a 日本農林規格

農林水産省

b 木造建築工事標準仕様書

公共建築協会

c 建築工事標準仕様書

公共建築協会

d 建築工事標準仕様書・同解説

日本建築学会

e 木質構造設計標準・同解説

日本建築学会

f 鋼構造接合部設計指針

日本建築学会

1-3 用語・記号

本仕様書内では、直交集成材板をC L Tと表記する。

1-4 特記事項の適用

特記事項は、●印を適用する。(○印は適用しない)
同一項目に●印が2ヶ所以上ある場合は、共にこの工事に適用し
その適用範囲は設計図書による。

(2) C L T

2-1 仕様・規格

a C L Tの製造工場は、低ホルムアルデヒド直交集成板J A S認定工場であること。

b 樹種・等級

樹 種	強 度 等 級
○ヒノキ	○ M × 60 A ○ S 60 A ○ S 90 A
○スギ	○ M × 60 A ○ S 60 A ○ S 90 A

※構成の区分は部材リストによる。

接着性能

壁パネル	○ 使用環境 A ○ 使用環境 B ○ 使用環境 C
屋根パネル	○ 使用環境 A ○ 使用環境 B ○ 使用環境 C

ホルムアルデヒド放散量

	○ F ☆☆☆ ○ F ☆☆☆
--	-----------------

c 製品の工場での表面仕上げは、下記の通り

表面仕上げ	○ 無処理
	○ エポキシパテ補修の上サンダー仕上げ
	○ その他 (見えがかり部ペーパー仕上げ)

d 寸法精度

区 分	許容差 (表の数値以下)
厚さ	75mm以下のもの ±1. 5mm
	75mm超のもの 表示された厚さの±2%
幅	±3. 0mm
長さ	±6. 5mm
表面における対角線の差	3. 0mm

(3) 構造用集成材

3-1 仕様・規格

a 構造用集成材の製造工場は、低ホルムアルデヒド直交集成板J A S認定工場であること。

b 樹種・等級

樹 種	強 度 等 級
○スギ	○ E75-F240 ○ ○ E95-F270 ○ E105-F300 ○ E120-F330
●ヒノキ	● E95-F270 ○ E105-F300 ○ E120-F330 ○ E135-F375

接着性能

	○ 使用環境 A ○ 使用環境 B ● 使用環境 C
--	----------------------------

ホルムアルデヒド放散量

	● F ☆☆☆ ○ F ☆☆☆
--	-----------------

c 製品の工場での表面仕上げは、下記の通り

表面仕上げ	○ 無処理
	○ エポキシパテ補修の上モルダー仕上げ
	○ エポキシパテ補修の上サンダー仕上げ

d 寸法精度

区 分	許容差 (表の数値以下)
短辺	大断面 ±1. 5mm
	小・中断面 +1. 5mm -0. 5mm
	大断面 300mm以下のもの +1. 5mm -0. 5mm
長辺	小・中断面 300mm超のもの ±0. 5% (ただし +5mm、-3mmを超えないこと)
	長さ ±5mm

(4) 工場塗装

区 分	程 度	○ 無塗装 ○ 汚れ防止	1 回塗り	
C L T	塗 装	○		
	程 度	○ 無塗装 ○ 汚れ防止 ○ 木口 (吸水防止)	1 回塗り 1 回塗り	
		塗 装	○ パトン #501 (透明) ○ オスモカラー	※オスモカラー

(5) 建て方

特記なき限り 建方の精度規準は下記の通り

a 建物の倒れ 建物の高さ 1/2500+10mm かつ 50mm以内

b 建物のわん曲 建物の長さ1/2500 かつ 50mm以内

c 柱据付面の高さおよびアンカーボルトの位置 柱据付面の基準高さからの誤差は±3mm以内
柱隣接間中心距離の誤差±1mm以内
通り芯からの誤差は±3mm以内

(6) 工作図及び施工要領書

1) 工事に先立ち必要な工作図と共に工場製作要領書及び現場施工計画書を作成し
監督員の承認を受ける。

2) 工場製作要領には、下記の事項を記載・添付する。

a 総則 (適用範囲・準拠図書及び規準・変更・質疑・協議・工事関係者への徹底) 工事、認定書

b 一般事項 (工事概要・製作工場・工場略図・管理組織・管理者名・人員配置作業系統図・工場設備及び使用機器)

c 材料 (使用材料・規格・使用箇所・保管方法)

d 製作 (工作一般・仮組立・接着方法・接合方法・仕上げ面の補修方法・その他)

e 資格

f 検査

g 塗装 (材料・構法・施工箇所)

h 運搬 (運搬計画・責任者・養生方法)

i 工程表

3) 現場施工計画書には下記事項を記載する。

a 現場組織 (工事管理組織・担当技術者・要員計画)

b 建方 (仮設計画・場内仮置き方法・地組計画・楊重計画・安全対策)

c 現場工作 (接着・ボルト接合・その他)

d 資格

e 検査 (建方精度・接合部の試験・検査の要領及び基準)

f 塗装 (材料・工法・施工箇所)

g 安全管理 (安全衛生管理体制・作業主任者及び各種業務有資格者名等)

h 工程表

4) 施工記録は下記事項のうち実施したものを項目別に提出する。

a 材料試験

b 工場製品検査 (形状・寸法・その他)

c 現場施工検査 (建方精度・その他)

d その他試験・検査・主要な補正の記録

(7) その他 記号

記 号	B T	ボルト	F B	フラットバー
	L G	ラグスクリュー	H T B	ハイテンションボルト
	D P	ドリフトピン	G P	ガセットプレート
	L S B	ラグスクリューボルト	R P	リブプレート
	P L	プレート	C P	カバープレート
	A, B L	アンカーボルト	F R	フランジプレート
	B, P L	ベースプレート		

8. 基礎

1 基礎及び立上り部分の構造は、「告示第1347号」に準拠する。

2 基礎の構造は、地盤調査により。下記とする。
ベタ基礎 長期許容応力度 30kN/㎡以上

9. 基礎配筋標準

※記載なき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」及び、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説J A S 5」による。

かぶり厚さ

土に接する部分	構造部分の種別	普通コンクリート
	基礎立ち上がり 地中梁	50 (40)
	基 礎	70 (60)

10. コンクリート工事

(1) 施工計画書

a 工事に先立ち、施工計画書を作成し監督員の承諾を受ける。

b 施工計画書には下記の事項を記載する。

1) 仮設計画、施工順序

2) 施工管理体制
工程管理・出来高管理・品質管理・安全管理などに対する組織と体制。

3) 製造及び運搬
コンクリートの種別・材料製造方法・コンクリートの調合計画書・寒中及び暑中コンクリートの適用期間・現場までの運搬方法など。

4) 現場内運搬及び打ち込み

現場内運搬方法・打ち込み方法・打ち込み区画・打ち込み順序・後打ちコンクリート部分の処置方法・人員配置・締固め方法

5) コンクリートの養生計画・型枠の存置期間など。

6) 型枠の加工及び組立て
型枠及び支保工の材料・型枠の支持方法など。

7) 工法に関する試験
試験項目・試験方法など。

8) 検査
検査項目・検査日程など。

(2) コンクリート図

工事に先立ち、コンクリート躯体図を作成し、監督員の承諾を受ける。

(3) 施工記録

a 施工計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。

b 施工計画書には下記の事項を記載する。

1) 工事概要

2) 実施工程

3) コンクリートの調合及び数量

4) 材料検査記録

5) フレッシュコンクリートの検査記録

6) 工事記録写真

7) その他監督員の支持する必要な事項

(4) 材料

適用部位	基礎・耐圧版・地中梁
種 類	普通コンクリート
設計コンクリート強度	2 1 N/mm2
セメント	普通ポルトランドセメント (JIS R5210)
スランブ	1 8 c m以下
粗骨材	川砂利又は碎石 (JIS A5005)
細骨材	川砂 又は碎石 (JIS A5005)
粗骨材最大粒径	2 0 mm
細骨材最大粒径	2. 5 mm
空気量	4. 5%±1. 5%
水セメント比	5 5 %以下
単位水量	1 8 5 kg/m3 以下
単位セメント比	2 7 0 kg/m3 以上
塩化物含有量	塩化物イオン量 (C1-) 0. 30kg/m3 以下
混和材	A E 減水材 又は高性能 A E 減水材

(5) 練り混ぜ水

水はコンクリート及び鉄筋に対して有害な不純物を含まない清浄なものとする。
鉄筋コンクリートには海水を使用してはならない。

(6) 調合及び製造の一般事項

a コンクリートの計画調合は、所要のワーカビリティ・強度・耐久性が満足されるように定め、監督員の承諾を受ける。

b 計画調合は、試し練りによって定める。ただし、JIS規格品のレディミクストコンクリートを用いる場合は、監督員の承諾を受けて試し練りを省略することができる。

(7) 調合強度及び温度補正

a 調合強度は、標準養生した供試体の材令28日の圧縮強度で表するものとし、設計基準強度に、構造体コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割増し (3N/mm2) を加え強度管理の材令に応じて、気温による補正強度や強度標準偏差を考慮して定める。

b コンクリート強度の温度補正值は、JASS5 (2009年版) に従い決定する。
セメントの種類、およびコンクリート打ち込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲に応じて決める。

(8) 単位水量及び細骨材率

単位水量及び細骨材率は、 (4) に示すコンクリートの品質が得られる範囲内でできるだけ小さくする。

(9) 製造

a コンクリートの製造は、JIS規格品のレディーミクストコンクリートとする。

b レディーミクストコンクリート工場は、監督員の承諾を受ける。

(10) 現場内運搬・打ち込み及び締固め

a 閉そくにより品質の変化したコンクリート、またはポンプ中若しくは輸送管中で水が混入したコンクリートは用いない。

b コンクリート打ち込みは下記 1) ～9) による。

1) 打ちみに先立って、下記イ～ハの事項を定め監督員の承諾を受ける。
イ. 打ちみ区画及び打ちみ順序
ロ. 単位時間当たりの打ちみ量
ハ. 品質の変化したコンクリートの措置

2) 降雨・降雪などにより、コンクリートの品質が著しい影響を受ける恐れのある場合は、監督員の指示により必要な措置を講ずる。

3) コンクリートの練り混ぜ開始から打ち込み終了までの時間の限度は、外気温が25℃未満のときは120分、25℃以上の時は90分とする。

4) 打ちみに先立ち、打ちみ部分を清掃し雑物を除去き、凍結の恐れのある場合を除き散水して型枠を湿潤にする。

5) コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分散しない範囲とする。

6) 打ちみ継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、コールドジョイントが生じない範囲とし、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上のばあいは120分を目安として、監督員の承諾を受けて定める。

7) 上面は所定の位置と勾配に従って、平らに仕上げ、コンクリートの沈みによるひび割れ粗骨材の分離・ブリーディングなどの欠陥は、コンクリートの凝結前に処置する。

8) 打ちみ現場での加水は絶対に行ってはならない。

9) コンクリートの打継ぎ面は、レタンスや脆弱なコンクリートなどを取り除き、湿潤状態にしてから新しいコンクリートを打ち込む。

(11) 養生 (令第75条に適合させること)

a コンクリートは打ちみ終了直後からセメントの水和及びコンクリートの効果が十分に進行するまでの間、急激な乾燥、過度の高温または低温の影響、急激な温度変化、振動及び外力の悪影響を受けないように養生しなければならない。

b 打ちみ後のコンクリートは、下表の期間、散水その他の方法で湿潤に保つ。また、気温の高い場合や直射日光を受ける場合にはコンクリート表面が乾燥することはないようにする。

セメントの種類	期 間
早強ポルトランドセメント	3 日以上
普通ポルトランドセメント	5 日以上
その他のセメント	7 日以上

c 寒冷地においては、コンクリートを寒気から保護し、打ちみ後少なくとも5日間以上コンクリートの温度を2℃以上に保つ。ただし、早強ポルトランドセメントを用いる場合は3日間以上としてよい。

d コンクリート打ちみ後、初期凍害を受ける恐れがある場合は、JASS5寒中コンクリート項による初期養生を行う。

e セメントの水和熱により部材面の中心部の温度が外気温より25℃以上高くなる恐れがある場合は、監督員の指示により適切な養生を行う。

f コンクリート打ちみ後、少なくとも1日間はその上を歩行したり作業したりしてはならない。

(12) 部材断面の位置及び断面寸法の許容差

コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差は、下表による。

項 目		許 容 差
位 置	図示された位置に対する各部材の位置	± 1 0
断面寸法	柱・梁・壁の断面寸法及び床スラブ	－ 5
	屋根スラブの厚さ	+ 1 0
	基礎の断面寸法	－ 1 0
		+ 2 0

(13) 表面の仕上がり状態及び欠陥部の補修

a 型枠取り外し後、じゃんか・空洞・コールドジョイントなどの打ちみ欠陥部の有無を検査する。

b せき板に接するコンクリート表面の仕上がり状態は、セパレータの孔、砂じま、凹所などを補修し、コンクリートの突出部を取り除いて、平滑な表面状態とする。

c 欠陥部の種類及び程度に応じた補修法を定め、監督員の承諾を受ける。

(14) せき板及び支保工の材料

a 合板は、日本農林規格「コンクリート型枠用合板」に規定するものを用いる。

b 打放しコンクリートのせき板に用いる合板は、上記規格「1種の2」 (表面加工品) を用いるか、または、" 1種の1" でかつ (社) 日本合板工業組合連合会の定めた「コンクリート型枠合板の耐アルカリ性能に関する規制について (製造基準)」に規定するものを用いる。

c せき板に用いる木材は、製材・乾燥・集積などの際できるだけ直射日光にさらされないようシートなどを用いて保護する。

d せき板を再使用する場合は十分補修清掃する。

(15) 型枠の設計

型枠は施工時の荷重に耐え、コンクリートに許容値を超えるたわみ、または誤差を生じないよう設計し、必要に応じて強度及び剛性について構造計算を行う。

(16) 型枠の存置期間及び取り外し

a 基礎・梁側・柱・壁のせき板の存置期間は、コンクリートの圧縮強度が5N/mm2以上に達した事が確認されるまでとする。ただし、コンクリートの材令が下表に示す日数以上経過すれば、圧縮強度試験を必要とすることなく取り外すことができる。

b 床スラブ下・屋根スラブ下・梁下のせき板は、原則として支保工を取り外した後に取り外す。

c 支保工の存置期間は、スラブ下・梁下・とも設計基準強度の100%以上のコンクリートの圧縮強度が得られたことが確認されるまでとする。

d 上記 c) 項より早く支保工を取り外す場合は、構造計算によって安全性を確認しなければならない。ただし、取り外し可能な圧縮強度は、この計算結果にかかわらず12N/mm2以上としなければならない。

セメントの種類	普通ポルトランドセメント
存置期間中の平均気温	
15℃以上	3 日
5℃以上 15℃未満	5 日
0℃以上 5℃未満	8 日

(17) 構造体コンクリートの圧縮強度の検査

a 構造体コンクリートの圧縮強度の検査は、工事現場では試料を採取して作製した円柱供試体圧縮強度試験 (JASS ST-603) によって行う。

b 試験は、コンクリート打ちみ区ごと、打ちみ日ごと、かつ150m3またはその端数ごとに1回とし、各回ごとに合否の判定を行う。

c 1回の試験には、適当な間隔をおいたら運搬車から1個ずつ採取した合計3個の供試体を用いる。

d 供試体の養生方法は標準養生または現場水中養生とする。

e 試験結果が判定基準を満足しない場合は、監督員の指示による。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
	図面名称	木質工事特記仕様書2					

A2印刷は100%出力、A3印刷は70.7%出力

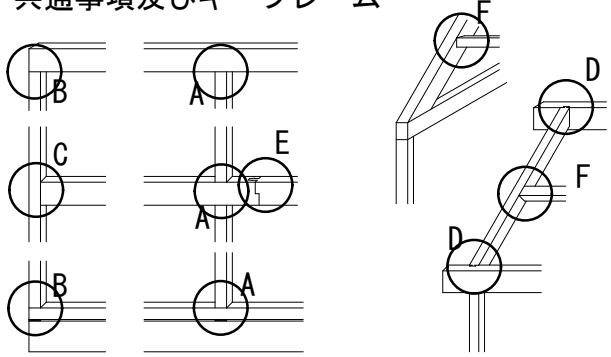
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図（１）			
１． 一般事項	２． 材料	３． アンカーボルト	４． 接合一般
<p>（１）適用範囲</p> <p>※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。</p> <p>木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>（２）設計図書</p> <p>設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>（３）準拠する図書</p> <p>設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）</p> <p>「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）</p> <p>「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター）</p> <p>「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>（４）設計図書の優先順位</p> <p>設計図書の優先順位は下記による。</p> <p>１．指示書（現場説明書及び質疑回答書）</p> <p>２．設計図</p> <p>３．特記仕様書</p> <p>４．本標準図</p> <p>（５）疑義</p> <p>疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>（６）製作要領書及び施工計画書の作成・提出</p> <p>工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>（７）施工図及びブレカット図の提出</p> <p>工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。ブレカット工場を使用する場合には、ブレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>（８）製作工場の選定、承諾</p> <p>設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>（９）各種試験・検査報告書の提出</p> <p>施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>（10）接合法</p> <p>本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。</p> <p>・継手仕口による在来工法</p> <p>・梁受け金物、及びホソバイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。</p> <p>また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。</p> <p>本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>（11）加工部材に関する留意事項</p> <p>本標準図で扱う一般的な在来ブレカット工場で加工可能な範囲は以下による。</p> <p>・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長 6 m 以下</p> <p>・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m 以下</p> <p>これらを超える場合は、一般ブレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>（１）木材及び木質材料</p> <p>主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>（２）接合具</p> <p>a)くぎ</p> <p>主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（GN釘）または溶融垂鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b)木質構造用ビス</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。</p> <p>使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c)ボルト・ナット・座金</p> <p>１) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。</p> <p>・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット</p> <p>【 Zマーク表示金物 】</p> <p>【 Dマーク表示金物 】</p> <p>【 Sマーク表示金物 】</p> <p>・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット</p> <p>2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。</p> <p>3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。</p> <p>※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d)ドリフトピン・ラグスクリュー</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e)木栓・木ダボ</p> <p>主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。</p> <p>樹種・径等については、特記仕様書で指定する。</p> <p>節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>（３）接合金物</p> <p>a)規格金物</p> <p>構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。</p> <p>・JIS A 5531；木構造用金物</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；Zマーク表示金物、又は Cマーク表示金物</p> <p>・同等認定金物；Dマーク表示金物</p> <p>・性能認定金物；Sマーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。</p> <p>使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b)製作金物</p> <p>製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>（４）接着剤</p> <p>原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。</p> <p>建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>（５）防腐防蟻処理及び耐候処理</p> <p>防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。</p> <p>土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>※共通事項</p> <p>・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>（１）土台固定用アンカーボルト</p> <p>a).アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。</p> <p>-1.耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部；</p> <p>耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-2.土台切れの端部及び、土台の継手仕口；</p> <p>土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。</p> <p>当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>仕口の場合</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>土台切れの場合（柱勝ち収まり等）</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-3.その他； 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>（２）引張金物専用アンカーボルト</p> <p>a).引張金物専用アンカーボルトの径</p> <p>引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。</p> <p>b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ</p> <p>引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>	<p>（１）釘接合</p> <p>・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。</p> <p>・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。</p> <p>・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。</p> <p>・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。</p> <p>・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>（２）木質構造用ビス接合</p> <p>・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。</p> <p>（３）ボルト接合</p> <p>・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。</p> <p>・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金为一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。</p> <p>・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>（４）ラグスクリュー接合</p> <p>・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。</p> <p>・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。</p> <p>・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。</p> <p>・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。</p> <p>・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。</p> <p>・呼び径 M12以下；+1.0mm</p> <p>・呼び径 M16以上；+1.5mm</p> <p>（５）ドリフトピン接合</p> <p>・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>（６）木栓接合</p> <p>・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>（７）グルードインロッド接合</p> <p>・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を入力・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。</p> <p>・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	<div><div></div><div>株式会社若竹まちづくり研究所</div></div>	図面番号	S-05
	図面名称	木質工事特記仕様書3				縮 尺 S=1/120			

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (2)

5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

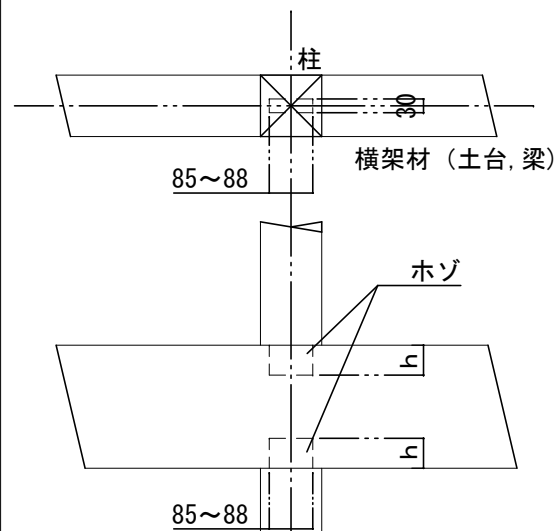


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

令第43条第5項より、すみ柱又はこれに準ずる柱は、通し柱と同等以上の耐力を有する補強を行うこと。

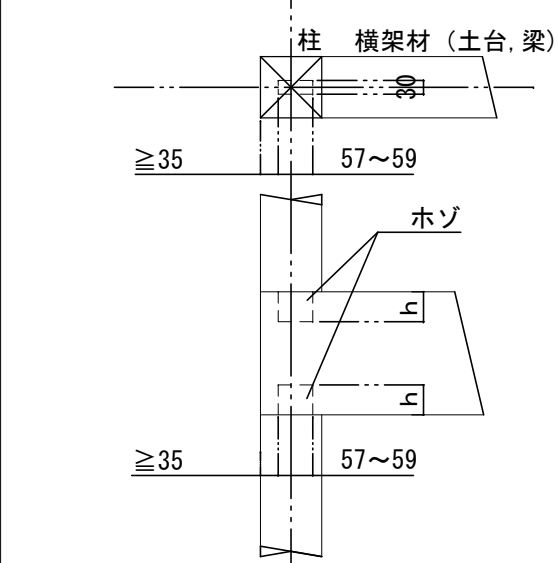
A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）

h：ホゾ長さ □ 短ホゾ 45～60 mm
■ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外（ ） mm



B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）

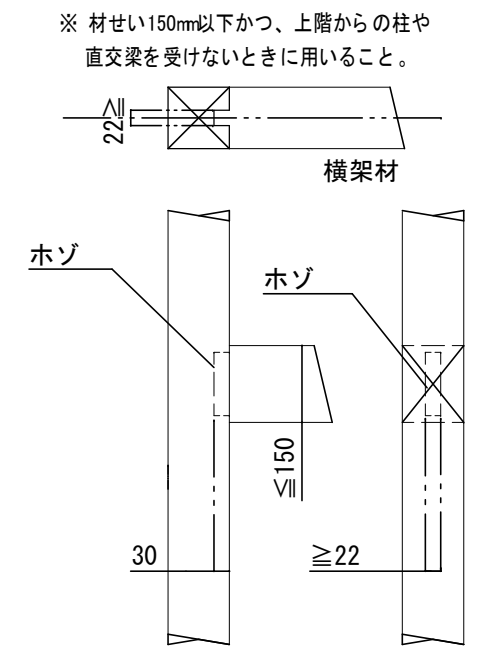
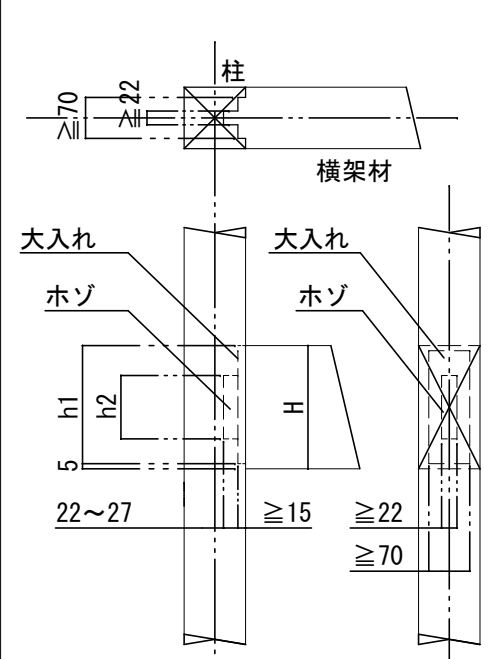
h：ホゾ長さ □ 短ホゾ 45～60 mm
■ 長ホゾ 90 mm
□ 上記以外（ ） mm



C 通柱-横架材仕口：胴差し

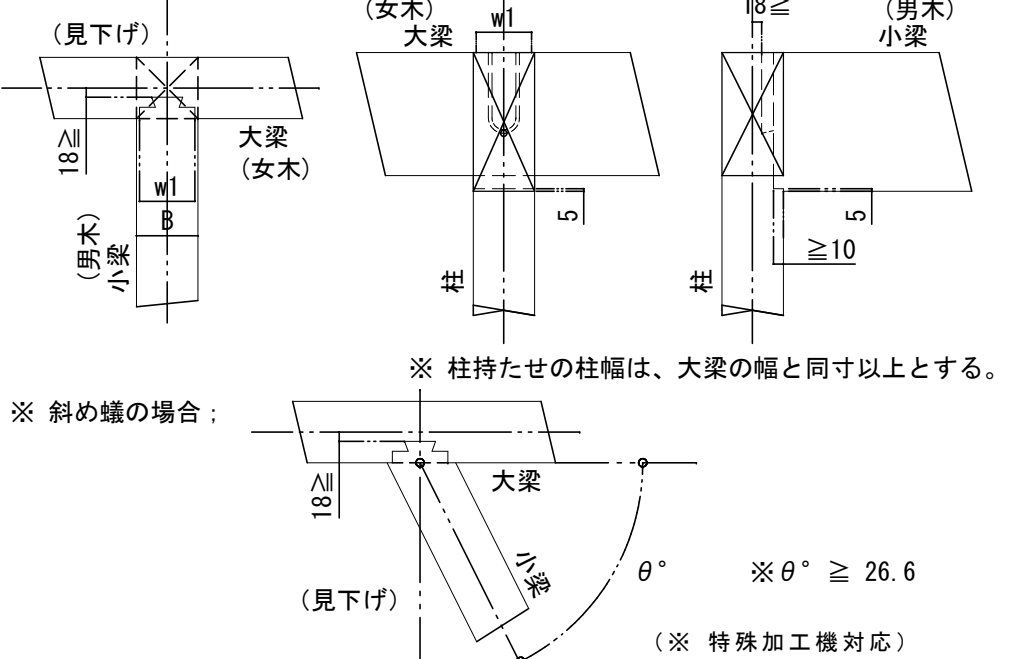
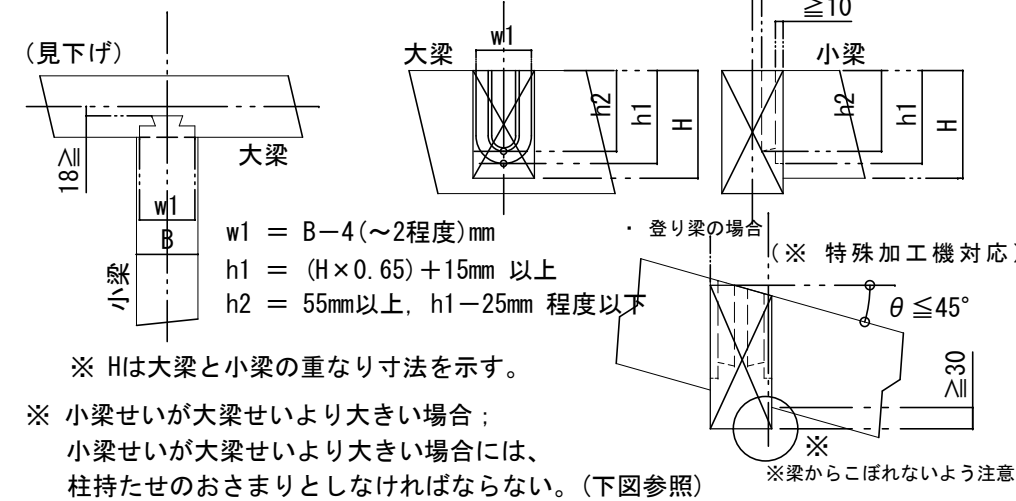
C 通柱-横架材仕口：桁差し

※ 材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。

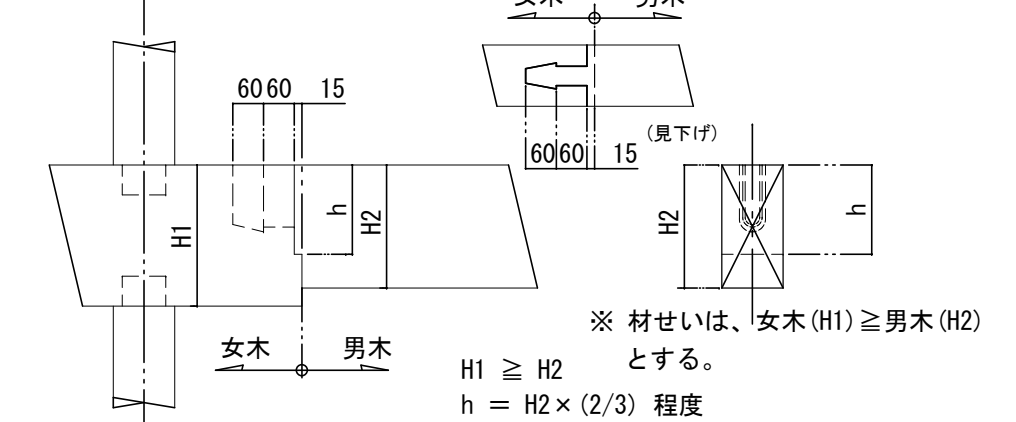


h1 = H-5 mm 程度
※ 胴差しで通し柱に取り付く方向は、2方向までとする。

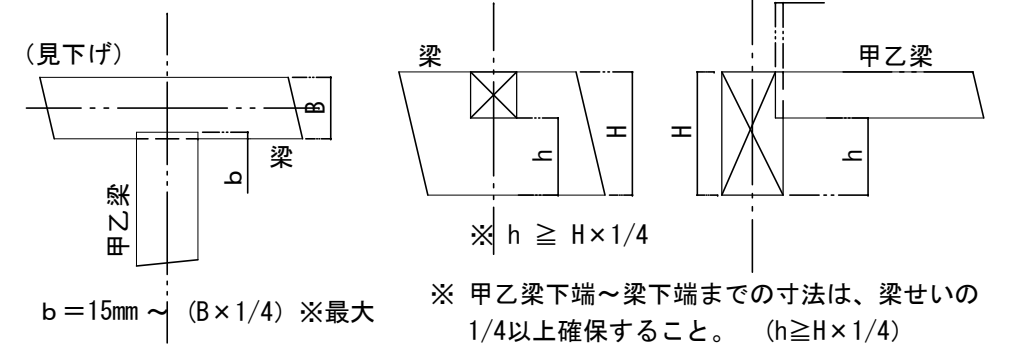
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



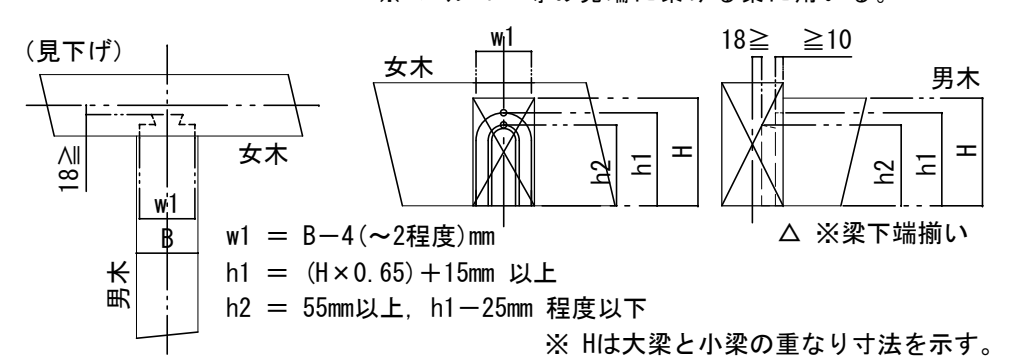
E 梁-梁継手：腰掛鎌継



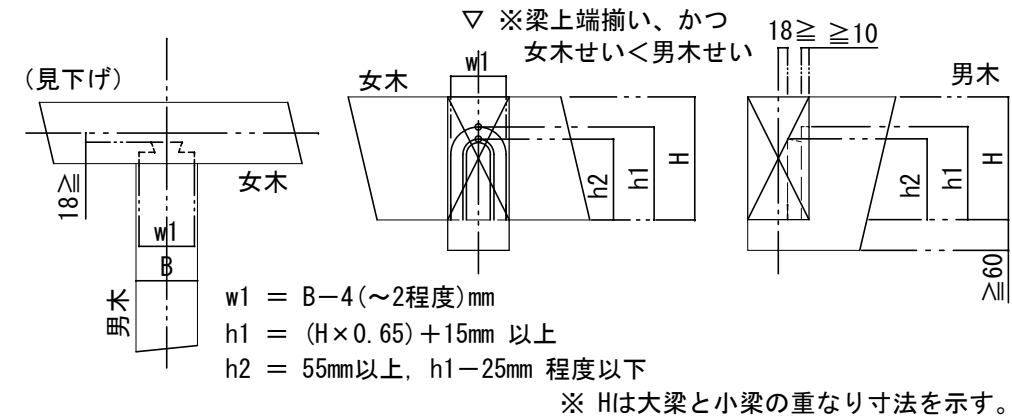
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



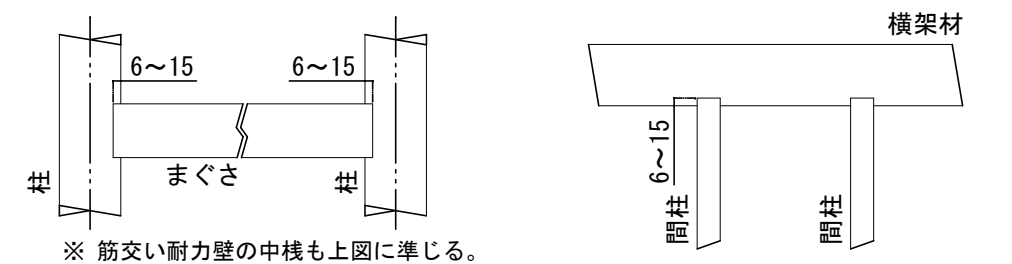
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



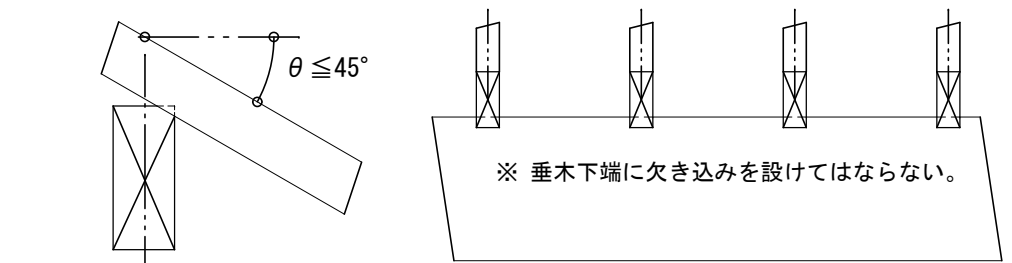
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



I その他：まぐさ欠き



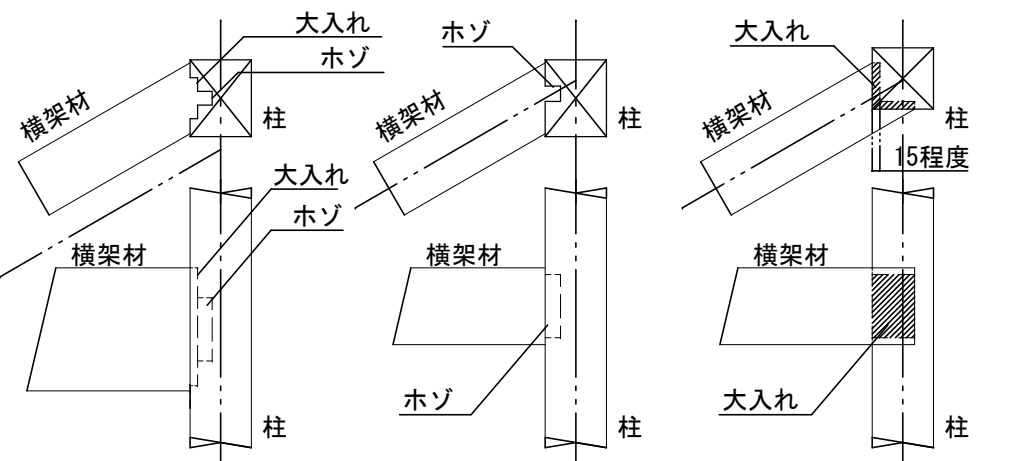
K その他：垂木欠き



(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

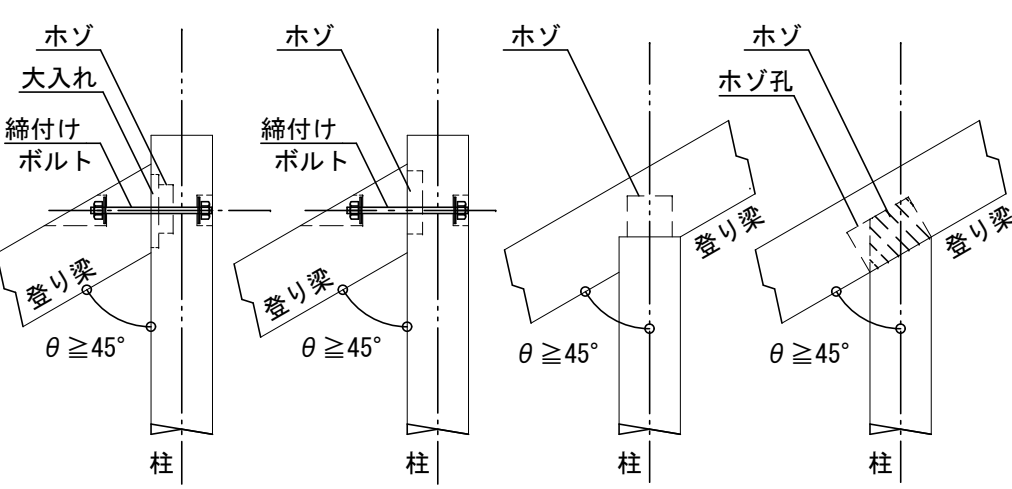
特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一列を、本節に示す。
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

L 斜め胴差し



※ L、Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。
※ L、Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

O 登り胴差し

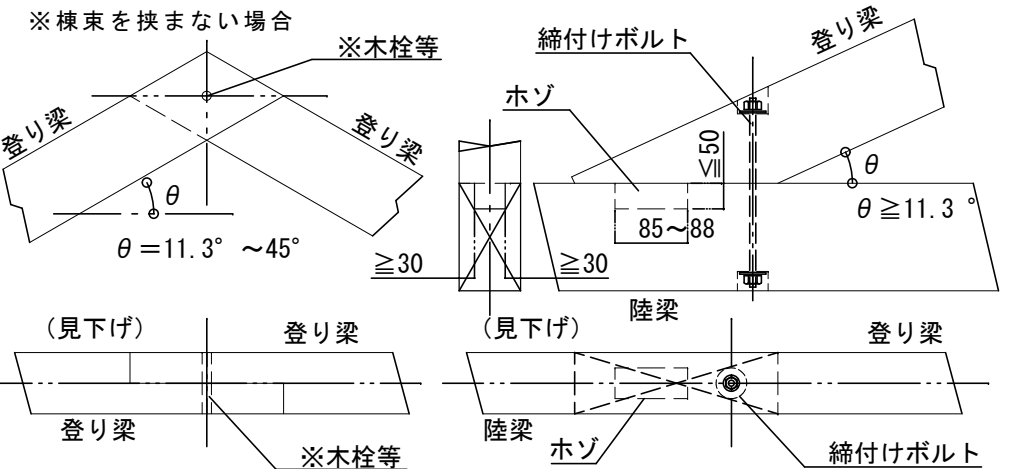


P 登り桁差し

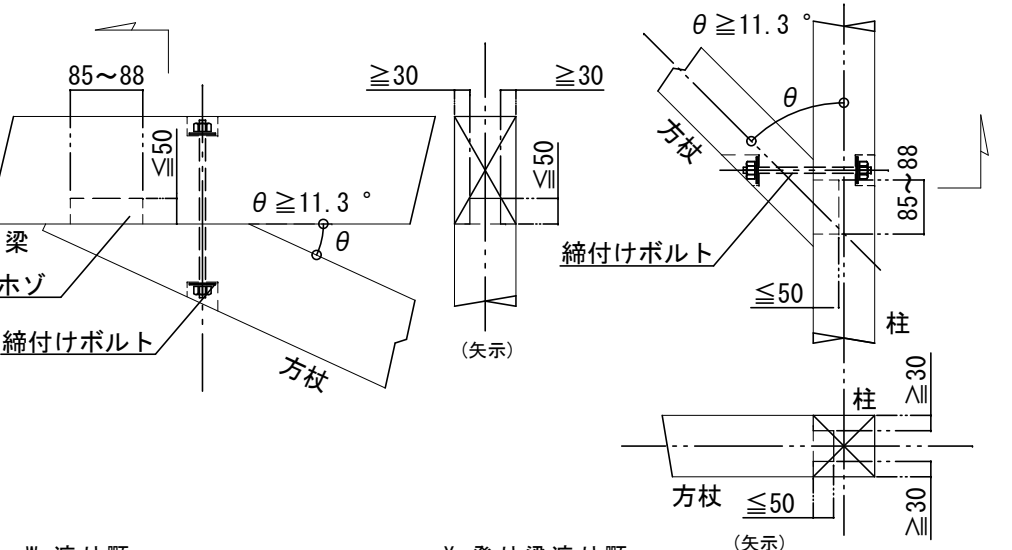
Q 登り斜めホゾ

R 登り座付きホゾ

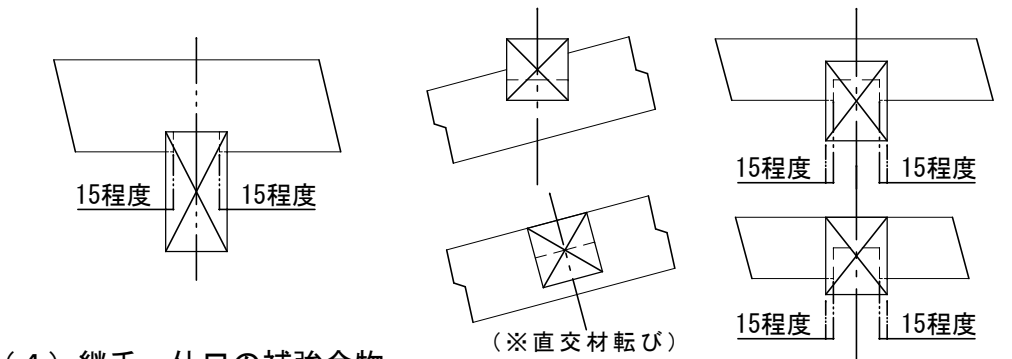
S 登り梁合掌部



U 方杖-梁仕口

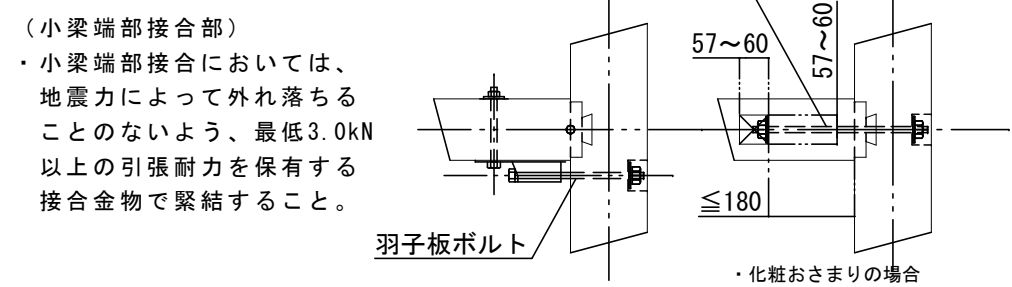
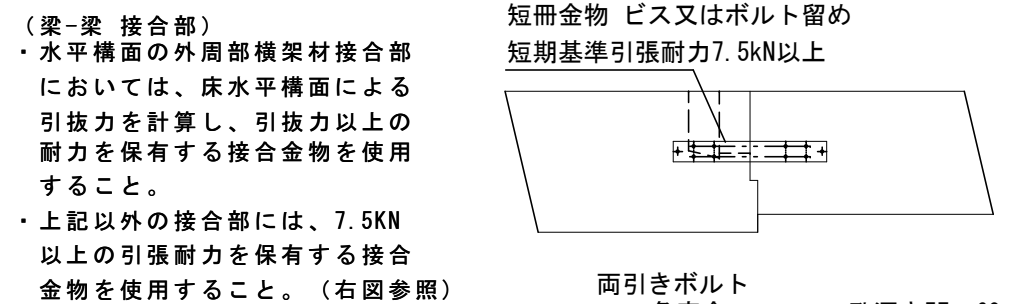
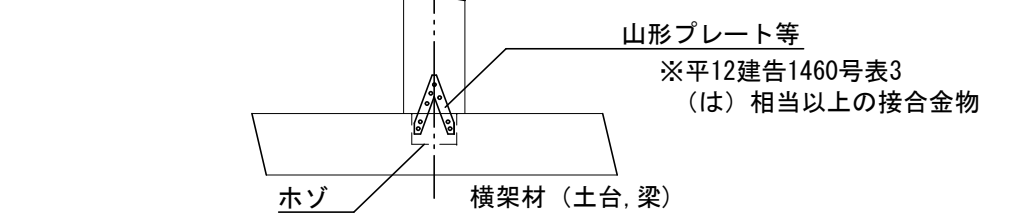


W 渡り頓



(4) 継手・仕口の補強金物

- ・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物（平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上）を使用すること。



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 S-06
	図面名称	木質工事特記仕様書4			縮尺 S=1/120		

木造軸組接合部標準図(3)

6. 面材耐力壁

(注) (単位)mm

6.1 共通事項

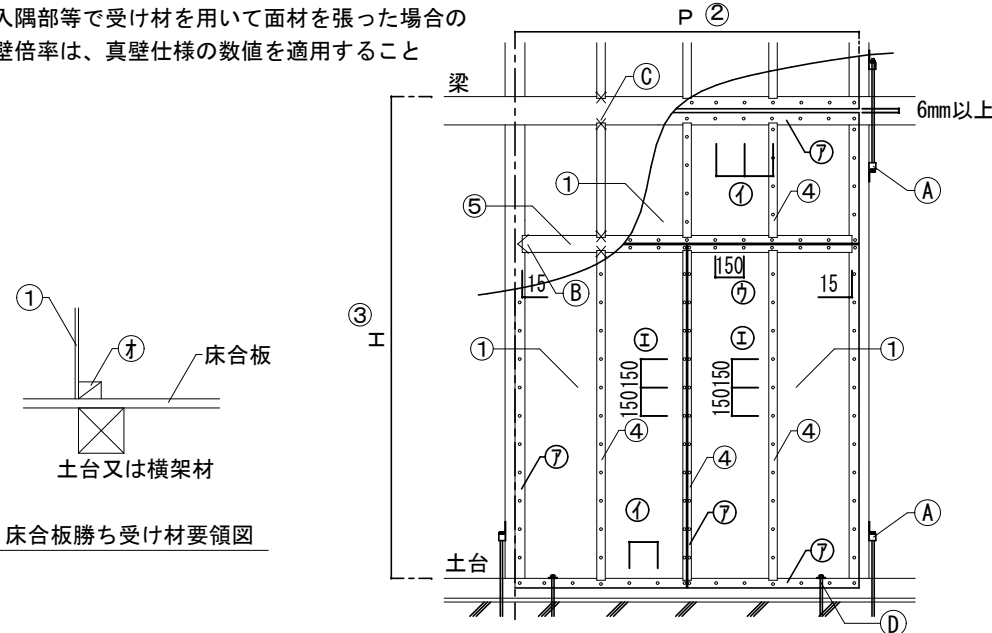
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

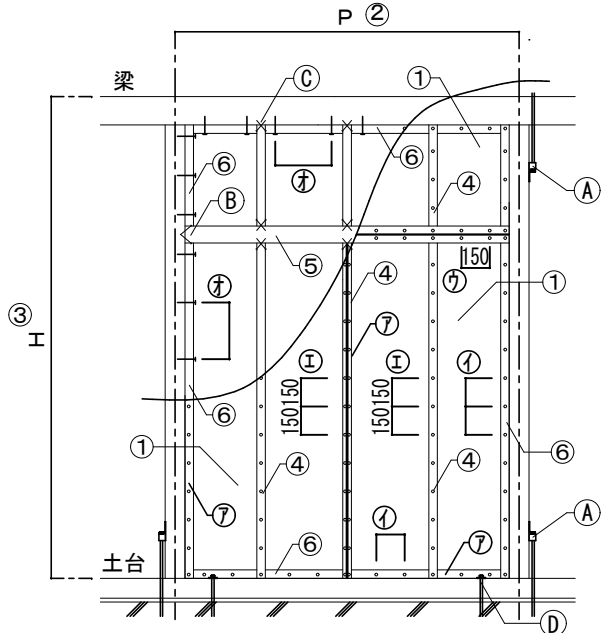
(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル (OSB)

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁 壁倍率：4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・4.3 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・3.7 倍
② 柱間隔	600mm≦P≦2000mm	
③ 高さ	H≦6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
Ⓑ 中棧端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
Ⓒ 間柱端部	間柱欠きに6～15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑩ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に1本ずつ設ける	

3) 面材の釘打ち方法 ※ 構造用合板には、C.N釘を用いること。

⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。	
	柱及びはりに対するかかり寸法	22.5mm以上
	面材に対するへり空き	10mm以上
	柱はりのへり空き	12.5mm以上
④ 横架材・柱	構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下	
⑦ 中棧	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
① 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
	受け材	45×60以上
④ 受け材	受け材と柱梁 釘N90@120mm以下（両面張りの場合は、@60mm以下）	
※ 床合板勝ち仕様の場合	※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること (30mm用は不可)	

a-2. 標準仕様大壁耐力壁 壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm		・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上		・・・2.5 倍
② ③ ④ ⑤	a-1. (高倍率仕様) に同じ		
2) 各部仕口形状及び性能			
⑥ ⑧ ⑨ ⑩	a-1. (高倍率仕様) に同じ		
3) 面材の釘打ち方法			
⑦ 面材の釘打ち	a-1. (高倍率仕様) に同じ		
④ 横架材・柱	N50@150mm以下		
⑦ 中棧	N50@150mm以下		
① 間柱	N50@150mm以下		
④ 受け材	受け材	45×60以上	
※ 床合板勝ち仕様の場合	受け材と柱梁	釘N90@200mm以下 (両面張りの場合は、@100mm以下)	

b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁 壁倍率：4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm	・・・4.0 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上	・・・3.3 倍
② 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm	
③ 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	⑥ 受け材 幅45mm以上
2) 各部仕口形状及び性能		
Ⓐ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
Ⓑ 中棧端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
Ⓒ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
⑩ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置（柱芯から200mm内外）に1本ずつ設ける	

3) 面材の釘打ち方法 ※ 構造用合板には、C.N釘を用いること。

⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。	
	受け材に対するかかり寸法	22.5mm以上
	面板に対するへり空き	10mm以上
	受け材のへり空き	12.5mm以上
④ 外周受材	構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下	
⑦ 中棧	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
① 間柱	構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下	
④ 受け材	受け材	45×60以上
	受け材と柱梁	構造用パーティクルボード、構造用MDF：釘N90@120mm以下 (両面張りの場合は、@60mm以下)
		構造用合板、構造用パネル：釘N90@200mm以下 (両面張りの場合は、@100mm以下)
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-1.に準ずる ※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)		

b-2. 標準仕様真壁耐力壁 壁倍率：2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm		・・・2.5 倍
	構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル (OSB) t=9mm以上		・・・2.5 倍
② ③ ④ ⑤ ⑥	b-1. (高倍率仕様) に同じ		
2) 各部仕口形状及び性能			
Ⓐ ⑧ ⑨ ⑩	b-1. (高倍率仕様) に同じ		
3) 面材の釘打ち方法			
⑦ 面材の釘打ち	b-1. (高倍率仕様) に同じ		
④ 外周受材	N50@150mm以下		
⑦ 中棧	N50@150mm以下		
① 間柱	N50@150mm以下		
④ 受け材	受け材	45×60以上	
	受け材と柱梁	釘N90@300mm以下 (両面張りの場合は、@150mm以下)	
	※床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法は a-2. に準ずる		

(2) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JIS A 3301標準仕様)：短期許容せん断耐力 $\angle Qa = 29.6 \text{ kN/m}$

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

a. 条件及び仕様

1) 各部材料

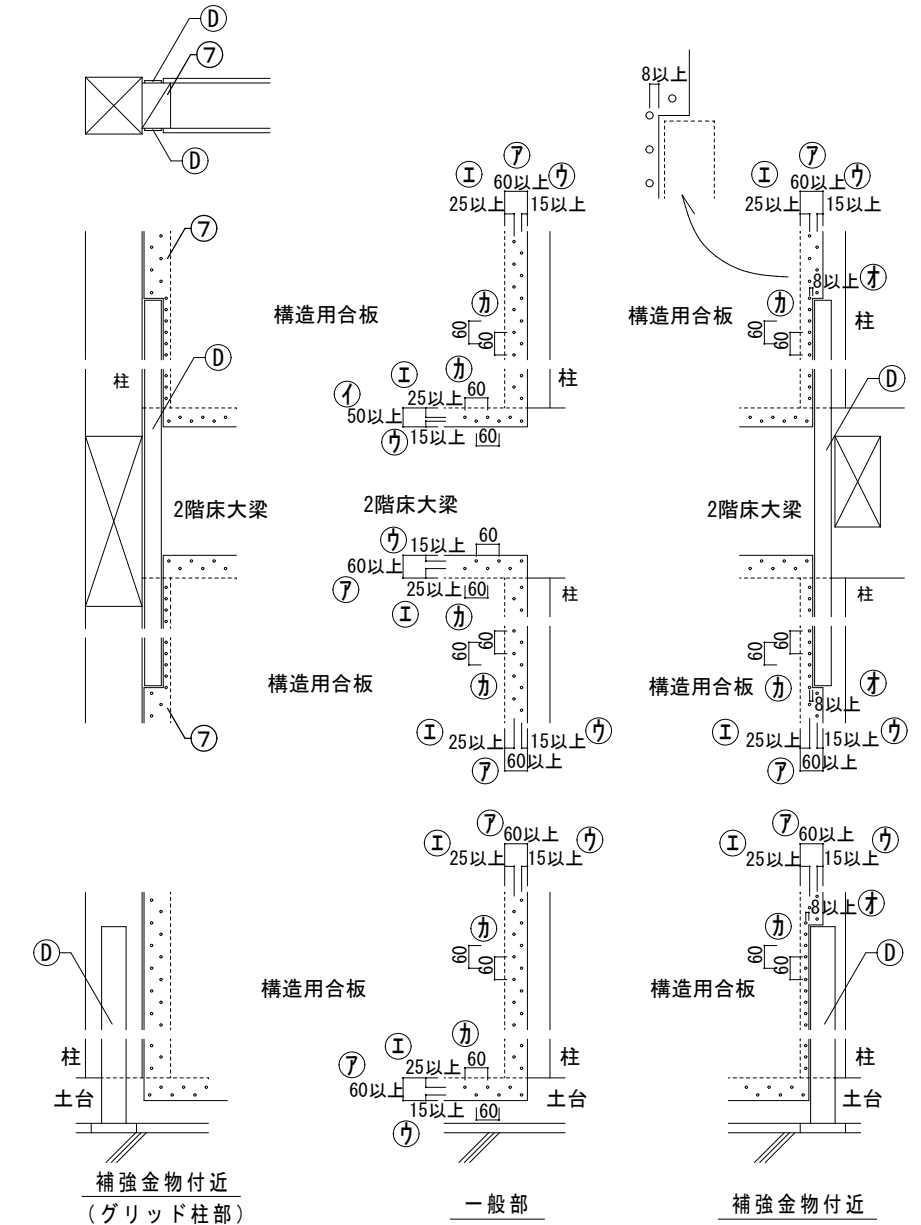
① 面材：構造用合板 t=12mm 両面張り
② 間隔：900mm ≤ P ≤ 1000mm
③ 高さ：1800mm ≤ H ≤ 3650mm
④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm × 150mm以上 (グリッド柱：X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)
⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm × 120mm以上
⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120mm × 120mm以上
⑦ グリッド柱に取付く受け材：75mm × 120mm以上
⑧ 間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下
⑨ 小屋柱：120mm × 120mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

Ⓐ 柱頭柱脚ホゾ：厚さ30mm × 深さ90mm以上
Ⓑ 中棧端部ホゾ： 片側から柱に取り付く場合：厚さ30mm × 深さ90mmホゾ差し 両側から柱に取り付く場合：厚さ30mm × 深さ60mmホゾ差し
Ⓒ 間柱両端：横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
⑩ 各階の柱頭柱脚部： 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
Ⓔ 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト： M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設ける

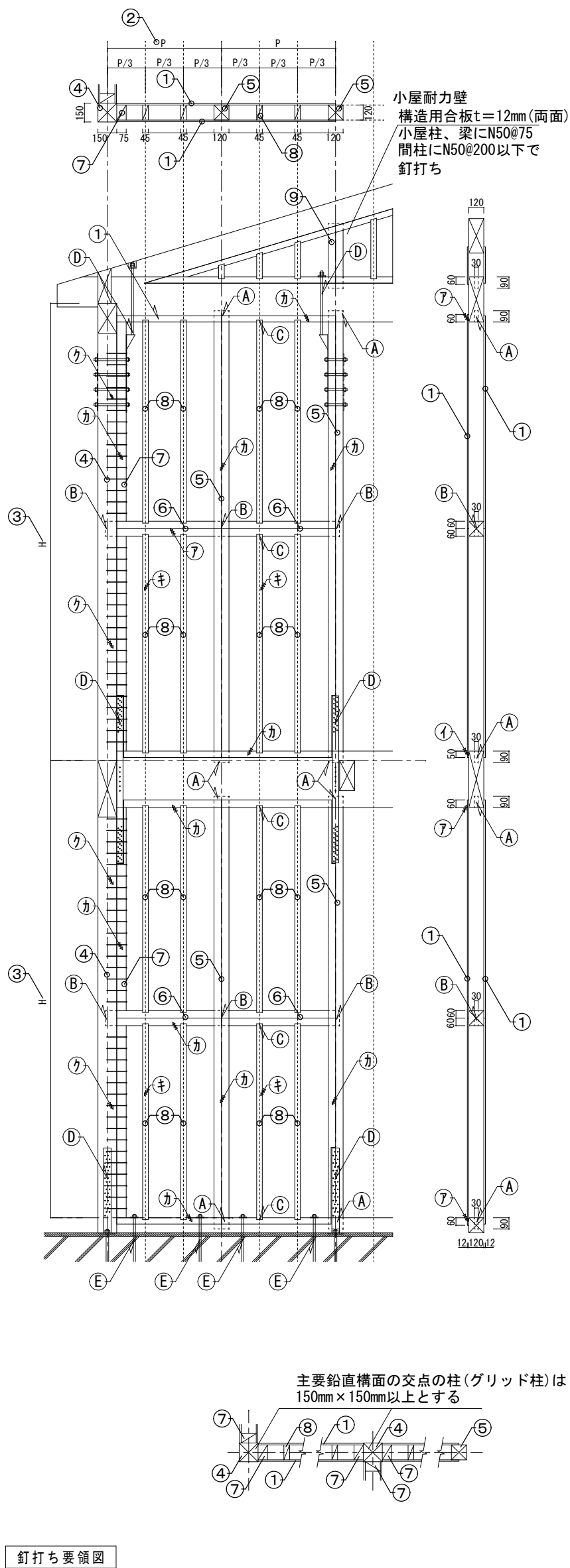
3) 各部への釘打及びビス止め

構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
⑦ ①を除き、柱及びはりに対するかかり寸法：60mm以上
④ 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かかり代：50mm以上
⑦ ①を除き、合板に対するへり空き：15mm以上
① 柱はりのへり空き：25mm以上
⑦ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き：8mm以上
④ 横架材・柱・受け材：N50@60mmチドリ打ち
④ 間柱：N50@90mm打ち
⑦ ⑦の受け材とグリッド柱： 木質構造用ビスφ6、L130～150@100(2列)で留め付ける。



6.3 その他の耐力壁

- ・木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様準拠することとする。
- ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。



釘打ち要領図

主要鉛直構面の交点の柱(グリッド柱)は150mm × 150mm以上とする

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社若竹まちづくり研究所	図面番号 S-07
	図面名称	木造軸組接合部標準図(3)				縮尺 S=1/120		

開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (3 A)

6 A . 施行令46条に基づく45×90以上の筋かい端部納まり図

(注) (単位)mm

共通事項

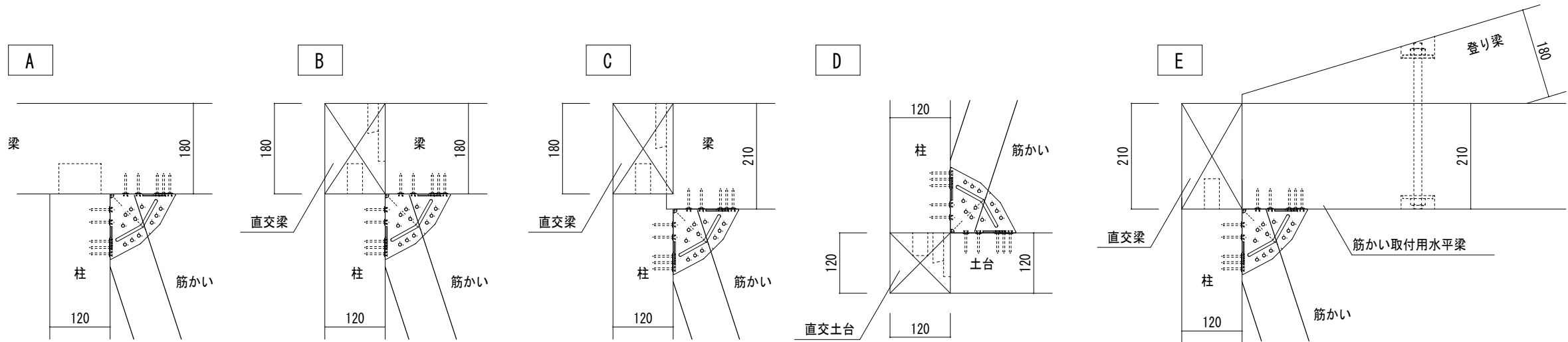
筋かいプレートは、柱梁ビスどめタイプを標準とする。

筋かいプレートを柱取付タイプのみとする場合は柱頭のホゾに作用するせん断力に対する検討を行うこと。ただし、端部及び出隅部の柱が寄せホゾとなる場合は柱梁ビスどめタイプを使用すること。

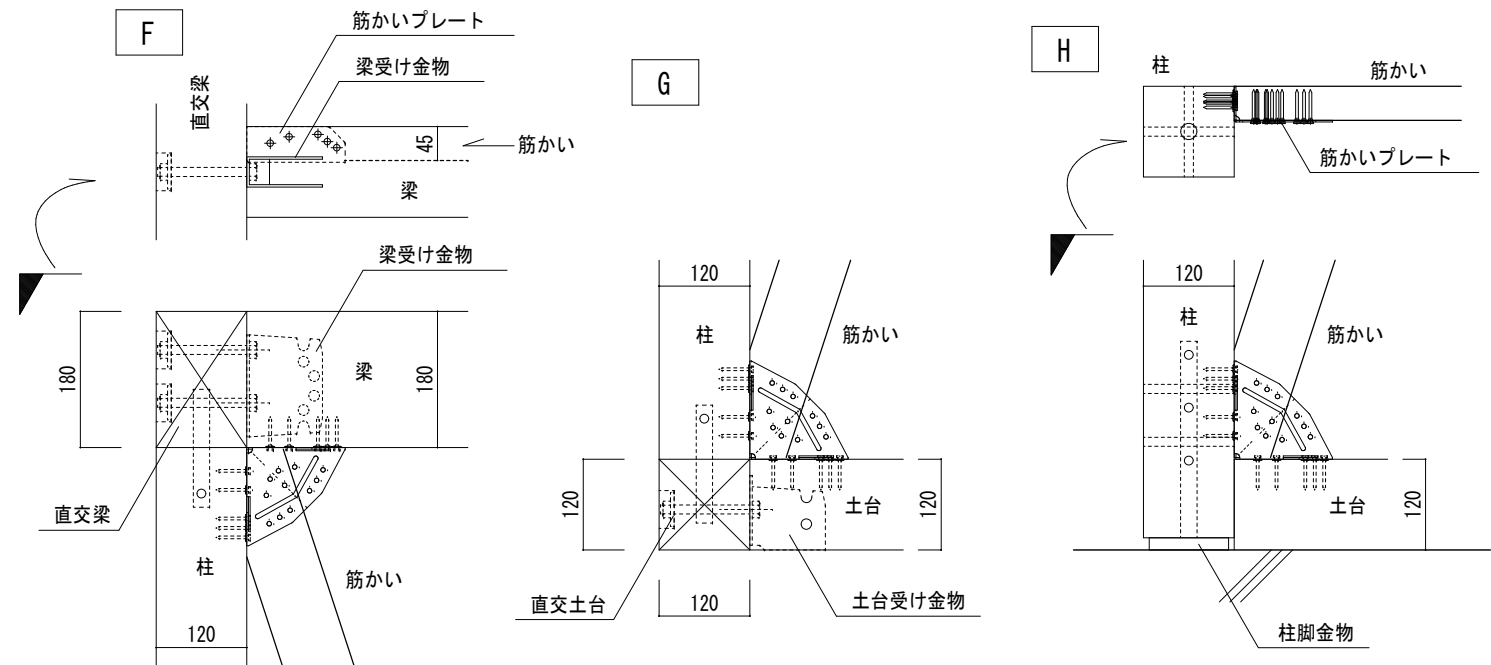
筋かいプレートの取付ビスのへりあきが不足又は、金物工法の金物にビスが干渉する場合は、そのビスを無効とし、所定のビス本数に満たないときは柱取付筋かいプレートを追加する等の補強をすること。

梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。

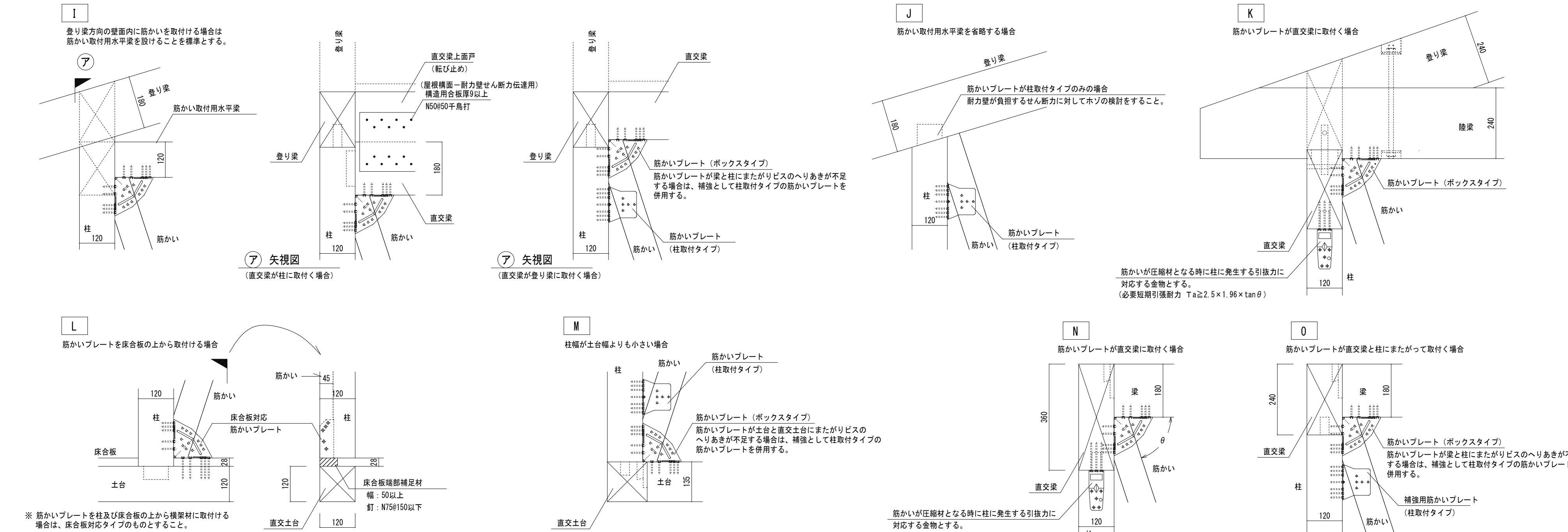
標準納まり図(在来工法)



標準納まり図(金物工法)



標準以外の納まり図



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社若竹まちづくり研究所	図面番号 S-08
	図面名称	木造軸組接合部標準図(3A)				縮尺 S=1/120		

木造軸組接合部標準図(3B)

6B. 昭56建告第1100号第1第一号に基づく面材張り大壁耐力壁納まり図

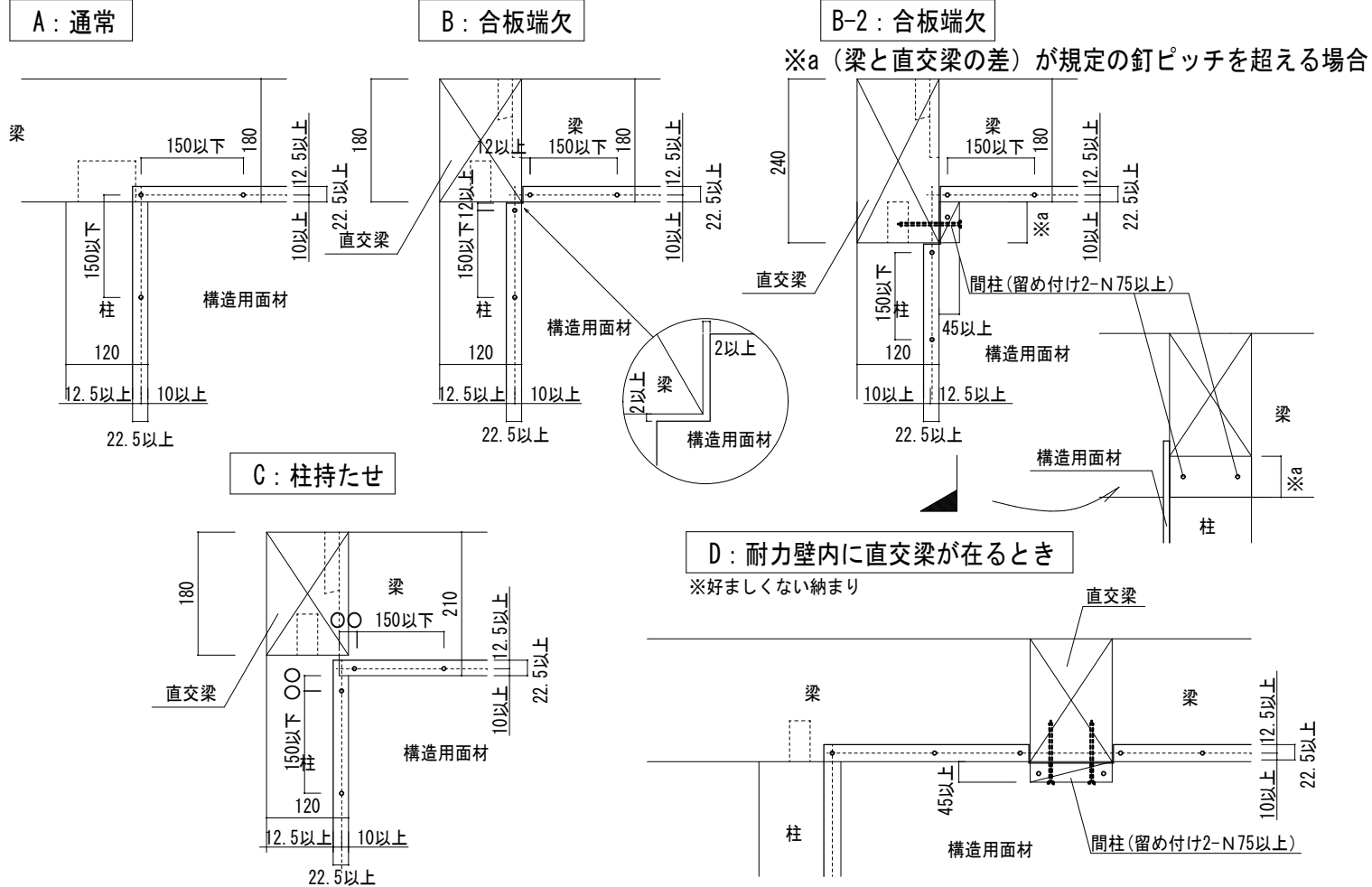
(注) (単位)mm

＜共通事項＞

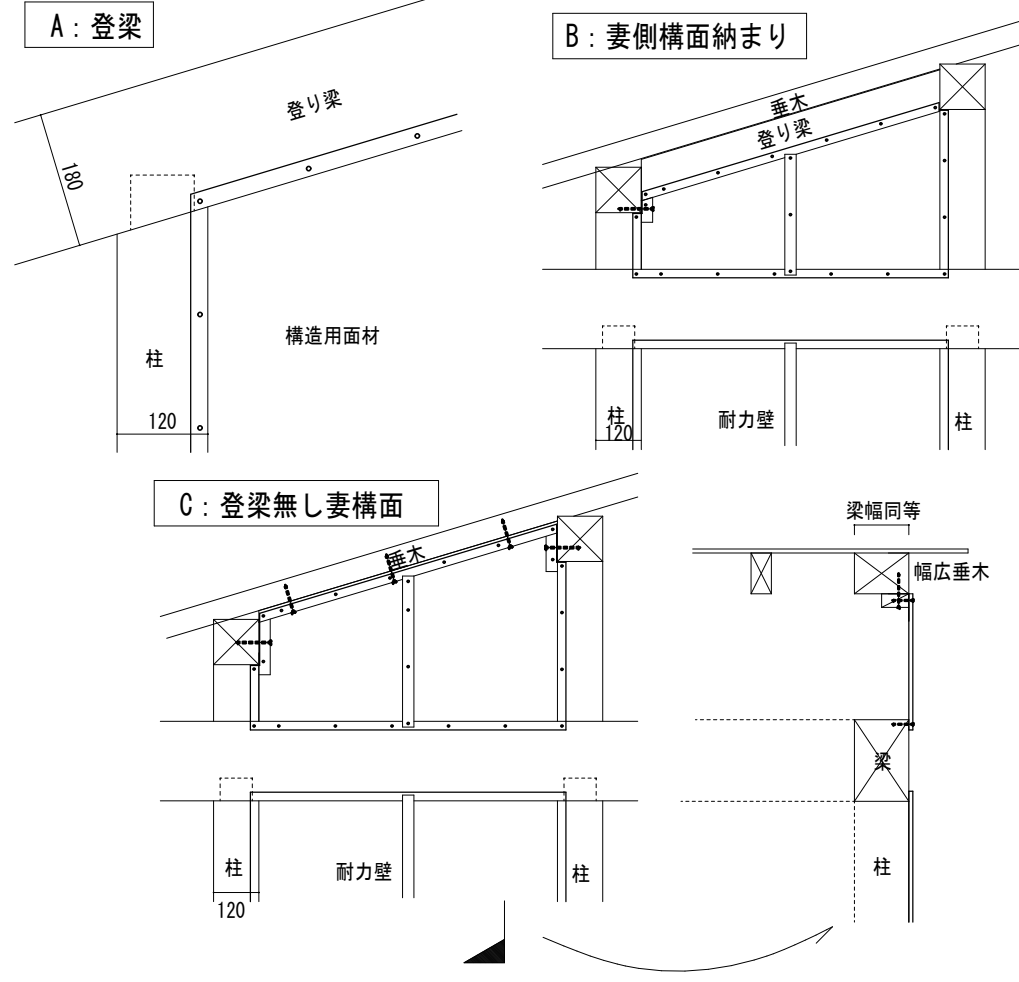
- ・面材は、9mm以上を標準とする。
- ・梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。
- ・間柱・受材・筋違等構造に関わる羽柄材の品質については、未乾燥材および皮付き材は不可とし、四面ピン角、ねじれ、反りの無い物とすることを原則とする。
- ・釘ピッチの基準は使用釘本数を満たしている必要がある。記載のピッチは「辺の長さ÷ピッチ+1本」と読むこととする。

- ・開口直下の梁への間柱欠きは、原則行わない事。
- ・間柱(受材)を梁等へ留め付ける場合、釘及び木質構造用ビスの長さは、受け材厚さの2.5倍以上を標準とする。
受け材厚30mmの場合は、N75、CN75 以上
受け材厚45mm(耐力壁：水平力のみを負担する場合)は、N90、CN90(真壁の受け材留め付けと合わせる) 以上
受け材厚45mm(水平構面：鉛直力と水平力を負担する場合)は、N115、木質構造用ビスL110 以上

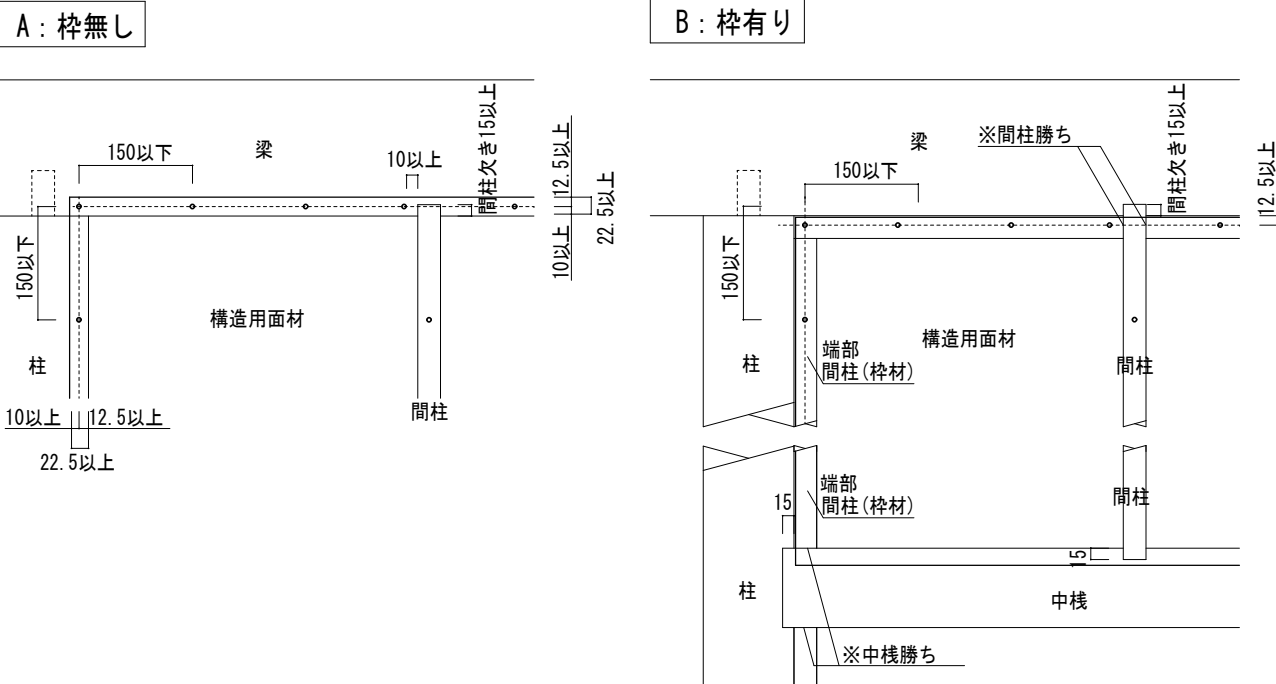
1. 直交梁との取り合い



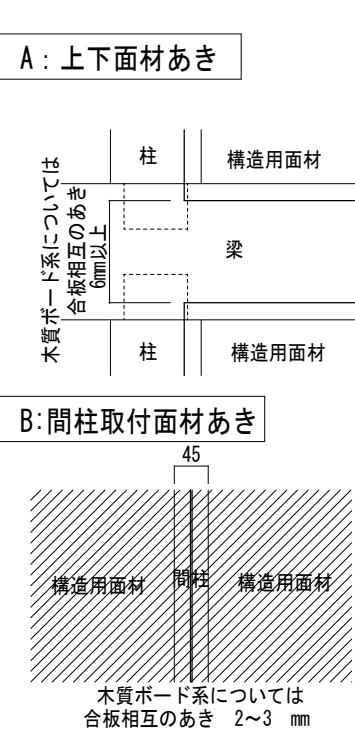
2. 勾配屋根の納まり



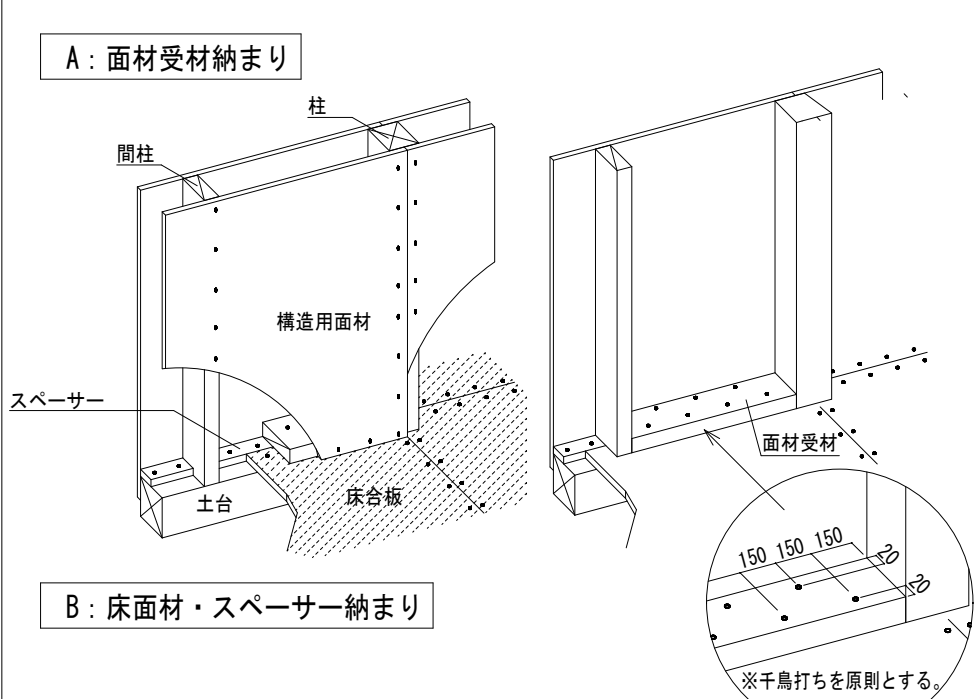
3. 受材・間柱勝ち負けルール



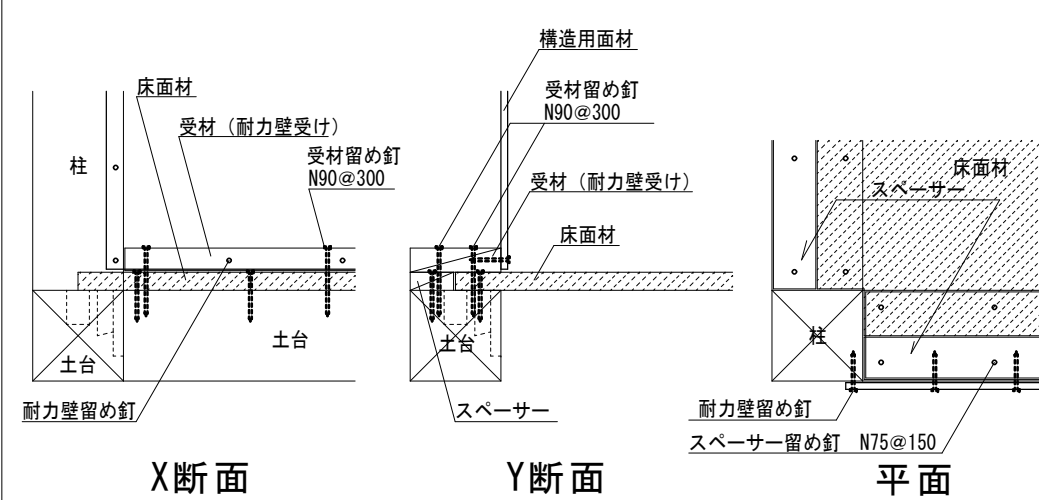
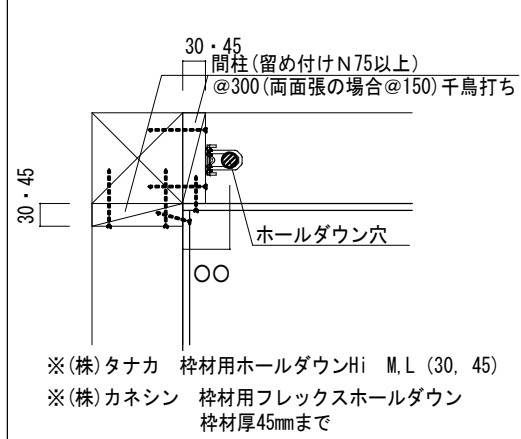
4. 面材相互あきのルール



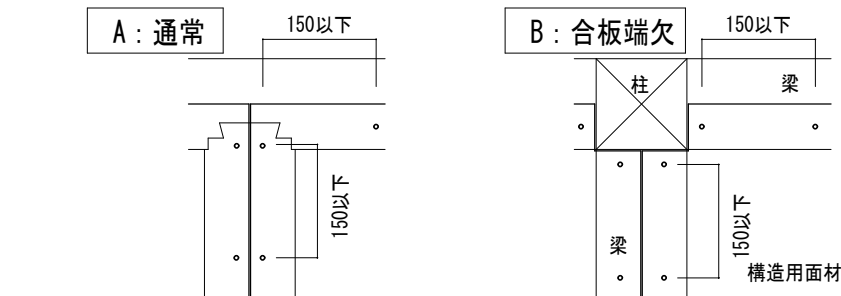
6. 床勝面材との取り合い



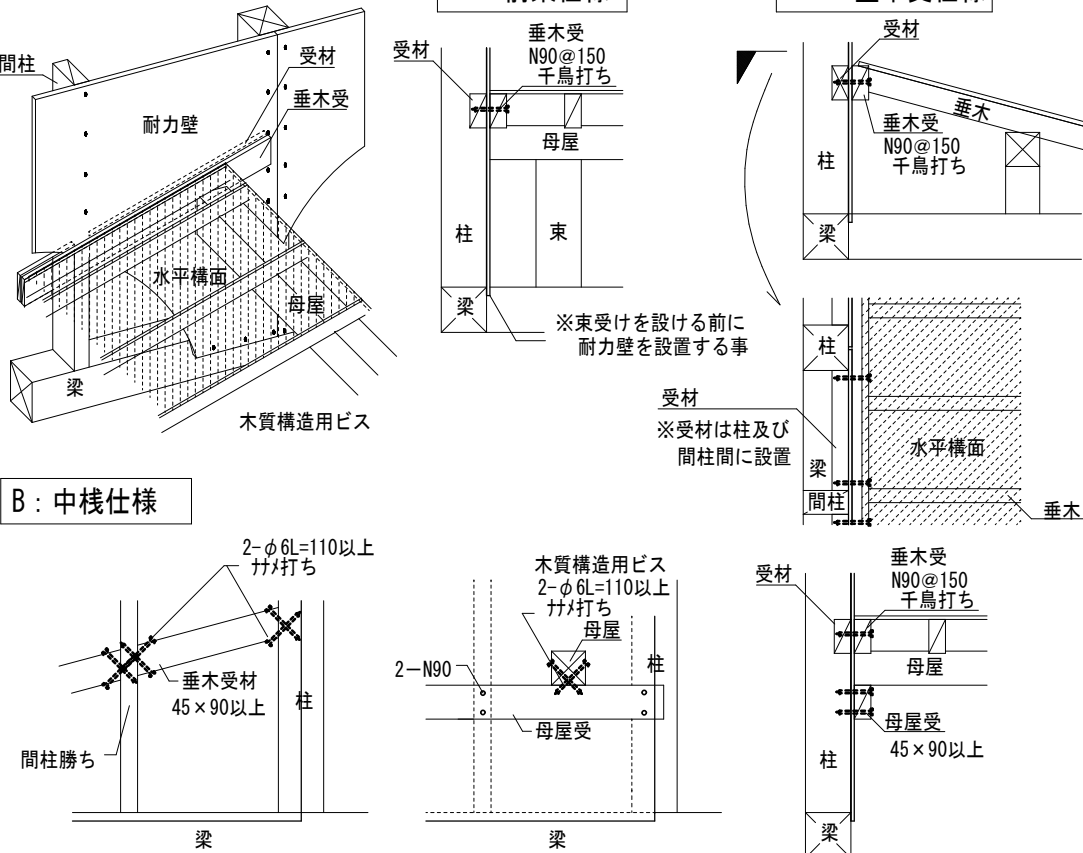
5. 入隅時納めおよび
枠材用ホールダウン納め



7. 水平構面

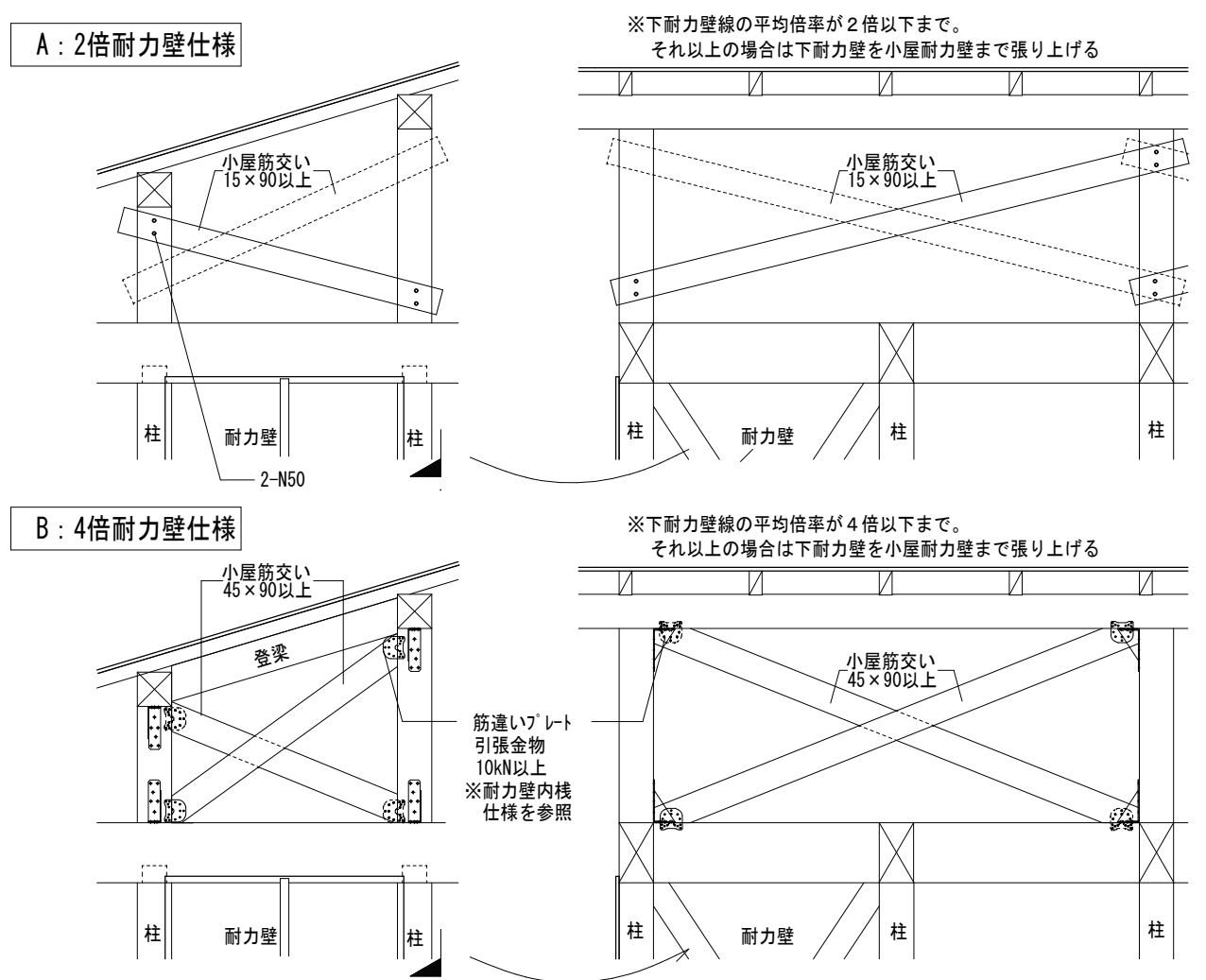


8. 下野部分の納まり

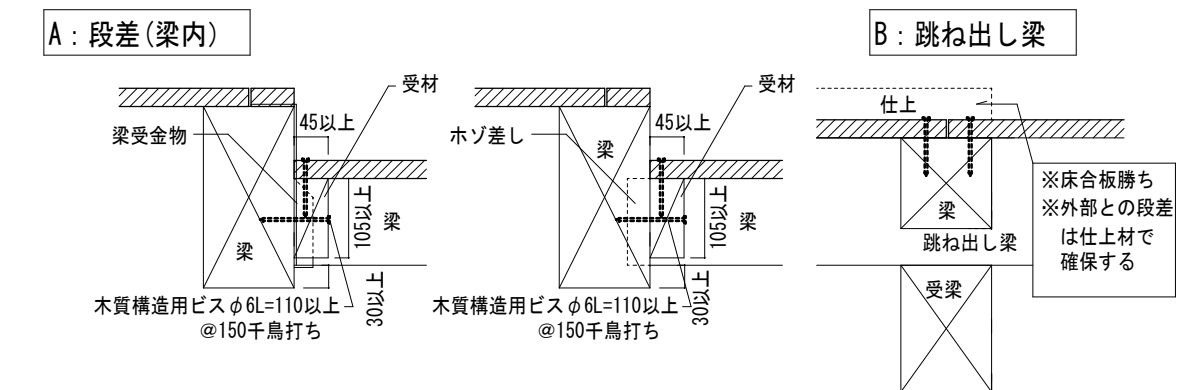


※水平構面を設置する前に耐力壁を施工する事を原則とする。

9. 小屋筋交い



10. 段差



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦</div> 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号		
	図面名称	木造軸組接合部標準図(3B)			縮 尺 S=1/120				
					開 設 者 管理建築士	一級建築士 一級建築士	佐藤八尋 小松道就	第 1 1 5 4 1 0 号 第 2 2 3 5 3 0 号	S-09

木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (4)

7. 水平構面

(注) (単位)mm

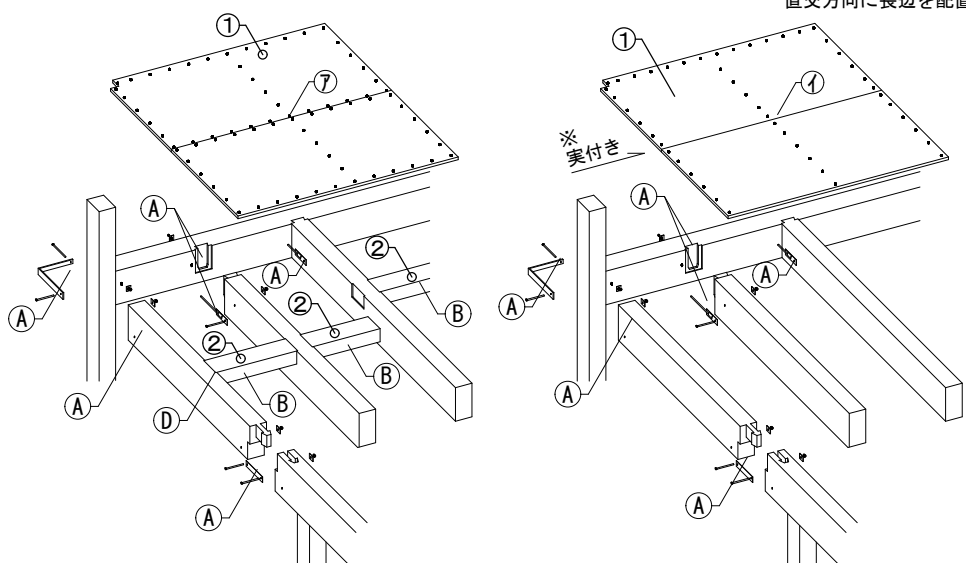
7.1共通事項

- ・各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- ・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

- (a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m
- (b) 川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m

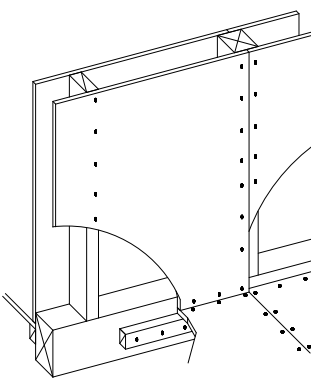


1) 各部材料および寸法

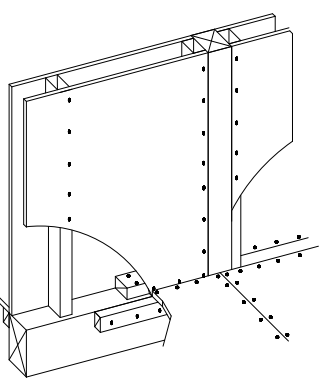
- ① 面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
- ② 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- Ⓐ 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- Ⓑ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- Ⓒ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ⑨ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@150mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- ④ 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- ※ 構造用合板は、実付きとする。

注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、挽き等にご注意する事

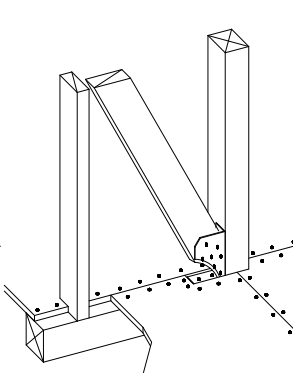
告示耐力壁・床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



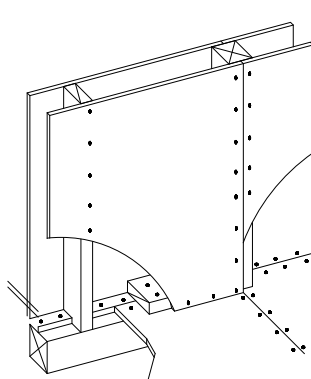
真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



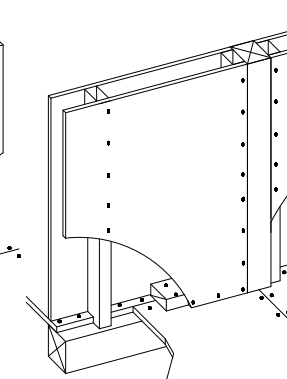
筋違耐力壁-床構面
(筋違勝)



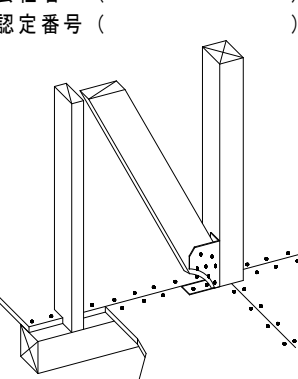
認定仕様例示) 日合連 (JPSMA) 仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0296



真壁合板耐力壁-床勝
認定番号：FRM-0298

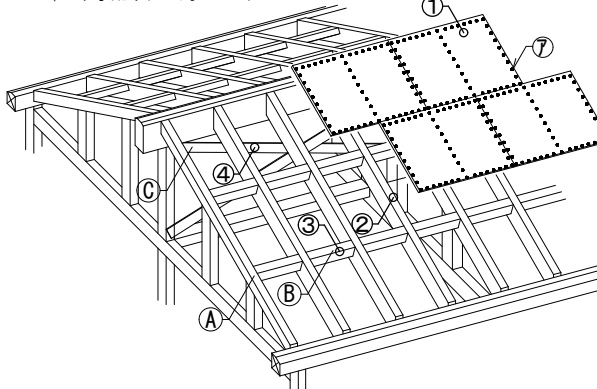


筋違金物による床勝ち納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝・大臣認定仕様)

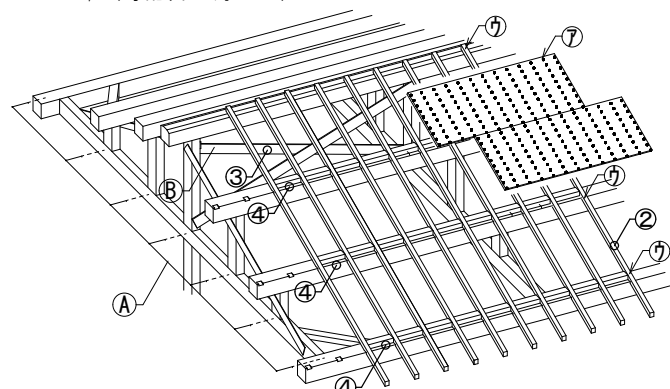


(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

- (a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)



- (b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)



1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板t=24mm～30mm横架材に直貼
- ② 登梁：幅105mm以上×せい105mm以上 間隔1000mm以下
- ③ 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上 間隔1000mm以下
- ④ 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)

2) 各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- Ⓑ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- Ⓒ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線以上は同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける

注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

1) 各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板t=9mm～15mm(横置)
- ② 垂木：幅45mm以上×せい45mm～90mm@500mm以下
- ③ 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め：45mm×60mm程度

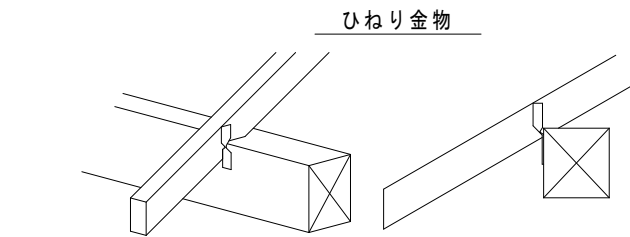
2) 各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 母屋ピッチ：1000mm以下
- Ⓑ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線以上は同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

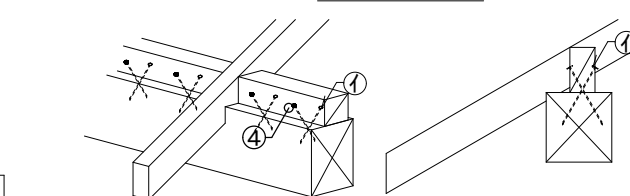
3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
- ④ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

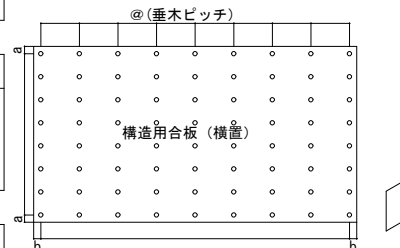
注意事項：構造用合板（又はOSB）に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする



注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する



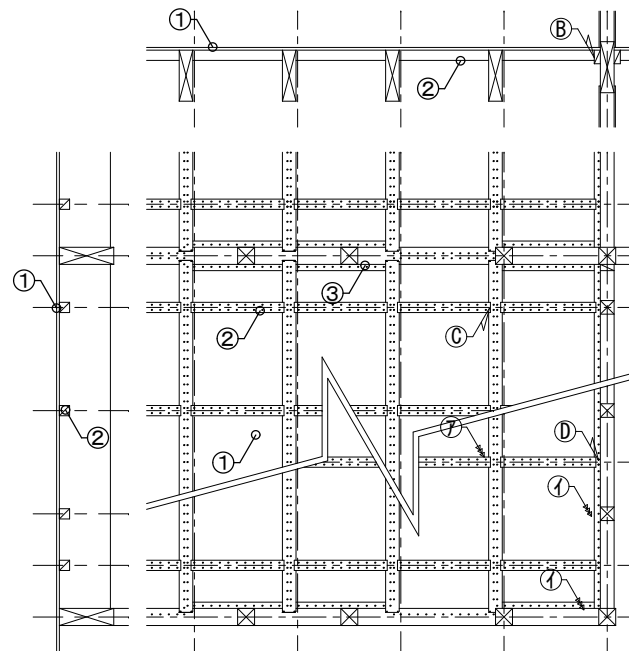
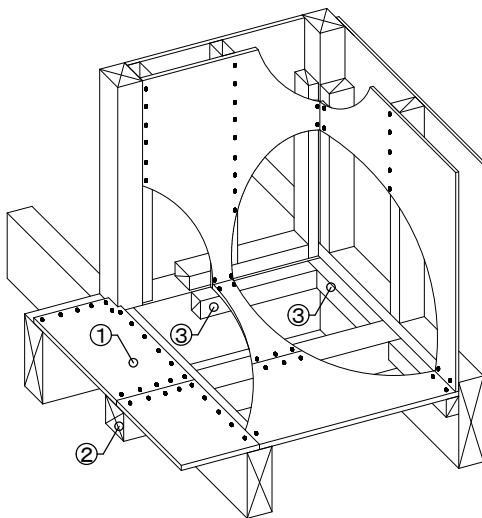
注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)斜め打ち



a: 面材上下端まで10mm
b: 面材左右端まで10mm
c: 軸材端まで(最小値)12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1) 各部材料

- ① 面材：構造用合板t=24mm又は28mm横架材に直張り
- ② 甲乙梁：90mm×90mmの正角材又は幅75mm×成120mm製材を平使い
- ③ 大梁側面に取り付ける床受材：幅55mm～75mm×成120mmの製材
- 2) 各部仕口形状及び性能
- Ⓐ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- Ⓑ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- Ⓒ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ
- ⑨ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ15mm×成60mm切り欠き甲乙梁は成60mm分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@75mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- ④ 大梁側面へ取り付ける床受材は木質構造用ビスφ6、L130～150を150mmピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

- 短期許容せん断耐力
13.5kN/m(合板釘ピッチ75mm)
19.1kN/m(合板釘ピッチ50mm)

面材
側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

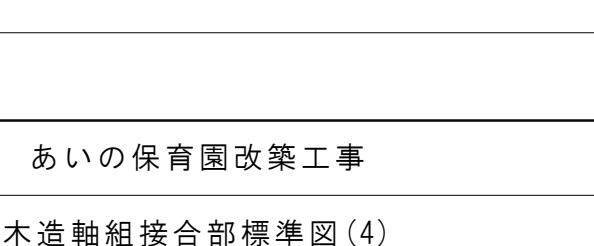
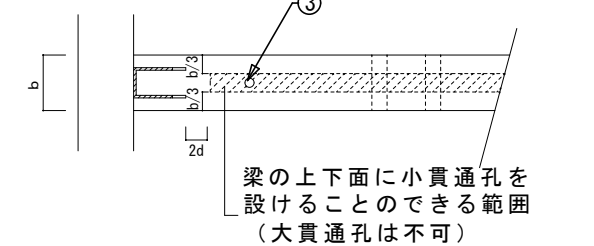
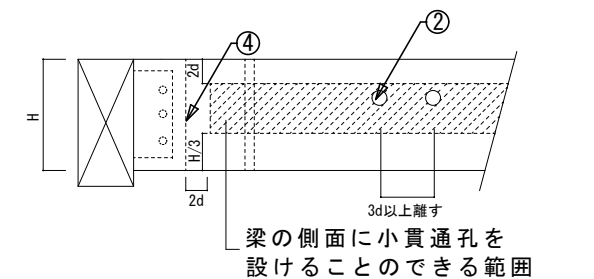
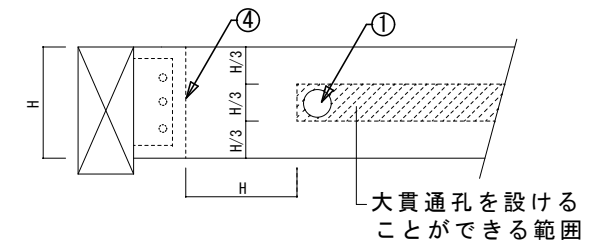
側面図

側面図

8. 貫通孔

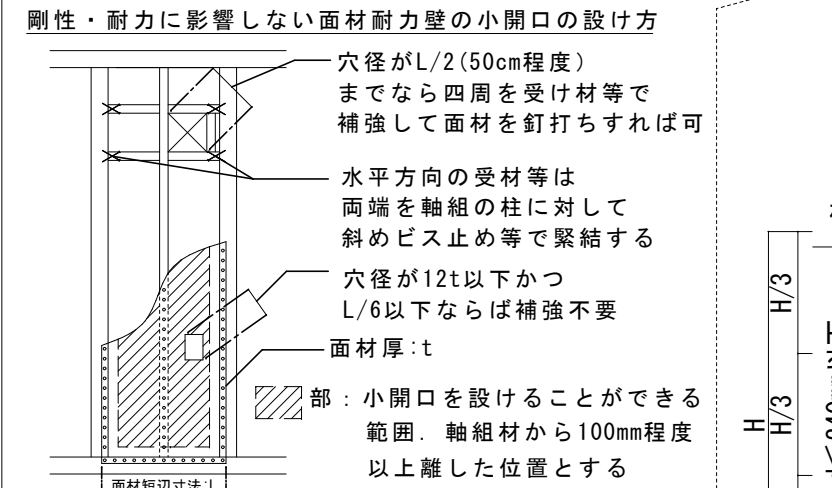
8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔：d≤H/4かつ150mm
- ② 小貫通孔：d≤30mm(隣り合う孔は3d以上離す)
- ③ 縦小貫通孔：d≤b/6かつ30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



8.2 耐力壁貫通孔

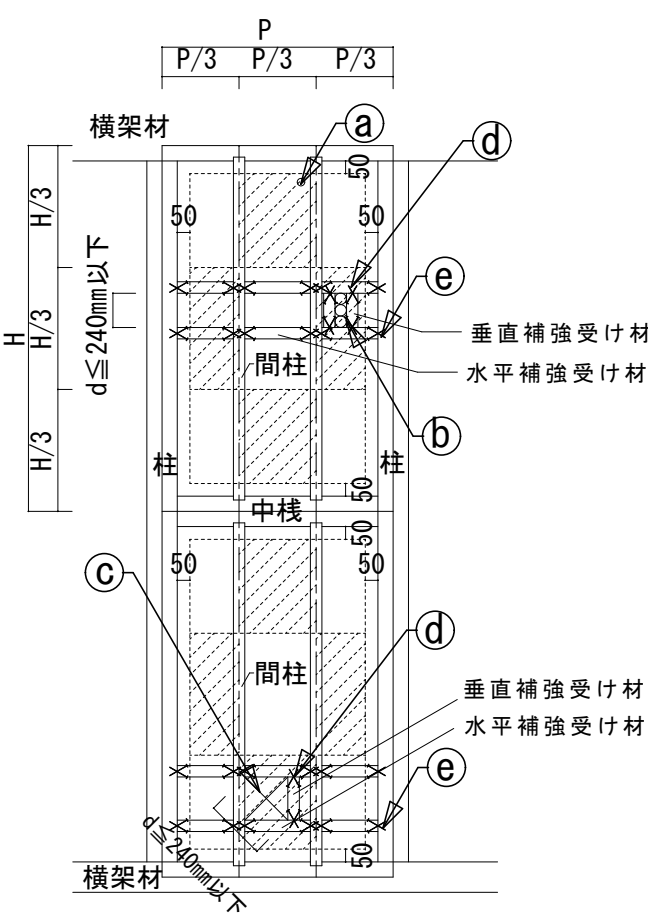
(1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール
剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁(JISA3301標準仕様)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール(JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- ① 小貫通孔(d≤30mm)
1区画につき1か所までなら補強不要
- ② 小貫通孔×3(外接円の径d≤240mm)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- ③ 大貫通孔(d≤240mm)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- ④ 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち
補強受材は間柱と同等以上の断面
- ⑤ 補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め

部：小開口を設けることができる範囲



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社若竹まちづくり研究所	図面番号 S-10
	図面名称	木造軸組接合部標準図(4)				縮尺 S=1/120		

開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

新 鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値（径） D…部材の成、又は鉄筋内法直径
@…間隔 r…半径 C…中心線 L…部分間の内法距離 h o…部材間の内法高さ
S T…あばら筋 H O O P…帯筋 S. H O O P…補強帯筋

2. 鉄筋加工

(1) 鉄筋の折り曲げ加工

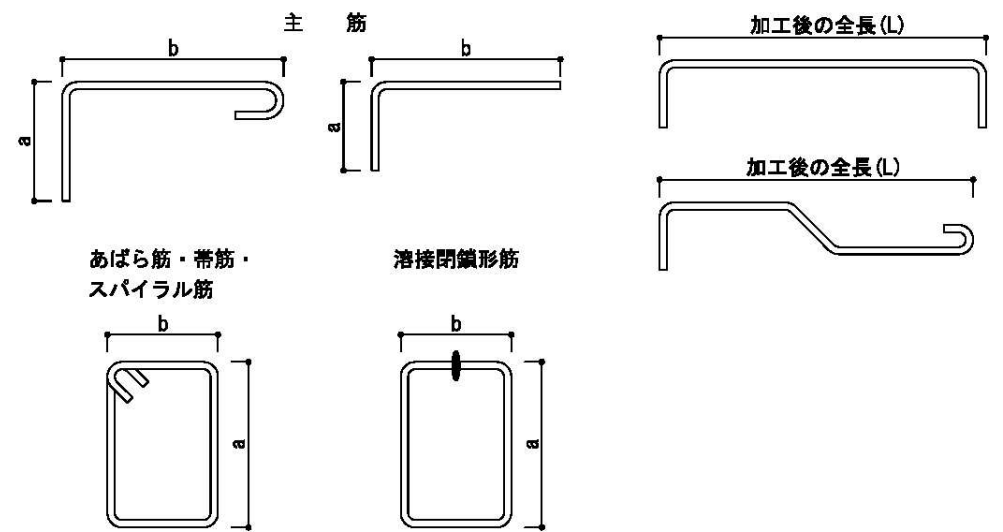
図	折り曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法直径(D)
	180°	SD295A SD295B SD345	D16以下	3d以上
	135°		D19～D41	4d以上
	90°	SD390	D41以下	5d以上
		SD490	D25以下	5d以上
			D29～D41	6d以上

- [注] (1) dは呼び名に用いた数値とする。
(2) スパイラル筋の重ね継手部に90° フックを用いる場合は、余長は12d以上とする。
(3) 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フックまたは135° フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
(4) スラブ筋、壁筋には、溶接金網を除いて丸鋼を使用しない。
(5) 折り曲げ内法直径を上表の数値よりも小さくする場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。
(6) SD490の鉄筋を90° を超える曲げ角度で折り曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い、支障ないことを確認した上で、工事監理者の承認を得る。

(2) 加工寸法の許容差

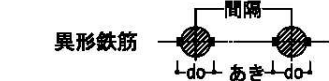
項 目		符 号	許 容 差	
各加工寸法 ⁽¹⁾	主 筋	D25以下	a, b	± 15
		D29以上D41以下	a, b	± 20
	あばら筋・帯筋・スパイラル筋		a, b	± 5
加 工 後 の 全 長		L	± 20	

- [注] (1) 各加工寸法及び加工後の全長の測り方の例を下図に示す。



(3) 鉄筋のあき

異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mmのうち最も大きい値。

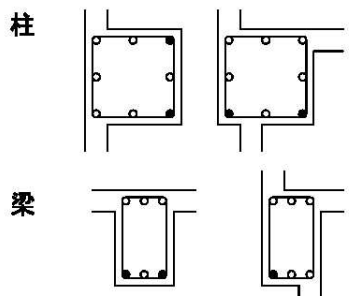


(4) 鉄筋のフック

a～eに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。

- a. あばら筋、帯筋、および幅止メ筋
b. 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
c. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分
および下端の両端にある場合の鉄筋（右図参照）
d. 単純梁の下端筋
e. その他、本配筋標準に記載する箇所

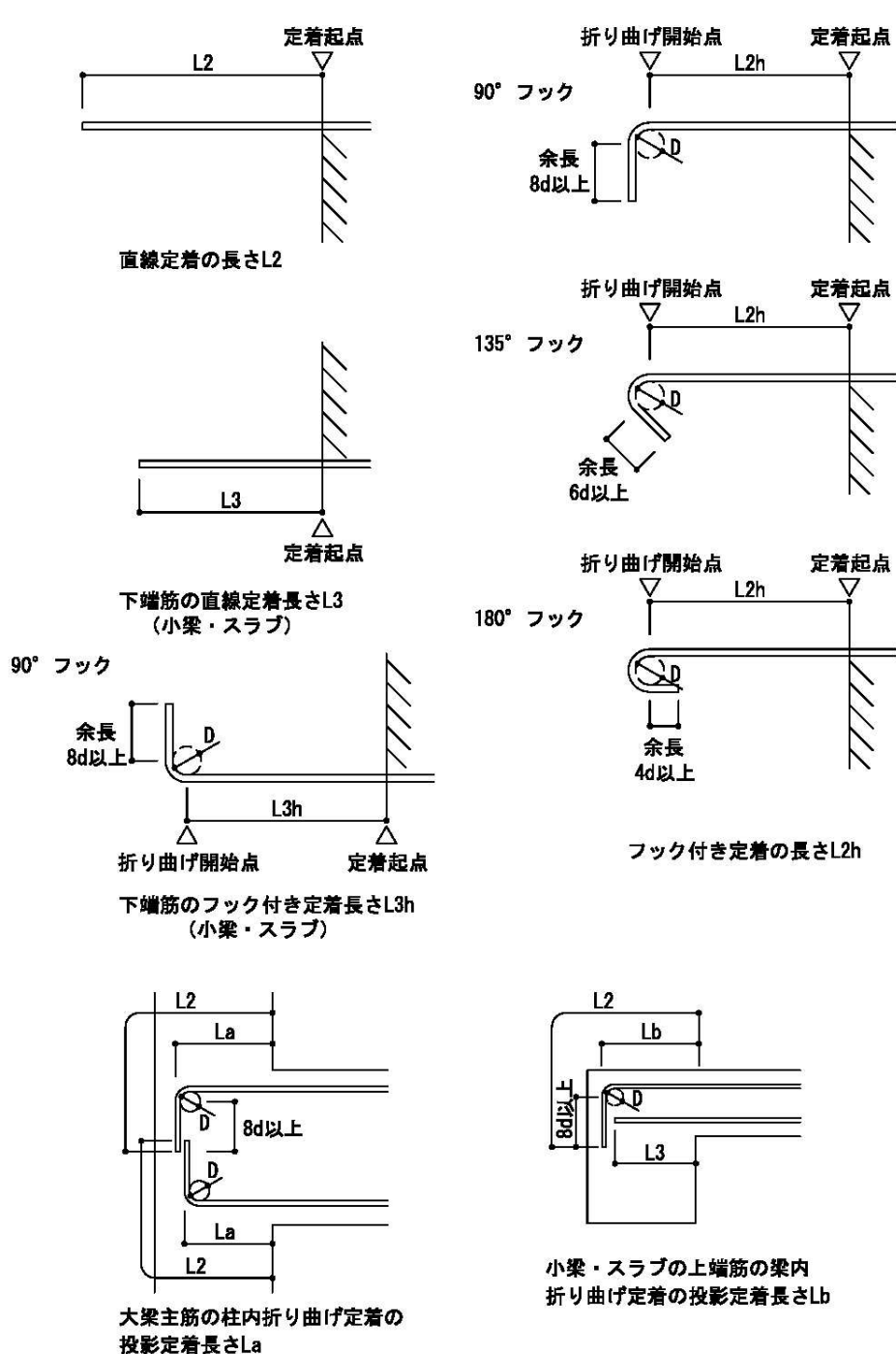
図の・印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



(5) 定着長さ

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 F_o (N/mm ²)	定 着 の 長 さ						スラブ下端筋
		L2 (フックなし)	L2h (フックあり)	La ⁽³⁾	Lb	L3 (フックなし)	L3h (フックあり)	
SD295A SD295B	18	40d	30d	20d	15d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	15d	15d			
	24～27	30d	20d	15d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	25d	15d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD345	18	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d かつ 150以上
	21	35d	25d	20d	20d			
	24～27	35d	25d	20d	15d			
	30～36	30d	20d	15d	15d			
	39～45	30d	20d	15d	15d			
	48～60	25d	15d	15d	15d			
SD390	21	40d	30d	20d	20d	20d	10d	10d かつ 150以上
	24～27	40d	30d	20d	20d			
	30～36	35d	25d	20d	15d			
	39～45	35d	25d	15d	15d			
	48～60	30d	20d	15d	15d			
	24～27	45d	35d	25d	—	—	—	—
SD490	30～36	40d	30d	25d	—			
	39～45	40d	30d	20d	—			
	48～60	35d	25d	20d	—			

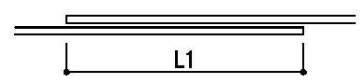
- [注] (1) フック付き鉄筋の定着長さL2hは、定着起点から鉄筋の折り曲げ開始点までの距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は定着長さに含まない。
(2) フック部の折り曲げ内法直径D及び余長は、「鉄筋の折り曲げ加工」の表による。
(3) 梁主筋を柱へ定着する場合、水平定着長さがL2h確保できない場合は折り曲げ定着とし、全定着長をL2以上とするとともに、水平投影長さをLa以上とし、余長を8d以上とする。尚、Laの値は原則として柱せいの3/4倍以上とする。
(4) 耐圧スラブの下端筋の定着長は一般定着L2とする。



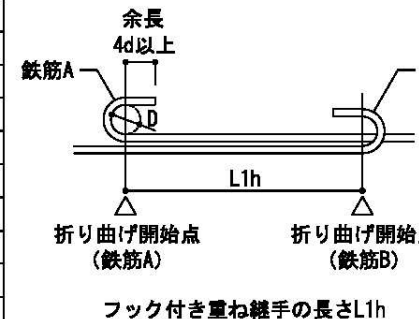
(6) 継手

■重ね継手

鉄筋種別	コンクリートの設計基準強度 F_o (N/mm ²)	重ね継手長さ	
		L1 (フックなし)	L1h (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24～27	35d	25d
	30～36	35d	25d
	39～45	30d	20d
	48～60	30d	20d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24～27	40d	30d
	30～36	35d	25d
	39～45	35d	25d
	48～60	30d	20d
SD390	21	50d	35d
	24～27	45d	35d
	30～36	40d	30d
	39～45	40d	30d
	48～60	35d	25d
	24～27	55d	40d
SD490	30～36	50d	35d
	39～45	45d	35d
	48～60	40d	30d



直線重ね継手の長さL1



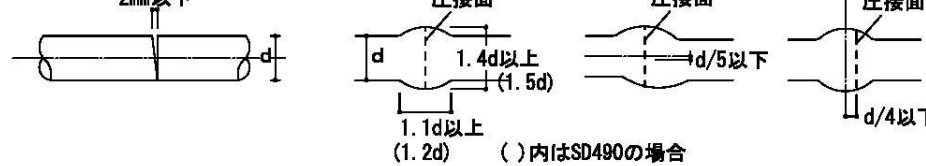
フック付き重ね継手の長さL1h

- [注] (1) 表中のdは、異形鉄筋の呼び名の数値を表し、丸鋼には適用しない。
(2) 直径の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
(3) フック付き重ね継手の長さは、鉄筋相互の折り曲げ開始点間の距離とし、折り曲げ開始点以降のフック部は継手長さに含まない。

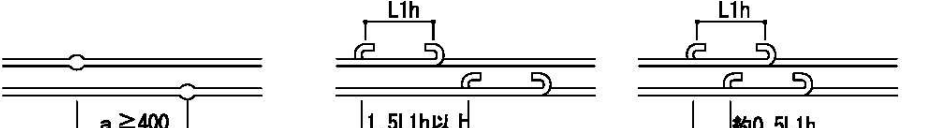
■継手に関する注意点

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径dの差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- ガス圧接継手の形状、および継手の配置は下図による。

- ・ガス圧接形状（平成12年建設省告示1463号下図のほか、折れ曲がり、焼き割れ、へこみ、垂れ下がり及び内部欠損がないもの）



・圧接継手



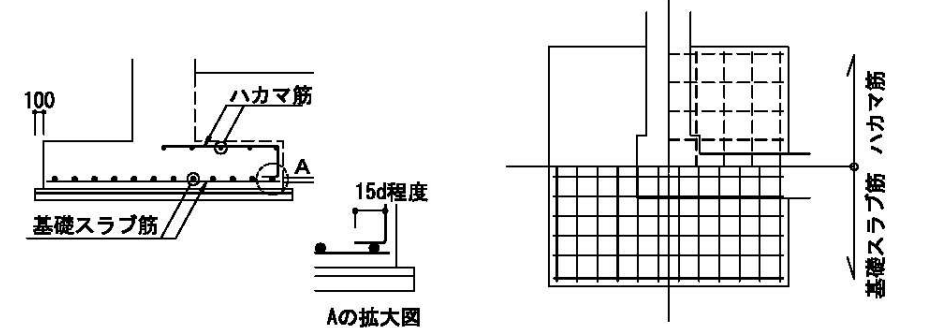
- 溶接継手および機械式継手を用いる場合は、信頼できる機関の評定等を受けたA級継手工法とする。
- 非破壊検査は工事監理者が承諾した信頼できる検査機関で行うこと。

3. 杭・基礎

（配筋については地震力等の水平力等を考慮して別途検討すること）

(1) 直接基礎

①独立基礎



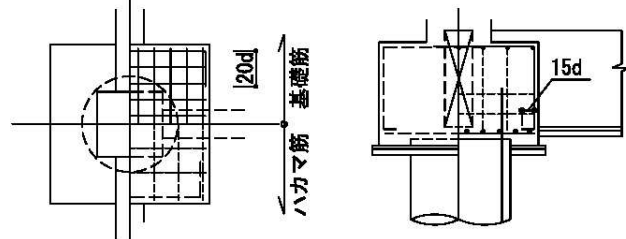
②ベタ基礎



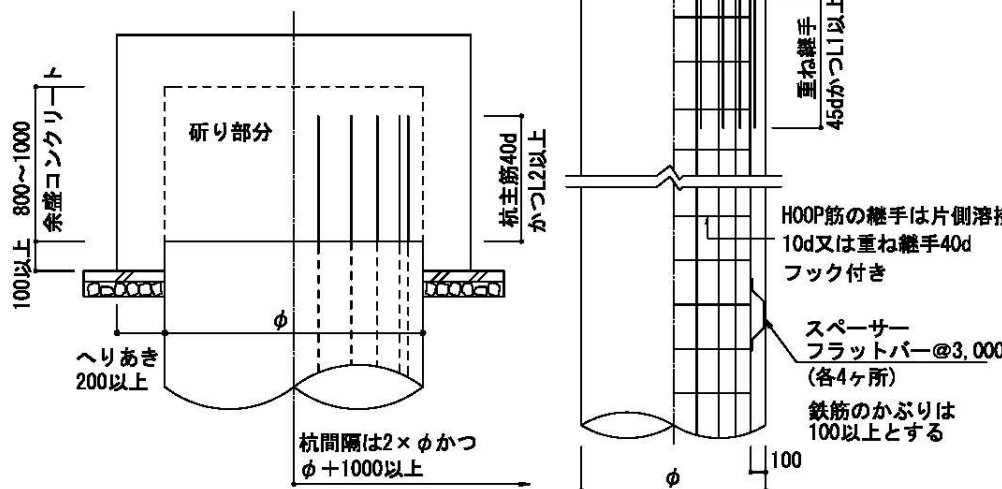
- 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
- ②の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は40を70とする

(2) 杭基礎

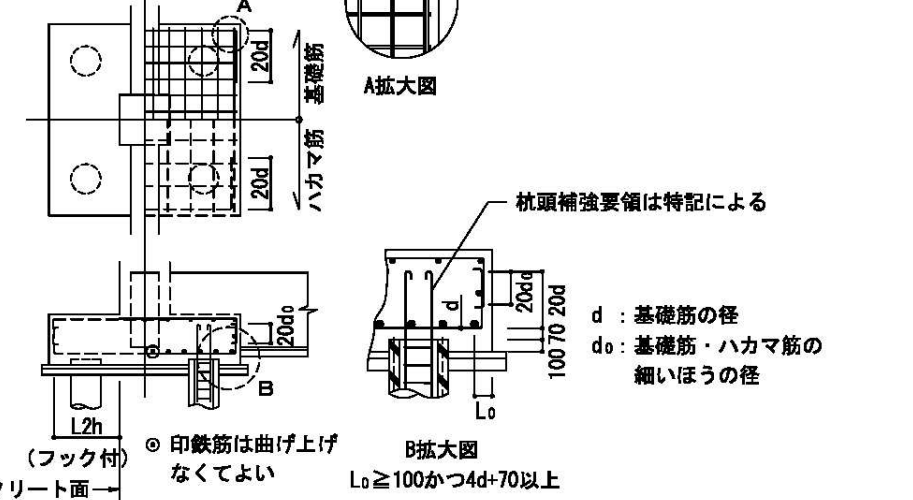
① 場所打ち杭



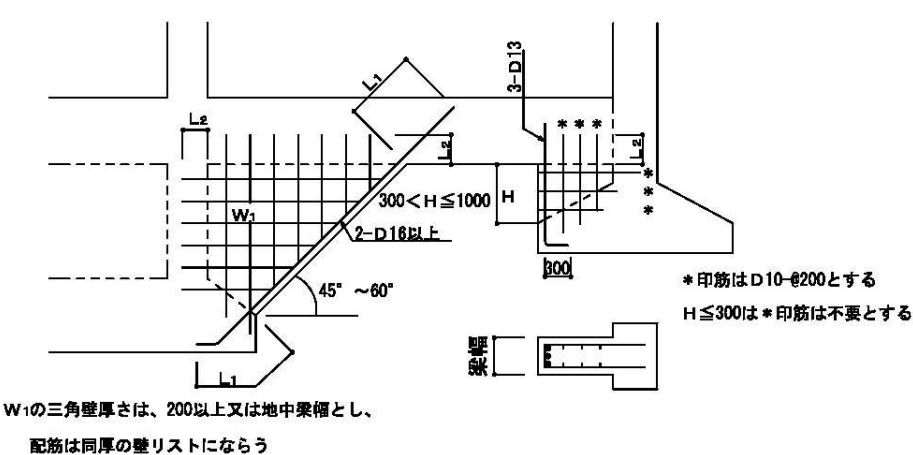
杭頭処理要領



② PHC杭



(3) 基礎接合部の補強

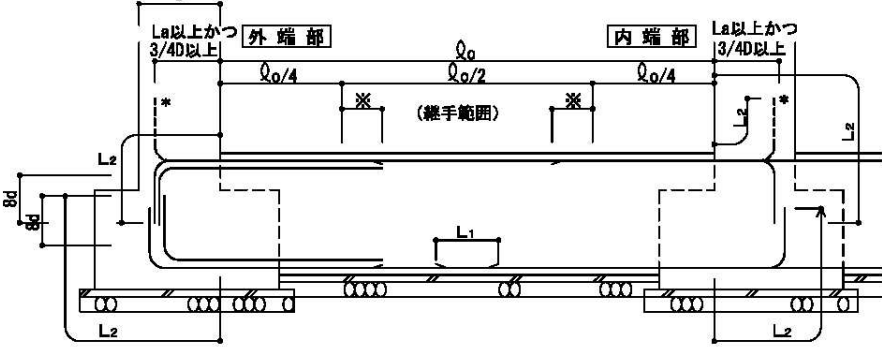


新鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと

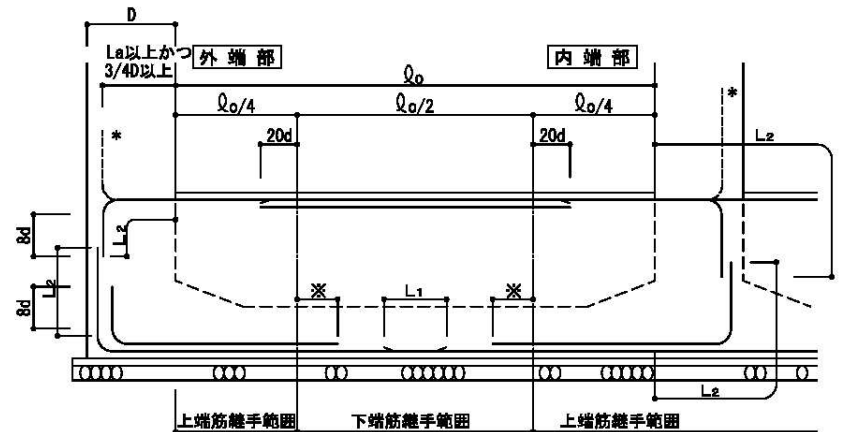
4. 地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)
(長期荷重が支配的な場合の継手は6. (2) 大梁継手位置とする。)*上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる。



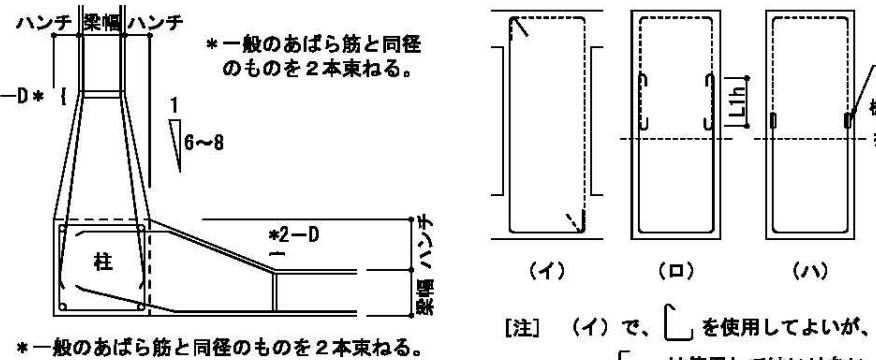
※主筋のカットオフ長さは $L_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による。

(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)

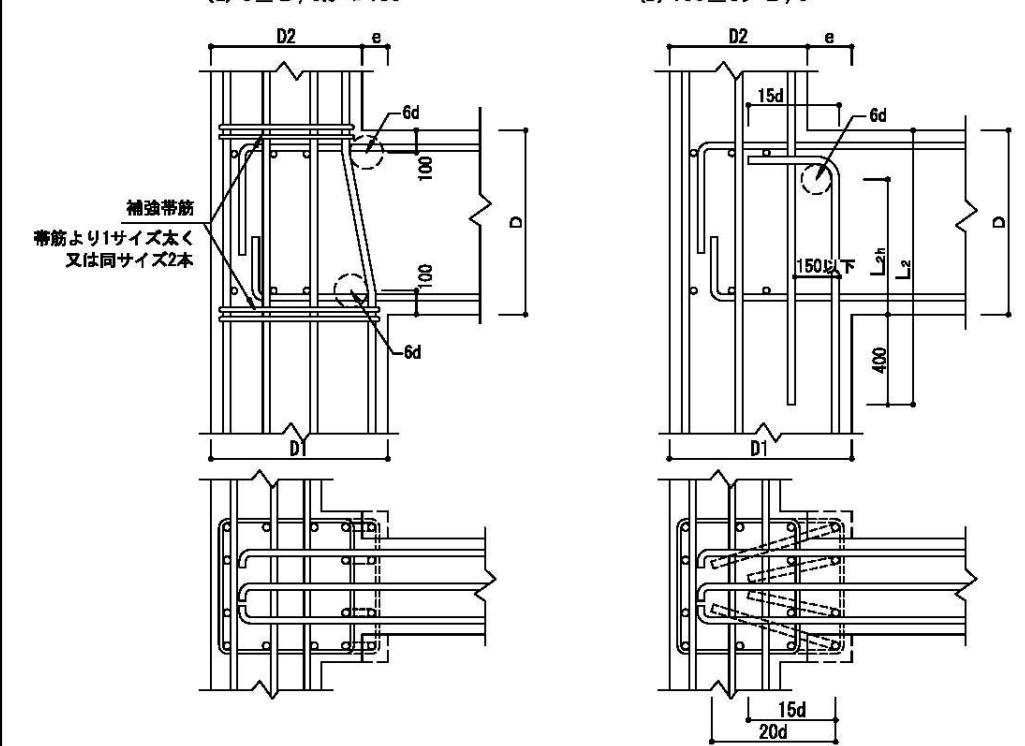


※主筋のカットオフ長さは $L_o/4 + 15d$ を基本とし、特別な長さを要する部分は6. 大梁の項の表6-1による。

(3) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (4) せいの高い梁のあばら筋加工要領

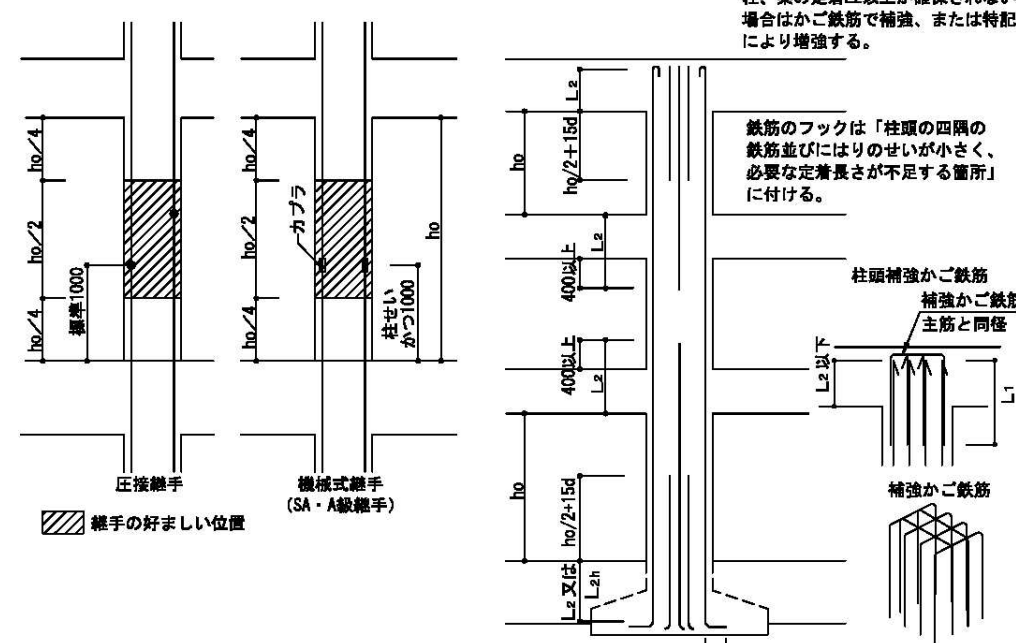


(6) 絞り

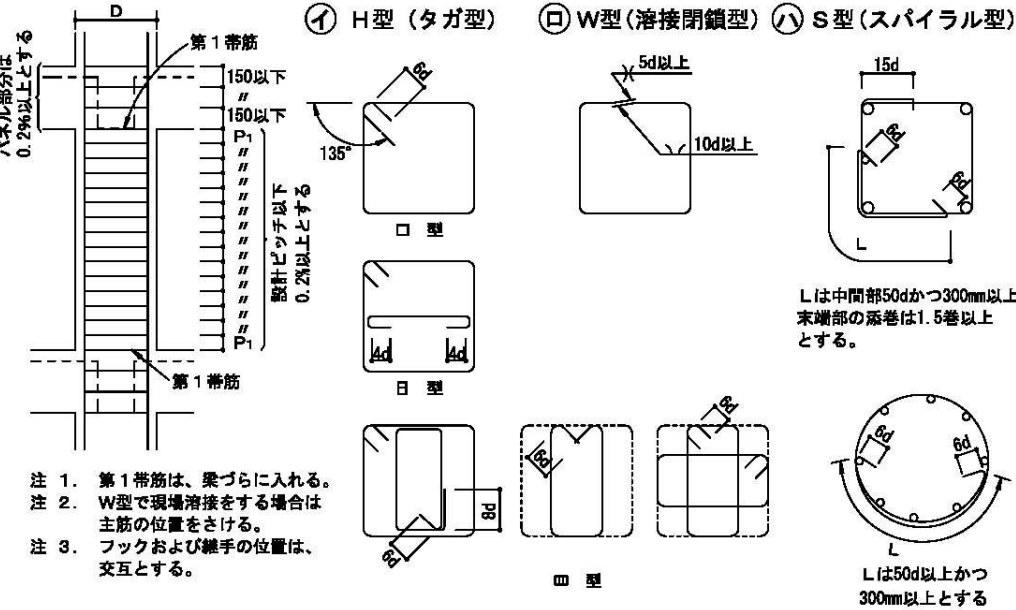


5. 柱

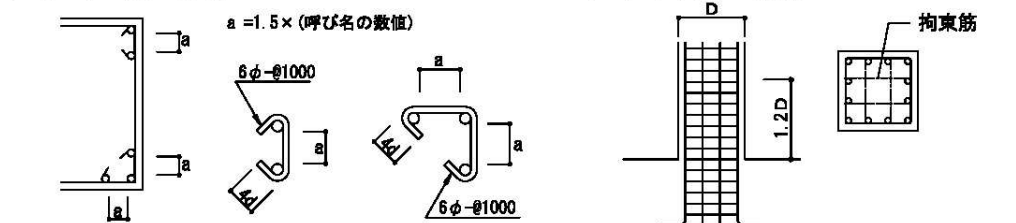
(1) 柱主筋の継手位置 (2) 柱主筋の定着



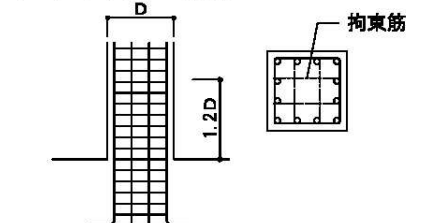
(3) 帯筋



(4) 寄せ筋の保持



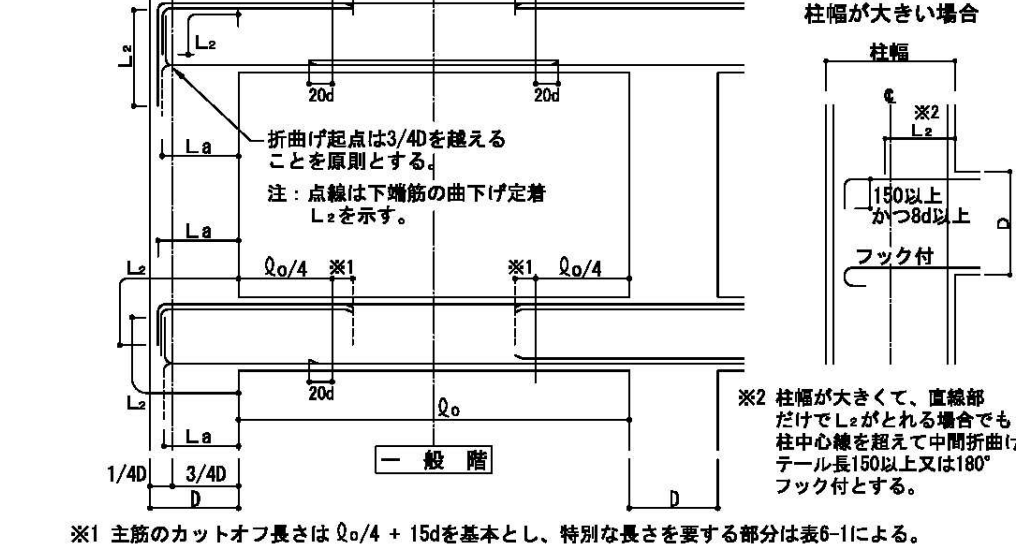
(5) 柱脚部の補強



6. 大梁

(1) 定着

① 一般



② ハンチがある場合

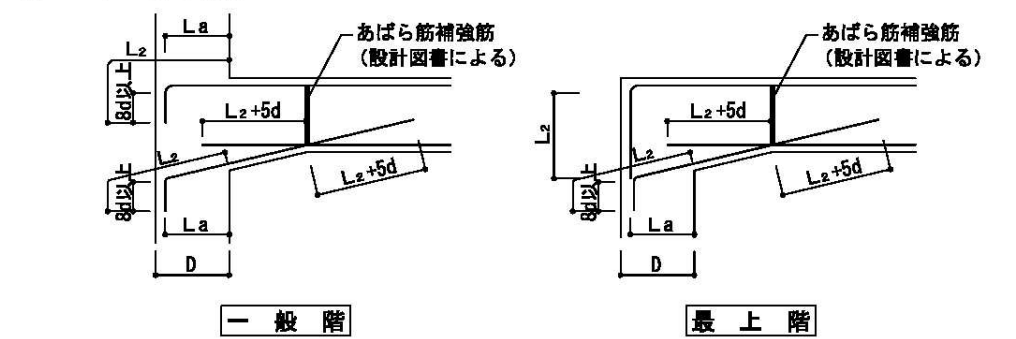
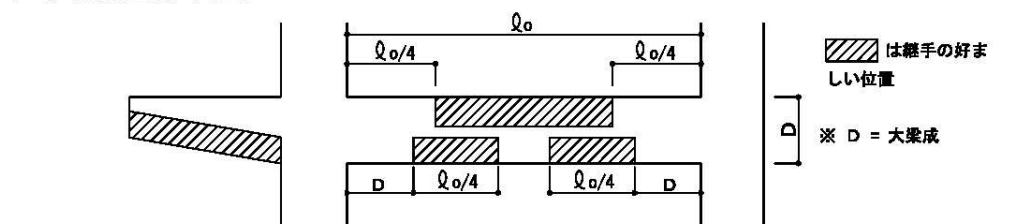
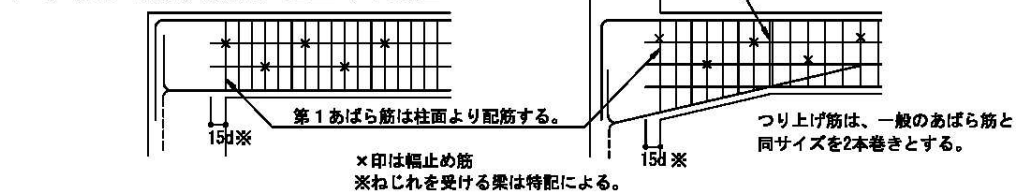


表6-1 特別なカットオフ長さを要する部材 (mm)			
部材名	$L_o/4$ に加える長さ	部材名	$L_o/4$ に加える長さ

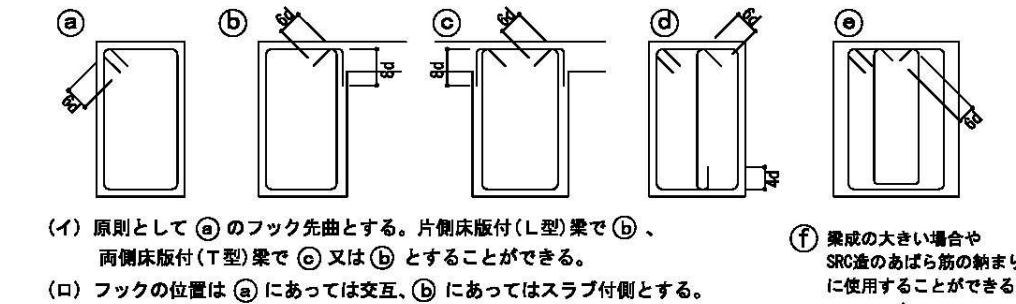
(2) 大梁主筋の継手 (SA級、A級継手を使用する場合の継手位置は特記による。)



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型 (注、床版がない場合は135°以上のフックとする。)

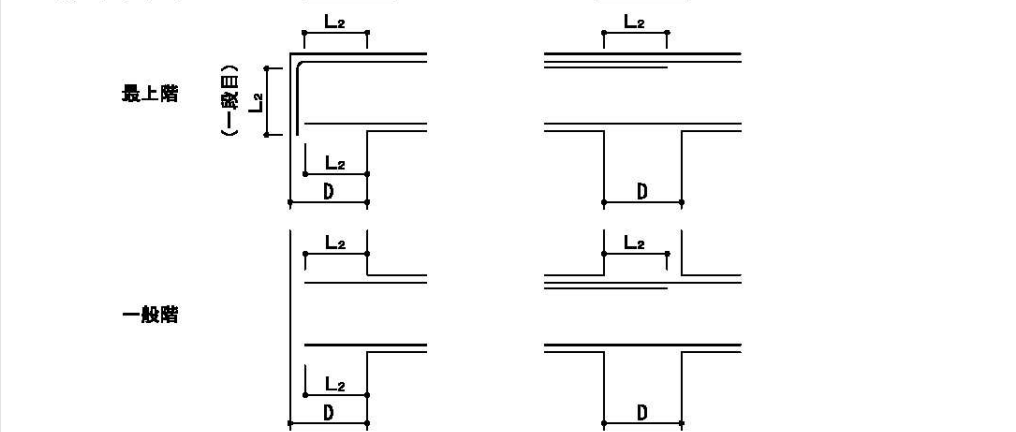


(5) 幅止め筋の本数、加工

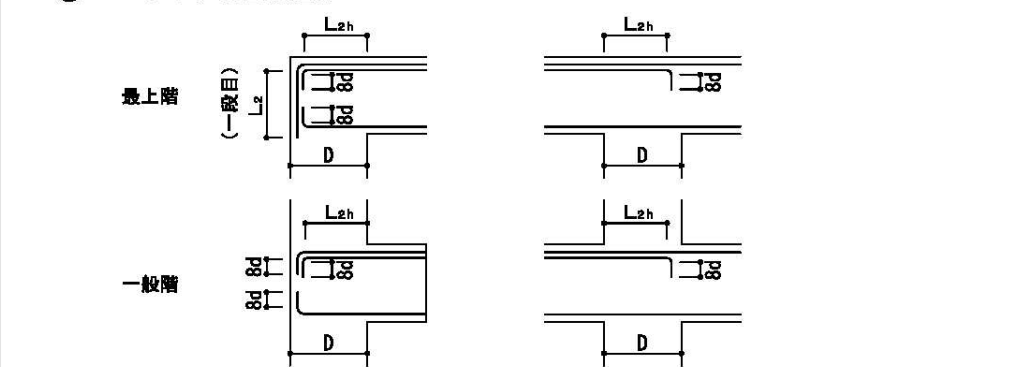
幅止め筋	
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける
幅止め筋	D10@1000以内で割り付ける

(6) 梁主筋の定着

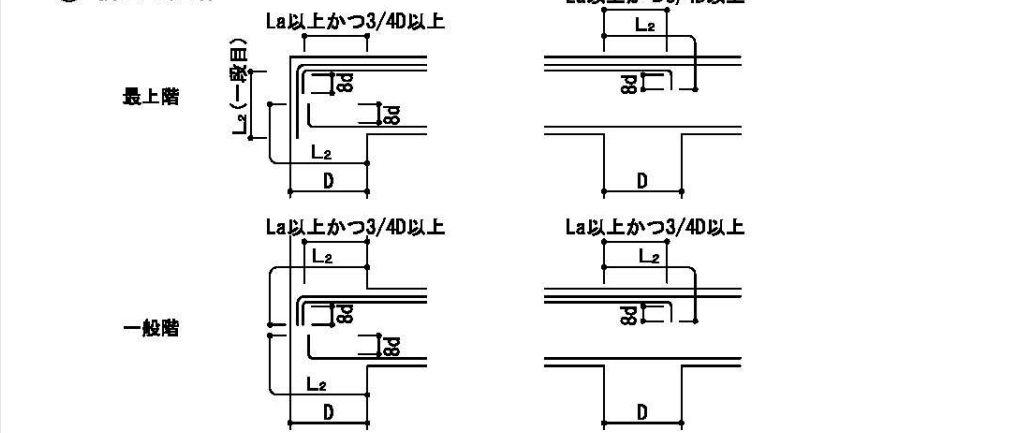
① 直線定着



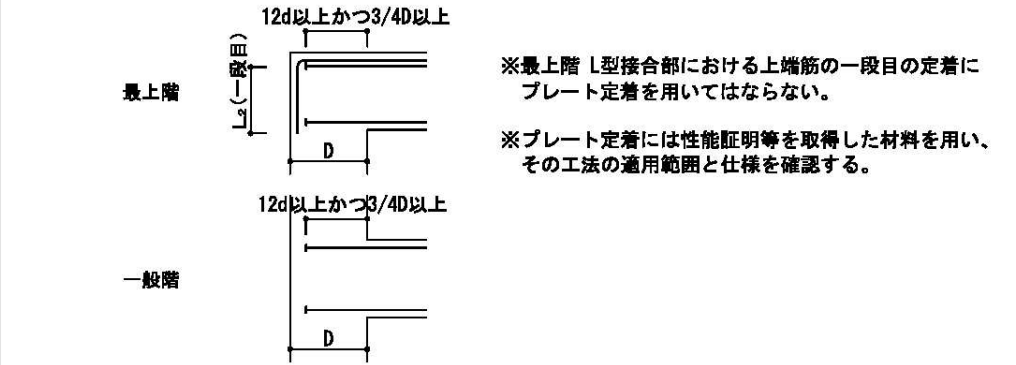
② 90° フック付直線定着



③ 折曲げ定着



④ プレート定着



※最上階 L型接合部における上端筋の一段目の定着にプレート定着を用いてはならない。
※プレート定着には性能証明等を取付した材料を用い、その工法の適用範囲と仕様を確認する。

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

Draw

Check

作成年月日

株式会社若竹まちづくり研究所

図面番号

図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

縮尺

S=1/120

開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号


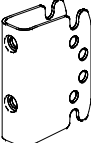
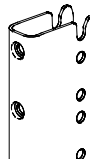
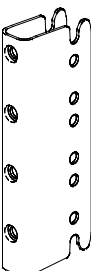
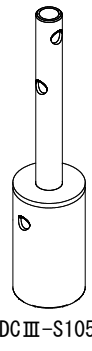
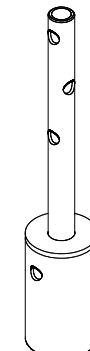
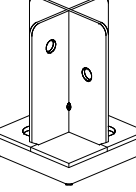
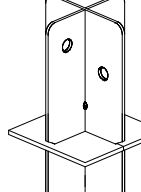
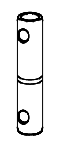
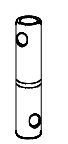




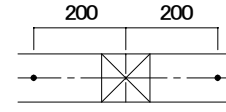
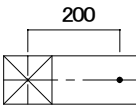
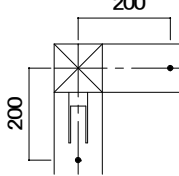
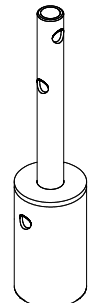
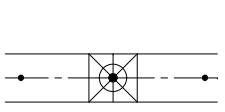
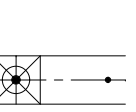
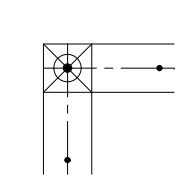
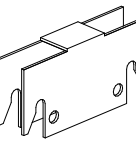
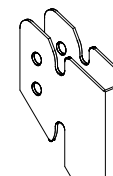
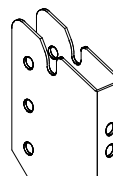
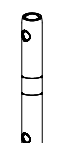
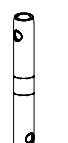




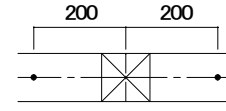
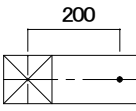
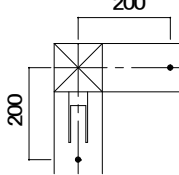
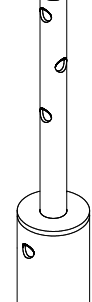
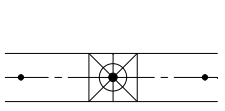
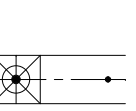
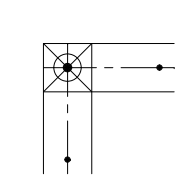
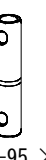

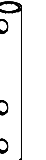
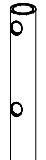
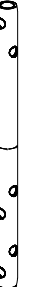
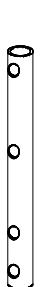
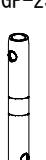
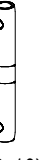
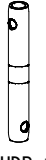
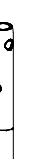


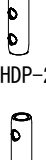
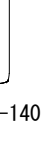
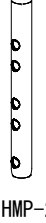
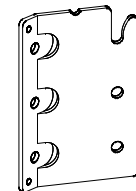
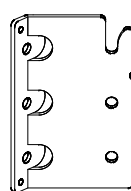
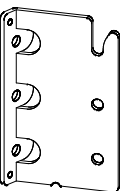


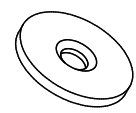

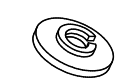

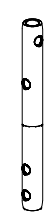




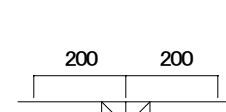
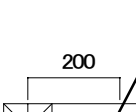
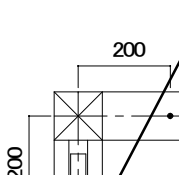
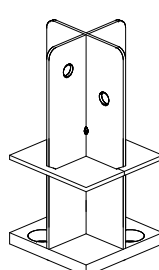
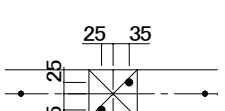
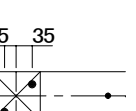
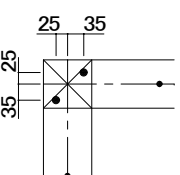
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号


S-12

木造軸組接合部標準図 金物工法 TEC-ONE テックワン（タツミ）（1）									
キープラン			C・D：中柱・隅角 (GP-95)	C・D：中柱 (PBC-27・49)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-45)	H：土台・大引 (GDS-10BF)	J・L：梁・登り梁 (GUD-180)	K：登り梁・母屋	
※共通事項： 表中に示すアンカーボルト・座金等によらない場合は、同等のものを使用すること。			C・D：中柱・隅角 (GP-140)	E：柱継部 (HDP-CC)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-51)	I：土台継手 (GJ)	J・L：梁・登り梁 (GUD-180)	隅木 (TP・TP+・KP)	
								TP	
A：中柱 (GP-95)	A：中柱 (HDP-15)	B：柱脚部 (HDCⅢ-L)	C・D：中柱 (GP-190)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-10)					
告示 平12建告1460号（い～は）相当 〈一般部〉1-M12 + 40角座金 とする。	告示 平12建告1460号（と）相当 2-M12 + 60角座金 2-M12 + ネジワッシャー 2-M16 + 54角座金 のうちのいずれかとする。	告示 平12建告1460号（ぬ超え）相当 1-M16 + 付属品座金 とする。		梁成 105～150 mm 					
A：中柱 (GP-95)	A：中柱 (HDP-20)	B：柱脚部 (PBG-63)	C・D：中柱 (GP-235)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-18)					
告示 平12建告1460号（に・ほ）相当 〈一般部〉2-M12 + 40角座金 とする。	告示 平12建告1460号（ち）相当 2-M16 + ネジワッシャー 2-M16 + 80角座金 (25.5kN) 2-M16 + 54角座金 (23.4kN) のうちのいずれかとする。	告示 平12建告1460号（ぬ超え）相当 2-M16 + 付属品座金 とする。		梁成 180～210 mm 					
A：中柱 (HDP-10)	B：隅角部 (GP-95・HDP-10/15/20)	B：柱頭部 (HMP-140)	C・D：中柱 (HDP-10・15)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-24)					
告示 平12建告1460号（い～へ）相当 2-M12 + 40角座金 2-M12 + ネジワッシャー 2-M16 + 54角座金 のうちのいずれかとする。	告示 平12建告1460号（い・ろ）相当 〈隅角部〉2-M12 + 40角座金 (7.5kN) 2-M16 + HDW-M16 (9.2kN/17.6kN) とする。			梁成 240～300 mm 					
A：中柱 (HLP-10)	B：柱脚部 (HDCⅢ-S)	B：柱頭部 (HMP-260)	C・D：中柱 (HDP-20・15)	F・G：柱・梁・梁・梁 (TH-33)					
告示 平12建告1460号（はorへ）相当 2-M12 + 40角座金 2-M12 + ネジワッシャー 2-M16 + 54角座金 のうちのいずれかとする。	告示 平12建告1460号（り）相当 1-M16 + 付属品座金 とする。			梁成 330～420 mm 					
水平斜め梁 (BAP-180・240)									
斜め梁角度：30°・45°・60° 梁成 180～240 mm 短期許容せん断接合耐力 14.5kN									
斜め梁：30°									
斜め梁：60°									
斜め梁：45°									
平柱用柱脚金物 (BS3コネクト)									
対応柱幅 240 mm せん断応力 大 せん断応力 小 φ12ドリフトピン ▽基礎天端均し アンカーボルト位置 ※BS3の設置向きは構造図による。 →応力が大きく生じる方向に対して TH-24がノーマル方向（純せん断耐力が 発揮される方向）とすること ※アンカーボルトの出量は 基礎天端均しより45～55mm									
M12ボルト L=30mm M12スプリングワッシャー M12ナット M16用専用座金 (t6×φ40) ▽基礎天端均し 2-M16アンカーボルト									
平柱									
φ21									
φ21									
2.5 M16 2.5									
許容寸法±2.5mm									
※アンカーボルトの出量は 基礎天端均しより45～55mm									

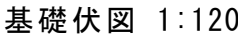
平成29年5月15日発行 一般社団法人 中大規模プレカット技術協会

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦ 株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 S-14
	図面名称	木造軸組接合部標準図 金物工法TEC-ONE			縮 尺 S=1/120		


木造軸組接合部標準図 金物工法 TEC-ONE テックワン（タツミ）（2）																																							
■：採用 □：不採用																																							
接合具				納まり例（１階柱脚部）																																			
梁受け金物	種類・記号	形状		種類・記号						HDCⅢ-S スプルス同一等級構成集成材 E95-F315																													
	<div><input type="checkbox"/> TH-10 梁成：105～150</div> <div><input type="checkbox"/> TH-18 梁成：180～210</div> <div><input type="checkbox"/> TH-24 梁成：240～300</div> <div><input type="checkbox"/> TH-33 梁成：330～420</div>	<div> ＜ TH-10 ＞</div> <div> ＜ TH-18 ＞</div> <div> ＜ TH-24 ＞</div> <div> ＜ TH-33 ＞</div>	柱脚金物	<div><input type="checkbox"/> HDCⅢ-S105/120 パイプ柱脚金物</div> <div><input type="checkbox"/> HDCⅢ-L105/120 パイプ柱脚金物</div> <div><input type="checkbox"/> PBC-27・49(T/+) スリット柱頭柱脚金物</div> <div><input type="checkbox"/> PBH-63 スリット柱脚金物</div>	<div> ＜ HDCⅢ-S105/120 ＞</div> <div> ＜ HDCⅢ-L105/120 ＞</div> <div> ＜ PBC-27・49(T/+) ＞</div> <div> ＜ PBH-63 ＞</div>	<div> ＜ GP-95 ＞</div> <div> ＜ GP-95(+) ＞</div> <div> ＜ DP ＞</div> <div> ＜ 角座金 40 ＞</div> <div> ＜ HDW-W12 ＞</div> <div> ＜ HDW-N12 ＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<div>＜HDCⅢ-S105/120＞</div> <div>付属品 ＜ MZ（高力ボルト）＞ ＜ M12ナット(S45C)＞ ＜ 偏心座金＞ ＜ ワッシャー＞ ＜ DP(S45C)＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>9.2 / 9.0 GP-95 / GP-95(+)</td><td>短期基準耐力</td><td>8.1</td><td>短期基準耐力</td><td>6.6</td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) 角座金 40 250mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上</td></tr></table>	短期基準耐力	9.2 / 9.0 GP-95 / GP-95(+)	短期基準耐力	8.1	短期基準耐力	6.6	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) 角座金 40 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上	<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>28.5</td><td>短期基準耐力</td><td>28.5</td><td>短期基準耐力</td><td>28.5</td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16(Z) 付属品 410mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16(Z) 付属品 410mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16(Z) 付属品 410mm以上</td></tr></table>	短期基準耐力	28.5	短期基準耐力	28.5	短期基準耐力	28.5	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上				
	短期基準耐力	9.2 / 9.0 GP-95 / GP-95(+)	短期基準耐力	8.1	短期基準耐力	6.6																																	
	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) 角座金 40 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) ホールダウンワッシャー 250mm以上																																	
短期基準耐力	28.5	短期基準耐力	28.5	短期基準耐力	28.5																																		
A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) 付属品 410mm以上																																		
土台継手金物	<div><input type="checkbox"/> GJ-10 土台継手用</div>	<div> ＜ GJ-10 ＞</div>	登梁受金物	<div><input type="checkbox"/> GUD-180 梁成：180～210 勾配：4～10寸</div> <div><input type="checkbox"/> GUD-240 梁成：240～300 勾配：4～10寸</div>	<div> ＜ GUD-180 ＞</div> <div> ＜ GUD-240 ＞</div>	<div> ＜ HDP-10 ＞</div> <div> ＜ HDP-10(+) ＞</div> <div> ＜ DP ＞</div> <div> ＜ 角座金 40 ＞</div> <div> ＜ HDW-W16/12 ＞</div> <div> ＜ HDW-N16/12 ＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<div>＜HDCⅢ-L105/120＞</div> <div>付属品 ＜ MZ（高力ボルト）＞ ＜ M12ナット(S45C)＞ ＜ 偏心座金＞ ＜ ワッシャー＞ ＜ DP(S45C)＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>10.6 / 13.0 HDP-10/HDP-10(+)</td><td>短期基準耐力</td><td>7.6</td><td>短期基準耐力</td><td>10.5</td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) 角座金 40 250mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16(Z) HWD-M16 360mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) HWD-M12 250mm以上</td></tr></table>	短期基準耐力	10.6 / 13.0 HDP-10/HDP-10(+)	短期基準耐力	7.6	短期基準耐力	10.5	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) 角座金 40 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) HWD-M16 360mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) HWD-M12 250mm以上	<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>39.6</td><td>短期基準耐力</td><td>39.6</td><td>短期基準耐力</td><td>39.6</td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16[4.8] 付属品 570mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16[4.8] 付属品 570mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M16[4.8] 付属品 570mm以上</td></tr></table>	短期基準耐力	39.6	短期基準耐力	39.6	短期基準耐力	39.6	A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上				
短期基準耐力	10.6 / 13.0 HDP-10/HDP-10(+)	短期基準耐力	7.6	短期基準耐力	10.5																																		
A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) 角座金 40 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16(Z) HWD-M16 360mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) HWD-M12 250mm以上																																		
短期基準耐力	39.6	短期基準耐力	39.6	短期基準耐力	39.6																																		
A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	M16[4.8] 付属品 570mm以上																																		
柱頭・柱脚金物	<div><input type="checkbox"/> GP-95 ホソバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> GP-95(+) ホソバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> GP-140 ホソバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> GP-190 ホソバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> GP-235 ホソバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HDP-10 ホールダウンバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HDP-10(+) ホールダウンバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HDP-15 ホールダウンバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HDP-20 ホールダウンバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HDP-CC 柱継ぎバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HMP-140 柱持たせバイブ</div> <div><input type="checkbox"/> HMP-260 柱持たせバイブ</div>	<div> ＜ GP-95 ＞</div> <div> ＜ GP-95(+) ＞</div> <div> ＜ GP-140 ＞</div> <div> ＜ GP-190 ＞</div> <div> ＜ GP-235 ＞</div> <div> ＜ HDP-CC ＞</div> <div> ＜ GP-235 ＞</div> <div> ＜ HDP-10 ＞</div> <div> ＜ HDP-10(+) ＞</div> <div> ＜ HDP-15 ＞</div> <div> ＜ HDP-20 ＞</div> <div> ＜ HDP-15 ＞</div> <div> ＜ HDP-20 ＞</div> <div> ＜ HMP-140 ＞</div> <div> ＜ HMP-260 ＞</div>	水平斜梁金物	<div><input type="checkbox"/> BAP-180 30L/R 梁成：180 水平角30度</div> <div><input type="checkbox"/> BAP-180 45L/R 梁成：180 水平角45度</div> <div><input type="checkbox"/> BAP-180 60L/R 梁成：180 水平角60度</div> <div><input type="checkbox"/> BAP-240 30L/R 梁成：240 水平角30度</div> <div><input type="checkbox"/> BAP-240 45L/R 梁成：240 水平角45度</div> <div><input type="checkbox"/> BAP-240 60L/R 梁成：240 水平角60度</div>	<div> ＜ BAP-180 30R ＞</div> <div> ＜ BAP-180 45R ＞</div> <div> ＜ BAP-180 60R ＞</div>	座金・ナット	<div><input type="checkbox"/> 角座金 W4.5×40/W6.0×54</div> <div><input type="checkbox"/> NS バクナット M12</div> <div><input type="checkbox"/> HDW-M16/M12 W6×φ67</div> <div><input type="checkbox"/> 丸座金SW付 W4.5×φ45</div> <div><input type="checkbox"/> 丸座金 W4.5×φ45</div>	<div> ＜ 角座金 ＞</div> <div> ＜ NS ＞</div> <div> ＜ HDW-W16/12 ＞</div> <div> ＜ HDW-N16/12 ＞</div> <div> ＜ 丸座金SW付 ＞</div> <div> ＜ 丸座金 ＞</div>	HDP-15 柱：杉K D 横架材：米ツガK D	<div> ＜ HDP-15 ＞</div> <div> ＜ DP ＞</div> <div> ＜ 角座金 54 ＞</div> <div> ＜ HDW-W16/12 ＞</div> <div> ＜ HDW-N16/12 ＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<div>＜PBH-63＞</div> <div>付属品 ＜ アジャスター座金＞ ＜ ワッシャー＞ ＜ DP(S45C)＞</div>	<div>＜中柱＞</div> <div>＜隅柱＞</div> <div>＜隅角部＞</div>	<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>16.9</td><td>短期基準耐力</td><td></td><td>短期基準耐力</td><td></td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>M12(Z) HDW-W16/T2 角座金 54 250mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td></td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td></td></tr></table>	短期基準耐力	16.9	短期基準耐力		短期基準耐力		A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) HDW-W16/T2 角座金 54 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長		A. Bolt 座金 埋込長		<table><tr><td>短期基準耐力</td><td>63.4</td><td>短期基準耐力</td><td>63.4</td><td>短期基準耐力</td><td>63.4</td></tr><tr><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>2-M16(Z) 付属品 530mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>2-M16(Z) 付属品 530mm以上</td><td>A. Bolt 座金 埋込長</td><td>2-M16(Z) 付属品 530mm以上</td></tr></table>	短期基準耐力	63.4	短期基準耐力	63.4	短期基準耐力	63.4	A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上
	短期基準耐力	16.9	短期基準耐力		短期基準耐力																																		
	A. Bolt 座金 埋込長	M12(Z) HDW-W16/T2 角座金 54 250mm以上	A. Bolt 座金 埋込長		A. Bolt 座金 埋込長																																		
	短期基準耐力	63.4	短期基準耐力	63.4	短期基準耐力	63.4																																	
A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上	A. Bolt 座金 埋込長	2-M16(Z) 付属品 530mm以上																																		
HDP-20 柱：杉K D 横架材：米ツガK D				※ 表中(Z)：Zマーク表示品アンカーボルト																																			
				■試験時使用樹種以上を使用可能推奨樹種としております。																																			
				■試験耐力値は材幅105mm以上を基本としておりますが、材幅90mmの耐力値も一部別途ございます。																																			
				■試験機関について 住木：（公財）日本住宅・木材技術センター HP：ハウスプラス確認検査㈱ 建試：（一財）建材試験センター 社内：㈱タツミ社内試験																																			
				金物詳細情報URL http://www.tatsumi-web.com/login ※ ユーザー登録が必要になります。																																			


特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
	図面名称	木造軸組接合部標準図 金物工法TEC-ONE				縮 尺 S=1/120		


木造軸組接合部標準図 金物工法 TEC-ONE テックワン（タツミ）（3）																					
耐力表																					
梁受 柱┃梁 接合	柱：スプルス集成材（E95-F315） 梁：スプルス集成材（E105-F300）				2 段 使 い	柱：杉KD（E50） ※TH-66 柱材スプルス集成材（120×120 同一等級構成 E95-F315） 梁：杉集成材（E65-F225）				柱 脚 ・ 柱 頭 部	柱：杉KD 横架材：米ツガKD ※ 隅柱、隅角部は HDW-M16/M12を使用した場合の値										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33		TH-45	TH-51		TH-57	TH-66		部位	GP-95	GP-95(+)	HDP-10	HDP-10(+)	HDP-15	HDP-20	
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	13.6 （HP）	27.1 （HP）	34.8 （HP）		40.3 （HP）	短期基準引張耐力 ＜kN＞	22.3 （TH-33の値）	22.3 （TH-33の値）		22.3 （TH-33の値）	22.3 （TH-33の値）	柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）	
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	8.0 （HP）	24.3 （HP）	34.9 （HP）		41.5 （HP）	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	46.0 （HP）	59.8 （HP）		65.7 （HP）	※ 75.0 （HP）		隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）	
短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	9.2 （HP）	20.9 （HP）	23.8 （HP）	41.7 （HP）	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	38.1 （TH-33の値）	38.1 （TH-33の値）	38.1 （TH-33の値）	38.1 （TH-33の値）	隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）		10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）				
梁受 梁┃梁 接合	梁：スプルス集成材（E105-F300） 梁：スプルス集成材（E105-F300）				2 段 使 い	梁：杉集成材（E65-F225） 梁：杉集成材（E65-F225）				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33		TH-45	TH-51		TH-57	TH-66	柱頭	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	25.5 （HP）	
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	10.3 （HP）	30.6 （HP）	40.7 （HP）		57.6 （HP）	短期基準引張耐力 ＜kN＞	38.9 （TH-33の値）	38.9 （TH-33の値）		38.9 （TH-33の値）	38.9 （TH-33の値）	柱・柱 継ぎ			11.6 （HP）	11.6 （HP）				
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	7.6 （HP）	15.3 （HP）	22.7 （HP）		39.4 （HP）	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	52.9 （HP）	65.8 （HP）		77.4 （HP）	80.6 （HP）	柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.2 （HP）	7.8 （HP）	7.8 （HP）	9.3 （HP）	8.0 （HP）	
短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	6.9 （HP）	16.4 （HP）	22.1 （HP）	32.4 （HP）	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	隅柱	6.5 （HP）	6.5 （HP）		6.7 （HP）	6.7 （HP）		6.9 （HP）				
短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	6.9 （HP）	16.4 （HP）	22.1 （HP）	32.4 （HP）	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	35.0 （TH-33の値）	隅角部	6.5 （HP）	6.5 （HP）		6.7 （HP）	6.7 （HP）		6.9 （HP）				
梁受 柱┃梁 接合	柱：杉KD（E50） 梁：杉集成材（E65-F225）				登り梁	柱：杉KD 横架材：米松KD（105×180） 柱：スプルス集成材（105×105 同一等級構成 E95-F315） 横架材：スプルス集成材（105×240 対称異等級構成 E105-F300） 横架材：杉集成材（E65-F225）				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	GUD-180		GUD-240		柱 脚	中柱	9.8 （HP）	10.0 （HP）	17.4 （HP）	25.5 （HP）					
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	8.6 （HP）	10.5 （HP）	19.1 （HP）		22.3 （HP）	15.5 （建試） 柱（杉）・梁（杉集成）	20.7 （建試） 柱（杉）・梁（杉集成）	21.5 （建試） 柱（杉）・梁（杉集成）			25.6 （建試） 柱（杉）・梁（杉集成）	隅柱	5.3 （HP）	5.2 （HP）		10.9 （HP）				
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	6.3 （HP）	20.0 （HP）	29.0 （HP）		37.3 （HP）	10.4 （建試） 柱（杉）・梁（米松）	16.3 （建試） 柱（杉）・梁（米松）	31.2 （社内） 柱・梁（スプルス集成）			32.0 （社内） 柱・梁（スプルス集成）	隅角部	7.5 （HP）	9.2 （HP）		17.6 （HP）				
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉集成材（E65-F255） 梁：杉集成材（105×105 同一等級構成 E65-F255） （105×180～330 対称異等級構成 E65-F225）				水平斜梁	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	10.7 （建試） 柱（杉）・梁（米松）	15.1 （建試） 柱（杉）・梁（米松）	29.6 （社内） 柱・梁（スプルス集成）		29.1 （社内） 柱・梁（スプルス集成）	柱 脚	中柱	9.8 （HP）	10.0 （HP）	17.4 （HP）	25.5 （HP）				
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	5.9 （HP）	13.8 （HP）	24.5 （HP）		38.9 （HP）	柱：スプルス集成材（105×105 同一等級構成 E95-F315） 横架材：スプルス集成材（105×180/240 対称異等級 E120-F330）	BAP-180			BAP-240		隅柱	4.7 （HP）	5.6 （HP）		4.0 （HP）				
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	6.7 （HP）	16.6 （HP）	22.2 （HP）		31.0 （HP）	3.0 （社内）	4.5 （社内）	6.0 （社内）		3.0 （社内）		4.5 （社内）	6.0 （社内）	隅角部	4.7 （HP）	5.6 （HP）		4.0 （HP）		
梁受 柱┃梁 接合	柱：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱┃梁 接合	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	13.4 （社内）	19.1 （社内）	22.2 （社内）		19.4 （社内）	22.8 （社内）	25.9 （社内）	柱 脚	中柱	6.2 （HP）	7.2 （HP）	6.9 （HP）	6.3 （HP）		
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	8.9 （HP）	12.9 （HP）	23.4 （HP）		23.5 （HP）	14.0 （社内）	14.5 （社内）	15.6 （社内）		23.9 （社内）	27.2 （社内）	26.6 （社内）		隅柱	4.7 （HP）	5.6 （HP）		4.0 （HP）		
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.5 （HP）	18.3 （HP）	23.1 （HP）		31.5 （HP）	柱：杉KD ① スプルス同一等級構成集成材 E95-F315 ④ 横架材：杉同一等級構成集成材 E65-F255 梁成105 ② 横架材：スプルス対称異等級構成集成材 E105-F300 ⑤	3.0 （社内）			4.5 （社内）	6.0 （社内）	3.0 （社内）		4.5 （社内）	6.0 （社内）	隅角部	4.7 （HP）	5.6 （HP）		4.0 （HP）
梁受 柱┃梁 接合	柱：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）				柱脚・柱頭部	短期基準逆せん断耐力 ＜kN＞				柱 脚 ・ 柱 頭 部	短期基準引張耐力 ＜kN＞										
		TH-10	TH-18	TH-24		TH-33	27.7（HP） 梁成 180	49.1（HP） 梁成 240						柱 脚	中柱	9.2 （HP）	9.0 （HP）	10.6 （HP）	13.0 （HP）	16.9 （HP）	23.4~25.5 （HP）
	短期基準引張耐力 ＜kN＞	12.2 （HP）	15.1 （HP）	28.4 （HP）		41.2 （HP）	3.5 ① 3.5 ② 5.6 ④	5.0 ① 5.0 ② 5.5 ④							隅柱	8.1 （HP）	8.1 （HP）	7.6 （HP）	7.6 （HP）		13.5 （HP）
	短期基準せん断耐力 ＜kN＞	5.4 （HP）	15.2 （HP）	19.5 （HP）		30.2 （HP）	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤	柱：スプルス集成材④ 梁：スプルス集成⑤							隅角部	6.6 （HP）	6.6 （HP）	10.5 （HP）	10.5 （HP）		17.5 （HP）
梁受 梁┃梁 接合	梁：杉KD（E50） 梁：杉KD（E50）																				



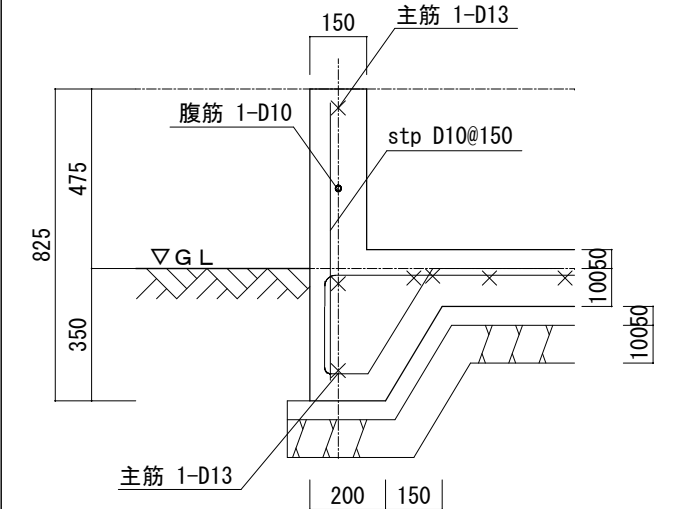
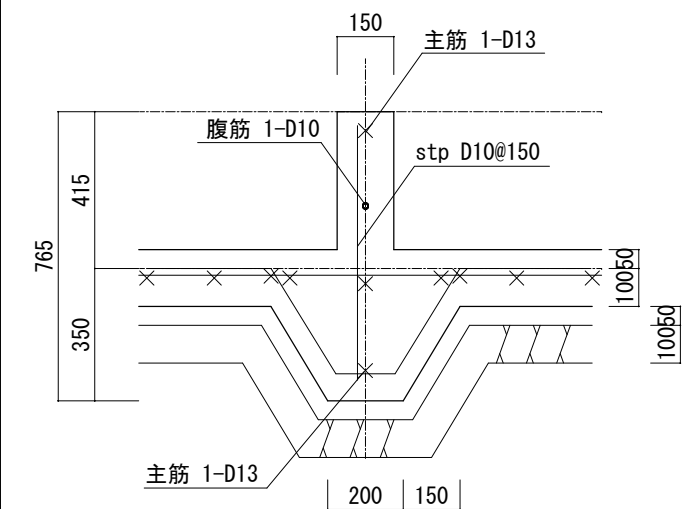
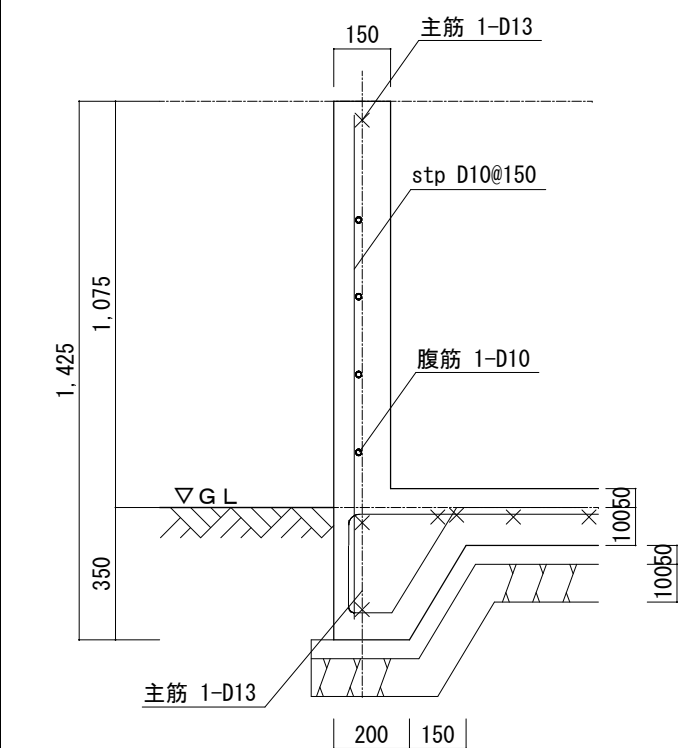
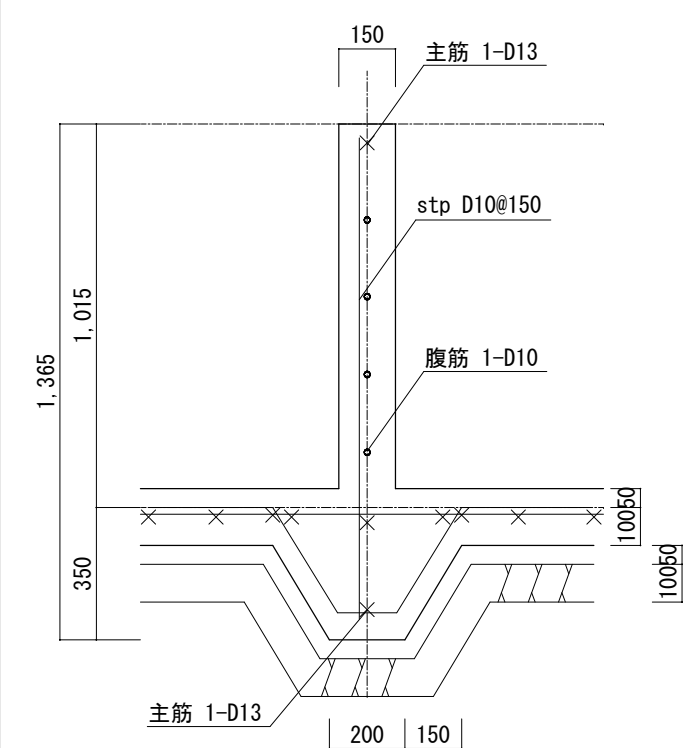
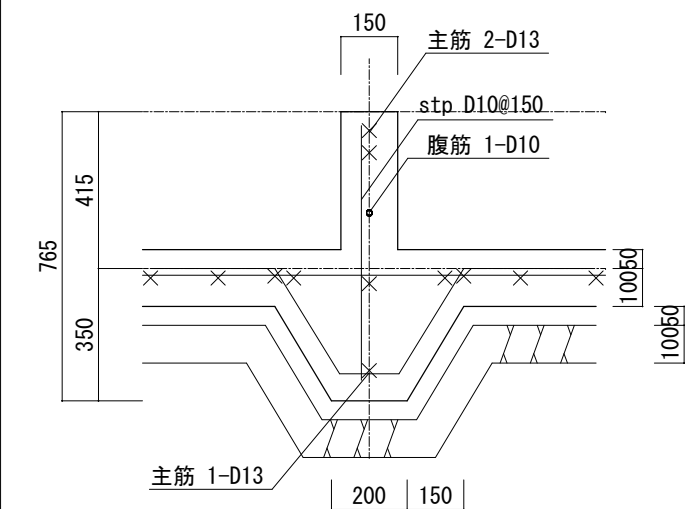
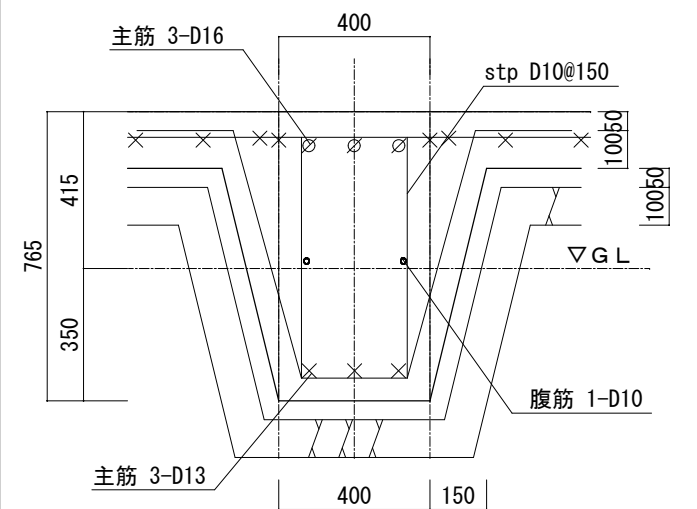
・特記なきスラブ天端土台は GL+50

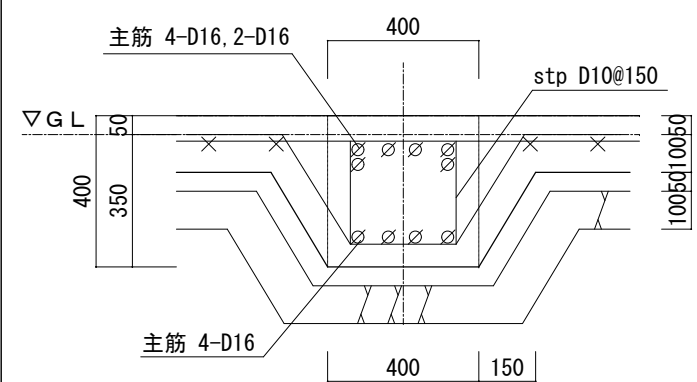
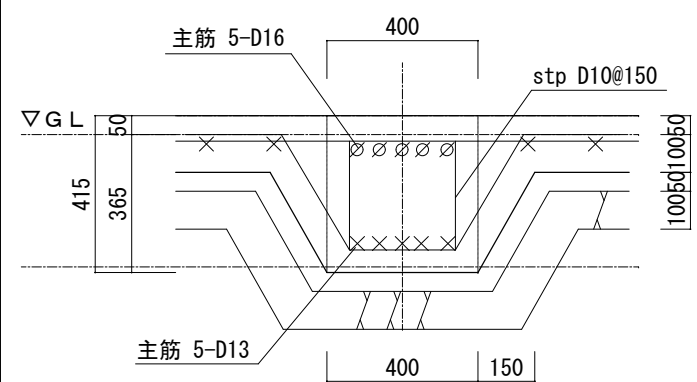
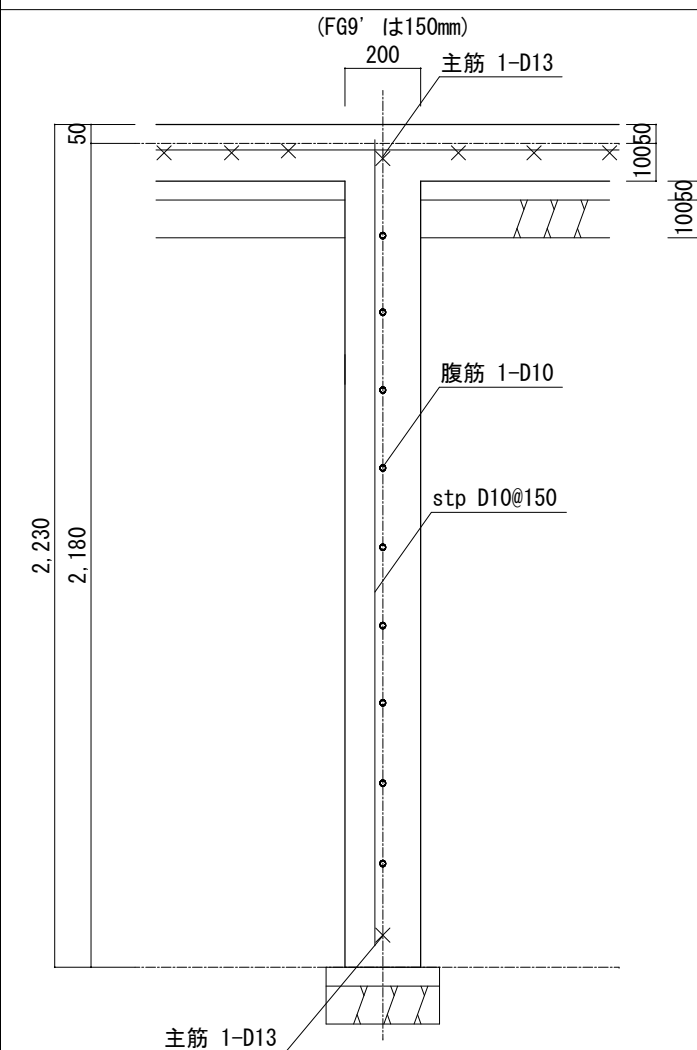
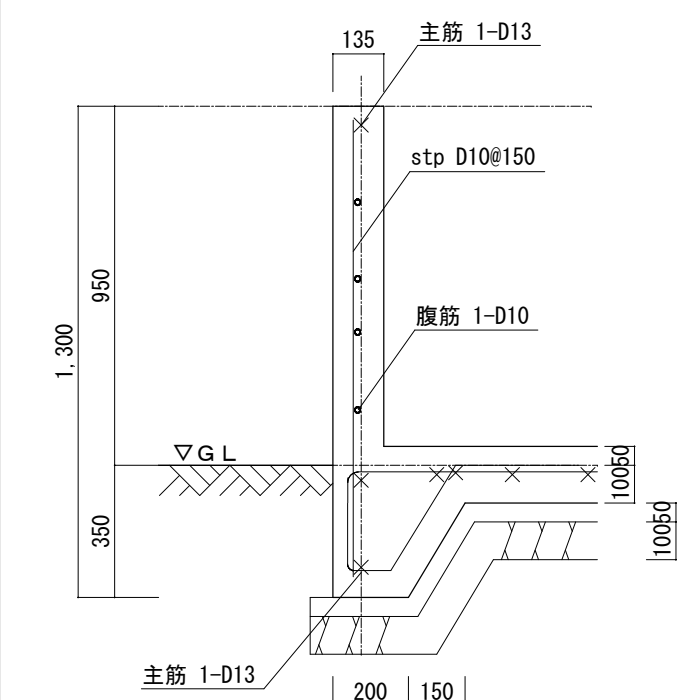
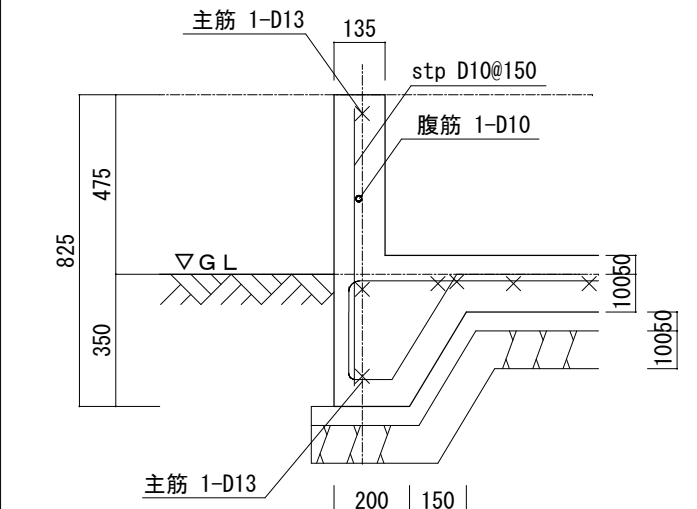
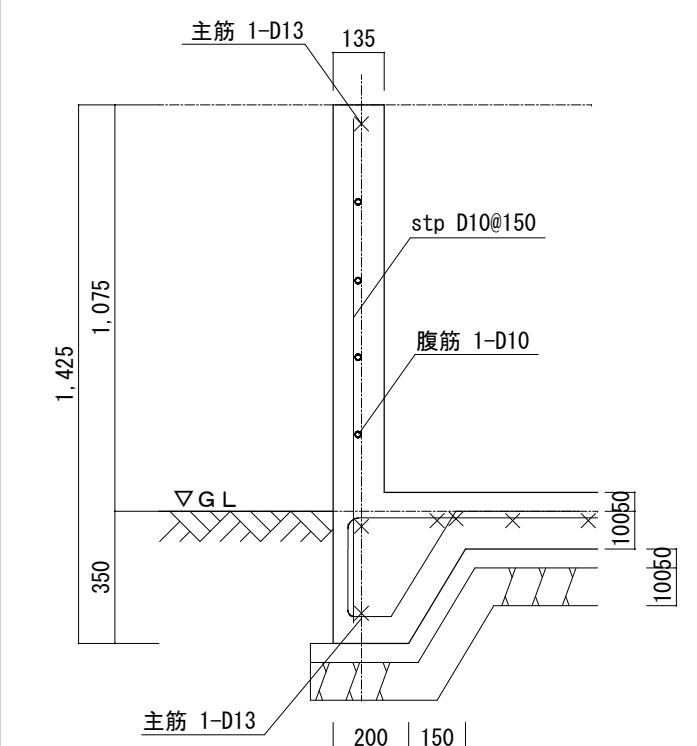
・  は スラブ天端 GL+415 の範囲を示す

・  は スラブ天端 GL+650 の範囲を示す

・  は スラブ天端 GL+1250 の範囲を示す

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力

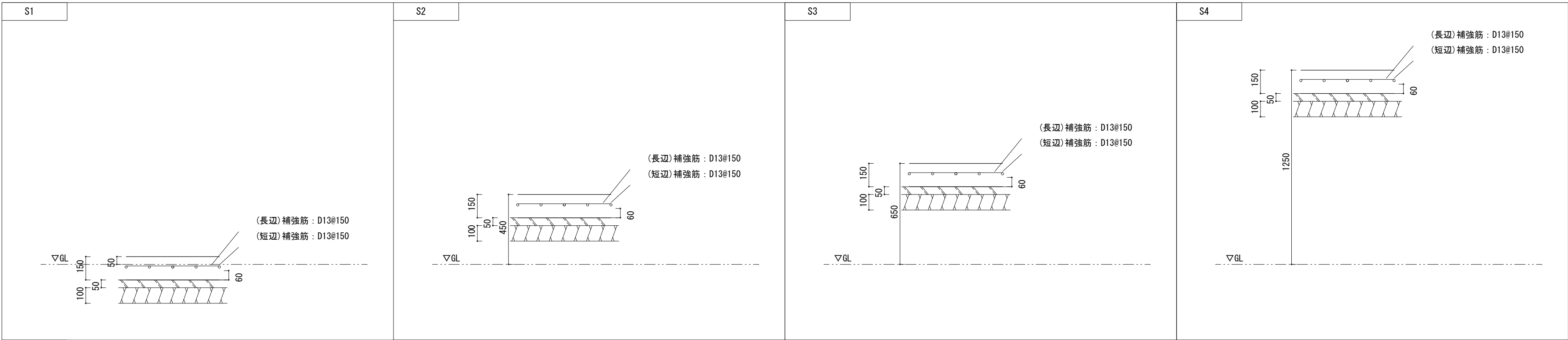
FG1		FG2		FG3		FG4		FG5		FG6	
											
b×D	150 x 825	b×D	150 x 765	b×D	150 x 1,425	b×D	150 x 1,365	b×D	150 x 765	b×D	400 x 765
上主筋	1-D13	上主筋	1-D13	上主筋	1-D13	上主筋	1-D13	上主筋	2-D13	上主筋	3-D16
下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	3-D13
stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150

FG7		FG8		FG9		FG10		FG11		FG12	
											
b×D	400 x 400	b×D	400 x 400	b×D	200 x 2,230	b×D	135 x 1,300	b×D	135 x 825	b×D	135 x 1,425
上主筋	4-D16 / 2-D16	上主筋	5-D16	上主筋	1-D13	上主筋	1-D13	上主筋	1-D13	上主筋	1-D13
下主筋	4-D16	下主筋	5-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13	下主筋	1-D13
stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150	stp	D10-@150

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 S-18
	図面名称	園舎棟 基礎断面リスト			縮 尺 S=1/120		

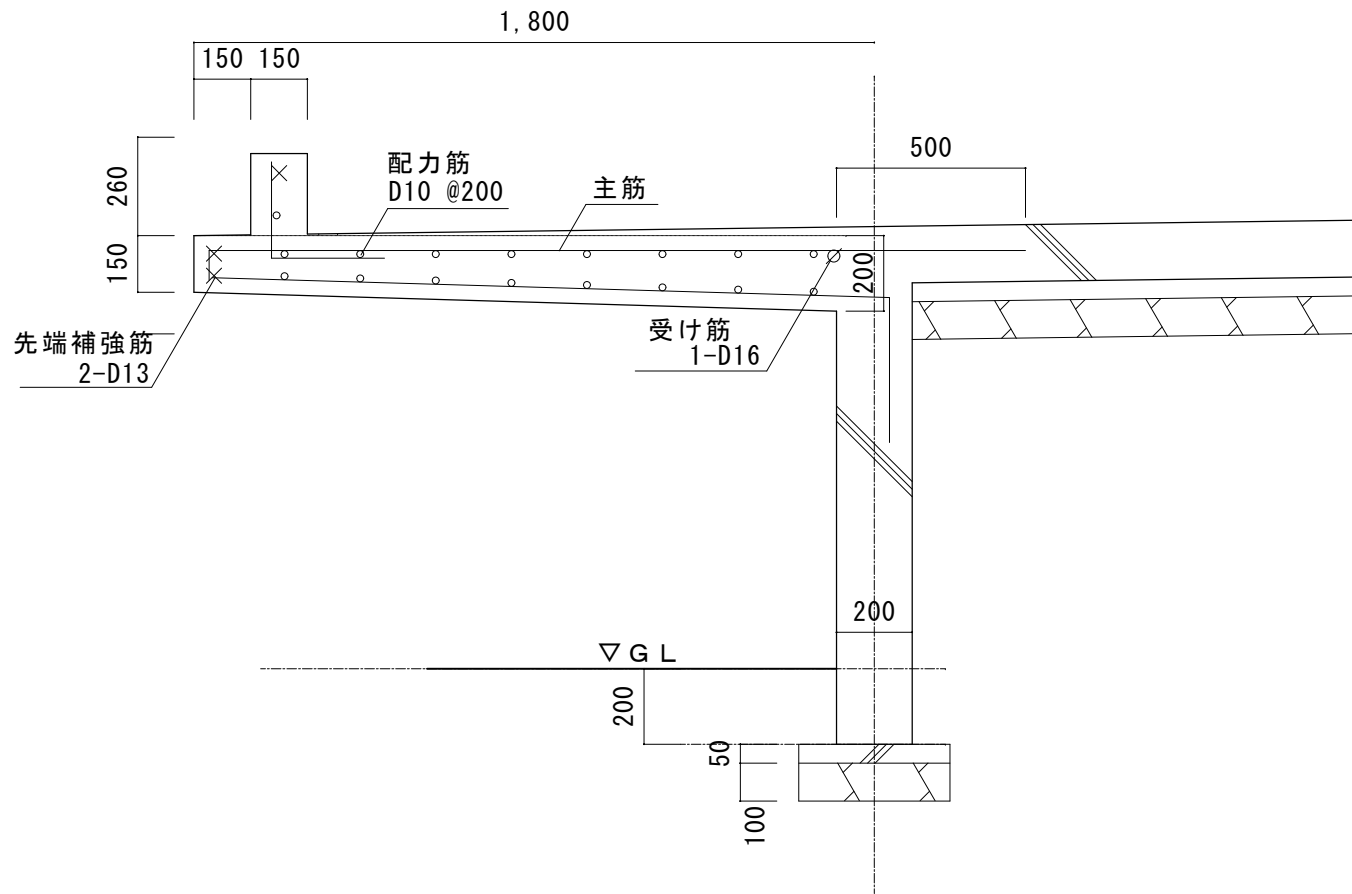
設計コンクリート強度 $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$



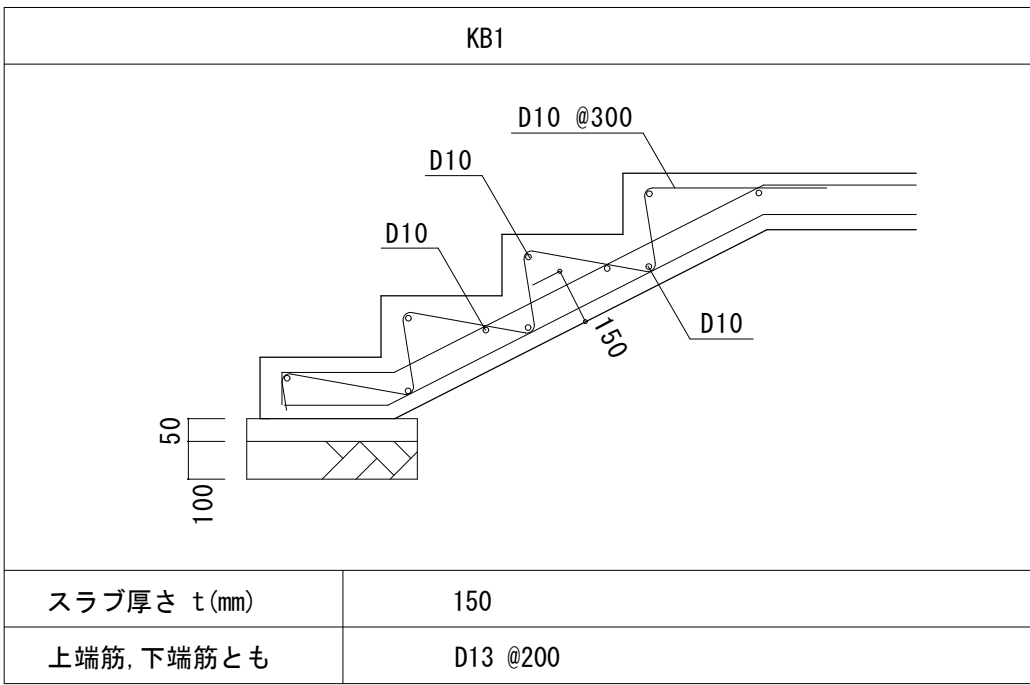


片持ちスラブ断面リスト 1 : 20

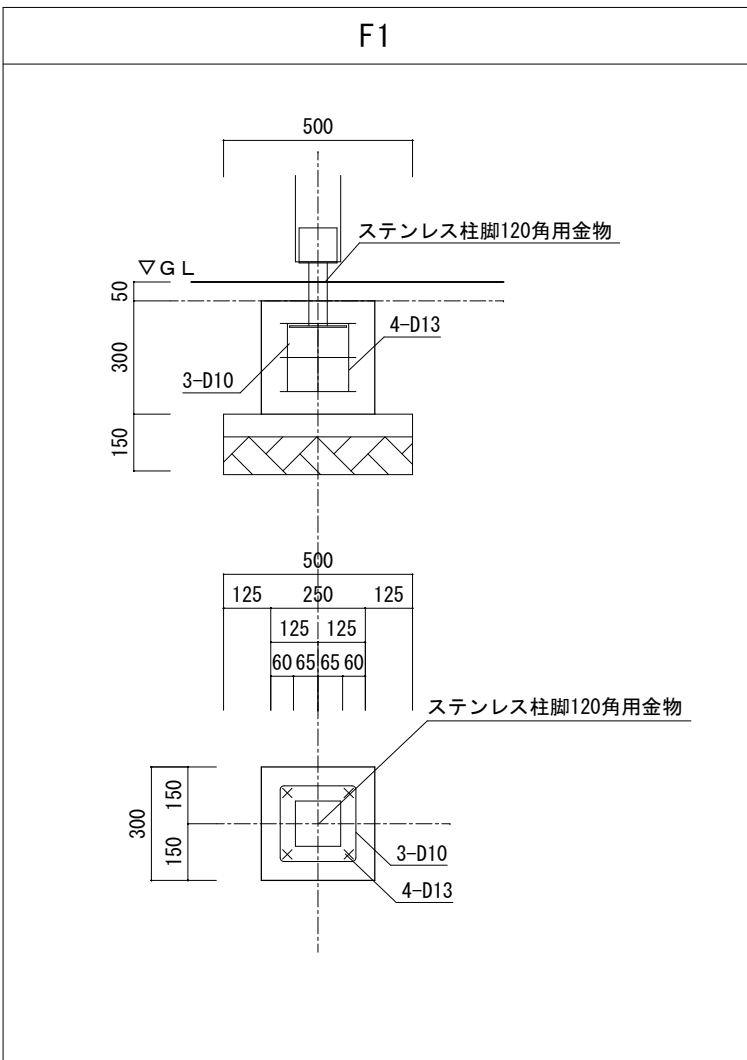
符 号	版厚			主筋	配力筋	先端筋
	先端	基端		全域		
CS1	180	200	上	D13 @150	上下共 D10 @150	2-D13
			下	D13 @300		



階段スラブ断面リスト 1 : 20 設計コンクリート強度 Fc=24N/mm²



独立基礎断面リスト 1 : 20



特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

図面名称 園舎棟 基礎断面リスト

Draw

Check

作成年月日

縮 尺
S=1/120

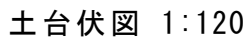


株式会社若竹まちづくり研究所

開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号


図面番号


S-20



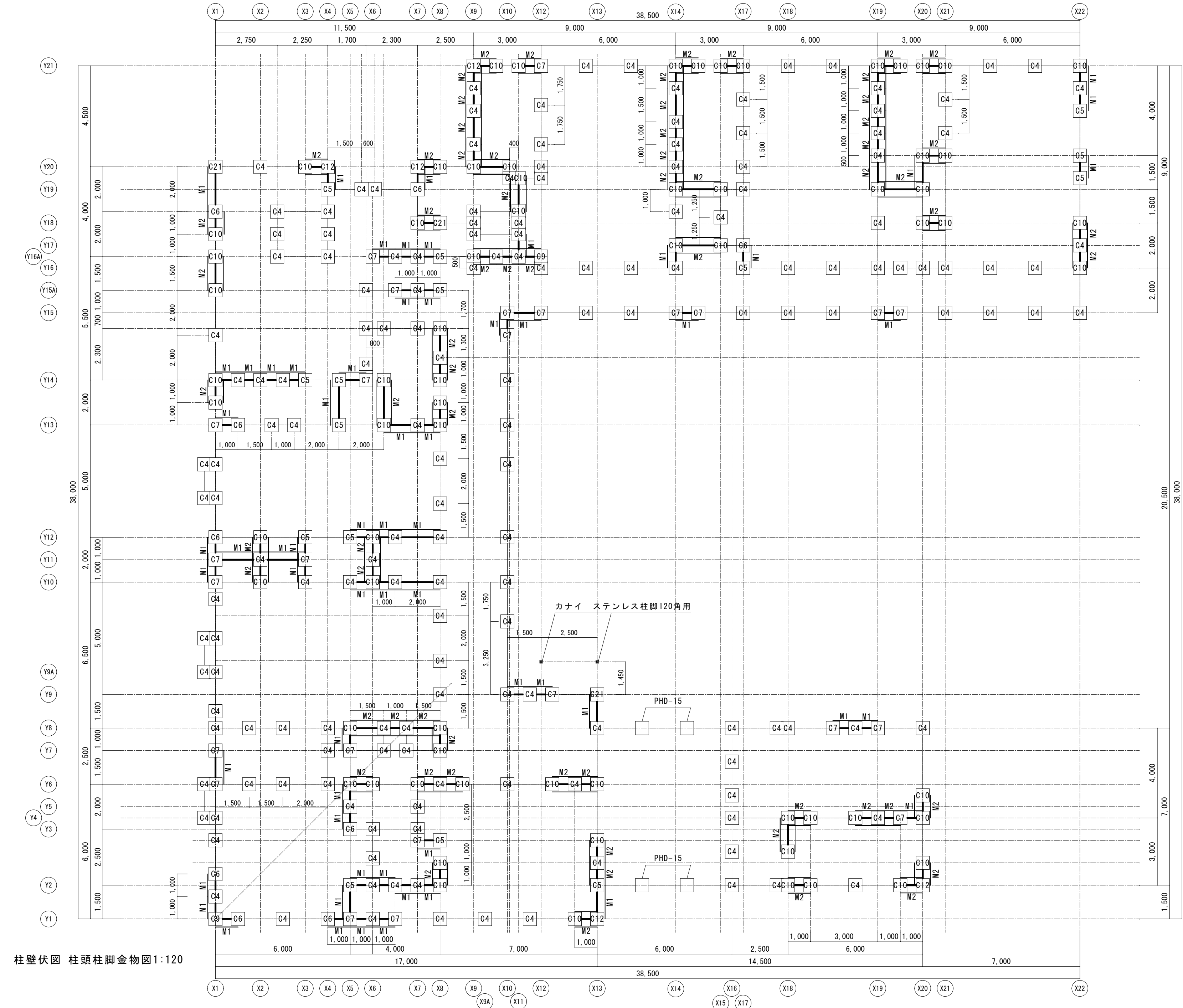
特記事項

- ・特記なき土台は 無等級製材 ヒノキ 120×120 とする
- ・特記なき柱は 無等級製材 ヒノキ 120×120 とする
- ・廊下床 大引き: ヒノキ105×105@1000
根太: ヒノキ55×55 @333
- ・各室床 大引き: ヒノキ105×105@1000
根太: ヒノキ55×55 @333

60
 の土台は ヒノキ120×60 の範囲を示す

・  は鋼製束を示す。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div> 株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 S-21
	図面名称	園舎棟 土台伏図			縮 尺 S=1/120		



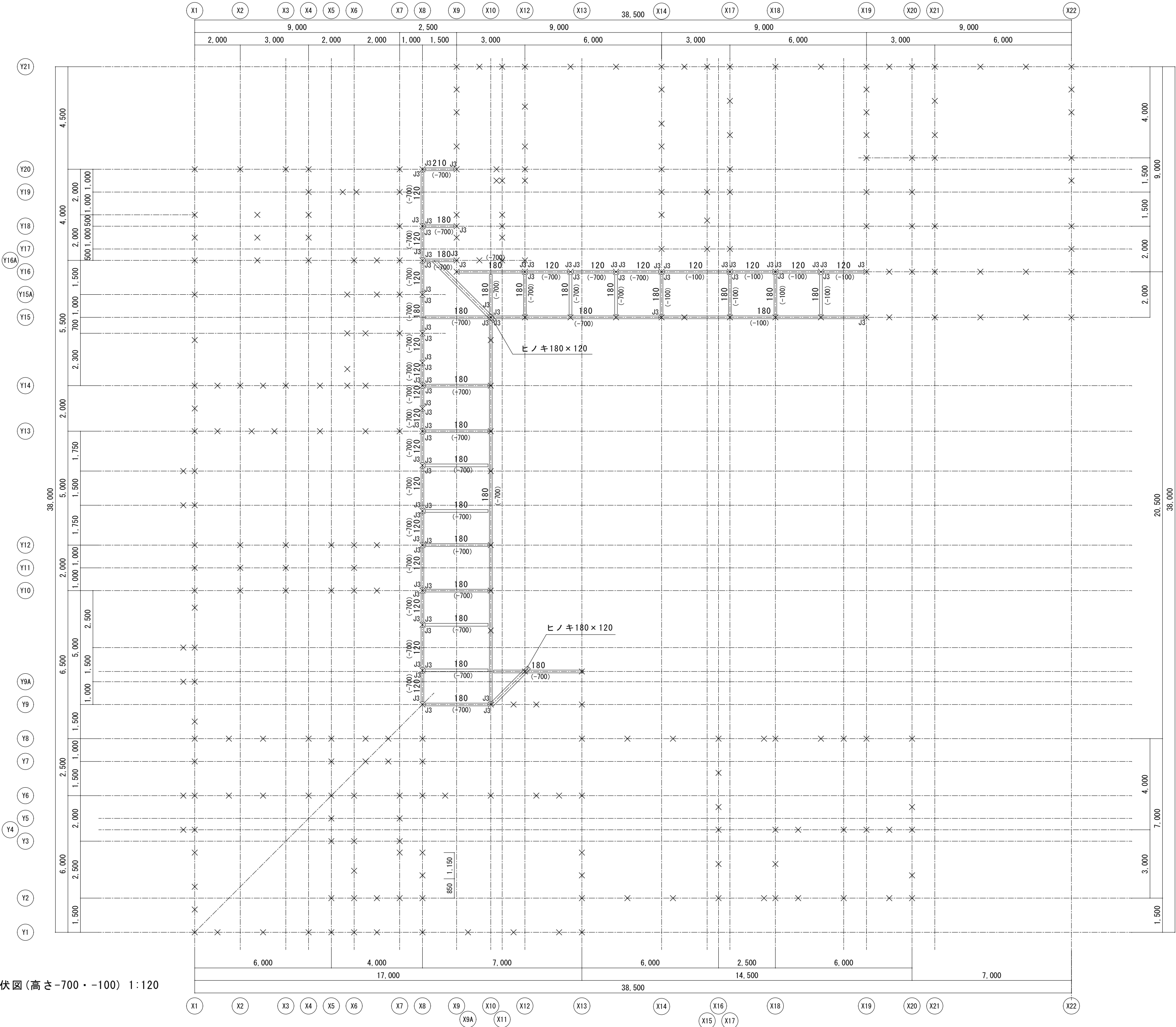
柱壁伏図 柱頭柱脚金物図1:120

記号と仕様の対応		
分類	記号	仕様
樹種	樹1	すぎ 無等級製材
	樹2	杉 無等級製材
壁材種	M1	構造用合板(真壁—片面張り)2.5倍
	M2	構造用合板(真壁—両面張り)5.0倍
柱頭柱脚 接合部	C4	L字型のかど金物 釘CN65×10本
	C5	T字型のかど金物 釘CN65×10本
	C6	山形プレート金物 釘CN90×8本
	C7	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物
	C9	引き寄せ金物φ12mmのボルト×2本
	C21	シナーコーナー
	C10	ホールダウン金物 15kN
	C12	ホールダウン金物 25kN

特記事項

- ・特記なき土台は 無等級製材 ヒノキ 120×120 とする
- ・特記なき柱は 無等級製材 ヒノキ 120×120 とする
- ・耐力壁（真壁—片面張り） M1 は下記の仕様とする
面材の種類と厚さ：構造用合板9mm
釘の種類とピッチ：N50@150以下とする
910mm以上となる箇所には、継手間柱を設けること
- ・耐力壁（真壁—両面張り） M2 は下記の仕様とする
面材の種類と厚さ：構造用合板9mm
釘の種類とピッチ：N50@150以下とする
910mm以上となる箇所には、継手間柱を設けること

小屋梁伏図(高さ-700・-100) 1:120



- 特記事項
- ・基準梁レベル 1FL+3100
 - ・ × は下柱を示す
 - ・ 接合部記号表記のない継手は 腰掛け蟻+短冊金物 とする
 - ・ 接合部記号表記のない仕口（通し柱）は 大入れほぞ差し+羽子板ボルト とする
 - ・ 接合部記号表記のない仕口は 大入れ蟻掛け+羽子板ボルト とする
 - ・ 接合部記号 J3 は大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2 とする
 - ・ 梁寸法は幅120mmのものについては梁せいのみ示す
 - ・ 特記なき梁の樹種は 無等級製材 スギ とする
 - ・ 下屋根根水平構面 構造用合板12mm N508150mm以下で垂木90×90に打付ける
垂木は桁梁・母屋の上に設けた垂木道にN75を2本打ち
軒桁・母屋・棟木上面の垂木と垂木の間に転び止めを設け
N75を4本（表2本裏2本千鳥配置）

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

Draw

Check

作成年月日

株式会社若竹まちづくり研究所

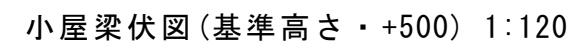
図面番号

図面名称 園舎棟 小屋梁伏図(高さ-700・-100)

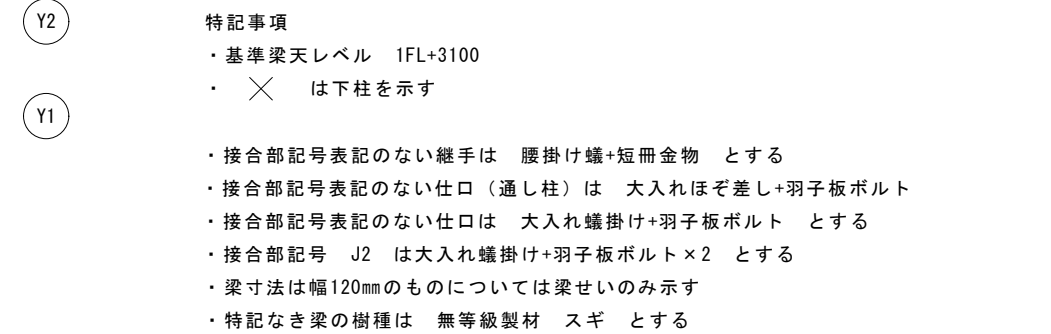
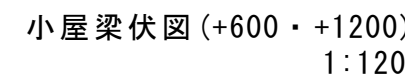
縮尺
S=1/120


開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

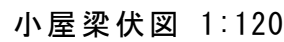
S-23




A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 S-25
	図面名称	園舎棟 小屋梁伏図 (+600・+1200)			縮尺 S=1/120		



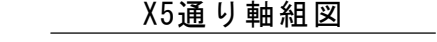
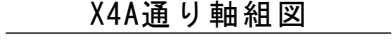
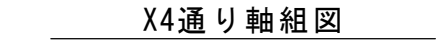
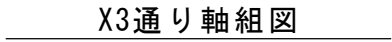
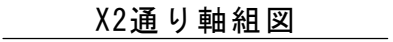
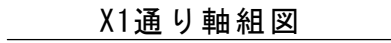
- A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力

特記事項	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 S-26
	図面名称 園舎棟 小屋梁伏図			縮尺 S=1/120		

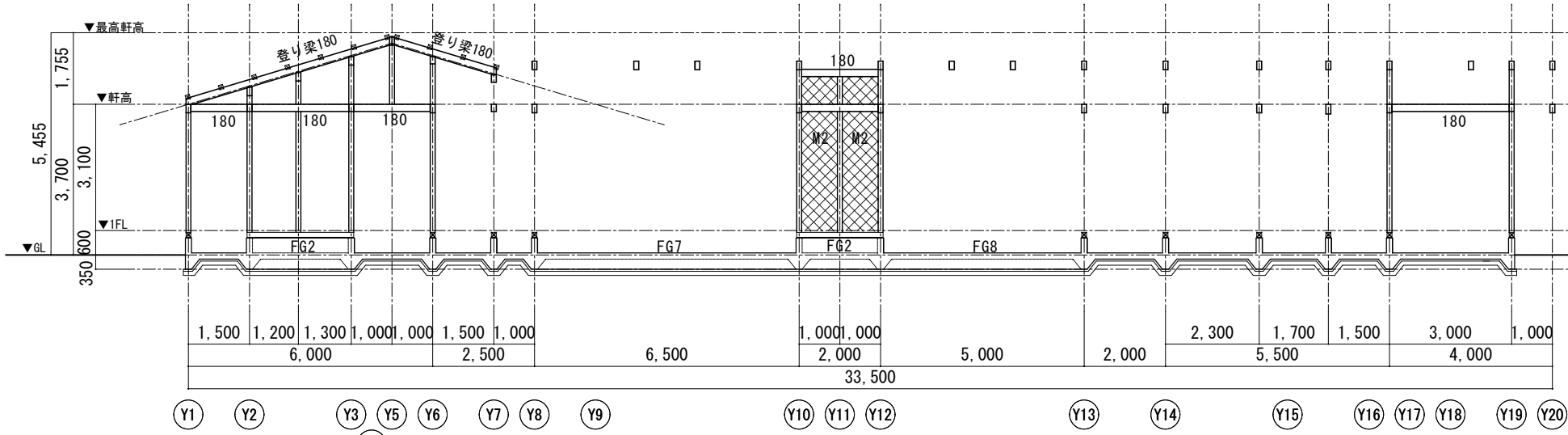


- ・棟木は 無等級製材スギ とする。
- ・垂木間の転び止めは各母屋の上に 無等級製材スギ75×75を2-N75斜め釘止めとする。
- ・耐力壁のない箇所の振れ止めは スギ45×105 とする
- ・耐力壁M1上の振れ止めは、S-09 9.小屋筋交い Bの仕様とする。

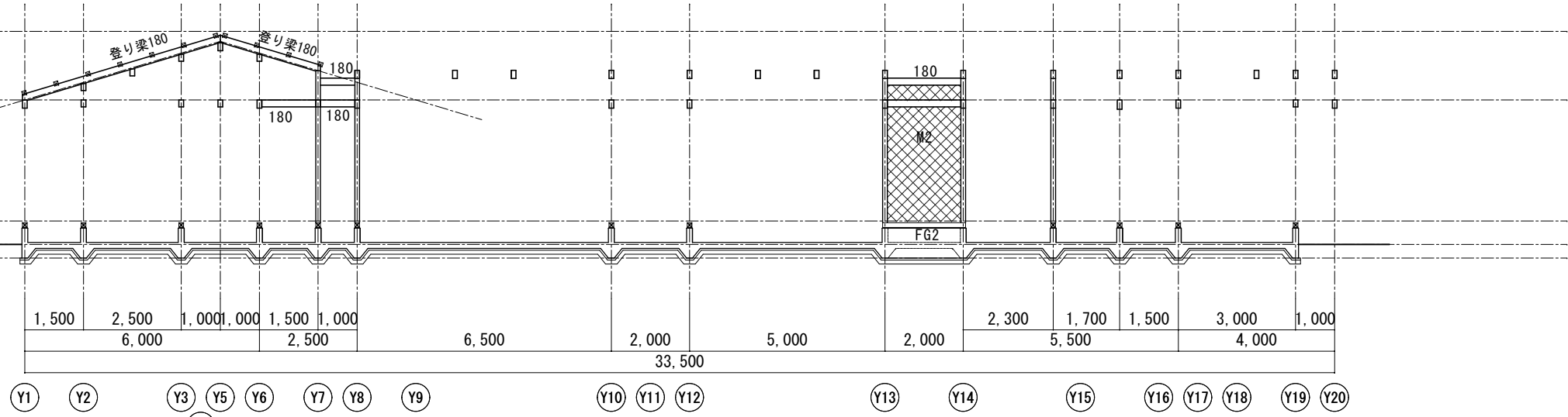
A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



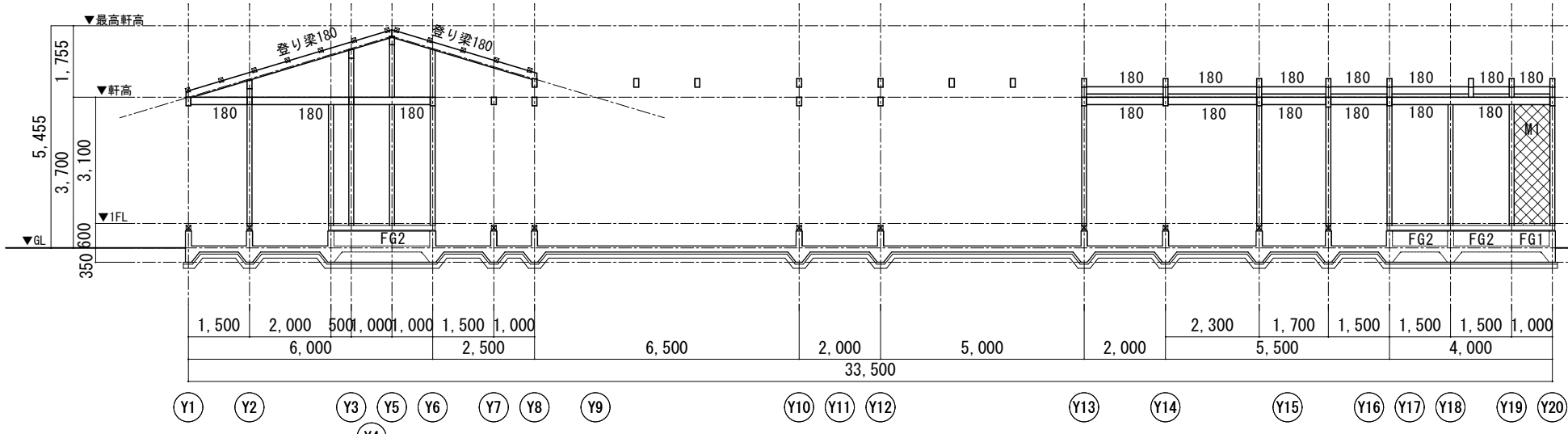
A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



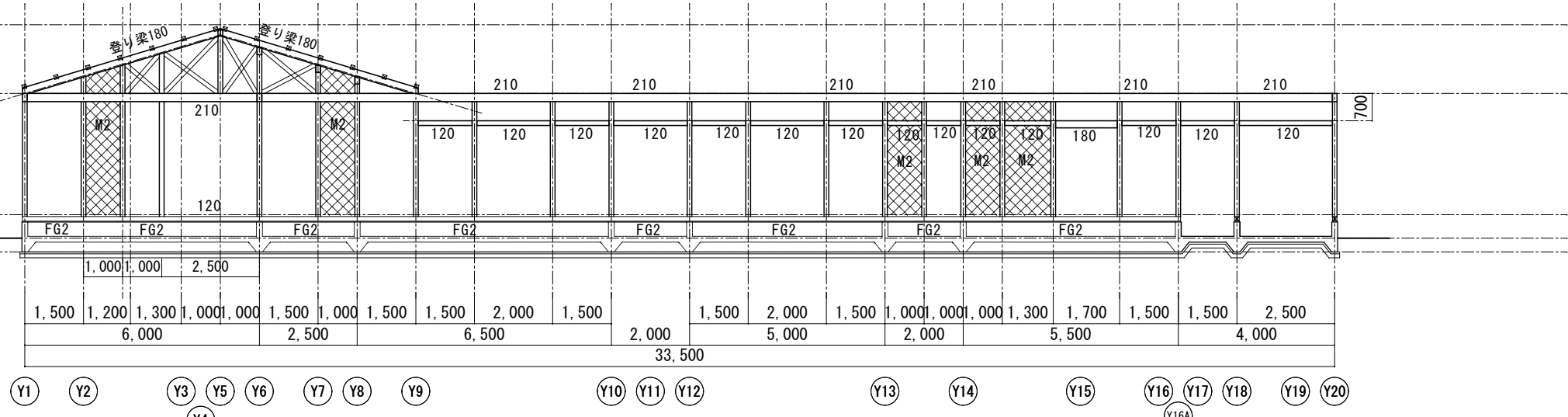
X6通り軸組図



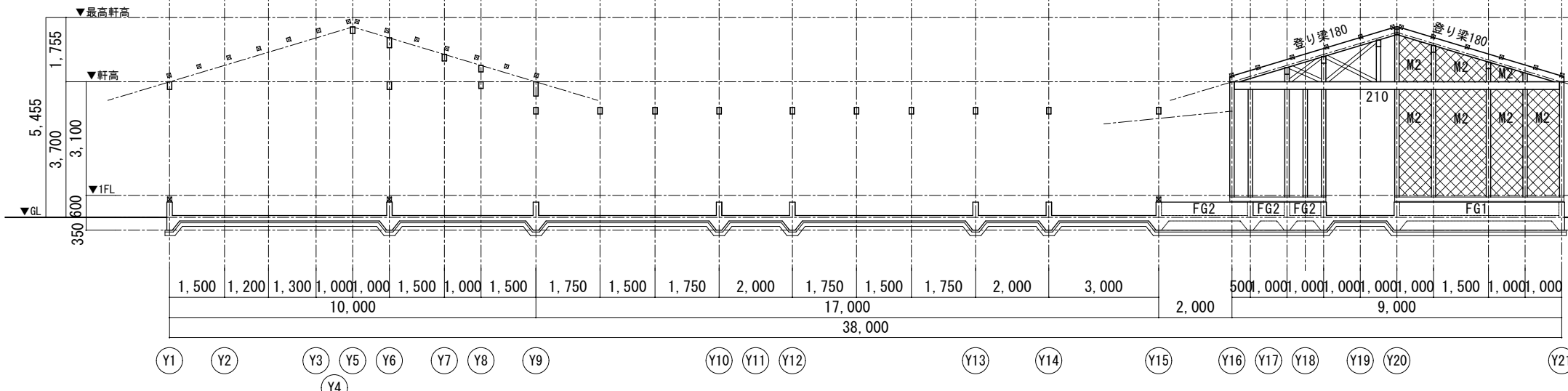
X6A通り軸組図



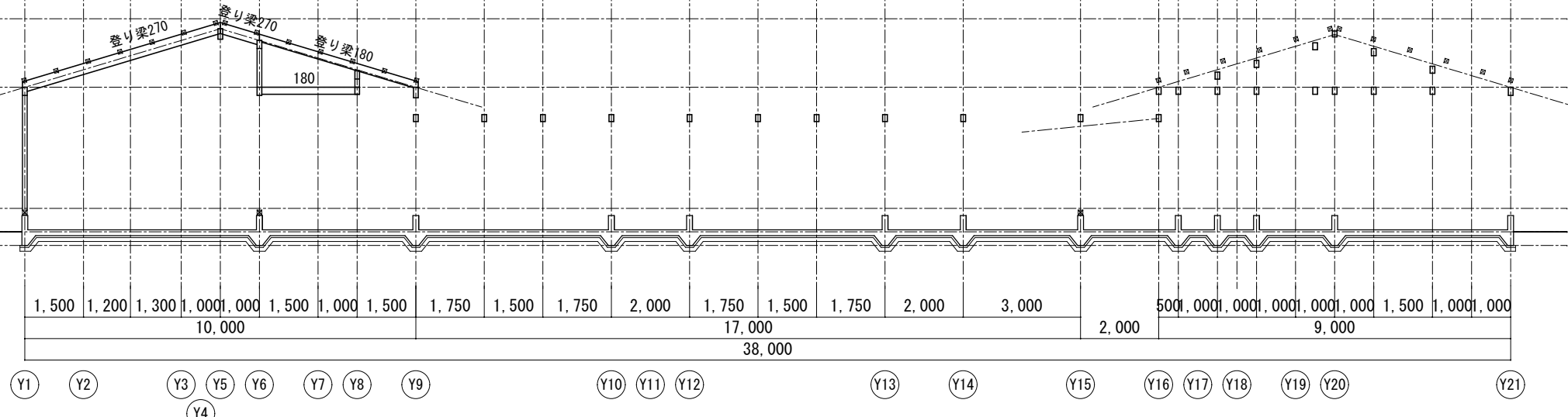
X7通り軸組図



X8通り軸組図

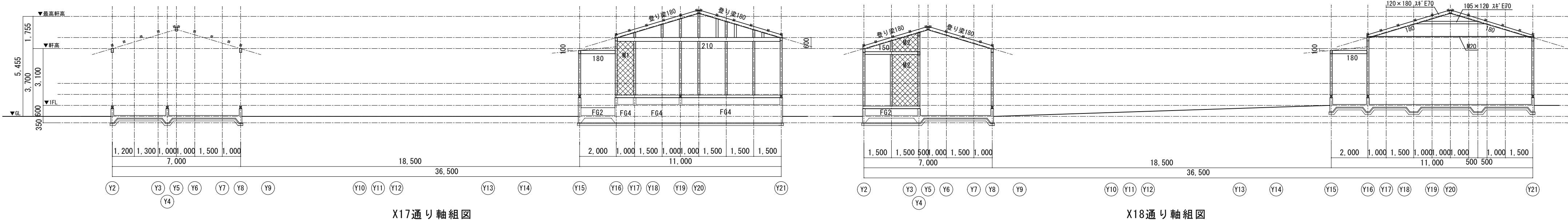
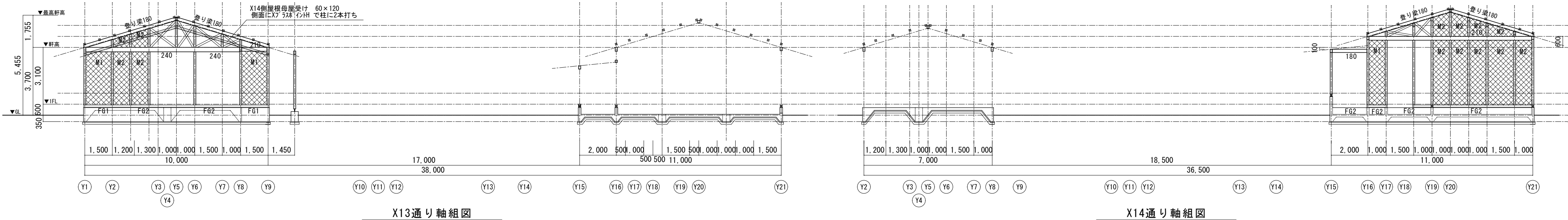
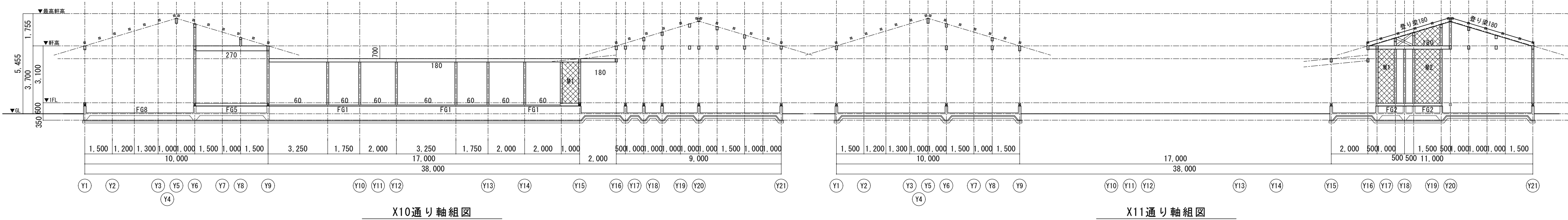



X9通り軸組図

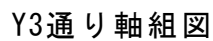
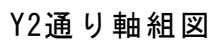
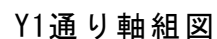
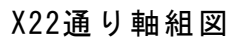
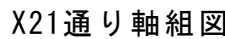
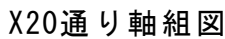
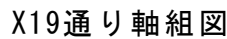



X9A通り軸組図

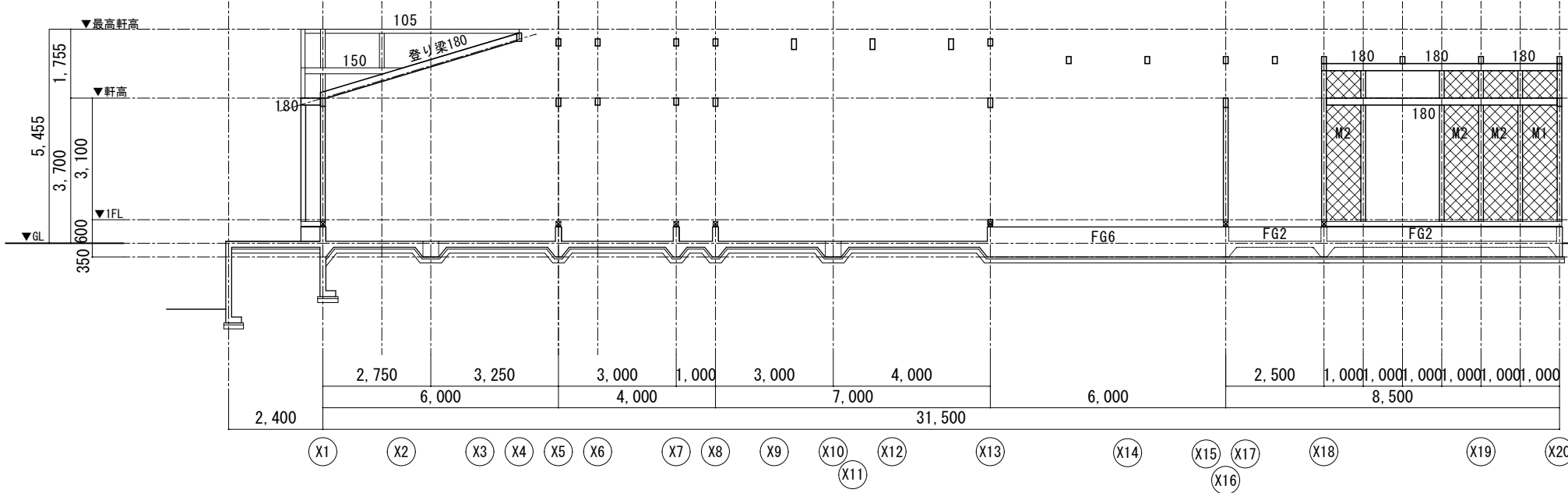
特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div>㊦株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 S-29
	図面名称	園舎棟 軸組図 2			縮 尺 S=1/150		



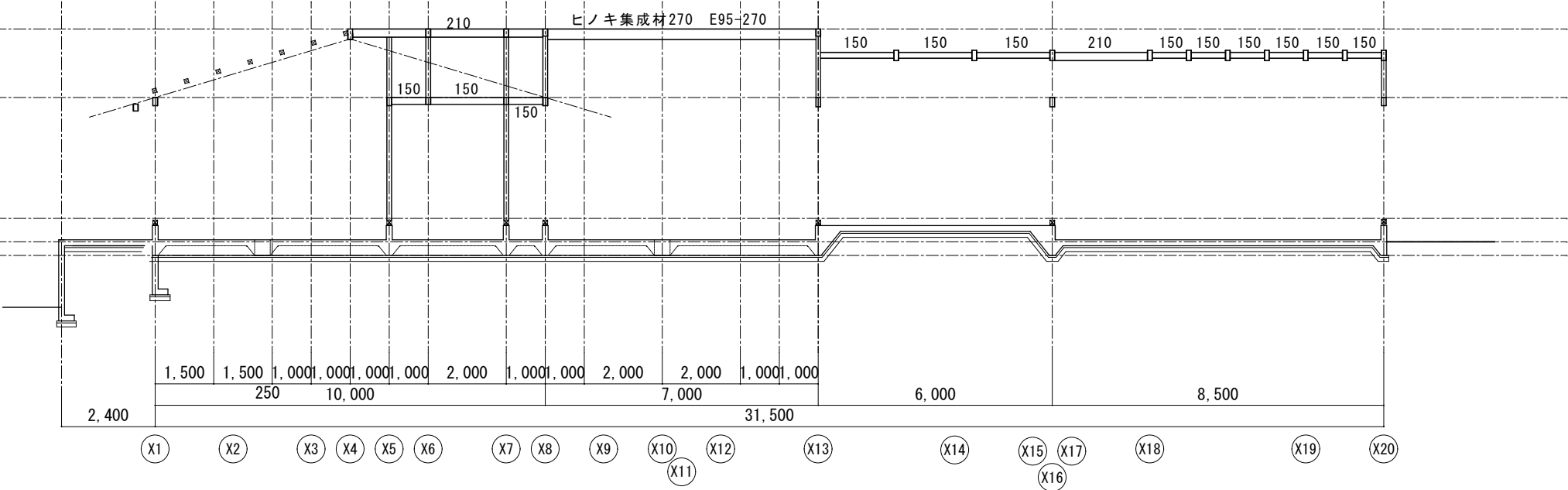
特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 S-30
	図面名称	園舎棟 軸組図 3				縮 尺 S=1/150		



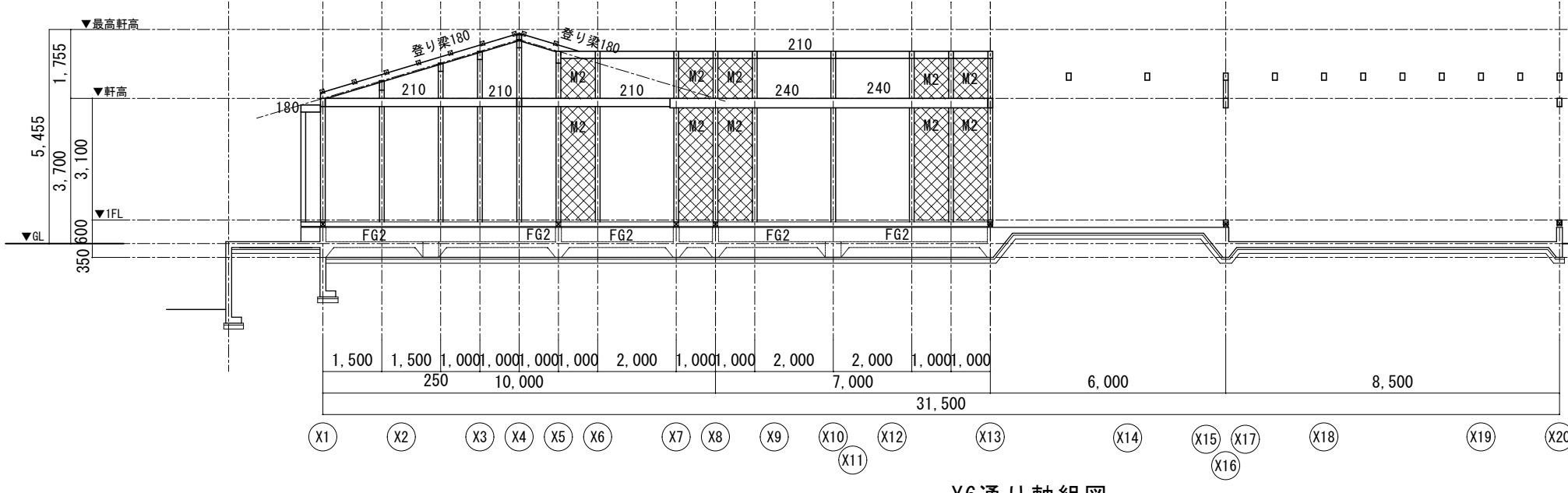
特記事項	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 S-31
	図面名称 園舎棟 軸組図 4			縮尺 S=1/150		



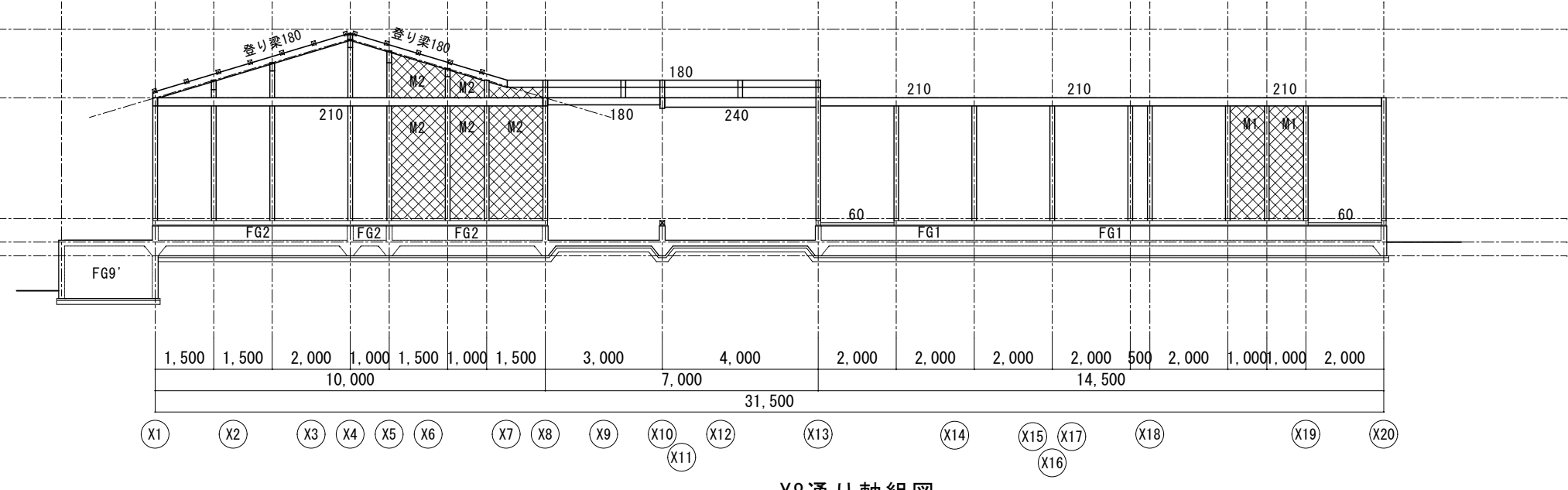
Y4通り軸組図



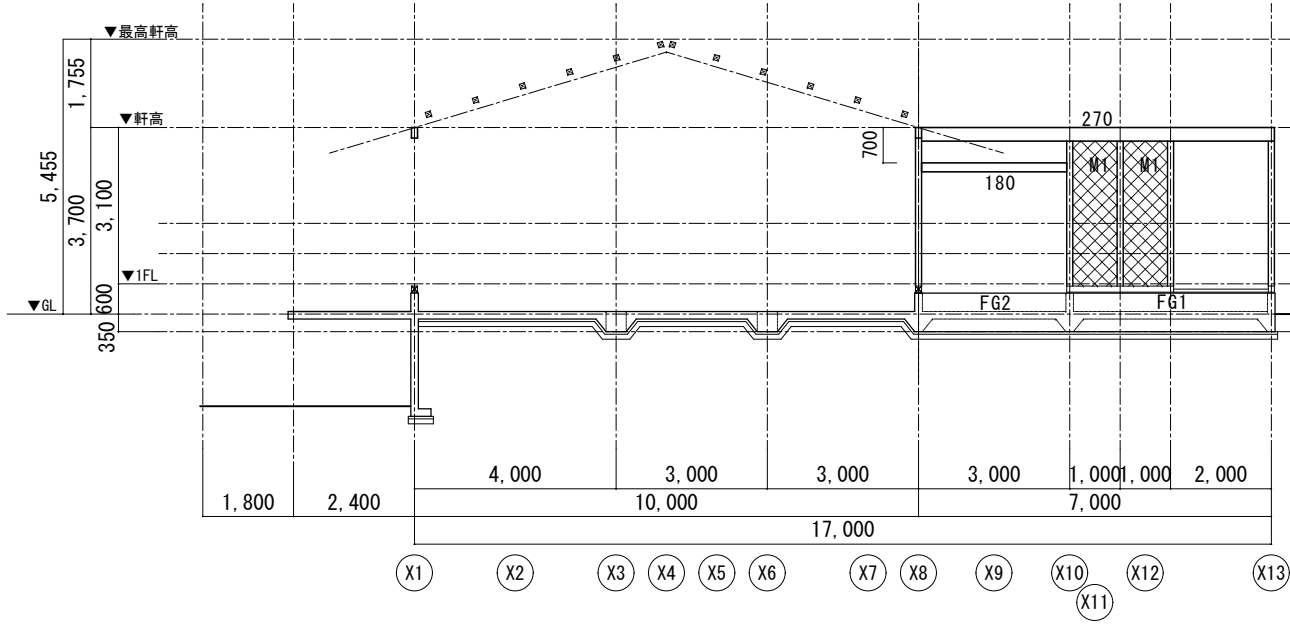
Y5通り軸組図



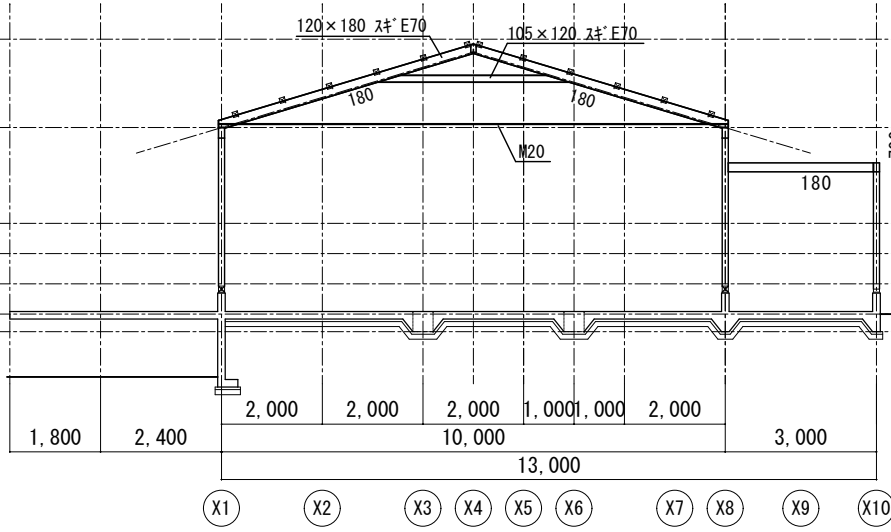
Y6通り軸組図



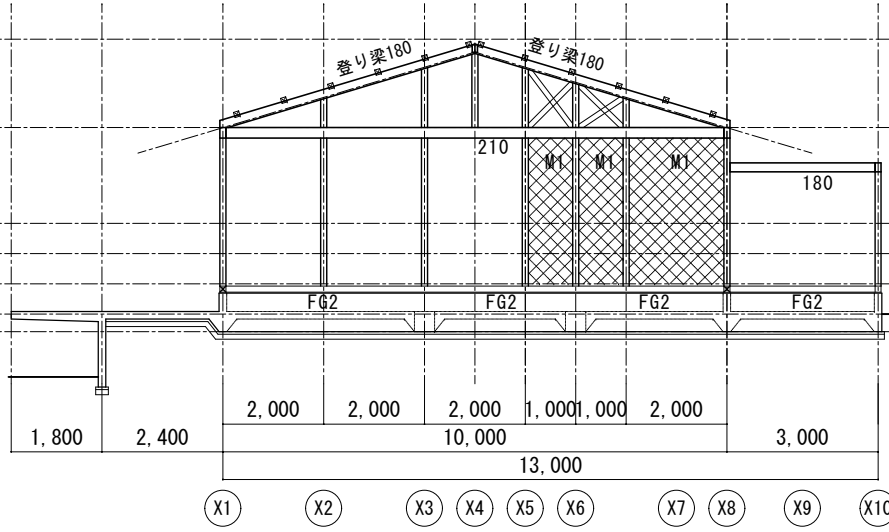
Y8通り軸組図




Y9通り軸組図

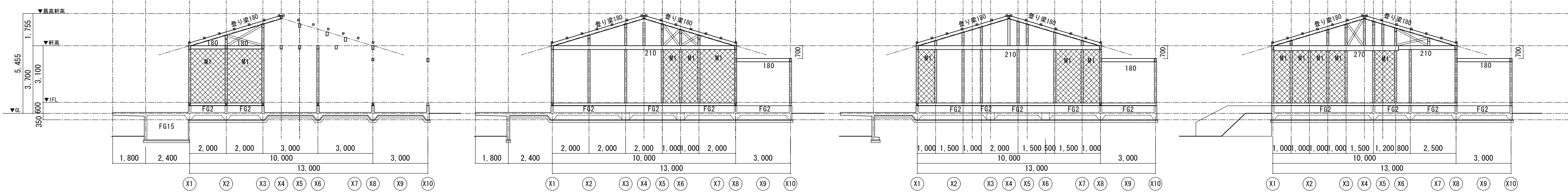


Y9A通り軸組図



Y10通り軸組図

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div> 株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div> <div>開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号</div>	図面番号 S-32
	図面名称	園舎棟 軸組図5			縮 尺 S=1/150		

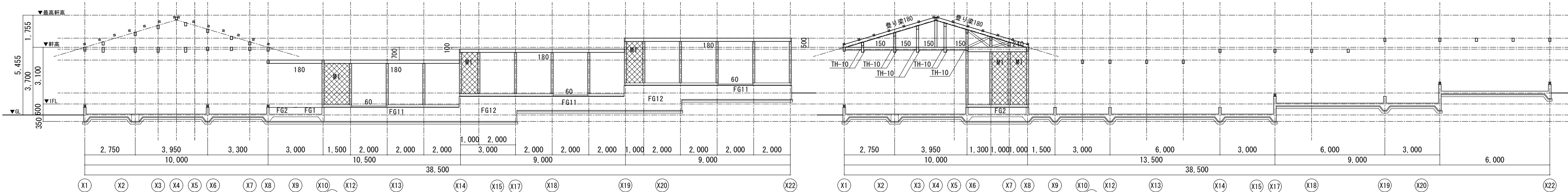


Y11通り軸組図

Y12通り軸組図

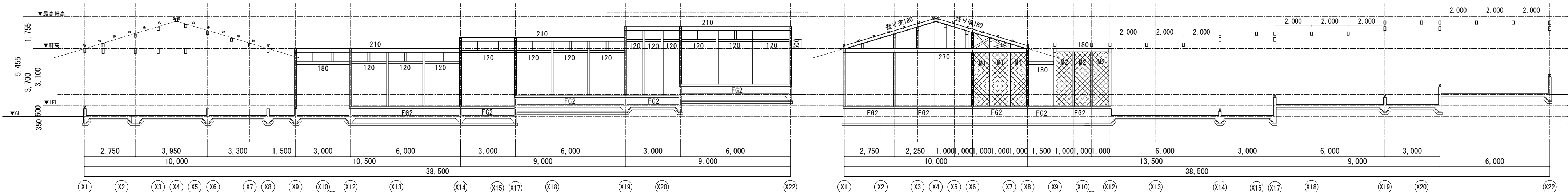
Y13通り軸組図

Y14通り軸組図



Y15通り軸組図

Y15A通り軸組図

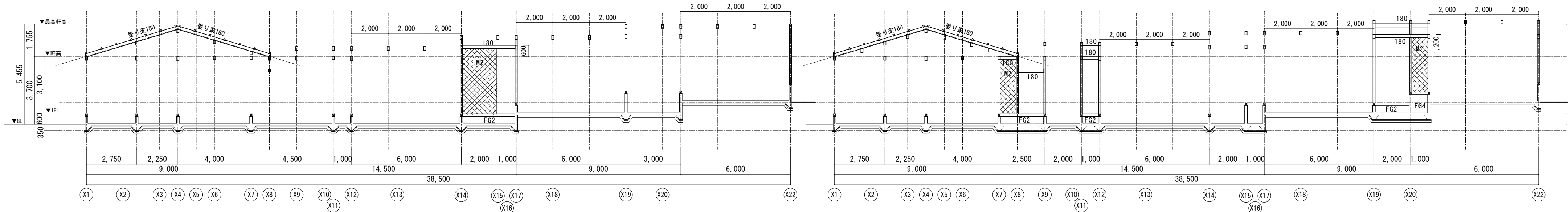


Y16通り軸組図

Y16A通り軸組図

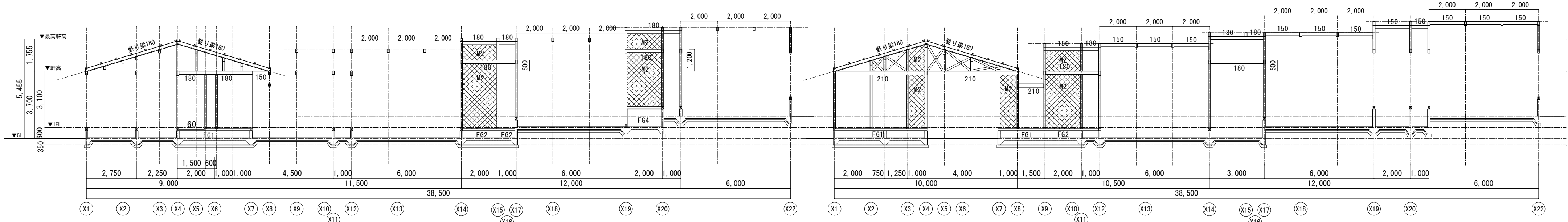
特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 S-33
	図面名称	園舎棟 軸組図 6				縮 尺 S=1/150		

開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号



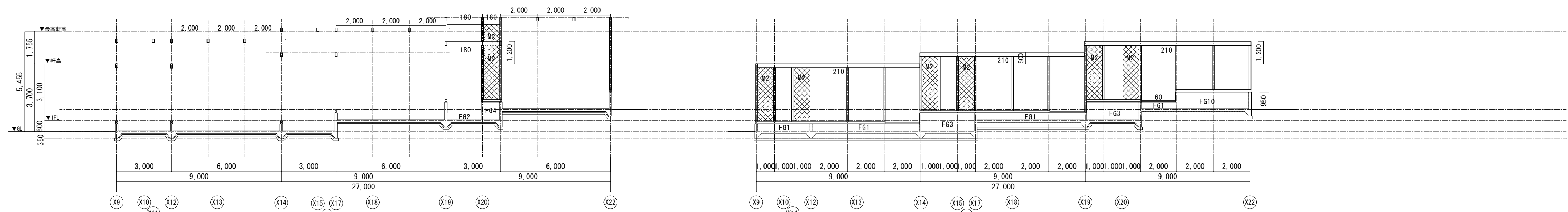
Y17通り軸組図

Y18通り軸組図



Y19通り軸組図

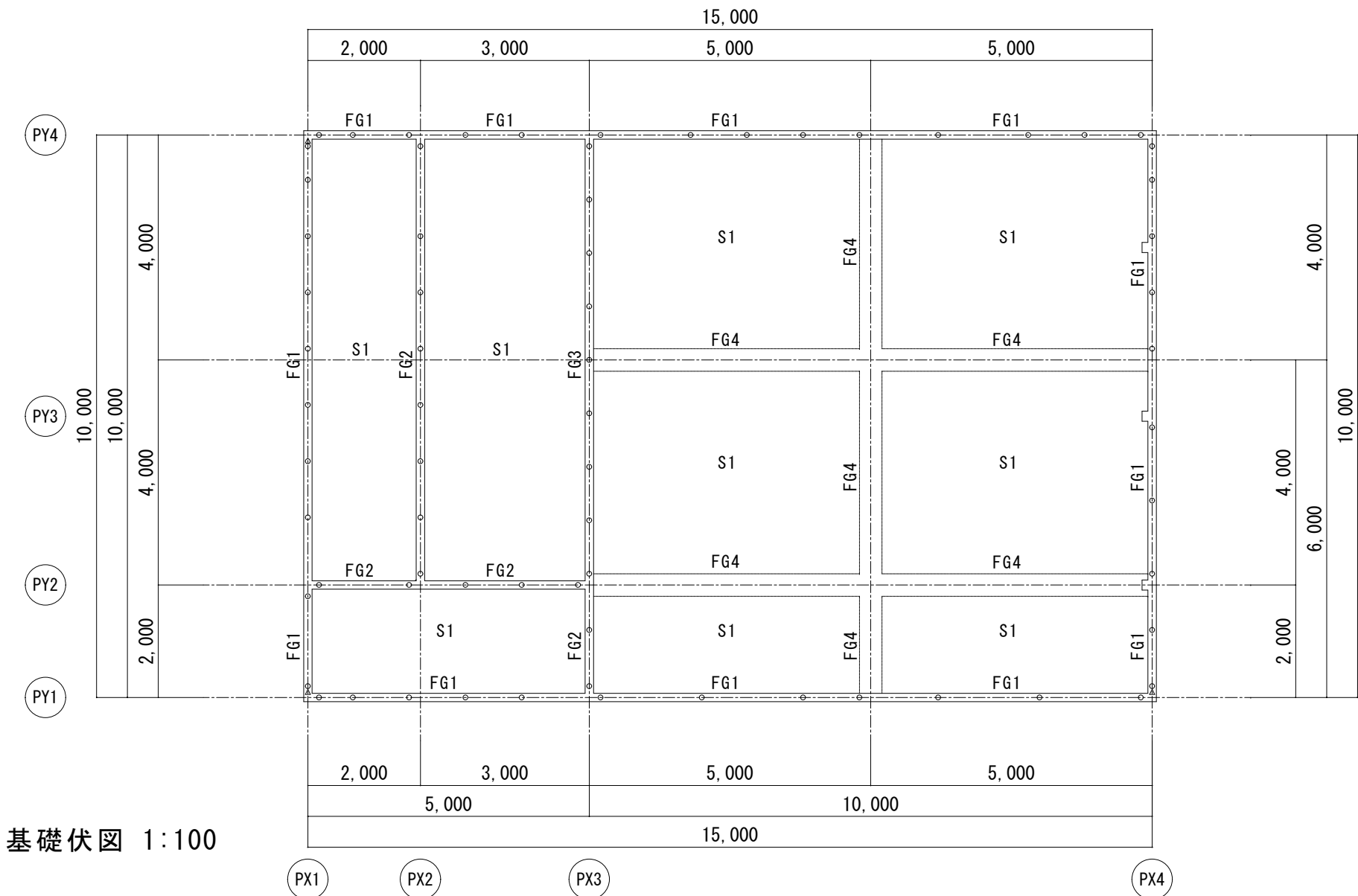
Y20通り軸組図



Y20A通り軸組図

Y21通り軸組図

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 S-34
	図面名称	園舎棟 軸組図 7				縮 尺 S=1/150		



特記事項

- ・特記なきスラブ天端はGL+50 (=SL±0)
- ・基礎、地中梁コンクリートFc24N/mm²
- ・ ○ M12アンカーボルト
- ・ △ M16アンカーボルト
- ・アンカーボルト座金仕様 角座金 厚さ4.5mm 40mm角

1、耐力壁の両側の柱の近接部（柱芯より240mm以内）

ただし、ホルダウン専用アンカーボルトが取付けられた場合は省略することができる

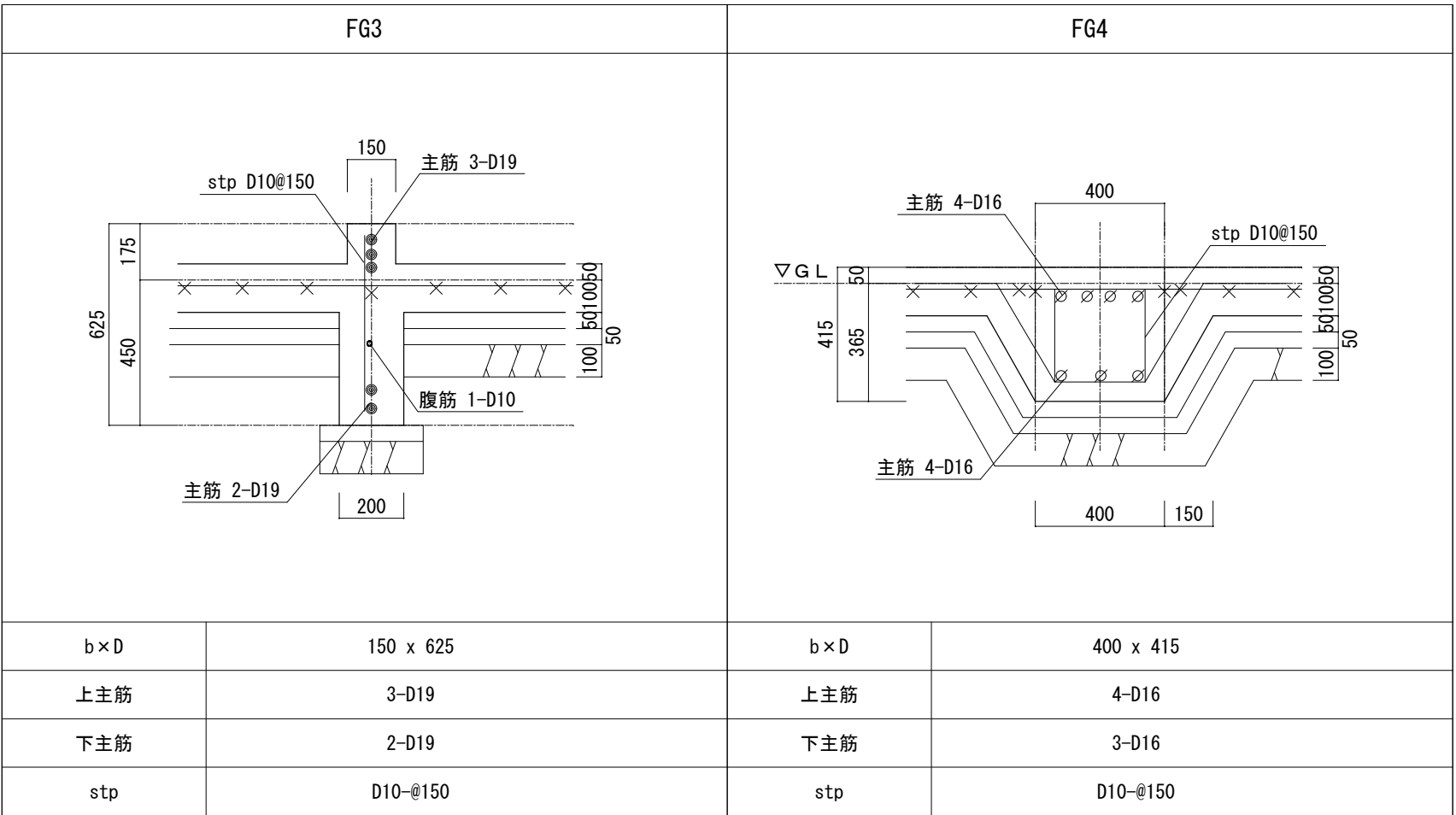
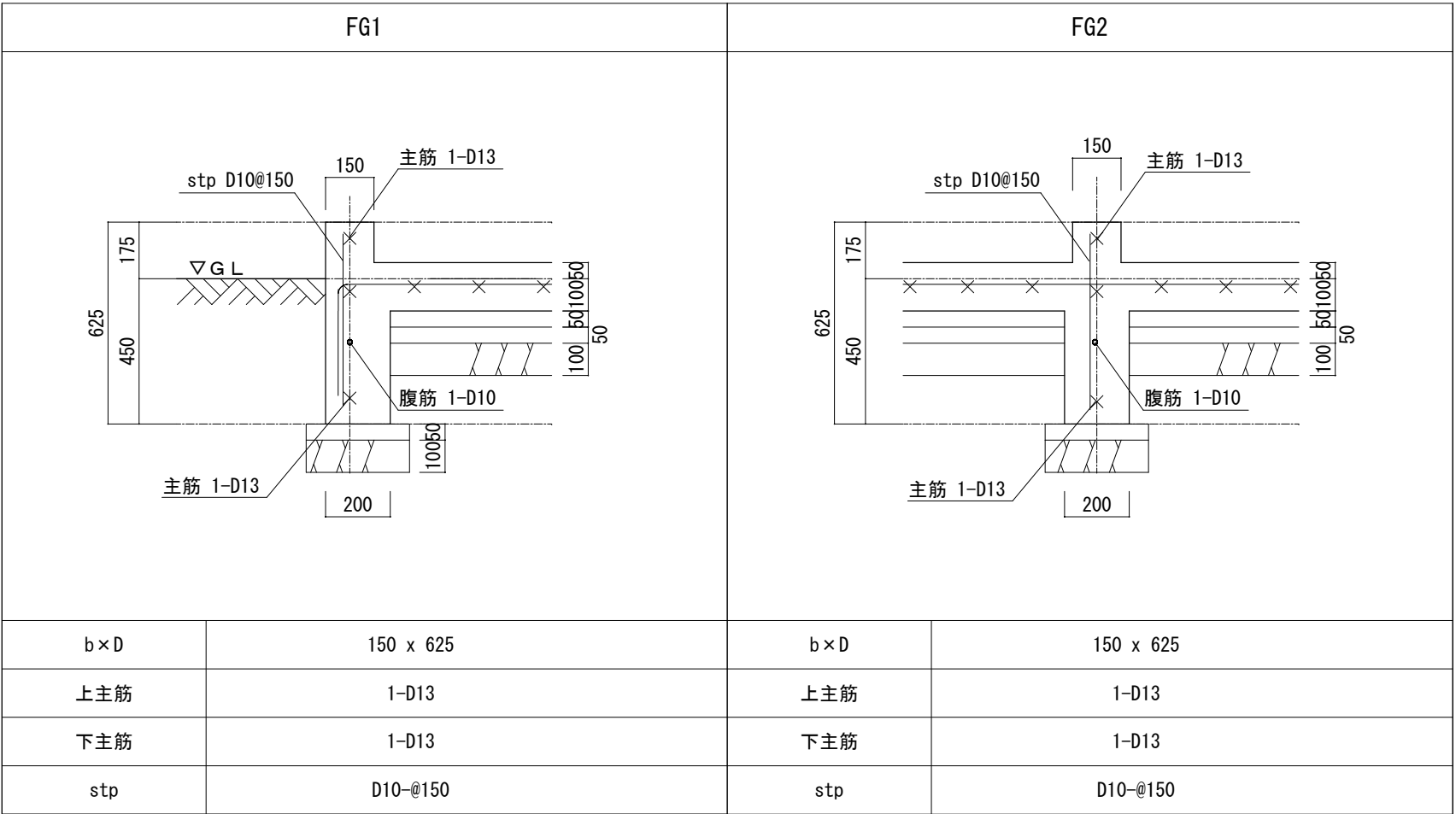
2、土台切れ箇所、土台継ぎ手及び土台仕口箇所の上木端部とし、出隅部分はできるだけ柱に近接した位置とする

3、その他の部分は間隔1.82m以内とする。

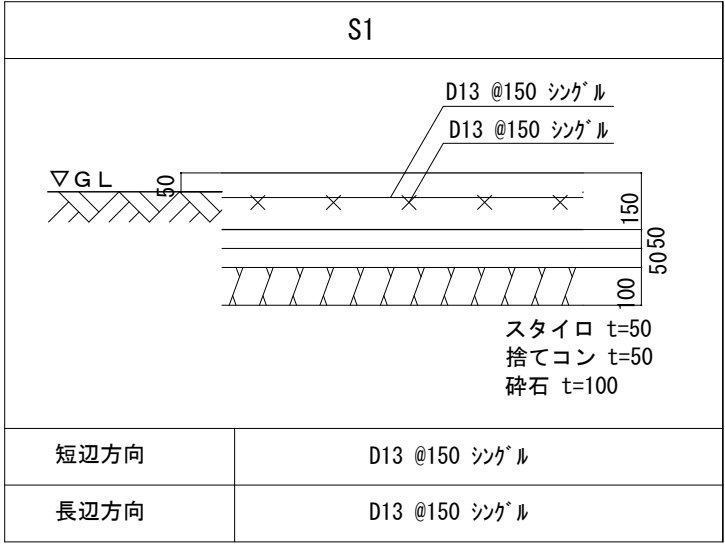
基礎梁断面リスト 1:20

設計コンクリート強度

Fc=24N/mm²



基礎スラブ断面リスト 1:20



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
	図面名称	遊戯室棟 基礎伏図・断面リスト				縮尺 S=1/150		

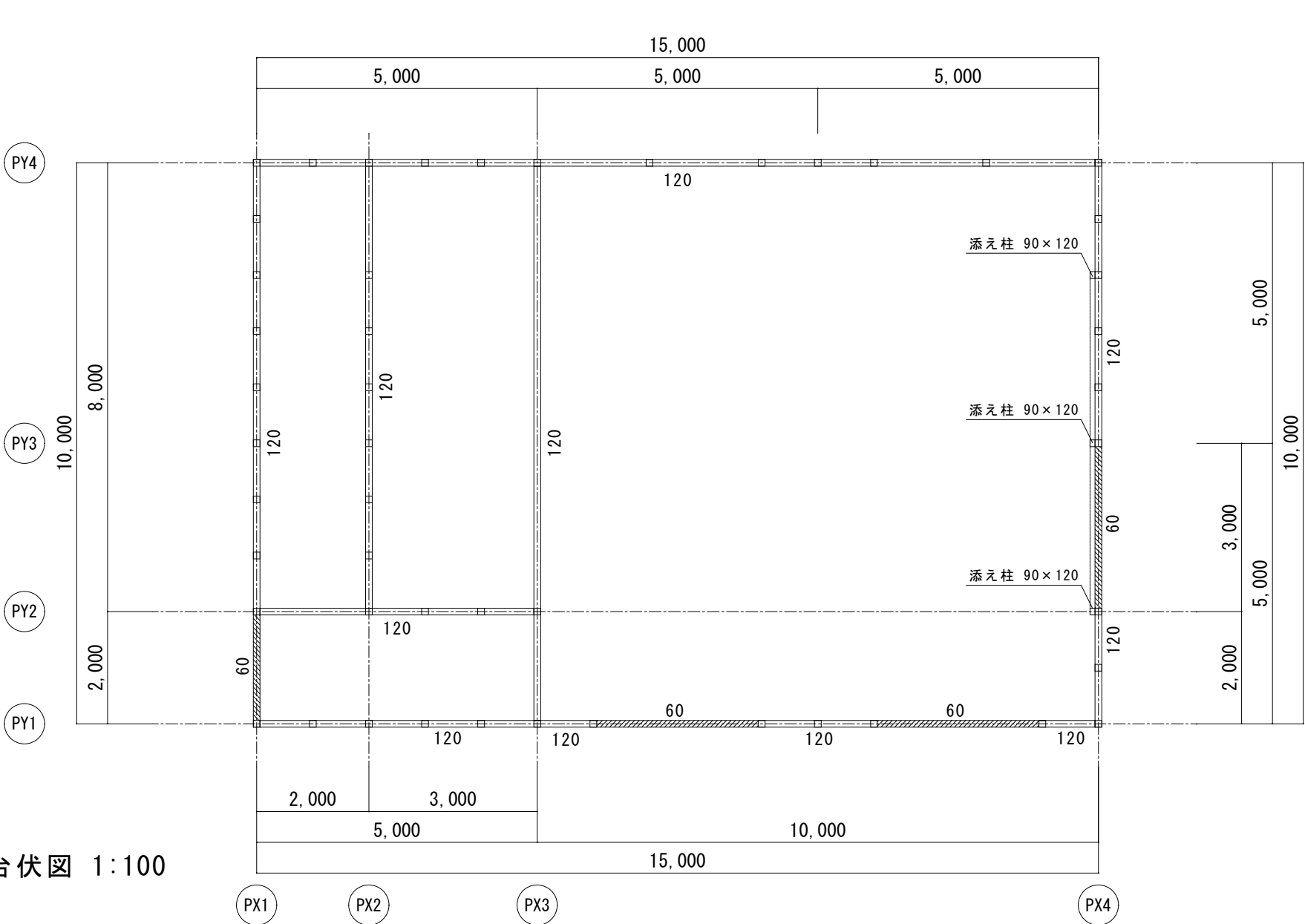


株式会社 若竹 まちづくり 研究所

開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号

S-35

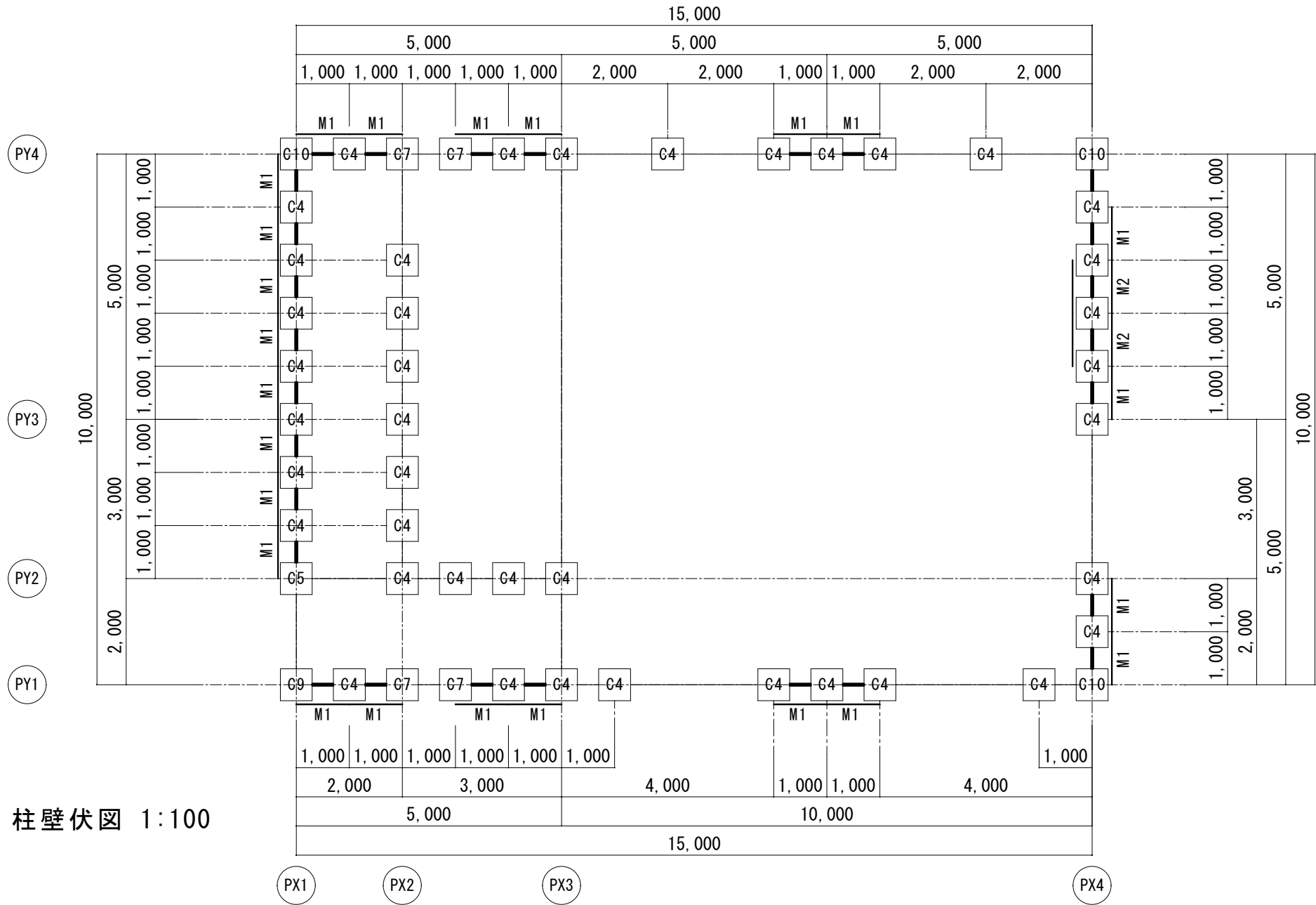


土台伏図 1:100

特記事項

- ・特記なき土台は 無等級製材ヒノキ 120×120 とする
- ・特記なき柱は 無等級製材ヒノキ 120×120 とする

- ・添え柱は構造用ビス XポイントプラスH (WAKAI)
L=170mm K08170H @300mm打ち



柱壁伏図 1:100

記号と仕様の対応		
分類	記号	仕様
壁材種	M1	構造用合板(真壁—片面張り)2.5倍
	M2	構造用合板(真壁—両面張り)5.0倍
柱頭柱脚 接合部	C4	L字型のかど金物 釘QN65×10本
	C5	T字型のかど金物 釘QN65×10本
	C7	羽子板ボルトφ12mm又は短ざく金物
	C9	引き寄せ金物φ12mmのボルト×2本
	C10	ホールダウン金物 15kN

特記事項

- ・特記なき土台は 無等級製材ヒノキ 120×120 とする
- ・特記なき柱は 無等級製材ヒノキ 120×120 とする

- ・耐力壁（真壁—片面張り） M1 は下記の仕様とする
面材の種類と厚さ：構造用合板9mm
釘の種類とピッチ：N50@150以下とする
910mm以上となる箇所には、継手間柱を設けること

- ・耐力壁（真壁—両面張り） M2 は下記の仕様とする
面材の種類と厚さ：構造用合板9mm
釘の種類とピッチ：N50@150以下とする
910mm以上となる箇所には、継手間柱を設けること

特記事項

工事名称

あいの保育園改築工事

Draw

Check

作成年月日

縮 尺

S=1/150



株式会社若竹まちづくり研究所

開 設 者

一級建築士 佐藤八尋

第115410号

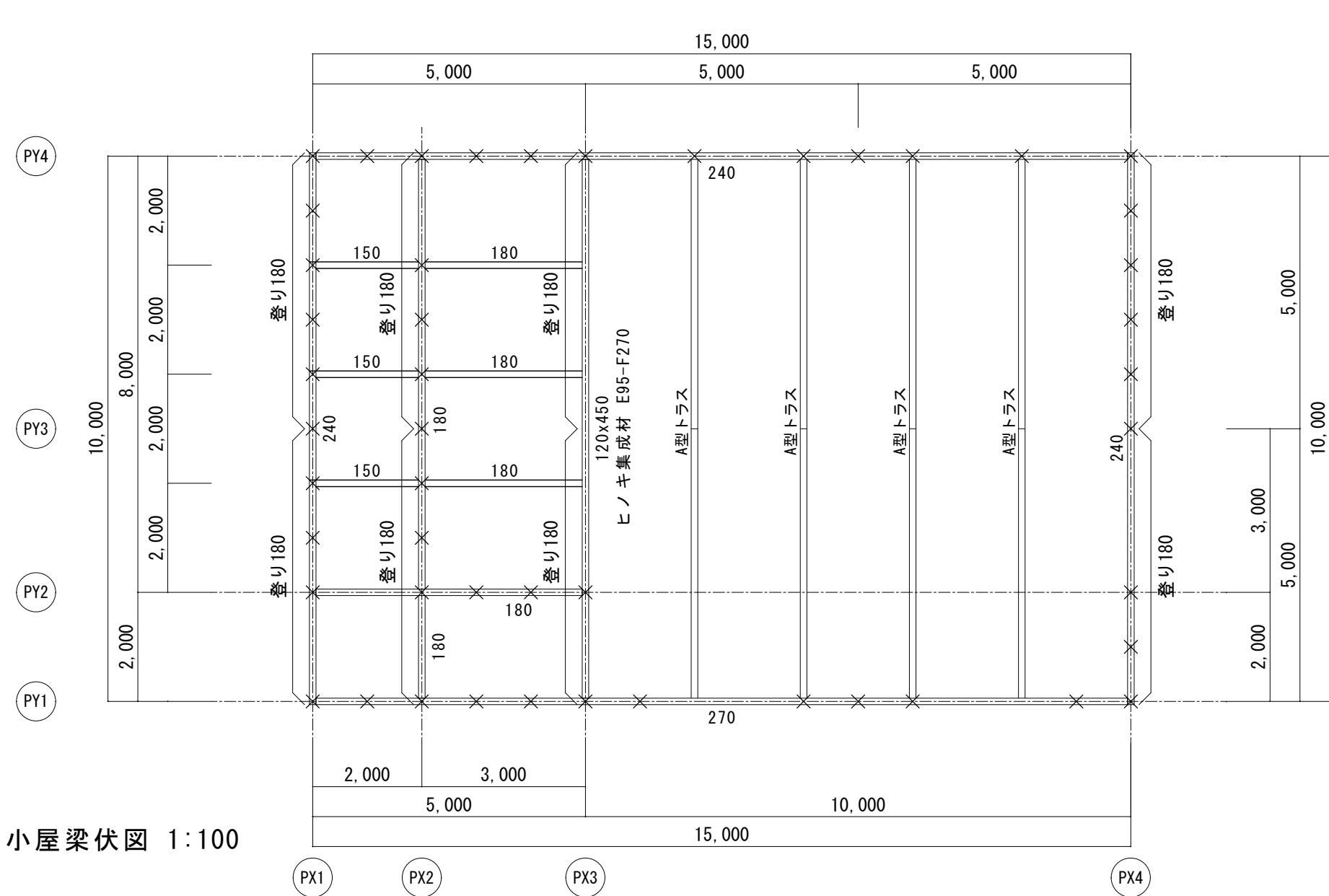
管理建築士

一級建築士 小松道就

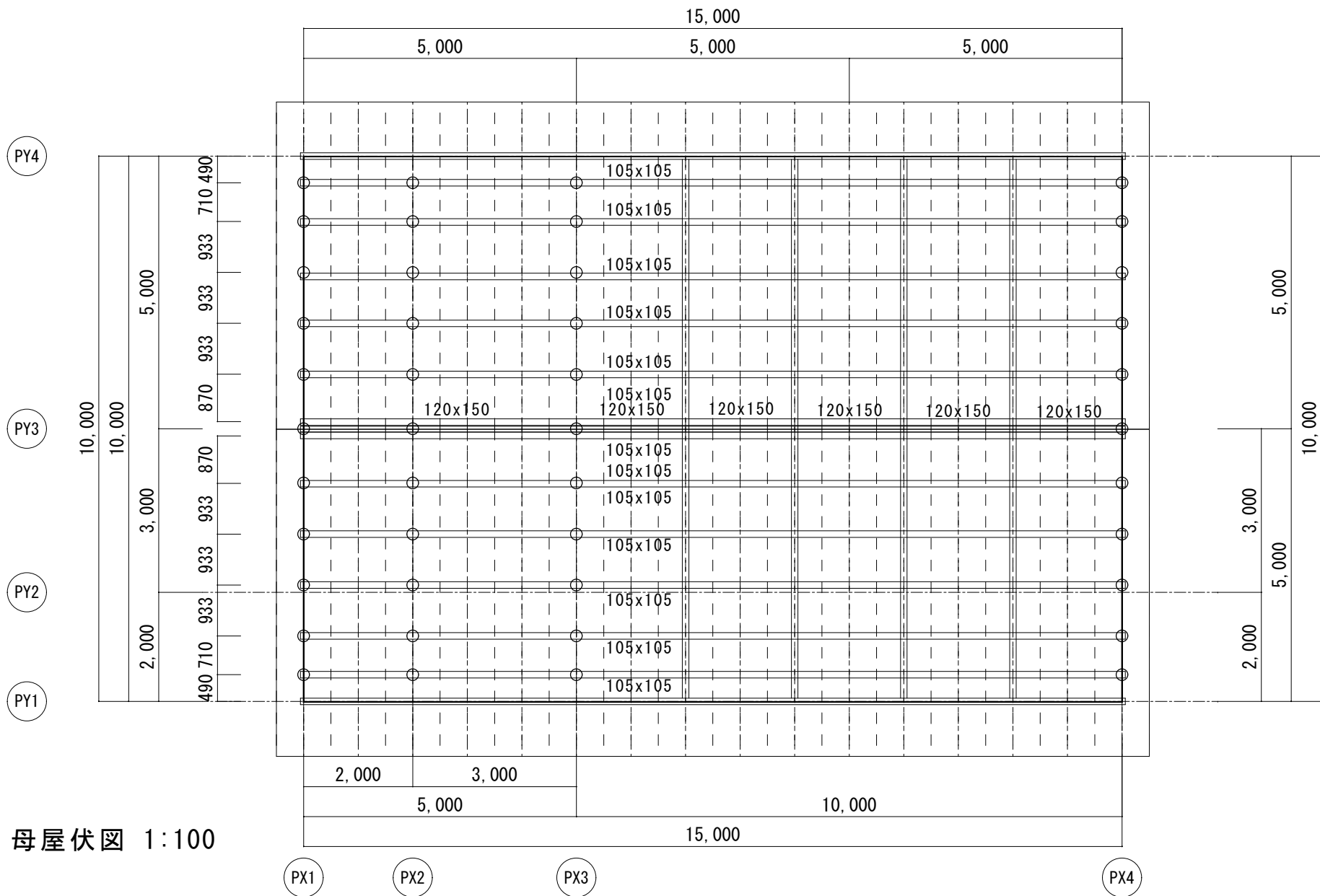
第223530号

図面番号

S-36





小屋梁伏図 1:100




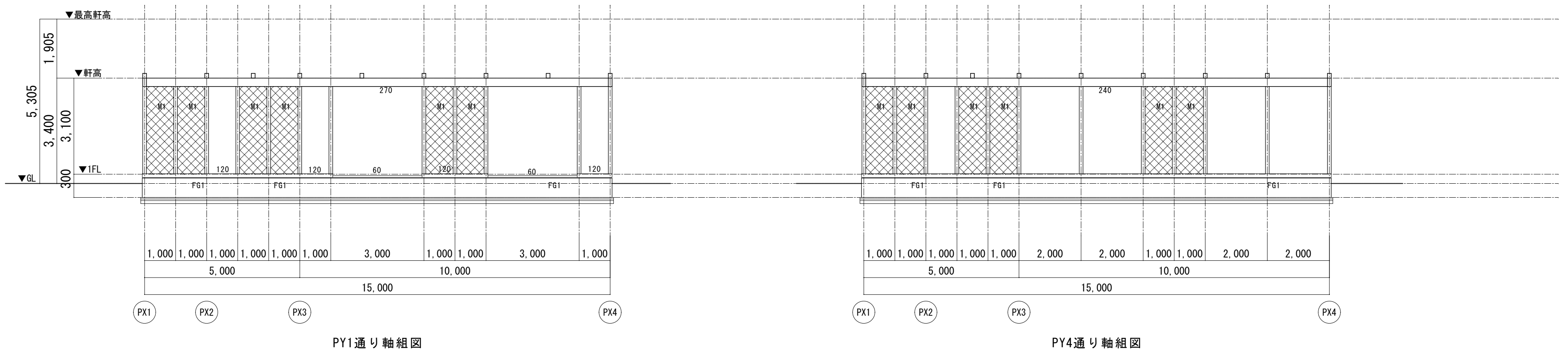
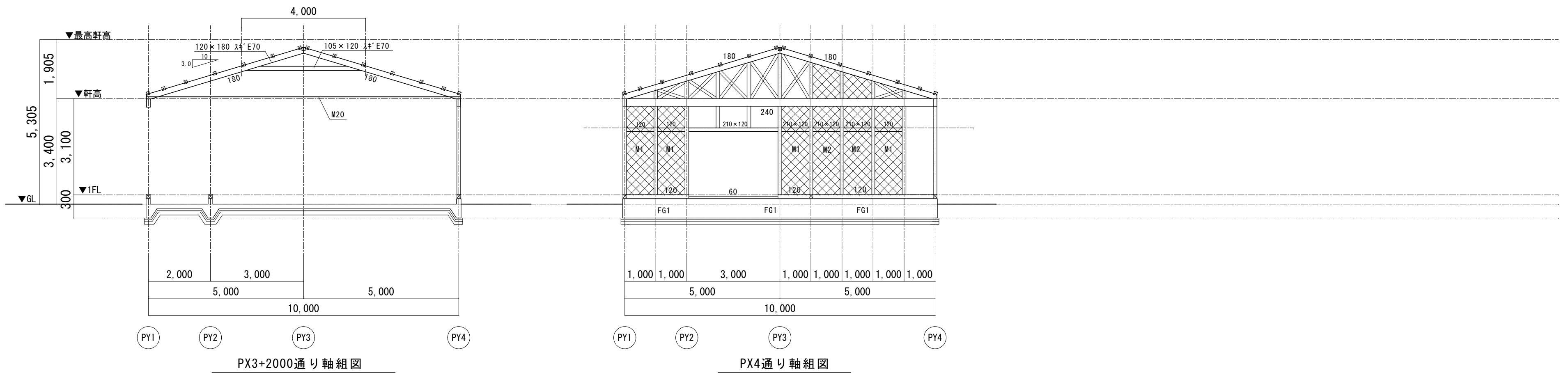
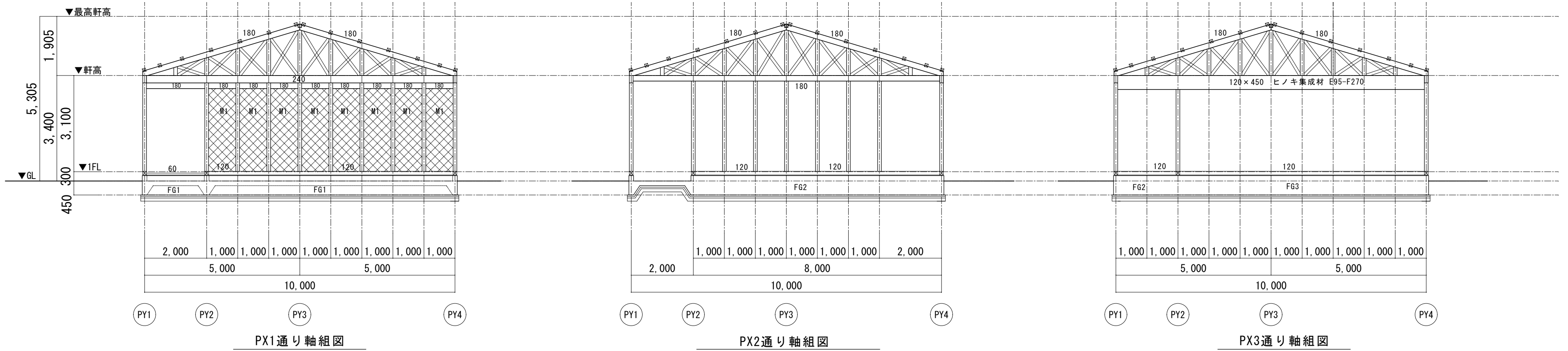
母屋伏図 1:100

特記事項

- ・ 梁天レベル 1FL+2500
- ・  は下柱を示す
- ・  は束を示す
- ・ 接合部記号表記のない継手は 腰掛け蟻+短冊金物 とする
- ・ 接合部記号表記のない仕口（通し柱）は 大入れほぞ差し+羽子板ボルト とする
- ・ 接合部記号表記のない仕口は 大入れ蟻掛け+羽子板ボルト とする
- ・ 接合部記号 J2 は大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2 とする
- ・ 梁寸法は幅120mmのものについては梁せいのみ示す
- ・ 特記なき梁の樹種は 無等級製材スギ とする

- ・ 屋根勾配水平構面 構造用合板12mm N50@150mm以下で垂木75×75に打付ける
- ・ 垂木は桁梁・母屋の上に設けた垂木道にN75を2本打ち
- ・ 軒桁・母屋・棟木上面の垂木と垂木の間に転び止めを設け
N75を4本（表2本裏2本千鳥配置）
- ・ 棟木は 無等級製材スギ とする。
- ・ 垂木間の転び止めは各母屋の上に 無等級製材スギ75×75を2-N75斜め釘止めとする。
- ・ 耐力壁のない箇所の振れ止めは スギ45×105 とする
- ・ 耐力壁M1上の振れ止めは、S-09 9. 小屋筋交い Bの仕様とする。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日	 株式会社若竹まちづくり研究所	図面番号 S-37
	図面名称	遊戯室棟 小屋梁伏図 小屋伏図				縮尺 S=1/150		



特記事項

工事名称
あいの保育園改築工事

図面名称
遊戯室棟 軸組図

Draw
Check

作成年月日

縮尺
S=1/150

株式会社 若竹まちづくり研究所

開設者
管理建築士

一級建築士
佐藤八尋

一級建築士
小松道就

第115410号
第223530号

図面番号
S-38

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 高知県吾川郡いの町天王南1丁目1-1、1-7、1-8

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
保育園	木造	平屋建	1019.70㎡	(6)項ニ
		階建	㎡	
		階建	㎡	
		階建	㎡	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目

建物別及び屋外 工事種目	屋内	屋外				
電灯設備	○					
幹線動力設備	○					
受変電設備	○					
自家発電設備						
非常照明設備	○					
電話・情報配管設備	○					
インターホン設備	○					
テレビ共聴設備	○					
トイレ呼出表示	○					
放送設備	○	○				
誘導灯設備	○					
自動火災報知設備	○					
電気時計設備		○				
外灯設備		○				
構内線路		○				

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版）及び電気設備工事標準図（令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項 目	特 記 事 項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ○ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○ できない 次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ※構外搬出 搬出先の名称 () 所在地 () 運搬距離 () km その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積 高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。 はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 照明器具、幹線の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事 屋外の変電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事 動力機器（電動機など）への接続 ※本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

⑧ 電線類

⑨ 呼び線

⑩ フラッシュプレート の材質

⑪ かんプレート の用途別表示

⑫ 接地極

⑬ 埋設表示

14 再使用機器

15 絶縁抵抗の測定

16 補修など

⑬ 屋上・屋側の支持金物

18 結露防止

19 はつり・非破壊検査

⑭ 天井仕上区分

⑮ 配線器具

⑯ LED照明器具

⑰ 照明器具の接地

⑱ 照明器具用位置ボックス

⑲ 一般照明器具の照度測定

⑳ 非常用照明器具の照度測定

㉑ 分電盤分岐回路

㉒ テレビ共同受信設備

㉓ 構内埋設線路

30 執務並行改修の単価の適用

㉔ 耐震施工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
耐火ケーブル (FP) 及び耐熱ケーブル (HP) はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。

長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

・ 樹脂製 ○ 新金属 ・ ステンレス

シール等を貼付する。

下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
共 同 接 地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
B 種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14φ) x 3連ー2組
D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連ー2組
避 雷 用	E L	10Ω以下	E P x 1
高 圧 避 雷 用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x3 連ー2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製

上記以外の接地極及び地中配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうち取付を行う。

工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。

工事の施工に伴い、既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

ステンレス製とする。（装柱金物は除く）

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。

はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは担当監督職員の立会により確認すること。

（室名）はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。

タンブラスイッチは大型型連用形とする。

壁付コンセントは原則として大型型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。

単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。

ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。

ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。

測定箇所については監督職員と協議を行う事。

設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50A Fの1Pサイズとする。

分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・ 双方方向型

電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要

埋設深さ 特記なきはGLー 600 以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。

地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。

本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力
機器の重量〔N〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

【設計用標準水平震度】		・ 特定の施設		○ 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 塔屋及び屋上	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水槽類（※1）	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地下及び1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水槽類（※1）	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平震度は全階2. 0とする。

【備考】（※1）水槽類には燃料小出タンクを含む。

注：上層階の定義は次による。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階

13階建以上の場合は上層4階

重要機器（ ○ 自立配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ）

（ ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ○ 自動火災報知受信機 ）

（ ・ 中央監視制御装置 ・ ）

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉕ コンクリート工事／骨材

㉖ ハンドホール

㉗ 工事・完成写真

㉘ 工事完成図

36 石綿含有建材の調査

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。

ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。

写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版）」による。

下記のをを監督職員に提出する。

区分	提出形式	備考
工事写真	A 4版カラー印刷 画像データ（JPEG形式） ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
	A 4版カラー印刷 画像データ（JPEG形式） ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

共通仕様書に従った完成図及び保守に関する指導案内書を監督職員に提出する。

A 4版 黒表紙金文字製本 1部 ※要 ・ 不要

A 3版 2ツ折り製本 1部 ※要 ・ 不要

C A Dデータ C D－R ※要 ・ 不要

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

事前調査は書面調査、現地調査にて行う事とし、調査の結果により分析による石綿含有調査を行うか監督職員と協議を行う。

石綿含有建材の設計時調査（情報提供） ・ 有 ・ 無

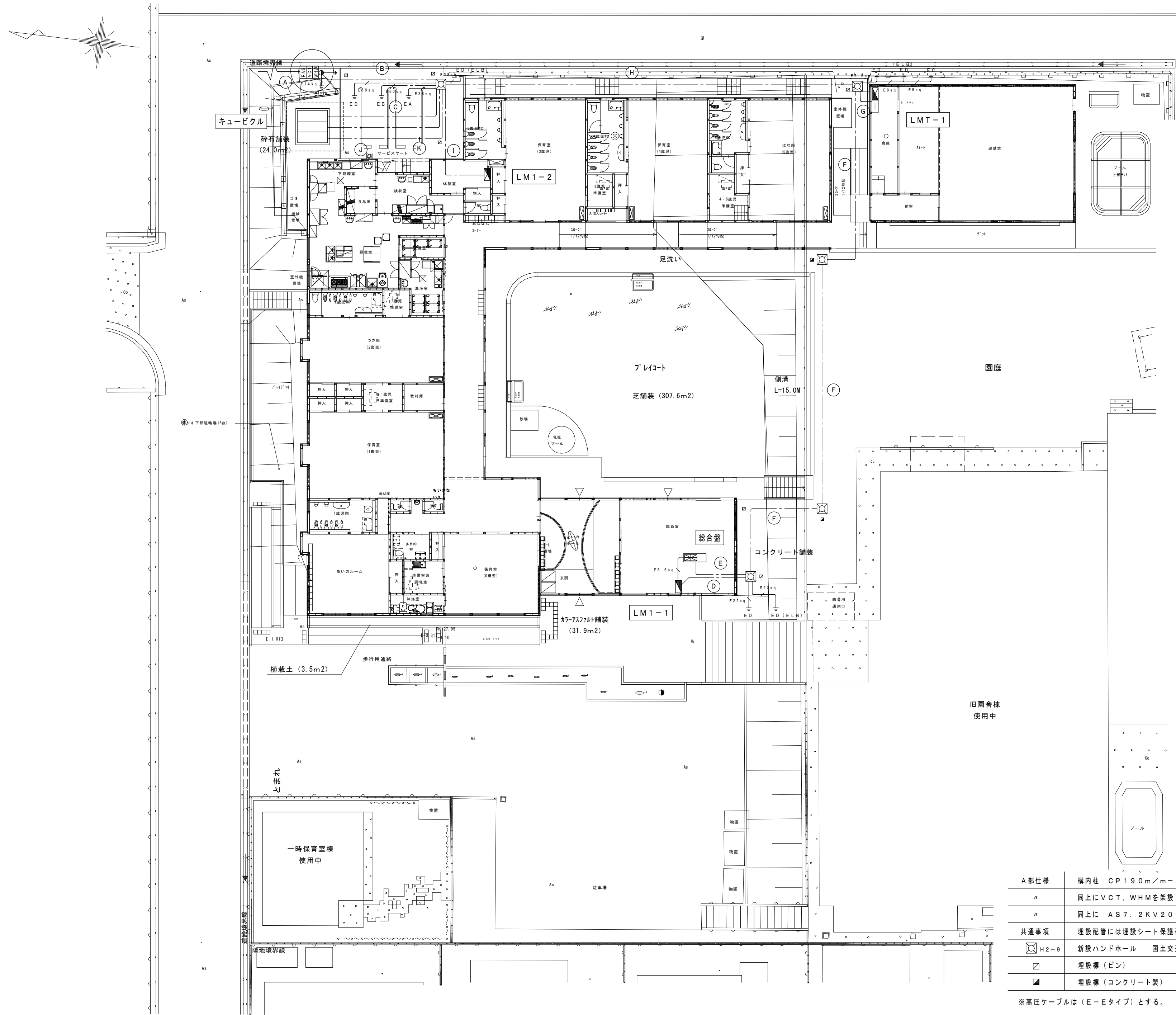
㉙ 機器取付高		壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。（住宅は別途協議）			
名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
ラケット（一般）	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
“（踊場）	“	2,500	接地極埋設標	地上～中心	600
“（鏡上）	鏡上端～中心	150	室内端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	(天井高) x0.9
スイッチ（一般）、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン（身体障害者用）	“	900
ツ、インターホン機（身体障害者用）	“	1,100	復帰ボタン（ “ ）	“	1,800
セント、電話用7φドレツト、直列ユニット（一般）	“	300	廊下表示灯（ “ ）	“	2,000
“（和室）	“	150	テレビ機器収容箱	“	1,800
“（台所）	台上～中心	150	火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
セント（ガス漏れ検知器（LPガス））	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
電盤、制御盤、親時計	“	1,500	コンセント（車庫）	床上～中心	800
		(上端1,900以下)	ガス漏れ検知器（LPガス）	床上～警報器上端	300
開閉器箱、中間端子盤（EPS、電気室）	“	1,500	“（都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200
インターホン、副受信機			引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	2,000

備考 (天井高) x0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

㉚ 室内空気汚染 (揮発性有機化合物)対策	
対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、MDF パーティクルボード、ユリア樹脂板	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エテルペンゲンを含むしていない水性系のもとする。
③ 木材保存剤 (防腐処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブを含むしない、非有機リン系の薬剤とし 加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含むしていないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含むしない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。)
室内に関わる材料（上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノブカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。	

工 事 名	R060701
あいの保育園改築工事	E-01

機材名	指定品	機材名	指定品	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名	機材名	メーカー名					
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ（株） 岩 崎 電 気（株） （株）遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株） （株）YAMAGIWA 山田照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 （株）GSユアサ 古河電池（株）							
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編） J I S マーク表示品			監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A（株） ﾊﾞﾅﾅﾐｯｸｺﾈｸﾄ（株）									
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			照明制御装置	東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	盤類（公共建築工事標準仕様） 分電盤・制御盤 ｷｬﾋﾞﾆｰｸﾙ式配電盤	（株）イトウテック 共 栄 電 機 工 業（株） 光 電 設（株）							
配線器具類	J I S マーク表示品			可変速電動機用インバーター装置	（株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）安川電機		上記の他、令和6年版「建 築材料・設備機材等品質性 能評価事業 設備機材等評 価名簿」に掲載されたもの							
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機（真空）	東芝インフラシステムｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎	太陽光発電装置	山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝インフラシステムｽﾞ（株） パナソニック（株）							
電磁接触器 JIS C 8201-1、JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	（株）宇都宮電機製作所 エナジーサポート（株） 東芝インフラシステムｽﾞ（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）	交流無停電電源装置（UPS）	エナジーウィズ株式会社 山洋電気（株） （株）GSユアサ 東芝インフラシステムｽﾞ（株） 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） （株）明電舎							
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート（株） 大垣電機（株） （株）新愛知電機製作所 （株）戸上電機製作所 日本高圧電気（株） （株）日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三 菱 電 機（株）									
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	（株）指月電機製作所 東芝インフラシステムｽﾞ（株） ニ チ コ ン（株） 日 新 電 機（株） 三 菱 電 機（株） 利 昌 工 業（株） ※ 1									
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			※ 1 モールドコンデンサに限る	※ 1									
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの			高圧用変圧器	愛知電機（株） 四 変 テ ッ ク（株） （株）ダイヘン タカオカ化成工業（株）※ 2 （株）東 光 高 岳 東芝インフラシステムｽﾞ（株） 日 新 電 機（株） （株）日立産機システム 富士電機（株） 三 菱 電 機（株） （株）明 電 舎 ※ 2 モールド変圧器に限る									
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの													
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの													
自動閉鎖装置	運動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの													
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの													
非常警報装置（非常ベル）	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの													
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの													
構内交換装置	（財）電気通信端末機器 審査協会の認定品													
電気設備機材指定表								工 事 名						
								あいの保育園改築工事						
								E-02						

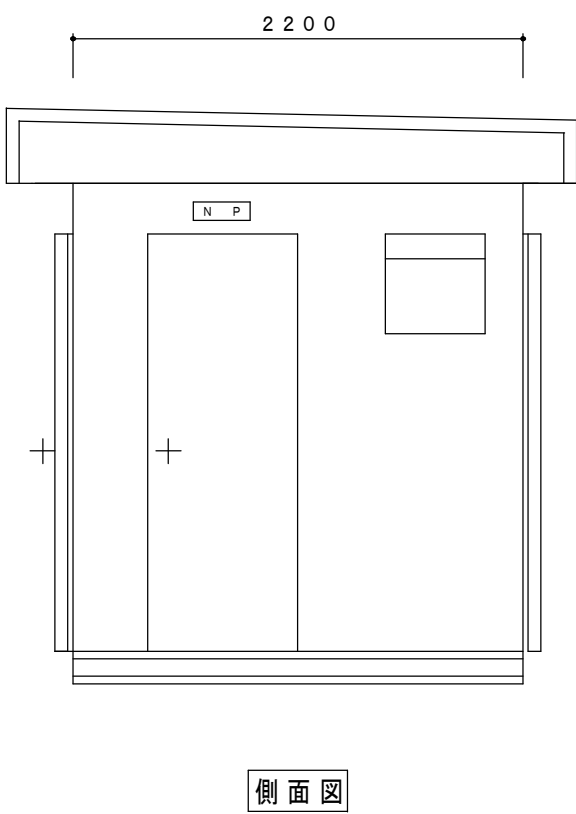
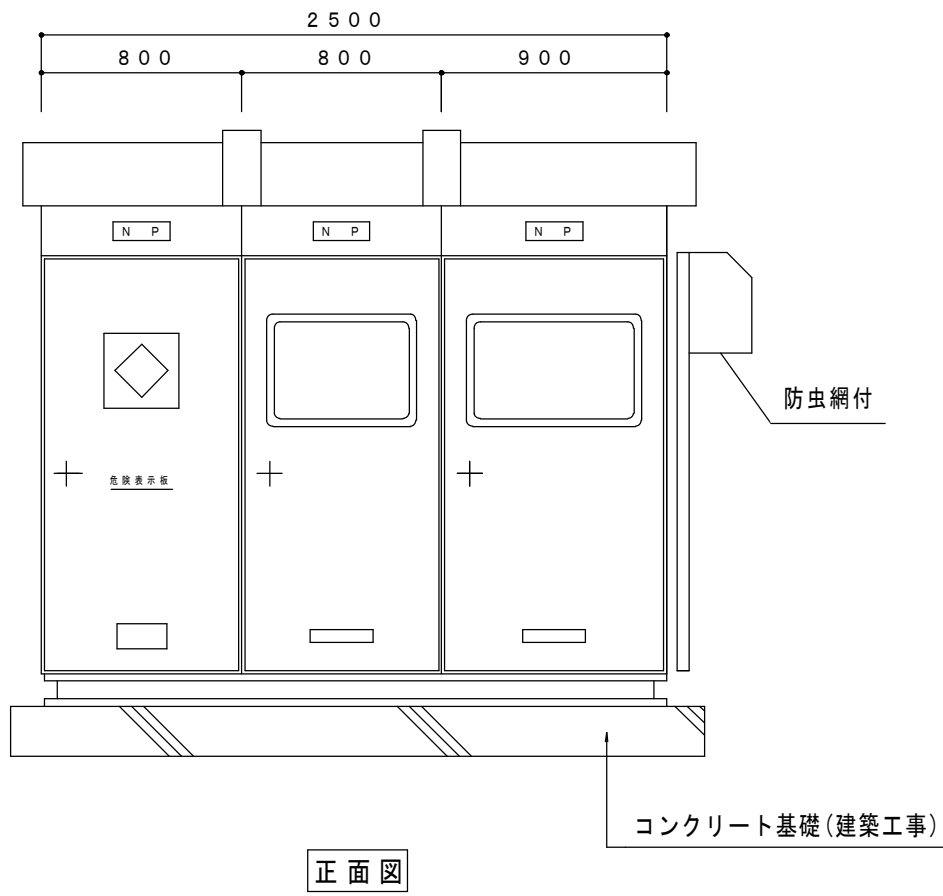
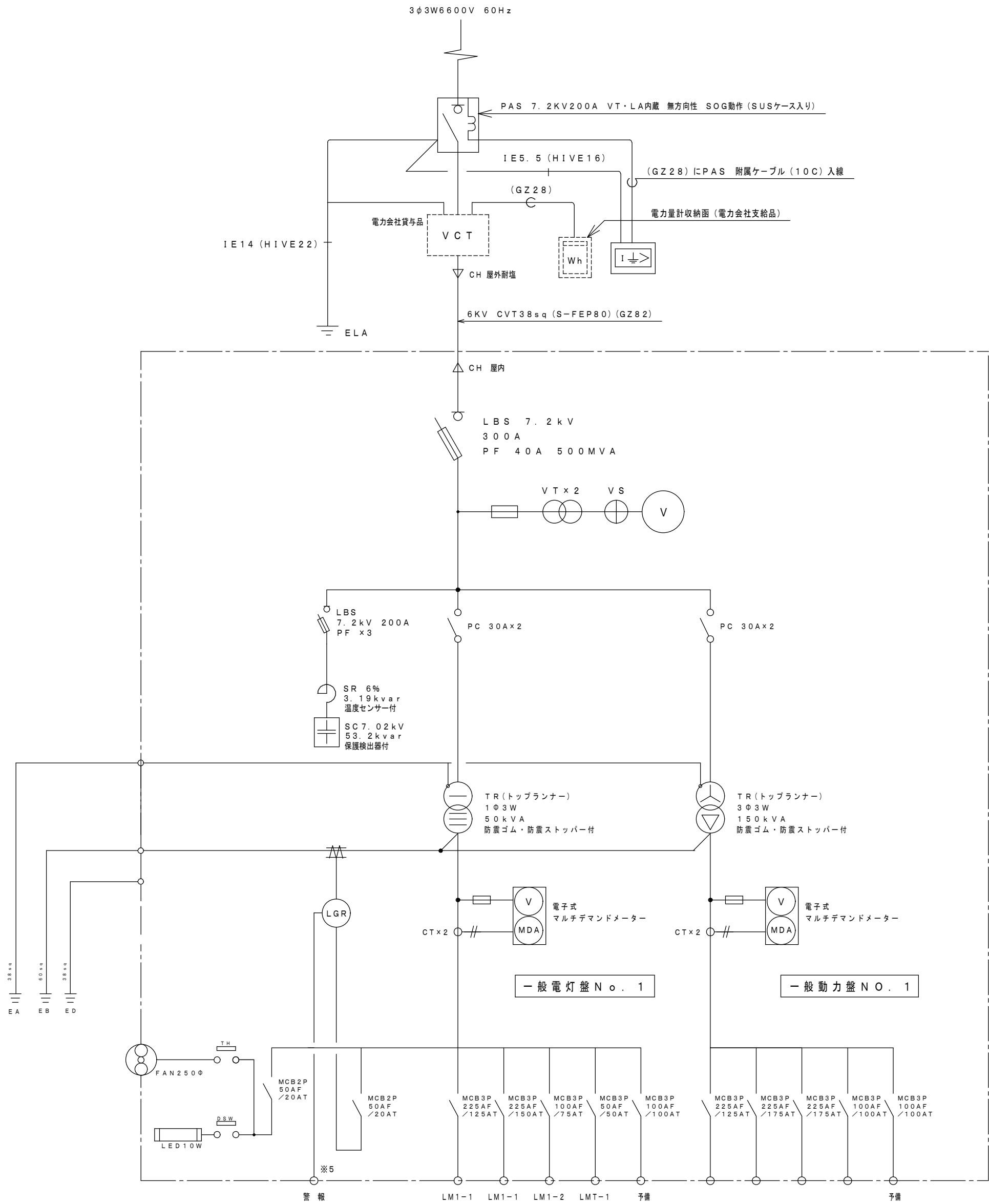


配線リスト		
高压引込	6kV	CET38sq (GZ82)
予備	—	(GZ82) × 1
接地 (ELA)	1E14sq × 1	(HIVE22)
予備	—	(GZ42) × 6
高压引込	6kV	CET38sq (S-FEP80)
予備	—	(S-FEP80) × 1
予備	—	(FEP40) × 6
高压引込	6kV	CET38sq (S-FEP80)
予備	—	(S-FEP80) × 1
接地EA・ED	E38sq	(FEP30) × 2
接地EB	E60sq	(FEP30) × 1
警報	CEE2sq-2C	(FEP30)
LM1-1 1Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
LM1-1 3Φ3W	CET60sq	(FEP65)
接地ED・ED (ELB)	E38sq	(FEP30) × 2
予備 ※第4期外灯用	—	(FEP30) × 1
リモコンスイッチ	CPEE1. 2-1P	(FEP30)
予備	—	(FEP40) × 6
警報	CEE2sq-2C	(FEP30)
全館放送	AE1. 2-3C	(FEP30)
全館放送	S5C-FB	(FEP30)
LM1-1 1Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
LM1-1 3Φ3W	CET60sq	(FEP65)
予備	—	(FEP40) × 8
警報	CEE2sq-2C	(FEP30)
全館放送	AE1. 2-3C	(FEP30)
全館放送	S5C-FB	(FEP30)
リモコンスイッチ	CPEE1. 2-1P	(FEP30)
LMT-1 1Φ3W	CET14sq	(FEP40)
LMT-1 3Φ3W	CET38sq	(FEP50)
予備	—	(FEP40) × 2
全館放送	AE1. 2-3C	(FEP30)
全館放送	S5C-FB	(FEP30)
接地ED (ELB)	E8sq	(FEP30)
接地EC	E8sq	(FEP30)
接地ED	E5. 5sq	(FEP30)
リモコンスイッチ	CPEE1. 2-1P	(FEP30)
LM1-1 1Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
LM1-1 3Φ3W	CET60sq	(FEP65)
LMT-1 1Φ3W	CET14sq	(FEP40)
LMT-1 3Φ3W	CET38sq	(FEP50)
予備	—	(FEP40) × 6
警報	CEE2sq-2C	(FEP30)
LM1-2 1Φ3W	CET14sq	(FEP40)
LM1-2 3Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
接地ED・ED (ELB)	E38sq	(FEP30) × 2
LM1-1 1Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
LM1-2 1Φ3W	CET14sq	(FEP40)
LMT-1 1Φ3W	CET14sq	(FEP40)
LM1-1 3Φ3W	CET60sq	(FEP65)
LM1-2 3Φ3W	CET100sq	(FEP65) × 2
LMT-1 3Φ3W	CET38sq	(FEP50)

A部仕様	構内柱 CP190m/m-12M-5kN 根拠足場ボルト共 支線一方向一式
〃	同上にVCT、WHMを架設 装柱材 (腕金、高圧碍子共) 一式
〃	同上に AS7. 2KV200A (VT、LA内蔵 方向性SOG動作 SUS) を架設 装柱材 (腕金、高圧碍子共) 一式
共通事項	埋設配管には埋設シート保護砂を敷設し要所に埋設標を設置
H2-9	新設ハンドホール 国土交通省H2-D 蓋R8K-60
埋設標 (ピン)	
埋設標 (コンクリート製)	

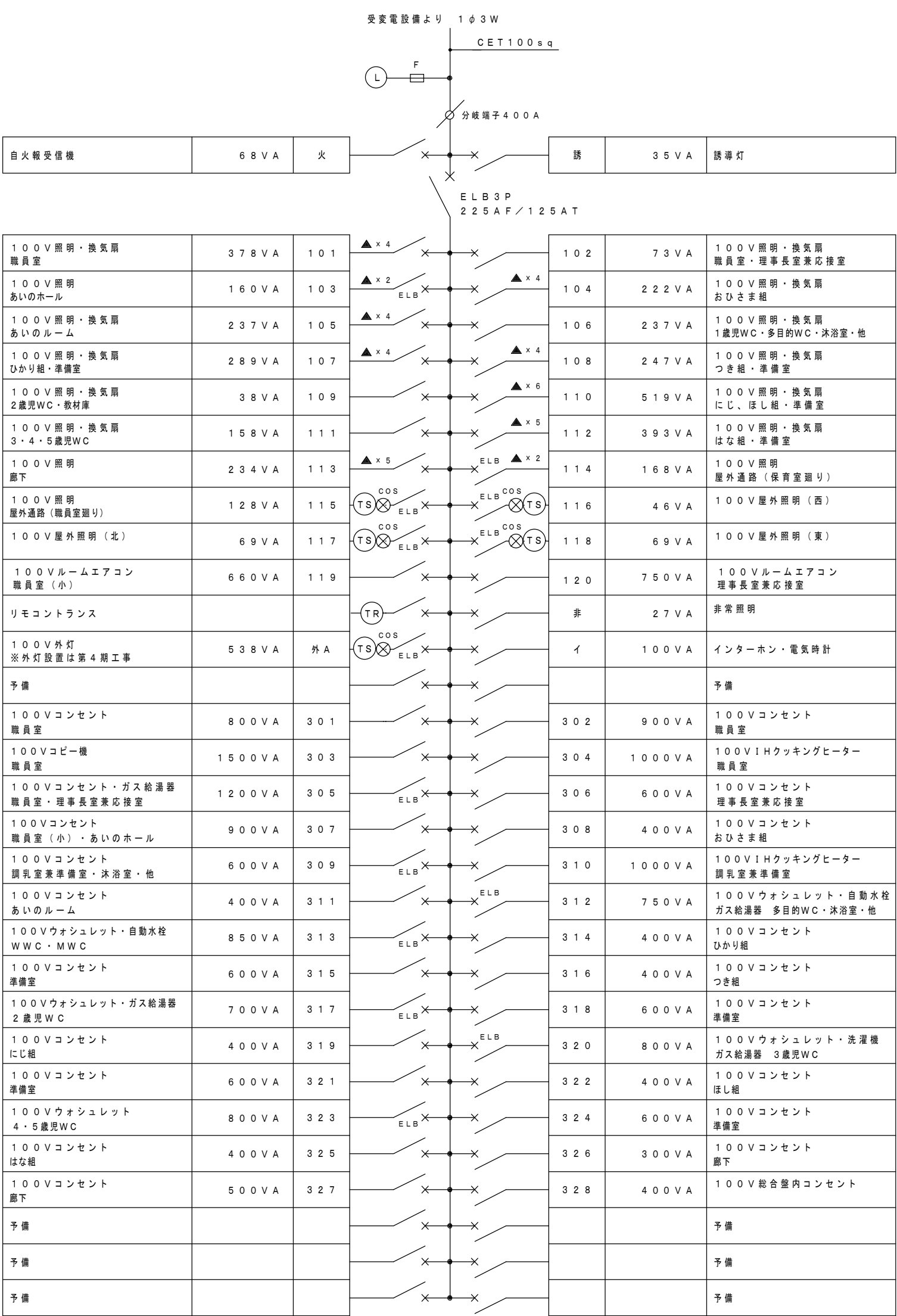
※高圧ケーブルは (E-Eタイプ) とする。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称				R7.03		
		配置図（第2期）			縮尺	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号	E-03
					S=1/200	管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	



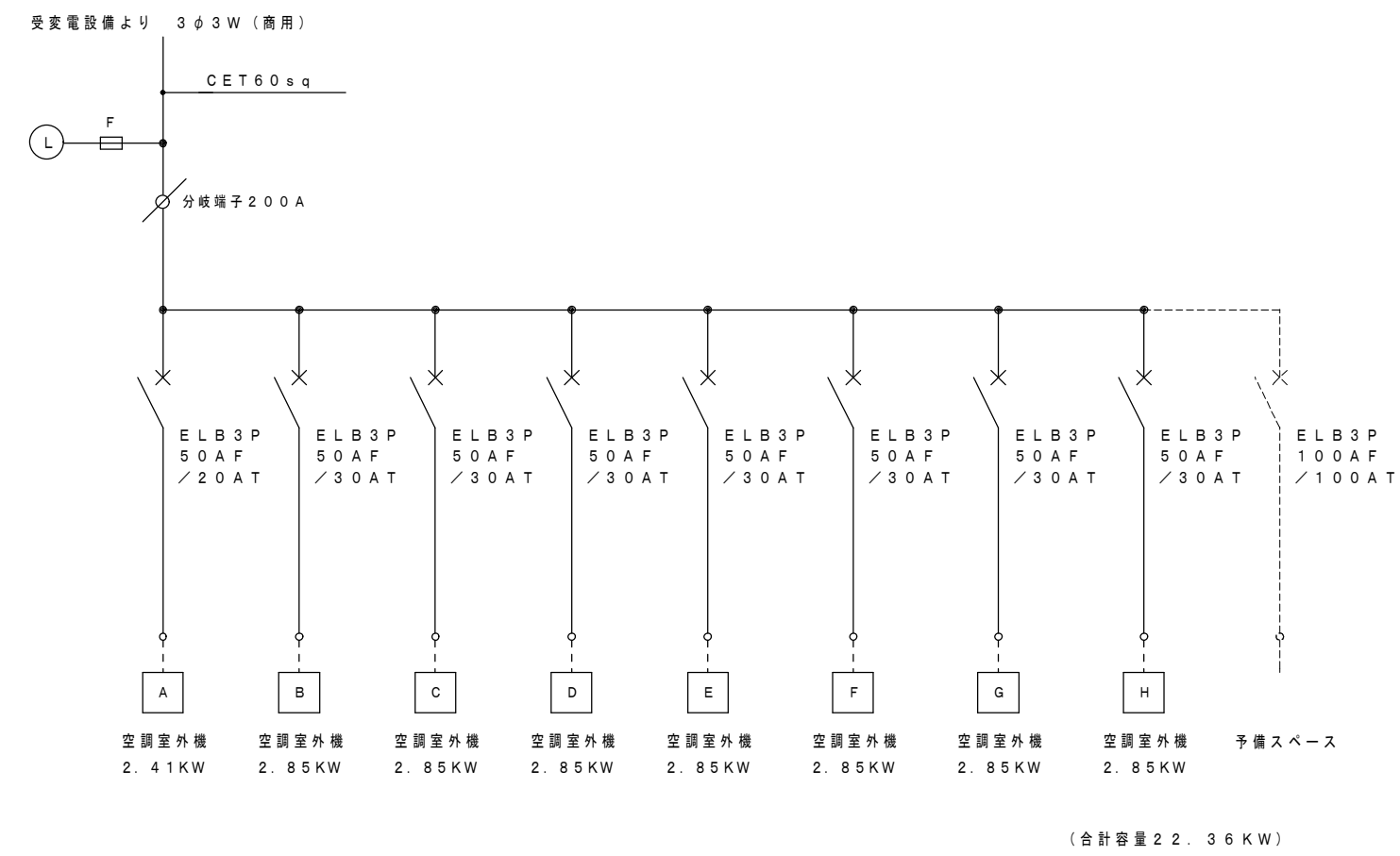
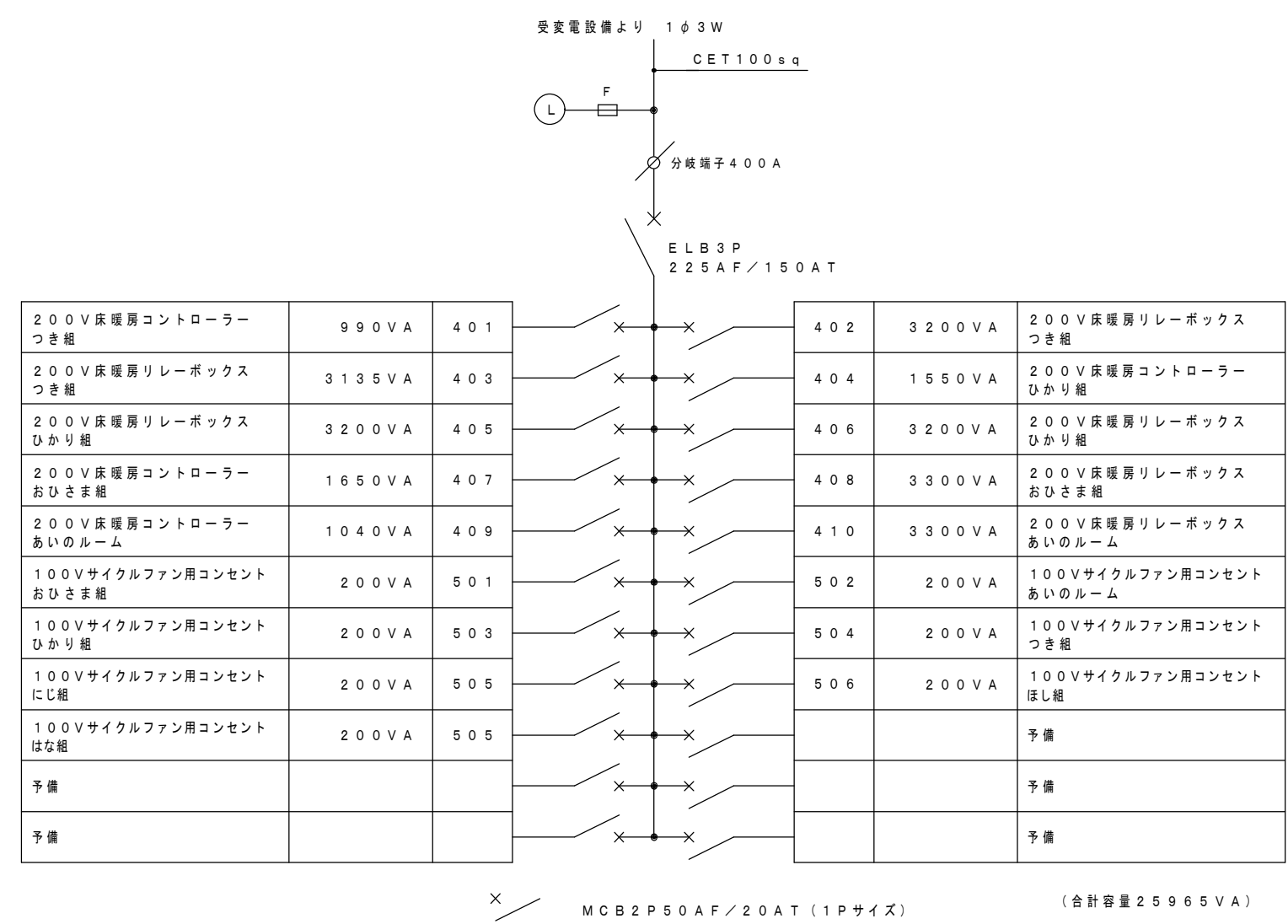
受変電設備（銅板製防水型 耐塩指定色塗装） ※キュービクルは消防認定品同等品とする。

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称				R7.03		
		受変電設備図			縮尺	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号	
					S=N/S	管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	

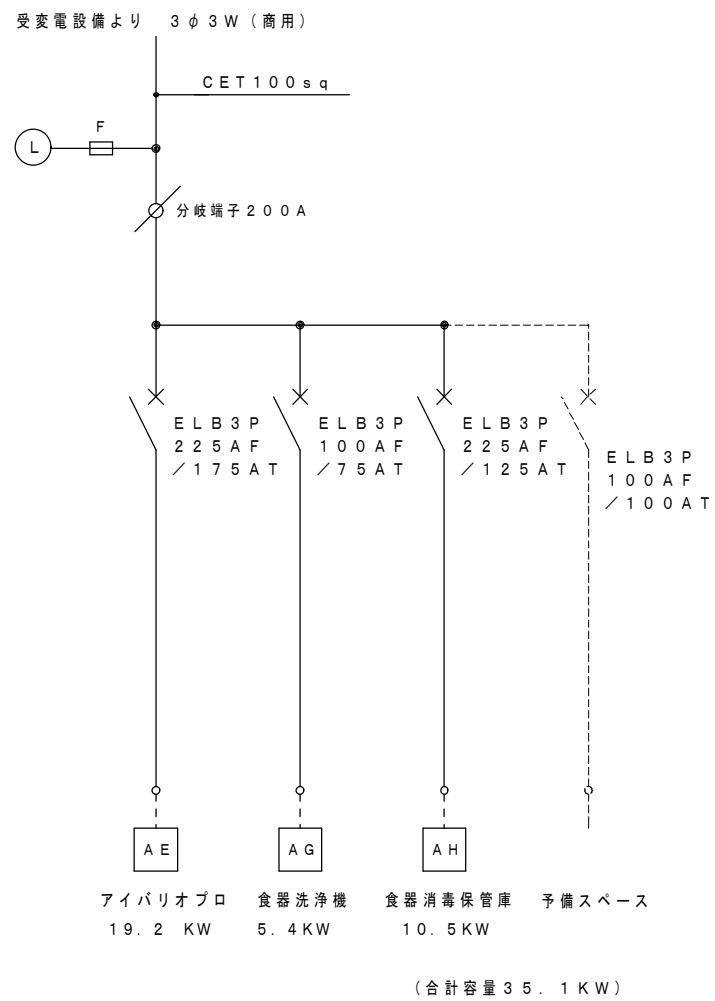
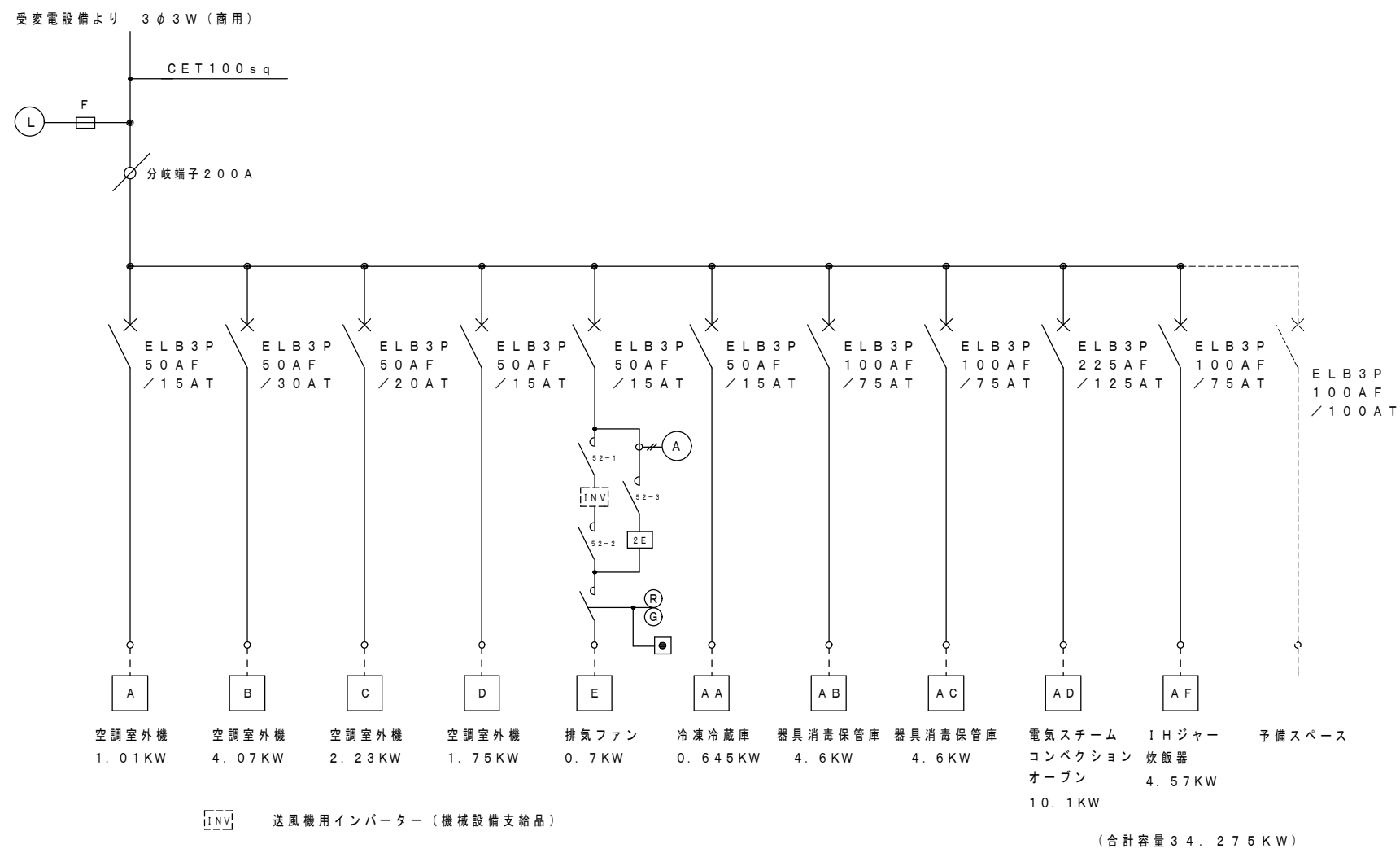
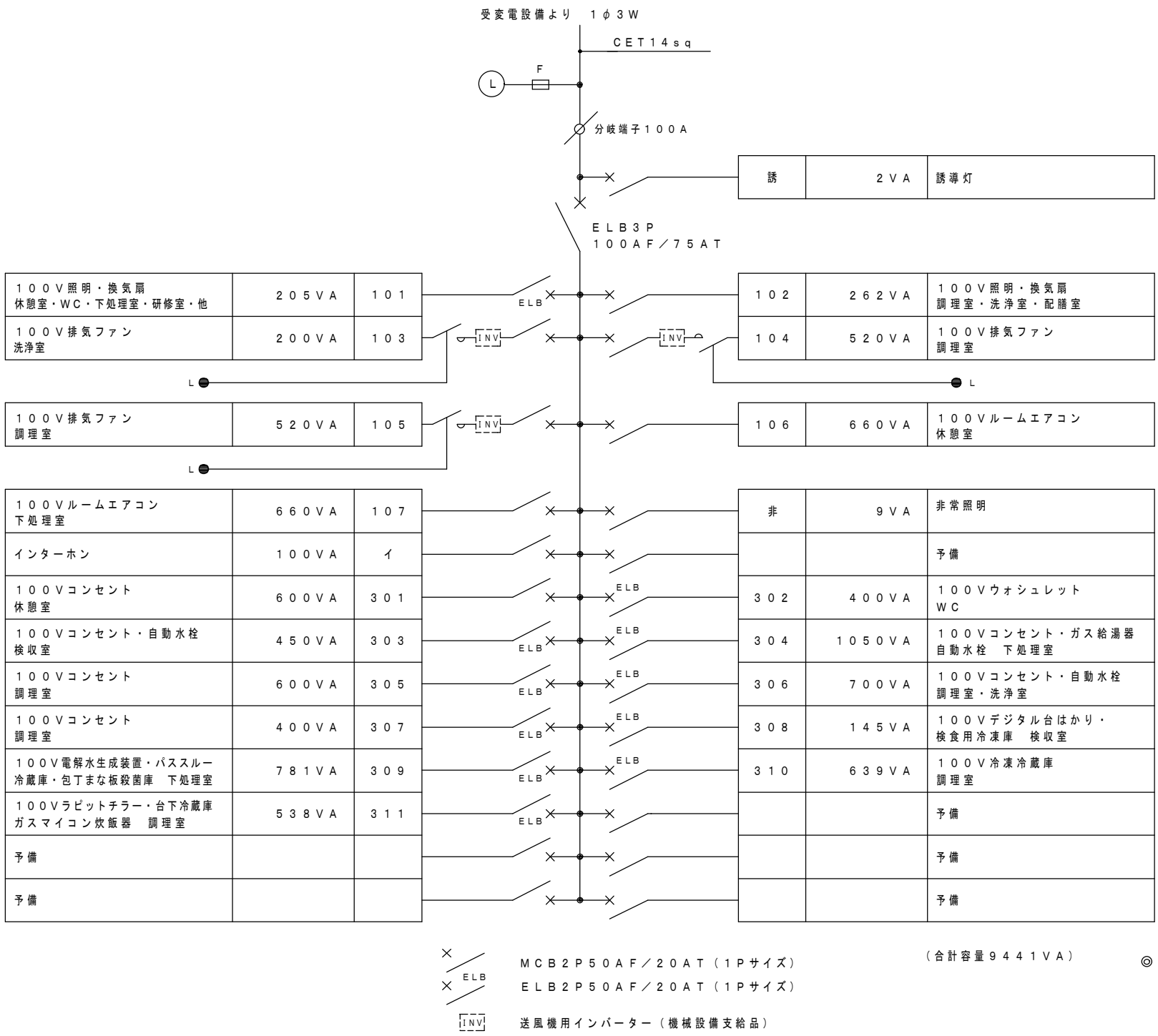


- × MCB2P50AF/20AT (1Pサイズ) (合計容量24643VA)
- × ELB ELB2P50AF/20AT (1Pサイズ)
- ⊙ ソーラータイマースイッチ 24H 3A 1回路型 停電補償付
- ⊗ COS 切替スイッチ 手動・切・自動
- ▲ リモコンリレー-2P20A×40
リレー制御用T/U (4回路用) ×10
- ⊙ TR リモコントランス×1
伝送ユニット (グループ監視表示型) ×1
- 露出セレクタースイッチ20回路 光アドレス設定式・パターン・グループ設定スイッチ付
- ◎ 接地分岐端子
ED
ED (ELB)
EC

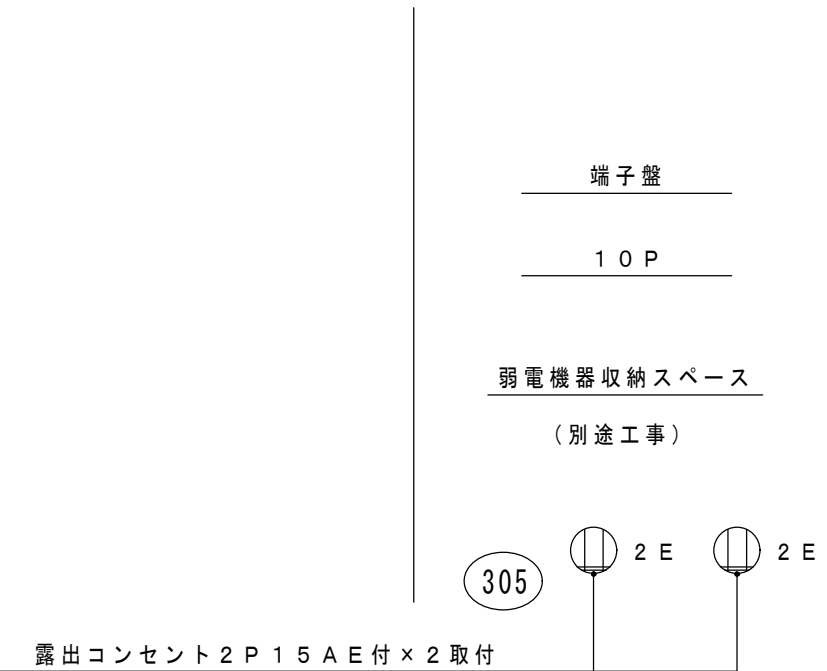
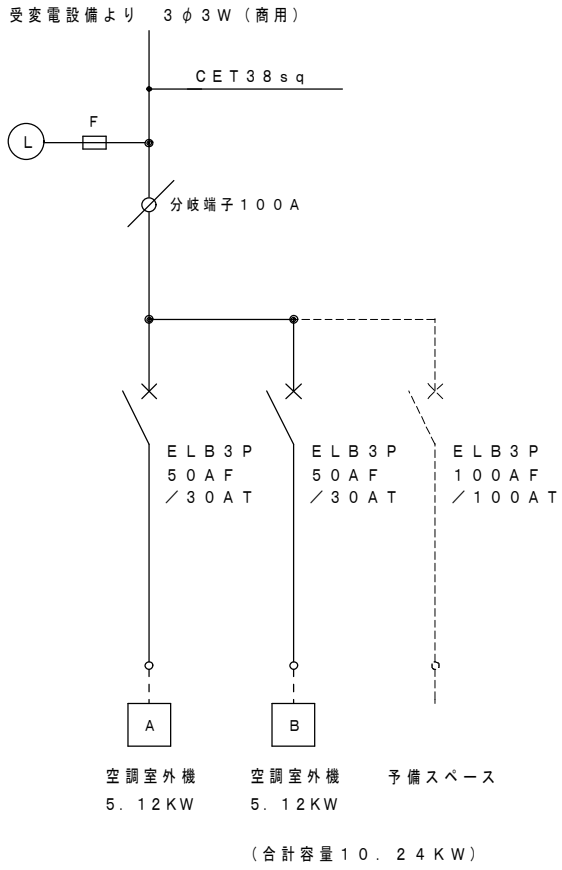
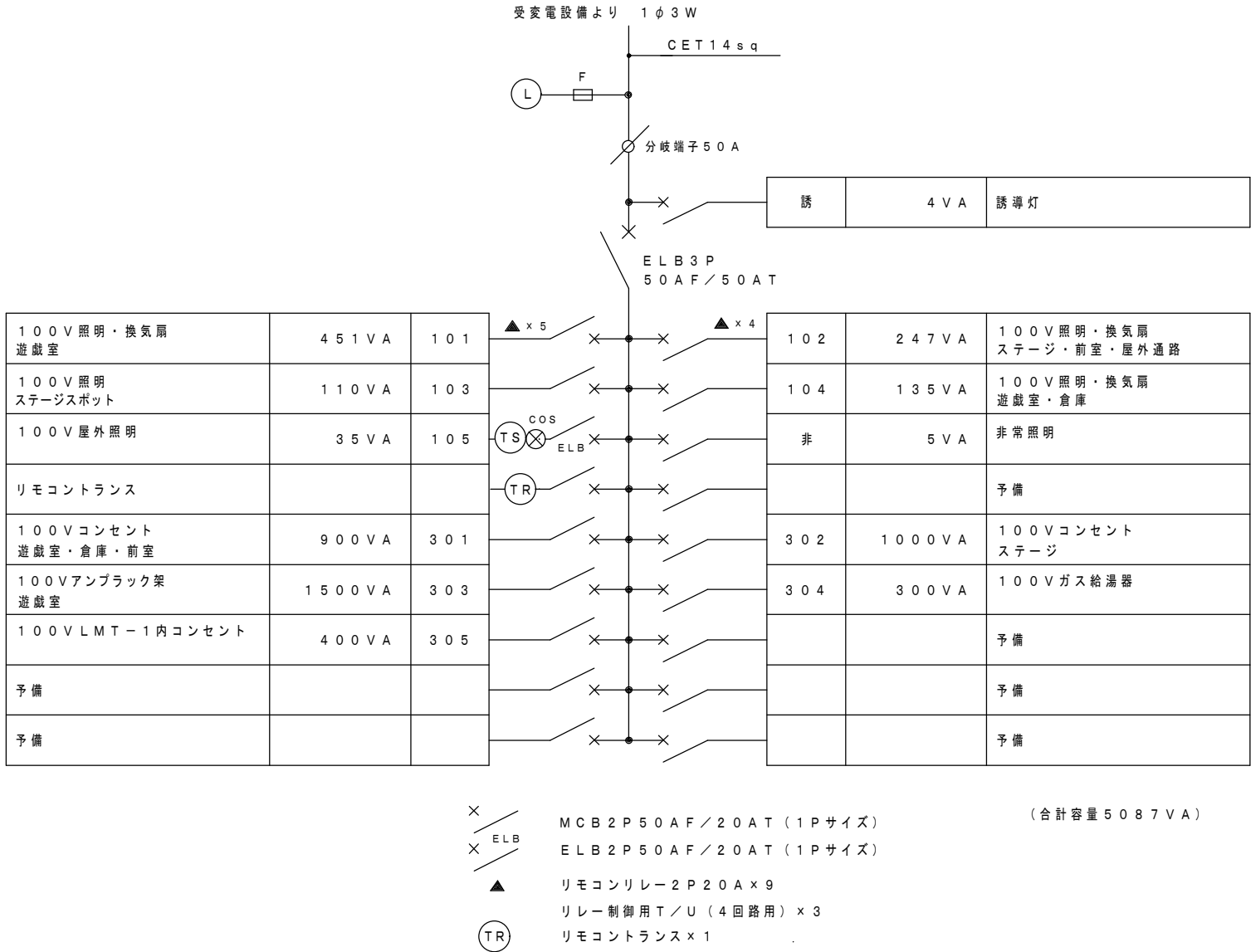
電灯動力盤 LM1-1 (銅板製 自立型 指定色塗装 上下部ダクト共)



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称				R7.03		
		盤結線図－1			縮尺	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	E-05
					S=N/S		

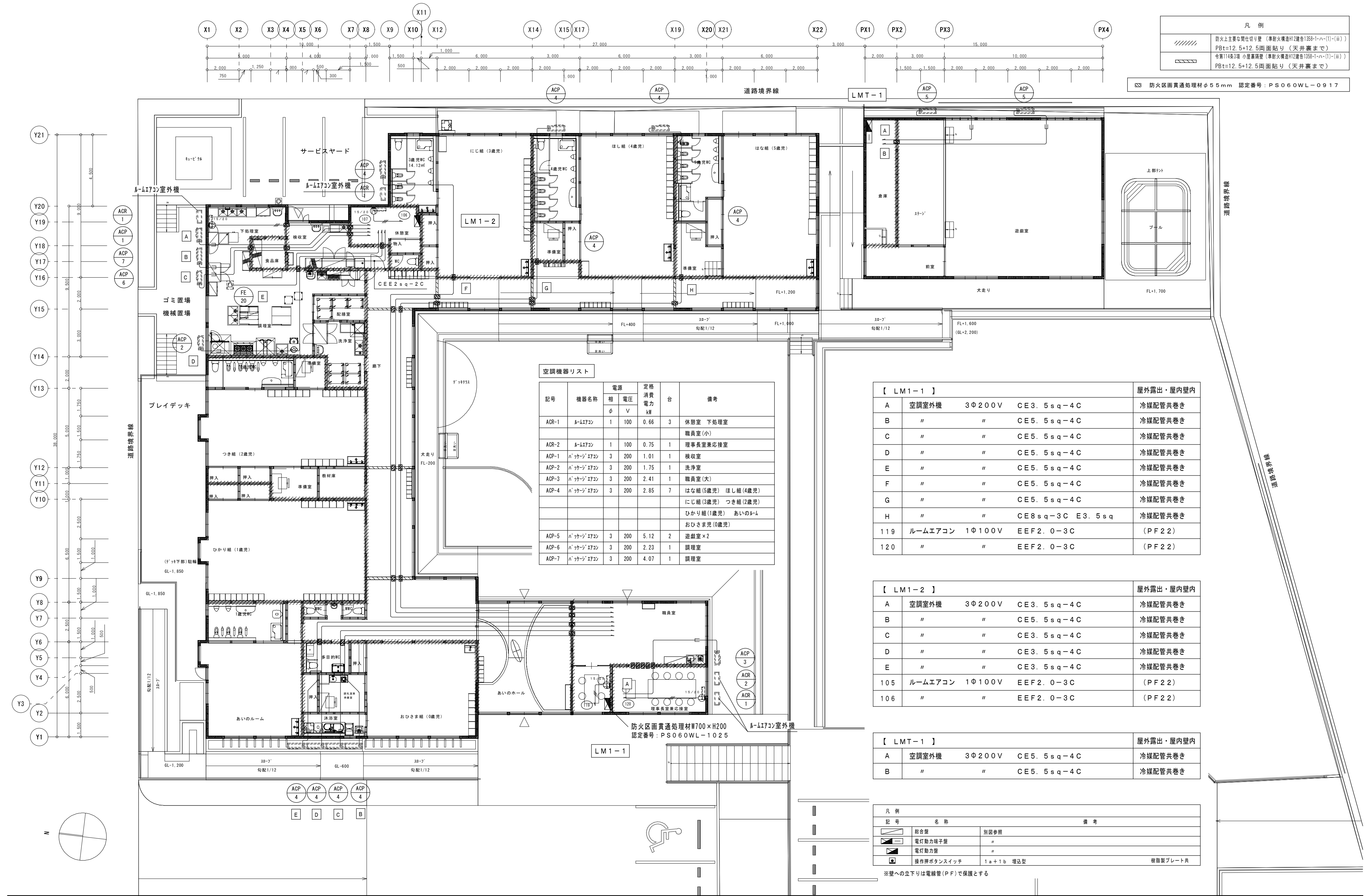


電灯動力盤 LM1-2 (銅板製 自立型 指定色塗装 上下部ダクト共)

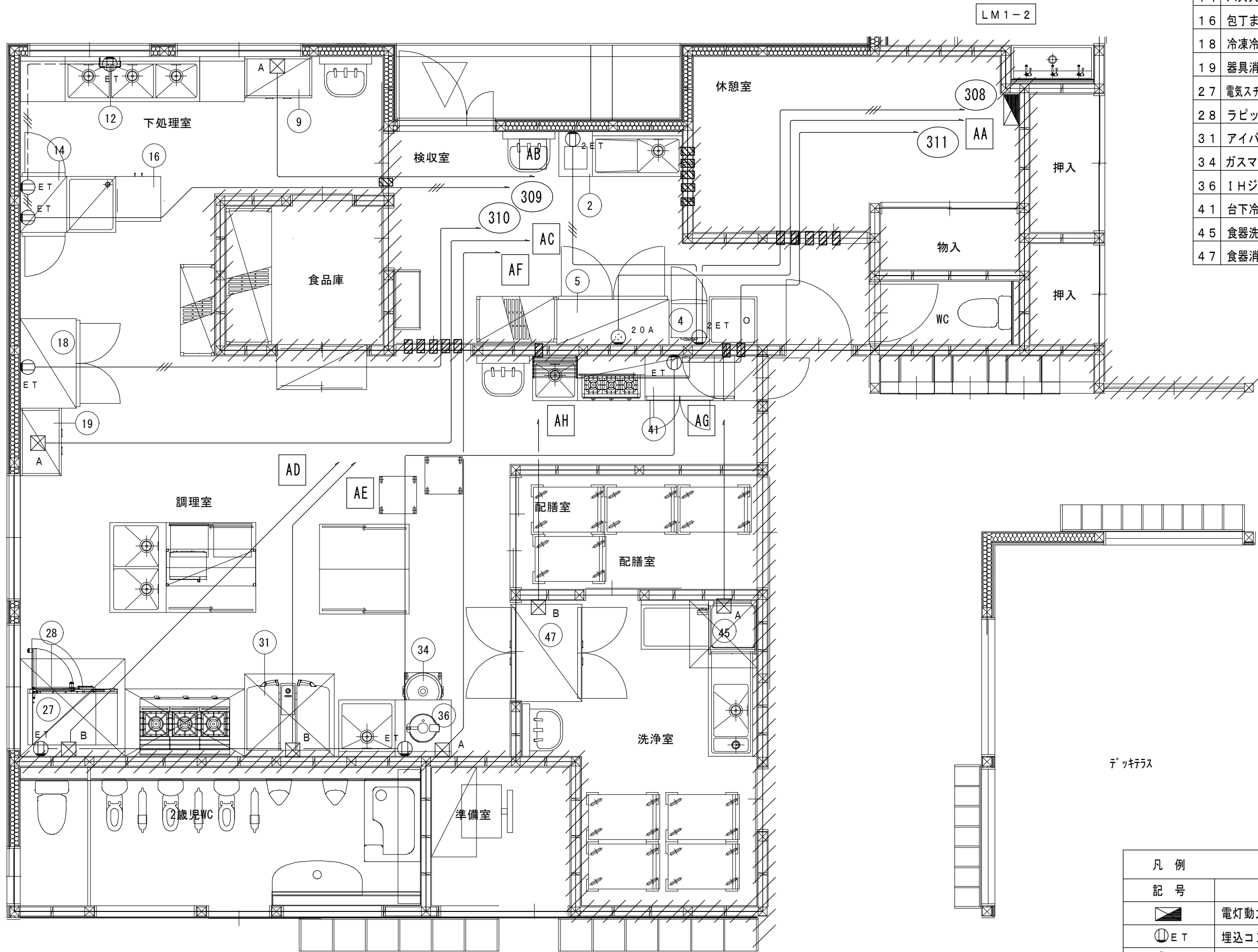


電灯動力端子盤 LMT-1 (鋼板製 自立型 指定色塗装 上下部ダクト共)

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称				縮尺		
		盤結線図－3			S=N/S	開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事			Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-08
	図面名称	空調・換気電源設備図					縮尺 S=1/150		



品番	名称	規格仕様	外形寸法 (mm)			数量	電 気 (kw)		
			間口	奥行	高さ		単相100V	単相200V	三相200V
2	デジタル台はかり	ITM-30	300	549	511	1	0.015		
4	検食用冷凍庫	VF-K120W	460	585	1110	1	0.13		
5	冷凍冷蔵庫		1500	650	1910	1			0.645
9	器具消毒保管庫		900	550	1900	1			4.6
12	電解水生成装置	WOX-50WB-R	285	145	335	1	0.17		
14	パススルー冷蔵庫		625	850	1910	1	0.331		
16	包丁まな板殺菌庫	TNS-60SF	600	500	1150	1	0.28		
18	冷凍冷蔵庫		1200	800	1910	1	0.639		
19	器具消毒保管庫		900	550	1900	1			4.6
27	電気スチームコンベクションオープン	1CP61E	850	842	808	1			10.1
28	ラビッドチラー		780	750	850	1	0.305		
31	アイバリオプロ	IVAR10PRO2-S	1100	938	1080	1			19.2
34	ガスマイコン炊飯器	RR-S50G2-H	566	506	460	1	0.018		
36	I Hジャー炊飯器	SR-PGC36	502	429	410	1			4.57
41	台下冷蔵庫		1200	600	850	1	0.215		
45	食器洗浄機	JWE-580UC	640	655	1432	1			5.4
47	食器消毒保管庫		1340	950	1900	1			10.5

【 LM1-2 】			
AA	冷凍冷蔵庫	3Φ200V	CE3. 5sq-4C
AB	器具消毒保管庫	"	CET14sq E5. 5sq
AC	器具消毒保管庫	"	CET14sq E5. 5sq
AD	電気スチーム コンベクションオープン	"	CET38sq E8sq
AE	アイバリオプロ	"	CET60sq E14sq
AF	I Hジャー炊飯器	"	CET14sq E5. 5sq
AG	食器洗浄機	"	CET14sq E5. 5sq
AH	食器消毒保管庫	"	CET38sq E8sq
308	デジタル台はかり 検食用冷凍庫	1Φ100V	EEF2. 0-3C
309	電解水生成装置 パススルー冷蔵庫 包丁まな板殺菌庫	"	EEF2. 0-3C
310	冷凍冷蔵庫	"	EEF2. 0-3C
311	ラビッドチラー ガスマイコン炊飯器 台下冷蔵庫	"	EEF2. 0-3C

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力壁	別図参照
	埋込コンセント	2P15A×1 ET 新金属プレート共
	"	2P15A×2 ET "
	"	接地3P20A×1 抜止 (200V) "
	プルボックス	P. B150□×150 VE-WP
	プルボックス	P. B300□×300 VE-WP

防火区画貫通処理材φ55mm 認定番号：PS060WL-0917

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

Draw

Check

作成年月日
R7.03

株式会社 若竹まちづくり研究所

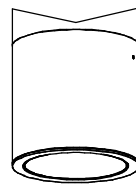
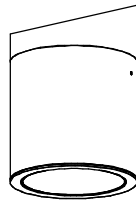
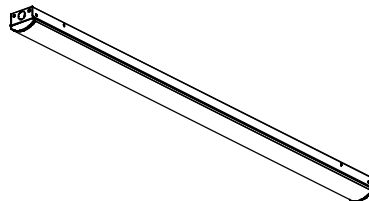
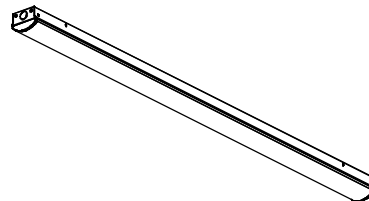
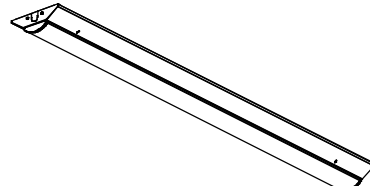
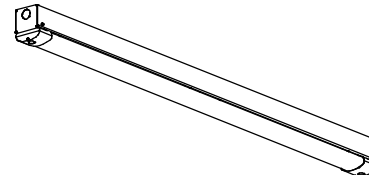
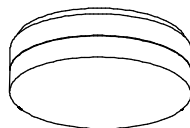

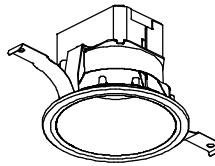
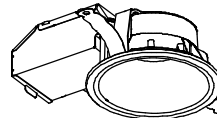
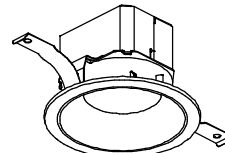
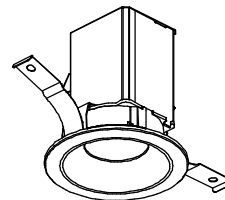
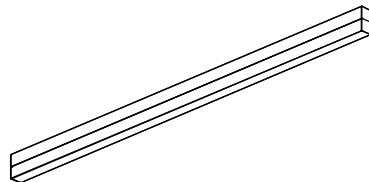
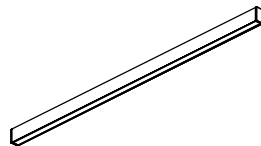


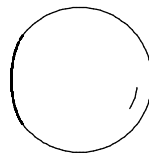
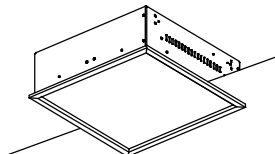

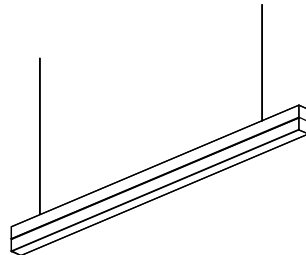
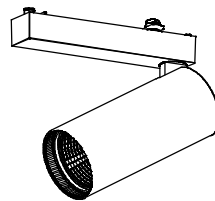
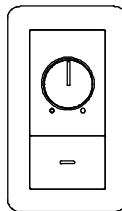
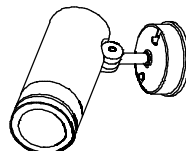
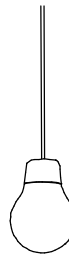
図面番号

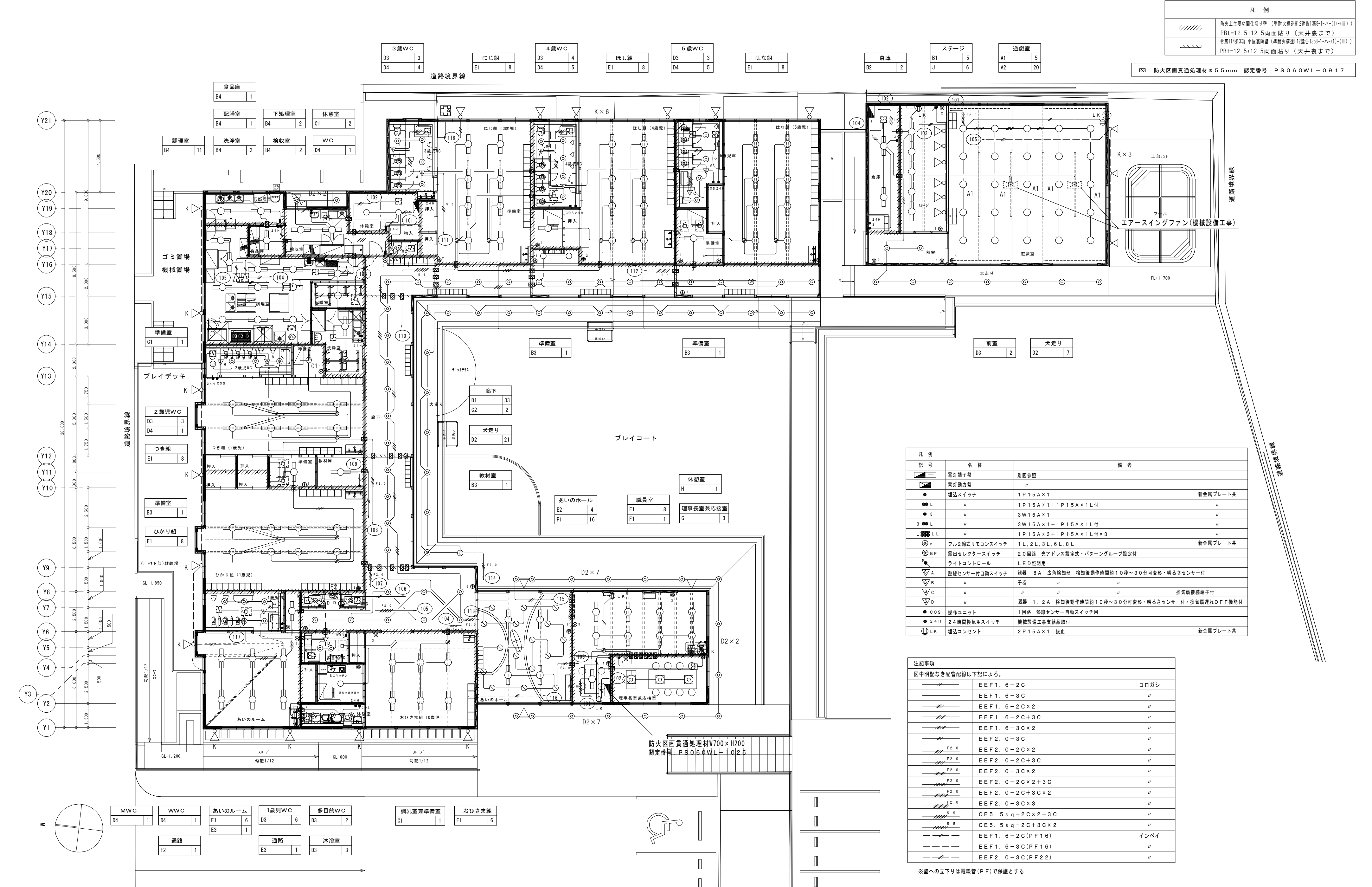
図面名称 厨房電源設備図

開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

E-09

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力

A1	LED16. 8W 2080lm 5000K	A2	LED16. 8W 2080lm 5000K	B1	LED32. 5W 5200lm 5000K	B2	LED16. 7W 2500lm 5000K	B3	LED16. 7W 2500lm 5000K	B4	LED15. 8W 2500lm 5000K
5 台 <div>拡散タイプ φ116</div> <div></div> <div>本体 アルミダイキャスト(ホワイトつや消し仕上げ) 反射板 プラスチック(ホワイト)</div>		20台 <div>拡散タイプ φ116</div> <div></div> <div>本体 アルミダイキャスト(ホワイトつや消し仕上げ) 反射板 プラスチック(ホワイト)</div>		5台 <div>直付型トラフタイプ</div> <div></div> <div>本体 鋼板 白色仕上げ ライトユニット LED内臓・電源ユニット内臓</div>		2台 <div>直付型トラフタイプ</div> <div></div> <div>本体 鋼板 白色仕上げ ライトユニット LED内臓・電源ユニット内臓</div>		4台 <div>直付型逆富士タイプ 150幅</div> <div></div> <div>本体 鋼板 白色仕上げ ライトユニット LED内臓・電源ユニット内臓</div>		19台 <div>直付型防湿トラフ</div> <div></div> <div>本体 ステンレス白色仕上げ 高温用ライトユニット搭載</div>	
C1	LED27. 1W 3485lm 5000K	C2	LED4. 6W 470lm 3500K	D1	LED6. 8W 775lm 5000K	D2	LED8W 680lm 5000K	D3	LED6. 8W 820lm 5000K	D4	LED4. 1W 450lm 5000K
4台 <div>φ320 リモコン付</div> <div></div> <div>本体 プラスチック・ファインホワイト カバー・アクリル・乳白色消し</div>		2台 <div></div>		高気密SBタイプ 33台 <div>埋込穴径 φ100 埋込高76mm 取付必要高80mm</div> <div></div> <div>本体：アルミダイキャスト・ハウターホワイト塗装</div>		高気密SBタイプ 44台 <div>埋込穴径 φ100 埋込高76mm 取付必要高80mm</div> <div></div> <div>枠：アルミダイキャスト・ハウターホワイト塗装 反射板：アルミダイキャスト・シャンパンシルバー塗装</div>		高気密SBタイプ 26台 <div>埋込穴径 φ100 埋込高65mm 取付必要高68mm</div> <div></div> <div>本体：アルミダイキャスト・ファインホワイト塗装</div>		高気密SBタイプ 18台 <div>埋込穴径 φ75 埋込高87mm 取付必要高89mm</div> <div></div> <div>本体：アルミダイキャスト・ファインホワイト塗装</div>	
E1	LED26. 2W 4260lm 5000K	E2	LED21. 5W 1735lm 5000K	E3	LED21. 5W 2560lm 5000K	F1	LED9. 9W 835lm 5000K	F2	LED6. 1W 335lm 2700K	G	LED40. 4W 5680lm 5000K
調光タイプ 60台 <div>高80mm 幅40mm 長1200mm</div> <div></div> <div>本体 アルミ・白色塗装 セード ホリカーホネット乳白色</div>		調光タイプ 4台 <div>高55mm 幅32mm 長1209mm</div> <div></div> <div>本体 アルミ・ホワイトN93塗装 セード ホリカーホネット乳白色</div>		調光タイプ 2台 <div>高50mm 幅25mm 長1200mm</div> <div></div> <div>本体 アルミ・白色塗装 セード ホリカーホネット乳白色</div>		キッチンライト スイッチ付 1台 <div>高30mm 幅626x75mm</div> <div></div> <div>本体 アルミ・マットファインホワイト塗装 パネル アクリル・乳白色</div>		1台 <div>出幅80mm 器具幅 φ100mm</div> <div></div> <div>セード シリコン乳白色</div>		調光タイプ 信号制御調光器 別売 3台 <div>埋込穴口450</div> <div></div> <div>本体・枠 鋼板白色塗装仕上げ カバー アクリル乳白</div>	
H	LED31. 9W 5325lm 5000K	J	LED18. 4W 1220lm 4000K Ra92		LED適合調光器 逆位相制御方式	K	LED11. 5W 920lm 2700K	P1	LED4. 6W 460lm 2700K		
ワイヤー吊 1台 <div>高80mm 幅40mm 長1500mm</div> <div></div> <div>本体 アルミ・白色塗装 セード ホリカーホネット乳白色</div>		広角配光40° フックタイプ 6台 <div>器具高197mm 調光タイプ</div> <div></div> <div>本体 アルミ・ホワイトN93塗装</div>		1個用スイッチボックス取付専用 3路スイッチ付 1個 <div></div> <div>本体：プラスチック・白色</div>		防雨型スポットライト 19台 <div>高126mm 幅79mm</div> <div></div> <div>本体：アルミダイキャスト・ブラック塗装 パネル 強化ガラス透明</div>		直付ペンダント 16台 <div></div> <div>コード収納型フランチング(ブラック) コードクリップ付</div>			



凡 例	
////	防火上主要な間仕切り壁（準耐火構造H12建告1358-1-ハ-(1)-(H)） PBt=12.5+12.5両面貼り（天井裏まで）
////	令第114条3項 小屋裏隔壁（準耐火構造H12建告1358-1-ハ-(1)-(H)） PBt=12.5+12.5両面貼り（天井裏まで）

防火区画貫通処理材φ55mm 認定番号：P S O 6 0 W L - 0 9 1 7

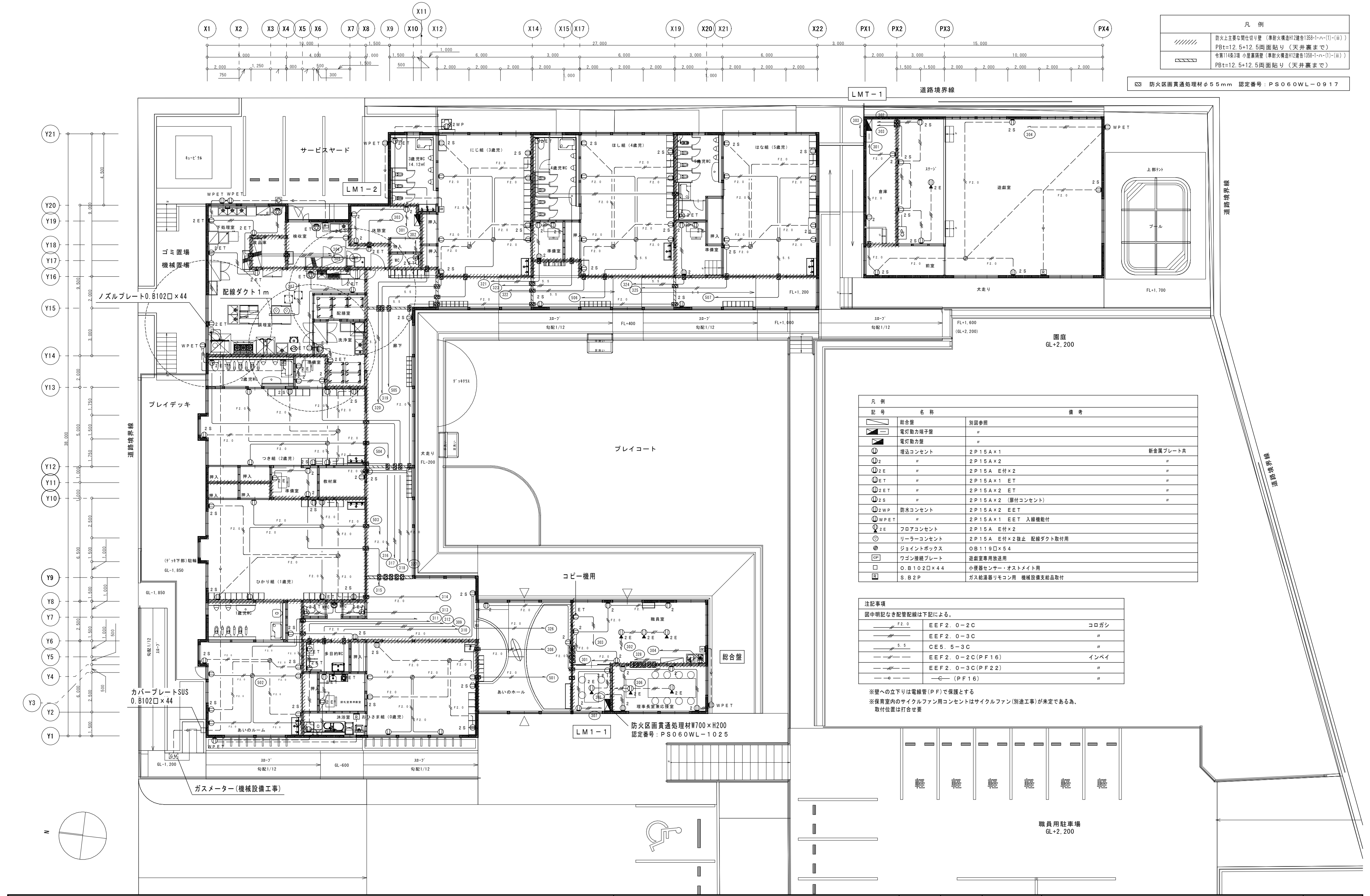
記 号	名 称	備 考
■	電灯端子盤	別図参照
■	電灯動力盤	〃
●	埋込スイッチ	1 P 1 5 A × 1 新金属プレート共
● L	〃	1 P 1 5 A × 1 + 1 P 1 5 A × 1 L 付
● 3	〃	3 W 1 5 A × 1 〃
3 ● L	〃	3 W 1 5 A × 1 + 1 P 1 5 A × 1 L 付
L ● L L	〃	1 P 1 5 A × 3 + 1 P 1 5 A × 1 L 付 × 3 〃
⊗	フル2線式リモコンスイッチ	1 L, 2 L, 3 L, 6 L, 8 L 新金属プレート共
⊗ GP	露出セレクタースイッチ	2 0 回路 光アドレス設定式・パターングループ設定付
⊗	ライトコントロール	L E D 照用
▽ A	熱線センサー付自動スイッチ	観器 8 A 広角検知形 検知後動作時間約 1 0 秒～3 0 分可変形・明るさセンサー付
▽ B	〃	子器 〃 〃
▽ C	〃	〃 〃 〃 換気扇接続端子付
▽ D	〃	観器 1, 2 A 検知後動作時間約 1 0 秒～3 0 分可変形・明るさセンサー付・換気扇遅れ O F F 機能付
● COS	操作ユニット	1 回路 熱線センサー自動スイッチ用
● 2 4 H	2 4 時間換気用スイッチ	機械設備工事支給品取付
Ⓛ L K	埋込コンセント	2 P 1 5 A × 1 抜止 新金属プレート共

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
—	EEF 1. 6-2C	コロガシ
—	EEF 1. 6-3C	〃
—	EEF 1. 6-2C×2	〃
—	EEF 1. 6-2C+3C	〃
—	EEF 1. 6-3C×2	〃
—	EEF 2. 0-3C	〃
—	EEF 2. 0-2C×2	〃
—	EEF 2. 0-2C+3C	〃
—	EEF 2. 0-3C×2	〃
—	EEF 2. 0-2C×2+3C	〃
—	EEF 2. 0-2C+3C×2	〃
—	EEF 2. 0-3C×3	〃
—	CE5. 5sq-2C×2+3C	〃
—	CE5. 5sq-2C+3C×2	〃
—	EEF 1. 6-2C(PF16)	インベイ
—	EEF 1. 6-3C(PF16)	〃
—	EEF 2. 0-3C(PF22)	〃

※壁への立下りは電線管(PF)で保護とする

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	図面名称	電灯設備図			R7.03 縮 尺 S=1/150	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70.7%出力



凡 例	
	防火上主要な開口部 (準耐火構造H2建1358-1-ハ-1)-(H)) PBt=12.5+12.5両面貼り (天井裏まで)
	令第114条3項 小屋裏隔壁 (準耐火構造H2建1358-1-ハ-1)-(H)) PBt=12.5+12.5両面貼り (天井裏まで)

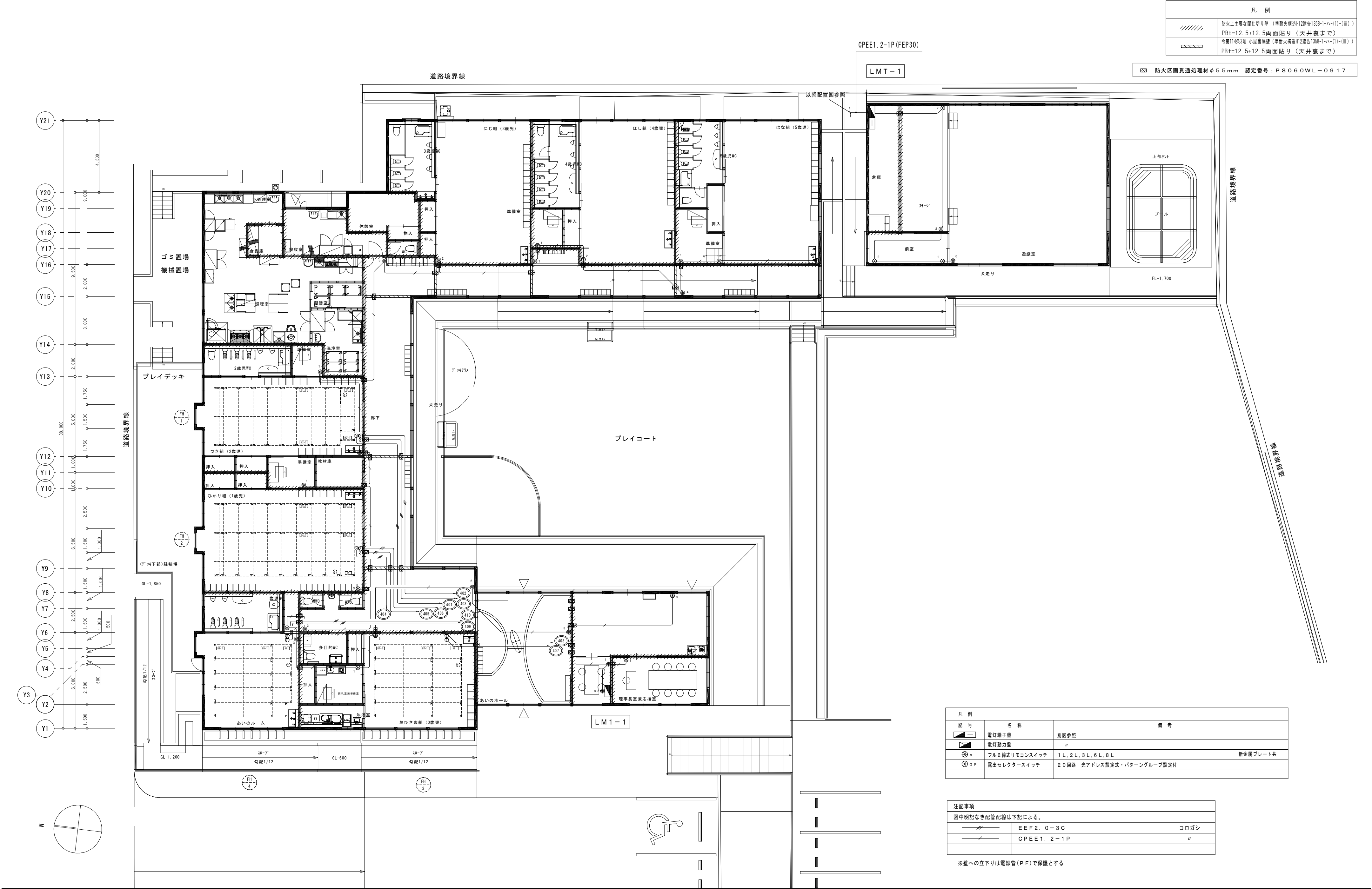
防火区画貫通処理材φ55mm 認定番号：PS060WL-0917

記 号	名 称	備 考
	総合壁	別図参照
	電灯動力端子盤	"
	電灯動力盤	"
①	埋込コンセント	2P15A×1 新金属プレート共
②	"	2P15A×2 "
②E	"	2P15A E付×2 "
②ET	"	2P15A×1 ET "
②ET	"	2P15A×2 ET "
②S	"	2P15A×2 (扉付コンセント) "
②WP	防水コンセント	2P15A×2 EET
②WPET	"	2P15A×1 EET 入線機能付
②E	フロアコンセント	2P15A E付×2
②	リレーコンセント	2P15A E付×2 抜止 配線ダクト取付用
②	ジョイントボックス	OB119□×54
②	ワゴン接続プレート	遊戯室専用放送用
②	O.B102□×44	小便器センサー・オストメイト用
②	S.B2P	ガス給湯器リモコン用 機械設備支給品取付

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF2.0-2C	コロガシ
	EEF2.0-3C	"
	CE5.5-3C	"
	EEF2.0-2C(PF16)	インベイ
	EEF2.0-3C(PF22)	"
	C(PF16)	"

※壁への立下りは電線管(PF)で保護とする
※保育室内のサイクルファン用コンセントはサイクルファン(別途工事)が未定である為、
取付位置は打合せ要

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-12
	図面名称	コンセント設備図				縮 尺 S=1/150		




凡 例	
	防火上主要な間仕切り壁（準耐火構造H12建告1358-1-ハ-(1)-(Ⅱ)） PBt=12.5+12.5両面貼り（天井裏まで）
	令第114条3項 小屋裏隔壁（準耐火構造H12建告1358-1-ハ-(1)-(Ⅱ)） PBt=12.5+12.5両面貼り（天井裏まで）

防火区画貫通処理材φ55mm 認定番号：PS060WL-0917

凡 例	記 号	名 称	備 考
		電灯端子盤	別図参照
		電灯動力盤	"
	n	フル2線式リモコンスイッチ	1 L, 2 L, 3 L, 6 L, 8 L 新金属プレート共
	G P	露出セクタースイッチ	20回路 光アドレス設定式・パターングループ設定付

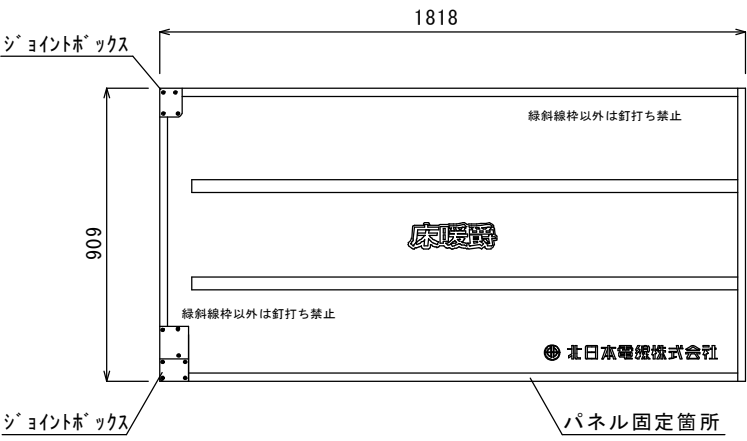
注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF2.0-3C	コロガシ
	CPEE1.2-1P	"

※壁への立下りは電線管(PF)で保護とする

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	 株式会社 若竹まちづくり研究所	図面番号
	R7.03						
	図面名称	床暖房・リモコンスイッチ電源設備図	縮尺	縮尺	S=1/150		

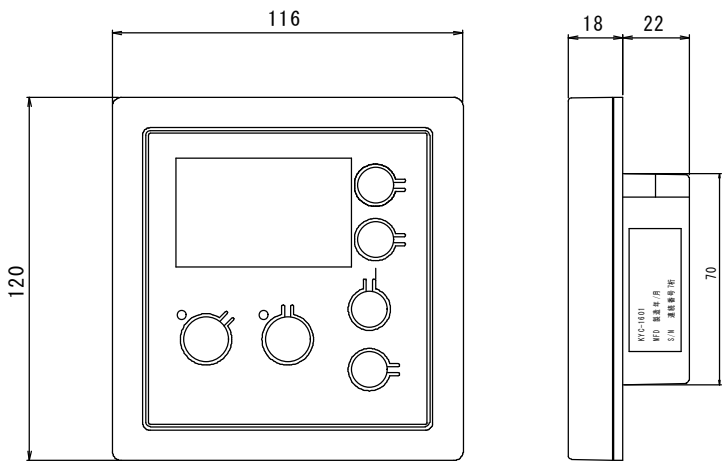
工事区分			
工事内容	区 分		
	床暖房工事	建築工事	電気設備工事
躯体工事		○	
下地合板敷設		○	
二次側電線管工事			○
床暖房パネル敷設・接続	○		
構造用合板捨貼り工事		○	
床仕上材施工		○	
一次側電気工事及び接続ボックス、開口含む			○
コントローラ、リレーボックスの取付・接続	○		
完成検査	○		
電力会社への申請			○

電気式床暖房パネル S=NON



仕 様	
型 名	TDP2360（北日本電線製）
定格電圧	AC200V（単相）50/60Hz（対地電圧150V以下）
消費電力	330W
温度調整	コントローラにより制御
安全装置	サーモスタット（68℃ OFF）温度ヒューズ（100℃）
外形寸法	1818×909×12mm
質 量	9.1kg

コントローラ姿図（KYC-1601）S=NON



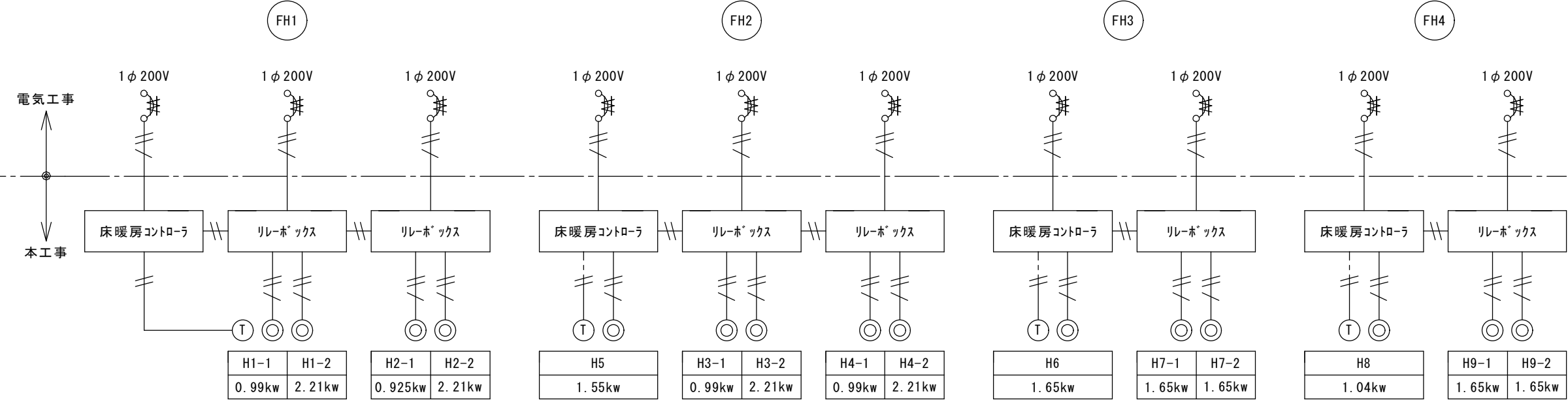
仕 様	
型 名	KYC-1601（北日本電線製）
定格電圧	AC200V（単相）50/60Hz
出力定格	15A×2
停電補償	20分
使用周囲温度	－１０℃～５０℃（但し、結露しないこと）
使用周囲湿度	９０％RH以下（但し、結露しないこと）
外部発停	外部発停入力 ＤＣ２４Ｖの入力により動作
ケース材質	難燃性ＡＢＳ樹脂

床暖房パネル仕様

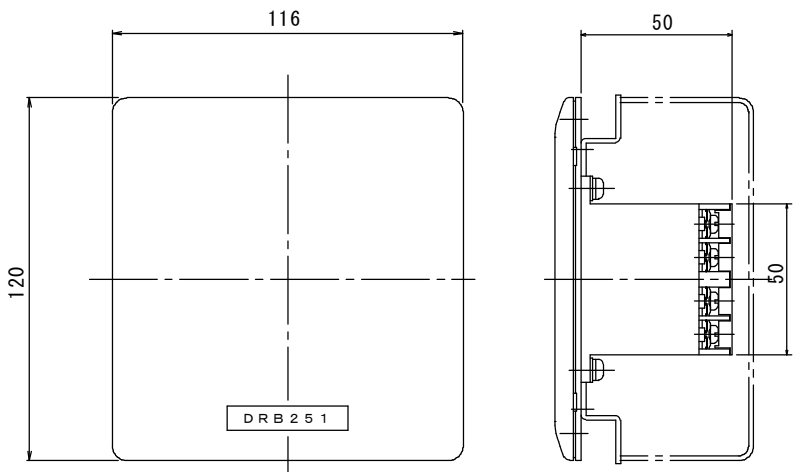
電源種別		単相200V（一般電力）				合 計
記 号		$\frac{FH}{1}$	$\frac{FH}{2}$	$\frac{FH}{3}$	$\frac{FH}{4}$	
部 屋 名		月組 (2歳児)	ひかり組 (1歳児)	おひさま組 (0歳児)	あいのルーム	
機器名称	仕様	6.335	7.95	4.95	4.34	23.575
電気式床暖房パネル (センサー付き)	床置き式 寸法 1818×909×12 330 W／枚 参考品番：TDP2360S（北日本電線）	1		1		2
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 1818×909×12 330 W／枚 参考品番：TDP2360（北日本電線）	16	18	14	10	58
電気式床暖房パネル (センサー付き)	床置き式 寸法 1212×909×12 220 W／枚 参考品番：TDP2340S（北日本電線）				1	1
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 1212×909×12 220W／枚 参考品番：TDP2340（北日本電線）				3	3
電気式床暖房パネル (センサー付き)	床置き式 寸法 909×909×12 160 W／枚 参考品番：TDP2330S（北日本電線）		1			1
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 909×909×12 160 W／枚 参考品番：TDP2330（北日本電線）	1	8		1	10
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 1818×303×12 115 W／枚 参考品番：TDP2160（北日本電線）	4	4			8
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 909×303×12 55 W／枚 参考品番：TDP2130（北日本電線）		2			2
電気式床暖房パネル	床置き式 寸法 606×909×12 105 W／枚 参考品番：TDP2320（北日本電線）	1				1
床暖房コントローラ (1制御)	壁取付形 15A以下×2回路 参考品番：KYC-1601（北日本電線）	1	1	1	1	4
リレーボックス (1回路)	壁取付形 25A以下×1回路 参考品番：DRB251（大日製作所）	2	2	1	1	6

※ 対地電圧は150V以下とすること。

回路結線図

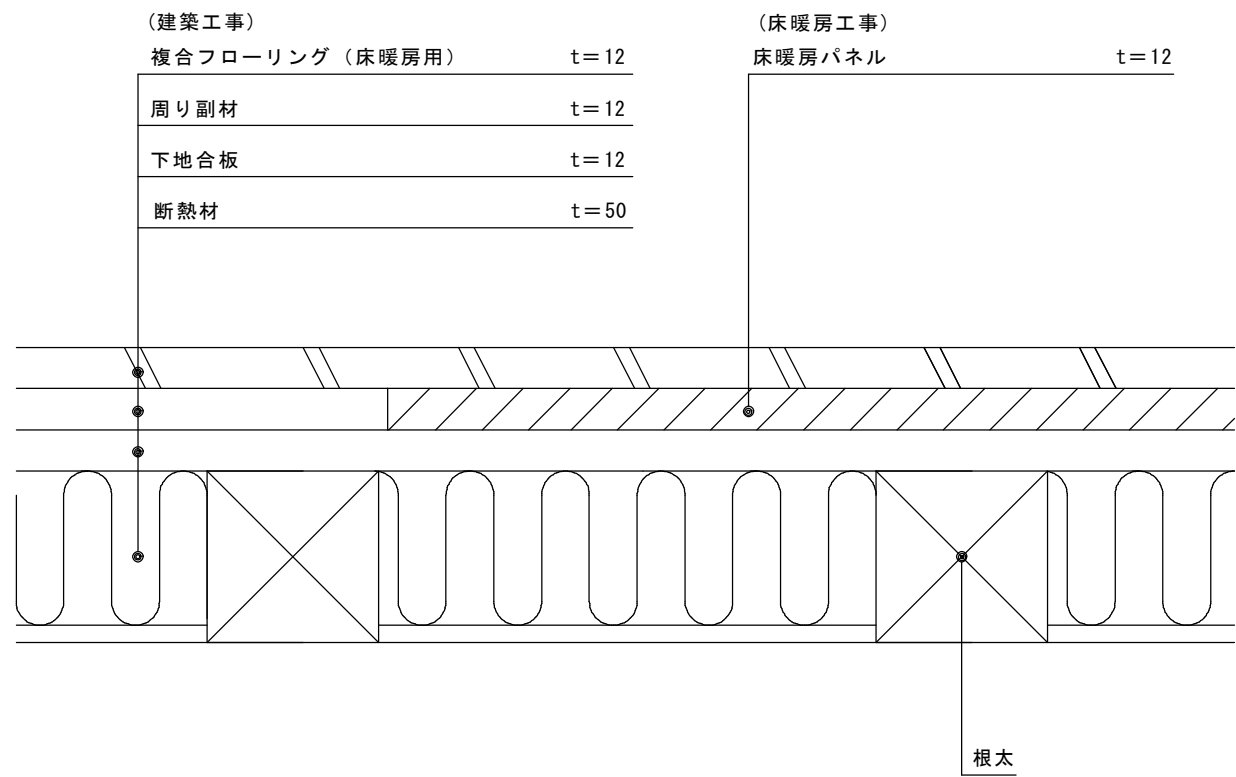


リレーボックス姿図（DRB-251）S=NON

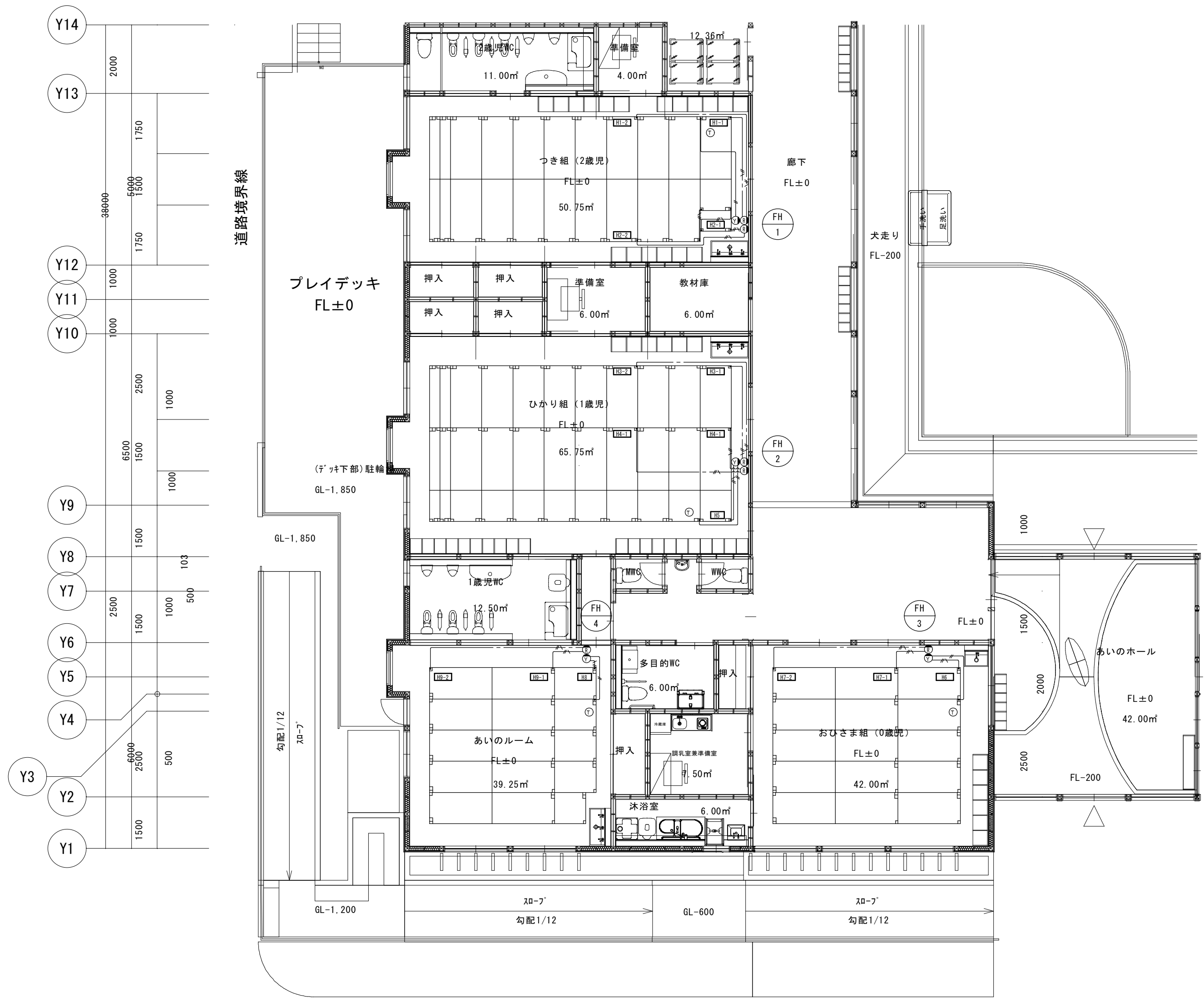


仕 様	
型 名	DRB251（大日製作所）
定格電圧	AC200V（単相）50/60Hz
出力定格	25A×1

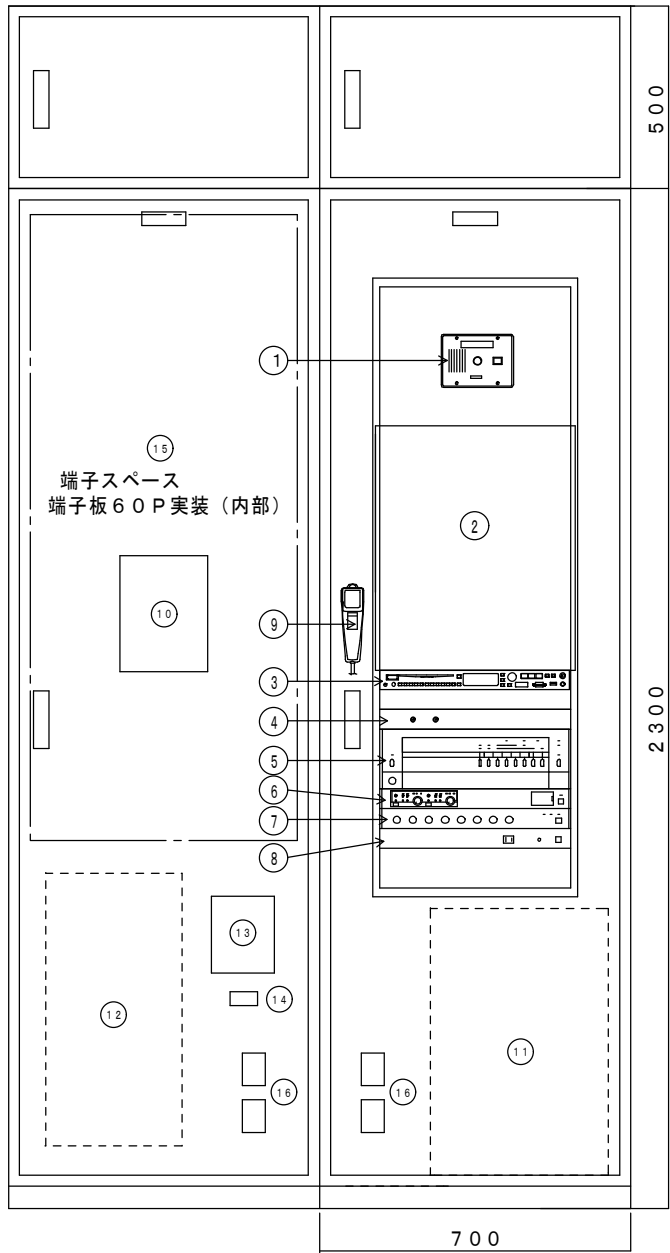
標準床構造図（複合フローリング）



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-14
	図面名称	床暖房設備機器表				縮 尺 S=N/S		



凡例表			
記 号	品 名	規格仕様	備 考
	床暖房パネル	1φ2W200V	
	床暖房コントローラ	1φ2W200V	
	リレーボックス	1φ2W200V	
	温度センサ		パネル内臓
	回路No		
	電源線	EEF1.6-3C	PF22
	温度センサ線	VCTF0.75-2C	PF16
	配線立上位置		



※各寸法・姿図は参考とする。 ※D=450mm

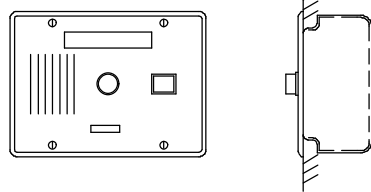
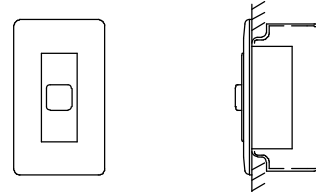
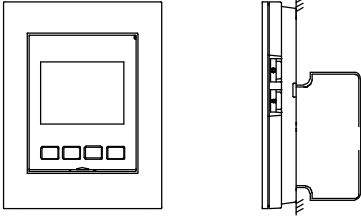
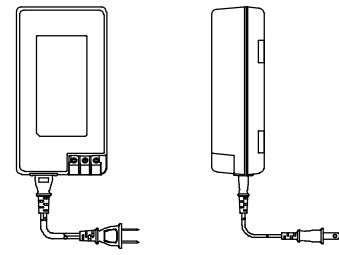
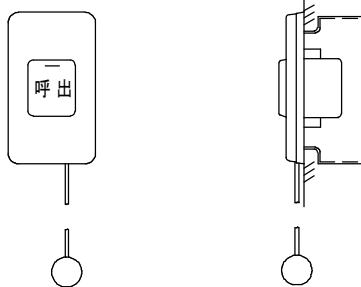
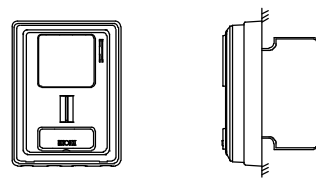
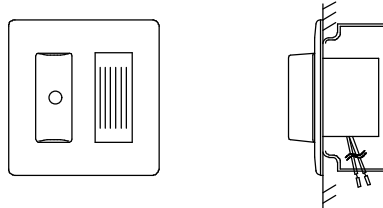
総合盤（銅板製 自立型 指定色塗装）

番号	名 称
1	トイレ呼出表示器
2	P型1線自動火災報知受信機（火報10L）
3	CDノメモリープレーヤー
4	外部入力パネル
5	PAアンプ 120W
6	ワイヤレスチューナー（2波）
7	ミキサーアンプ
8	電源制御器
9	呼出マイク
10	インターホン親機
11	電話主装置（別途工事）
12	機械警備設備本体（別途工事）
13	CATVブースター30dB
14	2分配器
15	端子盤 60P
16	露出コンセント2P15A E付×2

※総合盤に組込

※各寸法・姿図は参考とする。

トイレ呼出表示・インターホン機器姿図

NC	トイレ呼出表示器	1台	☉	復旧ボタン	1個	①	カラーモニター付親機	2台																																		
<div></div> <div>※総合盤内扉に取付</div> <table><tr><td>電源電圧</td><td>DC12V（電源アダプタから供給）</td></tr><tr><td>形状</td><td>埋込形（JIS3個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>ステンレス</td></tr><tr><td>窓数</td><td>1窓</td></tr><tr><td>表示方式</td><td>断続ブザー音と表示窓点灯</td></tr></table>			電源電圧	DC12V（電源アダプタから供給）	形状	埋込形（JIS3個用スイッチボックス）	材質	ステンレス	窓数	1窓	表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯	<div></div> <table><tr><td>形状</td><td>埋込形（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			形状	埋込形（JIS1個用スイッチボックス）	材質	樹脂					<div></div> <table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr><tr><td>ディスプレイ</td><td>3.5型TFTカラー液晶</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>拡声自動交互通話/プレストーク通話</td></tr><tr><td>録画機能</td><td>自動・手動録画、再生、保護、消去</td></tr><tr><td>形状</td><td>壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>本体：自己消火性樹脂 パネル部：難燃性樹脂</td></tr></table>			電源電圧	AC100V 50/60Hz	ディスプレイ	3.5型TFTカラー液晶	通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話	録画機能	自動・手動録画、再生、保護、消去	形状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）	材質	本体：自己消火性樹脂 パネル部：難燃性樹脂				
電源電圧	DC12V（電源アダプタから供給）																																									
形状	埋込形（JIS3個用スイッチボックス）																																									
材質	ステンレス																																									
窓数	1窓																																									
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯																																									
形状	埋込形（JIS1個用スイッチボックス）																																									
材質	樹脂																																									
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																									
ディスプレイ	3.5型TFTカラー液晶																																									
通話方式	拡声自動交互通話/プレストーク通話																																									
録画機能	自動・手動録画、再生、保護、消去																																									
形状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）																																									
材質	本体：自己消火性樹脂 パネル部：難燃性樹脂																																									
	電源アダプター	1台	N	トイレ呼出押ボタン	2個	①	カメラ付玄関子機	2台																																		
<div></div> <div>※総合盤内扉に取付</div> <table><tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr><tr><td>入力容量</td><td>62VA</td></tr><tr><td>出力電圧</td><td>DC12V</td></tr><tr><td>出力電流</td><td>2.5A</td></tr><tr><td>形状</td><td>据置・壁取付両用型</td></tr><tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr></table>			電源電圧	AC100V 50/60Hz	入力容量	62VA	出力電圧	DC12V	出力電流	2.5A	形状	据置・壁取付両用型	材質	難燃性樹脂	<div></div> <table><tr><td>形状</td><td>埋込形（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>備考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用、点字表示付</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			形状	埋込形（JIS1個用スイッチボックス）	材質	樹脂	備考	引きひも式、押ボタン式両用、点字表示付					<div></div> <table><tr><td>電源電圧</td><td>モニター付親機から供給</td></tr><tr><td>通話方式</td><td>自動交互通話</td></tr><tr><td>カメラ</td><td>1/5型カラーCMOS</td></tr><tr><td>形状</td><td>壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>難燃性樹脂</td></tr><tr><td>備考</td><td>防塵・防まつ形（JIS C 0920 IP54 相当）</td></tr></table>			電源電圧	モニター付親機から供給	通話方式	自動交互通話	カメラ	1/5型カラーCMOS	形状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）	材質	難燃性樹脂	備考	防塵・防まつ形（JIS C 0920 IP54 相当）
電源電圧	AC100V 50/60Hz																																									
入力容量	62VA																																									
出力電圧	DC12V																																									
出力電流	2.5A																																									
形状	据置・壁取付両用型																																									
材質	難燃性樹脂																																									
形状	埋込形（JIS1個用スイッチボックス）																																									
材質	樹脂																																									
備考	引きひも式、押ボタン式両用、点字表示付																																									
電源電圧	モニター付親機から供給																																									
通話方式	自動交互通話																																									
カメラ	1/5型カラーCMOS																																									
形状	壁取付型（JIS1個用スイッチボックス）																																									
材質	難燃性樹脂																																									
備考	防塵・防まつ形（JIS C 0920 IP54 相当）																																									
☉	ブザー付廊下灯	1個																																								
<div></div> <table><tr><td>形状</td><td>壁埋込型（JIS2個用スイッチボックス）</td></tr><tr><td>材質</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>備考</td><td>ブザー付</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			形状	壁埋込型（JIS2個用スイッチボックス）	材質	樹脂	備考	ブザー付																																		
形状	壁埋込型（JIS2個用スイッチボックス）																																									
材質	樹脂																																									
備考	ブザー付																																									

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

図面名称 総合盤姿図・弱電機器姿図－1

Draw

Check

作成年月日
R7.03

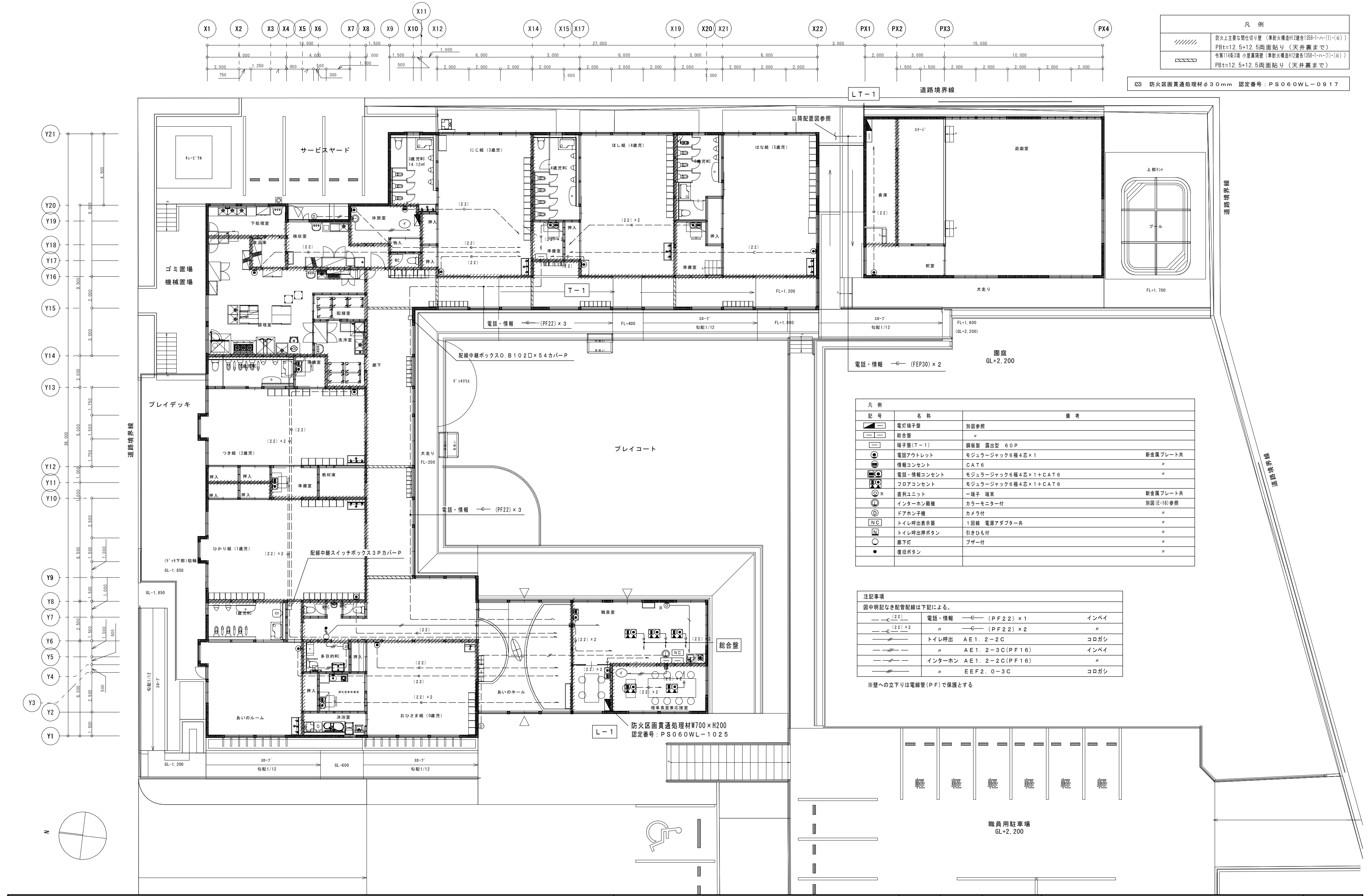
縮 尺
S=N/S

株式会社 若竹まちづくり研究所

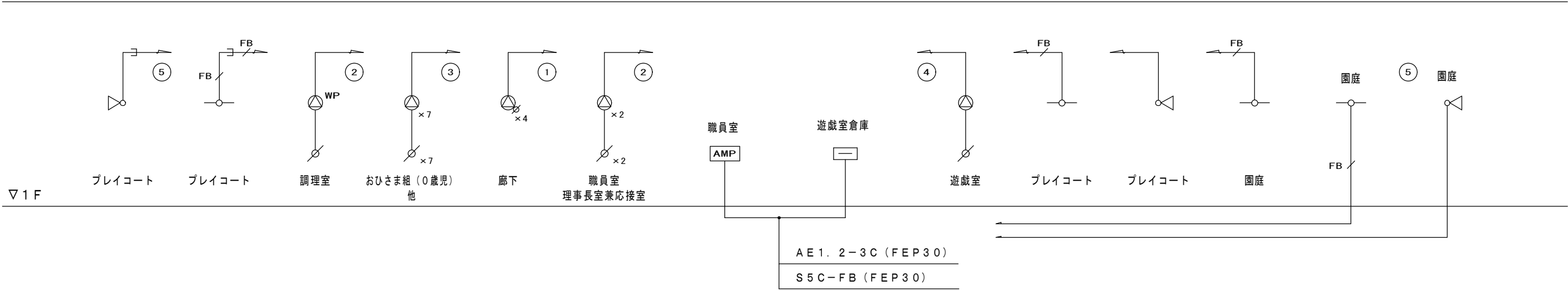
開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号

E-16



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-17
	図面名称	弱電設備図				縮尺 S=1/150		



放 送 設 備 系 統 図

放送系統表

NO.	業 務 系統番号	系 統 名 称	
		階	名称 (放送エリア)
1	①	1 F	廊下
2	②	1 F	職員室、他
3	③	1 F	おひさま組 (0歳児)、他
4	④	1 F	遊戯室
5	⑤	1 F	園庭、他

凡例

- AMP : 業務用ワゴンアンプ
⊙ : 天井埋込スピーカー
⊙/ : 天井埋込スピーカー (A T T付)
⊙WP : 天井埋込スピーカー (防滴型)
∟ : ホーンスピーカー
/ : アッテネーター
□ : 端子盤
○ : ワイヤレスアンテナ
⊙ : 業務放送系統番号

注記

- 特記なき配線・配管は下記とする。
10P AE1. 2-3C (コロガシ配線)
FB AE1. 2-10P (コロガシ配線)
S5C-FB S5C-FB (コロガシ配線)

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

図面名称 全館放送設備系統図

Draw

Check

作成年月日
R7. 03

縮 尺
S=N/S

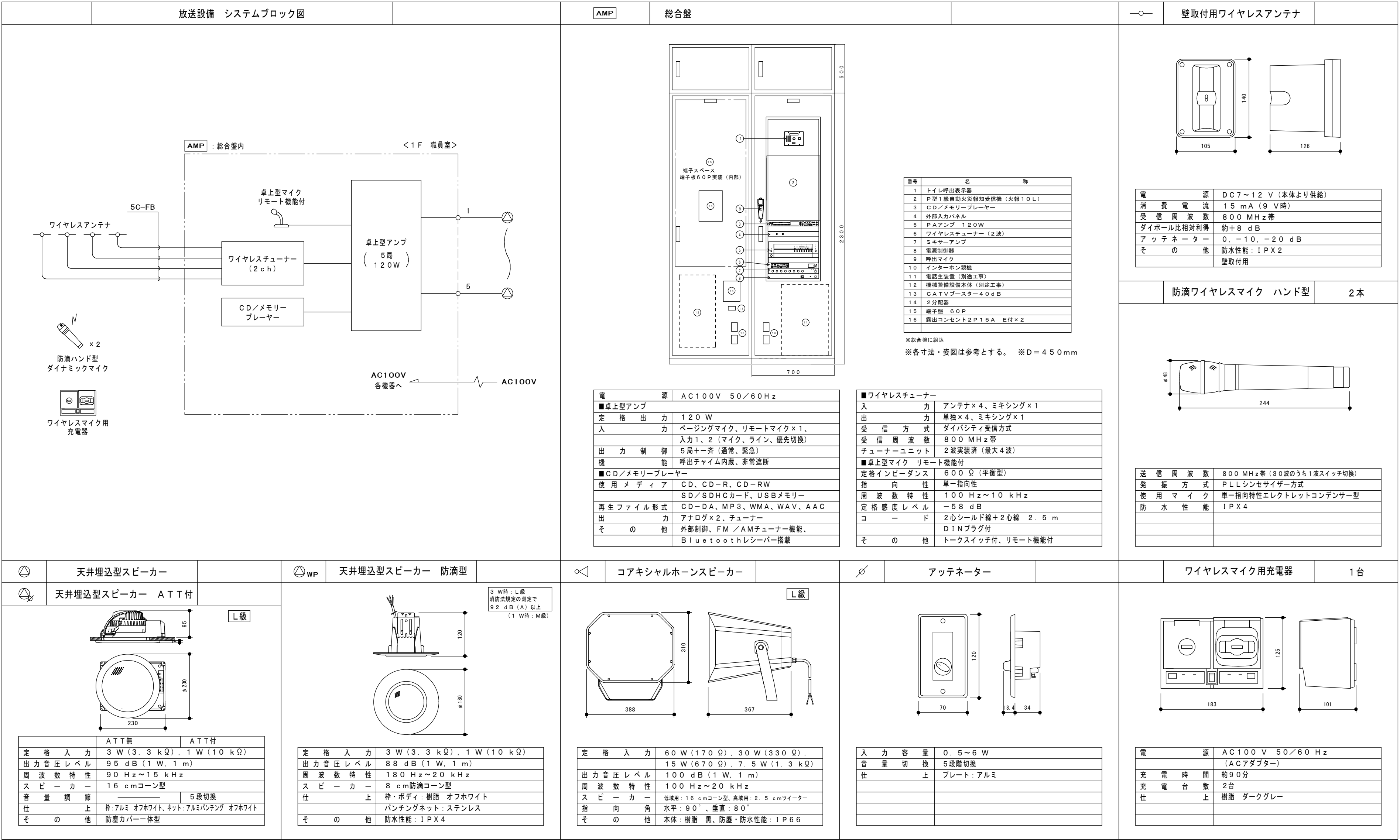


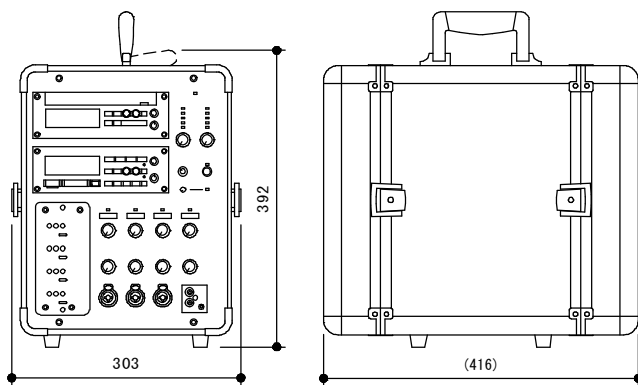
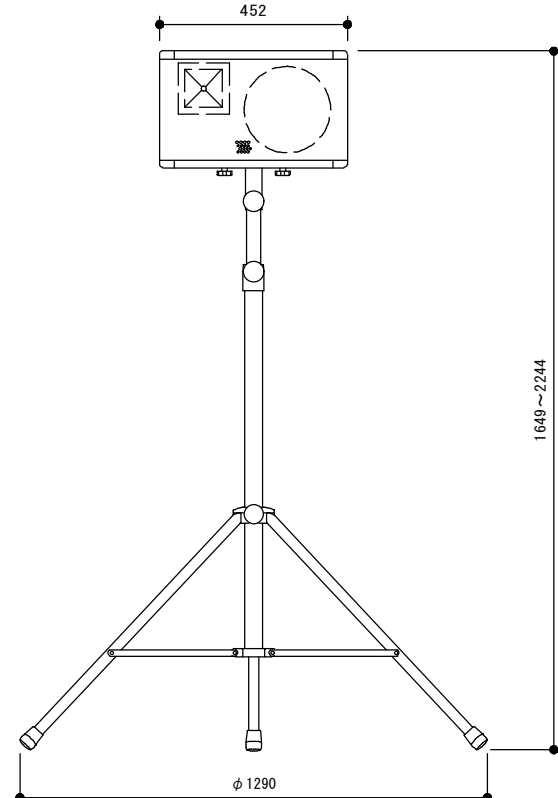
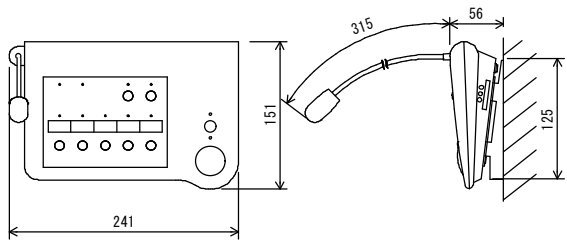
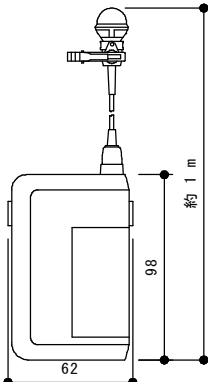
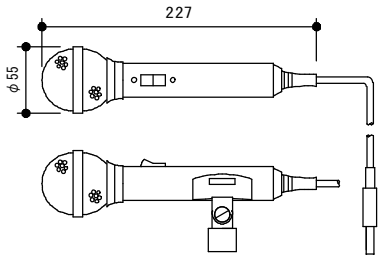
株式会社 若竹まちづくり研究所

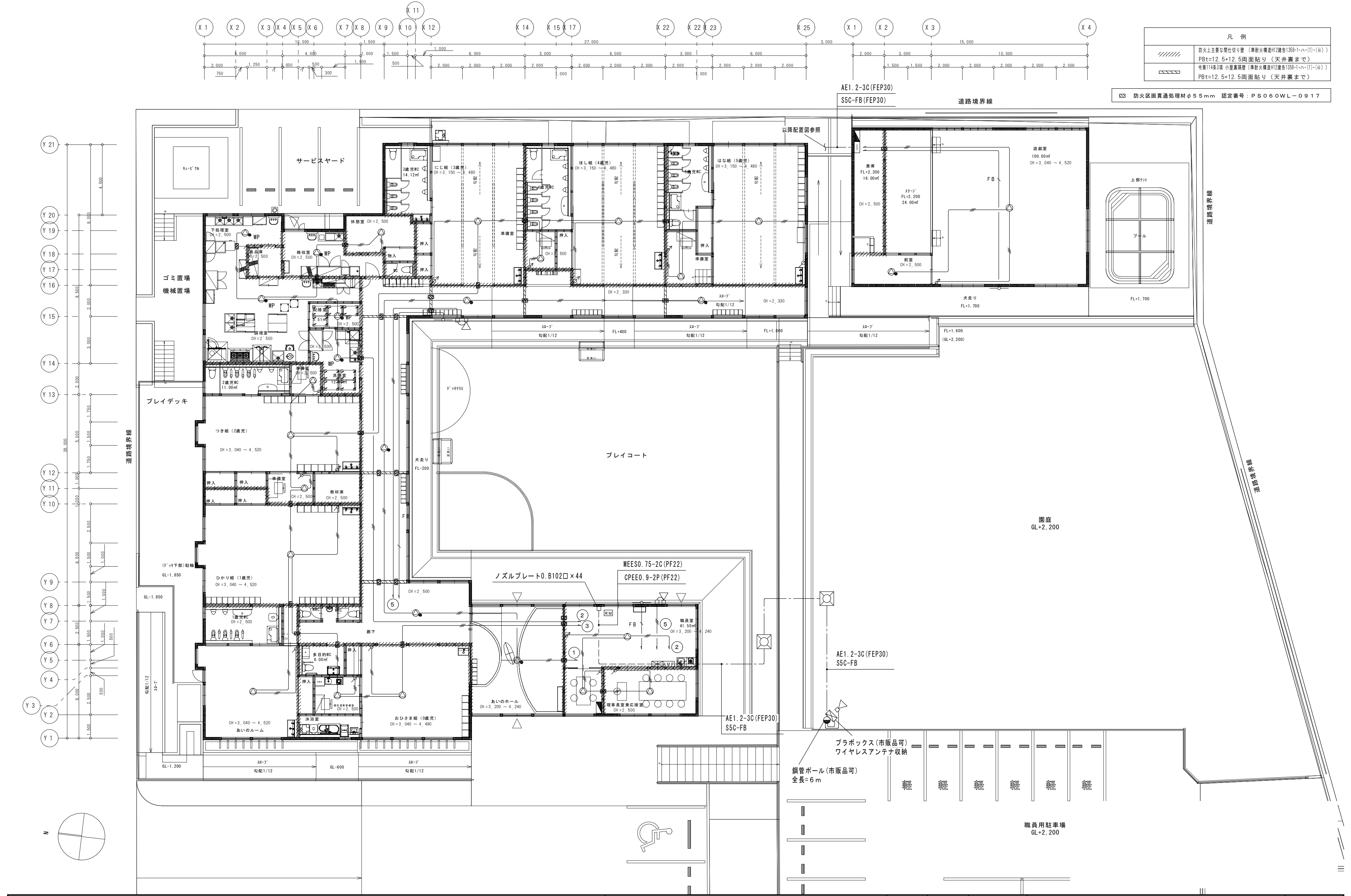
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号

E-18




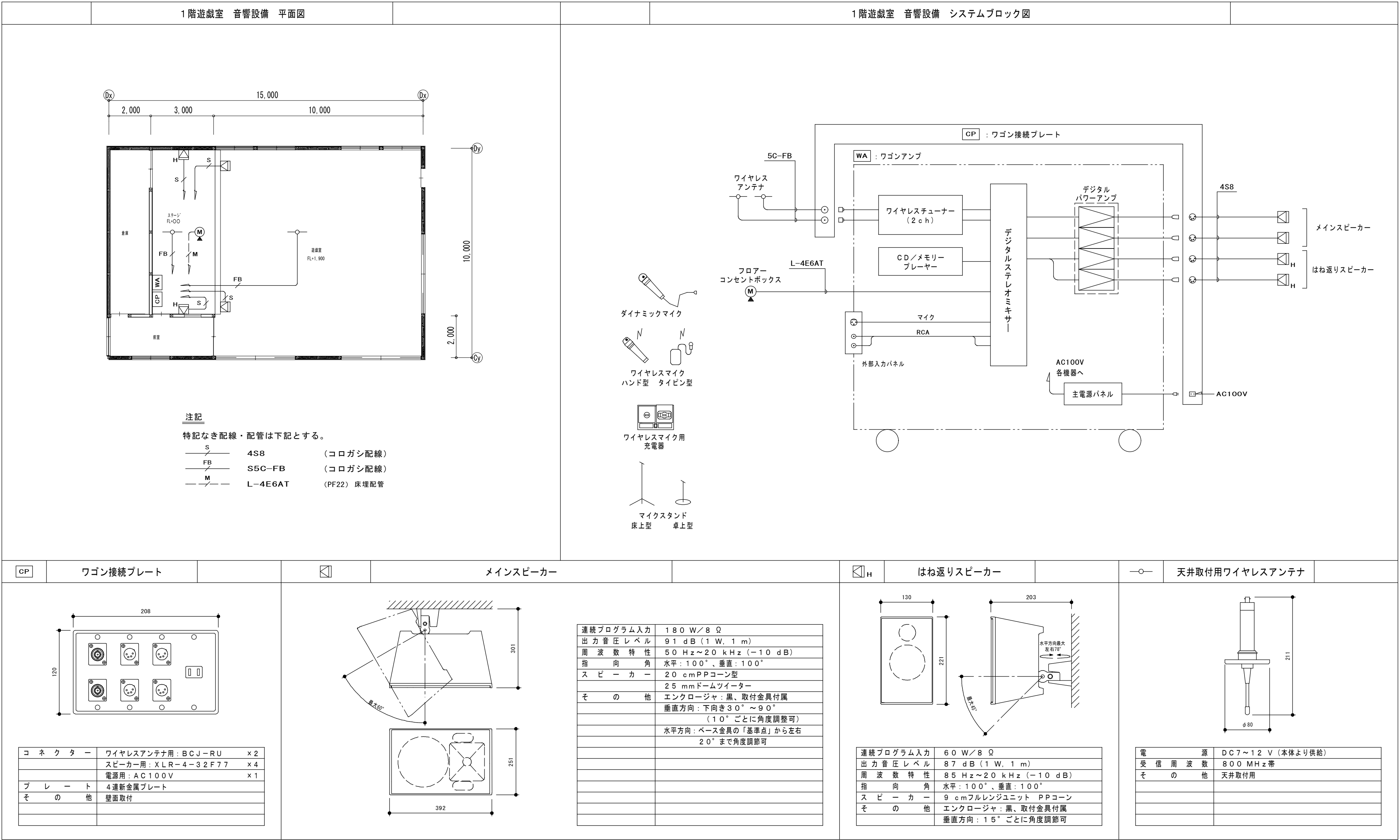
	移動用 P A アンプ	1 台		移動用 P A スピーカー	2 台																																					
<div></div> <table><tr><td>電 源</td><td>AC100 V 50/60 Hz</td></tr><tr><td>定 格 出 力</td><td>120 W (4 Ω) × 2</td></tr><tr><td>入 力</td><td>有線マイク×3、ワイヤレスマイク×4、Bluetooth</td></tr><tr><td>出 力</td><td>スピーカー×2、ライン</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>ダイバシティワイヤレスチューナー (アナログ1波束差済) CDプレーヤー、SD/USBプレーヤー、シーンモード搭載 ハウリング抑制機能、キャリングケース一体型</td></tr></table>			電 源	AC100 V 50/60 Hz	定 格 出 力	120 W (4 Ω) × 2	入 力	有線マイク×3、ワイヤレスマイク×4、Bluetooth	出 力	スピーカー×2、ライン	そ の 他	ダイバシティワイヤレスチューナー (アナログ1波束差済) CDプレーヤー、SD/USBプレーヤー、シーンモード搭載 ハウリング抑制機能、キャリングケース一体型	<div></div> <table><tr><td>連続プログラム入力</td><td>120 W (8 Ω)</td></tr><tr><td>出 力 音 圧 レ ベ ル</td><td>93 dB (1W, 1m)</td></tr><tr><td>周 波 数 特 性</td><td>80 Hz~18 kHz (SPL -10 dB) 60 Hz~20 kHz (ピーク -20 dB)</td></tr><tr><td>ス ピ ー カ ー</td><td>20 cmコーン型 (防滴タイプ) CDホーン+ドライバー</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>エンクロージャ：ポリプロピレン 黒 バンチングネット：銅板 黒 スタンド：アルミ 黒 艶消 ケース：アルミ シルバー</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>収納ケース (スピーカースタンド×2) スピーカーケース 防水性能：1 P X 4</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			連続プログラム入力	120 W (8 Ω)	出 力 音 圧 レ ベ ル	93 dB (1W, 1m)	周 波 数 特 性	80 Hz~18 kHz (SPL -10 dB) 60 Hz~20 kHz (ピーク -20 dB)	ス ピ ー カ ー	20 cmコーン型 (防滴タイプ) CDホーン+ドライバー	仕 上	エンクロージャ：ポリプロピレン 黒 バンチングネット：銅板 黒 スタンド：アルミ 黒 艶消 ケース：アルミ シルバー	そ の 他	収納ケース (スピーカースタンド×2) スピーカーケース 防水性能：1 P X 4															
電 源	AC100 V 50/60 Hz																																									
定 格 出 力	120 W (4 Ω) × 2																																									
入 力	有線マイク×3、ワイヤレスマイク×4、Bluetooth																																									
出 力	スピーカー×2、ライン																																									
そ の 他	ダイバシティワイヤレスチューナー (アナログ1波束差済) CDプレーヤー、SD/USBプレーヤー、シーンモード搭載 ハウリング抑制機能、キャリングケース一体型																																									
連続プログラム入力	120 W (8 Ω)																																									
出 力 音 圧 レ ベ ル	93 dB (1W, 1m)																																									
周 波 数 特 性	80 Hz~18 kHz (SPL -10 dB) 60 Hz~20 kHz (ピーク -20 dB)																																									
ス ピ ー カ ー	20 cmコーン型 (防滴タイプ) CDホーン+ドライバー																																									
仕 上	エンクロージャ：ポリプロピレン 黒 バンチングネット：銅板 黒 スタンド：アルミ 黒 艶消 ケース：アルミ シルバー																																									
そ の 他	収納ケース (スピーカースタンド×2) スピーカーケース 防水性能：1 P X 4																																									
RM	リモートマイク	1 台	<div></div> <table><tr><td>電源</td><td>DC12 V~24 V</td></tr><tr><td>マイク</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサー型</td></tr><tr><td>スピーカー制御</td><td>5局＋一斉</td></tr><tr><td>機能</td><td>グループ放送制御、 通常／緊急一斉放送制御、 増設機能 (4台)</td></tr><tr><td>仕上</td><td>ケース：樹脂 ブライトグレー</td></tr></table>			電源	DC12 V~24 V	マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型	スピーカー制御	5局＋一斉	機能	グループ放送制御、 通常／緊急一斉放送制御、 増設機能 (4台)	仕上	ケース：樹脂 ブライトグレー																											
電源	DC12 V~24 V																																									
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型																																									
スピーカー制御	5局＋一斉																																									
機能	グループ放送制御、 通常／緊急一斉放送制御、 増設機能 (4台)																																									
仕上	ケース：樹脂 ブライトグレー																																									
	ワイヤレスマイク タイピン型	1 本		防滴ハンド型ダイナミックマイク	1 本																																					
<div></div> <table><tr><td>送 信 周 波 数</td><td>800 MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切換)</td></tr><tr><td>発 振 方 式</td><td>PLLシンセサイザー方式</td></tr><tr><td>使 用 マ イ ク</td><td>単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>マイク感度切換付</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>			送 信 周 波 数	800 MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切換)	発 振 方 式	PLLシンセサイザー方式	使 用 マ イ ク	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型	そ の 他	マイク感度切換付							<div></div> <table><tr><td>定格インピーダンス</td><td>600 Ω (不平衡型)</td></tr><tr><td>指 向 性</td><td>単一指向性</td></tr><tr><td>周 波 数 特 性</td><td>100 Hz~12 kHz</td></tr><tr><td>定 格 感 度 レ ベ ル</td><td>-59 dB</td></tr><tr><td>コ ー ド</td><td>2芯シールド線 不平衡 10 m ホーンプラグ付</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>トークスイッチ付、防水性能：防雨形、色：黒</td></tr></table>			定格インピーダンス	600 Ω (不平衡型)	指 向 性	単一指向性	周 波 数 特 性	100 Hz~12 kHz	定 格 感 度 レ ベ ル	-59 dB	コ ー ド	2芯シールド線 不平衡 10 m ホーンプラグ付	そ の 他	トークスイッチ付、防水性能：防雨形、色：黒											
送 信 周 波 数	800 MHz帯 (30波のうち1波スイッチ切換)																																									
発 振 方 式	PLLシンセサイザー方式																																									
使 用 マ イ ク	単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型																																									
そ の 他	マイク感度切換付																																									
定格インピーダンス	600 Ω (不平衡型)																																									
指 向 性	単一指向性																																									
周 波 数 特 性	100 Hz~12 kHz																																									
定 格 感 度 レ ベ ル	-59 dB																																									
コ ー ド	2芯シールド線 不平衡 10 m ホーンプラグ付																																									
そ の 他	トークスイッチ付、防水性能：防雨形、色：黒																																									



凡 例	
	防火上主要な間仕切り壁 (準耐火構造H2建告1358-1-ハ-(1)-(Ⅲ)) PBt=12.5+12.5両面貼り (天井裏まで)
	令第114条3項 小屋裏隔壁 (準耐火構造H2建告1358-1-ハ-(1)-(Ⅲ)) PBt=12.5+12.5両面貼り (天井裏まで)

防火区画貫通処理材φ55mm 認定番号：PS060WL-0917

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日 R7.03	<div> 株式会社 若竹まちづくり研究所</div>	図面番号 E-21
	図面名称	全館放送設備図			縮尺 S=1/150		



[illegible]

No.	名 称
1	木製ラック
2	通気パネル
3	外部入力パネル
4	デジタルステレオミキサー
5	ワイヤレスチューナー
6	CD/メモリープレーヤー
7	デジタルパワーアンプ
8	主電源パネル
9	引出パネル

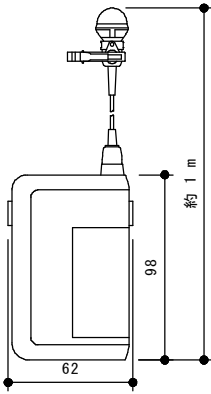
電源	AC100V 50/60Hz
定格出力	150W×4 (4 周)・100W×4 (8 周)
■デジタルステレオミキサー	
入力	モノラル×8、ステレオ×7
出力	モノラル×4、録音 (L、R)
信号処理	自動音場補正 (ARC) ×4 (各系統独立設定)
	ハワリング抑制 (FBS) ×8 (各系統独立設定)
	オートミュート (DUCKER) ×1 (独立制御)
	フィルター×8 (各系統独立設定)
機能	トーンコントローラー×10 (各系統独立設定)
	パラメトリックイコライザー×4
	フロントパネルロック機能
	機能設定用ロータリーエンコーダー×3
制御	ファンタム電源内蔵
	プリセットメモリ×16 (前面プリセットスイッチ×4)
	接点入力×8、接点出力×8
	リモートコントロールパネル接続可
ネットワーク I / F	10BASE-T / 100BASE
その他	前面ステレオミニジャック付
■外部入力パネル	
コネクタ	XLR-3-31 F77 ×1
	RCAピン ×2
■ワイヤレスチューナー	
入力	アンテナ×4、ミキシング×1
出力	単独×4、ミキシング×1
受信方式	ダイバシティ受信方式
受信周波数	800 MHz帯
チューナーユニット	2波束装斉
■CD/メモリープレーヤー	
使用メディア	CD、CD-R、CD-RW
	SD / SDHCカード、USBメモリー
再生ファイル形式	CD-DA、MP3、WMA、WAV、AAC
出力	アナログ×2、チューナー
その他	外部制御、FM / AMチューナー機能、
	Bluetoothレシーバー搭載
■その他	
	引出パネル、主電源パネル

ワイヤレスマイク タイピン型

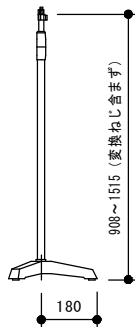
1 本

床上型マイクスタンド

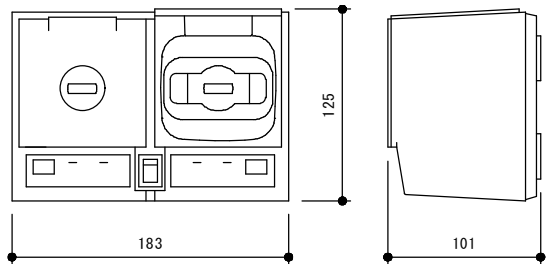
1台



送信周波数	800 MHz帯（30波のうち1波スイッチ切換）
発振方式	PLLシンセサイザ方式
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサ型
その他	マイク感度切換付



型	式	床上型 2 段式 フリーストップ
ね	じ	部 W3 / 8 , U 5 / 1 6

ワイヤレスマイク用充電器1台

電 源	AC100 V 50/60 Hz (ACアダプター)
充 電 時 間	約90分
充 電 台 数	2台
仕 上	樹脂 ダークグレー

④ フロアーコンセントボックス キヤノン

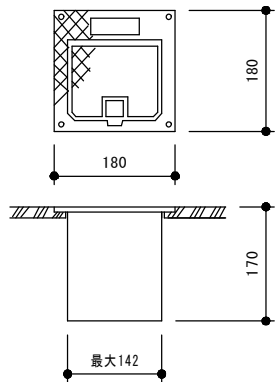
ダイナミックマイク

1 本

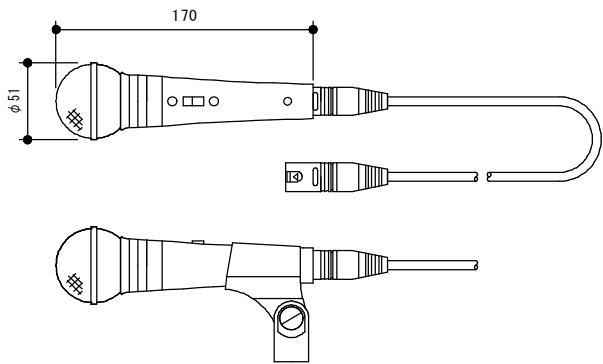
ワイヤレスマイク ハンド型

1本

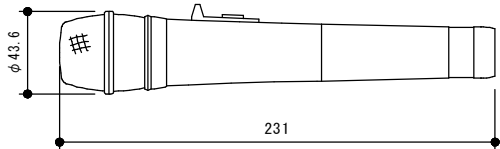
卓上型マイクスタンド

1台

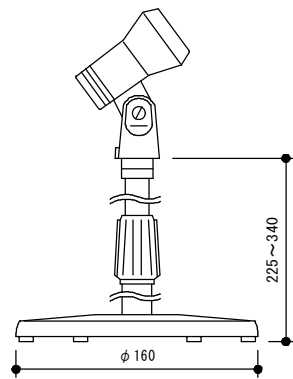
コ	ネ	ク	タ	ー	ノイトリックNC3FD-LX × 1
仕				上	プレート：アルミダイカスト
					シルバーメタリック



定格インピーダンス	600Ω (平衡型)
指向性パターン	単一指向性
周波数特性	70Hz～15kHz
定格感度レベル	-54dB
仕上	メタリックグレー
その他	トウスイッチ付、マイク延長コード10m (2芯シールド キヤノン対キヤノン) 付



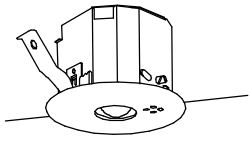
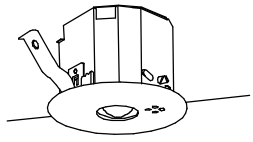
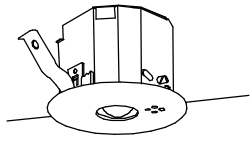
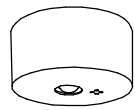
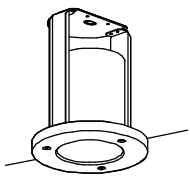


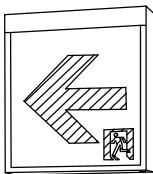

送信周波数	800 MHz帯(30波のうち1波スイッチ切換)
発振方式	PLLシンセサイザ方式
使用マイク	単一指向特性エレクトレットコンデンサー型



型 式	卓上型 2 段式
使用可能マイク	マイク径：φ 18 ～ φ 35 mm 最大マイク質量：500 g

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	<div><div></div>株式会社 若竹 まちづくり 研究所</div>	図面番号
	図面名称	専用放送設備姿図－２			縮尺 S=N/S		

防災照明器具姿図

ア	LED K1-LRS11-1	イ	LED K1-LRS11-2	ウ	LED K1-LRS11-3	エ	LED K1-LSS11-3	カ	LED非常照明		
非常灯評定番号：L A L E-0 0 4		非常灯評定番号：L A L E-0 0 4		非常灯評定番号：L A L E-0 0 6		非常灯評定番号：L A L E-0 0 6		非常灯評定番号：L A L E-0 0 7			
9 台		3 台		8 台		9 台		8 台			
											
φ100低天井・小空間用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（2個）		φ100低天井用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：（図示:アと共用）		φ100中天井用（～6m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：（図示:アと共用）		直付低天井用（～6m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：銅板（クールホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：（図示:アと共用）		φ150低天井用（～3m）、30分間タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、パネル：ガラス（透明） 枠：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン：（図示:アと共用）			
器具高さ(m) 2.1 2.4 2.5 2.6 2.8 3.0		器具高さ(m) 2.1 2.4 2.5 2.6 2.8 3.0 3.7 4.0		器具高さ(m) 2.3 2.5 2.8 3.0 3.3 3.7 4.5 5.0		器具高さ(m) 2.5 2.6 3.0 3.9 4.3 4.5 5.0 5.5		器具高さ(m) 2.4 2.5 3.0 3.5 4.0 4.5 5.0 5.5			
単体配置 A1 3.8 4.0 4.0 4.0 3.2 2.8		単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.7 4.9 4.9 3.8 3.3		単体配置 A1 5.7 6.1 6.6 6.9 7.2 7.6 8.3 8.7		単体配置 A1 6.1 6.3 6.9 7.8 8.1 8.3 8.7 8.9		単体配置 A1 4.5 4.6 4.7 4.2 3.7 3.2 2.2 —			
直線配置 A2 8.5 9.4 9.6 9.9 10.3 10.1		直線配置 A2 9.3 10.2 10.6 10.8 11.3 11.9 13.2 12.9		直線配置 A2 12.2 13.1 14.4 15.2 16.3 17.7 19.9 21.0		直線配置 A2 13.1 13.5 15.2 18.3 19.4 19.9 21.0 22.0		直線配置 A2 10.4 10.6 11.9 12.8 12.9 12.6 11.6 10.6			
四角配置 A4 6.9 7.6 7.8 8.1 8.5 8.9		四角配置 A4 7.4 8.2 8.4 8.7 9.1 9.6 11.1 11.7		四角配置 A4 9.2 9.9 10.9 11.6 12.5 13.8 16.0 17.2		四角配置 A4 9.9 10.2 11.6 14.3 15.5 16.0 17.2 18.4		四角配置 A4 8.2 8.5 9.7 10.8 11.7 12.4 11.6 10.6			
キ	SH1-FBF20-C 片面型	ク	SH1-FBF20-BH 片面型	コ	ST1-FBF23-BH 両面型	サ	LED C級 避難口誘導灯片面型				
型式認定番号：1 A S 1 1 1-3 6 1 8		型式認定番号：1 A L 1 1 1-3 2 1 1		型式認定番号：1 A L 2 2 1-3 6 2 3		型式認定番号：1 A S 1 1 1-3 6 2 9					
2 台		3 台		2 台		2 台					
											
LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付		LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付		LED誘導灯コンパクトスクエア 天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付		LED誘導灯コンパクトスクエア 天井直付型(防雨型) 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付					

特記事項

工事名称 あいの保育園改築工事

図面名称 防災照明器具姿図

Draw

Check

作成年月日
R7.03

縮尺
S=N/S

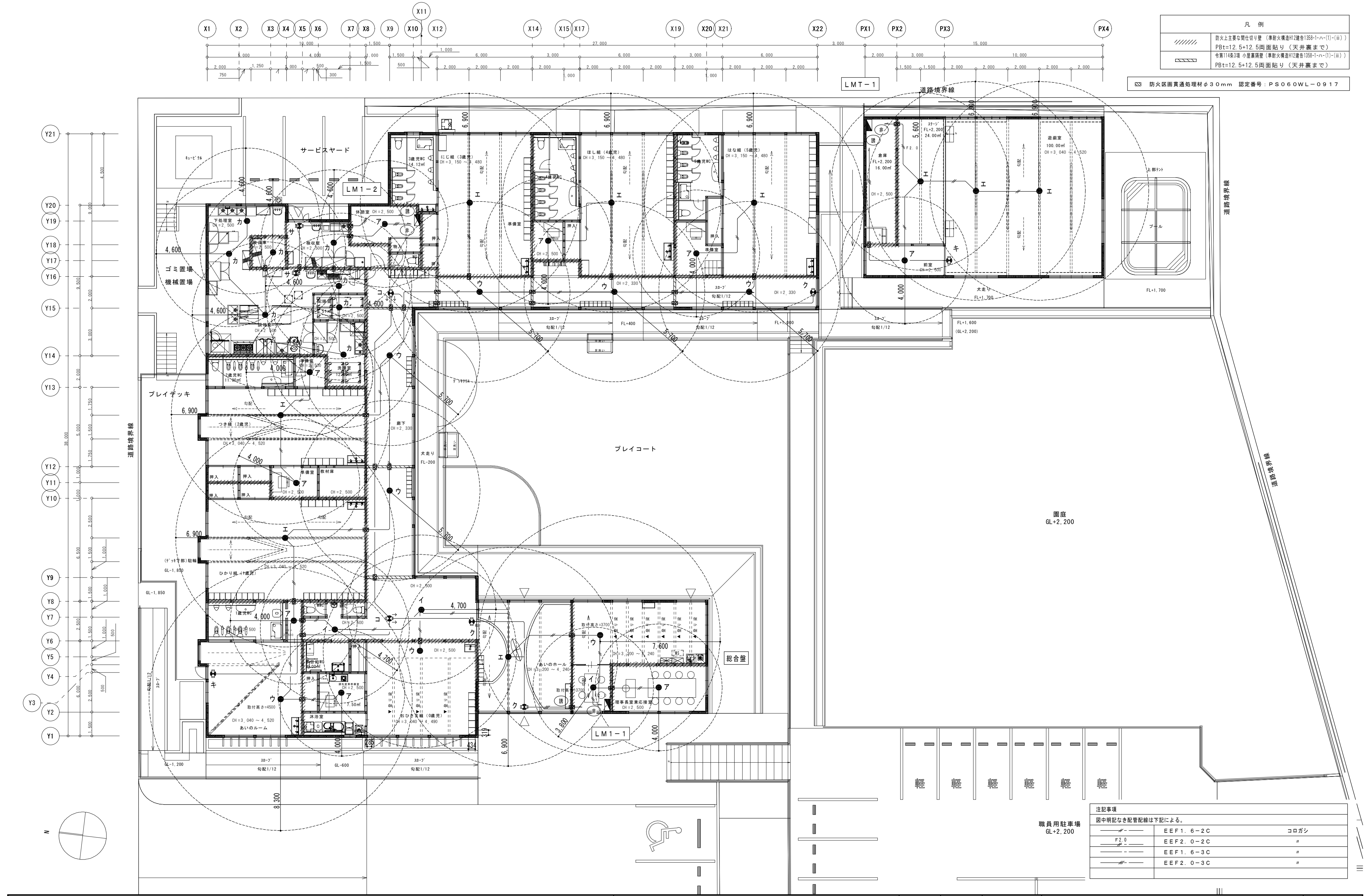


株式会社 若竹まちづくり研究所

開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号

E-24



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-25
	図面名称	非常照明・誘導灯設備図				縮尺 S=1/150		

凡		例	
記号	名称	備考	
	受信機	仕様注記参照	
①	専用電話機	※火災通報装置代替とする	
MS	機械警備制御盤	(別途工事)	
	機器収容箱	易操作性1号消火栓内蔵	⒫ Ⓖ 収容
	機器収容箱	易操作性1号消火栓内蔵、防滴型	⒫ Ⓖ 収容
⒫	P型発信機	1級、リング型表示灯(AC24V、LED、点滅式)付	
⒫	P型発信機	1級、リング型表示灯(AC24V、LED、点滅式)付、屋外型	
Ⓑ	火災警報ベル	DC24V、10mA、ダイオード付	
Ω	終端抵抗	10KΩ	
	終端抵抗	地区ベル用(10KΩ)	
SC	光电式スポット型感知器	2種、自動試験・自動感度補正機能付、湯気埃環境強化	
SC	光电式スポット型感知器	2種、自動試験・自動感度補正機能付、小屋裏用、湯気埃環境強化	
WC	差動式スポット型感知器	2種、自動試験機能付	
WC	差動式スポット型感知器	2種、防水型、自動試験機能付	
WC	定温式スポット型感知器	1種、75℃、防水型、自動試験機能付	
WC	定温式スポット型感知器	特種、65℃、自動試験機能付	
WC	定温式スポット型感知器	特種、65℃、防水型、自動試験機能付	
Ro	警戒区域番号	火災表示用(自動試験機能付を含む)	
RoC	警戒区域番号	火災表示用、小屋裏用(自動試験機能付を含む)	
---	警戒区域線		
---	ケーブル配線	天井コロガシ	
----	配管配線	床いんべい	
-----	配管配線	露出	
□	ジャンクション、ブルボックス		
⊠	天井点検口 □450		

〔注 記〕

1. 受信機仕様
- 1) P型1級、壁掛型、窓式、主音響(音声警報)・予備電源内蔵
蓄積式、自動断線警報機能付
- 2) 自動試験機能付
- 3) 2、4型LCD表示
- 4) オプションメッセージ表示機能付
- 5) 感知器情報トレンド表示機能付(自動試験機能付光電式・定温式感知器のみ)
- 6) 感知器汚れ量表示機能付(自動試験機能付光電式感知器のみ)
- 7) 操作無効機能付
- 8) カラーユニバーサルデザイン対応
- 9) 履歴リスト機能(全履歴20,000件、自動試験履歴30,000件)
- 10) 表示内訳

・火災表示

6 L + 4 L (予備) = 10 L

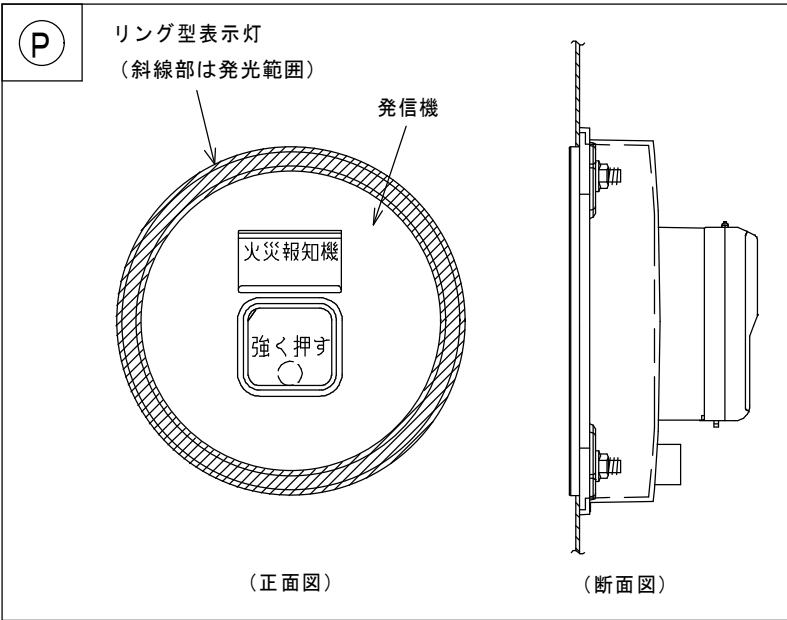
- 11) 諸表示部(3L標準装備)
- 12) 移報信号内訳:
・機械警備制御盤へ火災代表信号移報(無電圧、a接点、1L)

2. 1回線には自動試験機能付感知器を最大60個接続可能とする。

3. 感知器は確認灯付とする。

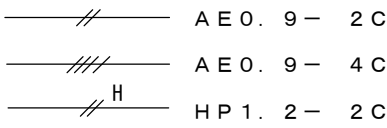
4. 地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。

5. リング型表示灯付発信機の参考外観図は下記とする。



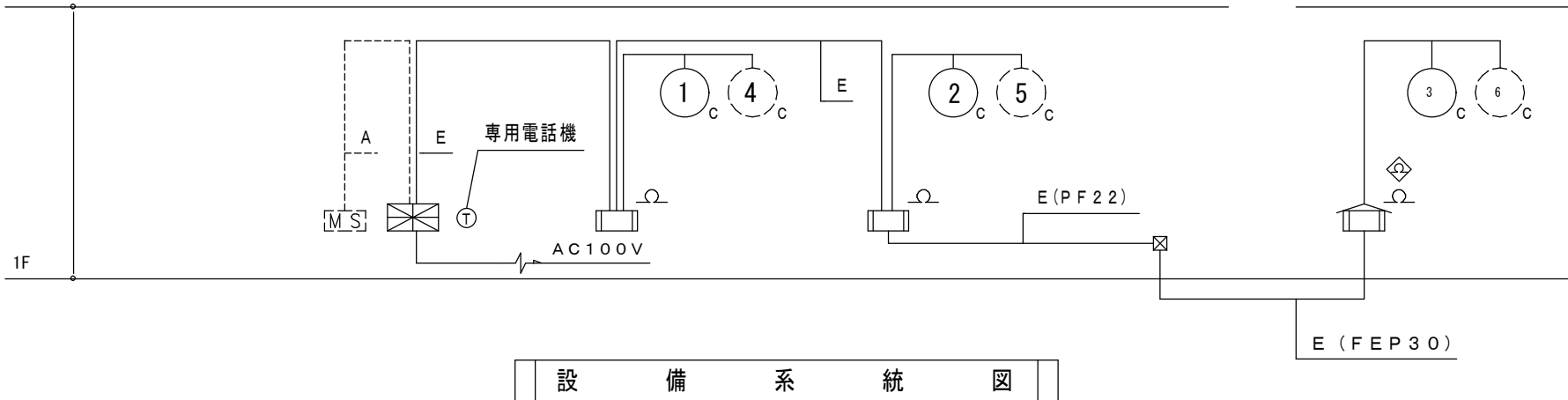
消火設備にリング型表示灯を内蔵する場合、取り付け用加工(スタッド加工)は衛生工事とする。

6. 特記なき配管配線は下記参照。

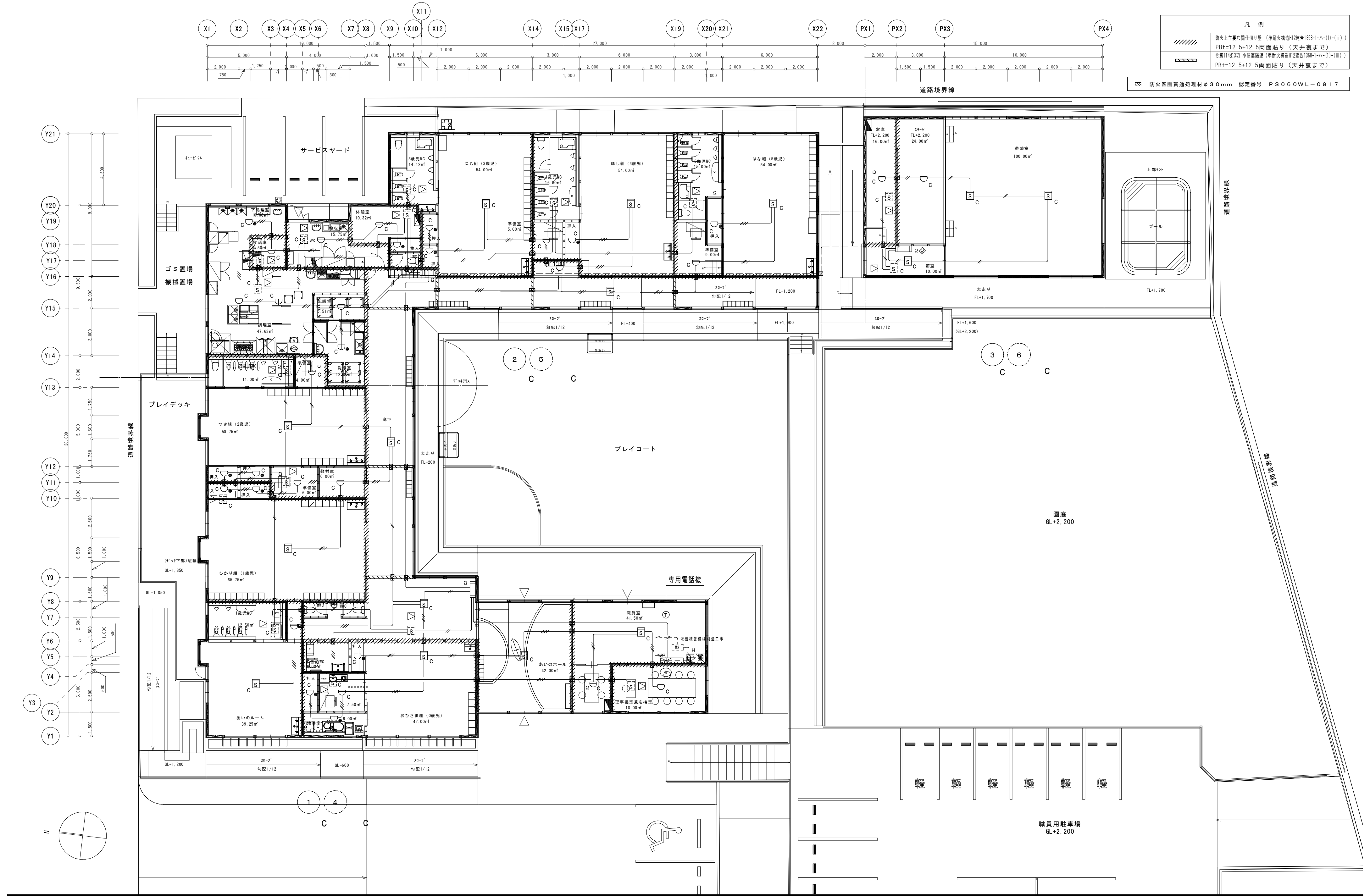


AE: 警報用ケーブル
HP: 耐熱ケーブル

- 2重天井部分はケーブルころがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。



配管配線内訳表	
記号	配管配線内訳
A	HP1.2-2C ※別途工事
B	HP1.2-4C
C	HP1.2-3P
D	HP1.2-5P
E	HP1.2-10P
・2重天井内の配線はケーブルころがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。	



特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事		Draw	Check	作成年月日 R7.03	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 E-27
	図面名称	自動火災報知設備図				縮尺 S=1/150		

特 記 仕 様 書 (1)

工事名称 あいの保育園改築工事

設計年度(設計図)	令和 6 年度
工事期間(完成図)	令和 年 月 日～令和 年 月 日
工事場所	高知県吾川郡いの町天王町1丁目1-1, 1-7, 1-8


棟 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
保育所	木造	1	1019.7		6項(ハ)
		戸 数			

共通事項

種目	項目	特記仕様（※及び●印をつけたものを適用する）																																
一般	適用仕様	※特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」（改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編 令和4年版）」）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編 令和4年版）」による。 ※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※国土交通省仕様 （例：外壁の地中部等 水密を要する部分はツパ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所では開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。）																																
	スリール	● 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様 ※区画貫通処理の必要な箇所については、箇所に別設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」（建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版）による。																																
	機器類 区画貫通処理 耐震措置	建物の種別： ● 特定の施設 ○ 一般の施設 地域係数： 1.0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。																																
	機器の固定	※基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。																																
	配管の支持	※機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。（県標準図16） ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※一般土間コンクリート下部分配管は耐蝕性のある吊りボルト（亜鉛ドブ漬又はステンレス製）にてスラブ筋に支持する。 ※屋外及びビード内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※仕様のとおりにより配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。																																
	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表 <table><tr><th colspan="2">流体種別</th><th colspan="2">給水</th><th colspan="2">給湯</th><th colspan="2">冷水水</th></tr><tr><th>管 材 等 種 別</th><th>ステンパイプ</th><th>ライニング管</th><th>水栓金具</th><th>弁類</th><th>ステンパイプ</th><th>ライニング管</th><th>鋼管</th></tr><tr><td>テープシール材</td><td>(ロ)</td><td>(イ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td></tr><tr><td>ペーストシール剤</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ロ)</td><td>(ロ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td><td>(ハ)</td></tr></table>	流体種別		給水		給湯		冷水水		管 材 等 種 別	ステンパイプ	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンパイプ	ライニング管	鋼管	テープシール材	(ロ)	(イ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	ペーストシール剤	(ハ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ハ)
	流体種別		給水		給湯		冷水水																											
	管 材 等 種 別	ステンパイプ	ライニング管	水栓金具	弁類	ステンパイプ	ライニング管	鋼管																										
	テープシール材	(ロ)	(イ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)	(ロ)																										
	ペーストシール剤	(ハ)	(ハ)	(ロ)	(ロ)	(ハ)	(ハ)	(ハ)																										
(テープシール材)	※（イ） テープシール材は、JIS K 6885（シール用四つ化エチレン樹脂未焼成テープ（生テープ））によるものとする。 注）水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。																																	
(ペーストシール剤)	※（ロ） 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※（ハ） 給用水、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161（水道用ライニング鋼管用液状シール剤）に規定する水道用シール剤とする。 注）水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤（ロ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社社のヘルメテック No. A0-9など） ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤（ハ） （例：日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55-88・403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社社のヘルメテックNo. A0-9など）																																	
弁 サヤ管工法 埋設深さ(管上) 埋設管の保護	※ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。（同時施工を行わない。） ● 一般敷地300mm以上 ● 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクックチューブ等で巻く。																																	
石綿含有品	※石綿含有分析調査 ○本工事 ○別途 ●無し アスベスト含有品（ガスケット、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等）は関係法令に従い適切に処理を行う。																																	
建設発生土の処理	※構外搬出 処理場所（ ）所在地（ ）距離（ ）km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。																																	
建設副産物	○構内指定場所に敷き均し ○構内指定場所に堆積 ※アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生砕石を使用する。 ※浄化槽・樹根の砂利地床は原則として再生クラッシュランを使用する。（アスファルト再生品混じりは不可） ※本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。																																	
コンクリート工事/骨材 はつり・非破壊検査	※はつり、穴開け及び海水ポンプ等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探索し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。（測定場所等は監督職員の指示による。） ●風量調整 ●水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びびんあいの測定																																	
総合調整	○配管施工(配管工事) ○熱絶縁施工(保温工事) ○建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○冷凍空調調和機器施工 ○その他 完 成 図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式) ※ A4版黒表紙金文字製本 1部 ※ 2つ折りA3版製本 1部 施 工 図 ※ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ 2つ折り製本(サイズは原図による) 工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具書類 ● マンホールフック ● 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○																																	
技能士の適用 完成後の提出物																																		

●	対象建築材料等	使用制限
①	合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板複層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗料	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
②	塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③	木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノバルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後現場搬入する。
④	内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているものとする。
⑤	家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料（上記②～④及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノバルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管材料	① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452)	㉑ ポリブテン管 (JIS K 6778)						
	② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452)	㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042)						
管	③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)	㉓ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032)						
	④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116)	㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525)						
材	⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)	㉕ 鉛管(HASS 203)						
	⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】(WSP 041)	㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741)						
料	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140)	㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VUJ】(JIS K 6741)						
	⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】						
	⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡張式	㉙ 卵形管 【ゴムリング】(JAWAS K-3)						
	⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113)	㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管						
	⑪ 鋼管 【M】(JIS H 3300)	㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白						
	⑫ 外面被覆鋼管 【MJ】(JIS H 3330) 給湯	㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)						
	⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776)	㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】						
	⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742)	㉞ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保温材】(JGDA 0009) 冷媒						
	⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742)	㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管(日本消防設備安全センターの性能認定取得品)						
	⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127)	㊱ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品)						
	⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㊲						
	⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762)	㊳						
	⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144)	㊴						
	㉑ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	㊵						
管種使用区分	工 種	屋 内 一 般	屋 内 ビ ッ ト	屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	
	給 水 (直 圧)	⑮			⑮	⑮		
	給 水 (一 般)						⑧	
	汚 水	⑯			⑯	⑯⑳		※125A以上の地中埋設は㉑とする。
	雑 排 水	⑯			⑯	⑯⑳	⑳	※125A以上の地中埋設は㉑とする。
	通 気	⑯						
	ガ ス	㉒				㉒	㉒	※地中埋設はPEでも可とする。
	消 火							
	給 湯	㉔				㉔	㉔	※地中埋設はクワイクチューブ又は防食テープ
	器 具 接 続							
	冷 温 水							
	冷 却 水							
	中 水							
	冷 媒	㉞					㉞	
	空 調 ド レ ン	㉟				㉟	㉟	
塗装・防食	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鉄鉄管、鉄鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○居室等に露出して使用する配管支持金具類(電気メッキ品)は塗装(さび止めペイント・中塗り・上塗り)を施す。 ※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。 屋外: ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) 屋内: ●ダクト(指定色塗装) ●金属電線管(指定色塗装) ○フード類(指定色塗装)							
保温・防露	工種	場 所	屋 内 露 出	機 械 室・倉 庫	天 井・PS 内	床 下 暗 渠 内	屋 外 露 出	備 考
	給 水		a ₂ ()Ⅶ	a ₂ ()Ⅶ	c ₂ (□)Ⅶ	d()Ⅶ	e ₃ (ハ)Ⅶ	一般換気OAダクトは保温する。 一般換気EAダクトは外壁から2m保温する。
排水・空調ドレン		a()Ⅶ	b()Ⅶ	c ₂ ()Ⅶ				
給 湯		a()Ⅰ	b()Ⅰ	c ₂ (□)Ⅰ	d()Ⅰ	e ₂ (□)Ⅰ		
冷水・冷温水管		A()Ⅲ	B()Ⅲ	G ₁ ()Ⅲ	D()Ⅲ	E ₂ ()Ⅲ		
冷 媒 管		(チ)+(ロ)+(ヲ)	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+(ロ)+(ヌ)		
矩 形 ダ ク ト		J ₁ (□)Ⅰ	I(□)Ⅰ	I(□)Ⅰ		K ₂ ()Ⅰ		
スパイラルダクト		O ₁ (□)Ⅰ	N(□)Ⅰ	N(□)Ⅰ		P ₂ ()Ⅰ		
	(イ)ロックウール保温材	(ニ)簡易保温筒10mm	(ト)簡易耐熱保温筒20mm	(ヌ)ガルバリウム鋼板				
	(ロ)グラスウール保温材	(ホ)簡易保温筒20mm	(チ)冷媒用被覆鋼管	(ル)カラーガルバリウム鋼板				
	(ハ)ポリスチレンホーム保温材	(ヘ)簡易耐熱保温筒10mm	(リ)SUSラッキング	(ヲ)樹脂カバー				
	●フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。							
表 示	※ 配管表記 ①機械室・ビット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ②表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ペンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13) ※水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を盤付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。) ※屋外に設置するバルブ札は固定するか、表示方法を協議する。 ※バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示板(標示柱は県標準図8)を設ける。 ※配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)							
発生材の処理	○引渡しを要するもの() ○現場において再利用を図るもの() ※再生資源化を図るもの・コンクリート塊・アスファルトコンクリート塊・建設発生木材 ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ※発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。							
その他	※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。 ※給湯設備(満水時15kgを超えるもの)が、H24告示1447号に適合している事。 ※「ポンプ」給湯設備の構造は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第38条の2に準拠する事。 ※防火区画貫通部給水、ガス配管は、給水管(一般配管用スチレス鋼管)、ガス管(配管用炭素鋼鋼管)とし、隙間部は充填埋めとする。保温を行う場合はクワイクルとする。 ※防火区画貫通部排水、通気配管は、75φ以下は硬質ビニル管又は耐火二層ビニル管とし、100φ以上は耐火二層ビニル管とする。隙間部は充填埋めとする。耐火二層ビニル管は国土交通省認定品とする。 ※防火区画貫通部冷媒配管は、耐火クワイクル等の貫通処理材とする。耐火クワイクルは国土交通省認定品とする。 ※防火区画貫通電線管は、国土交通省認定工法による処置とする。							

特記事項	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日 2025/ 4/ 8	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所 開 設 者 一 級 建 築 士 佐 藤 八 尋 第 1 1 5 4 1 0 号 管 理 建 築 士 一 級 建 築 士 小 松 道 就 第 2 2 3 5 3 0 号	図面番号 M-01
	図面名称 特記仕様書（１）			縮 尺 S=1/NS		

特 記 仕 様 書 （ ２ ）

工事種目																																														
●衛生器具設備	取付位置 大便器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パン シール（コーキング）	※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 （特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意） ※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布（3mm以上）とする。（県標準図1） ※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。 ※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。 ※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8～10秒 小便器 8～10秒 自閉式水栓 7秒 ※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。 ● 器具類と壁・床のシール（コーキング）打ちは右記の表による。 <table><tr><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">設置場所の床が湿式（防水）</th><th colspan="2">設置場所の床が乾式（非防水）</th></tr><tr><th>壁</th><th>床</th><th>壁</th><th>床</th></tr><tr><td>洋風便器</td><td>－</td><td>不</td><td>－</td><td>不</td></tr><tr><td>洗面器類</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr><tr><td>掃除流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯流し</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>洗濯パン</td><td>－</td><td>－</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>ステンレス流し台</td><td>要</td><td>不</td><td>要</td><td>不</td></tr><tr><td>化粧鏡棚</td><td>不</td><td>－</td><td>要</td><td>－</td></tr></table> 壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。	機器種別	設置場所の床が湿式（防水）		設置場所の床が乾式（非防水）		壁	床	壁	床	洋風便器	－	不	－	不	洗面器類	不	－	要	－	掃除流し	不	－	要	不	洗濯流し	不	－	要	不	洗濯パン	－	－	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧鏡棚	不	－	要	－
機器種別	設置場所の床が湿式（防水）			設置場所の床が乾式（非防水）																																										
	壁	床	壁	床																																										
洋風便器	－	不	－	不																																										
洗面器類	不	－	要	－																																										
掃除流し	不	－	要	不																																										
洗濯流し	不	－	要	不																																										
洗濯パン	－	－	要	不																																										
ステンレス流し台	要	不	要	不																																										
化粧鏡棚	不	－	要	－																																										
●給水設備	負担金類 継手類 バルブボックス 隠蔽部の保温 既設給水鋼管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	● 不要 ● 要（ ） ※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品（指定のない場合は、二次側給水に準じた弁） ※ 二次側給水弁（土中）：40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁（内面ライニング） ※ 二次側給水弁（一般）：40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鑄鉄製 F 付き内面ライニング弁5K ※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。 ※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。 ※ T Sバルブソケットは金属製（砲金）おすネジを打込しているものを使用する。 ※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。 ※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要 ※ 改修工事等で鋼管類（ライニング鋼管）を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、鋼管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品（エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用）にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型（樹脂リケン）を使用する場合は処理不要とする。） ※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。 ※ 受水槽・高架水槽を新設（改修等含む）施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。 ○ 残留塩素濃度の測定を行う。（端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。） ○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査（11項目）について行うこと。採水場所は指定の箇所で（ ）ヶ所とする。																																												
●排水設備	保護砂砂利 樹脂製排水樹 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他	● 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂（180度台）を要す。 ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。 ※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。 ○ 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCパッキンを使用する。 ※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結（VCパッキンでも可）とする。県標準図5による。 ● 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。（但し平屋建は不要とする。） ※ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要 ○ 満水試験 ● 通水試験 ○ 鏡確認 ※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共仕学区画に適合する処理を施す。																																												
●消火設備	消火栓箱	● 消火栓箱は（○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ●メーカー仕様） ○ 共仕学区画の消防検査受検必要																																												
●給湯設備	弁絶縁対策 給湯管の保温 大気汚染対策	● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ※ 鋼管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。 ※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。 ※ 給湯配管に簡易保温筒（クイックチューブ）を使用する場合は耐熱性のものを使用する。 ※ 被覆鋼管の継手カバーは保温付きのものを使用する。 ※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温（簡易保温筒）施工を行う。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。																																												
●ガス設備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他	※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。 ※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。 ※ ガス用フレキシ管とガスコック等（ヒューズコック）との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。 ※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ※ ボンベ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。 ※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー（ケミカルアンカー）なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。 ※ 自記記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。																																												
○浄化槽設備	種汚泥 試運転調整 その他	※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。 ※ 浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査（BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン）を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。 ※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。 ※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。 ○ 補助金申請設備																																												

●空気調和・換気設備	空調機器の仕様 パッケージエアコン等 自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング ダクト 消音内貼り 厨房等の排気フード 送風機（大型） エアコン類の電気工事 防振ハンガー 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策	※ グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号））の判断基準適合品とする。 なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。 ○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ● 屋外機は耐塩害仕様とする。 ※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。 ● 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。（建築工事標準詳細図参照） 1）補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。 2）野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り設ける。 ※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。 ○ 不要 ○ 要（ ）ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 ※ 配管ラッキング（溶融アルミニウム－亜鉛鉄板・配管化粧カバー）は室外機の直近まで施す。 ※ 配管樹脂化粧カバー（スリムダクト）も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。（コーキング処理、またはエンドキャップ処理）（フリーコーナー（ジャバラ）は使用しない。） ○ アルミフレキ（不燃材料認定品） ○ ステンレスフレキ（不燃材料認定品） ○ スパイラルダクト ※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 ※ 消音材はグラスウール（吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サブライチャンパーは50mm厚）とし、ガラスクロス押えとする。 ※ 排気フードは、SUS430製とする。（1.0mm厚） ※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。 ※ 黄銅製コックは20mmのものとする。（キャップ止でもよい） ※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。（参考：フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。） ※ 送風機の機器表にファンの番手（＃）を明記している場合、小さい番手にしない。 ※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース（CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度）を要す。 ※ リモコン線はEM-AE0.9mm/2C～3C、又はVCTF0.75sq/2C～3Cとする。（但し延長が10m以下のリモコン線は機器付属品でもよい。） ※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に納める。（電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。） ※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ（1,300～1500h）照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。 ※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。 ※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。 ※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。			
	○別工事	別 途 工 事	○ スリープ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○ ○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ プロパンボンベ庫 ○ ○		

Ⅲ 材料メーカー表

材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL（INAX）、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL（INAX）、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ボ ン プ	荏原、日立、㊞ル、川本
水 中 モ ー タ ー ボ ン プ	荏原、日立、㊞ル、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ボ ン プ	荏原、日立、㊞ル、川本、鶴見、新明和
電 気 温 水 器	三菱テック、ユパック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨 房 機 器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フ ィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な 取扱資格者	ボ イ ラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者（小型ボイラ） ○ 講習修了者 ○ （ ）級ボイラ技士
	危 険 物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷 凍 機	○ 資格不要 ○ 第（ ）種冷凍機械作業主任者

	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水	水道局	水理計算書を提出し、既存引込40mmで使用可	令和 7 年 3 月 27 日
排 水			令和 年 月 日
消 防			令和 年 月 日
浄 化 槽			令和 年 月 日
ガ ス			令和 年 月 日
そ の 他			令和 年 月 日
			令和 年 月 日

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
					2025/ 4/ 8		
	図面名称	特記仕様書（２）			縮 尺		
					S=1/NS		M-02

作
品
名
称
令和 2 年 6 月

標準準図 1

洗面器廻り・インパート樹・和風大便器据付

※台面の高さは鏡取付位置を建築と調整して、施工すること。
 ※女性利用の鏡の高さは男性利用高さより100mm程度低く取り付ける。
 ※車椅子利用者が想定される場合は(標準準図3)を参照する。

和風大便器取付要領図

Y型インパートの切り方

支えブロック製作要領

注: 水が配管方向に流れる様にする。

図にもあみ多つける

(イ) 支えブロックはセメントモルタル製とし、必要に応じ鉄筋を入れる。
 (ロ) Hは、仕上げ床面に応じ定める。
 (ハ) 支えブロックの形状、寸法は便器に適合したものとす。

県標準図 2

大便器廻り納まり図

作

図

平成28年 7月

和式トイレ納り図

洋式トイレ納り図

一般腰掛便器

平面

平面

側面

側面

(参考) 一般的な便器の高さは 約400
(車いす対応便器の高さは約450)

県標準図 3	障害者トイレ（バリアフリートイレ）	作 図 平成28年 6月
--------	-------------------	-----------------

平面

（便器と手すりの主な位置関係）

※ 車いす対応便器

立面 A 視

（洗面器と手すり等の位置関係）

※ 車いす対応便器

立面 B 視

（手すりとアクセサリ等の位置関係）

※ 車いす対応便器

立面 C 視

（便器と手すりの高さ関係）

※ 車いす対応便器

標準図 4	受水槽廻り納まり図
平成 30 年 6 月	

This diagram illustrates the installation of a water tank with various components and connections. The main components include:

- Water Inlet:** 上水流入 (Water Inlet) with a 水管防止装置 (Water Pipe Protection Device).
- Water Level Control:** 定水位弁 (Fixed Water Level Valve) and 電磁弁装置 (Electromagnetic Valve Device).
- Water Tank:** 受水槽 (Water Tank) with an オーバーフロー (Overflow) pipe.
- Water Distribution:** 排水管 (Drainage Pipe) and 排水管 (Drainage Pipe) leading to 排水口 (Drainage Outlet).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).
- Water Level Control:** 定水位弁 (Fixed Water Level Valve) and 電磁弁装置 (Electromagnetic Valve Device).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).
- Water Level Control:** 定水位弁 (Fixed Water Level Valve) and 電磁弁装置 (Electromagnetic Valve Device).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).

(定水位弁電磁弁制御方式＋自動給水ポンプユニット制御方式の場合)

電極水位設定例

This diagram illustrates the installation of a water tank with various components and connections. The main components include:

- Water Inlet:** 上水流入管 (Water Inlet Pipe) with a 地盤 (Ground) level.
- Water Tank:** 受水槽 (Water Tank) with an オーバーフロー管 (Overflow Pipe).
- Water Distribution:** 排水管 (Drainage Pipe) and 排水管 (Drainage Pipe) leading to 排水口 (Drainage Outlet).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).
- Water Level Control:** 定水位弁 (Fixed Water Level Valve) and 電磁弁装置 (Electromagnetic Valve Device).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).
- Water Level Control:** 定水位弁 (Fixed Water Level Valve) and 電磁弁装置 (Electromagnetic Valve Device).
- Water Level Measurement:** 有防水量線 (Water Level Measurement Line) and 空箱保護 (Empty Box Protection).

配管支持例

→ 配管支持箇所

※ 耐震用緊急遮断弁を設ける場合は水槽側から支持固定を行うこと。

県標準図 5

流し廻り・水栓柱・止水栓ボックス

作 図
平成 30 年 6 月

※瞬間湯沸器等がある場合は上部の棚、水切り「イ」照明器具、換気扇等に注意して納めること。

流し部分平面図

流し下開口補修方法詳細図

(穴があきすぎた場合の補修方法)

水栓柱の固定方法(後が壁の場合)

バルブB0X(φ40A以下の場合)

作 図
平成28年 6月

県標準図 6

制水弁（仕切弁）ボックス（50～150A）

- 車道用鉄蓋・組立式BOX（T-25）。
- 鉄蓋は、蓋・受枠カラー表示、水流方向・口径表示、口環矜付。
- 必要により高さ及び路面勾配調整のための専用調整リングを使用する。
- 管上高さ、弁サイズによりBOX組み合わせを設定する。内径Dは250以上。
- 下図鉄蓋図柄及びBOX形状は参考。
- ボックス内には設置年月・サイズ・系統名を明記した亚克力プレート进行けること。
- ボックス内に設けるプレートにはペン書きまたはカッティングシートとすること。
- 蓋の据付け方向には注意のこと。

鉄匠コンクリート製の例
(罩竹、ダイマンなど)

ハイビット、レジンコンクリート製などの例
(目之出、ダイマンなど)

系統名亚克力板
(文字書きはペンキ
又はカッティングシート貼り)

製 作
平成28年 8月

県標準図 7

樹脂製インバート樹(ビニマス)・防護蓋

防護蓋の設置高さはアスファルトや
コンクリートでは上部すり合わせするが、
土や砂利等の場合は事前に土上げ高さを
確認しておく。

防臭キャップの取付高さは製造者の指定
された高さとし、立ち上がりパイプ内部
に土などが入りにくく、蓋が閉まる高さ
とする。
(Macawa・アロンマス・タキロン)

立ち入りパイプは水平な切り口とし、
バリを除去して防臭パッキンを
埋めさせる。

ビニマスの下流部にV/P配管で
接続する時はV/P変換ソケット
を使用して、上りの段差なく
接続する。

ビニマスの差し込み部に挿入して、
隙間は倉小間とする。

ビニマス内に付着した接着剤等は除去する。

※ ビニマス周囲の保護砂は管上100まで埋め戻す。

樹脂製インバート樹の施工における主な注意点

県標準図 8


コンクリート標立柱

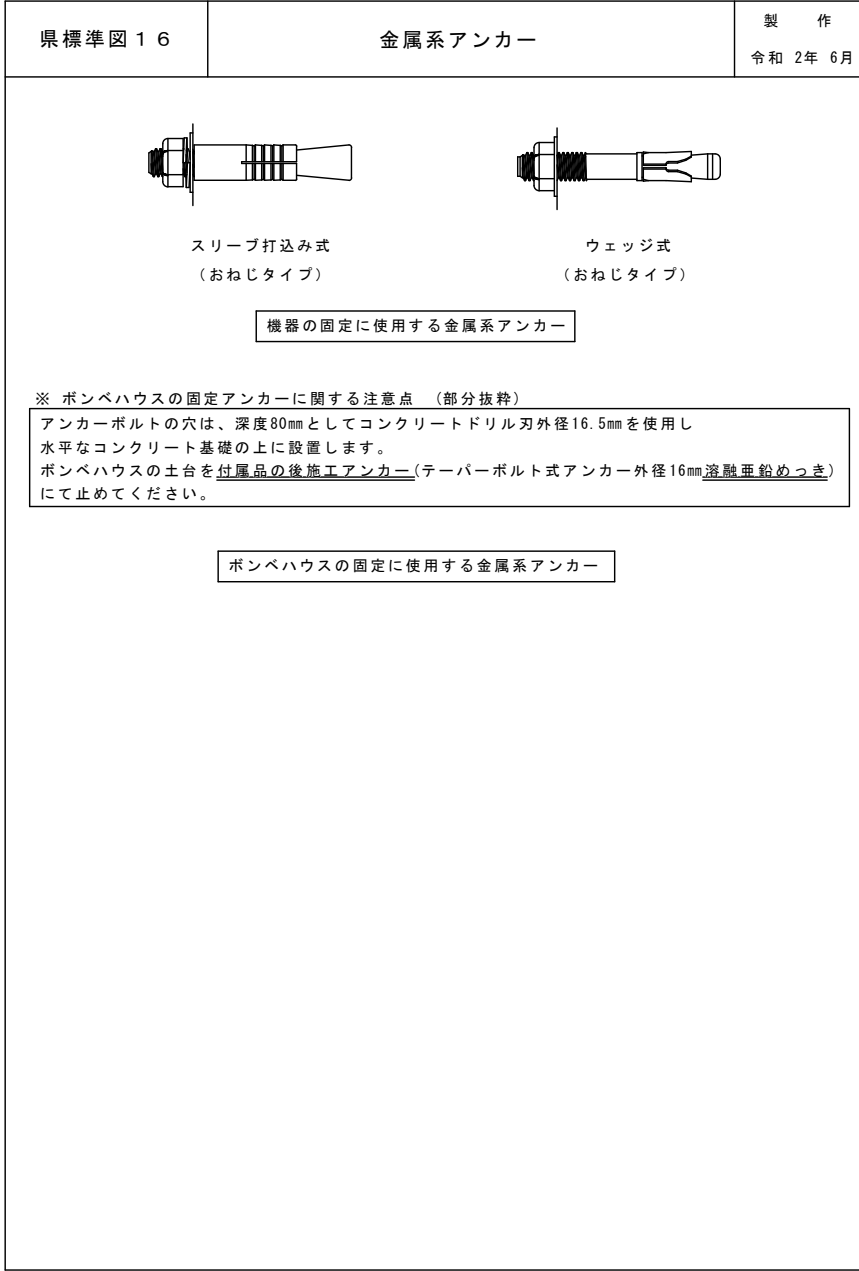
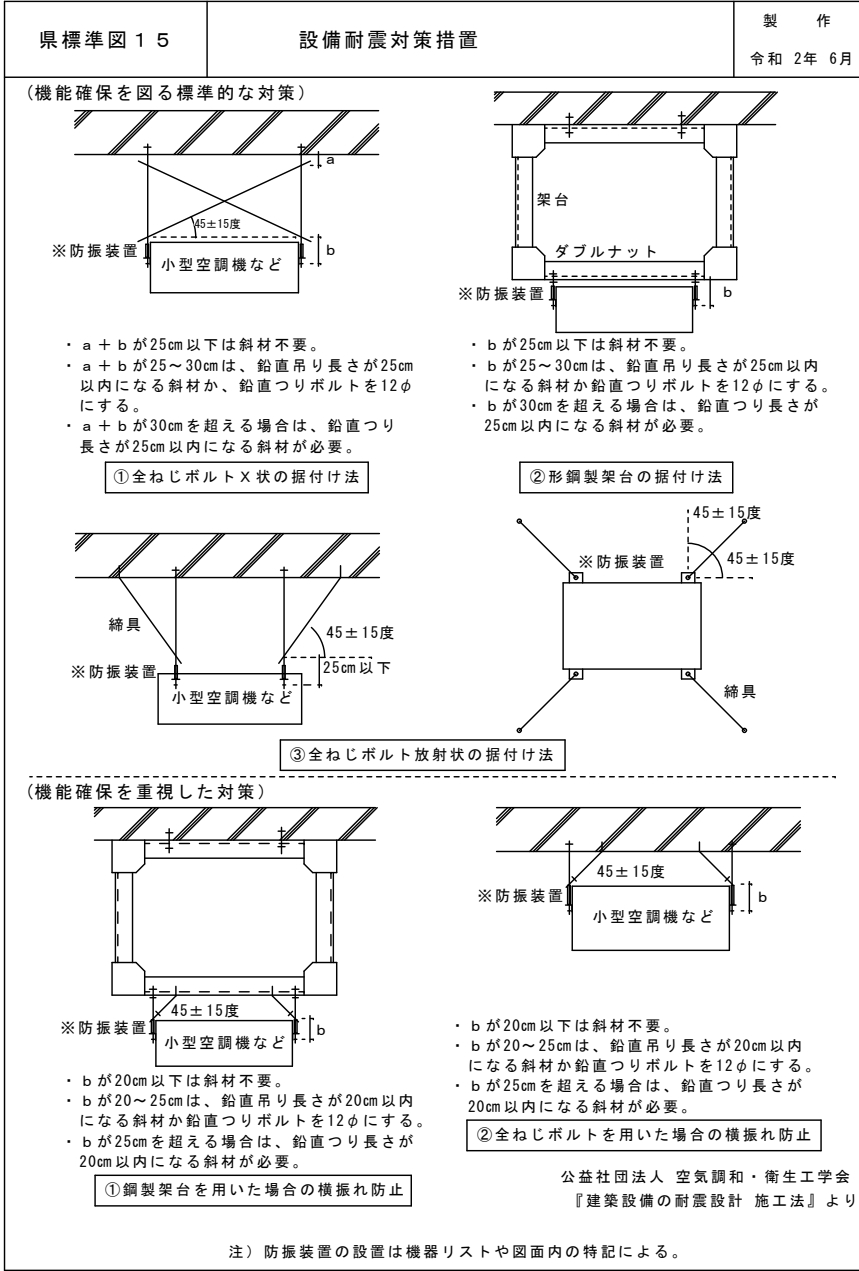
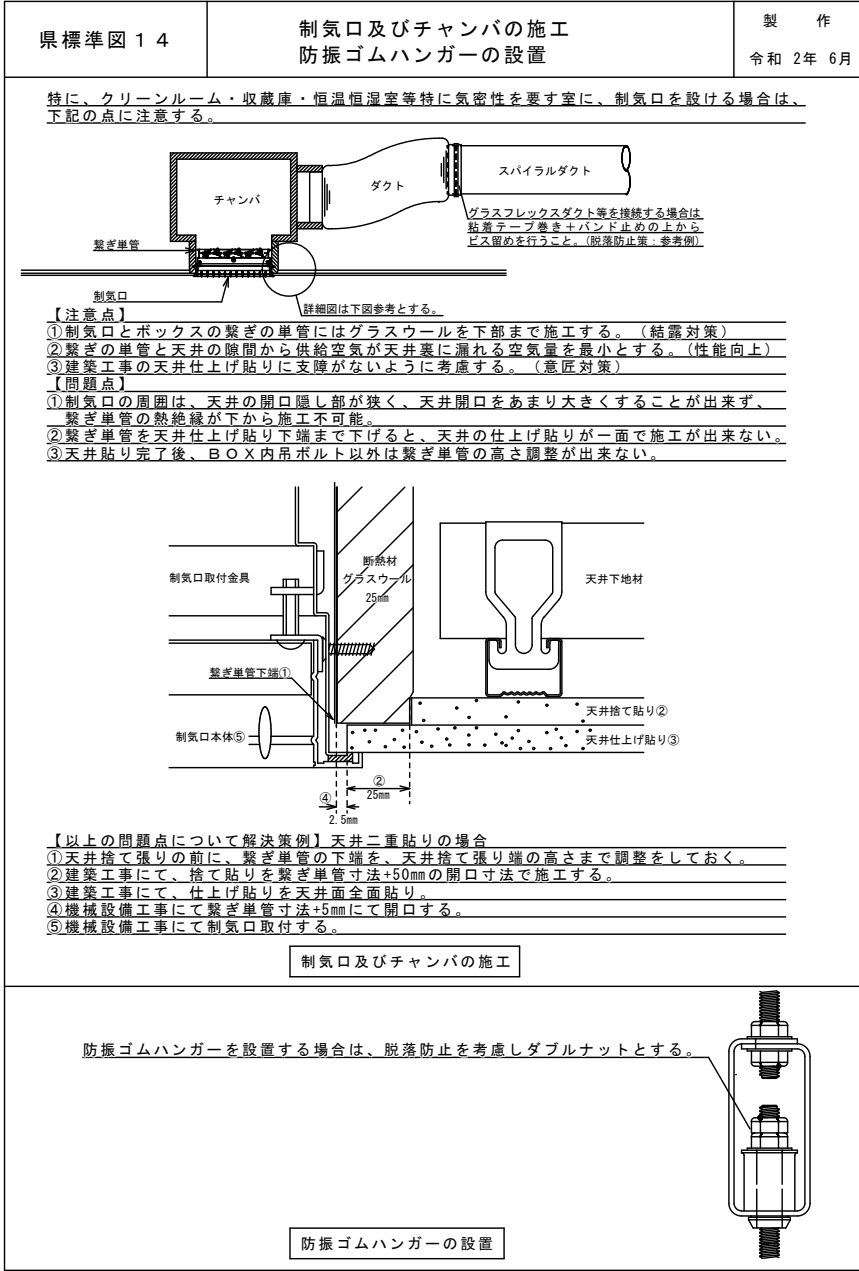
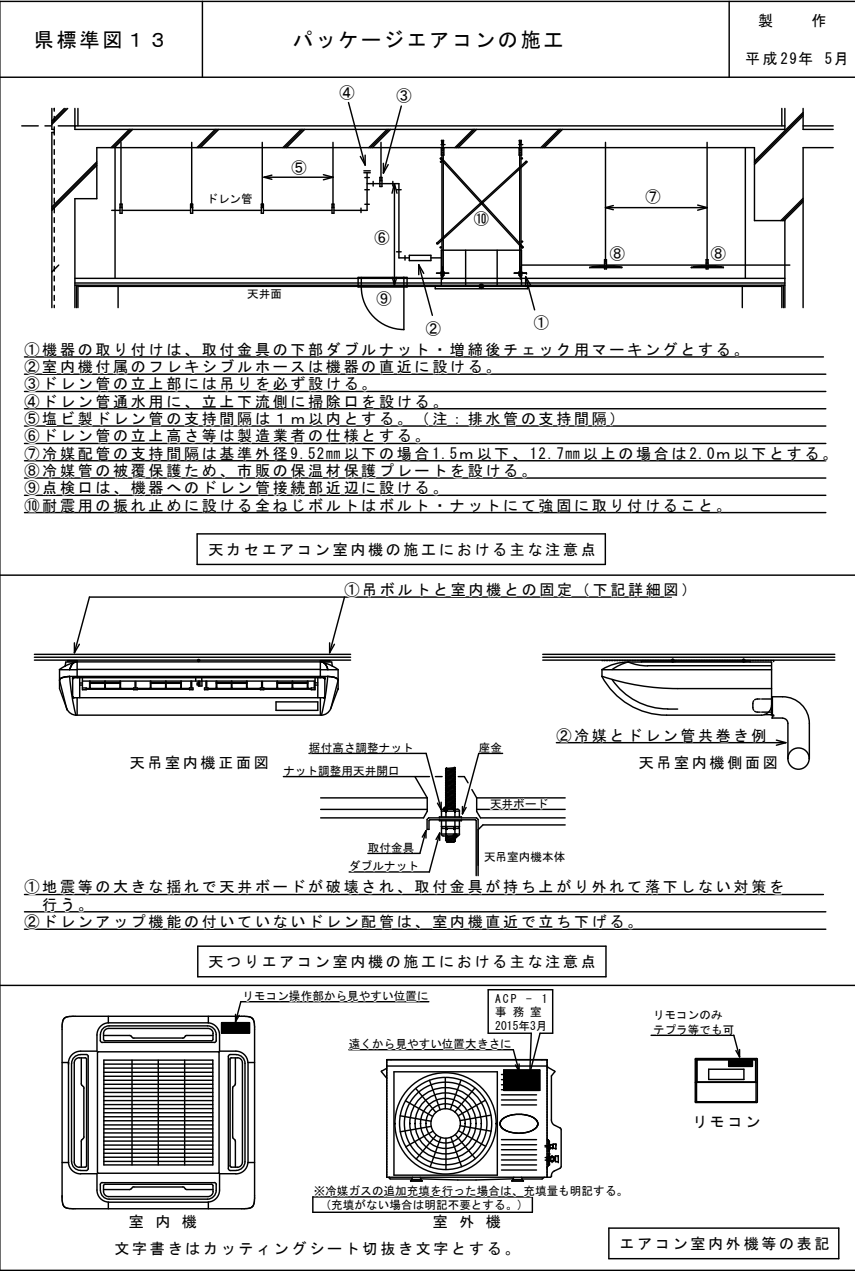
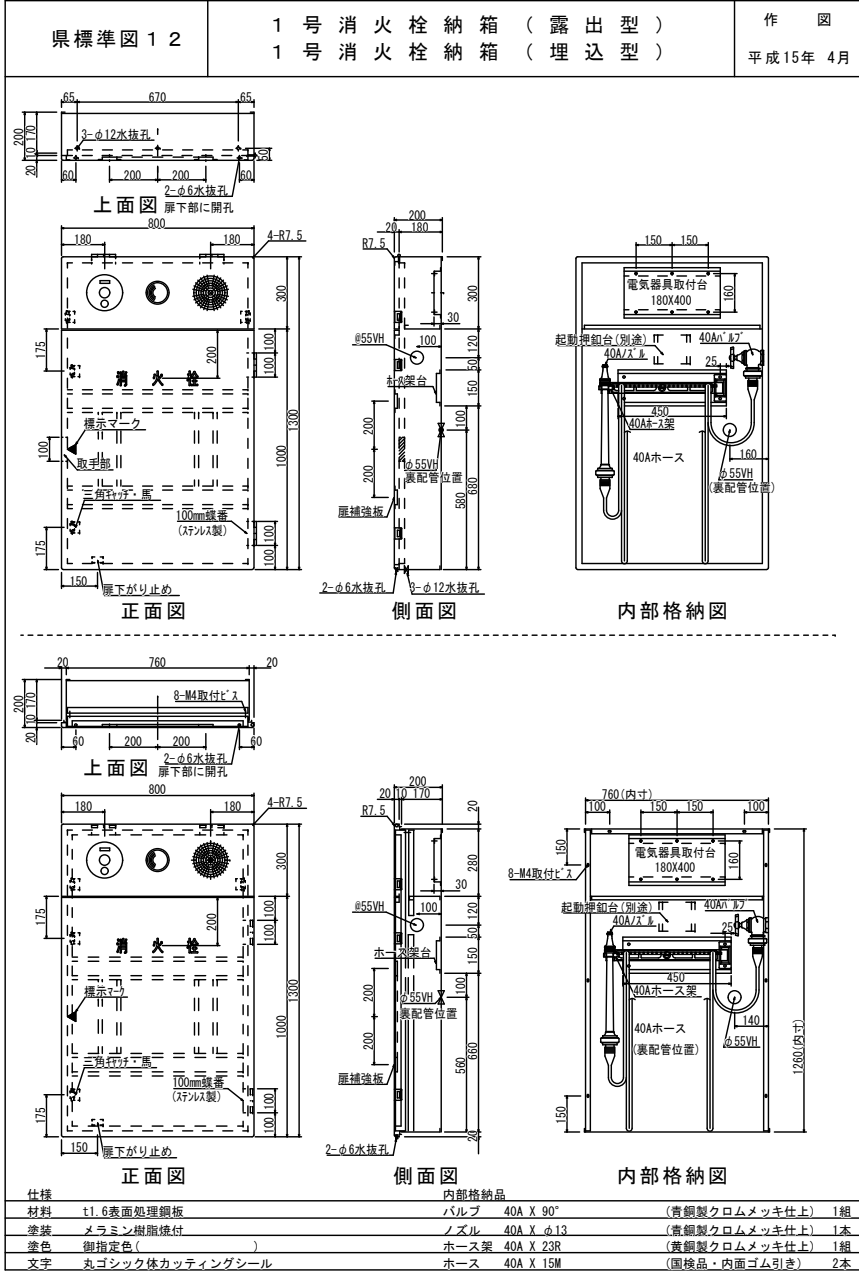
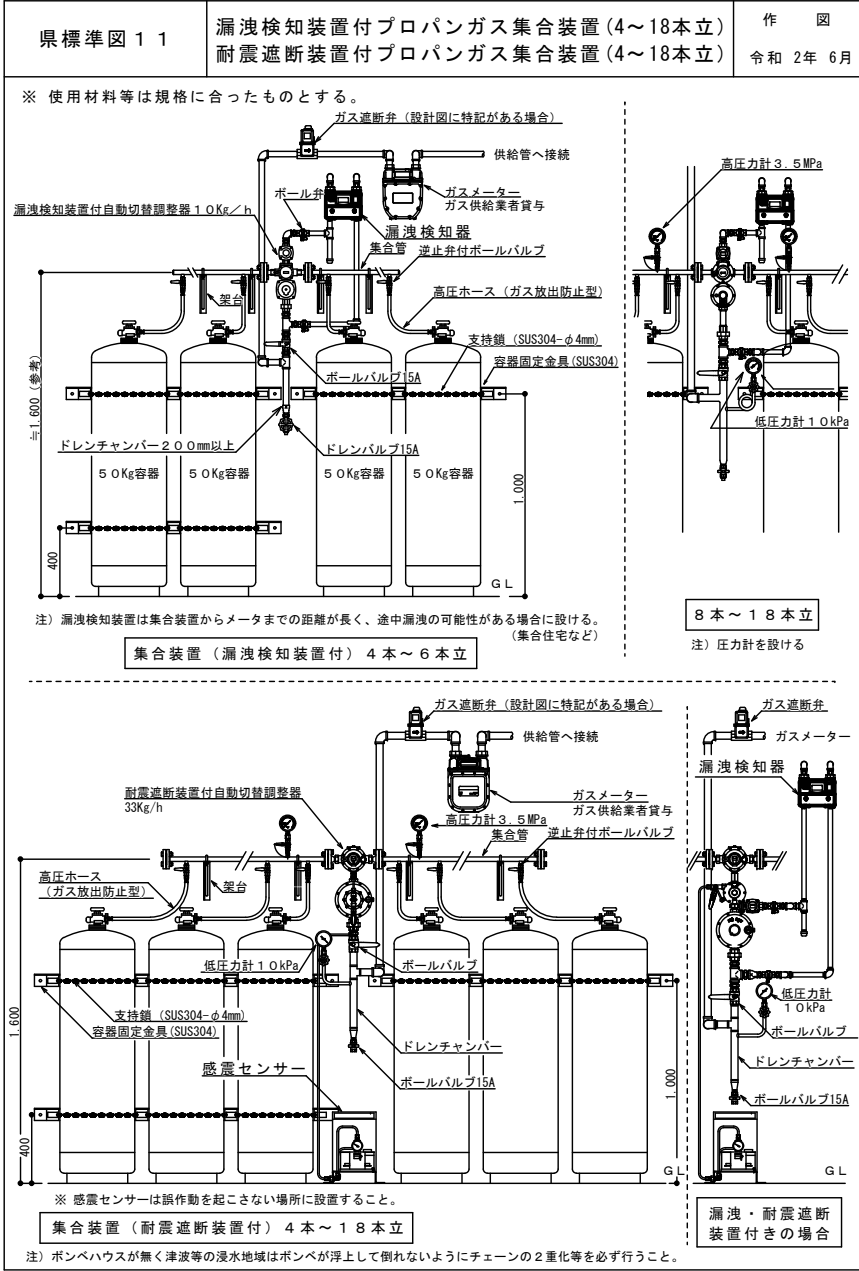
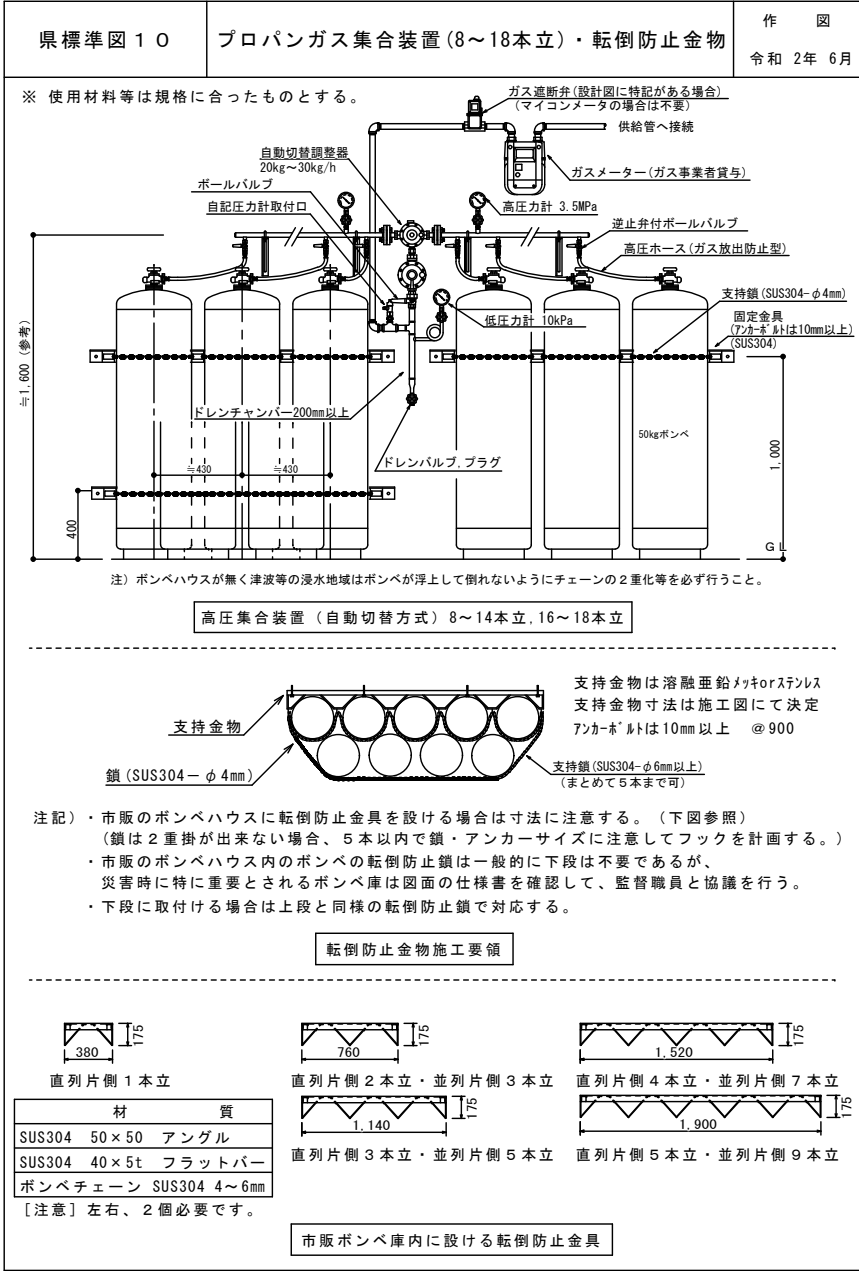
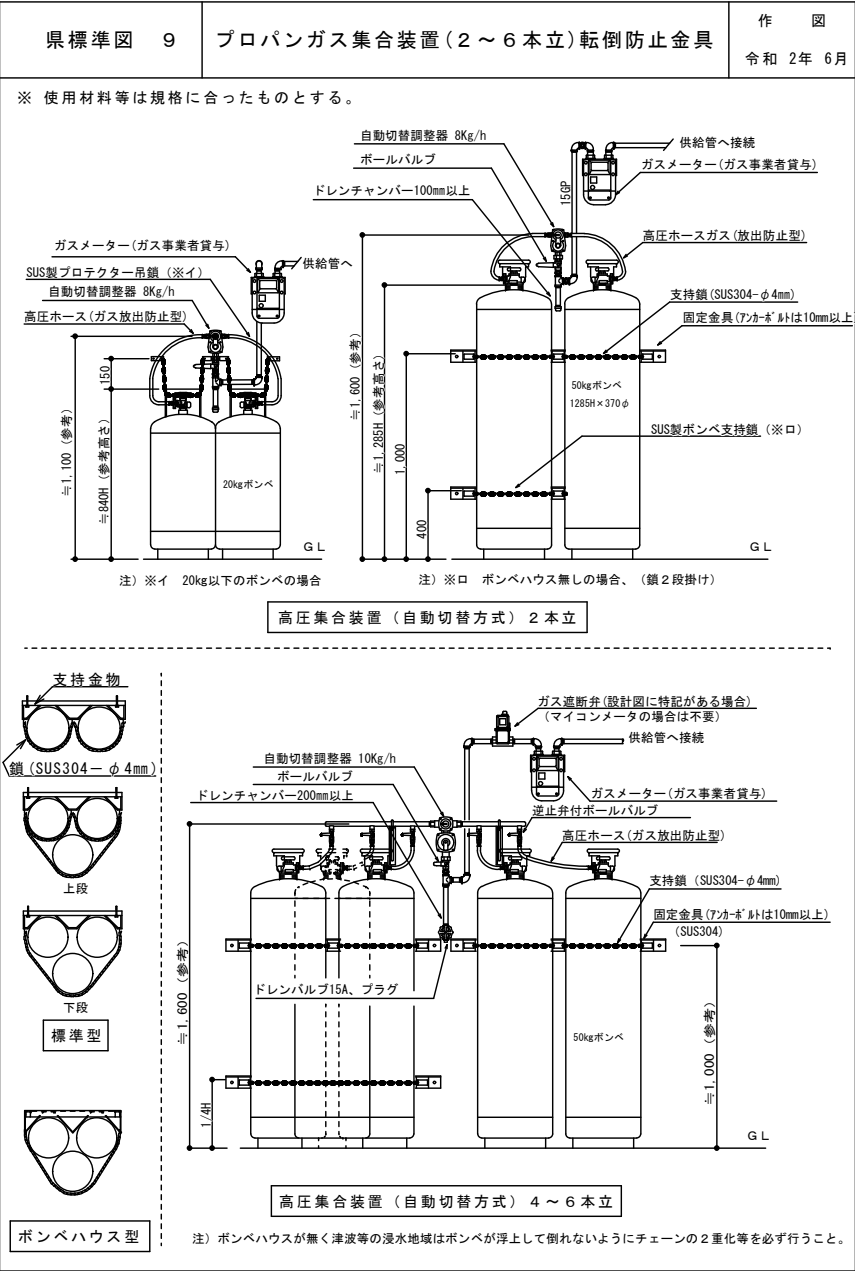
作 図
平成28年 6月

A-A断面図

B-B断面図

矢印及び溝部は指定色 (マントル値)	
給水管	10B 5/10
消火管	7.5R 4/14
ガス管	7.5Y 9/12
オイル管	

特記事項	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日 2025/ 3/30	 株式会社 若竹 まちづくり 研究所 開設者 一級建築士 佐藤 八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松 道就 第223530号	図面番号 M-03
	図面名称 特記仕様書（3）			縮 尺 S=1/NS		



名 称	* 品番は参考とし同等品以上とする																	合 計
	主要器具	付属品	5 歳児 W C	4 歳児 W C	3 歳児 W C	2 歳児 W C	1 歳児 W C	沐浴室	多目的 W C	M W C ・ W W C	休憩室 W C	調理室	洗浄室	下処理室	検収室	プレイコート	屋外	
幼児用大便器（1～2歳児用）ロータンク （暖房便座）	CS310B	C300BK, T82C38, TCF41R, HP4307 TS310SGR				3	3											6
幼児用大便器（3～5歳児用）ロータンク （暖房便座）	CS300B	S300BK, T82C38, TCF40, TS300SGR	3	4	3													10
幼児用和風便器（隅付タンク）	G103VCS	S570BKS, TS750ZSGRR32, TS572D T82CR32, TS670FZUS, T56H5R	1															1
大便器 ロータンク 蓋無し （瞬間式温水洗浄便座）	CS597BS	SH596BAR, TCF5841AUP							1									1
大便器 ロータンク 手洗付 蓋あり （貯湯式温水洗浄便座）	CS597BS	SH597BAR, TCF5514	1	1	1	1				2	1							7
幼児用小便器（キッズゲリラ付）	U310GY	T601P, T64CP, T9R	3	3	3	2	2											13
壁掛手洗器（自動水栓）	LSE870APS									1								1
壁掛洗面器（自動水栓）	LS722C	TLE28SA1W, TLDP2201JA, TL220D						1										1
壁掛洗面器（自動水栓）	L270C	TLE28SA1A, TLDP2201JA, TL220D							1									1
スタッフ用手洗器（AC100V サーマ）	LSE850SP											2	1	1	1			5
幼児用マルチンク（高さ500・幼児用レバー水栓）	SKL300LEAPZ				1	1	1											3
幼児用マルチンク（高さ600・幼児用レバー水栓）	SKL300HEAPZ		1	1														2
掃除流し	SK322	T200SNR13C, TK22, T9R, T37SGEP					1											1
汚物流し（タンク・給水栓有・補高台有）	SKL330TNFPR						1	1										2
鏡	YM6090F								1									1
鏡	YM3045FA									1								1
鏡	YM3045A											2	1	1	1			5
紙巻器	YH500		4	4	3													10
紙巻器	YH702		1	1	1	1			1	2	1							8
可動式手すり	T112HK7R	T110D25							1									1
L型手すり	T112CL10	T110D23×2, T110D35							1									1
I型手すり	YYB10	T110D16×2	4	4	3													11
幼児用手すり（ぞう）紙巻器付	YYB10P2S	T110D55				3	3											6
ベビースト	YKA25N	YPH67109, YPH62022×2							1									1
幼児用シャワーバス	PFS1100S	PZ6031×4	1	1	1	1	1											5
幼児用バス	PFS1400CBR							1										1
洗濯機バス	PWSP64H2W							1										2
洗濯機用水栓	TW11R							1							1		2	4
シャワー付混合水栓（金属ネス）	THTBV034A1															2	1	3
埋め込み形シャワー	TB18RR	TBH9															3	3
レバー混合水栓（壁付）	TKS05311J											4	1	3	1			9
給水栓（壁付）	T130AEQF13C												1					1
給水栓	T200SNR13C															10	2	12
散水栓	T28UNH13																1	1

GT ゲリラストラップ
FRP製 バイブ式地中埋設専用 流入流量50L/min以上
嵩上げ部材 鋼板製蓋

WHG-1 ガス給湯器（給湯専用）	
16号屋外壁掛け型 メインリモコン リモコンコード	1
逆止弁付BAV15A SUS製フルキ15A×300L×2	
可とう管コック15A 可とう管金属フルキ15A×300L	
水撃防止装置15A リモコン配線・取付本工事	

WHG-2 ガス給湯器（給湯専用）	
20号屋外壁掛け型 メインリモコン リモコンコード	2
逆止弁付BAV15A SUS製フルキ20A×300L×2	
可とう管コック15A 可とう管金属フルキ15A×300L	
水撃防止装置15A リモコン配線・取付本工事	

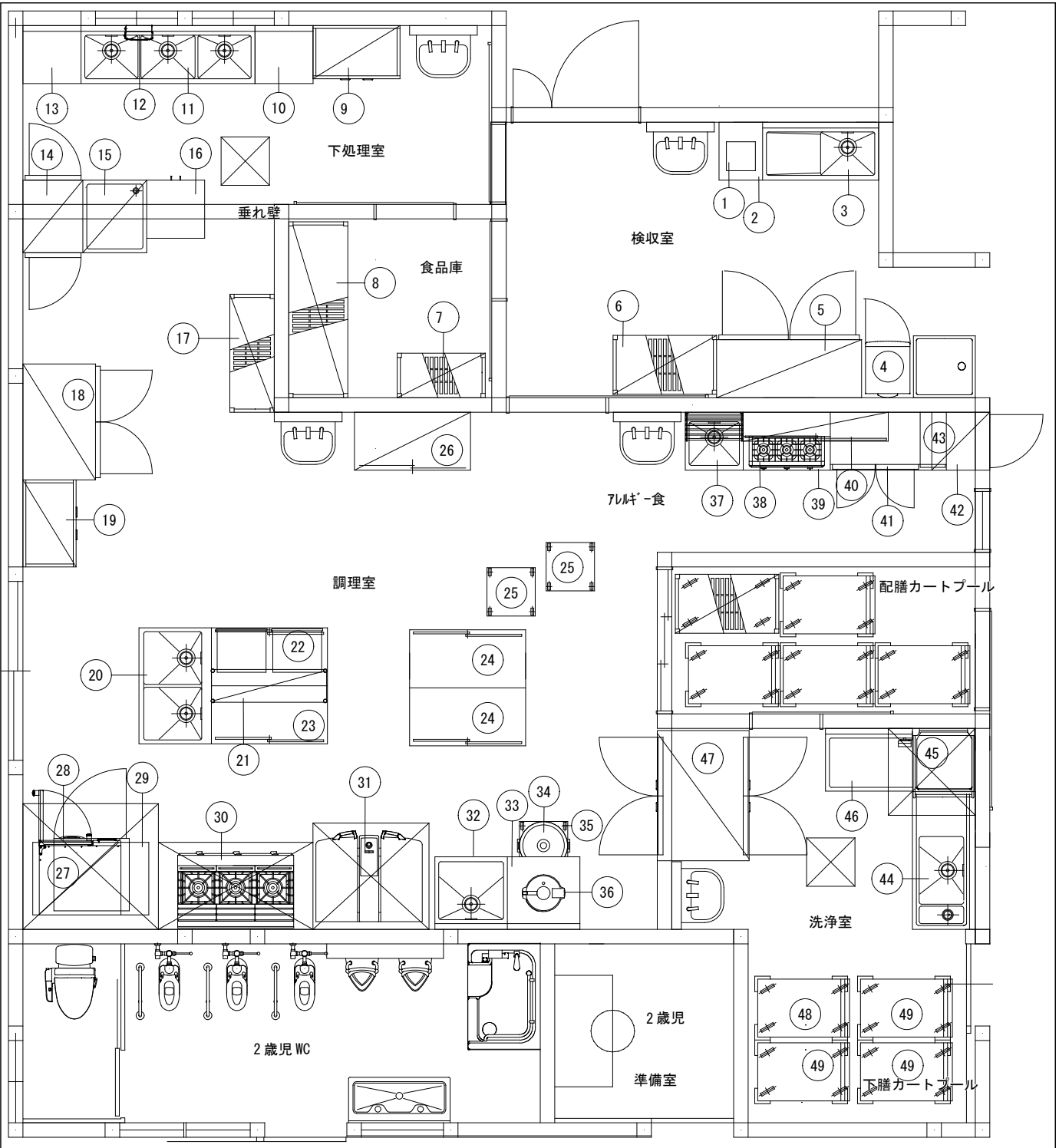
WHG-3 ガス給湯器（給湯専用）	
24号屋外壁掛け型 メインリモコン リモコンコード	2
逆止弁付BAV15A SUS製フルキ20A×300L×2	
可とう管コック20A 可とう管金属フルキ20A×300L	
水撃防止装置15A リモコン配線・取付本工事	

WHG-4 マルチガス給湯器（潜熱回収・給湯専用）	
32号×2台屋外設置型 メインリモコン リモコンコード	1
BAV40A SUS製フルキ40A×500L×2	
GC40A SUS製フルキ40A×500L	
マルチ架台・架台カバー・配管・フル等セット一式	
リモコン配線・取付本工事	

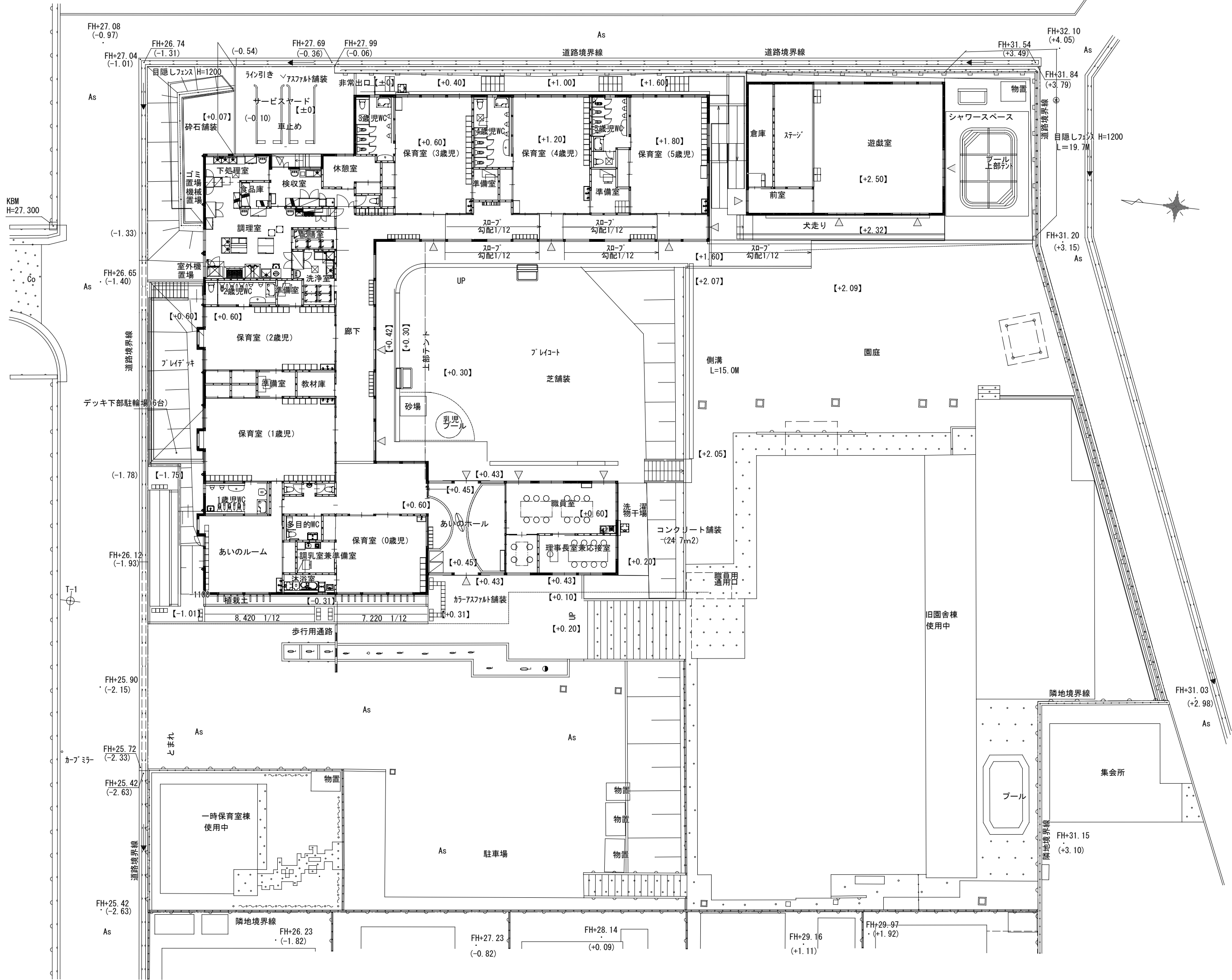
特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。 ※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日 2025/ 4/ 8	株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号 M-05
	図面名称 衛生器具・機器リスト			縮尺 S=1/NS		

< 機 器 一 覧 表 > ※ 厨房機器は別途工事なので参考

工事名 あいの保育園厨房機器リスト														
No	機 具 名	品 番	数	寸 法			バ ッ ク ガ ー ト D/H	給水径 (A)	給湯径 (A)	排水径 (A)	ガ ス (LPG)		フ ー ド	備 考
				W (mm)	D (mm)	H (mm)					径 (A)	消費量 (KW)		
	<検収室>													
1	作業台		1	450	600	650								
2	デジタル台はかり	ITM-30	1	300	549	511								
3	一槽水切付シンク		1	1200	600	850	60/150	15	15	50				Slﾊﾞｰ混合水栓×1、甲型止水栓15A×2
4	検食用冷蔵庫	VF-K120W	1	460	585	1110								
5	冷凍冷蔵庫		1	1500	650	1910				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
6	カムシェリングシェルフ	CPU244272V4N	1	1070	610	1830								
	<食品庫>													
7	カムシェリングシェルフ	CPU183672V4N	1	910	460	1830								
8	カムシェリングシェルフ	CPU247272V4N	1	1820	610	1830								
	<下処理室>													
9	器具消毒保管庫		1	900	550	1900								Plﾄﾗｯﾌﾟ
10	作業台	SUS304	1	600	600	850	60/150							
11	三槽シンク	SUS304	1	1800	600	850	60/150	15×3	15×3	50×3				Slﾊﾞｰ混合水栓×3、甲型止水栓15A×6
12	電解水生成装置(壁掛式)	WOX-50WB-R	1	285	145	335		15		40				
13	作業台	SUS304	1	600	600	850	60/150							
14	ﾊﾞｽｽﾙｰ冷蔵庫		1	625	850	1910				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
15	水切キャビネット台		1	660	750	850				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
16	包丁まな板殺菌庫	TNS-60SF	1	600	500	1150				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
	<調理室>													
17	カムシェリングシェルフ	CPU184872V4N	1	1220	460	1830								
18	冷凍冷蔵庫		1	1200	800	1910				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
19	器具消毒保管庫		1	900	550	1900				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
20	二槽シンク		1	1200	750	850		15×2	15×2	50×2				Slﾊﾞｰ混合水栓×2、甲型止水栓15A×4
21	上棚(1段棚)		1	1200	350	500								
22	台下戸棚(引出付)		1	1200	600	850								
23	台下戸棚		1	1200	600	850								
24	台下戸棚		2	1200	600	850								
25	移動台		2	500	500	700								
26	戸棚		1	1200	600	1850								
27	電気スチームコンベクションオープン	ICP61E	1	850	842	808		20		HT50			要	BAV20A、Plﾄﾗｯﾌﾟ
28	ラビッドチラー		1	780	750	850				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
29	スチコン架台		1	1200	780	890								
30	ガステーブル		1	1200	750	850	25/200				20	46.1	要	GC20A
31	アイバリオプロ(専用脚部付き架台セット)	iVario Pro2-S	1	1100	938	1080		20		HT50			要	Plﾄﾗｯﾌﾟ
32	一槽シンク		1	750	750	850	60/150	15	15	50				Slﾊﾞｰ混合水栓×1、甲型止水栓15A×2
33	炊飯台		1	750	750	800	60/150							
34	ガスマイコン炊飯器(5升用)	RR-S500G2-H	1	566	506	460					9.5	10.20		双口ヒューズﾞｺｯｸ
35	炊飯キャスター		1	500	500	300								
36	IHジャー炊飯器	SR-PGC36	1	502	429	410								
	<アレルギー食>													
37	一槽シンク		1	600	600	850(1350)	70/150	15	15	50				Slﾊﾞｰ混合水栓×1、甲型止水栓15A×2
38	卓上コンロ	M-823E	1	780	350	164					9.5	10.5		GC20A
39	コンロ台		1	900	600	700(850)								
40	吊戸棚(壁付)		1	1200	300	900								
41	台下冷蔵庫		1	1200	600	850				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
42	作業台		1	300	600	850								
43	ﾊﾞｽﾎﾞｯｸｽ(両面式)		1	600	600	900								
	<洗浄室>													
44	ソイルドテーブル		1	1400	650	850	70/150	15×2	15	50×2				Slﾊﾞｰ混合水栓×1、単水栓×1、甲型止水栓15A×2
45	食器洗浄機	JWE-580UC	1	640	655	1432			15	50×2			要	BAV20A、Plﾄﾗｯﾌﾟ×2
46	クリーンテーブル		1	900	650	850	70/150							
47	食器消毒保管庫(ﾊﾞｽｽﾙｰ)		1	1340	950	1900				40				Plﾄﾗｯﾌﾟ
	<カートプール>													
48	配膳ワゴン		1	1000	660	700								
?	配膳ワゴン		3	1000	660	700								
50	コンテナカート	CPMU243675V4N	1	910	460	1920								

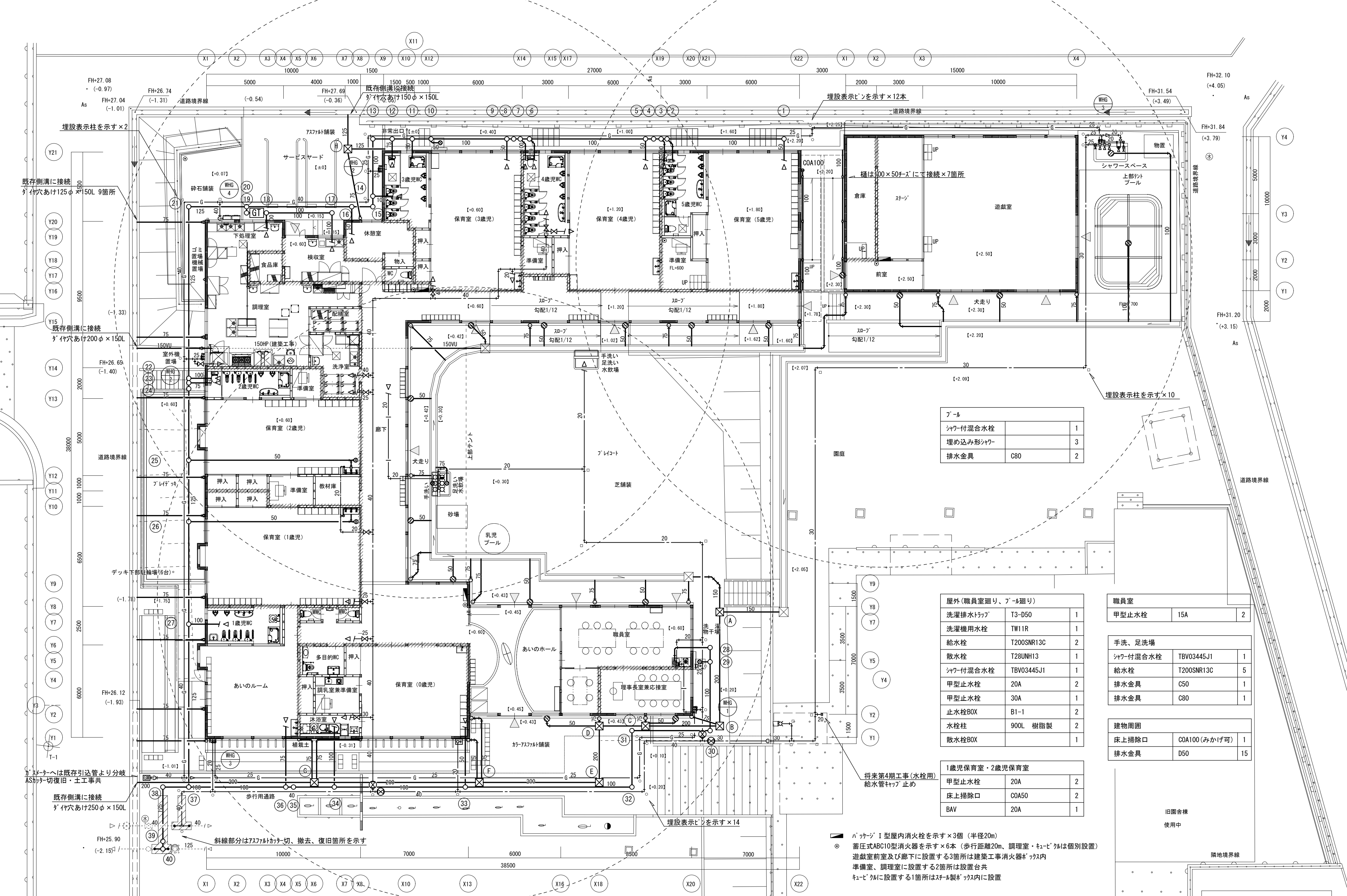


特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
					2025/ 4/ 8		
	図面名称	厨房機器リスト（参考）			縮 尺		
					S=1/NS		M-06



新設汚水樹リスト 防護蓋は袋穴式とする							
記号	種 類	大 き さ 接続口×管径-蓋径	管 底 設計GL	設計GLから 現地GL	管 底 現地GL	蓋	備 考
①	樹脂製樹	DR×100-200A	+1300 +650	+2200	-900	樹脂製蓋(タンアップ)	
②	樹脂製樹	90Y×100-150A	+575	+1000	-425	樹脂製蓋(タンアップ)	
③	樹脂製樹	90Y×100-150A	+570	+1000	-430	樹脂製蓋(タンアップ)	
④	樹脂製樹	DR×100-200A	+575 +55	+1000	-430	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑤	樹脂製樹	90Y×100-200A	+50	+1000	-950	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑥	樹脂製樹	90Y×100-150A	-25	+400	-425	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑦	樹脂製樹	90Y×100-150A	-30	+400	-430	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑧	樹脂製樹	DR×100-200A	-35 -545	+400	-945	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑨	樹脂製樹	90Y×100-200A	-550	+400	-950	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑩	樹脂製樹	90Y×100-200A	-600	+400	-1000	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑪	樹脂製樹	90Y×100-150A	-615	±0	-615	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑫	樹脂製樹	90Y×100-150A	-630	±0	-630	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑬	樹脂製樹	90L×100-150A	-645	±0	-645	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑭	樹脂製樹	90Y×100-200A	-685	+150	-835	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑮	樹脂製樹	90L×100-200A	-695	+150	-845	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑯	樹脂製樹	90Y×100-200A	-710	+150	-860	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑰	樹脂製樹	90L×100-150A	-500	+150	-650	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑱	樹脂製樹	90Y×100-150A	-545	+150	-695	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑲	樹脂製樹	90L×100-200A	-690	+150	-840	樹脂製蓋(タンアップ)	
⑳	樹脂製樹	90Y×125-200A	-780	+150	-930	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉑	樹脂製樹	90L×125-200A	-820	+70	-890	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉒	樹脂製樹	90Y×125-200A	-930	+400	-1330	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉓	樹脂製樹	90Y×125-200A	-935	+400	-1335	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉔	樹脂製樹	90Y×100-200A	-940	+400	-1340	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉕	樹脂製樹	90Y×125-200A	-985	+400	-1385	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉖	樹脂製樹	90Y×125-200A	-1030	+400	-1430	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉗	樹脂製樹	90Y×125-200A	-1100	+400	-1500	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉘	樹脂製樹	90L×100-200A	-500	+200	-700	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉙	樹脂製樹	90Y×100-200A	-510	+200	-710	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉚	樹脂製樹	90L×100-200A	-555	+200	-755	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉛	樹脂製樹	90L×100-200A	-605	+430	-1035	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉜	樹脂製樹	90L×100-200A	-640	+200	-840	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉝	樹脂製樹	90Y×100-200A	-750	+100	-850	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉞	樹脂製樹	90Y×100-150A	-835	-500	-335	樹脂製蓋(タンアップ)	
㉟	樹脂製樹	DR×125-200A	-865 -2335	-890	-1445	樹脂製蓋(タンアップ)	
㊱	樹脂製樹	90Y×100-200A	-2340	-890	-1450	樹脂製蓋(タンアップ)	
㊲	樹脂製樹	90Y×125-200A	-2405	-1700	-705	樹脂製蓋(タンアップ)	
㊳	樹脂製樹	90L×125-200A	-2425	-2000	-425	樹脂製蓋(タンアップ)	
㊴	樹脂製樹	DR×125-200A	-2460 -2795	-2000	-795	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	
㊵	樹脂製樹	90Y×125-200A	-2800	-2000	-800	防護蓋(T-8, 止水キャップ)	

雨水樹リスト							
記号	種 類	大 き さ	管 底 設計GL	設計GLから 現地GL	管 底 現地GL	蓋	備 考
Ⓐ	既製品樹	450□	-350	+200	-550	CB-S450	
Ⓑ	既製品樹	450□	-425	+200	-625	CB-S450	
Ⓒ	既製品樹	450□	-475	+430	-905	MHB450	
Ⓓ	既製品樹	450□	-505	+430	-935	MHB450	
Ⓔ	樹脂製樹	450□	-540	+200	-740	MHB450	
Ⓕ	既製品樹	450□	-620	+100	-720	MHB450	
Ⓖ	既製品樹	450□	-720 -1000	-700	-300	MHB450	
Ⓗ	既製品樹	450□	-550	±0	-550	MHA450	



特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。
※ 防火区画貫通部通気配管は、75φ以下は硬質ビニル管又は耐火二層ビニル管とする。隙間部はモルタル埋めとする。耐火二層ビニル管は国土交通省認定品とする。

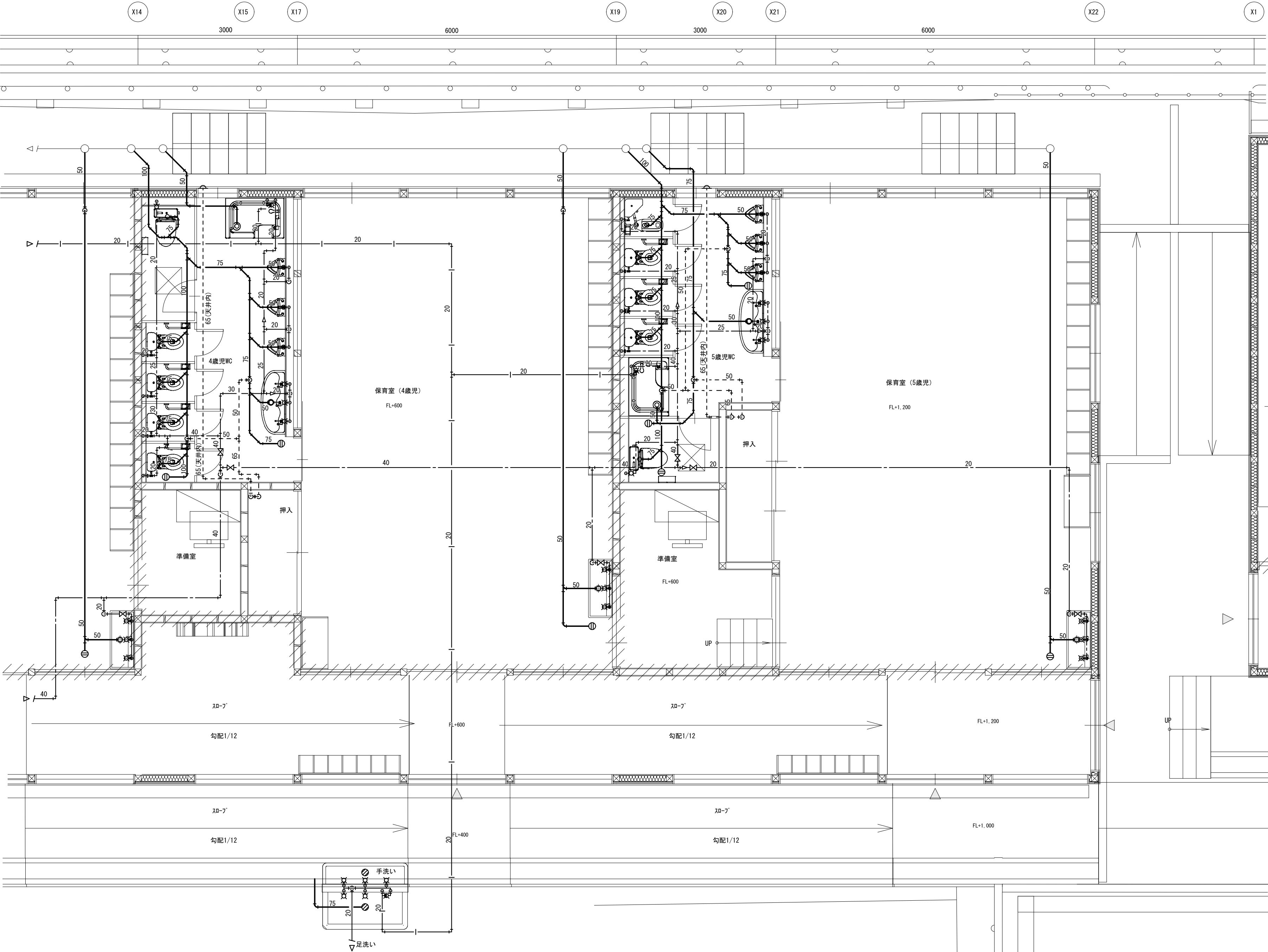
工事名称 あいの保育園改築工事
図面名称 平面図

Draw Check
作成年月日 2025/ 4/18
縮尺 S=1/150

株式会社若竹まちづくり研究所
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号 M-08

A2印刷は 100%出力、A3印刷は70. 7%出力



5歳児WC・保育室（はな組）		
通気金物	VCS2-65	1
床上掃除口	COA50	1
床上掃除口	COA80	1
床上掃除口	COA100	1
甲型止水栓	20A	1
BAV	20A	1
BAV	40A	1

5歳児WC・保育室（はな組）		
幼児用大便器（ロ-タンク）	CS300B	3
幼児用和風便器（隅付タンク）	C103VCS	1
大便器 ロ-タンク 手洗付	CS597BS	1
幼児用小便器	U310GY	3
幼児用トイレシンク（高さ600）	SKL300HEAPZ	1
紙巻器	YH500	4
紙巻器	YH702	1
I型手すり	YYB10	4
幼児用シャワーバーン	PFS1100S	1

4歳児WC・保育室（ほし組）		
通気金物	VCS2-65	1
床上掃除口	COA50	1
床上掃除口	COA80	1
床上掃除口	COA100	1
甲型止水栓	20A	1
BAV	40A	2

4歳児WC・保育室（ほし組）		
幼児用大便器（ロ-タンク）	CS300B	4
大便器 ロ-タンク 手洗付	CS597BS	1
幼児用小便器	U310GY	3
幼児用トイレシンク（高さ600）	SKL300HEAPZ	1
紙巻器	YH500	4
紙巻器	YH702	1
I型手すり	YYB10	4
幼児用シャワーバーン	PFS1100S	1

手洗、足洗場		
シャワー付混合水栓	TBV03445J1	1
給水栓	T200SNR13C	5
排水金物	C50	1
排水金物	C80	1

3歳児保育室（ほし組）		
甲型止水栓	20A	1
床上掃除口	COA50	1

特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。
※ 防火区画貫通部通気配管は、75φ以下は硬質ビニル管又は耐火二層ビニル管とする。隙間部はモルタル埋めとする。耐火二層ビニル管は国土交通省認定品とする。

工事名称 あいの保育園改築工事
図面名称 詳細図（1）

Draw Check 作成年月日 2025/ 4/14
縮尺 S=1/50
株式会社若竹まちづくり研究所
開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号
図面番号 M-09

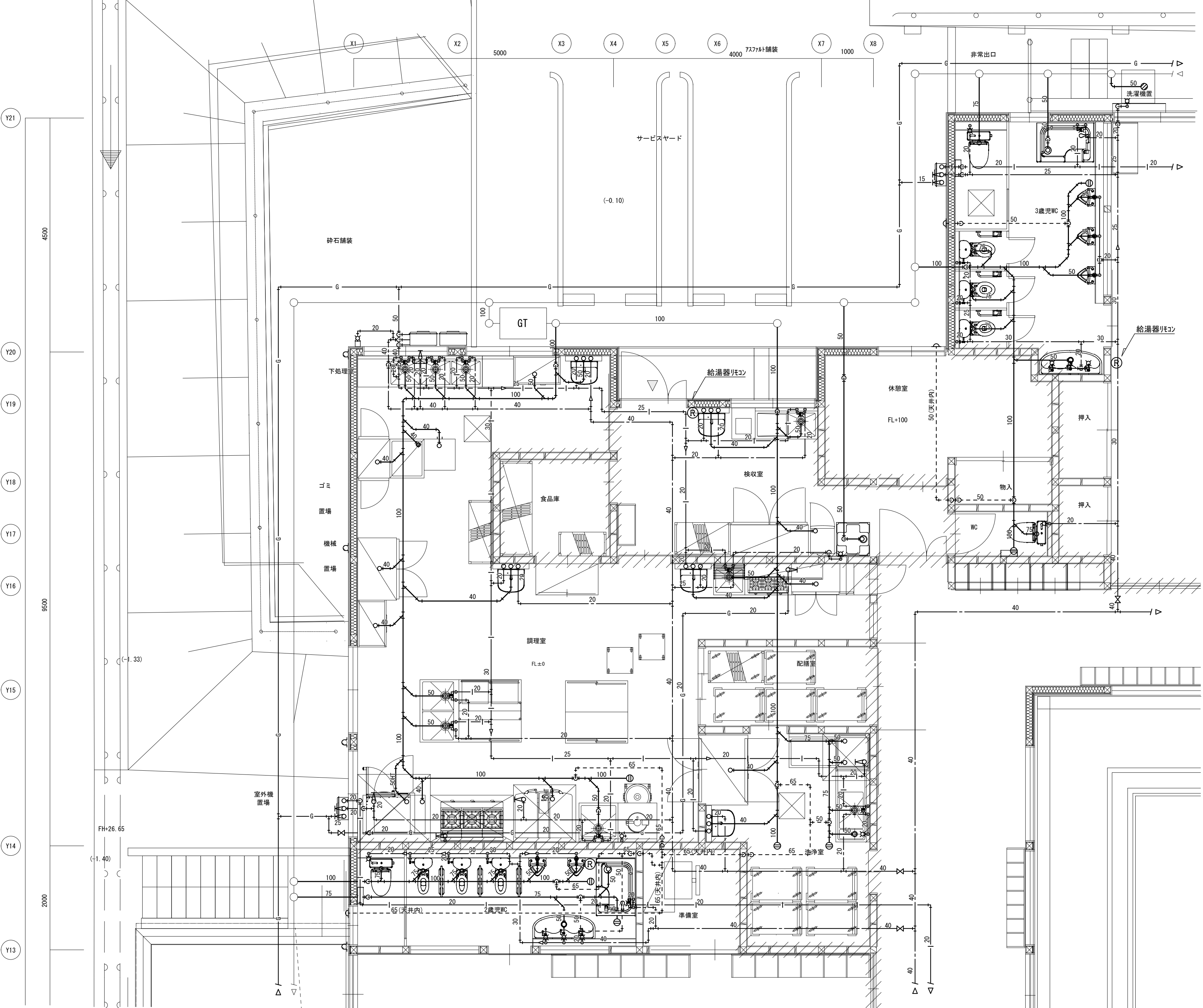
3歳児WC、休憩室		
幼児用大便器（ロータンク）	CS300B	3
大便器 ロータンク 手洗付	CS597BS	2
幼児用小便器	U310GY	3
幼児用マルチシンク（高さ500）	SKL300LEAPZ	1
紙巻器	YH500	3
紙巻器	YH702	2
I型手すり	YYB10	3
幼児用シャワーバトン	PFS1100S	1

3歳児WC・廻り、休憩室		
通気金物	VCS2-50	2
床上掃除口	COA100	2
BAV	40A	1
洗機排水トラップ	T3-D	1
洗濯機用水栓	TW11R	1

調理室、洗浄室、下処理室、検収室		
スタッフ用手洗器	LSE850SP	5
鏡	YM3045A	5
床上掃除口	COA80	1
床上掃除口	COA100	2
洗濯機バトン	PWSP64H2W	1
洗濯機用水栓	TW11R	1
BAV	40A	1
※その他、厨房機器リスト参照		
※トラップのない器具にはトラップを設けること		

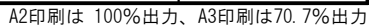
2歳児WC		
幼児用大便器（ロータンク）	CS310B	3
大便器 ロータンク 手洗付	CS597BS	1
幼児用小便器	U310GY	2
幼児用マルチシンク（高さ500）	SKL300LEAPZ	1
幼児用手すり（紙巻器付）	YYB10P2S	3
紙巻器	YH702	1
幼児用シャワーバトン	PFS1100S	1

2歳児WC		
通気金物	VCS2-65	1
床上掃除口	COA80	1
床上掃除口	COA100	1
BAV	40A	1



特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。 ※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。 ※ 防火区画貫通部通気配管は、75φ以下は硬質ビニル管又は耐火二層ビニル管とする。隙間部はモルタル埋めとする。耐火二層ビニル管は国土交通省認定品とする。	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw Check	作成年月日 2025/ 4/18 縮 尺 S=1/50	株式会社若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 M-10
	図面名称 詳細図（2）				

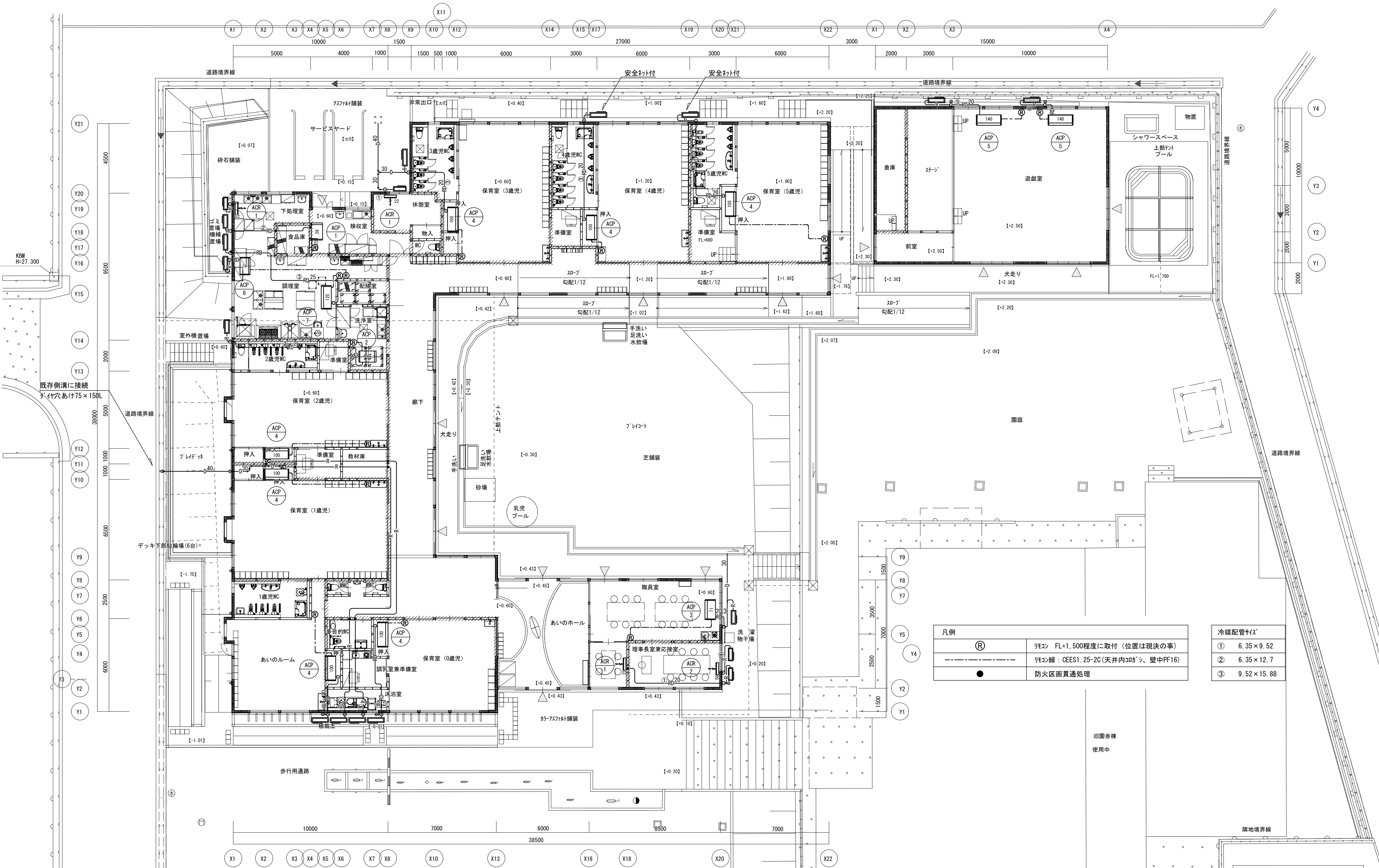
多目的WC		
大便器 ローカク 蓋無し	CS597BS	1
壁掛洗面器	L270C	1
鏡	YM6090F	1
紙巻器	YH702	1
可動式手すり	T112HK7R	1
L型手すり	T112CL10	1
ペビシート	YKA25N	1



空調機器リスト

エアコンの消費電力値は近似値で可とする

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		定格消費電力 kW	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
ACR-1	ルームエアコン	壁掛形	1	100	冷房	3	休憩室 下処理室
		冷房能力：定格2.2kw 暖房能力：定格2.2kw			0.66		職員室(小)
		冷媒配管6.35×9.52 ドレン管20A ワイヤレスリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			0.47		
ACR-2	ルームエアコン	壁掛形	1	100	冷房	1	理事長室兼応接室
		冷房能力：定格2.5kw 暖房能力：定格2.8kw			0.75		
		冷媒配管6.35×9.52 ドレン管20A ワイヤレスリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			0.63		
ACP-1	パッケージエアコン	天井かセット形1方向	3	200	冷房	1	検収室
		冷房能力：定格3.6kw 暖房能力：定格4.0kw			0.91		
		冷媒配管6.35×12.7 ドレン管25A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			1.01		
ACP-2	パッケージエアコン	天井かセット形1方向	3	200	冷房	1	洗浄室
		冷房能力：定格5.6kw 暖房能力：定格6.3kw			1.68		
		冷媒配管6.35×12.7 ドレン管25A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			1.75		
ACP-3	パッケージエアコン	天吊形	3	200	冷房	1	職員室(大)
		冷房能力：定格7.1kw 暖房能力：定格8.0kw			2.28		
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管20A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			2.41		
ACP-4	パッケージエアコン	天吊形	3	200	冷房	7	はな組(5歳児) ほし組(4歳児)
		冷房能力：定格10.0kw 暖房能力：定格11.2kw			2.72		にじ組(3歳児) つき組(2歳児)
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管20A ワイヤードリモコン ドレンアップメカ			暖房		ひかり組(1歳児) あいのルーム
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			2.85		おひさま児(0歳児)
ACP-5	パッケージエアコン	天吊形	3	200	冷房	2	遊戯室×2
		冷房能力：定格14.0kw 暖房能力：定格16.0kw			5.12		
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管20A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			5.01		
ACP-6	パッケージエアコン	厨房用天吊形	3	200	冷房	1	調理室
		冷房能力：定格7.1kw 暖房能力：定格8.0kw			2.14		
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管25A ワイヤードリモコン			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			2.23		
ACP-7	パッケージエアコン	厨房用天吊形	3	200	冷房	1	調理室
		冷房能力：定格12.5kw 暖房能力：定格14.0kw			3.81		
		冷媒配管9.52×15.88 ドレン管25A ワイヤードリモコン ドレンアップメカ			暖房		
		ブラロック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)			4.07		
	室外機安全ネット					2	はな組(5歳児) ほし組(4歳児)



特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。 ※ 防火区画貫通冷媒配管は、耐火キャップ等の貫通処理材とする。耐火キャップは国土交通省認定品とする。	工事名称 あいの保育園改築工事	Draw Check	作成年月日 2025/ 4/18 縮尺 S=1/NS	株式会社 若竹まちづくり研究所 開設者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	図面番号 M-13
	図面名称 空調平面図				

換気機器リスト

風量は表示値以上、消費電力値は近似値で可とする							
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 W	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
FE-1	ﾊﾞｲﾌﾞ用ﾌｧﾝ	風量120m3/h 静圧5Pa時 格子ｸﾞﾘﾙ 電気ｼｬｯﾀｰ付 ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	7	1	職員室(小)
	(24時間換気)	SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(入切ﾀｲﾌﾟ)					
FE-2	ﾊﾞｲﾌﾞ用ﾌｧﾝ	風量240m3/h 静圧6Pa時 格子ｸﾞﾘﾙ 電気ｼｬｯﾀｰ付 ﾀﾞｸ外径200φ	1	100	15	1	ｽﾃｰｼﾞ
	(24時間換気)	SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(入切ﾀｲﾌﾟ)					
FE-3	ﾊﾞｲﾌﾞ用ﾌｧﾝ	風量240m3/h 静圧6Pa時 格子ｸﾞﾘﾙ 電気ｼｬｯﾀｰ付 ﾀﾞｸ外径200φ	1	100	15	1	職員室(大)
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ					
FE-4	天井換気扇 低騒音形	風量50m3/h 静圧10Pa時 ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ	1	100	10	3	MWC WWC 調理室WC
		天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ					
FE-5	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量90m3/h 静圧25Pa時 弱60m3/h ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ	1	100	3	4	休憩室 食品庫 洗浄室 沐浴室
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱ﾀｲﾌﾟ)					
FE-6	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量120m3/h 静圧20Pa時 弱75m3/h ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ	1	100	4	3	5歳児WC 4歳児WC 3歳児WC
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱ﾀｲﾌﾟ)					
FE-7	天井換気扇 低騒音形	風量150m3/h 静圧55Pa時 ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ	1	100	16	2	多目的WC 下処理室
		天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ					
FE-8	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量180m3/h 静圧40Pa時 弱15m3/h ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ	1	100	6	1	理事長室兼応接室
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱ﾀｲﾌﾟ)					
FE-9	天井換気扇 低騒音形	風量200m3/h 静15Pa時 ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	30	2	倉庫 検収室
		天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					
FE-10	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量300m3/h 静圧25Pa時 弱70m3/h ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	7	1	2歳児WC
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱ﾀｲﾌﾟ)					
FE-11	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量300m3/h 静圧25Pa時 ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	7	3	5歳児WC 4歳児WC 3歳児WC
		天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					
FE-12	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量320m3/h 静圧30Pa時 弱150m3/h ﾌﾞﾗｽﾁｯｸﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	9	1	1歳児WC
	(24時間換気)	天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ 24HRｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ(強弱ﾀｲﾌﾟ)					
FE-13	天井換気扇 DCﾓｰﾀｰ	風量400m3/h 静圧65Pa時 金属ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	20	1	調理室
		天吊金具 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					
FE-14	壁換気扇	風量1000m3/h 電動ｼｬｯﾀｰ付 300φ 不燃枠	1	100	31	1	遊戯室
		防虫網付給排気形SUS製ｳｴﾞｻﾞｰｶﾊﾞｰ					
FE-15	ストレートシロッコファン DCﾓｰﾀｰ	風量360m3/h 静圧110Pa時 No.1-1/4 消音形 ﾀﾞｸ外径150φ	1	100	39	2	あいのﾙｰﾑ おひさま組(0歳児)
		吸込口150φ×2 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ 防振吊金具					
FE-16	ストレートシロッコファン DCﾓｰﾀｰ	風量500m3/h 静圧45Pa時 No.1-1/4 消音形 ﾀﾞｸ外径200φ	1	100	63	2	つき組(2歳児) ひかり組(1歳児)
		吸込口200φ×2 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ 防振吊金具					
FE-17	ストレートシロッコファン DCﾓｰﾀｰ	風量750m3/h 静圧105Pa時 No.1-1/4 消音形 ﾀﾞｸ外径200φ	1	100	116	3	にじ組(3歳児) ほし組(4歳児)
		吸込口200φ×2 SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ 防振吊金具					はな組(5歳児)
	特記事項	ﾌｰﾄﾞ類は指定色塗装とする					

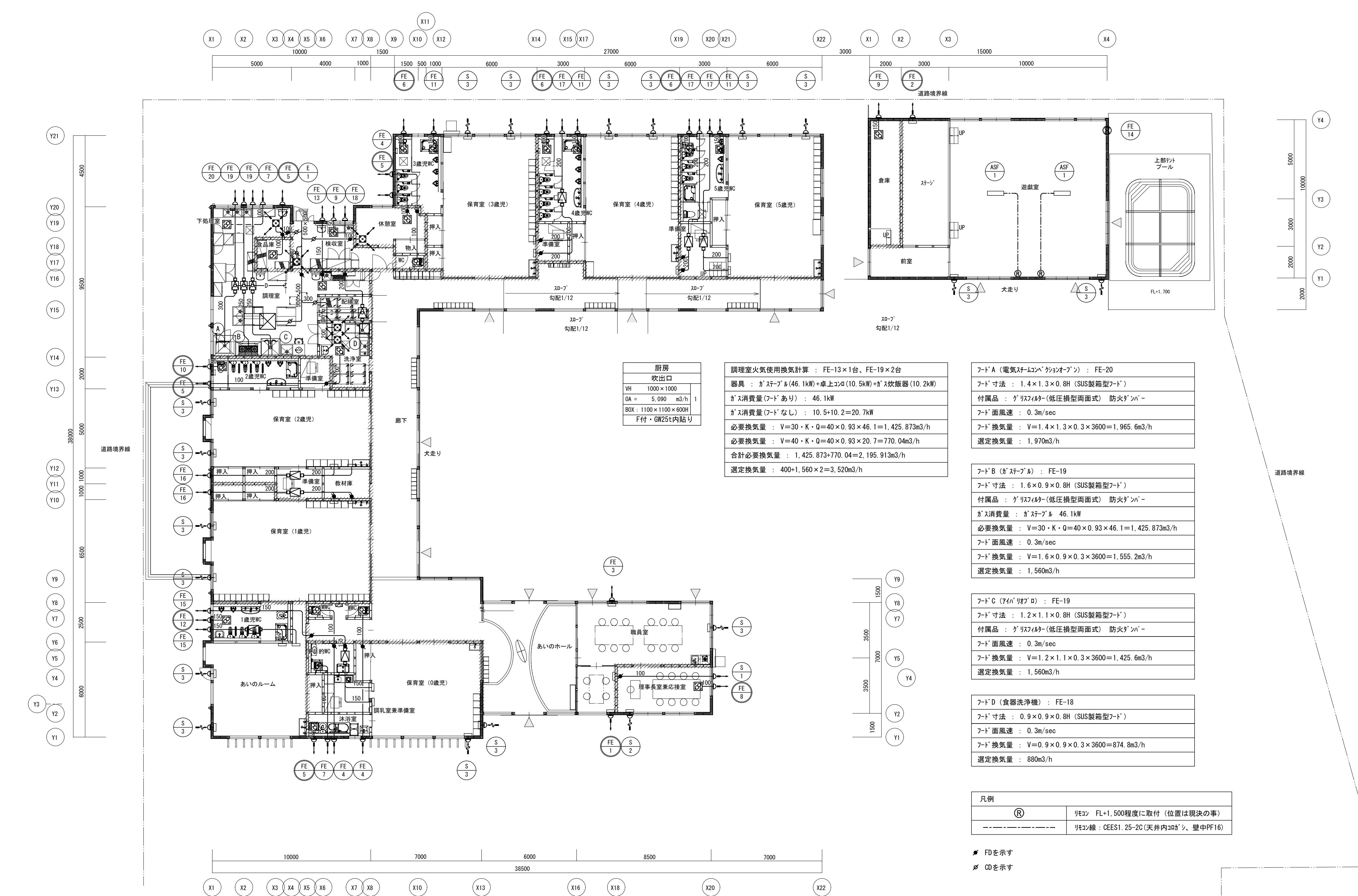
換気機器リスト

風量は表示値以上、消費電力値は近似値で可とする							
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費電力 W	台	備 考
			相	電圧			
			φ	V			
FE-18	ｽﾄﾚｰﾄｼﾛｯｺﾌｧﾝ 厨房用	風量880m3/h 静圧130Pa時 No.1-1/4 ﾀﾞｸ外径200φ	1	100	200	1	洗浄室
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ 防振吊金具 ｳｧﾝﾄﾞﾙﾊﾞｰﾀﾞ					
FE-19	ｽﾄﾚｰﾄｼﾛｯｺﾌｧﾝ 厨房用	風量1560m3/h 静圧205Pa時 No.1-1/2 ﾀﾞｸ外径250φ	1	100	520	2	調理室×2
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ250φ 防振吊金具 ｳｧﾝﾄﾞﾙﾊﾞｰﾀﾞ					
FE-20	ｽﾄﾚｰﾄｼﾛｯｺﾌｧﾝ 厨房用	風量1970m3/h 静圧255Pa時 No.1-1/2 ﾀﾞｸ外径300φ	3	200	700	1	調理室
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ300φ 防振吊金具 ｳｧﾝﾄﾞﾙﾊﾞｰﾀﾞ					
S-1	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ				1	職員室(小)
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ100φ					
S-2	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ				1	理事長室兼応接室
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ150φ					
S-3	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径200φ				17	遊戯室×2 はな組(5歳児)×2
		SUS製ｶﾞﾗﾘ付深形ﾌｰﾄﾞ200φ					ほし組(4歳児)×2
							にじ組(3歳児)×2
							つき組(2歳児)×2
							ひかり組(1歳児)×2
							あいのﾙｰﾑ×2 職員室(大)
							おひさま組(0歳児)×2
S-4	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径100φ				2	休憩室 下処理室
S-5	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径150φ				1	検収室
S-6	給気ｸﾞﾘﾙ	樹脂製 ﾌｨﾙﾀｰ付風量調節全閉可能ﾀｲﾌﾟ ﾀﾞｸ外径200φ				2	洗浄室×2
E-1	外部ﾌｰﾄﾞ	防鳥網付SUS製ｳｴﾞｻﾞｰｶﾊﾞｰ600口				1	
ASF-1	ｴｱｰｽｲﾝｸﾞﾞﾌｧﾝ	風量強420m3/h ﾌﾞｰﾘｰｽﾞﾗｲﾝｸﾞｸﾞﾘﾙ リモコンｽｲｯﾁ	1	100	36	2	遊戯室×2
	特記事項	ﾌｰﾄﾞ類は指定色塗装とする					

特記事項	工事名称	あいの保育園改築工事	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
					2025/ 4/ 9		
	図面名称	換気機器リスト			縮 尺		
					S=1/NS		M-14

24時間換気計算（換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事）									
室名	床面積	平均天井高	容 積	換 気 種 別	必 要 換 気 回 数	必要排気量	実排気量	実 質 換 気 回 数	適 用 換 気 扇
	m ²	m	m3			m3/h	m3/h		
遊戯室・ステージ	124.00	3.78	468.72	三 種	0.3	140.62	240	0.51	FE-2
はな組(5歳児)	54.00	3.815	206.01						
5歳児WC	15.00	2.5	37.50						
計			243.51	三 種	0.3	73.05	75	0.30	FE-6
ほし組(4歳児)	54.00	3.815	206.01						
4歳児WC	16.50	2.5	41.25						
計			247.26	三 種	0.3	74.18	75	0.30	FE-6
にじ組(3歳児)	54.00	3.815	206.01						
3歳児WC	14.12	2.5	35.30						
計			241.31	三 種	0.3	72.39	75	0.31	FE-6
休憩室	10.32	2.5	25.80	三 種	0.3	7.74	60	2.32	FE-5
下処理室	10.00	2.5	25.00						
食品庫	4.50	2.5	11.25						
調理室	47.63	2.5	119.08						
検収室	15.75	2.5	39.38						
計			194.71	三 種	0.3	58.41	60	0.30	FE-5
洗浄室	12.36	2.5	30.90	三 種	0.3	9.27	60	1.94	FE-5
つき組(2歳児)	50.75	3.78	191.84						
2歳児WC	11.00	2.5	27.50						
計			219.34	三 種	0.3	65.80	70	0.31	FE-10
ひかり組(1歳児)	65.75	3.78	248.54						
1歳児WC	12.50	2.5	31.25						
あいのルーム	39.25	3.78	148.37						
計			428.16	三 種	0.3	128.45	150	0.35	FE-12
沐浴室	6.00	2.5	15.00						
おひさま組(0歳児)	42.00	3.765	158.13						
計			173.13	三 種	0.3	51.94	60	0.34	FE-5
職員室(大)	34.00	3.72	126.48						
職員室(小)	7.50	3.72	27.90						
計			154.38	三 種	0.3	46.31	120	0.77	FE-1
理事長室兼応接室	18.00	2.50	45.00	三 種	0.3	13.50	15	0.33	FE-8

特記事項	工事名称	Draw	Check	作成年月日	㊦ 株式会社 若竹 まちづくり 研究所	図面番号
	図面名称			2025/ 4/ 9		
	24時間換気計算			縮 尺 S=1/NS	開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号 管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号	M-15



特記事項 ※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。

工事名称 あいの保育園改築工事
図面名称 換気平面図

Draw

Check

作成年月日 2025/ 4/18

縮 尺 S=1/150

株式会社若竹まちづくり研究所
開 設 者 一級建築士 佐藤八尋 第115410号
管理建築士 一級建築士 小松道就 第223530号

図面番号

M-16